

最高预测学·术数三式之最

大六壬精解

曹福惊 张月明 编著



黑龙江人民出版社

最高预测学 术数三式之最

大 六 壬 精 解

曹福惊 张月明 编著

黑 龙 江 人 民 出 版 社

责任编辑:钱 晔

封面设计:岳大地

大 六 壬 精 解

Daliuren Jing jie

曹福偉 张月明 编著

黑龙江人民出版社出版发行

(哈尔滨市南岗区宣庆小区1号楼)

佳木斯书刊印刷厂制版 黑龙江新华印刷厂印刷

开本 850×1168 毫米 1/32·印张 23₁₀/16·

字数:550,000

1995年8月第1版 1995年8月第1次印刷

印数 1—5,000

ISBN 7-207-02589-5/K·290 定价:28.00 元

前 言

《大六壬精解》是在重视传统文化的形势下,根据加强古籍整理的精神,为适应专业工作者研究的需要而编著成的一部书。

在中国术数学中,有发轫于《周易》的“三式”,其中居首者即为六壬,被术数学家誉为三式之最。从《吴越春秋》、《越绝书》和《史记·龟策列传》中多处有关的记载来看,六壬术的出现时间虽晚于《周易》的成书,但不会晚于春秋后期。国内至今已出土六壬栲盘多件,根据考古研究,知多为汉代之物,这说明了六壬在汉代已较盛行。六壬一类的书籍,在隋志、唐志中已颇有记录,至郑樵《通志》所载六壬书目共八十二部,计一百九十一卷,明焦竑的《国史经籍志》所列多至八十三家。清代编修《古今图书集成》,于六壬主要收《大六壬类聚》,编修《四库全书》,于六壬唯取《六壬大全》,但官书之外,清代新的六壬著述仍有很多。迄于民国,大六壬的研究与著述相续不绝。历史上精于六壬者,或在壬学上有重要著述与研究成果者,不仅有一些著名的政治家、军事家、经济活动家,还有著名的学者和自然科学家。如《通志》所列,唐代著名的天文学家僧一行便撰有《六壬明鉴连珠歌》和《六壬髓径》。又如宋代自然科学家沈括的《梦溪笔谈》、明代王肯堂的《郁冈斋笔尘》、明代茅之仪的《武备志》,均有六壬内容的研究与阐述。这说明,六壬在历史上是源远流长而又影响广泛的一门学术。

《周易》的文化价值,近些年不仅在国内,而且在国际上已取得人们的共识。由于《周易》中包含着以阴阳的对立统一为核心的丰

富的哲学思想,以及诸如天文学、数学等古代自然科学内容,它成为祖国传统文化中一颗璀璨的明珠,并使人们在对它的研究中不断受到启迪。作为《周易》的一种分支学,大六壬集干支、阴阳五行诸学说和诸术数之大成,其中所包含的古代自然科学知识和哲学思想同样非常丰富。就自然科学知识讲,太阳躔次、二十八宿、十二宫分以及时令变迁等古天文、历法方面的有关知识皆含于其内。就哲学思想而言,壬课的组织形式和具体内容虽不同于《周易》,但所据之理却与《周易》息息相通。六壬由天地盘而演四课,起三传,推及人事,它认为天地人都是矛盾的对立统一,具有共同遵循的法则;壬课设多种组织成份,判断视多种有关因素,具体体现了对矛盾的复杂性和事物发展条件性的认识;盘、课、三传中由于支神将所体现的阴阳五行的生克制化,充分展示了矛盾的相互依赖、相互斗争、相互转化;初、中、末三传的变化,同时又表明了事物阶段性、波浪式的运动发展,如此等等。不难理解,我国历史上一些著名的学者和自然科学家之所以能在壬学上付出心血,就在于壬学中包含着许多自然科学内容,凝结着丰富而深邃的思想。

既然六壬学源远流长,并且具有很高的文化价值,那么无疑需要我们以科学的态度对以往的壬学成果加以全面、深入的研究。只有通过这种研究,才能进一步弄清历史上易学、术数学与科技发展中的交融与分流;只有通过这种研究,才能全面、深入地把握中国古代哲学。如同对《周易》的研究一样,在壬学的研究中吸取其中的精华,对于推动现代预测学、决策学的发展亦具有重要的意义。令人欣喜的是,近些年,学术界已开始了这种研究,从事研究的不仅有社会科学专业工作者,还有自然科学专业工作者,如当代国际上著名的数学家陈省身教授前些时还著文对六壬的有关内容作出了论证。不过应该看到,此前仍存在着一些客观上的困难,影响着专业工作者对壬学作全面、深入的研究。这里所指的是,目前所能见

到的壬学古籍,无论哪一种单拿出来都不能完全适应研究的需要,行文较苍白者往往失于简略,文字皆艰深者今人又难于理解,有的偏执一说,有的编排杂乱,而且无论哪一种著述严格说都谈不到内容上的全面。因此,欲全面、深入地研究壬学,首先需要对壬学古籍加以认真的整理。1990年,上海古籍出版社出版一套影印《四库术数类丛书》,内有《六壬大全》,但因无标点,并因原书中的基础内容过于简略,使人较难通读。1993年又见到某出版社出版的只对部分内容画圈断句的某种六壬古籍,其圈点和文字上的错误不胜枚举,反而给壬学的研究造成混乱。本书即针对上述状况而编著。书中集前人较精辟的著述,内容力求全面,并贯彻由浅入深、由根至梢的原则,将内容分类,重新编排;书中对所利用的前人著述一律认真标点,对内容相同而见于不同书内的文字皆作了校核。希望此书能满足专业工作者之需,有助于易学、术数学研究工作的深入开展。

正如《周易》的每一卦辞、爻辞都有吉凶的判断和行为的指示,去掉了卦爻辞也就不成其为《周易》,也就无法研究其思想一样,六壬中也包含着不可分割的判断内容,这是客观存在的,而不是整理者有意引导人们去占卜。对于有价值的古籍,因其中混杂着某些不合时代要求的因素(任何古籍都难免存在这一情况)便废除对其整理,无疑是一种简单的、对传统文化不负责任的态度,但作为读者,却应在研究中把握正确的方向,这是应该提及的。

编著采用书目及有关说明

《六壬大全》。辑校者郭载咏，清人。本书十二神将篇、要论歌赋篇所采《六壬大全》内容均以《文渊阁四库全书》影印本为底本，但参考《六壬大全》其它版本作了校核。

《大六壬类聚》、《龙首经》、《五变中黄经》和《六壬金口》。《古今图书集成》将此四书内容或全部、或部分收入。本书课经篇、要论歌赋篇及分类占断篇所采此四书有关内容以民国二十三年上海中华书局影印《古今图书集成》为底本，但某些内容参考《六壬大全》有关版本作了校核。

以上的诸书的作者或书中内容的原作者有可知者，有不可详考者。许多内容可知为唐、宋之作。

《大六壬指南》。其中大部分内容的作者为陈公献，仅《大六壬神煞指南》的作者为庄公远。皆清初人。本书所采《大六壬指南》有关内容，以民国元年上海江东书局印本为底本，但参考清刻本作了校核。

纪氏《六壬类聚》。辑述者纪大奎，清人。此书载《纪慎斋先生全集》，清刻本。

《六壬视斯》。作者叶梅亭，清人。采用此书有关内容所据本为民国元年上海江东书局印本。

《大六壬易简》。述者金谔，清人。采据清刻本。

《六壬秘笈》。作者韦千里，民国时人。对此书文字有少量采用。

《大六壬探源》，作者袁树珊，民国时人。对此书文字有少量采用。

编著各篇所采内容，皆在篇首说明或在篇内标明出于以上何书，但该书的编撰者，以及该书载于何书、何种版本，皆不复赘。

在编著本书过程中，另参考了唐代以来壬学书籍十几种，兹不赘列。

目 录

前 言	(1)
编著采用书目及有关说明	(4)
一、基础篇	(1)
六壬命名	(1)
壬课组织	(2)
干支的阴阳五行属性和干支关系的有关说明	(2)
十天干及其阴阳五行属性	(2)
十二地支及其阴阳五行属性	(2)
五行生克	(3)
六亲定名	(3)
十干寄宫歌	(3)
月将及其起法	(3)
占时说明	(5)
十二支地盘定局	(5)
天盘及其排布	(5)
四课及其演式	(6)
三传及其起例	(7)
1. 贼克	(8)
2. 比用	(9)
3. 涉害	(10)
4. 遥克	(15)

5. 昂星	(16)
6. 伏吟	(18)
7. 返吟	(21)
8. 别责	(22)
9. 八专	(24)
天将及其排布	(26)
天将名称与程序	(26)
贵人歌诀	(26)
天将排布	(27)
遁干说明	(28)
年命说明	(29)
演课步骤与总体课式	(31)
常识录要	(32)
附述	(36)
二、课经篇	(41)
元首课	(41)
重审课	(47)
知一课	(51)
涉害课	(53)
遥克课	(60)
昂星课	(65)
别责课	(68)
八专课	(70)
伏吟课	(74)
返吟课	(79)
三光课	(82)
三阳课	(84)

三奇课	(86)
六仪课	(88)
时泰课	(90)
龙德课	(91)
官爵课	(93)
富贵课	(95)
轩盖课	(97)
铸印课	(99)
斲轮课	(101)
引从课	(103)
亨通课	(104)
繁昌课	(106)
荣华课	(109)
德庆课	(112)
合欢课	(113)
和美课	(116)
斩关课	(117)
闭口课	(121)
游子课	(128)
三交课	(129)
赘婿课	(134)
冲破课	(137)
淫佚课	(139)
荒淫课	(141)
度厄课	(148)
无禄绝嗣课	(150)
逆福课	(153)

侵害课.....	(156)
刑伤课.....	(157)
二烦课.....	(159)
天祸课.....	(165)
天狱课.....	(168)
天寇课.....	(170)
天网课.....	(171)
魄化课.....	(174)
三阴课.....	(176)
龙战课.....	(178)
死奇课.....	(180)
灾厄课.....	(183)
殃咎课.....	(184)
九丑课.....	(187)
鬼墓课.....	(189)
励德课.....	(194)
盘珠课.....	(198)
全局课.....	(200)
元胎课.....	(204)
连珠课.....	(207)
间传课.....	(208)
六纯课.....	(211)
杂状课.....	(214)
物类课.....	(215)
三、十二神将篇	(232)
神将释.....	(233)
大神总论.....	(233)

又总说	(233)
十二神释	(233)
登明亥	(233)
河魁戌	(235)
从魁酉	(236)
传送申	(238)
小吉未	(239)
胜光午	(241)
太乙巳	(242)
天罡辰	(243)
太冲卯	(244)
功曹寅	(245)
大吉丑	(246)
神后子	(247)
天将总论	(249)
十二将释	(249)
贵人	(249)
螣蛇	(251)
朱雀	(252)
六合	(253)
勾陈	(254)
青龙	(256)
天空	(257)
白虎	(258)
太常	(260)
玄武	(261)
太阴	(262)
天后	(263)
四、星煞篇	(265)

• (一)大六壬神煞指南.....	(267)
神煞全图.....	(267)
月煞表.....	(267)
年煞表.....	(268)
日干神煞表.....	(270)
日支神煞表.....	(271)
岁煞.....	(272)
月煞.....	(273)
旬煞.....	(283)
干煞.....	(283)
支煞.....	(285)
神煞辨讹.....	(286)
附:部分四季神煞、月神煞表.....	(288)
(二)神煞赋.....	(290)
五、要论歌赋篇	(294)
断要.....	(295)
壬学前知占宗.....	(295)
占断八门.....	(297)
占时.....	(298)
论月将.....	(302)
日辰.....	(303)
发用.....	(304)
三传.....	(306)
年命.....	(309)
论太岁.....	(310)
论月建.....	(311)
论阴神.....	(311)

论遁干·····	(312)
论类神·····	(313)
德·····	(319)
合·····	(320)
鬼·····	(323)
墓·····	(325)
破·····	(326)
害·····	(327)
刑·····	(327)
冲·····	(328)
论向背·····	(329)
旬空·····	(330)
释论四时旺相·····	(331)
衰旺·····	(331)
论聚散·····	(332)
已往未来·····	(333)
论应期·····	(333)
进退·····	(338)
拟《易》·····	(339)
数目·····	(339)
众寡·····	(340)
合冲·····	(341)
动静·····	(341)
数事·····	(341)
数人·····	(342)
心印赋·····	(342)
指掌赋·····	(365)

肘后神书·····	(389)
百事分类责神歌·····	(390)
雨血鬼哭集·····	(392)
释十二将·····	(397)
二字诀·····	(401)
通神集·····	(402)
通神诀·····	(403)
轩辕肘后经·····	(413)
大六壬玉成歌·····	(422)
心印赋·····	(430)
括囊赋·····	(441)
云霄赋·····	(444)
三才赋·····	(448)
毕法赋 上·····	(453)
毕法赋 下·····	(491)
古法占来意诀·····	(527)
姓氏类·····	(536)
六、分类占断篇·····	(552)
(一)类占·····	(553)
天文·····	(553)
地理·····	(554)
选举·····	(554)
占官爵·····	(555)
谒见·····	(556)
家宅·····	(556)
婚姻·····	(557)
胎产·····	(557)

出行.....	(558)
行人.....	(559)
求财.....	(561)
商贾.....	(562)
讼狱.....	(562)
疾病.....	(563)
贼盗.....	(564)
逃亡.....	(565)
奴婢.....	(567)
农桑.....	(567)
禽兽.....	(568)
蚕桑.....	(569)
怪异.....	(569)
占人家有酒否.....	(569)
闻事.....	(569)
占扣门何人.....	(569)
补占武举.....	(570)
婚姻占.....	(570)
胎产占.....	(573)
选举占.....	(575)
占中高下.....	(576)
行人占.....	(577)
求财占.....	(578)
疾病占.....	(580)
赌博占.....	(582)
摇会占.....	(582)
渡江过水占.....	(582)

旗與占地	(582)
乘舟占	(585)
詮務占	(587)
游都魯都	(589)
金凤战干	(589)
论空方路	(590)
寻赎消息	(590)
来使虚实	(590)
来人善恶	(590)
兵将多少	(591)
方性强弱	(591)
大将居方	(591)
方分岁占	(592)
迷路寻出	(592)
渡河涉水	(592)
觅水求粮	(593)
藏形遁迹	(593)
水战	(593)
(二)占断各门	(594)
占晴雨	(594)
占婚姻	(596)
占胎产	(597)
占谋望	(598)
占出行	(599)
占行人	(600)
占求财	(602)
占科名	(603)

占官禄.....	(604)
占访谒.....	(606)
占交易.....	(606)
占失物.....	(607)
占贼盗.....	(608)
占逃亡.....	(611)
占家宅.....	(612)
占词讼.....	(613)
占坟墓.....	(614)
占耕种.....	(616)
占养蚕.....	(617)
占奴婢.....	(618)
占六畜.....	(618)
(三)心机独悟.....	(619)
天文.....	(619)
地理.....	(620)
家宅.....	(621)
求财.....	(623)
行人.....	(624)
词讼.....	(625)
婚姻.....	(627)
生产.....	(629)
仕宦.....	(630)
选举.....	(632)
武事.....	(633)
买卖.....	(633)
疾病.....	(634)

盗贼.....	(637)
自逃.....	(639)
迁移.....	(640)
趋谒.....	(641)
田禾.....	(642)
出行.....	(643)
香火.....	(644)
六畜.....	(644)
占命.....	(644)
(四)大六壬会纂指南.....	(646)
天时.....	(646)
阳宅.....	(647)
阴地.....	(649)
迁移.....	(649)
香火.....	(650)
婚姻.....	(650)
孕产.....	(651)
疾病.....	(653)
出行.....	(654)
行人.....	(655)
趋谒.....	(657)
选举.....	(657)
武事.....	(658)
仕宦.....	(658)
求财.....	(659)
买卖.....	(659)
占讼.....	(660)

隐遁·····	(661)
逃亡·····	(661)
贼盗·····	(662)
田蚕·····	(663)
六畜·····	(664)
附：释疾病章·····	(664)
(五)龙首经(节录)·····	(666)
占岁利道吉凶法·····	(666)
占月利道吉凶行法·····	(667)
占月吉日嫁娶祠祀法·····	(667)
占天仓天府法·····	(667)
占闻盗吉凶亡人所在欲捕得否法·····	(668)
占六畜放牧自亡不知所在，各随其类以其亡 时占之·····	(668)
占诸欲远行使出吉门法·····	(669)
占诸欲行求事者法·····	(670)
占诸架屋举百事吉凶法·····	(670)
占欲买车舟吉凶何如法·····	(671)
占怪祟恶梦法·····	(671)
(六)六壬军帐赋·····	(672)
(七)兵帐钩元·····	(684)
野宿安营·····	(684)
行择吉道·····	(685)
察贼所在·····	(685)
疑贼前后·····	(686)
疑贼伏兵·····	(686)
抽军避寇·····	(687)

渡关覘贼.....	(687)
游都占贼来否.....	(688)
闻贼去审.....	(690)
突围出处.....	(690)
今日战否.....	(691)
欲战审刑.....	(692)
决定胜负.....	(692)
附：占例选录	(694)

一、基础篇

本篇内容主要为六壬演课及演课所关的基本知识，也包括了理解本书后面内容所需的某些最基本的知识。古来对这些知识介绍较为详明的六壬书籍，前有《六壬视斯》，后有《六壬秘笈》，然二书在某些关键问题上所依之说迥异，以今观之，二书相关于本篇的内容皆难于原样采用。本篇以前人著述并此二书为参据，多数内容重新编写，“三传起例”即“宗门九课入式起例”一节之歌、释则全部取自《六壬视斯》，但在某些地方加入了必要的按语。

所谓一些关键问题，有月将起法、贵人起法、行年起法等，古来莫衷一是，这些问题关系到课体的认识和各种判断，差之毫厘，谬以千里。对相关于此的内容，除于正文中择名家所遵作出交待，另于篇后“附述”中列其余说，以供学者参考。

六壬命名

《六壬视斯》：“天干凡十，而课独取乎壬者，盖壬乃阳水，天一生水，为数之始。壬寄在亥，亥属乾宫，亦《易》卦首《乾》之义也。此立名之宗也。”

《谶吉述正》：“术者谓六壬出黄帝，不可考，而其术实本五行。五行始于水，举阳以起阴，故曰‘壬’。六者，壬申、午、辰、寅、子、戌也。”

二说可以相互补充,兼取方为全面。

壬课组织

壬课中包含月将、占时、地盘、天盘、四课、三传、遁干、年命、星煞等众多组织成份。壬课组织成份虽多,但皆以天干、地支特别是以地支为表现形式,四课、三传的推演也是以天干、地支的阴阳五行属性和干支的特定关系作为依据。

干支的阴阳五行属性和干支关系的有关说明

十天干及其阴阳五行属性

甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸为十天干。甲为阳木,乙为阴木。丙为阳火,丁为阴火。戊为阳土,己为阴土。庚为阳金,辛为阴金。壬为阳水,癸为阴水。

甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
木	木	火	火	土	土	金	金	水	水
阳	阴	阳	阴	阳	阴	阳	阴	阳	阴

十二地支及其阴阳五行属性

子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥为十二地支。子为阳水。丑、未皆为阴土。寅为阳木,卯为阴木。辰、戌皆为阳土。巳为阴火,午为阳火。申为阳金,酉为阴金。亥为阴水。

子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
水	土	木	木	土	火	火	土	金	金	土	水
阳	阴	阳	阴	阳	阴	阳	阴	阳	阴	阳	阴

五行生克

金生水，水生木，木生火，火生土，土生金。

金克木，木克土，土克水，水克火，火克金。

六亲定名

生我者谓父母。我生者谓子孙。克我者与我阴阳相异谓官，阴阳相同谓鬼。我克者谓妻财。与我同类者谓兄弟。在六壬中，我字一般指日干。如甲日逢子，因甲属木，子属水，而水生木，故子为甲之父母。如甲日逢申，因甲属阳木，申属阳金，阳阳相同，又金克木，故申为甲之鬼。假如甲日逢午，因木生火，午则为甲之子孙。

十干寄宫歌

甲寄在寅乙课辰，丙戊在巳不须论。

丁己在未庚申位，辛戌壬亥是其真。

癸课由来丑上坐，分明不用四正神。

此歌之义，甲寄寅宫，乙寄辰宫，丙与戊皆寄巳宫，丁与己皆寄未宫，庚寄申宫，辛寄戌宫，壬寄亥宫，癸寄丑宫。四正神，指子、午、卯、酉。

月将及其起法

月将即日宿太阳。视太阳入何宫，即为何将。太阳于每月中气过宫，故月将亦逢中气而换。陈公献于《心印赋》增注云：“正月雨水后日躔虚宫之次，入亥宫，乃登明将也。二月春分后日躔降娄之次，

入戌宫，乃河魁将也。三月谷雨后日躔大梁之次，入酉宫，乃从魁将也。四月小满后日躔实沈之次，入申宫，乃传送将也。五月夏至后日躔鹑首之次，入未宫，乃小吉将也。六月大暑后日躔鹑火之次，入午宫，乃胜光将也。七月处暑后日躔鹑尾之次，入巳宫，乃太乙将也。八月秋分后日躔寿星之次，入辰宫，乃天罡将也。九月霜将后日躔大火之次，入卯宫，乃太冲将也。十月小雪后日躔析木之次，入寅宫，乃功曹将也。十一月冬至后日躔星纪之次，入丑宫，乃大吉将也。十二月大寒后日躔玄枵之次，入子宫，乃神后将也。”按上云登明、河魁、从魁、传送、小吉、胜光、太乙、天罡、太冲、功曹、大吉、神后，即亥、戌、酉、申、未、午、巳、辰、卯、寅、丑、子之别名。为清晰认识，再分述各月节、气及月将于后：

正月建寅，立春节，雨水气。雨水后月将为亥。

二月建卯，惊蛰节，春分气。春分后月将为戌。

三月建辰，清明节，谷雨气。谷雨后月将为酉。

四月建巳，立夏节，小满气。小满后月将为申。

五月建午，芒种节，夏至气。夏至后月将为未。

六月建未，小暑节，大暑气。大暑后月将为午。

七月建申，立秋节，处暑气。处暑后月将为巳。

八月建酉，白露节，秋分气。秋分后月将为辰。

九月建戌，寒露节，霜降气。霜降后月将为卯。

十月建亥，立冬节，小雪气。小雪后月将为寅。

十一月建子，大雪节，冬至气。冬至后月将为丑。

十二月建丑，小寒节，大寒气。大寒后月将为子。

占时说明

按《六壬视斯》之说，前人占课皆用正时。正时者，即欲起课所值之时，亦即动念起课之时。后人因正时难于测度，或令占者随口举报一时，或用牙筹拈取，或用珠盘摇取，皆变通之法。所谓用牙筹拈取，即以象牙或竹或木制十二签，每签刻一时辰，闭目任抽一签，视签上为某时，即为占时。所谓用珠盘摇取，即以圆形木盒，雕刻十二孔，每孔书一时辰，综成子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥十二字，置珠于盒内摇动，珠所落停之孔书何时，即为占时。

十二支地盘定局

地盘，即位置固定的子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥十二支，其式如下，为静而不动，定而不变者。

巳	午	未	申
辰			酉
卯			戌
寅	丑	子	亥

天盘及其排布

天盘，即以月将加于占时之上，顺排十二支所形成者。占时与

地盘之支一致，如月将是子，占时是卯，即以子加地盘卯位上。顺排十二支，卯上之子，辰上之丑，巳上之寅，午上之卯，未上之辰，申上之巳，酉上之午，戌上之未，亥上之申，子上之酉，丑上之戌，寅上之亥，综为天盘。

	寅	卯	辰	巳
	丑			午
月将是子 加地盘卯上	子			未
	亥	戌	酉	申

又如酉将，巳时，其天盘式如下：

月将是酉 加地盘巳上	酉	戌	亥	子
	申			丑
	未			寅
	午	巳	辰	卯

天盘随月将、占时的不同运转而不固定，与地盘有别。

四课及其演式

四课，乃以本日干支为基点，参照天地盘而演成者。其法，先将日干支平行书写，干支之间留一字之空。然后依十干寄宫例，查日干寄入地盘何宫，即将其上天盘之字写于干上，是为第一课；以干上所得之字，写于日干之左（即干支间空处），查地盘此字上之天盘为何字，即书于此字之上，是为第二课；以日支为地盘之支，查其上天盘之字为何字，写于支上，是为第三课；以支上所得之字，写在支之左，从地盘查此字上面天盘之字为何字，即写于此字之上，是为第四课。

例如甲子日，子将，卯时：

(第
四
课)

(第
三
课)

(第
二
课)

(第
一
课)

午 酉 申 亥
酉 子 亥 甲

寅 卯 辰 巳申
丑 午酉
子 未
亥 戌 酉 申
甲寅 子

将甲子二字中空一位平书于天盘上。甲子日，因甲寄在寅，查地盘寅上是亥，即以亥字加于日干甲字之上，得^亥甲二字，是为第一课。再将亥字平书于甲字、子字之间，看地盘亥上是申字，即将申字加于亥字之上，得^申亥二字，是谓第二课。然后再看地盘子位上是酉，即将酉字加于日支子字之上，得^酉子二字，是为第三课。再将酉字平列于子字之左，看地盘酉位上是午，即将午字加于酉字之上，是为第四课。

三传及其起例(即宗门九课入式起例)

三传，即初传(又名发用)、中传、末传，乃由四课之上下克贼，或由四课之它种情况而形成。(上克下曰克，下克上曰贼。)三传取法分为九类，各有其名其歌。

1. 贼克

取课先从下克呼，若无下克上为初。初传本位明中次，中上因加是未居。

从四课中取三传，先取下克上者为初传。如四课中有一下克上者，即以受克之神为初传，是为发用，名重审。如四课中无下克上者，即用上克下者为用，四课一上克下名元首。

凡取克为用，不论上克、下克，俱取上一字，不用下一字。

巳
酉
丑

元
首

巳 酉 亥 卯
酉 丑 卯 丁

丑 寅 卯 辰
子 丁未 巳
亥 寄宫 午
戌 酉 申 未

如四月丁丑日子时，申将，以月将申加子，起天盘。丁日干寄宫在未，查未上系卯，以卯加丁上，第一课^卯丁。卯上见亥，以亥加卯上，第二课^亥卯。丑日支上见酉，第三课^酉丑。酉上见巳，第四课^巳酉。第一课^卯丁无克，第二课^亥卯亦无克，第三课^酉丑亦无克，唯第四课^巳酉火克金，系上克下，即以巳为初传。地盘巳上丑，即以丑为中传。地盘丑上

酉，即以酉为末传。名元首课，余仿此。

申	重
亥	审
寅	

辰	丑	亥	申
丑	戌	申	丙

丙 寄 宫	申	酉	戌	亥
	巳			
	未			子
	午			丑
	己	辰	卯	寅

如四月丙戌日巳时，申将，以月将申加地盘巳上，照前式起天盘。丙日干寄宫在巳，查巳上见申，以申加丙上，第一课^申丙，第二课亥，第三课^丑戌，第四课^辰丑。四课中唯第一课^申丙系火克金，余俱无克，即以申为初传。申上亥，亥为中传。亥上寅，寅为末传。是四课中止一下克上为用，各重审。

如四课中有二三上克，或二三下克，则当择比者为用，另详下比用门。

2. 比用

下克或三二四侵，不然上克亦同论。常将天日相比取，阳日用阳阴用阴。

此因四课中或有二三下克上者，或有二三上克下者，则当取与日干相比者为用，名比用，亦名知一。日干相比，如甲日用子、

寅等阳支，乙日用丑、卯等阴支也。干支阴阳见上。

	戌		知
	酉		一
	申		
寅	卯	酉	戌
卯	辰	戌	壬
辰	巳	午	未
卯			申
寅			酉
丑	子	亥	戌

如八月壬辰日巳时辰将，以辰加巳起天盘，一课^戌壬，二课^酉戌，三课^卯辰，四课^寅卯。查四课中第一^戌壬土克水，第二课无克，第三课^卯辰木克土，第四课^寅卯无克，是四课中有二上克下。查壬系阳干，第三课卯木克辰土，卯系阴支，不比；第一课戌土克壬水，戌系阳支，与日干相比，即用戌为初传。余仿此。

3. 涉害

涉害由来是 본家，路途多克最堪夸。孟深仲浅季无取，复寻柔辰刚日查。

此因四课中或二上克下，或二下克上，而与本日之日干或俱比，或俱不比，则各就所克之处，由地盘涉归本家，以受克多者为用。如受克俱多，则以在地盘四孟上者为用。如无孟，则取

仲上者。如又俱相等，则阳日取干上神，阴日取支上神。中末照常法为，各列一式于下。（今按：四孟，指寅、申、巳、亥；四仲，指子、午、卯、酉；四季，指辰、戌、丑、未。）

	亥		
	酉		
	未		
亥	丑	卯	巳
丑	卯	巳	丁
卯	辰	巳	午
戊		己未	
寅			未
辰乙			申
丑			戌
卯			酉
子	亥	戌	
	丑		

如正月丁卯日丑时，亥将，此一课^巳丁无克，二课^卯巳无克，第三课^丑木克土，第四课^亥丑土克水，是二下克上，与日干俱比。以丑土由所临之卯位历归本家，卯木一重克；至辰位，辰中有寄宫之乙木，又一重克；再由巳、午、未、申、酉、戌、亥、子各位历归本家丑位，止得两重克，是涉害浅。再以亥水由所加之丑位历归本家，丑土一重克；至寅位、卯位无克，至辰位，辰土一重克；至巳位，巳中有寄宫之戊土，一重克；午位无克，至未位，未土一重克；未中有寄宫之己土，又一重克；申位、酉位无克，至戌土一重克。至本家亥位，共历六重克。当以丑上之亥为用，为涉害深。余仿此。

午

辰

寅

申 戌 辰 午

戌 子 午 庚

卯 辰 巳 午
申 庚

寅 未 酉

丑 申 辛

子 亥 戌 酉
癸 子

如四月庚子日戌时，申将，第一课^午庚火克金，第二课^辰午无克，第三课^戌子土克水，第四课^申戌无克。四课中第一、第三两课俱上克下。庚乃阳日，午、戌亦系阳辰，是与日俱比。以戌土由所临之子位历归戌之本家，子一重克；至丑位，丑中有寄宫之癸水，又一重克；以次历寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉，以至于本家戌位，俱无克。是涉害浅。再以一课之午火由所临之申位历归午之本家，申金一重克；申中有寄宫之庚金，又一重克；至次位酉金，又一重克；至戌位，戌宫有寄宫之辛金，又一重克；以次历归亥、子、丑、寅、卯、辰、巳各位，以至于午之本家，俱无克。是戌土由子位历至戌本位止有二重克，午火由申位历归午本位有四重克，是午涉害深，应以午为用。余仿此。

以上二课，俱系取涉害深者为用。假如涉害俱深，则取寅、申、巳、亥四孟上神为用，名见机，凡事当见机详察也，为列一式于下。

子
 未
 寅
 寅 未 未 子
 未 子 子 丙
 子 丑 寅 卯
 巳 丙 午 未 己
 亥 辰
 戌 巳
 酉 申 未 午
 丑

如丙子日，亥将，辰时，一课^子丙，二课^未子，三课^未子，四课^寅未。此课四上克下，二、三两课相重，谓之“不备”。且未与日干不比，取子、寅二神与日比者而论。子由巳上历归本位，经丙、巳、午、丁四重克，寅由未上历归本位，亦经未、己、戌、丑四重克，是涉害浅深相等。寅加未，乃季上，不取，则取子加巳孟上神为用，余仿此。

如无孟上，则取仲上，亦列一式于下。

辰
 申
 子
 寅 戌 辰 子
 戌 午 子 庚
 酉 戌 亥 子
 申 丑
 未 寅 戌
 午 巳 辰 卯
 丑 癸 子

如庚午日，未将，卯时，一课^子庚，二课^辰子，三课^戌午，四课^寅戌。此四课中辰土克子水，寅木克戌土，是二上克下，俱系阳神，俱与日干相比。以辰由子上涉归本位，经子、癸二重克，以寅由戌上涉归本位，亦经戌、丑二重克，是涉害又复相等。查辰、寅二神俱非加孟，当加仲为次，则取子上之辰为用，名察微。凡占当思虑提防，可无患也。

如涉害俱深，孟仲又复相等，阳日则取干上神先见者为用，阴日则取支上神先见者为用；名缀瑕。凡占主首尾牵连。亦列一式于下。

子
未
寅

午 亥 未 子
亥 辰 子 戌

子 丑 寅 卯
戌 未 己
亥 辰
戌 巳
戌

酉 申 未 午
癸 子 亥 壬

如戊辰日，丑将，午时，一课^子戊，二课^未子，三课^亥辰，四课^午亥，三下贼上。而亥与日干不比，不取。子、午二神与日干相比，而历归本家，又俱经四重克。子加巳，午加亥，又俱孟上神，是涉害俱孟仲，俱皆相等。戊系阳日，则取干上先见之子为用，三传子未寅。是名缀瑕，亦名复等。余仿此。

(今按:凡查涉害深浅,其为上克下,应以上者查所克地盘之神。其为下贼上,应以上者查受克于地盘之神。俱上者归地盘本家止。明此方无差误。)

4. 遥克

四课无克号为遥,日与天神互递招。先取遥神克其日,无神可与日相交。

此课中俱无上下克,则取四课上神来克日干者为用。如无,则取日干遥克之神为用。若日克两神,或两神克日,则取与日干相比者为用。列式于下。

	戊		
	丑		
	辰		
戊	未	巳	寅
未	辰	寅	壬
申	酉	戌	亥
未			子
午			丑
巳	辰	卯	寅

如壬辰日,巳将,寅时,四课俱无上下克,课中未、戌两神来克日干。壬系阳干,未乃阴支,与日不比。惟戌与日比,则取戌为发用。名曰蒿矢。

巳
申
亥

寅 亥 巳 寅
亥 申 寅 壬

申 酉 戌 亥
未 子
午 丑
巳 辰 卯 寅

又如壬申日，亥将，申时，课中无克，又无上神克日，则取日遥克神为用。壬水克巳火，取巳为初传，三传巳申亥。名弹射。

5. 昴星

（四课全备，方取昴星。如止三课，无克，则不取昴星，当用别贵矣。）

无遥当向昴星寻，阳仰阴俯酉中神。刚日先神而后日，柔日先干而后辰。

四课全备，无上下克，又无遥克，阳日则取酉宫上神为用，中取支上神，未取干上神；阴日则取天盘酉下神为用，中取干上神，未取支上神。列式于下。

丑
午
酉

戌 午 丑 酉
午 寅 酉 戌

酉 戌 亥 子
申 丑
未 寅
午 巳 辰 卯

如戊寅日，辰将，子时，一课酉戌，二课丑酉，三课午寅，四课戌午。四课全备，无上下克，又无遥克，应取昴星。戊系刚日，仰取地盘酉上之丑为用，名虎视。

午
戌
寅

巳 寅 丑 戌
寅 亥 戌 丁

申 酉 戌 亥
未 子
午 丑
巳 辰 卯 寅

又如丁亥日，巳将，寅时，一课^戊丁，二课^丑戌，三课^寅亥，四课^巳寅。四课无上下克，亦无遥克。丁为柔日，应俯取天盘酉下之午为用，名冬蛇掩目。

6. 伏吟

六甲伏吟寅巳申，六丙六戊巳申寅。六乙便寻辰戌未，六庚申寅巳三刑。六己丁申临亥酉，辰先后未取刑。丑卯巳未更无克（此言六辛），辰刑冲处三传神。六癸便寻丑戌未，壬辰壬午亥巳申。更有四壬别立法，日先辰次未取刑。以上七八伏吟法，刚日柔辰中末分。

（凡言刚日，即阳日，甲、丙、戊、庚、壬也。凡言柔日，即阴日，乙、丁、己、辛、癸也。凡言日，即干也。言辰，即支也）。

（今按：月将与占时相同，致天地盘同位，名曰伏吟。）

此课有克，照常例取克发用，中取初刑，末取中刑。如初自刑，则取支上神为中，中刑为末。如中又自刑，则取中冲者为末。若课中无克，刚日取日上神发用，中末递刑取之；如初自刑，取辰上神为中，中刑为末；如中又自刑，末亦取中冲者。柔日取支上神为用，中、末用刑；如初自刑，取日上神为中，中刑为末；如中又自刑，末亦取中冲者。

三刑附录：

寅刑巳，巳刑申，申刑寅。丑刑戌，戌刑未，未刑丑。子刑卯，卯刑子。辰、午、酉、亥自刑。

列式于下。

丑
戌
未

丑 丑 丑 丑
丑 丑 丑 癸

巳 午 未 申
辰 酉
卯 戌
寅 丑 子 亥

如癸丑日，午时，午将，一课^丑癸，有克，照常取克为用，丑为初传。丑刑戌，戌为中传。戌刑未，未为末传。为伏吟课。亦名不虞。

巳
申
寅

辰 辰 巳 巳
辰 辰 巳 丙

巳 未 申
辰 酉
卯 戌
寅 丑 子 亥

如丙辰日，申将，申时，课中无克。丙乃刚日，取日上巳为用。巳

刑申,申为中传。申刑寅,寅为末传。名自任。

丑

戌

未

丑 丑 未 未

丑 丑 未 丁

巳 午 未 申

辰 酉

卯 戌

寅 丑 子 亥

如丁丑日,未将未时,课中无克,丁乃柔日,取辰上之丑为用。
丑刑戌,戌为中传。戌刑未,未为末传。名自信。

亥

辰

戌

辰 辰 亥 亥

辰 辰 亥 壬

巳 午 未 申

辰 酉

卯 戌

寅 丑 子 亥

又如壬辰日,酉将,酉时,课中无克。刚日,以日上亥为用,初

传。亥乃自刑，取支上辰为中传。辰又系自刑，则取辰冲戌为末传。为杜传。

7. 返吟

返吟有克克初生，理取先冲而后刑。次传如在自刑上，须求破法是原因。

(今按：月将与占时相冲，致天地盘各居冲位，名曰返吟。)

此课有克，仍照例取初，初冲为中，中刑为末。如中自刑，末亦取冲。名无依。(今按：一说返吟有克，以克取初传，初上为中传，中上为末传，名无依。可从。)无克惟辛未、丁未、己未、辛丑、丁丑、己丑六日，则取驿马为用，中用支上，末用干上，名无亲，即所谓井栏格也。诸书殊未明晰，今指明以驿马为用，诚为便捷。列式于下。

寅
申
寅

戌 辰 申 寅
辰 戌 寅 庚

亥 子 丑 寅
戌 卯
酉 辰
申 未 午 巳

如庚戌日，寅时，申将，以一课寅_寅下克上为用初传。寅冲申，申

为中传。申刑寅，寅为末传。名无依。

亥

未

辰

丑 未 戌 辰

未 丑 辰 辛

亥 子 丑 寅

戌 卯

酉 辰

申 未 午 巳

如辛丑日，亥将，巳时，课中无克，取驿马为用。巳酉丑，马在亥，即用亥为初传，中用支上未，未用干上辰。名无亲。

8. 别责

三课无克别责名，刚日先传干合神。柔日支前三合取，中末都来干上行。

此论四课不全，只得三课，又无上下克，又无遥克，即别责合神为用。阳日取干合之上神为初传，中末俱用干上神，阴日则取支前三合为用。“前”者，在支之前，如酉日取丑，亥日取卯，未日取亥。俱名芜淫。

三合附录：

申子辰，亥卯未，寅午戌，巳酉丑。

干合附录：

甲己合，乙庚合，丙辛合，丁壬合，戊癸合。取地盘十干寄宫看。
列式于下。

	亥	
	午	
	午	
午	巳	未 午
巳	辰	午 丙
午	未	申 酉
己		戌
辰		亥 戌辛
卯	寅	丑 子

如丙辰日，辰将，卯时，一课、第四课同，乃四课不全，无上下克，又无遥克。丙乃刚日，取干合上神为用。丙与辛合，辛寄宫在戌，戌上是亥，即以亥为初传，中末俱用干上午。

	丑	
	酉	
	酉	
未	申	申 酉
申	酉	酉 辛
辰	巳	午 未
卯		申
寅		酉
丑	子	亥 戌

如辛酉日，子将，丑时，第二课与第三课同，又无贼、克、遥可取。辛乃阴日，取支前三合为用。支三合，乃巳酉丑，丑在酉前，即以丑为初传，中末俱用干上酉。

9. 八专

两课无克号八专，阳日阳神顺行三。阴日阴神逆三数。中末都来干上眠。

八专者，干支同位，只二课也。有克取克，无克不复取遥。刚日以干上神在天盘顺数三神为用，如亥至丑是也。柔日以支第四课上神在天盘逆数三神为用，如亥至酉是也。中末俱取日上神。

丑
亥
亥

申 亥 申 亥
亥 寅 亥 甲

寅 卯 辰 巳
丑 午
子 未
亥 戌 酉 申

如甲寅日，丑将，辰时，干支同位，无克，止得两课，不取遥克。甲乃刚日，以日上亥在天上顺数三神至丑，以丑为初传，中末俱用

干上亥。

亥

戌

戌

丑 戌 丑 戌

戌 未 戌 丁

申 酉 戌 亥

未 子

午 丑

巳 辰 卯 寅

如丁未日，辰将，丑时，亦干支同位，只二课，无克。丁乃柔日，以支第四课上神之丑在天盘逆数三神至亥，以亥为初传，中末俱用干上戌。俱名帷箔不修。

八专课中，有逆数至日，中末相并，为独足格。乃三传皆归一神，如驿递无人传送，独足难行，凡事不能动移，诸皆费力也。为列式于下。

酉

酉

酉

亥 酉 亥 酉

酉 未 酉 己

未 申 酉 戌

午 亥

巳 子
辰 卯 寅 丑

如己未日，酉将，未时，两课无克。己乃阴日，从支第四课上神亥，逆数三神至酉，以酉为初传，中末俱用于上酉。是名独足。

天将及其排布

天将名称与程序

天将凡十二，各有其名，按其程序述如下：

贵人、螣蛇、朱雀、六合、勾陈、青龙、天空、白虎、太常、玄武、太阴、天后。

贵人歌诀

甲戌庚牛羊，乙己鼠猴乡。

丙丁猪鸡位，壬癸蛇兔藏。

六辛逢马虎，永定贵人方。

按此歌之义，贵人在不同日，随昼夜不同而所在不同。甲、戊、庚日昼贵在丑(牛)，夜贵在未(羊)。乙、己日昼贵在子(鼠)，夜贵在申(猴)。丙、丁日昼贵在亥(猪)，夜贵在酉(鸡)。壬、癸日昼贵在巳(蛇)，夜贵在卯(兔)。辛日昼贵在午(马)，夜贵在寅(虎)。

一说认为，占时为卯、辰、巳、午、未、申者属昼时，占时为酉、戌、亥、子、丑、寅者属夜时。例如甲子日，占时为卯，卯为昼时，甲日昼贵在丑，丑即贵人也。不过，古来亦有更严格地准星之出没或日之出没而分昼夜者。

天将排布

天将之排布，有顺逆之分，以贵人所临为准。凡贵人临于地盘亥、子、丑、寅、卯、辰六宫，则天将按其程序顺布。凡贵人临于地盘巳、午、未、申、酉、戌六宫，则天将按其程序逆布。

诀曰：

贵蛇朱六勾青，空白常玄阴后。

从戌至巳逆行，以辰到亥顺就。

可举例说明。

例一，五月庚辰日，未将，亥时。

天空	白虎	太常	玄武	
丑	寅	卯	辰	
青龙	子		巳	太阴天后
勾陈	亥		午	
	戌	酉	申	未
	六合	朱雀	螣蛇	贵人

按亥时为夜时，庚日夜贵在未，故贵人乘于天盘之未。因其临于地盘之亥，故天将顺布。

例二，六月甲寅日，午将，卯时。

青龙	勾陈	六合	朱雀	
申	酉	戌	亥	
天空	未		子	螣蛇贵人
白虎	午		丑	
	巳	辰	卯	寅
	太常	玄武	太阴	天后

以卯时为昼时，甲日昼贵在丑，故贵人乘于天盘之丑。因其临

于地盘之戌,故天将逆布。

遁干说明

六壬所注重之遁干,乃隐于三传(以及干支上、年命上)之旬干也。定旬干之法,应先查日辰在于何旬,然后推算三传(以及干支上、年命上)支神本旬之干。我国以干支配合记日,六十天为一周期。依天干计算,从甲至癸十天为一旬。六十天内共有六旬,列表于后。

甲子旬	甲子	乙丑	丙寅	丁卯	戊辰	己巳	庚午	辛未	壬申	癸酉	戌、亥为旬空
甲戌旬	甲戌	乙亥	丙子	丁丑	戊寅	己卯	庚辰	辛巳	壬午	癸未	申、酉为旬空
甲申旬	甲申	乙酉	丙戌	丁亥	戊子	己丑	庚寅	辛卯	壬辰	癸巳	午、未为旬空
甲午旬	甲午	乙未	丙申	丁酉	戊戌	己亥	庚子	辛丑	壬寅	癸卯	辰、巳为旬空
甲辰旬	甲辰	乙巳	丙午	丁未	戊申	己酉	庚戌	辛亥	壬子	癸丑	寅、卯为旬空
甲寅旬	甲寅	乙卯	丙辰	丁巳	戊午	己未	庚申	辛酉	壬戌	癸亥	子、丑为旬空

明乎此,再通过下例具体说明三传之遁干。亥月戊辰日,寅将,卯时。

丁
卯
丙
寅
乙
丑

寅 卯 卯 辰
卯 辰 辰 戊

辰 巳 午 未
卯 申
寅 酉
丑 子 亥 戌

查戊辰日在甲子旬内。三传卯寅丑，卯通丁，寅通丙，丑通乙。所以者何？因从甲子顺数至卯为丁卯，寅为丙寅，丑为乙丑。

年 命 说 明

年者，行年所到之宫。查行年，有男命女命之分。男命，一岁起丙寅，顺推，如一岁丙寅，二岁丁卯，三岁戊辰，依次推定。女命，一岁起壬申，逆推，如一岁壬申，二岁辛未，三岁庚午，依次推定。列表如下。

男命行年表

丙寅	一岁	丙子	十一	丙戌	二一	丙申	三一	丙午	四一	丙辰	五一
丁卯	二岁	丁丑	十二	丁亥	二二	丁酉	三二	丁未	四二	丁巳	五二
戊辰	三岁	戊寅	十三	戊子	二三	戊戌	三三	戊申	四三	戊午	五三
己巳	四岁	己卯	十四	己丑	二四	己亥	三四	己酉	四四	己未	五四
庚午	五岁	庚辰	十五	庚寅	二五	庚子	三五	庚戌	四五	庚申	五五
辛未	六岁	辛巳	十六	辛卯	二六	辛丑	三六	辛亥	四六	辛酉	五六
壬申	七岁	壬午	十七	壬辰	二七	壬寅	三七	壬子	四七	壬戌	五七
癸酉	八岁	癸未	十八	癸巳	二八	癸卯	三八	癸丑	四八	癸亥	五八
甲戌	九岁	甲申	十九	甲午	二九	甲辰	三九	甲寅	四九	甲子	五九
乙亥	十岁	乙酉	二十	乙未	三十	乙巳	四十	乙卯	五十	乙丑	六十

女命行年表

壬申	一岁	壬戌	十一	壬子	二一	壬寅	三一	壬辰	四一	壬午	五一
辛未	二岁	辛酉	十二	辛亥	二二	辛丑	三二	辛卯	四二	辛巳	五二
庚午	三岁	庚申	十三	庚戌	二三	庚子	三三	庚寅	四三	庚辰	五三
己巳	四岁	己未	十四	己酉	二四	己亥	三四	己丑	四四	己卯	五四
戊辰	五岁	戊午	十五	戊申	二五	戊戌	三五	戊子	四五	戊寅	五五
丁卯	六岁	丁巳	十六	丁未	二六	丁酉	三六	丁亥	四六	丁丑	五六
丙寅	七岁	丙辰	十七	丙午	二七	丙申	三七	丙戌	四七	丙子	五七
乙丑	八岁	乙卯	十八	乙巳	二八	乙未	三八	乙酉	四八	乙亥	五八
甲子	九岁	甲寅	十九	甲辰	二九	甲午	三九	甲申	四九	甲戌	五九
癸亥	十岁	癸丑	二十	癸卯	三十	癸巳	四十	癸未	五十	癸酉	六十

查行年有其捷法，说为“男行年一岁起丙寅，逆总顺零；女行年一岁起壬申，顺总逆零”，从地盘顺逆推算。如男命，二十三岁。一岁从地盘寅位起丙寅，逆推，隔一位至子位，为十一时行年丙子；再隔一位至戌位，为二十一时行年丙戌。此为“逆总”。由丙戌再顺推一位至丁亥，即为二十二岁行年；再顺推一位至戊子，即为二十三岁之行年。此为“顺零”。

命，又称本命，指人受生时所值之年干支。如丁卯年生人，本命即是丁卯。但一般往往自知岁数，而不知受生年之干支。亦有查本命捷法：以地盘与本年支相同之位为本年干支位，不论男女，皆顺总逆零，算整岁时亦隔一位起十年，然后依次逆推而得生年干支。如今年癸酉，查本命者三十五岁，即从癸酉上起一岁，癸亥上十一，癸丑上二十一，癸卯上三十一。既得整岁，再从该年逆推，壬寅上三十二，辛丑上三十三，庚子上三十四，己亥上三十五，即知三十五岁人本命为己亥。

演课步骤与总体课式

演课步骤可归结为：1. 查明月将、日干、日支，明确占时。2. 在地盘上立天盘。3. 演四课。4. 起三传。5. 布天将。6. 填六亲名词。7. 确定遁干。8. 推算年命写于地盘上。

举例说明经以上步骤所形成的总体课式。

甲戌年二月丁酉日申时，戌将，占人本命甲辰，行年壬申。

丁酉	己亥	辛丑	朱雀	贵人	太阴
财	官	子	朱雀	贵人	太阴
太阴	丑亥	酉酉	朱雀	酉丁	
勾陈	未申	戌戌	滕蛇	壬申	行年
午巳	亥子	丑子	贵人	天后	
辰	卯	寅	丑	太阴	
白虎	太常	玄武			

甲辰 本命 青龙 天空

常识录要

五行旺相休囚死

春：木旺，火相，水休，金囚，土死。

夏：火旺，土相，木休，水囚，金死。

秋：金旺，水相，土休，火囚，木死。

冬：水旺，木相，金休，土囚，火死。

四季：土旺，金相，火休，木囚，水死。

(四季,指立春、立夏、立秋、立冬前各十八天。)

长生墓绝次序

长生、沐浴、冠带、临官、帝旺、衰、病、死、墓、绝、胎、养。

十干长生

甲长生在亥,乙长生在午,丙、戊长生在寅,丁、己长生在酉,庚长生在巳,辛长生在子,壬长生在申,癸长生在卯。

甲、丙、戊、庚、壬等阳干,自长生起,顺行十二支以推其余;乙、丁、己、辛、癸等阴干,自长生起,逆行十二支以推其余。如甲长生在亥,沐浴在子,冠带在丑,以次顺推,至养在戌止。又如乙长生在午,沐浴在巳,冠带在辰,以次逆推,至养在未止。

五行长生

木长生在亥,火长生在寅,金长生在巳,水、土长生在申。

皆自长生起,顺行十二支以推其余。如木长生在亥,沐浴在子,冠带在丑,临官在寅,以次顺推,至养在戌止。又如火长生在寅,沐浴在卯,冠带在辰,临官在巳,以次顺推,至养在丑止。

太岁

当年之岁支。如子年,逢子便为太岁。

德

德为福祐之神,计共四种:天德、月德、日德、支德。

天德:依月份而定,有古歌概括如下:

正丁二坤(申)宫,壬壬四辛同。

五乾(亥)六甲上,七癸八艮(寅)逢。

九丙十居乙，子巽(巳)丑庚中。

月德：

寅午戌月在丙，申子辰月在壬，亥卯未月在甲，巳酉丑月在庚。

壬课中，除日干外，皆为地支，故某些以天干形式出现的神煞，在壬课中皆以寄宫代表。如寅午戌月月德在丙，丙即巳。正月天德在丁，丁即未。又天德中的坤、乾、艮、巽，以位言即申、亥、寅、巳。

日德：

甲、己日皆在寅，乙、庚日皆在申，丁、壬日皆在亥，丙、辛、戊、癸日皆在巳。

支德：

子日起巳，顺行十二支。

禄

禄，即日干之禄，亦为重要吉神。

甲禄在寅，乙禄在卯，丙、戊禄在巳，丁、己禄在午，庚禄在申，辛禄在酉，壬禄在亥，癸禄在子。

驿马

申子辰，马居寅；巳酉丑，马在亥；寅午戌，马居申；亥卯未，马在巳。

丁神

甲子旬中丁神在卯，甲戌旬中丁神在丑，甲申旬中丁神在亥；甲午旬中丁神在酉；甲辰旬中丁神在未；甲寅旬中丁神在巳。

丁神由旬遁干产生，其性质若驿马，主动。

关于刑、冲、合、破、害，在三传起例项内有个别述及，这里更统一录之。

干合

甲己相合,乙庚相合,丙辛相合,丁壬相合,戊癸相合。

支三合

亥卯未三合木局,寅午戌三合火局,申子辰三合水局,巳酉丑三合金局。

支六合

子与丑合,寅与亥合,卯与戌合,辰与酉合,巳与申合,午与未合。

支刑

寅刑巳,巳刑申,申刑寅。

丑刑戌,戌刑未,未刑丑。

子刑卯,卯刑子。

辰、午、酉、亥各自刑。

支冲

子午相冲,丑未相冲,寅申相冲,卯酉相冲,辰戌相冲,巳亥相冲。

支破

子破酉,酉破子;丑破辰,辰破丑;寅破亥,亥破寅;卯破午,午破卯;巳破申,申破巳;未破戌,戌破未。

支害

子未相害,丑午相害,寅巳相害,卯辰相害,申亥相害,酉戌相害。

附 述

1. 关于起月将的其它说法

据《六壬视斯》载,前人有遵时宪书每月太阳过宫日易将者,又有于惊蛰前几日用亥将者。所谓惊蛰前几日用亥将说,可参《大六壬类聚》所载“十二月将”:

正月太阳在子,居危月燕八度,雨水后四日零八时入危十三度,到亥宫。惊蛰前十日是。

二月太阳在亥,居壁水獬四度,春分后六日零十时入奎木狼二度,到戌宫。清明前八日是。

三月太阳在戌,居娄金狗八度,谷雨后九日零一时入胃土雉四度,到酉宫。立夏前五日是。

四月太阳在酉,居昂日鸡九度,小满后九日零八时入毕月乌七度,到申宫。芒种前五日是。

五月太阳在申,居井木犴初度,夏至后八日零十时入井九度,到未宫。小暑前七日是。

六月太阳在未,居井木犴三十度,大暑后八日零二时入柳土獐四度,到午宫。立秋前六日是。

七月太阳在午，居张月鹿六度，处暑后九日零二时入张十五度，到巳宫。白露前五日是。

八月太阳在巳，居翼火蛇十八度，秋分后十一日零七时入轸木蚓十度，到辰宫。寒露前三日是。

九月太阳在辰，居角木蛟十一度，霜降后十二日零十一时入氏土貉十二度，到卯宫。立冬前二日是。

十月太阳在卯，居房日兔三度，小雪后十一日零五时入尾火虎三度，到寅宫。大雪前三日是。

十一月太阳在寅，居箕水豹五度，冬至后八日整入斗木獬四度，到丑宫。小寒前七日是。

十二月太阳在丑，居牛金牛四度，大寒后五日零一时入女士幅二度，到子宫。立春前九日是。

另有一种起月将说，谓月将从月令相合而起，其法先于每月中气之前，本月节令之后，视月将出现之支，得何阴阳，仿河图生成之数，阳从生数，阴从成数，因其数而超之。具体说为：

正月建寅，与月将登明亥合，视立春后几日得亥，亥乃地六成数，即超六日是辰，便从辰日亥时起亥将。

二月建卯，与月将河魁戌合。视惊蛰后几日得戌，戌乃地四生数，即超四日是丑，便从丑日戌时起戌将。

三月建辰，与月将从魁酉合，视清明后几日得酉，酉乃天九成数，即超九日是巳，便从巳日酉时起酉将。

四月建巳，与月将传送申合，视立夏后几日得申，申乃地四生数，即超四日是亥，便从亥日申时起申将。

五月建午，与月将小吉未合，视芒种后几日得未，未乃天七成数，即超七日是丑，便从丑日未时起未将。

六月建未，与月将胜光午合，视小暑后几日得午，午乃地二生数，便超二日是未，即从未日午时起午将。

七月建申，与月将太乙巳合，视立秋后几日得巳，巳乃天七成数，便超七日得亥，即从亥日巳时起巳将。

八月建酉，与月将天罡辰合，视白露后几日得辰，辰乃天三生数，便超三日得午，即从午日辰时起辰将。

九月建戌，与月将太冲卯合，视寒露后几日得卯，卯乃地八成数，便超八日得戌，即从戌日卯时起卯将。

十月建亥，与月将功曹寅合，视立冬后几日得寅，寅乃天三生数，便超三日得辰，即从辰日寅时起寅将。

十一月建子，与月将大吉丑合，视大雪后几日得丑，丑乃地六成数，便超六日得午，即从午日丑时起丑将。

十二月建丑，与月将神后子合，视小寒后几日得子，子乃天一生成数，便从本日子时起子将。

假如今年正月初五日癸丑立春，至十五日得癸亥，亥乃地六成数，便从亥起，顺数至第六日，二十日是戊辰，即从正月二十戊辰日亥时起亥将，余仿此。

《六壬视斯》即依此说。

2. 有关贵人起例的其它说法

一说前引贵人歌诀中之“甲戌庚牛羊”应为“甲戌兼牛羊”，“壬癸蛇兔藏”应为“壬癸兔蛇藏”，“六辛逢马虎”应为“庚辛逢虎马”，全歌即为：

甲戌兼牛羊，乙巳鼠猴乡。

丙丁猪鸡位，壬癸兔蛇藏。

庚辛逢虎马，此是贵人方。

依此说则甲、戌日昼贵在丑，夜贵在未；乙、巳日昼贵在子，夜贵在申；丙、丁日昼贵在亥，夜贵在酉；壬、癸日昼贵在卯，夜贵在巳；庚、辛日昼贵在寅，夜贵在午。

另有一说，用歌表示是：

庚戌见牛羊，甲贵未丑详。

乙贵申子是，己贵鼠猴乡。

丙贵酉亥酌，丁贵猪鸡方。

癸贵寻己卯，壬贵兔蛇藏。

六辛逢虎马，旦暮定阴阳。

此歌之义，上一字为昼贵，下一字为夜贵。此歌亦有拆为如下两歌者，但所指相同。

昼贵人歌

甲羊戊庚牛，乙猴己鼠求。

丙鸡丁猪位，壬兔癸蛇游。

六辛逢虎上，阳贵日中俦。

谓昼贵甲日在未，戊日、庚日皆在丑，乙日在申，己日在子，丙日在酉，丁日在亥，壬日在卯，癸日在巳，辛日在寅。

夜贵人歌

甲牛戊庚羊，乙鼠己猴乡。

丙猪丁鸡位，壬蛇癸兔藏。

六辛逢午马，阴贵夜时当。

谓夜贵甲日在丑，戊日庚日皆在未，乙日在子，己日在申，丙日在亥，丁日在酉，壬日在巳，癸日在卯，辛日在午。

3. 关于起算行年的其它说法

谓男从所生年之六甲旬首顺行三位起一岁，如甲子旬生，则从寅上起，顺数至今年若干岁止。女从所生年之六甲旬首逆行五位起一岁，如甲子旬生，则从申上逆数至今年若干岁止。俱从地盘推算。

甲子旬，男起丙寅，女起壬申。

甲戌旬，男起丙子，女起壬午。

甲申旬，男起丙戌，女起壬辰。

甲午旬，男起丙申，女起壬寅。

甲辰旬，男起丙午，女起壬子。

甲寅旬，男起丙辰，女起壬戌。

二、课 经 篇

按课体特点，壬课有六十四种划分，一般称为六十四课，与《周易》六十四卦相配，为壬学中的基本内容，亦为壬占所首重。《大六壬类聚》所载《课经》，每课皆先列《通龟》与《订讹》之论述，次纬以《观月经》、《心镜》、《袖中金》、《曾门》、《指窍》诸相关歌、论。《通龟》内容较为全面，然间有错讹；《订讹》正其错讹，内容简要，然对某些《通龟》已言及的内容则从略。二者对完整、正确理解壬课实不可偏废，故皆录入本篇。对《观月经》、《心镜》、《袖中金》、《曾门》、《指窍》诸相关内容，则弃其重复而仅择另有新意或阐述更明者作为附录。

日干十，日支十二，错综参互配合，共六十花甲日。每日十二时，以月将加时，壬课每日即有天盘、四课、三传不同的十二局，六十花甲日共成七百二十局，加之占分昼夜、将别顺逆、年命各殊、岁月相异，可谓万象纷纭，变化无穷。而将壬课分为六十四类，从大体区分，盖为握简驭繁，以别吉凶所主。其课体的划分与命名，所据因素颇为复杂，然多不离日辰、四课、三传、年命与占课时间而言。每一种类特点鲜明，熟则不难把握。

六十四课之三传起法皆不出元首、重审、知一、涉害、遥克、辟星、别责、八专、伏吟、返吟九课之例，余课只是从其它特点及占事所主而区分。但上述九课既然有其自己的课体特点及占事所主，自亦属于六十四课之内，而被称为“宗门九课”。因壬课的每一局、每一式往往既有此一课体特点，又具彼一课体特点，故实际上每一

局、每一式可兼具几种课名。如课经中元首课第二例，即四月丁丑日子时丑将例，因一上克下发用，故为元首；因三传巳酉丑，又为从革；因亥贵立于地盘卯上，又为励德。若配以其它因素如年命参看，或又可兼具其它课名。每种名义既有其规定根据，又有其占事之用。

课经于六十四课，多属既讲其体，又讲其用；既言其正，又言其变。体与用、正与变兼知兼顾，方为全面。

元 首 课

凡一上克下，余课无克，为元首课。象天。如君克臣，必顺其正，无乱动反常之理。为九宗之元，六十四课之首，故名元首。君占则有伊吕之臣，臣占必遇唐虞之君。常人占之，万事顺利。大哉元首，元亨利贞，首出庶物，万国咸宁。统《乾》之体，乃元吉第一课也。

象曰：天地得位，品物咸新。事用君子，忧喜俱真。君臣和合，父子慈亲。婚谐鸾凤，孕育麒麟。用兵客胜，论讼先陈。市贾出色，名利超群。官职首擢，柱石元勋。门庭喜溢，利见大人。如日辰用神年命值旺相气，乘吉将，更逢富贵、龙德、时太、三光、三阳、官爵、高盖吉课，有一助之，则有《乾》之九五“飞龙在天”，云龙、凤虎相从、大人之象也。

如甲子日卯时，子将占，寅命，行年在未，四课得一上克下，午加酉为用，曰元首课。（此必正月，仍用子将也，不然发用何云旺相？）

青
午
朱
卯
后
天
子

常 阴
午 酉 申 亥
酉 子 亥 甲

年
寅 卯 辰 巳
丑 午
子 未
亥 戌 酉 申
命

此课，子孙乘青龙发用，主文职占子孙及本身前程、家宅事。他日父子均登高品官爵。儿子于午年发科，未年及第，屢于寅、午火旺年月转官。本身见任，寅年应诏，官由词馆，屢于巳、丑年月转迁。家宅吉利，招女聪俊，获配武弁崇勋，多益母家。惟朔望弦晦日忌此课，为天烦也。

解曰：盖课得午加酉为元首，主首擢，利见大人。三传午为天马，卯为天车，子为华盖，为高盖乘轩，主公卿之贵。日辰、用神旺相，吉将在中，为三光，主加官进爵，庆贺之荣。又看青龙，主文书。甲木以午火为子，值旺相气，上乘青龙，午上遁得庚金为官星，行年未上辰乘六合，亦为儿，主子求官。午岁火旺，上见卯木相生，乘朱雀，主文字发科。未岁上见辰为亚魁，乘吉将，主及第佳兆。火为威仪，主礼部。午数九，龙数七，庚数八，主二十四年。火数二，主极品

高贵，尚书之位也。一阴二阳，以卯属阴为主，乘朱雀为文明。甲日
为本身，值旺相气，主见任干求官职。甲上亥为长生学堂，为天诏，
主应诏，官由词馆。卯数六，朱雀数九，主十五年，象首擢。旺气数
倍，主师傅极品之贵。卯为羊刃，属肝木，主风疾。未传为归结，子
数一，月将天后为恩泽，主乞求休时有加一品之恩。子与天后九数，
相乘主寿得八十一。支为家宅，子上见酉主招女；乘太常吉将，主聪
俊配武弁。相生，主益母家也。

如四月丁丑日子时，申将占，巳加酉为用，曰元首课。

常
巳
勾
丑
贵
酉

	贵		空
巳	酉	亥	卯
酉	丑	卯	丁
		空	
丑	寅	卯	辰
子			巳
亥			午
戌	酉	申	未
	贵		

此课，昔越王有郑妃，当诞，召范蠡占之。以月将申加子时，得
一上克下，巳加酉为用。上是旺火，克下死金，上强下弱，故决生男。
如秋占，火囚气，课皆阴，则未然也。如乙酉日，巳加酉发用，一上克

下，为元首课。巳岁占，则吉凶应在一岁之内。若正月建寅，用起功曹，则事应正月之内。丙子日立春，用起太乙、神后，则事应半月之内。甲子旬内起神后，则事应十日之内。庚申日寒蝉鸣，用起传送，则事应五日之内。日应日，时应时。旺气发用，主千求官职，相气经营财货，死言丧孝，囚主刑讼，休主疾病，墓主淹滞。诸课应验，同此推断。又于亥日未加亥、乙未日卯加未、丙申日卯加戌、壬寅日巳加申、辛酉日午加申发用之类，则为元首。六壬总计七百二十课，内合元首课凡一百一十有五。举此数课为例，则余课可推矣。

订讹

元首：一上克下，以尊制卑，大顺之征。为诸课首，故名元首。

占主天地得位，品物咸亨，事从外来，起男子，忧喜皆实，臣忠子孝，婚谐谋遂，孕生男，兵讼先者胜，贾人获利，官职首擢，利见大人。如日辰、年命、发用、正时六处值旺相，乘吉将，更逢富贵、官爵、三光、三阳等吉课，仕人贵显不可言。

此课大象顺利十分，然或得凶神恶将，三传不顺，反主下顺上而上不从。又如一上克下，而上休囚死气，下却旺相德合、岁月建，反主上虽制下而下不受制，未可执一也。

观月经 名月未圆

课中一克下，元首卦本宗。

元者，长也。首者，初也。上克下者，诸卦之长也。

起岁年华问，

· 本岁发用，其吉凶应年内也。假令太岁在寅，为功曹，其将勾陈，主一年内争讼田宅也。

逢蟾月内寻。

蟾者，月之名，十二月斗建是也。假令正月斗指寅，以功曹发

用，其吉凶在一月内必应也。

传辰旬日应。

假令正月将，甲子日午时占，第二课子加未，以神后为辰发用，其吉凶不出十日应也。

值日目前辰。

* 假令今日甲子，以甲为日，课中功曹发用，其吉凶当日应也。

气动蟾分体。

蟾者，一月之数也。体者，全之数也。分体，半月之数也。气动者，二十四气之首日为发用。每气十五日。假令丙子日立春节，四课之中，用起神后，其吉凶应在半月内也。假令丙子日立春，第五日庚辰，子将，卯时占，太乙加申，上克下为用神，初传勾陈，主财物、田宅斗讼，官灾不出一气之内也。巳火发用，即立春丙子也。

候来旬折身。

候者，七十二候也。旬者，十日也。每一候五日，折身是折破一句之数也。假令七月初一日寒蟬鸣为候，是甲申，第二日乙酉，寅时午将占事，三传申子辰也。传送加乙，一上克下，其吉凶应在五日之内也。或用起功曹亦是。

诸卦从此起，万类若通神。

凡七百二十卦，皆例此卦断之，取年、月、日、时为应期，明五行之奥义，通万事之正理，如神明也。

旺气言官职，

春木旺，夏火旺，秋金旺，冬水旺，四季土旺。如春月戊、己日占事，见木神发用，克今日土，君子有官职，小人争财、官事。若传入三光、三阳、三奇、六仪、不可例断官事也。

妻财相气论。

春火相，夏土相，秋水相，冬木相，季月金相。假如春月壬、癸日

占事，见火神发用，为妻财，主财帛事动。若不是妻财，则不可以财帛一例断之也。

死言丧者起。

春土死，夏金死，秋木死，冬火死。凡死气为用，乃丧亡之事，更与自克日，的应。假令春月壬、癸日，发用土神克今日干也。

因动见官刑。

春金囚，夏水囚，秋火囚，冬土囚，季木囚。凡囚气动者，更克日，为官鬼也。假令春月甲、乙日占，申、酉发用，乘凶将，主官词两伤也。

休来忧病患。

春水休，夏木休，秋土休，冬金休，季火休。凡占休气动，主疾病实患也。

诸家卦备陈。得旨从天降，不误后学人。

诸卦用元首五行旺、相、死、囚、休断之。君子得五行之旨趣，分明神报吉凶祸福，人事、物类、数目、远近、应期，皆同天降也。

重 审 课

凡一下贼上，余课无克，为重审课，象地。事逆，以下犯上，如臣谏君，不敢擅为，必再三详审，定计而后入，故名重审。积善者庆，积不善者殃。君子占之，利以攸往。至哉重审，含章可贞。或从王事，无成有终。统《坤》之体也。

象曰：承天厚载，柔顺利贞。一下逆上，岂无忧惊。贵顺福至，贵逆乱兴，事宜后起，祸从内生。用兵主胜，受孕女形。诸般谋望，先难后成，如初传墓绝，末传生旺，灾祸自消。生旺传墓绝不吉，墓绝传生旺吉。初传克末凶，末传克初吉。或逢龙、常、阴、后、六合吉。

将、生气、解神、天德、月德、天喜、德神、合神吉神，得一在末传，可化凶为吉。君子厚德，中道而行，则有《坤》六五“黄裳元吉”之象也。

如四月丙戌日巳时，申将，子命，行年在酉，以申加巳，一下贼上发用，为重审课。（四月如何申为相？取长生也。）

六
申

贵
亥

元
寅

阴	六
辰 丑 亥 申	
丑 戌 申 丙	

	贵
申 酉 戌 亥	
未 子 年	
午 丑	
巳 辰 卯 寅	
空 命	

断曰：此课申为相气，加巳，妻财乘六合为用，主谋为利禄事。中传官鬼乘贵，入亥为天门，主以财纳，官的京职。末传父母乘元武，主发财，能发身。三传递生日干，大吉，决主上人举荐，终始成就，高贵。为子求官，亦不免用财取贵。用起孟神，传入四孟，为元胎。戌支为妻，上见丑，为丙日火之子，申财亦为妻，乘六合亦为子。丑为天喜，主妻怀孕，课象弄瓦。中传属阴，为主。阳包阴，生女也。

如乙亥日辰时，酉将占，申命，行年在亥。寅加酉，一下克上为

用，曰重审课也。

		阴	
		寅	
		青	
		未	
		贵	
		子	
常	六		
酉辰	寅酉		
辰亥	酉乙		
	贵	命	
戌亥	子丑		
酉申	寅卯		
未申	巳辰		
	空	年	

此课，李司马占，旺气发用，日辰旺相乘吉将，为三光卦，主干求官职，有升迁庆贺之荣。果应验也。

订讹

重审亦名始入，一下贼上。以下犯上为逆，征事有可虞，须再三详审，故名重审。然止于一下克上，为发难之端，故名始入。

占主不忠不孝，事从内起，由女人，孕生女，兵讼后者胜，谋望先难后成。大抵贵顺吉，贵逆凶。墓绝传生旺吉，生旺传墓绝凶。初克末吉，末克初凶。全要末传得吉将、天月德等，可化凶为吉也。

此课利下不利上，然或一下贼上，而下休囚，上旺相，则下虽乖违，终不能肆害，如生金不畏死火之类。

观月经 名鵠鵠同筮

一下贼其上，重审卦本音。

四课中有一下贼上名重审卦，其体凶也。

父子相离析，夫妻不敬恭。

看发用的。卦是今日子孙，刑并，乘勾、虎、蛇，必害父也。若用是今日财，必妻害夫，此卦乃臣杀君、子杀父、妻杀夫、奴杀主也。

顺行犹自可，逆去忧来深。

天乙在亥，顺行，犹轻。天乙临戌，逆行，犹重。又曰，顺行则忧浅，逆行则忧深。

入墓应难避。

假令初传木，末传小吉，为木入墓，主杀害之事难避，他墓例此也。

传生可容易。

发用木神，末传亥为长生，事易避也。他生例此。

太常与阴后，合乙及青龙。同并生神处，恩来祸不从。

若贵、龙、合、常等同入长生之地，主反祸为福耳。

空元并蛇虎，勾雀墓未逢，喜事翻成恶。

凡元武、天空、蛇、雀、勾、虎皆为凶将，同末传入墓者，喜事反成恶事也。

亲者也成凶。

从生入墓者，吉变为凶，再有刑害者，纵亲者亦成仇怨也。

诸卦皆如此，学人莫乱攻。

下面诸卦皆如此一例推之。此是奥理难见也，如后人不得乱攻胡断之也。

知 一 课

凡课，有二上克下，或二下克上，择课之阴阳与今日比者而用神，曰知一课。比者，和也。阳日阳比，阴日阴比。二爻皆动，事有两歧，善恶混处，必知择其比和一善者而用之，故名知一。事宜惟一，允执厥中，占物、占人皆在近也。统《比》之体，乃去谗任贤之课也。比者，亲辅也，有“不宁方来”意。

象曰：比者为喜，不比为忧。词宜和允，兵利主谋。祸从外起，事向朋谋。寻人失物，近处堪求。如课下克上，有嫉妒，日辰贵后主迟疑。或至三克度厄，四克无禄，乱动狐疑，则有上六“比之无首，凶”象。或上克下，有嫌疑，日辰贵前主事顺。及止二克，贞固择一，则有《比》六二“自内，贞吉”之象也。

如八月壬辰日巳时，辰将，占得二上克下。壬日属阳日，取戌加壬，与日比发用，曰知一课。

白
戌

常
酉

元
申

朱 白
寅 卯 酉 戌
卯 辰 戌 壬

贵

辰	巳	午	未
卯			申
寅			酉
丑	子	亥	戌
		空	

断曰：此课，天魁官鬼乘白虎发用，主事由家奴起祸，中致妇女衣服、食物失盗，终可捕获，在西邻也。盖三传戌为奴，酉为妇女，太常为衣服、食物，玄武为失盗，比用为近，秋占旺气，失物可获也。

订讹

知一亦名比邻。或二上克下，或二下克上，择课之阴阳与日干比者为用神。阳日阳比，阴日阴比。二爻皆动，事有两歧，必知择而定于一，故名知一。

占主事起同类，祸自外来，失物、寻人俱在邻近。兵讼宜和。凡事狐疑不决。若是吉神，比者为近，不比为远；若是凶神，比者为喜，不比为忧。

此课大端舍远就近，舍疏就亲，恩中有害之象。

观月经

二下贼上为比用。

欲知比用卦，四课里头生。二体原来别，分身是两名。甲壬庚戌丙，比阳子戌呈，申午辰寅类，可应五阳精。

甲、丙、戌、庚、壬是阳日，若天盘内见申、子、辰、寅、午、戌，为阳神，有克者是比。若阴神，有克者是不比。

乙丁己辛癸，比阴卯酉成。登明丑未巳，可应五阴精。

此五阴干。若天盘上四课中见亥、卯、未、巳、酉、丑，有克为比，见阳有克是不比。

要用求相克，不比亦得行。

如阳日无阳克，有阴克，便以阴神相克者为用。

下克先取用，无下上神凭。

四课之中，下贼上为用，故曰“下克先取用”。无下贼上，取上克下者为用，故曰“无下上神凭”。

二下双克上，比者是亲情。俱比俱不比，涉害卦详明。

或有二下贼上，俱比、俱不比，以涉害取用也。

双上来临下，亦依此路行。

四课无下贼上，只有二上克下，与日是比者，亦依先克为用，亦仿此而取之。

二上克下为知一。

课中知一卦，体是相比邻。二上来临下，贼盗在逡巡，小心须准备，看看惹祸迤。若言失脱事，闭口卦中寻。

四课之中，二上克下，取比者为用，是知一卦，主贼盗亡失事。

若迫寻遗失，得。不得在闭口课内寻也。

涉 害 课

（尉山人云，上克下，取天盘孟、仲为验。存之。）

凡课，有二上克下，或二下克上，与今日俱比俱不比，则以涉地盘归本家受克深处为用，为涉害课。涉者，度也。害者，克也。若五行属土，则以土为深浅。如亥加丑土，前行历辰、戌、未、己、戌土位

五重归本家，亥位不论。孟、仲、季比用，止取涉度害克位之最深者，故名涉害。占者凡事艰难，必有稽迟，然历尽风霜而后得。统《坎》之体，乃苦尽甘来之象也。

象曰：风波险恶，度涉艰难。谋为利名，多费机关。婚姻有阻，疾病难安。胎孕迟滞，行人未还。如神将凶，三四克，灾深难解，则应《坎》初六“习坎入坎”象也。或我克他，日辰旺相，神将吉，受克浅，忧浅易解，事难终成，则应《坎》卦辞“有孚”“心亨”象，以是而行，必有功矣。

如正月丁卯日丑时，亥将占，二下贼上。若论仲季，则丑加卯，前行只历辰中乙木一重，归本家丑位。以亥加丑，前行辰、戌、未、己、戌土位五重，归本家亥位，此涉害深者，当取亥加丑为用，为涉害课。

朱
亥
贵
酉
阴
未

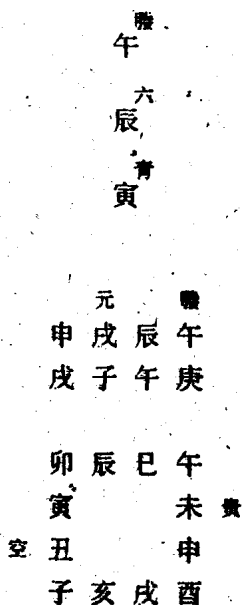
勾 常
亥 丑 卯 巳
丑 卯 巳 丁

空
卯 辰 巳 午
寅 未
丑 申
子 亥 戌 酉
贵

断曰：此课得涉害。亥岁占，朱雀发用，事于奏章，论讼犹豫，时宜见机而作，可行则行，可止则止。失计妄动，决入重险，始获宁家。凡课有二上克下，或二下克上，甚至四克贼，俱比俱不比，以寅、申、巳、亥孟神用，为见机格。如课中有仲、季，必待用孟之机深者。盖事之初起，祸福随之，见事必知机而作，故名见机。占事有疑，急需改变。若守旧，则有稽留难解之患也。

象曰：利涉大川，有孚贞吉。动作知机，不俟终日。名利难遂，胎孕未实，疑事急改，犹豫有失。如神将吉，以吉言；凶，以凶论。乃多算胜，少算不胜，将涉水，不轻进之象也。

如四月庚子日戌时，申将占，二上克下，以午加庚四孟位者用，为见机格。



凡课有克贼，俱比俱不比，无孟，取仲、季用，为察微格。盖孟深

仲浅，季作微分。课克无孟，必审察仲、季之微克者，故名察微。占者恐人不仁，或有小人谋害之意，必思虑提防，无可患也。

象曰：笑中有刀，蜜中有砒。大人利见，旧德微施。人情浅薄，世事难披。防范机密，物欲必齐。凡事详神将吉凶言之。乃少算胜而无算不胜，尚中正，不利涉大川之象也。

如庚戌日辰时，申将占，得二上克下，以辰加子四仲位用，曰察微格。

元
辰

青
申

滕
子

后	滕
午 寅	辰 子
寅 戌	子 庚

酉 戌	亥 子
申	丑 贵
未	寅
午 巳	辰 卯

凡课，涉害者复相等，以四课中先见者用，为缀瑕格。盖涉害数归本家，又复相似，刚日以日上先见神为用，柔日取辰上先见神为用。如二物相并，深中取先，高中取捷，冠上有缀瑕玉饰之，故名缀瑕格。占事艰难，首尾牵连，惟才德服众者吉也。

象曰：两雄交争，经延岁月。人众牵连，灾耗不绝。君子宜亲，小人可辍。胎孕逾期，行人失约。如月建、吉神入传吉。日辰有气，

虽事迟延，有成之象也。

如六月甲午日辰时，午将占，课得辰加寅，卯木一重，归本家辰位。申加午，历丁火一重，归本家申位。乃涉害相等。刚日以日上先见神为用，柔日以辰上先见神为用，名曰缀瑕。

合
辰
青
午
白
申

	白		合
戊	申	午	辰
申	午	辰	甲
空			
未	申	酉	戌
午			亥
巳			子
辰	卯	寅	丑
			寅

凡涉害课，用神畏日干所胜，以比和者为用，曰比用格。如甲戌日，论孟，用辰加寅，辰土畏甲木克，则取子加戌。子生甲木，比者为用也。戊辰、丙子日例同此推。又如甲辰，三传戌午寅，为脱气，凡谋难成，惟忧可解，殊不知戌土畏甲木，为不比，不取涉害，当取子水比和者为用，三传子申辰生日，凡为吉事皆成，惟凶事难散。戊子日午卯子，壬戌日申丑午，庚子日戌申午，乙卯日亥酉未，皆用比，不用涉害，故名比用。若妄用三传而灾祸异也。

假如乙卯日寅时，子将占，二下贼其上，当取亥加丑为用，乃为比用格。

元
亥
后
酉
未

元 白 常 空
亥 丑 子 寅
丑 卯 寅 乙

卯 辰 巳 午
空 寅 未
丑 申 贵
子 亥 戌 酉

订讹

涉害：二三或四上下相克，俱比俱不比，以涉害深者为用。涉，渡也。害，克也。从地盘历数归本家受克深者。假入庚子日，午加庚，戌加子，两上克下，俱与阳日比。午加庚金，前行历酉、辛金二重，归本家地盘午位；戌加子水，前行历癸水一重，归本家地盘戌位。二重者较一重为深，取午发用。丁卯日，丑加卯，亥加丑，两下克上，俱与阴日比。丑加卯木，前行历辰中乙木一重，归本家地盘丑位；亥加丑土，前行历辰、戌、未、己、戌土五重，归本家地盘亥位。五重者较一重为深，取亥发用。此皆遍历艰难险阻，故名涉害。

占主疑难迟滞，欲行不行，行事有两而取一，历尽风霜而后已，乃苦尽甜来之兆也。上克下忧轻，下贼上忧重。二克，又神将吉，忧轻；三四克，又神将凶，忧重。

见机，涉害俱深，则取四孟上神发用。孟为时令之首，一季之气候悉已胚胎，如事之初起，祸福藏焉，须见机详慎可也，故名见机。

占主事有疑，急须改变。若守旧，则愈稽留难解矣。此多算胜少算，趋安避危、先难后易之兆。若魁罡加日辰，官事欲起。

察微，涉害俱深，无孟则取仲上神发用。孟为四生地，生处见克，受害独深；由孟及仲，害渐浅而微矣。无孟必审仲季，而察其微，故名察微。

占主恐人不仁，或有计算谋害意，必思虑提防，可无患也，此少算胜无算，乃思患预防之兆。若魁罡加日辰，妇人产难。

缀瑕亦名复等。涉害俱深，孟仲季复又相等，则阳日取干上神、阴日取支上神为用。干上神，乃干两课之先见者；支上神，乃支两课之先见者。二物相并，深中取先，高中取捷，冠上缀有瑕玉，饰之为褻，故名缀瑕。

占主两雄交争，经延岁月，人众牵连，惟才德服众者吉也。切宜亲君子而远小人。（无缀瑕取法，姑存之。）

观月经

涉害卦相争，还从比用生。前头看同类，路涉阿谁同。有克量重数，偏多得用情。

假令甲辰日，亥将，卯时占，河魁加寅，下贼上，看地下前去离河魁本宫有八辰，路涉前头一重卯木，二重乙木，为涉害；其神后加辰，下贼上，看前去神后本家亦离八辰，巳上戊土，未土，未上己土，前又戌土，共四重，为受克多，故当以神后发用为精也。又神后为仲，河魁为季，孟深仲浅季无取，用戌者非也。

忽然涉害起，先举莫相争。

俱孟、俱仲，受克地盘俱同，为复等卦。如六月甲午日，申加午，下贼上，路涉丁火一重；辰加寅，下贼上，前涉卯木一重。此受下贼俱同，为涉害复等。辰加日为先举，当以辰为用，三传辰午申也。

卦入谁家体，相随灾福生。

看卦入何体，随卦吉凶断之也。

见机、察微（用孟为见机，仲季为察微）

二上双克下，卦元分两名。见机起四孟，求事后须成。

四课之中，有二上克下，分见机、察微也。假令正月己丑日卯时占事，系二上克下，卯临未，巳临酉，以巳为初传，是巳为孟，故以巳为用，求事先难后易也。

用起季兼仲，察微产妇惊。魁罡临四孟，必定举哀声。

涉害用仲、季者，为察微也，主产妇惊恐，如魁罡临四孟发用，即主伤产妇也。如正月庚寅，卯时占事，戌加寅为初传，是河魁临孟也。又酉时占事，天罡临寅亦是也。

心镜

神有两比两不比，上天垂象见人机。涉害发用为初传，作事稽迟多忧疑。患难消散经几日，占胎伤孕忌当时。失物定知家内窃，逃亡亲隐已非迟。

遥克课

凡课无克，取日干与四课上神相克者为用，曰遥克课。遇有两克，相比为用。遥相克贼，故名遥克。如蒿矢为镞，弹射为箭，射物

难中，不足为畏。凡事祸福不测，忧在西南，而在西北有喜。乾，阳方也。盖此课，先尽四课上神克日干为用，曰蒿矢格，如遥神克日，缓而且轻，折蒿为矢，力弱难伤，故名蒿矢。占事始而雷吼惊恐，终却无妨，。统《睽》之体，乃狐假虎威之课也。又睽，乖异也，“小事吉”。

象曰：始有凶势，愈久愈休。忧喜未实，文书虚谋。外祸干己，有客为仇。兵利为主，不利他求。如神将凶，贵逆，日辰、用神无气，主盗贼阴谋，有“载鬼一车”之凶象。若神将吉，贵顺，日辰、用神有气，则干贵有喜，行人来，访人见，事有成，灾祸渐小而安，有“婚媾”、“遇雨”吉象也。凶吉应在《睽》上九推之。

如壬辰日巳时，申将占，课上下俱无克，取遥克，则以辰上阴神戌土克日干壬水为用，曰蒿矢格。

青
戌
常
丑
后
辰

戌 未 巳 寅
未 辰 寅 壬

申 酉 戌 空
未 亥
午 子
巳 辰 卯 寅
贵

如课上下无克，又无神克日，则以日干遥克课上神为用，曰弹射课。盖我去克他以致远，如弹丸当箭，遥射旁物，难中，故名弹射。占者事远难就，纵成虚名虚利，不得实用。或日克两神，为箭中双鹿，事尤多心两意。

象曰：己谋他事，祸从内施。兵用客利，事宜后为。访人不见，行人未归。空亡发用，动作尤虚。如神将凶，带刑害，贵逆，主事不睦，多冤仇、盗贼，凶象。神将遇德合，贵顺，则亲朋和气，吉象也。

如壬申日申时，亥将占，用日克神，巳加寅为用，曰弹射。

	贵		
	巳		
	合		
	申		
	空		
	亥		
空	元		
寅 亥	巳 寅		
亥 申	寅 壬		
	空		
申 酉	戌 亥		
未 子	子 丑		
午 寅	丑 寅		
巳 辰	卯 寅		
贵			

订讹

蒿矢：上下俱无克，取神遥克日为用。神虽遥克，力弱难伤，不

能为害，如折蒿为矢，故名蒿矢。

- 占主始如雷吼惊恐，终却无事，愈远愈小，渐渐消磨。此时有客不可容纳，主小人口舌。凡事忧在西南，喜在西北。西北，乾，天门也。占事人谋己，利主不利客，利后动，利小不利大。神将凶，日辰无气，主盗贼阴谋；神将吉，日辰有气，则干贵有喜，行人来，访人见。

弹射：无神遥克日，则取日遥克神为用。日虽克神，终不能害神，如弹丸为箭，故名弹射。

占主己谋人，利客不利主，利先动，利上不利下。神将吉，遇德合，顺贵，主亲朋和气；神将凶，带刑害，逆贵，主事不睦，及冤仇盗贼，访人不见，行人不来。若克两神，为一箭射双鹿，事尤多心两意也。

此二课俱主远事，虚惊不实。纵有成就，亦虚名虚利。带金土煞则能伤人，盖蒿矢见金为有镞，弹射见土为有丸，主蓦然有灾。若传空，又名遗骸失矢，不能成事。大端祸福俱轻。若见太阴、元武、天空，当有欺诈之事而祸起。

二课有近射，有远射。第二课发用为近射，是日之两课自战，多主外事，不干于内，凶势略大，不可出尖。第三课、第四课发用为远射，凶势渐小。盖第三课乃辰阳，与日干相竞，尚觉凶重有力，不可先动，若第四课，无力也。

遥克中克多论比，涉害论深，以后凡克多者皆如此论。

观月经

蒿矢卦 神遥克日名蒿矢

四课俱无克，须看日本因。

四课无克者，以神遥克日为用。日本者，即十干也。

三神何地类，

三神者，日之阴神、辰之阳神、辰之阴神也。

类内阿谁嗔。俱比俱不比，先举用为真。

四课之中，两神克日干，以今日比者为用也，比者乃举也。

吉将朝天去，

初传及中末俱见吉将，乃出外朝天去也，触类而言之。

凶神祸到身。

若三传凶将，动者阴将，主有盗贼阴谋；阳将，主有人来害己身。吉凶灾祸，在重审卦注定矣。

弹射卦 日遥克神名弹射。

欲知弹射卦，日克卦中神。

四课无克，又无神遥克日，以日遥克神为用。或有日克两神，以今日比者为用。

求财合吉将，

三传不比，与今日是三合或六合，逢吉将者，必为喜庆之事也。

凶害遇仇人。

若凶将与六害动者，主欲为报仇人也。六害者，合冲助仇也。如甲日冲申，得巳为六害，发用是也。丙、戊日，得寅为发用，亦是害。自上六害乘凶将发用，为外动，仇怨是他人也；辰上六害乘凶将发用，为内动，仇怨是己身也。

刑动阴谋窃，

日干克神更与三刑并，又用凶将，主窃盗贼也。

相生各自伸。

相生或吉将，主各自伸舒也。

谋刑劫盗贼，

若三刑，有杀害之意。如子日得卯，为子刑卯也，为内动，己身谋害他人也。

合来喜事频。

若三合、六合，主喜庆之意。如甲子，亥发用为六合，或寅午戌为三合，更得吉将，主内动喜事。或青龙——财帛、喜庆、婚姻，逐类推之。

分明是两卦，体段一般陈。

陈，说也。一名蒿矢，一名弹射。支德亦喜，子曰在巳，顺十二支也。

昴 星 课

凡四课上下无相克，又无遥克，取从魁上下神为用，曰昴星课。昴星者，酉中有昴宿也。酉位西方，白虎金位，性主刑杀，义司决断，死生、出入之门户。此从酉立传。从魁，酉之神名，故名昴星。刚日仰视，地盘酉上神为用，中传辰上神，末传日上神，为虎视转蓬格。一曰春虎视，夏转蓬，秋昴星，冬蛇掩目。刚者，阳也。夫阳性从天，男子气浮，仰视之，如虎视之，转蓬而动，故名虎视转蓬。占事惊恐，守静则吉，统《履》之体，乃蛇虎当道之象也。履，有所蹶而进之意，履虎尾而不见伤之象。

象曰：关梁闭塞，越度稽留。行人作禁，孕男无忧。事恐惟外，祸起无由。家居守静，方免闲忧。如用囚死，罡乘死气、蛇虎入传，太凶，病者死，讼者狱。见龙亦凶，应六三“履虎尾，咥人凶”象。或日、用旺相，见魁罡、龙虎，为吉占，科举主高中，则有上九“视履考祥”、“元吉”之象。

假如戊申日卯时，辰将占，刚日昴星，取酉上戌为用，曰虎视格。

	玄	
	戌	
	常	
	酉	
	青	
	午	
常	酉	青
戌	未	午
酉	申	午
	戌	
空		
午	未	申
酉		
巳		戌
辰		亥
卯	寅	丑
	子	
	貴	

凡昴星课，柔日，伏视天盘酉下神为用，曰冬蛇掩目格。中传日上神，末传辰上神。柔者，阴也。阴性从地，女子气沉，则伏视之，如冬日蛇之掩目，故名冬蛇掩目。刚日，本乎天者亲上，末传归干，从天类也；柔日，本乎地者亲下，末传归辰，从地类也。占者事多暗昧，犹豫难行，惟欲潜藏者吉也。

象曰：人情失意，进退无凭。女多淫佚，内有忧惊。访人不见，作事难成。行者淹滞，逃亡隐形。如滕蛇，尤多怪梦忧疑。或申加卯，为车轮倒斲，传见虎、武甚凶。惟午加卯为明堂，主万事昌隆。盖午为离明，卯为天驷、房心、明堂之宿，纵遇衰败凶神，亦主吉象也。

假如丁丑日辰时，丑将占，柔日昴宿，取酉下神为用——子。

	子	青	
	辰		
	后		
	戌		
后	戌	丑	青
未	戌	丑	辰
			丁
			空
寅	卯	辰	巳
丑			午
子			未
亥	戌	酉	申
贵			

订讹

虎视转蓬：刚日，四课无上下克，又无遥克，取酉宫上神为用，中传支上，末传干上。酉中有昴宿，属秋分，为天地关梁，为日月出入门户，且属白虎金位，性主肃杀，义司决断，取以为用，故总以昴星名之。刚者，阳也。阳性从天，男子气浮，则仰视之，如虎视，转蓬而动，故名虎视转蓬。

占主惊恐，关梁闭塞，津渡稽留，出行身不得归，恐死于外。大抵祸从外起，惟家居守静则吉。

此课，如日用囚死，罡乘死气、蛇虎入传，大凶，病者死，讼者狱。若日、用旺相，又不在此论。

冬蛇掩目：柔日，四课无克，又无遥克，取酉下神为用，中传干

上，末传支上。柔者，阴也。阴性从地，女子气沉则俯视之，如冬日蛇之掩目，故名冬蛇掩目。

占主事暗昧不明，进止两难。女多淫佚，祸从内起，访人不见，行者淹滞，逃亡隐形。

此课，如滕蛇入传，尤多怪梦忧疑。或申加卯，为车轮倒，传见元武凶甚。惟午加卯为明堂，主万事昌隆。盖午为离明，卯为天驷、房心、明堂之宿，遇凶亦吉也。

上二课，刚日，本乎天者亲上，传终归干上，从天类也；柔日，本乎地者亲下，传终归支上，从地类也。以天道言，昴星阴气用事，微霜始降，枯槁皆死，此决断万物收敛精神之时也。以人事言，昴星于五行爲金，五常爲义，当其言不必信，行不必果，惟义所在，然后决之，故以昴星作课。然虽断之以义，亦归责于己，斯可矣，故终末从其日辰也。酉为天狱，二课最忌刑狱，大端惟潜藏稍吉耳。

别 责 课

凡三课无克，别取一神为用，曰别责格。盖阳干常动而易位，故刚日初传用于合上神。如戊癸合，癸寄丑，即丑上神为用。阴支常静而守位，故柔日以支三合前一辰。如未日，三合前一辰即亥字，为初传，中末俱并日上。此三课不备，别从其类责取一合神为用，故名别责。占者凡事不备，主有留连之体。

象曰：谋为处正，财物不全。临兵选将，欲渡寻船。求婚别娶，胎孕多延。损而能益，事遇神仙。如神将凶，日用休囚，则应凶象；神将吉，日用旺相，则应吉象也。

如丙辰日卯时，辰将占，昴星四课不备，刚日取丙合辛，辛寄于戊，即戊上亥为用。

贵
亥

青
午

青
午

空	青
午 巳 未	午
巳 辰 午	丙

午 未 申	酉
空 巳	戌 贵
辰	亥
卯 寅 丑	子

订讹

别责亦名芜淫不备课。无克又无遥克者，别取一合神为用，中末传重并干上。阳日取干合上神为用。如戊日合癸，癸课寄丑，取丑上神为用；丙日合辛，辛课寄戌，取戌上神为用是也。阴日取支前三合神为用。如未日，取未前三合亥；酉日，取酉前三合丑为用是也。盖四课不全，又不克，欲如昴星取酉，而课又不备，只得别从其类责取一合神为用，故名别责。阴阳全无克制，二阳一阴，如二男争一女；二阴一阳，如二女争一男。舍正而别求合，夫妇各得无淫佚之意乎？故亦名芜淫。

占主凡事不备，谋为欠正。且合神事主留连，临兵欲进不进，胎孕多延。凡事倚仗他人，借径而行，吉凶多系于人，不干己也。求婚

另娶，占家宅、夫妻事，当以淫断。

此课外，又四课备，有日辰互克、各生者，亦名芜淫。如甲子日，
戊午申辰，三传戊午寅。甲干，夫也。子支，妻也。甲欲从子忧
申克，子欲就甲畏戊克，然申子又自相生，乃妻与人有私；夫上戊为
用，传逢三合。内外生奸，各相背也。

戊午戊辰与丙辰，干上皆午是为亲。辛丑辛未各二日，干上皆
是丑未真。丁酉当为巳丁是，辛酉原来是酉辛。

法云，皆以天上作初传。刚日，人皆知取天盘矣。柔日，人皆取
支前三合，独不用三合上之神，何也？如巳日，取酉上神，非取酉也。
存疑。

别责虽亦名芜淫，其实芜淫乃另一取三课有克者是也，别责无
克。

八 专 课

凡干支同位，无克，取阳顺阴逆三神为用，曰八专课。盖八专日
有五，除癸丑日俱有克，无克者甲寅、庚申，刚日从阳，主超进顺布；
己未、丁未柔日，主退缩逆行。中末传俱并日上神。如甲寅日，干上
阳神亥，顺数至丑，乃丑亥亥也。丁未日，辰上阴神卯，逆数三辰至
丑，乃丑巳巳也。皆日辰阴阳共处论。伏吟四课，八字干支神同一
位，如八家同井事专，故名八专。占理家务，轻重易举，不利奔波于
外。统《同人》之体，乃诸侯会盟之课也。

象曰：二人同心，其利断金。阳进男喜，阴进女淫。兵资众捷，
物失内寻。成功异路，显擢士林。此八专为两课阴阳并，虽主事乖
疏，凡事以两课决之。阳日尊长欺卑幼，则主超进，主事欲速出。阴

日夫妻怀背，及奴婢反主，柔主退缩，主事迟欲归。占婚姻、进出口，主口舌分离，则应九三“三岁不兴”之凶象。若龙、常、天乙吉将及天月二德善神，则应《同人》九五“大师克，相遇”吉象也。

如甲寅日辰时，丑将占，刚日，顺数三至丑用，曰八专课。

		贵	
		丑	
		阴	
		亥	
		阴	
		亥	
白	阴	白	阴
申	亥	申	亥
亥	寅	亥	甲
寅	卯	辰	巳
贵	丑		午
	子		未 空
亥	戌	酉	申

凡八专课，遇天后、六合、玄武一将入传，为帷簿不修格。盖重门树塞，以限内外，讲堂设帐，以别男女。今阴阳共处，男女混杂，又遇后、合阴私之神，郑风尤甚，故名帷簿不修。主私佚不明，内失其体也。

如丁未日丑时，辰将占，八专课遇天后入传，帷簿不修格。

阴
亥

后
戌

后
戌

后 丑 后
戌 戌 戌 丁
戌 未 戌

贵 戌 亥
酉 子
申 未 午 巳 辰 卯 寅
空

凡八专课，逆数到日，中末相并，为独足格。夫三传皆归一神，如路遥驿递，无人传送，独展一足，难行，故名独足格。凡事不能动移，自己尤多费力。或中末传皆空，亦然也。惟利乘舟。

如己未日未时，酉将占，三传皆日上神，归为独足格。

六
酉

六
酉

六
酉

六 六
亥 酉 亥 酉
酉 未 酉 己

未	申	酉	戌
午			亥
巳			子
辰	卯	寅	丑

订讹

八专：四课缺二，止有两课，有克照常以克、贼、比、涉等项论。干支同位，专聚一处，故名八专。

占主二人同心，其利断金。兵资众捷，物失内寻。阳日尊长欺卑幼，主事超进迅速；阴日妻奴背夫主，主事退缩迟缓。占婚及进人口主口舌分离，占忧喜事俱重叠。

此课，若逢龙、常、天乙吉将及天月二德，则有同人协力，众轻易举之象也。

帷簿不修：八专无克，又无遥克，刚日从干之阳神连根顺数第三位为用，柔日从支之阴神连根逆数第三位为用，中末俱重并干上。如甲寅日，干之阳神亥，顺数三至丑，乃丑亥亥也；丁未日，支之阴神卯，逆数三至丑，乃丑巳巳也。八专之课已为尊卑共室，人宅不分矣，但有克者尚有制缚，不可以淫佚断，独此无克者，任顺逆数去，伸缩而用之，全无克制、防范，故名帷簿不修。

占主外不隔而内不备，事多重叠，忧喜再来，干涉妇人，久而反背。若后、合、元、阴入传，淫乱必矣。

独足：八专课内，己未日未时，酉将占，三传皆日上，酉酉酉。三传皆归一处，如路遥驿递，无人传送，独占一足难行，故名独足。

占主不能动移，极是费力。商贾不可行，占胎不成，远行宜舟。此课外，有八专中末传皆空者，亦如此断。

伏 吟 课

凡课，月将加时，十二神各居本宫，取神克日为用，曰伏吟。如子加子之类，则以神克日干为初传，取刑为中末传。此六癸日，初传丑，中戌，末传未是也。其天地神自居本家，日辰阴阳伏而不动，自相克贼，独隐呻吟，故名伏吟。占事静中有动。统《艮》之体，守旧待新之课也。

象曰：科举高中，求名荣归。病忧土怪，讼争田庐。春冬灾浅，秋夏势危。律身谨慎，动作无虞。如春占，木旺能克土鬼，冬令水旺，不畏土克；季忧土鬼，乘旺气；至秋鬼为崇，更乘凶将，其势危也，当应《艮》九三危“厉薰心”凶象。或天马、天喜、恩德吉神入传，日辰旺相，科举主中魁；求官职等事，则应上九“敦艮”吉象也。

如癸丑日午时，午将占，日上神丑加癸用，为伏吟课。

勾
丑

白
戌

阴
未

丑 丑 丑 丑

丑 丑 丑 癸

贵
巳 午 未 申
辰 酉

卯 戌
寅 丑 子 亥
 空

凡伏吟无克，刚日自以日神为用，曰自任格。刚者，阳也。日辰阴阳各居本家，并无相克，如甲日自用寅，三传寅巳申；丙、戊日自用巳，三传巳申寅；庚日自用申，三传申寅巳。然自任未免强暴用刑，故以刑为中末传。此天地神不动、不克，无所取择，自任其己之刚，进用于时，故名自任。占者自强出头。此当闭塞，为柔顺吉而事可成。

象曰：任己刚暴，必成过愆。行人近至，逃亡眼前。胎孕哑聾，病患留连。干谒不出，株守吉言。如甲日春占，丙、戊日夏占，庚日秋占，三刑全有气，无克，传逢驿马、劫煞，主守己待时，或不获己而动，亦动中有成，则应吉象。惟庚寅日，三传申寅巳，末太乙，为勾陈，刑克日干，非秋占者，多凶象也。余详神将吉凶推之。

如丙辰日申时，申将占，伏吟无克，刚日以巳为用，曰自任格。

 空
 巳
 元
 申
 六
 寅
青 空
辰 辰 巳 巳
辰 辰 巳 丙

空			
巳	午	未	申
辰			酉
卯			戌
寅	丑	子	亥
			贵

凡伏吟无克，柔日以支神为用，曰自信格。柔者，阴也。天地神不动、不克，如丁巳、辛巳、己巳，自用巳，三传巳申寅；丁丑、辛丑、己丑，用丑，三传丑戌未；丁未、辛未、己未，用未，三传未丑戌。此自信其己之柔，进用于人，故名自信。凡事不能动身，家宅不宁之体也。

象曰：潜藏伏匿，身不自由。逃亡近觅，盗贼内搜。病人暗哑，行者淹留。检身谨恪，无不优悠。如三刑全有气，主不获己协办事；四季全，争讼及田土事。日用休囚，神将凶，则主凶象；日用旺相，神将吉，则有吉象也。

假如丁丑日未时，未将占，伏吟无克，柔日用丑，为自信格。

朱
丑
后
戌
常
未

		常
丑	丑	未
丑	丑	未

空			
巳	午	未	申
辰			酉
卯			戌
寅	丑	子	亥
			贵

凡伏吟，用起自刑之神，传行杜塞，为杜传格。盖用日则终投于辰，用辰则终投日。次传复自刑，以冲为末传；次传非自刑，以刑为末传。如壬辰日，三传亥辰戌；壬午日，三传亥午子；乙亥日，三传辰亥巳；乙酉日，三传辰酉卯。皆初传用日自刑，中传杜塞而用辰，次传支又自刑，取冲为末也。丁卯、己卯、辛卯日，卯子午，皆柔日，用辰，取卯支刑子为中传；子卯两刑，不复再传，以子冲午为末传也。壬申日，亥申寅；壬戌日，亥戌未；壬子日，亥子卯；壬寅日，亥寅巳；乙丑日，辰丑戌；乙未日，辰未丑；乙巳日，辰巳申；乙卯日，辰卯子。皆用日自刑，中传支辰，以刑为末传也。丁酉、己酉、酉未丑；辛酉，酉戌未；丁亥、己亥，亥未丑；辛亥，亥戌未。皆用支辰自刑，中传用日，及日刑为末传也。盖用起辰、午、酉、亥自刑，传刑杜塞，故名杜传。占事中止，改求则可成也。

象曰：居者将移、合者将离。道由中止，事宜改为。传阳人至，传阴未归。占人求物，不出庭除。如将乘龙、常、贵人，身吉，坐而获喜；见虎、合、二马，静中有动，人信到门；见勾陈，沉屈不伸，动止稽留；见太阴，阴私难明；见天空，主虚诈；见六合、孟神，传阳，生男子。或子午全，则主道路及望信事；卯酉全，主门户事；四季全，主争讼田产事；四孟全，主不获己与人协动事。日用旺相，有吉象。

假如壬辰日酉时，酉将占，刚日用自刑，中传支辰又自刑，取冲戌为末传，曰杜传格。

空
亥

騰
辰

白
戌

	騰		空
辰	辰	亥	亥
辰	辰	亥	壬

貴			
巳	午	未	申
辰			酉
卯			戌
寅	丑	子	亥
			空

订讹

伏吟：十二神各居本位，如子加子、丑加丑之类，有克以克者为用，中取初传所刑，末取中传所刑。俯伏本家，不能变动，只有呻吟愁叹而已，故名伏吟。

占主屈不得伸，静中思动。

自任者，伏吟课，阳日无克，取干上神为用，中末传取刑。盖天地鬼神，不动不克，无所取择，自任其己之刚，进用于时，故名自任。

占主自强出头，而当闭塞。惟柔顺守静，吉而事成也。若任己过刚，必成愆咎。行人立至，然亦本家暂出之人，原非远也。失物、逃亡俱不远。胎孕哑聋，祸患流连。病主不语而呻吟，淹滞岁月。干

竭不出。

此课，如甲日春占，丙日夏占，庚日秋占，壬日冬占，三刑有气无克，传逢驿马，或不得已而动，亦动中有成也。

自信者，伏吟课，阴日无克，取支上神为用，中未传取刑。自信其在己之柔而自用，故名自信。

占主不能动身，乃家宅不宁之兆。

此课与自任课，占病、产、盗、逃俱同，讼狱俱主土田，关梁俱主杜塞。惟行人则自任立至，自信难期；出行则自任欲行中止，自信潜藏不出。若有丁马，俱可言动。

杜传者：伏吟课，发用于自刑，则次传取支；发用支自刑，则次传取干。次传非自刑，末传仍取刑；次传复自刑，则末传取冲。盖传行杜塞，故名杜传。

占主事中止，改图则可成。

心境

任信伏吟神，行人立到门。失物家内盗，逃者隐乡邻。病合难言语，占胎聋哑人。访人藏不出，行者却回轮。

返吟课

凡课，十二神各居冲位，取相克为用，曰返吟课。盖诸神返其位，坎离交易，震兑互换，日辰阴阳往来克贼，反复呻吟，故名返吟。凡占来者思去，离者思归，得失未可一定，惟利复旧事。统《震》之体，重重震惊之课也。

象曰：高岸为谷，深谷为陵。得物乃失，败物反成。安营离散，出阵虚惊。得生于外，害人自承。如巳亥巳返吟，多主改动、取索财

物文章事；卯酉卯，占家宅、门户、道路事；寅申寅，占远行、移动、争讼事。遇凶神凶将，主损失，虽动无益，有重重惊恼，则应六五“往来厉，亿……”凶象；遇吉神将，主赴省求恩，转官之喜，则应初九“笑言哑哑”吉象也。

如庚戌日寅时，申将占，十二神各居其冲位，为返吟格。

	白	
	寅	
	申	
	白	
	寅	
元		白
戌辰	申寅	寅庚
辰戌	寅庚	
	空	
亥子丑	寅	
戌		卯
酉		辰
申未午	巳	
	费	

凡返吟课，无相克，以支辰旁射敌上神为用，曰井栏格。盖返吟多相克，无克惟四日：己丑、丁丑、辛丑、辛未。然丑无克，用巳上神亥，未日用亥上神巳，如傍井倚栏，斜冲射之，不易井外，故名井栏射。井栏无来去，必中投辰上神而未投日上神为传，此其法也。占者无事依倚，一身两用之体也。

象曰：行人阻遏，盗贼相攻。内外多怪，上下不恭。旁求事就，直求道穷。三传救护，喜见青龙。如神将凶，则有凶象；吉，则有吉

象。

假如正月辛丑日巳时，亥将占，反吟无克，以丑支遥射巳上亥为用，曰井栏射格。

青
亥

癸
未

阴
辰

	腰		阴
丑	未	戌	辰
未	丑	辰	辛

	空		
亥	子	丑	寅
戌			卯
酉			辰
申	未	午	巳
		贵	

订讹

返吟亦名无依。十二神互换其位，有克照常克贼比涉等项论，彼此相冲，往来咨嗟不宁，故名返吟。且十二神各易本位，无所凭藉依附，故名无依。

占主事带两途，远近系心。往返无常，欲动不动。祸自外来，事从下起。背逆分离，有疑莫决。安营离散，出阵败奔。来者思去，去者复来，得失未有一定。巢穴改，官易位，亲情无始终，病亦两症相

侵。行多反复，惟利复旧事。大都凡动无凭，但当久动思静而已。巳亥巳，占改动、取索财物文字事；卯酉卯，占家宅、门户、道路事；寅申寅，占远行、移动、争讼事。神将凶，俱主凶动，有重重惊恼。

此课多主动，若去来空亡，又不以动论。

井栏射亦名无亲。返吟课无克，以支辰斜射为用，中传取支，末传取干。盖无克者，惟丁未、己未、辛未、丁丑、己丑、辛丑六日，丑无克，以丑宫癸水遥射巳宫丙火；未无克，以未宫己土遥射亥宫壬水。故丑日以巳上亥神为用，未日以亥上巳神为用，如傍井倚栏，斜射之，不出井外，故名井栏射。全是冲开，涣散不属，故又名无亲。

占主内外多怪，上下睽隔。井上架木，易欹易斜，不能长久之象。动则宜，静则扰。事无凭依，一身两用。旁求易就，直道难容。凡事速成易破。

此课，如遇吉神良将，凡事半遂，尤喜见青龙救护也。

三 光 课

凡课，用神、日辰旺相，吉神在中，为三光课。盖日为人，旺相，不但诸鬼不能胜，而人口又能峥嵘，一也。辰为宅，旺相，不但宅居广宽，而诸邪又不能入，二也。用神为日用动作，旺相，不惟所干无阻，而又事得光耀，三也。此三处神更乘吉将，又光其身，又光其宅。又光其动作，三者皆有光华，故名三光。占者万事任其所为，皆无费力而成，且有吉利。统《贲》之体，乃光明通达之课也。

象曰：课入三光，万事吉昌。刑囚释放，疾病安康。市贾得利，谋干俱良。福佑自至，凶祸消亡。如神将俱和合相生，日辰用神旺相，主迁官进职之荣，终始获喜，必有庆贺，万事吉昌，纵年命凶杀，亦不为凶，则应《贲》六五“束帛戔戔，吝，终吉”象。若日辰居天乙

后,中末囚死,则应三光失明之象,前有功德虚喜,后复抑塞难通。当应《贲》六四欲与初九婚媾,乃为九三间隔,未获相贲之象也。

如甲日未时,酉将,春占,日辰旺相,用神旺相,上乘吉将,为三光课也。

六
辰
青
午
白
申

青 六
午 辰
辰 甲

空	申	酉	戌
未			亥
午			子
巳			丑
辰	卯	寅	贵

订讹

三光:日辰、发用者旺相,乘吉将。日为人,辰为宅,用神为动作。三处旺相,乘吉将,是三处皆有光辉,故名三光。

占主光辉通达,百事吉昌,皆无费力而成。官荣,病安,囚释,市贾得利。如神将俱和合、相生,初末逢吉将,居官迁职,始终庆吉,纵年命凶煞,亦不为凶。

此课主吉，然末传亦最要紧。若日辰居天乙后，并未因死，乘凶将，为三光失明之象，前有功德虚喜，后复抑塞难通。

观月经 名开云观日。

用神如旺相，分配一光时。

如春木旺、火相之类。用神得旺相者，为一光也。

吉将临其上，二光得体仪。

如发用是吉将，即贵、青、常、合等，乘时旺相者，二光也。

日辰兼有气，三光不改移。

如春甲、乙、夏丙、丁之类。所值日時，当为三光也。

求事多来速，当官职不迟。

若无三刑六害，主喜事，求官必得。

末传无刑害，车马镇相随。三合与六合，逍遥自在期。

末传三合、六合，主有喜事也。

忽然刑害破，凶将家颦眉。

如三刑、六害，或冲破，兼凶将，主先祖有财，后来家道颦眉不足也。

三 阳 课

凡课，天乙顺行，日辰有气居前，旺相气发用，为三阳课。盖天乙贵人左行正理，阳气顺，一也；日辰前于天乙，阳气伸，二也；日辰旺相，阳气进，三也。此三者，阳气开泰，万物光辉，更兼吉将，故名三阳。占者凡事吉庆，所求皆遂。统《晋》之体，乃龙剑呈祥之课也。

象曰：课入三阳，官爵翱翔。讼狱得释，疾病无妨。财喜遂意，行人还乡。贼来不战，孕产贤郎。如神将上下相生，营谋万事皆利。

有官者职位高迁，病者死虽入棺当活，囚者刀虽临项无虞，纵逢伤害，喜事不迟，则应《晋》六五“往吉，无不利”之象。若天乙在辰，戌，为贵人坐狱，狱，阴地，用神为鬼数克日，中末无救神，则应三阳不泰，占事暗昧难就，未免先吉后否，则应《晋》九四“鼠，贞厉”之象也矣。

如乙丑日酉时，戌将，天乙子临亥，顺行；日辰在天乙前，寅为旺气，加丑发用，为三阳课也。

	朱		
	寅		
	六		
	卯		
	勾		
	辰		
	朱	青	
卯	寅	午	巳
寅	丑	巳	乙
	空		
午	未	申	酉
巳			戌
辰			亥
卯	寅	丑	子
			贵

订讹

三阳：天乙顺行，日辰居前，发用旺相。天乙左行，阳气顺，一也；日辰前于天乙，阳气伸，二也；用神旺相，阳气进，三也。三者阳

气开泰，故名三阳。

占主吉庆，凡求皆遂。官擢，讼解，病愈，财获，行人来，贼退，孕产贵子。如神将吉，上下相生，定主官职高迁，纵逢刑害无妨。

此课主吉，然或天乙在辰、戌，为贵人坐狱，狱，阴也，岂阳乎？用神为鬼克日，中末无救神，则为三阳不泰，占事暗昧难就，先吉后否。

附：课传中六阳俱备者，名六阳课，利公用，不利私谋。

订讹

四顺：初神将凶，末神将吉，一也；初死囚，末旺相，二也；天乙顺行，三也；传出天乙前，四也。四者皆为顺利，故名四顺。

占主始虽阻滞，终获通泰。

三 奇 课

凡课，得旬日之奇发用，或入传，为三奇课。如甲子、甲戌旬用丑，甲申、甲午旬用子，甲辰、甲寅旬用亥，此为旬三奇。“甲日用午丙奇辰，乙巳丁卯戊奇寅，己丑庚未辛申位，壬奇取酉癸戌云”，此为日奇。盖鸡鸣乎丑，日精已备；鹤夜半鸣，月精已备；斗转乾亥，星精已备。又丑为玉堂，子为明堂，亥为绛宫，此三者日、月、星精为旬用之奇，故曰三奇。占者百祸消散，凡事吉利。统《豫》之体，乃上下悦悌之课也。

象曰：

万事和合，千殃解除。婚求淑女，孕育贵儿。士有奇遇，病获良医。纵乘恶将，凶去吉随。如旬、日奇并临，吉课为上。有旬奇，无日奇，亦可用。或逢亥、子、丑兼全，为三奇联珠，大吉。更遇天上三

奇乙、丙、丁或地下三奇甲、戊、庚入传，尤利。居官则因异政超擢，出军利用奇兵取胜，凡事逢凶化吉，则有《豫》六二“贞吉”之象。若有干奇，无旬奇，神将凶，则应初六“鸣豫凶”也。

如乙酉未时，申将，初传亥加戌，旬奇发用，为三奇课。

		后		
		亥		
		贵		
		子		
		滕		
		丑		
	阴		青	
亥	戌	午	巳	乙
戌	酉	巳		
空	未	申	酉	戌
午			亥	子
巳			丑	贵
辰				
卯	寅	丑		

订讹

三奇，旬奇发用或入传是也。外又有连珠奇、遁奇、干奇。甲子、甲戌旬用丑，甲申、甲午旬用子，甲辰、甲寅旬用亥，此为旬三奇。盖丑为玉堂，鸡鸣于丑而日精备；子为明堂，鹤鸣于子而月精备；亥为绛宫，斗转于亥而星精备。日、月、星三者之精，为六旬之奇，故名三奇。若三传亥子丑，为联珠三奇。或天上三奇乙、丙、丁，地下三奇甲、戊、庚，为遁奇。又甲日午，乙日巳，丙日辰，丁日卯，戊日寅，己日丑，庚日未，辛日申，壬日酉，癸日戌，此干奇也。旬奇、干奇并临为上，有旬奇无干奇亦可。若止有干奇，不名三奇。

占主凡事逢凶化吉，不忌刑杀。士有奇遇，官以异政超擢，出军奇兵取胜，婚谐，孕生贵子，病讼解。

此课，如奇作空亡，未免奇精有损，其福减半，先明后暗，吉凶皆无成。

六 仪 课

凡课，的旬首之仪发用，或入传，为六仪课。甲子旬用子，甲戌旬用戌，甲申旬用申，甲午旬用午，甲辰旬用辰，甲寅旬用寅，此为旬六仪。“子午丑巳寅仪辰，卯卯巳丑辰仪寅，午未未申申仪酉，酉戌戌亥亥子神”，此为支仪也。盖旬首为六阳支神，星宫之长，直符之使，有礼仪之尊也，故名六仪课。占者凡事吉庆，家集千祥。统《兑》之体，乃喜气溢眉之课。

象曰：兆多喜庆，求旺相宜。罪逢赦宥，病遇良医。投书见喜，干贵逢时。杀神回避，喜转愁眉。如魁罡加日辰、年命，遇六仪为用，变凶为吉。或旬日仪神俱在传，更乘天乙吉将，为富贵六仪传，并支干之用，主人宅皆吉。或乙丑、己巳日夜占，乙酉、己丑日昼占，皆旬首作帘幕官，占科举必获高第。更得奇仪全会，万事动用无阻有喜，纵并诸恶，不能为害。初终传神将吉，乃终始有庆，应《兑》初九“和兑吉”之象。如有支仪，无旬仪，神将凶，则应《兑》九五“有厉”凶象也。仪用克行年者凶。

如丙辰日寅时，未将。寅为旬仪，又为支仪，加酉，一下贼克上，为六仪课。

青
寅
阴
未
合
子

贵 驛
寅 酉 卯 戌
酉 辰 戌 丙

戌 亥 子 丑
贵 酉 寅 寅
申 卯 空
未 午 巳 辰

订讹

六仪：旬仪、支仪发用或入传是也。旬仪、支仪并临为上。有旬仪，无支仪亦可；若止有支仪，不名六仪。

占主凡事逢凶化吉，不忌刑杀。求望得，投书、干贵宜，病遇良医，罪赦，官擢。若旬首为用，更作今日贵人，为富贵六仪；作帘幕官，士人高第。若奇仪全遇，凡百吉不可言。

此课吉，惟仪克行年凶。

时 泰 课

凡课,用起太岁、月建,乘青龙、六合,又带财德之神,为时泰课。盖太岁为天子,月建为诸侯,青龙为官长、尊贵、钱财、喜庆吉神,六合为谋干利禄、婚姻合和吉利。四者为用,并入传,更为日辰财德吉神,如人时运通泰,故名时泰。占者万事亨利。统《泰》之体,乃天地和畅之课也。

象曰:课入时泰,皇恩欲拜。灾患潜消,谋为无碍。逃亡必归,盗贼自败。孕育贵儿,前程浩大。如初传青龙,末传六合,或初传六合,末传青龙,但逢太岁、月建、月将并财德合吉神,则为福神相助,利见大人。朝天子,谒诸侯、大贵人皆吉。仕宦则逢荣宠、诏命、乔迁,常人则获财吉,大有嘉庆,当应《泰》六五“帝乙归妹,以祉元吉”之象也。

如子年戌月戌寅日戌时,卯将,子为太岁,又为日财德合,加未为用,初传青龙,末传六合,为时泰课。

			青
			子
		阴	
		巳	
			六
			戌
	贵	六	
子	未	卯	戌
未	寅	戌	戌

		空
戊	亥	子
酉		寅
申		卯
未	午	巳
贵		

订讹

值逢太岁、月建作日财德。太岁发用更佳，入传亦可。

订讹

天恩：干支得用，乘贵人，兼青龙、天后入传或在年命是也。干支属本季旺气谓之得用。如春占，值甲寅、乙卯日之类。兼贵、龙、后凑合，是上天布降恩泽，故名天恩。

占主仕者膺朝廷恩典，常人获贵人恩惠，孕生贵子，病痊，囚赦。

此课若传见空亡，又名天恩未定，事多虚喜。上人虽有意施惠，犹豫不决。

龙 德 课

凡太岁、月将乘贵人发用，为龙德课。当时太岁，人君也，首出庶物，而德被天下。月将，一月主宰之神，太阳也，悬像在空中而明照四方。天乙贵人，吉将之首也，降福致祥，而消苦超贫。若太岁与月将并者，更乘今日之贵神作用神，如龙行雨泽，德及万物，故曰龙德课。占者主天子恩泽，福神相助。统《萃》之体，乃云龙际会之课也。

象曰：君恩及下，万姓欢忻。罪囚出狱，财喜临身。利名易萃，争讼休陈。官爵超擢，利见大人。如太岁乘贵人发用，传中见月将，亦是。主仕宦者加官进爵，君臣际会，及恩诏宠泽之荣。若仕人干求禄位，则有天官赐福，见宰相，及君子所谋并吉，当获重重财喜，则应《萃》九四“大吉，无咎”之象。纵逢凶将，亦不为害。惟尊贵求卑下不吉。或带杀，为日鬼，占讼则事干朝廷，则应《萃》初六“有孚不终，乃乱”象也。

如癸巳年七月癸酉日酉时，巳将，巳为太岁，又为月将，又为日贵，加酉，上克下为用，龙德课也。

			贵	
			巳	
			勾	
			丑	
			常	
			酉	
	勾	贵	常	
	丑	巳	酉	
	巳	酉	癸	
	勾	六	朱	螣
	丑	寅	卯	辰
青	子			巳
空	亥			午
	戌	酉	申	未
	白	常	元	阴

订讹同意。

官 爵 课

凡课，得岁、月、年命驿马发用，又天魁、太常入传，为官爵课。驿马者，三合头冲是也，为驿递之神，传命之使也。人命、行年、太岁、月建并用之马，华丽异常。又戌天魁，为印绶。荣加官职爵禄，名曰官爵也。占事吉庆，仕宦升擢。统《益》之体，为鸿鹄冲霄之课也。

象曰：官爵印绶，得之荣华。财名吉利，病讼堪嗟。访人不在，行者还家。孕生贵子，仕宦尤佳。如四马带印绶，更遇德神、矢马、青龙、日辰二马，尤吉。日用旺相，主事速成，仕宦有迁官进爵之庆，常人见有见贵财利之喜，士子何忧上选不通？则应《益》初九“利用为大作，元吉”之象。若驿被冲破，魁、常值空亡，日用囚休，主事迟滞，而返栖惶，则为官爵失印之课，主官遭黜罚，文书沉匿，谋为不成，变喜为忧，当应上九“立心勿恒，凶”之象也。

如未年二月丁亥日巳时，戌将。癸亥生命，行年在午，上见亥。岁、月、日、命俱马在巳，发用，传遇魁、常，为官爵课也。

空
巳
滕
戌
常
卯

白	后
酉	子
辰	巳
亥	子
	丁

	贵	
戌	亥	子 丑
酉		寅
申		卯
未	午	巳 辰
		空

订讹

官爵：或驿马发用，印绶入传，或印绶发用，驿马入传。都要临日辰、年命为的。天魁，印也。太常，绶也。驿马，使命之神也。此拜除官爵之象，故名官爵。

占主无官得官，有官进爵。传中合神动，更主重迁，如寅为驿马发用，未传亥是也。驿马既动，行人至，贼来，求望遂，病必魂游千里，讼者遍于诸司，孕生贵子，访人不在。

此课，若驿马逢冲破，官爵淹留；印绶遇空亡，官爵脱失。

观月经 名平地登霄。

驿马当头发，官爵卦中流。

驿马发动者，为官爵卦。若庶人，的入官分，准此推之。

四路分明取，年月日时周。

记年驿马、月驿马、日驿马、时驿马俱全，为四路分明取之。

三合头冲是，年月一般求。日时同年月，四孟上追游。

申子辰，马居寅；亥卯未，马居巳；巳酉丑，马居亥；寅午戌，马居申。发用准求年、月、日、时三合也。

发用君王诏，加官移好州。

若见驿马四路俱动者，主大僚得位，别加其官；百姓得此，主官

中有喜事。

忽然驿马破，官职有淹留。

若申子辰日时，功曹发用，是驿马动也。若课中见传送，是驿马破也，主帝王降罪之兆也。

末传合神动，重前喜不休。

如申子辰年月日时，见功曹为驿马，不见传送，末传见登明，为驿马合神也。

心境

印绶两般初用现，

天魁为印，太常为绶，此两般初用俱遇，是大吉之卦也。

四驿马以传内逢。

四驿马者，太岁、月建、日辰、行年。假如二月建卯，太乙是驿马，行年在申，功曹是驿马。

值此就是名官爵，末吉保忧选不通。

更若末传德合吉神吉将助马，求官入选，迁改并通。

富 贵 课

凡课，得天乙乘旺气，上下相生，更临日辰、年命发用，为富贵课。盖天乙在紫微门外，近左枢，居太乙右，为十二神元首，主干贵、上官、田土等事。然贵人理事，而且贵。占者家道荣昌，官职显耀。统《大有》之体，乃金玉满堂之课也。

象曰：天降福德，万事新鲜。财喜双美，富贵两全。孕生贵子，婚配婣娟。狱讼得理，谋望胜前。如戌加巳，则富贵权印之象，最吉。更逢太常为绶，逢驿马乘青龙，则主获财利珍宝，积代富贵，无官必

遇上台委用，有财喜胜常，有官者决遇明君取擢，享福禄尤浓，则应《大有》上九“自天佑之，吉无不利”之象。若贵人临辰、戌，为入狱，其势消灭，则又不美，当应九三“小人弗克”，为害之象也。

如二月辛巳日丑时，戌将，寅命，行年巳占。寅为天乙，旺气，临行年、日支~~亥~~相气，上下木火相生发用，为富贵课。

	贵		
	寅		
	六		
	亥		
	空		
	申		
	贵	白	
	亥	寅	辰
	寅	巳	未
			辛
贵			
年	寅	卯	辰
	丑		巳
	子		午
			未
	亥	戌	酉
	命		申
			空

订讹

富贵：天乙发用，乘旺相，临日辰、行年，传终有气，是也。又干支逢禄马亦是。天乙为十二神元首，专主财喜、官爵等事，富而且贵，故名富贵。

占主家昌官显，富贵两全，孕生贵子，讼理谋遂。如传遇戌加

巳，又富贵权印之象，更吉。若遇太常为绶，及驿马乘青龙，尤主积代富贵，无官者有官，有官者高官。

此课，如贵人入狱，又名势消课，告贵不允，所占皆凶。乙、辛、辰、戌日及辰、戌年命之人又不以坐狱论。又贵人坐狱为受贿，宜阴祭私祷。凡传见昼夜两贵，主告贵求事必干两处贵人成就。然或四课三传皆昼夜贵，为遍地贵人，乃贵多不贵。告贵反无依。在任多差使或权摄不一。占讼主干多官，尤凶。日贵在夜，夜贵在日，为贵人蹉跌，告贵干事多不归一。然日贵在夜，开眼作暗；夜贵在日，自暗而明。日贵临夜贵，夜贵临日贵，官访官得见，下人谒官不见，以贵往见贵故也。贵在干前，事不宜迫；迫反为贵所怒；贵在干后，宜催，不催事慢。两贵逢空，或事许后无成，或误报虚喜，换旬可成。两贵坐受克方，不可告贵用事，占讼贵人怒。朱雀所乘神克贵，求文书贵人忌惮。六丁日，贵作日鬼临日，占官利，占病神祇所害，临支家神致病，宜修设安慰宅神。墓鬼尤凶。贵作六害，占讼理直而遭屈断。此皆不论发用与否也。

轩 盖 课

凡课，值胜光为用，遇太冲、神后，为轩盖课。神后，子也，为紫微华盖；太冲，卯也，为天驷、天车；胜光，午也，为天马。此三神并遇，如乘驷马轩车，高张华盖，故名华盖。占者加官荣显，凡事吉庆。统《升》之体，乃士子发达之课也。

象曰：课遇高轩，车马皆全。朱轮稳上，诏用荣宣。求财大获，疾病难延。干贵欢会，行者必旋。如胜光又作月内天马，太冲又作月内天车，正、七月内是也。然车马既动，出者必行，闻贼必来。余月轩盖又带三交，出军冲野，决防战斗，论讼换司易衙，病者魂游千

里。或年命有龙，出行大雨。车马作财，财自外来。更日用旺相，又为太岁、月将、德神，上乘贵人、龙、常、后、合吉将，当主出入见君、拜官，驿马高车，华盖执节，喜庆宠禄，十全之荣，官爵当践公卿之位，则应初六“允升，大吉”之象。若三传带杀，乘蛇、虎、死气克年命、日辰，或空亡，或卯作丧车，则刑冲从凶而动，变轩盖为三交，身弱人衰，则为乘轩落马之象，主伤躬被脱，望事无成，则应上六“冥升，消不富”之象也。

如甲子日卯时，子将，三传卯午子，为轩盖课。

青
午
朱
卯
后
子

常 阴
午 酉 申 亥
酉 子 亥 甲

寅 卯 辰 巳
贵 丑 午
子 未 空
亥 戌 酉 申

订讹意同。

铸 印 课

凡课，得戌加巳中传，为铸印课。戌，天魁也，为印。巳，太乙也，为炉。盖戌中有辛金，与巳中丙火作合，全凭火炼铸成贵器，为符印，故名铸印。占者符命入手，官增权柄。统《鼎》之体，乃炼药成丹之课也。

象曰：顽金铸篆，藉火功全。官职高擢，诏命重宣。产孕大吉，干谒良缘。庶人不吉，疾病官愆。戌巳日，又为生日之印，更遇太常为绶，乃印绶双全；传见太冲为车轮，则铸印乘轩之象。占科举，求官爵，见君王，进策，上书，主官爵高迁，所求遂意，当获印信、喜庆、恩命之荣。乘贵人、龙、常、阴、合吉将，日用旺相，大利，则应《鼎》上九“玉铉，大吉”之象。若春夏巳午日时，火旺，戌值空亡、月破，日辰俱无气，则有破印损模之象。如遇神将凶，主先成后破，徒劳心力，事终不济。及庶人占之，反主官灾、刑害之事，则应九四“鼎折足，覆公餗，其形渥凶”之象也。

如丙子日未时，子将，巳加子用，传遇天魁，末乘太常，为铸印课。

空
巳
蛇
戌
常
卯

	空	騰
戌	巳	卯
巳	子	戌
		丙

	貴	
戌	亥	子
酉		寅
申		卯
未	午	巳
		空

订讹

铸印：三传巳戌卯。巳为炉，戌为印，卯为印模。戌中辛金逢巳中丙火作合，锻炼铸成符印，故名铸印。卯为车，又名铸印乘轩。

占主符命入手，科甲官爵俱高，干谒吉。如戌、己，又为生日之印，更遇太常为绶，乃印绶双全，定主转迁超擢。

此课多主事成迟晚，然惟利官，庶人不吉，更不利于病、讼、忧、产四事。又夏月巳、午日時，或值蛇、雀，火太旺，戌卯或值空亡，则为破印损模，官必不迁；兼遇神将凶，主先成后破，徒劳心力。大都铸印乘轩，须得驿马、太阳、六合，乃为真体。又有丙子日，戌加干上，得吉将，亦名铸印。春夏丙丁日火太过，不在此论。然须白虎、太阳、蛇、雀金火之将入传。若金少火多，火少金多，为五行不备，必有所伤。或未传得天后、元武，更临水乡，与日相破，名曰铸印不成，来意主望官爵吉事，欲成中阻耳。又铸印课，乘日墓，主退失，或旧事再新。

斲 轮 课

凡课，卯加庚或加辛为用，曰斲轮课。卯为车轮，庚、辛为刀斧，木就金斲，故名斲轮。占者官、禄位高迁。统《颐》之体，乃革故鼎新之课也。

象曰：木欲成器，须假金斲。孕病凶险，财喜欢跃。禄位加增，官职超擢。戌印、常绶，遇之犹乐。如太冲加庚为上，加辛次之。缘卯中有乙木，与申中庚金作合，乃成贵器。更遇天乙、龙、常、阴、合吉将，及驿马德合吉神入传，主官爵践公卿之位。或壬癸日见水神为舟楫，初末有马引从，为轩车，能任重致远，有除授官职之喜，则应《颐》上九“利涉大川”吉象。或木休囚，乘白虎，为棺槨；值空亡，为朽木难雕。春季甲乙日，寅卯时，为伤斧；秋季庚辛日，申酉时，为伤轮，返凶。或辛卯日，干上卯，为财就人象，宜急取之，缓则被卯木克其戌土，反有害也。

乙未日，未加乙同。当《颐》初九“观我朵颐”之凶象。

如辛丑日辰时，亥将，一下克上，卯加申为用。曰 轮课。

元
卯
勾
戌
后
巳

朱 后
卯 申 子 巳
申 丑 巳 辛

空			
子	丑	寅	卯
亥			辰
戌			巳
酉	申	未	午
			贵

订讹，

斲轮：卯加庚、辛、申、酉发用。卯为车轮，金为斧斤，木就金斲，故名斲轮。

占主禄位高迁，革故鼎新之象。更喜戌为印，太常为绶入传。卯加庚与申为上，辛、酉次之。缘卯中乙木与申中庚金作合成器。或壬、癸日，见水神为舟楫，初末有马引从，为轩车，能任重致远，除官必矣。斲轮，来意主谋望官事，先历艰难，后却有成。盖木畏金，故主艰难，然后成也。将得龙、常、阴、合，方成其体，求财大获。寅亦是木，如何不作斲轮？盖寅乃天梁，成器不须斲也。

此课多主事成迟晚，占孕与病讼忌之。或木休囚，乘白虎，为棺槨。值空亡，为朽木难雕，须另改业。春季甲、乙日，寅、卯时，木太重，为伤斧；秋季庚、辛日，申、酉时，金太重，为伤轮，反凶。或辛卯日，干上卯，为财就人，宜速取之，缓则被木克其戌上，反有害也，与乙未日未加乙同。若传见本日墓神，名曰旧轮再斲，来意主退官失职，再谋复兴之意。大都斲轮课，木日艰难，火日灾疾，金日获福，水日心不定，变易、艰难中遂意，土日流转。

引 从 课

凡课，日辰干支前后上神发用，为初末传，曰引从课。如庚辰日，干上丑，昼贵人，初传寅加酉居日前，末传子加未居日后，日干得前引后从，为拱天干，又为拱贵，主官职升擢，诸事最吉。壬子日，干上辰，初传巳，末传卯，为两贵引从，主上人提携，或众贵引荐，成合事大利。甲午日，初传子居支前，末传戌居支后，前后遇引从，为拱地支，主迁修家宅大利。丁酉日，酉为夜贵加丁干，亥为昼贵加酉支，年命在申，为贵临支干拱年命，宜告贵用事，必得两贵成就。丁巳、己巳、癸亥日伏吟，为干支拱日禄，宜占食禄事。庚午、己酉日伏吟拱夜贵，甲子日伏吟拱昼贵，为干支拱贵，宜告贵处事。此贵人出行，前者引，后者从，故名从引。统《涣》之体，乃车马蜂拥之课也。

象曰：拱夹支干，仕人佳兆。官职升迁，名利荣耀。孕生英儿，婚招金玉。出行取财，干贵欢笑。如日辰上乘墓鬼，遇引从，六处有冲克，凶散，最吉。或干支并初中及中末拱地贵，告贵谋事亦吉，则应《涣》六四“元吉”之象也。

假如壬子日巳时，戌将，初传巳加子，末传卯加戌，拱定干神，为二贵引从天干格课。

贵
巳
青
戌
阴
卯

	贵		后
戌	巳	酉	辰
巳	子	辰	壬

	空		
戌	亥	子	丑
酉			寅
申			卯
未	午	巳	辰
		贵	

订讹

引从：前引后从，或初末传拱干。主得人提携成合事，大利。或两贵拱干，主官职升擢；或初末传拱支，或两贵拱支，主家宅吉庆；或贵临干支拱年命，主得两贵成就；或干支拱日禄，宜占食禄事；或干支拱贵，宜占告贵事。又有干支并初中及中末拱地贵，亦是。此皆前引后从，故名引从。

占主求官、求财、出行、婚孕皆宜。

亨 通 课

凡课，用神生日，及三传递生日干，或干支俱互生旺，为亨通课。如丙申日，三传申亥寅，初生中，中生末，末生日干也。癸丑日，三传酉丑巳，末生中，中生初，初生日干也。为递生，主上人推荐，或官员请举，及文状事始终成就。辛卯日，干上亥，支上辰，为互生。丙寅，干上寅生丙，支上亥生寅，为俱生。主彼此和顺，两相有益。遇

生我，两家合本求利。甲申日，干上酉，乃支之旺神；支上卯，乃干之旺神，为互旺，主客两相投奔，互有兴旺。壬寅日，干上子，支上卯，为俱旺，自在坐用，谋为省力，或事已失欲复旧，或本职迁转极妙，或坐待通太，无心中得人照扶兴发。此三传递生，日辰生旺，主人亨利，时运开通，故名亨通。统《渐》之体，乃福禄来临之课也。

象曰：三传相生，干支有情。官逢荐擢，士获科名。婚姻合和，财利生成。经营诸事，贵人欢迎。如三传递生，俱要与日干有情，此则隔三隔四有人于上位推荐。或末助初传生日，主旁人暗助吹嘘。或末助初传作日财，主暗地人以财相助。或支加干生日，为自在格，主人来资助于我。或三传生日，俱为大吉。当应《渐》六二“鸿渐于磐，饮食衎衎”吉象。若递生值空亡、破刑、克害，无甚解救，为凶，凡事亦难就。或初生中，中生末，末克日干，为恩多怨深，作事美中致怨。或干支俱旺，及旺禄临身，传财逢空，不可舍此别谋动作。倘有意外之图，远动谋为，则羊刃变为罗网缠身，反为灾祸。六处有冲为破罗、破网，无冲克为凶，当应《渐》九三“利御寇”之凶象也。

如丙戌日申时，亥将，申加丙为用，初传申生中亥，亥生末传寅，寅生日干丙火，为亨通课。

合
申
贵
亥
元
寅

阴 六
辰 丑 亥 申
丑 戌 申 丙

			贵
申	酉	戌	亥
未			子
午			丑
巳	辰	卯	寅
空			

订讹

亨通：干支生旺。或初生中，中生末，末生干，及末生中，中生初，初生干，为递生格；或干上生干，支上生支，为俱生格；或干上生支，支上生干，为互生格；或干上乃干旺神，支上乃支旺神，为俱旺格；或干上乃支旺神，支上乃干旺神，为互旺格。此皆亨利通泰之象，故名亨通。

占主大吉。递生，得人重重举荐，始终成就；或末助初传生日，主旁人暗助吹嘘；或末助初传作日财，主暗地人财相助；俱生人宅各安，互生彼此相助和合；俱旺谋用省力，互旺彼此两相投奔，互有兴旺。

繁昌课

凡夫妻年立德方发用，为繁昌课。盖夫妻行年乘本命旺相气，又值干支德合，或年立时令旺相之乡，此阴阳俱胜，运气交接，夫妻合好，情欲必动，妊娠繁华昌盛，故名繁昌课，占者人丁旺相，胎孕招贵，统《咸》之体，乃男女合感之课也。

象曰：阴阳和合，万物生成。命招贵孕，娠必男形。谋为大利，家道自兴。如逢互克，分散零丁。夫命是水，行年甲寅 上见子水，

水木相生。妻命是金，行年己亥，上见酉金，金水相宜。甲与己合，寅与亥合，各乘本命旺气，为德孕格。或发用此二命，主怀孕，年内必生贵子。或已有孕，妻年上酉，法主十一月乙日午时当产。甲己合，主生子黄色，壮大，端厚，好读书，得官也，当应《咸》“亨，利贞，娶女吉”象。产期法，取妻年位上神前三临官位为生月，冲位干为生日，乃分十干次第推。辰、戌月用戌，丑、未月用巳，后三绝位为生时。如妻行年上见申，主十月甲日巳时分产，余仿此。生子善恶情性，如夫妻行年丙辛作合，主生子黑色，肥满，多力，凶恶，为人好武得官；丁壬，主青色，目深秀，多道艺，文学得官；乙庚，主白色，清俊，好音律，善兵法得官；戊癸，主赤色，上尖下大，爱畋游，善技术得官。行年值败绝刑害，为德孕不育，当应《咸》上六“咸其辅颊舌”之象。

如壬申日未时，已将，夫行年甲寅，妻行年己亥，上下相生，作合，乘本命旺气，为繁昌课德孕课。

		后	
		午	
		辰	
		六	
		寅	
	后	常	
	辰	未	酉
	午	申	壬
	贵		
卯	辰	巳	午
寅			未

丑		申
子	亥	酉
夫	空	妻
年		年

观月经

夫妻行年上，德孕卦如何。夫年四十九，岁在甲寅落。妻年三十四，己亥五行科。

男行年一岁起丙寅，逆总顺零，四十九在甲寅；女行年一岁起壬申，顺总逆零，三十四在己亥也。

己得亥上甲，产子更无过。

甲与己合，寅与亥合。

此年的有子，依理定无差。此为怀孕卦，行年若调和。

男女行年若相调和也。

不论三传事，学人奈如何。他例还依此，欢唱是高歌。

旺孕格

凡夫妻行年俱随旺相气，三合位上，为旺孕格。盖三合异方，同类相望，又逢兴旺之时，当主胎孕，故名旺孕格。受孕法，如妻行年见己，主正月壬日申时受孕。其法，取妻年上神后三位受气为孕月，冲位干为孕日。亦分十干次第。辰、戌月用戊，丑、未月用己，前三位临官为孕时。妻行年上见午，主二月癸日酉时当受孕，余仿此。

观月经

夫妻年命上，旺相两般推。妻金三十四，夫水三十七。女命亥上觅，夫年寅上推。七月未时占，妊孕无改移。从魁临在亥，金旺更无疑。

妻命是金，年上见酉金，旺也。七月金旺占。

神后立于寅，夫运五行知。

夫命是水，行年上见子，是水旺也。

二旺当怀孕，合卦宜所归。

夫妻行年俱旺，当怀孕生子也。

阴阳生是子，胎命合如斯。他年依此起，

其他夫妻行年亦依此起。

旺孕卦推移。不干三传事，此课少人知。

不与四课三传事同。

心境

夫妻行年旺相神，异方三类合同群。春占有孕在何处，妻年夫年立在寅。

如春占，木旺火相，夫年三十七，行年在寅，妻年二十七，行年在午，故云“夫妻行年旺相神”。寅在东方，午在南方，寅午三合，故曰异方三合也。

受气于秋何以决，妻在子兮夫立申。

或秋占，金旺水相，申子亦是三合也。

此类悉皆为合类，欲求他年在区分。

荣 华 课

凡禄马、贵人临干支、年命，并旺相气发用，入传，更乘吉将，为荣华课。如丙寅日干上申、支上巳，为干支禄马，申发用，中传贵人。主君子加官进禄，常人谋为财利、进身、修宅俱吉。壬申日干上寅之类亦然。此禄马又遇贵人，主人荣达，又遇光华，故名荣华。统《师》之体，乃士众拥从之课也。

象曰：干支吉神，人宅俱利。经营俱亨，动止均美。孕育麟儿，

婚成连理。用兵征讨，得地千里。如癸丑日巳加癸，日贵为财，丙寅日申加丙，日马为财之类，大利求财。甲申日干上丑之类，为干支见昼夜贵人，主事情得两贵周全成合。乙酉日子加申之类，为昼贵坐夜贵。丁卯日夜，酉加亥之类，为夜贵坐昼贵。宜告贵求事，必干两处贵人成就，惟占谒不见，缘贵往见贵，多不在宅，或官长访官得见。甲、戊、庚日干上丑例，为贵人临身，宜干贵成事。乙、辛二日干，见贵人临身，辰、戌上，非坐狱，亦宜干谒，余日坐狱为受贿，宜阴谋私祷。或一日全无逆贵，凡进取、告贵、催督诸事，皆顺无阻，贵为月将尤美，当应《师》九二“承天宠”吉象。如一日全无顺贵，及贵人坐狱，告贵不允，宜退，不宜进，进则返坐。甲子日昼贵丑坐酉，夜贵未坐卯，为贵人蹉跎，告贵干事多不归一。丁酉日干上酉、支上亥，四课皆是昼夜贵人，为遍地贵人，乃贵多不贵，告贵无成，事反无依，在任多差使，或权摄不一，占讼尤凶。日贵在夜，开眼作暗；夜贵在日，自暗而明。贵在于前，事不宜迫，迫反为贵所怒；贵在日后，宜催不宜慢。丙、丁日亥加未、酉加巳之例，两贵坐受克方，为尖担两头脱，不可告贵用事。或白虎乘丑临丑，占讼贵人嗔怒。朱雀乘神克贵，求文书贵人怠憚。此例不论在传与干支见也。丁丑日酉加未、亥加酉为例，两贵逢空，凡事许后被人搀越，或人误报虚喜，喜反有所费，事换句可成。六丁日亥加未例，贵作日鬼临干，占官利，占病神祇为害，临支，家神致病，宜修设安慰宅神则吉。墓鬼尤凶。贵作六害，占讼理直而作曲断，小就大，巧就拙，惟宜识时，屑就不妨也。余皆不利，当应《师》六五“弟子舆尸，贞凶”之象也。

如丙申日卯时，子将。干上寅为驿马，支上巳为日禄，初传巳为相气，加申为用；末传亥为贵人，寅命上亥为贵人，行年巳为禄，上见寅为马，俱乘吉将。为荣华课。

空
巳
寅
亥

寅巳	巳申	亥寅	寅丙
年寅	卯辰	空巳	午未
丑子	戌酉	申	
亥命			

此课。如庚辰日，亥加寅，寅命，占科举必高中。盖昼以夜贵、夜以昼贵为帘幕官，寅命上见亥为月将、官贵；行年辰上见丑为帘幕官。魁星并照；朱雀翱翔，乘巳临身故也。

朱
巳
寅
亥

戌丑	空寅	青巳	朱巳
丑辰	巳	庚	

青	寅	卯	辰	朱	巳
空	丑			午	
	子			未	贵
	亥	戌	酉	申	
		元			

德 庆 课

凡课，日辰干支德神及天月二德发用，并在年命，乘吉将，为德庆课。德者，和气也，主福家吉神也。干德者，“甲己德寅乙庚申，丙辛戌癸在巳轮，丁壬亥位取日德，课若逢之万象新。”支德者，子日起巳，顺行十二辰。天德者，“正丁二坤宫，三壬四辛同，五乾六甲上，七癸八艮逢，九丙十居乙，子巽丑庚中。”月德者，正五九月丙，二六十月甲，三七十一壬，四八十二庚。二德扶持，众凶皆散。善莫大于德，故德有庆会。盖德能利物济人，掩凶作善，转祸为福，而有喜庆，故名德庆课。统《需》之体，乃君子欢会之课也。

象曰：德神在位，诸杀潜藏。囚禁的释，病危无妨。婚成佳配，孕产贤郎。凡占谋望，事事吉昌。如德神为鬼，占功名利病无妨，乘龙尤吉。或四煞辰、戌、丑、未没四维乾、坤、艮、巽大吉，百事无碍。虽凶将无灾，当应《需》九五“贞吉”之象。若带杀乘虎，或德空，或神将外战，被刑克，不吉。或子日，巳德归亥，乘元武夹克，为减德，事参商。或乙日，申德加酉为用，酉来克乙，申化鬼，乃君子为小人，四杀不没，应九三“致寇至”之凶象也。

如戊子日戌时，卯将占，巳为德神，加子发用，为德庆课。

阴
巳
合
戌
常
卯

戌	巳	卯	戌
巳	子	戌	戌
戌	亥	子	空
酉	申	午	寅
未	巳	辰	
贵			

订讹意同

合欢课

凡课，日辰遇天干作合，及支三合、六合发用，并占人年命俱乘吉将，为合欢课。天干合者，甲己为中正合，乙庚为仁义合，丙辛为威权合，丁壬为淫泆合，戊癸为无情合。六合者，子合丑实，丑合子空；亥合寅就，寅合亥破；戌合卯旧，卯合戌新；辰合酉合，酉合辰离；巳合申顺，申合巳逆；未合午晦，午合未虚。三合者，亥卯未繁冗驳杂，巳酉丑矫革离异，寅午戌党侣未正，申子辰流而不清，滞而不

竭，宜动不宜静。凡日辰、年命见合，主和合，合则新，则人欢事成，故名合欢课。统《井》之体，乃婚姻团圆之课也。

象曰：乾坤匹配，奇偶交并。占孕迟生，行人荣省。名利乔迁，财喜欢称。婚姻天缘，万事佳庆。如三合，事关众，克应过月。六合，阴阳配，夫妇和顺。或日辰阴阳、年命六处，传逢吉将，四杀没，合多吉多，凡事成就顺利，往无不吉，纵凶杀亦主凶中和合。或合带刑害，有德在末，有气，乃入凶遇吉，可以小用宛转。或二阴作合，求婚大吉，当应上六“井收勿幕，有孚元吉”之象。若占凶事，守旧愈迟疑；求文书干事，见合无气终滞，似不决意，不若不见为妙；占病，凶将尤甚，传进病难退；占失脱，藏匿难获。或合带刑冲破害，合而藏祸，内吉外凶。合空，事费力难济。传退连茹，合带暗鬼克日，乘蛇、虎、雀，有害，不可意外狂图，及托人干事，当应九二“井谷射鲋”之凶象也。

如戊申日子时，申将。子与干上丑作六合，加辰发用；戊日，天干上丑遁得癸作合，支辰与三传合作三合；亥命，见未为贵人；行年在辰，见子为青龙；日辰阴阳上下作三合，四杀没于四维；又乘吉将，为合欢课。

青
子
申
元
辰

元 空
子 辰 酉 丑
辰 申 丑 戌

	室		
	丑	寅	卯
年	子		巳
	亥		午
	戌	酉	申
			未
			命
			贵

订讹

占主人情欢悦，相助成事。求名干贵皆宜，交易婚姻更吉。惟孕迟生，病迟愈，战讼俱和为贵。三合，事关众，克应过月。六合，夫妇和顺，婚姻尤妙。或六处逢吉将，四煞没，合多吉多，凡事成就，纵遇凶杀亦主凶中和合。或合带刑害，有德在未，有气，乃入凶遇吉，可以小用宛转。或二阴神作合，求婚独利。丙申日反吟，日辰阴阳上下神作三六合；辛卯日卯加辛，壬寅日亥加寅，干支相会作六合；甲申日，干上亥与甲合，支上巳与申合；丁丑、己丑日，干上午，干支上下作六合；戊辰日干上丑、支上子，辛酉日干上午，干支上下交互作三六合。或乙酉日，三传申子辰水局生日，支上丑作六合，并三合，为全吉，兼天将皆土，为日财，利求财。丙申、丙辰、丙子三日，传逢水局伤日，而干上丑能敌水，不为凶。或上下交互相合，交关求财大利；或相生，宜合本营生；或交合有二三，则应交涉二三事；或传遇三合，全脱，本不利，而生起干上财神，或生支上财，为取还魂债，利取财。

此课虽吉，若占病讼，忧疑难散；占失脱，藏匿难获。占文书、谋干，必成。或合带刑冲破害，蜜里藏砒；合空，事竟难济；合带暗鬼克日，乘蛇、虎、雀，有害，不可意外妄图，及托人干事。

和 美 课

凡课，干支遇三合、六合，上下递互相合，取为和美课。如三传三合，干支上见六合，或生日作财，三六相呼，凡谋皆遂，全无障碍，中有人相助成合，行人喜折而来。纵为鬼杀，事亦可成无阻。如乙酉、丙申日伏吟类，日辰上下阴阳神作六合，辛卯日卯加辛，壬寅日亥加寅类，干支相会作六合；甲申日干上亥、支上巳，丁丑、己丑日干上午类，俱合；戊辰日干上丑、支上子，辛酉日干上未、支上午类，干支上神作六合；乙丑日干上子，丙寅日干上亥类，干支上下作三六合。此人情合悦真美，故名和美课。占事主客怡顺皆成。统《丰》之体，神合道合之课也。

象曰：三合六合，上下欢悦。交易大通，财利不绝。婚吉事成，病危势拙。干贵相宜，战敌和决。如合多吉多，事急成；合少吉少，事迟成。乙酉日，三传申子辰水局生日，支上丑作六合，并三合，为全吉。兼天将皆土，为日财，利求财而不利尊长及营生计，土将克生气故也。丙申、丙子、丙辰三日，传逢水局伤日，而干上丑能敌。三六合呼，恶不成嗔，近谋有成，久则畏人拨置。或上下交互相合，交关求财大利；或相生，宜合本营生；或交合有三，则应交涉二三事。或传遇三合，全脱，本不利，而生起干上财神，为取还魂债；或生支上财神，为索还魂债，利取财，或家中取财还人亦准，当应《丰》六五“来章，有庆誉吉”之象。如三六合，占解释忧疑及问病凶事，上乘凶将，为凶难散，逢冲可解。或合作六害及空亡，好里蒙暗，主合谋事有变换。若传逢寅午戌，干支上见午为自刑，丑为六害，子为正冲，乃三合犯杀，为蜜中砒，主恩中有怨，事成有阻。或交合逢空，交时和美，后成画饼。交合盗气，彼此怀脱。交害，主客各有嫉妒。交

刑，主合至争竞。交冲，主先合后难。交克，主合而争讼，笑里藏刀。壬申日干上寅、支上亥，干支上神作六合，而地下壬、申作害，为外好里牙槎，主外面合而内有暗谗之意，当应上六“丰其屋”“三岁不覿，凶”之象也。

如壬午日巳时，丑将占，戌加寅为用，三传戌午寅，干上未与中传作六合，传逢三合，日辰上下作三合，日神旺气，传财得用，为合和美课也。

	白		
	戌		
	后		
	午		
	合		
	寅		
	合	阴	
戌	寅	卯	未
寅	午	未	壬
	寅	卯	辰
丑	寅	卯	巳
子			午
亥	酉	申	未
戌			

斩 关 课

凡卦，魁罡加日辰发用，为斩关课。盖辰为天罡，戌为天魁；日辰，人也；魁罡，天关也。魁罡加日辰，犹人遇凶神，重土闭塞，若天

关难度。欲通道路，必须斩开关门，故名斩关。寅（天梁）、卯（天关）以木克土，三天俱动，利于逃亡，可以出行。未（玉女）能护身，子（华盖）能掩形，太阴（地户）主潜藏，六合私门主阴匿，天乙（神光）能庇佑，青龙（万里蓬）可致远，传遇此数神，占者利阴私行藏隐避，永无触碍。统《遁》之体，乃豹隐南山课也。

象曰：关梁踰越，最利逃亡。捉贼难获，出行自强。病讼凶祸，厌祷吉祥。书符合药，方法最良。如官鬼作直符，罡塞鬼户（寅也），魁度天门（亥也），乘凶将，为魁罡作罗网；加四仲，为天地关隔。主关梁闭塞，不利隐匿，病讼、出行等事。子（天关）、卯（天格），事因天时所格；午（地关）、酉（地格），事因地理所格。更详五行言之。三传内战，内外不相见而格；中冲初末，首尾不相见而格；刚日昴星，道路关梁而格；柔日昴星及伏吟，潜伏不欲见人而格；反吟，不相照而格。又三交、罗网、从革，皆主阻格，当应初六“不利攸往”凶象。若传遇寅、卯、未、子，乘天乙、青龙、阴、合吉将，及甲、戌、庚日丑贵登天门，辰罡塞鬼户，六神藏，四杀没，为四大吉时。六神藏者，螣蛇下临子名坠水，朱雀下临癸水名投河，勾陈临卯名入狱，天空临巽名被剥，白虎临午名烧身，元武临坤名折足。四杀没者，辰、戌、丑、未墓杀临乾、坤、艮、巽，陷于四维。此时利出行逃走，避罪隐形，合药、书符、祈祷等事皆吉，则应《遁》九五“嘉遁，贞吉”象也。

如甲寅日亥时，未将占，戌加寅为用，曰斩关课。

合
戌
后
午
白
寅

午 戌 午 戌
戌 寅 戌 甲

丑 寅 卯 辰

子 巳

亥 午

戌 酉 申 未

贵

此课，戌天魁为天关，加寅，寅为天梁。利出行。又夜贵神未登天门，滕、朱、勾、空、白、元六神俱藏，辰、戌、丑、未四杀没于四维，为四大吉时，万事俱顺利也。

订讹

占主利出行逃遁，贼难获，病讼凶，书符、合药、厌祷最宜。传遇寅、卯、未、子，乘天乙、青龙、阴、合，为天地独通时，又为天藏地盖时。盖寅天梁，卯天门，并魁罡为天关，以本克土，三天俱动。未玉女（六丁又为玉女），能护身；子华盖，能掩形；天乙神光，能佑庇；青龙万里骥，可致远；太阴地户，主潜藏；六合私门，主隐匿。传遇数神，逃亡出行，如有神助。若甲、戌、庚日，丑贵登天门，辰罡塞鬼户，六神藏，四煞没，更吉。又传见申、酉、虎、阴，为新关得断，逃者永不获。更带血支、血忌、羊刃、呻吟、大煞，必伤人而走。大都此课最宜更新外出，喜见丁马。若守旧家居，主阻塞，且有暗昧事应也。

此课虽宜出外，若魁罡作官鬼，为直符，或作罗网，乘凶将，及罡塞鬼户，魁度天门，皆谓之斩关逢吏。加四仲，为天地关隔，加子（天关）、卯（天格），事因天时所格；加午（地关）、酉（地格），事因地理所格；神将克战，内外不相见而格；中冲初末，首尾不相见而格；刚日昴星，道路关梁而格；柔日昴星及伏吟，潜伏不欲见人而格；返吟，人心不相照而格。又三交、罗网、从革及不见申、酉、虎、阴，皆名斩关不断，阻隔难行，逃者易获也。

曾門

日辰踰于魁罡，名曰斬關，或發用傳。及功曹为天梁，青龙为万里翼，小吉为玉女，神后为华盖，魁罡为天关，太阴为地户，六合能隐形，遇此数神，利于逃亡。

《定章》曰：若欲伏匿昼夜，必得其道。当趋前三六合、后二太阴，为天门地户。逃亡，当令六合临日、太阴临辰而出，为天门地户，不可克逃人年上神。审以四五为太常、青龙，六合、太阴、青龙临日，太常亦可也。六合、太阴者，天道也，亡人乘之乃万全。若有九天、九地，必万里安，各有上下。

春，寅为九天，胜光为九地。夏，胜光为九天，子为九地。秋，申为九天，胜光为九地。冬，神后为九天，午为九地。必欲令六合、太阴治其上，下临地户。地户者，除、定、开、危之日也。如二月，辰除、未定、戌危、丑开也。

又云：戊、己之辰可逃亡，乘四天尤妙，再得天上三奇乙、丙、丁者，追之不得，视之者濛。孤虚法，如甲子旬，孤在戌、亥，虚在辰、巳。

又云：戊、己之辰不可克今日之干。假令戊、己之辰是巳、午，今日是庚、辛，乃为戊、己之辰克今日之干也。四天不欲克害今日之辰，强行者必受其殃。天门不可克逃人年上神，孤虚神不可克始逃之日。出天门者，六合也，必在禹步。禹步者，左足在前也。

照胆

除定开危卯未方，龙常阴合可逃藏。

闭口课

凡旬尾加旬首、或旬首乘元武、或旬首位上神乘元武发用者，为闭口课。如甲申日巳加申，丙辰日亥加寅之类，皆旬尾加旬首为用也。如丁酉日午加酉，夜将之类，皆天盘旬首乘元武为用也。如甲子日辰加子，昼、夜，皆地盘旬首上神乘元武为用也。如六甲占盗贼，责元武，旬首为阳神，逆数四神，六癸旬尾为阴神，不论发用，为闭口也。夫首尾相加，似物闭藏，环圆无端，不见其口，故名闭口。其旬首六仪神吉，将凶不能兴善。旬尾度四，即武之终阴，不论首尾相加，发用，自有旬首尾之意。占人求事，不语有无之态。统《谦》之体，上下朦胧课也。

象曰：禁口不语，事迹难明。寻人没影，失物潜形。告贵弗允，论讼不平。孕生哑子，占事终成。如旬尾加首，传逢六合，事成而凶难散；朱雀，讼屈难伸；白虎，不明遭罪。占病，痰气阻塞，喉肿口禁。失物，人见不肯明言。凡事多有闭口之意。辛未日酉加寅，日禄作闭口，又系无禄，病者必绝食而死。甲戌、甲辰日，旬首作元武，旬尾作为终阴。甲子、甲申、甲午、甲寅四日，非旬首作元武，俱以元武所居为阳，逆数度四为阴神，不论旬尾。六癸神亦为闭口也。甲辰日，辰为旬首，乘元武，为阳神，加申，女走，求男之下，去西南方捕之可获。逆数四，丑为阴神，加巳。奴走，从女之下，向东南捉之可得。非六甲日，元武阳神本位上所得为阴神。乙卯日，或卯为元武阳神，临戌，女往西北方，自追之；申为元武阴神，加卯，捕逃奴并盗贼，正东方获之。三传相克，带凶神，并勾陈克元武，追逃亡，武受克日时决可获也。相生、吉将则难获也。藏物，阴神生处搜之；金神求水泽，水神隐林丘，木藏窑冶处，火藏泥窖投，土藏金石之下也。

如甲申日卯时，子将占，巳为旬尾，加申用，为闭口课。

勾
巳
勝
寅
陰
亥

勾 陰
寅 巳 申 亥
巳 申 亥 甲

寅 卯 辰 巳
貴 丑 午
子 未 空
亥 戌 酉 申

凡旬尾加干、旬首加支，为一旬周遍格。但日辰相离三位有之。
占事不脱，所谋皆就，试宜代笔，讼宜换司，交易去而再来。

惟不宜占解疑事及疾病，难退也。

如乙未日卯时，寅将占，首尾加支干，为一旬周遍格。

陰
戌
六
卯
空
午

空 六
午 卯 乙
巳 寅 卯

空 未
午 申 酉 戌
巳 亥
辰 卯 寅 丑
子 贵

阳神作元武课：

戌 午 戌
寅 申 甲
辰 申 子 戌 卯 辰
元 丑 子 亥 戌 酉 申 未

与男走处

元女走处

阴神作元武课：

寅 未 子
丑 申 寅 酉 乙

	戌	亥	子	丑	
	酉			寅	
元 阴 贼 与 男 走 处	申			卯	元 女 走 处
	未	午	巳	辰	

订讹

闭口：或旬尾加旬首乘元武发用，或旬首在天盘乘元武发用，或旬首在地盘，其地盘上神乘元武发用，皆是也。又法，不论发用，但看元武当旬首，逆推度四神，虽无首尾相加，自有首尾之意，亦是首尾相加。似物闭藏，环圆无端，不见其口，故名闭口。

占主闭塞，机关莫测，事迹难明。寻人没影。失物，人见不肯言。纵乘贵，告贵不允。孕生哑子。病，痰气格塞痞症，或禁口痢，或喉塞不食。讼，屈不得伸，有冤莫诉。传逢六合，喜事成，凶难散也。日禄作闭口，病更凶，若又值无禄课，必死。逆推度四神，专为逃与盗而设。六甲日，旬首乘元武，是谓元武阳神，其加临位下可以捕女；连根逆数四位，即旬尾，是谓元武阴神，其加临位下可以捕男。如甲辰日，辰旬首，则丑旬尾，辰乘元武临申，则寻女于西南申方；逆四度丑，临巳，则寻男于东南巳方是也。非六甲日，不必度四，但看元武乘地盘为阳神，可以捕女；天盘为阴神，可以捕男。如乙卯日，卯乘元武临戌，则寻女在西北戌方，寻男在正东卯方是也。三传相克，带凶神，并勾陈克武，追逃亡，武受克日时可获；相生、带吉将，难获也。失物，在阴神生处寻，如元武乘金，金生水，藏水中；乘水，水生木，藏林中；乘木，木生火，藏窑冶中；乘火，火生土，藏泥窖中；乘土，土生金，藏金石下也。

此课外，有旬尾加干、旬首加支，或旬首加干、旬尾加支，名一

旬周遍格。占忧喜事各皆不脱，试宜代笔，讼宜换司，交易去而再来。六阴日发用元武，又名察奸课。

又有占寻人法，专看干德、支刑所临之处，相克何如。德如甲、己在寅，乙、庚在申之类。刑如子卯相刑及辰、午、酉、亥自刑之类。如甲戌日，甲德在寅，戌刑在未。寅临未，君子隐西南；未临子，小人逃正北。而寅木克未土，是德克刑也，易获。如己巳日，己德在寅，巳刑在申。寅临亥，君子隐西北；申临巳，小人逃东南。而申金克寅木，是刑克德也，难获。

观月经

凡言闭口卦，其理两般陈。六甲当旬上，须推度四辰。

六甲，即甲子等六日，度四辰推。

阳神作元武，阴逆四旬同。子为元武上，从魁作阴神。

逆四是终阴。阳神，六甲旬首；阴神，六甲旬终。子为元武，阴神在酉，是甲子旬终也。

假令河魁下，阴居小吉身。

戌上为元武，未上是阴神，甲戌旬终也。

忽然临传送，太乙为使臣。

申为元武，则巳上是阴神，甲申旬终也。

易位胜光上，太冲隐去人。

午为胜光，太冲是阴神，甲午旬终也。

天罡若作武，大吉是其宾。

功曹居贼下，登明无处伸。失男阴下去，

六甲日失男子，奔走阴神下去也。

元武女人奔。

如失了女子，元武位寻也。

贼在阴神下，搜寻此处陈。

假令甲子日，亥将，卯时占，来问女人事。其阳贵神自巳逆数至申，为元武。申为西南，其西南不见，寻阴神落处。申是元武阴神，落于子，子为正北。若捉盗贼，阴神之下正北获也。此解乃尉山人书。

假令正月占，卯时甲子旬。元武天罡上，天罡下临申。

女往西南去。

元武所立位，下临申，去西南寻人也。

急走在北邻。

西南不得，申临子位，即于正北上寻之。

大吉东南去，阴位伏阳人。

甲子日，元武在辰，大吉为阴神。丑临巳，是知东南上伏阳人也。

贼盗亦同此，两般一体陈。

若失盗贼，亦东南去，两般一解也。

不见六旬日，阴居下法真。

若是六旬首日，元武居之，即在本位下。不在六旬日者，用下法推之也。

上法推阳首，此法相兼阴。

若非六甲日，元武在巳、酉、丑、亥、卯、未，是阴神之下。除六甲日之外，皆用此法推之，故曰相兼阴也。

元武所乘者，为阳盗贼侵。阳之本位处，所见却为阴。

元武所乘之神，为阳神也，便是盗贼之处。其阴神，本位上见者为阴神也。看阳神与此方位相度处详之。

正月乙卯日，午时课六壬。卯为阳在戌，传送本位金。

其卯为元武，是阳神，临戌；其本位卯上见申金也，为阴神。言阳金克木，即易见也，比合难见也。

女往西北去，

西北是元武所临之下，戌地也。

男往正东寻。

元武所乘之神临戌地，亥将加午，其卯加戌，元武临之，女逃西北，从地盘之戌，阴求阳也；男逃正东，从天盘之卯，阳求阴也。

此解乃尉山人书。

盗贼同阴作，

若失物、盗贼，则在正东也。失牛问大吉、失马问胜光何方。鸡犬等项，各看所属而言之，乃阴神所临之下也。

此是一段陈。其贼擒不擒。三传不相克，吉将求难寻，凶将有相克，亡人贼自擒。

但凡元武阴神所临之下不见克者，看发用、三传。若中二传逢吉将，三传上下相生，即亡不见也，贼盗难获也，故云“三传不相克，吉将求难寻”。若元武所居之处三传相克，更逢凶将，即亡人易获也，贼盗自擒，故云“凶神有相克，亡人贼自擒”也。今日元武阴神申加卯，上克下，将勾陈，凶将，合主申时败贼也。

欲知藏物处，阴神生处寻。

申为元武之阴神，属金。金生水，藏物当在水中。

金来在水下，

金为武之阴物，在水之中也。谓金能生水也。

水生在高林。

水为元武阴神，物藏在林木之中也。

木神窑冶处，

木为元武阴神，物在火焚之地。

言火隐高岑。

谓火生土，物在高崖之处。

土言坑塹内，空墓窑藏深。

土为阴神，在整穴之处也。

若论寻获日，元武怕日擒。此法随身宝，价值百镒金。

水为阴神，金日得之。木怕被金克也。

游 子 课

凡课，三传皆土，遇旬丁、天马为用，曰游子课。盖土者，辰、戌、丑、未季神，归墓五行之时，主巡游考绩之期。旬丁者，每旬丁干所值之神，主摇动事，最速。天马者，正月起午，顺行六阳位也，又为驿递之神。身势摇动，使人好游，故名游子。居者占之欲游，游者欲还家也。统《观》之体，乃云萍聚散课也。

象曰：丁马加季，奔走西东。出行吉利，坐守困穷。疾病难产，官讼多凶。天阴不雨，婚事胡从。如传出阳神，欲远行，初未中戌之类；传入阴神，欲私归，初戌中未之类。或并斩关，为绝迹，犹范蠡去越，张良归山，不欲露迹之态；与淫佚并，主私欲事欲远行；与天寇并，主盗贼事欲远匿；与行年并，身欲逃亡来问；与五墓四杀并，神将凶，主事逆遭，岁内官灾，行藏出入，恶祸相攻，破败在三年之内，当应《观》初六“童观”凶象。若遇三奇、六仪，神将吉，年命、日辰六处有冲克救神，可解祸为吉，行人来，出者顺，事多遂意，当应《观》六四“观国之光”吉象也。

如三月将，乙巳日午时，三传土，遇丁马用，为游子课。

青
未
朱
戌
后
丑

	勾	青	
亥	申	戌	未
申	巳	未	乙
	申	酉	戌
	未		子
			贵
空	午		丑
	巳	辰	卯
			寅

订讹

游子：三传皆土，又或见旬丁，或见二马。土为季神，有遍历巡游之象；旬丁、二马俱主摇动，使人好游，故曰游子。见天马，又名海角课。

一 占主利出行，不利守静。病凶，婚阻，逃难获，天阴不雨。或支二课加干二课为用，或传送、白虎为用，主动，更的。未戌丑为阴传阳，欲在家远出；丑戌未为阳传阴，欲在外思归。丑加辰为破游，戌加未为衰游，返吟四季为复游。传值墓神、煞害，主冤家逼迫。传值合、龙、戏、驿，主万里奋飞。斩关并，为绝迹课，如范蠡、张良归山灭迹；淫佚并，因阴私欲逃；天寇并，因为盗欲逃；行年并，主身欲逃，故来问；五墓、四煞并，神将凶，主事遭破败。

此课，动摇不定之象，大端凶。若值三奇、六仪，神将吉，六处冲克救神，可化凶为吉，主行人遂意也。

三 交 课

凡四仲日占，四仲加日辰，三传皆仲，将逢阴、合，为三交课。四

仲者，子、午、卯、酉四败神也。四仲日占，遇四仲加支辰阴阳，为一交；仲神发用，传皆四仲，为二交；仲神乘太阴、六合将，为三交。此三者相遇交加，故名三交，占者事体勾连。统《姤》之体，乃风云不测之课。

象曰：家隐奸私，或自逃匿。谋事不明，求财无益。讼犯刑名，兵逢战敌。更乘凶将，病患尤极。如遇凶神，男犯重法，女犯通私。乘阴、合，主门户不利，阴小隐匿；遇天空，主虚诈；元武，遗失；螣蛇，惊怪；朱雀，口舌；勾陈，战斗；白虎，杀伤。或在六阳日，为交罗，主阴私上门。带凶将恶杀，有杀伤之祸。在六阴日为交禄，主以禄求私，乘元武为阴私失禄，当应《姤》九四“包无鱼，起凶”象。若年命有吉神将，日用旺相，传逢午卯子，正、七月为高盖乘轩，大吉，不论三交，当应《姤》九五“含章，有陨自天”之吉象也。

如戊子日午时，酉将，卯加子为用，传逢卯午酉，乘太阴，为三交课。

			明
			卯
			白
			午
			勾
			酉
	午	卯	亥
	卯	子	申
	申	酉	戌
亥			子
丑			午
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰
卯			巳
辰			午
巳			未
午			申
未			酉
申			戌
酉			亥
戌			子
亥			丑
子			寅
丑			卯
寅			辰

订讹

三交：四仲日時占为一交，课传皆仲为二交，将逢后、雀、阴、合为三交。子、午，阴阳所起；卯、酉，日月所从。此四败神，天地门户。占之日时及课传并所乘将三处交加皆仲，故名三交。

占主事体交加连累，暗昧不明，进退两难，或家隐私人，或己身逃匿，谋事被人阻破，或望难，病讼凶。盖四仲纯，全无父子相扶，是谓四正、四平，互刑、互破。前无孟之可隐，后无季之可奔，如遇兵贼，纵欲逃避而不及矣。值凶将，男犯重法，女犯奸淫。乘阴、合，门户不利，阴小隐匿；空，虚诈；武，遗失；蛇，火惊；雀，口舌；勾，战斗；虎，杀伤、丧孝。六阳日为交罗，主阴私上门，带凶煞有惨祸。六阴日为交禄，主以禄求私，乘元武为阴私失禄。午加酉为死交，酉加午为破交，反吟为反目交，皆不能成合之象。

此课，无阴、合，则名三交不交；或年月日時皆仲，则名三交不解。过与不及，二者祸更甚于交也，若年命、日、用旺相，乘吉将，传得午卯子，又名轩盖，占官大贵。

指窍

四仲顺加，子午卯酉。春占关隔，若羝羊之触藩；夏占关阂，似游鱼之吞饵。秋占四平，日逢弦望晦朔，名曰三光不仁；冬占历阳，时遇日月辰戌，号曰四门皆闭。四仲逆传，子酉午卯。春占陷井，如鸟投笼；夏占正烦，若牛受刃。秋曰失友，状若散离而复合；冬月出渐，名曰阴极而阳生。

三交有天马，为华盖乘轩，又为四正。有正禄则为四正，无正禄则为四散。三交主三四人交往，天马为出行。四正得青龙、朱雀吉神之类，主士人赴试得解。沐浴四散，是五行无气，主妇人败血、小产，酉加午、午加卯之类。或占妇人病，若遇死气，如午加酉之类。大

抵午、酉为自刑，午为少阴，酉纯阴，纯阴为老阴也。酉为妻，乘生旺之气；酉为婢，为尼，并尼为妻，无生旺之气。酉加子，见元武，乘生旺气，多婢生子。午、酉为血疾，又为丑恶、脓血，看今日鬼言之。带鬼，多为疲恶、丑恶也，见血气。青龙带禄马，财喜。酉为酒，青龙为酒色故也。子、午为道路神，子、午日得之，定言道路之事。卯、酉为分，气则异，异则争，卯、酉日得之，定言分争之事。卯为外门，春分之气在卯，得之者是春有发生之气。酉为内门，秋分之气在酉，得之者言杀气，秋有肃杀之气。生气吉，杀气凶。

曾门

三交之因，家匿罪人。谓从魁、太冲、六合、太阴并加日辰为用，曰三交。又四仲复加四仲，三传俱得四仲，亦为三交也。

定章曰：太冲、从魁、六合、太阴皆为门户，蔽匿万物。谓太冲、从魁、太阴、六合并加日辰为用神者，为三交卦，以此占人，家匿罪人。

如乙巳日，酉加巳，将得六合，亦曰三交课。

如丁酉，午加酉，上克下发用，传见太冲，终于神后，为三传四仲，亦匿罪人。门户出入，公私所由。太阴为私蔽，六合为私门，蔽匿罪人。卯酉之位，日月所从出，入子午之位，阴阳所起。或明或暗，或公或私。三传四仲，出入微密，亦匿罪人。欲知何人，以终传决之。见白虎，杀人；见元武，盗贼；勾陈，斗伤；朱雀，讼事；天后，淫佚；太阴，奸私。准此。

观月经乱首卦 名白虹贯日

日为尊者父，辰作少年儿。尊者来加子，少者反克之。因名为乱首，老者必低藐。家内应无礼，官司岂有仪。先祖是外姓，上宗别人儿。

凡乱首课，皆主杂乱之姓，上祖必假名异姓。

纵必家和顺，官司亦被欺。

若上祖是如今之姓，老少和睦，亦遭官司。

心镜

日往加辰克日，发用当为乱首名。

日为尊，辰为卑。尊就卑，被卑克之，故曰乱首。

臣叛君兮子杀父，妻背夫兮弟克兄。奴婢不从主委任，将军出寨僭其兵。日为尊长辰卑小，犯上之时忌此刑。正月酉时庚午日，传送初传午克庚。略举一端君须识，他占仿此理分明。

主家乱，不利占上祖或别人之嗣。

乱首，日往加辰受辰克。赘婿，辰来加日被日克。乱首下欺上，赘婿上凌下。悖逆紊乱，绝上下之义。若更将得卯、酉，神得后，合，则主男女讹杂；更值魁罡、勾陈，以至有不可形容之事。

甲申、乙酉，寅加申、辰加酉；丙子、丁亥，巳加子、未加亥；戊寅、己卯，巳加寅、未加卯；庚午、辛巳，申加午、戌加巳，不可尽述。上门乱首，辰来加日而克日，谓之上门乱首，大无礼也。戊寅、己卯，寅加戌、卯加未之类。

订讹

乱首：干临支被克为自取乱首，支临干克干为上门乱首，更兼发用尤的。干为尊上，如首。支为卑下，如足。卑下无礼作乱，故名乱首。上门乱首发用，又名反常课。

占主少害长，下犯上，家门背逆，不可举事。自取乱首，尊上自失礼，为支所犯，事体稍轻；上门乱首，尊不惹卑，卑下敢来犯上，事体重。自取乱首，事发于内而起于外，兵不利客，亦不宜攻，惟可固守解围。上门乱首，事发于外而起于内，兵不利主，贼来格战，总主来人迟，营寨多有刑伤。若见卯、酉、后、合，主男女讹杂不分，长幼

自取乱首。若四课俱下贼上，不免窝犯丑声，祸自内出。

此课，或主祖宗别姓。如将得青龙，来意因幼小不知别籍异居之事。三传、年命克制乱我之神，名曰患门有救。

附：干临支生支曰偃蹇，泄耗甚也；受生曰俯就，先难后乐也；同类曰培本，比和相助也。

凌犯：干克支，下贼上为用；支克干，上克下为用。日克辰乃上凌下，却得下贼上为用，辰克日乃下犯上，却得上克下为用，互相凌犯，故名凌犯。

占主尊卑不分，君骄臣逆，或主篡杀事。初传官鬼祸尤速，克下外事起，克上内事起。

赘 婿 课

凡课，日干克辰，又自加临为用，曰赘婿课，盖干为夫，支为妻，干克者为妻财。干临支，以动就静，如男子婿赘妻家。支临干，以静就动，如妇人随男就嫁。此舍己从人，以身入赘，为赘婿。占者凡事不快，寓居于人，身不自由。统《旅》之体，乃为客求财之课。

象曰：屈意从人，事多牵制。胎孕迟延，行人淹滞。财名可成，病讼未济。兵利为客，先动胜计。如日往加辰，干克支，以上取下，男就乎女，利尊长而不利卑幼，宜动而不宜静，用兵利为客，见阵利先动者，胜也。若辰来加日，干克支，以小依大，女就于男，卑凌尊而尊长不容，用兵则客反为主，宜他来干我而我能胜之。更遇天将白虎主杀伤，勾陈主斗讼，朱雀口舌，腾蛇惊恐。或日、用休囚，病人传染不离，则应九三“丧其童仆，贞厉”之象。遇天后主恩泽，天乙官长，六合阴私，太常酒食，及日用旺相，凡事谋为可就，则应《旅》六二“得童仆贞”之象也。

如甲戌日卯时，亥将，用戌加甲，干克支，为赞婚课。

六
戌
白
午
后
寅

后 白 白 六
寅 午 午 戌
午 戌 戌 甲

贵 后 阴 元
丑 寅 卯 辰
子 巳 常
朱 亥 午 白
戌 酉 申 未
六 勾 青 空

又如丙申日辰时，丑将占，巳加申，干克支，亦为赞婚。

空
巳
合
寅
贵
亥

空 青 六
寅 巳 亥 寅
巳 申 寅 丙

	寅	卯	辰	巳
	丑			午
酉	子			未
	亥	戌	酉	申
	贵			

订讹

赘婿：干临支克支，支临干被克。更兼发用尤的。干为夫，支为妇。干临支，以动就静，如男子身赘妻家，俗所谓坐堂婿。支临干，以静就动，如妇人携男就嫁，俗所谓随娘儿。皆舍己从人，以身入赘，故名赘婿。

占主凡事不快，寄居身不自由，乃为客求财之课。屈意从人，事多牵制，孕迟，病讼延，行人滞。干临支克支，利尊不利卑，宜动不宜静，兵利客。支临干被克，卑凌尊而尊上不容，兵亦利客。日用休囚，乘凶将，病人传染不脱。日用旺相，乘吉将，求望利名可就。将得六合，必主招赘婚姻事也。甲戌日，戌临甲，有女子衣服事；甲辰日，辰临甲，有斗讼事；乙未日，未临乙，有酒食言语事；癸巳日，巳临癸，有争衣服惊恐事；己亥日，亥临己，有女子惊逃事；丁酉日，酉临丁，有分离事；壬午日，午临壬，有田宅相连事；戊子日，子临戊，有女子疾病、就人财物事；丙申日，申临丙，有言他人事；辛卯日，卯临辛，有木器伤财事。此课，干临支克支，惟乘囚死，作合、阴，名赘婿。若乘旺相，作勾、虎，又名残下，甚不利卑小也。皆主仗他人势，事乃可成。支临干，看支上神，原受艰难，则为不得已而出随他人受磨折；如支上原有存处，岂可轻易舍己从人？君子于此，审其可否，则免失身之咎。若支乘脱气，必无正屋可居，终非自立之象矣。二项，若中未见救神克日，或年命得神将吉，又名赘婿当权，可任意所为也。

附：支临干生干曰自在，坐享也；受生曰求受，反竭我力也；同类曰壮基，并力相济也。

冲 破 课

凡课，日辰之冲神加破为用，曰冲破课。冲者，动摇也。初虽有德，后必倾覆。如子冲午，主道路驰逐，男女争谋变动；卯酉相冲，主门户或改移，或脱亡、失脱，外人淫乱奸私；寅申相冲，主人鬼相伤，夫妇异心；巳亥相冲，主事反复无实，重求轻得；丑未相冲，兄弟兴衰相持，谋心不同，干事不遂；辰戌相冲，主仆离异，贵贱不明，不义之争。破者，解散也，主事更改，多有中辍。若午破卯、酉破子，主门户破败，阴小有灾；辰破丑，主丘墓、寺观破损；戌破未，先破后刑；亥破寅、申破巳，先破后合。盖冲主反复，破主倾坏，冲、破凶为一类，故名冲破。统《夬》之体，乃雪上加霜之课。

象曰：人情反复，门户不宁。婚姻不遂，胎孕难成。疾病凶散，财利事平。凡有谋望，成而复倾。如用、传与岁、月、日、时冲破亦是。或甲岁忌见申，子忌见午冲、酉破之类，日、时、支、干皆同此推。凡占凶事，遇白虎、蛇、雀凶将及死神、丧车恶杀宜冲，冲散则不成争；凶旺不宜冲，冲动则为凶也。类神、岁、月空亡，冲则暗动，日、时次之。吉空宜冲，凶空不宜冲，冲则反实。破与冲同，宜散凶事，不宜吉事。乘破碎，又凶冲动，主人情不顺于暗中，出入难久，乘凶将无救解，祸甚，当应《夬》上六“无号，终有凶”象。若内有德、合、喜神吉将，旺相有气，凡事艰难，当应《夬》九五“中行无咎”之象。

如子年，庚子日，午加卯占。子日以午为冲，酉为破，午加卯为用。子岁、子日，午为岁冲、日冲，酉为岁破、日破，卯为午破，又加刑发用，故曰为冲破之课也。

白
午
勾
酉
腰
子

白 阴 后 朱
午 卯 寅 亥
卯 子 亥 庚

申 酉 戌 亥
未 子 贵
午 丑 贵
巳 辰 卯 寅

订讹

冲破：干支冲神加破为用，或用神与岁、月、日、时冲破亦是。冲者，冲动意，亦反复意。破者，解散意，亦破损意。如子年庚子日未时，戌将，三传午酉子，午为岁冲、日冲，酉为岁破、日破，冲又加卯破为用。又甲年忌见申冲、亥破。冲破并而为课，故名冲破。

占主人情反复，门户不宁。婚难遂，孕难成，病凶散，财平常；谋望成而复倾。子午冲，道路驰逐，男女争谋、变动；卯酉冲，门户改移，或逃亡失脱，淫乱奸私；寅申冲，人鬼相伤，夫妇异心；巳亥冲，事反复无实；丑未冲，兄弟兴衰相持，谋心不同，干事不遂；辰戌冲，奴仆离异，贵贱不明，不义之争；午卯破、子酉破，门户破败，阴小灾；辰丑破，坟墓、寺观破损；戌未破，先破后刑；亥寅破、申巳破，先

破后合。冲主人情暗中不顺，出入难久，乘凶将无救凶甚。破加破碎煞尤凶。

此课，旺不宜冲，衰墓宜冲；吉不宜冲，凶将宜冲；凶空不宜冲，吉空宜冲。类神空亡，岁、月冲则暗动，日辰次之。破不宜望成事，宜散凶事。

淫 佚 课

凡课，初传卯、酉为用，将乘后、合，为淫佚课。盖卯、酉为阴私之门，后、合乃淫欲之神，主淫奔佚欲，故名淫佚课，如用起六合，终于天后，为狡童格，主男诱乎女，有逃亡之事。如狡顽好色之童，不顾廉耻之风，故名狡童。凡系淫佚课，利私谋而不利公谋也。统《既济》之体，乃阴阳配合之课也。

象曰：男子就室，女妇有家。阴私莫禁，淫欲转加。嫁娶不吉，逃亡可嘉。捕捉难获，访人自差。如与三交并，为浊滥淫佚，所私非一人、一处而已。加天罗、地网甚凶，又主恶声。如子日，丑为天罗，未为地网。并天烦，主男遭杀伤；并地烦，主女遭杀伤；并二烦、九丑，男女皆遭杀伤，当应《既济》上六“濡其首，厉”之凶象。若后、合临日、辰，男女行年并者，占婚不用媒，先奸后娶，值空亡为虚意也。神将吉，日用旺相，则应初九濡尾“无咎”之象。如辛未日申时，辰将，乘后、合，卯加未用，为淫佚课。

合
卯
白
亥
后
未

	六	贵
亥	卯 寅	午
卯	未	午 辛

	丑 寅	卯 辰
空	子	巳
	亥	午 贵
	戌 酉 申	未 后

凡淫泆课，为用起天后神，终传 六合神，为泆女格，如淫奔泆欲、自嫁之女，故名曰泆女。主女随于男，有通私奔走之事也。

如戌戌日辰时，午将，子加戌为用，初传天后，末传六合，为泆女格。

后
子
合
寅
辰

	后	空
寅	子 酉	未
子	戌 未	戌

	空	
未	申 酉	戌
午		亥
巳		子
辰	卯 寅	丑
		贵

订讹意同。

观月经 名龙虎交战

初传是卯酉，六合天后来。末传两相应，洪水闺门开。天后入六合，

初传天后，末传六合。

妇人暗使媒。背夫欲逃走，从此降成灾。六合入天后，此是狡童排。

男诱他人妇，商量走去来。二神同二将，反复两徘徊。

二神，卯、酉也。二将，后、合也。见斯决然如此，其它卦虽有后合不是。

尽意思量旨，不觉笑颜开。

仔细思量，自然见也。

芜淫课

凡四课，有克、缺一为不备，及日辰交互相克，为芜淫课。邵先生曰：课得不备，刚日从日上起第一课，柔日从辰上起第一课。凡见二阳一阴为阴不备，如二男争一女；二阴一阳为阳不备，若二女争一男。及日辰交互相克、各自相生是也。此夫妻皆有私通，两情相背，荒淫无度，故名芜淫。占者家门不正，事多淫乱。统《小畜》之体，乃琴瑟不调之课。

象曰：阴阳不备，交克最嫌。利名碌碌，狱病淹淹。阴微晴久，阳少雨添。行人未至，征战愁占。如阳不备，用兵利为主，贼不来；阴不备，利为客，贼来不战，射物必缺。凡得三课为不备，又逢日辰交互相克，占事最凶，更乘凶将尤甚，则应《小畜》九三“夫妻反目”凶象。或四课备，神将吉，兼有救神，及课不备无克，不凶，事有迟延，夫妻拆散终复团圆，则应《小畜》“牵复吉”之象。

如乙卯日午时，未将，柔日从辰上起第一课。盖巳辰为辰之阴神，不复作日之阳神，此二阴一阳，不备，曰芜淫课。

勾
辰
青
巳
空
午

勾 青 空
巳 辰 午 巳
辰 卯 巳 乙

午 未 申 酉
巳 戌
辰 亥
卯 寅 丑 子
贵

又如乙亥日巳时，子将，为阴不备课也。此二阳一阴。

勾
午
后
丑
空
申

丑 午 午 亥
午 亥 亥 乙

贵	子	丑	寅	卯
賤	亥			辰
	戌			巳
	酉	申	未	午

如甲子日卯时，亥将占，四课备，日辰交克，芜淫课。

六
戌
白
午
后
寅

元	青	白	六
辰	申	午	戌
申	子	戌	甲

贵	丑	寅	卯	辰
賤	子			巳
	亥			午
	戌	酉	申	未

盖甲日，夫也。子支，妻也。甲欲从子忧申克，子就甲时畏戌侵。然申子又自相生，乃妻与人有私；夫上神为用，课传逢三合，主有他意或私异姓。内外相好，各相背也。

订讹

不备：四课缺一，止有三课。有克照常以克、贼、此、涉等项论，但四课必须那动。刚日从日上起第一课，柔日从辰上起第一课。盖第一课为干阳，第二课为干阴，第三课为支阳，第四课为支阴。阴课缺一为阴不周全，阳课缺一为阳不周全。以四课之阴阳论，非以干支之阴阳论也。假如乙卯日午时，未将，柔日从支上起第一课，辰、卯、巳、午。盖四课先尽先数两课，巳既作支之阴神，为第二课矣，岂可复作干之阳神，为第三课乎？此二阴一阳，为阳不备。又如乙亥日巳时，子将，亦柔日，从支上起第一课，午、丑、亥、午。午既作支之阳神，为第一课矣，岂可复作干之阴神，为第四课乎？此二阳一阴，为阴不备，故名不备。

占主不周全，物偏缺，病难愈，求望难成，行人未至。阳不备，兵讼利为主，贼不来。阴不备，兵讼利为客，贼必来。皆战不成。三传阳多，事起男；三传阴多，事因女。阳多晴久，阴多雨添。凡占，多以不周全意断。

心镜

阴阳不备是荒淫，夫妇奸邪有外心。二女争男阳不足，两男一女共耽淫。上之克下缘夫过，反此诚为妇不仁。阳为阴将阴处合，阴来阳处为刑临（日为夫，辰为妇）。若知其例看正月，甲子时加卯课寻。甲见天魁子传送，甲夫阳也子妻阴。甲将就子忧申克，子近甲时魁必侵。十干上神交互克，事乖夫妇失调琴。妻怀内喜私情有，申子相生水合金。

子上见申金，金水相生，又三合也。妻与西南有外情也。

解离卦

凡夫妻行年冲克，及上下神互相克贼，为解离格。如夫年立午上见寅，妻年立子上见申，乃子上申怕午克，午上寅怕申克，上下互相克贼，天地解离，各有异心，故名解离。占者非断弦之凶，必有反目之兆也。

如三月丁巳日未时，酉将，夫年立寅，妻年立午，值三合，逢春旺相气，为旺孕格。又如夫年立午，上见寅，妻年立子，上见申，夫妻行年上下互相冲克，为解离格。

朱
酉
黄
亥
阴
丑

勾 朱
酉 未 亥 酉
未 巳 酉 丁

未 申 酉 戊
午 亥 贵
空 巳 子
辰 卯 寅 丑

心镜

解离之卦看行年，先须察地后观天。夫妻始终互相克，二月寅时课请占。妻年立子夫年午，神后须知克胜光。

神后子是妻天上行年，胜光是夫天上行年。此解论天上行年，另一说。

午上功曹子传送，

夫年午上见功曹，妻年子上见传送。

递相伤残更何安。子水本来先克午，子上申金怕胜光。午上功曹怕申克，此为始终互相残。金盆覆水皆斯类，玉轸音悲是断弦。解离夫妻行年上，神将相克互相残。

此课不干四课、三传事，但夫妻行年相克者也。若无刑损，或夫有外妻、妻有外夫也。

	年夫		
	行		
丑	寅	卯	辰
子			巳
亥			午
戌	酉	申	未
	年妻		
	行		

毕法

真解离卦者，谓干克支上神、支克干上神，或夫妇行年又值此者尤的。此时占人，必占解离事。已后例内，唯详空亡而言之，则《小畜》九三“舆说辐，夫妻反目”，“不能正室也”之凶象。

辰
申
子

申 辰 戌 午
辰 子 午 甲

酉	戌	亥	子
申			丑
未			寅
午	巳	辰	卯
年女 行		年男 行	

甲子日，干上午，甲木克支上辰土，子水克干上午火。

男行年三十五在子，女行年三十一在寅。

甲午日，干上酉，支上丑。甲戌日，干上亥，支上未。甲辰日，干上亥，辰上丑。乙亥日，乙上午，亥上丑。戊辰、壬辰、辛丑、庚戌，并干上子。丁卯日，干上丑。乙酉日，乙上寅。辛酉日，辛上卯。癸卯、己卯日，干上辰。丙午日，干上申。辛巳日，辛上申。丁亥日，干上巳。乙巳日，乙上酉。癸未日，干上亥。

芜淫与解离之所以分者，芜淫乃干支上神互克下，解离乃干支互克上神。至于年命互克，则同取。

订讹

孤、寡：句中孤、寡有三。发用值旬空，阳空为孤，阴空为寡，一也；发用地盘空为孤，天盘空为寡，二也；发用空为孤，未传空为寡，三也。四时孤、寡有二：如春以巳为孤，丑为寡等，一也；春又以生我之水绝神在巳为孤，我克之土墓神在辰为寡，二也。十干不到之地，五行藏脱之乡，前去后空，阴憫阳悵，所谓孤辰寡宿，故名孤寡。

占主孤独，离乡背井，官易位，财空手，婚断弦，孕虚有，出入防盗。日辰无气最凶。孤辰，父母灾，亦主离宗弃祖；寡宿，妻子离，六亲叛。如旬孤寡又并四时孤寡，为空孤空寡，更凶。凡值空亡，忧喜皆不成，托人多诈谋，望近事出旬可图，远事终难。时空事亦难成。或中传空为断桥、折腰，主事中止难就。或中末俱空，为移远就近，

动中不动，寻远人既在近也。初中空，推末传，中末空取初传，以不空者断吉凶。新病空病，久病空人。吉空反凶，凶空反吉。

此课大端不吉，或遇三奇、六仪为救神，及遇太岁、月将、月建，为孤寡再醮。又今日所坐位值孤、寡为用，曰孤寡得位，如庚日用申是也，皆主反祸为福，事前破后成。日辰、年命不论空。又有纯空反实，或遇岁、月、日、时冲起为逢冲暗动，祸福皆成。

度厄课

凡四课内三上克下，或三下贼上，为度厄课。盖上为尊，下为卑，三上克下则长欺幼，势必遭厄，为度厄；三下贼上则长不正，幼乃凌长，为度厄。占者家宅欠利，老幼见灾。统《剥》之体，乃六亲冰炭之课也。

象曰：事忧老幼，患病重来。家门不吉，骨肉尤乖。出军失利，行者多灾。类神旺相，祸去福来。如发用阳神，乘凶将，主伯叔尊长有灾；阴神，主姑姨幼小有灾。当应《剥》“不利攸往”之象。日用旺相，乘吉将，主幼得长力，长得幼力，则应上九“君子得舆”之象。

如甲子日丑时，申将占，三上俱克下，为幼度厄课。

白
寅
朱
酉
元
辰

寅 未 辰 酉
未 子 酉 甲

子	丑	寅	卯
亥			辰
戌			巳
酉	申	未	午
		贵	

又如壬申日子时，未将占，三下俱贼上，为长度厄。

元
午
朱
丑
白
申

青	贵	朱	元
戌	卯	丑	午
卯	申	午	壬

子	丑	寅	卯
亥			辰
戌			巳
酉	申	未	午

订讹

度厄：三上克下曰幼度厄，三下贼上曰长度厄。三上克下，主卑小有厄难，故曰幼度厄。三下贼上，主尊上厄难，故名长度厄。

占主家门不吉，骨肉乖离。幼度厄，若子孙发用，凶神入墓，卑者更凶。长度厄，若父母发用，凶神入墓，尊者更凶。若仕者占，主

事从邻邑发动。山雀合群，同气相亲之兆也。神将吉，因动成喜。神将凶，面合心离，或反有暗害。或与刑杀并，及旺相气，凶易成。若与德合并，不能害也。

此二课同下二课，俱以比者为用，俱不吉。然有救又不以凶断，如火克金，则水为救之类。

无禄绝嗣课

凡课，四上俱克下为无禄课。盖日神阴阳俱相克，不得其所，不免投辰上两课。辰上阴阳又相克，则无所投之路，占者多主孤独。如四上俱克下，为无禄格。主庶人不禄，有官罚职，轻者罚俸，重则削职。盖以上制下，臣子受殃，屈者难伸。对敌利客，讼宜先起者胜。惟火多克金，有水可救。其课统《否》之体，乃上下僭乱之课也。

象曰：上克无禄，下克绝嗣。君臣悖逆，父子分离。求谋不遂，动作多疑。三传有救，方免灾危。如神将凶，则应六三“包羞”凶象；神将吉，有救神，则应上九“先否，后喜”之象也。

如三月己巳日寅时，酉将占，四上俱克下，为无禄格。

酉
常
辰
合
亥

未 子 酉 寅
子 巳 寅 己

子 丑 寅 卯

亥 辰

戌 巳

酉 申 未 午

凡四下俱贼上，乃为绝嗣之格，乃主小人无礼暗算，横灾殃祸，病者死，逃者转匿，尊长见灾。战斗利主，讼宜后对。中年多子息，老后主孤独。

如正月庚辰日辰时，亥将占，四下俱贼上，为绝嗣格。

白
午
贵
丑
青
申

午 亥 戌 卯

亥 辰 卯 庚

子 丑 寅 卯

亥 辰

戌 巳

酉 申 未 午

订讹

绝嗣：四上克下。上不容下而下难自存，故名绝嗣。

占主在上无礼，卑小不利，孕伤胎，病易死，占子病必不起，奴婢逃，骨肉散。若旬空发用，来人必主独身而已。事起男子，兵讼先者胜，凡事动而必静。

无禄：四下贼上。以下犯上，被上夺禄，故名无禄。

占主孤独失业，多刑多伤，病必死，事起女人，兵讼后者胜，凡事静而必动。

此课，神将凶，骨肉分离；若神将吉，来意主分财异居。

观月经

无禄卦

四课俱临下，男鰥女寡孤。三传如有救，子必胜于吾。

四课俱临下者，为无禄卦。如发用是水神，末传得金神为救；发用是金神，三传见土神为救神。吾者，父也。其五行并用此断之。假令己未日，亥将，辰时占，四上克下，取比用，酉为金神发用，中传辰土生金为父，末传亥水为子，即有救也。虽是无禄卦，不言绝也。

首尾俱相制，临年子失途。切须看用数，到老不如无。

●临年，老也。首尾，初末传。若今日发用水神，在土上，终传复见土神，此首尾相制也。假令午将，甲寅日未时占，神后临丑，下克上为用，是首制也；终传河魁土，是尾制也。其神子水欲前就功曹为子，又下被大吉怒之，后欲亲从魁为母，又被天魁戌土上降殃祸，此占人必灾也。

绝嗣卦

四下贼其上，名为绝嗣凶。中年多子息。

五旬为中年，始有子也。

暮岁灭先宗。

五十以后，主老无子。初传发用是木，末传有水，为子孙救之也。如末传见金克木，即主绝后也。

假令甲寅日，亥将，午时占，即四下贼上，取未上子水为比用。

子为水神，末传见戌土克之，又是孤辰无依也。

又甲寅日，亥将，子时占，三传子亥戌，亦是绝嗣。

假令己未日，亥将，午时占，即四下贼上。三传巳戌卯。初巳火发用，与今日己土比合，中传戌土为子孙，末传卯木为父母，不得言绝嗣，为有救也。

假令庚申日，亥将，辰时占，三传戌巳子。初传戌土，中传巳火为母，末传子水为子，即当头救神，不得言绝矣。

有救同前例，

亦用前例救之也。

无医断后宗。

医者，救也。无医者，绝后也。

专看发用类，年月日时逢。

此年、月、日、时，元首卦内注定也。

迺 福 课

凡八迺课得五福，为迺福课。如死气为用、旺气下胜、俯仰丘仇、带凶将、刑害、传逢坟墓、下贼上、杀临日辰相克，为八迺格。用起初死终旺、子母相生、始凶终吉、年神制初、旺相临日辰，为五福格。此八凶者为迺，五吉者为福，故名迺福。盖时令死气发用，为一迺；下为旺气所胜，为二迺；上见坟墓，为三迺；下见仇克，为四迺；乘凶将，为五迺；带刑害，子为坟墓星，主死亡，为六迺；下贼上，为七迺；凶神临日辰，相克，为八迺。若用起死气，末传旺相，为一福；子逢凶，母带德解救之，为二福；始为凶将，终有吉神，为三福；初传见鬼贼，年命克制，为四福；日神吉，临旺相，为五福。占事先凶后吉。统《屯》之体，乃雷雨解灾之课也。

象曰：八逆并用，忧患将至。得病倾危，遭官坐死。营干不成，动作被累。五福相逢，变忧为喜。如课遇八逆，占者大凶，则应《屯》上六“泣血涟如”之象。或八逆变五福，主事先忧后喜，始终成就，则应《屯》初九“居贞”之象。

如癸酉日午时，亥将，春占，未上死气，下为寅木所胜，俯仰丘仇，乘朱雀凶将，未传相气、贵人，为逆福课。

朱
未
白
子
貴
巳

朱 元 空 騰
未 寅 亥 午
寅 酉 午 癸

青 空 白 常
戌 亥 子 丑
勾 酉 寅 元
六 申 卯 阴
未 午 巳 辰
朱 騰 貴 后

订正

五福：初传囚气，末传旺相，一也；子逢凶，母带德解救之，二

也；初传凶将，末传吉神，三也；初传鬼，年命上神克之，四也；德临日上，五也。此五者，转祸为福之象，故名五福。

占主一切吉。

连福：八连课，又得五福。假如癸酉日午时，亥将，春占，课得
午亥寅未，传得未子巳，将得雀虎贵。用死，一连；未下寅，春木太
胜，二连；木墓在未，仰见其丘，土畏木克，俯见其仇，三连；将雀，四
连；雀与刑合，五连；子临未，下贼上，又乘虎，六连；子得虚宿，主坟
墓、哭泣，七连；干上蛇，支上武，俱凶将，八连。初未死，未巳相，一
福；末生初，子投母，二福；初雀，未贵，三福；巳受子克，得贵人救，
四福；癸德附戊，戊寄丙，午临日，五福。连中有福，故名连福。

占主化凶为吉，先忧后喜。

订讹

八连：时令死气发用，一也；用被地盘旺气所胜，二也；俯仰见
丘墓、仇克，三也；乘凶将，四也；带刑，五也；下贼上，六也；见坟墓
哭泣神，七也；凶神临日辰，八也。八者漏滞忧患之象，故名八连。

占主一切凶。病危，遭官坐死，谋无成。

小吉临寅为用，八连：春土死，用神是死气，一连；未土临寅，寅
旺，木胜之，二连；木墓在未，仰见其丘，丘土畏木，俯见其仇，三连；
朱雀为初传，四连；雀与刑并，五连；中传子临未，下贼上，六连；子
为虚宿，与白虎同位，七连；午加癸，乘凶将腰蛇，又下贼，八连。

凡遇八连，须得旺相吉将，相生为救，若其福力均，殃渐退，疾
病瘥，官讼理得伸。

心镜

八 五福详吉凶，以意推之无定神。欲别凶微吉有力，不然八

五是常文。冲破休囚刑墓杀，恶将都看有几。旺相相生吉神救，又视福之多少均。福力均时殃渐退，病瘥官事理得伸。

侵 害 课

凡课，日辰六害相加，并行年为用，为侵害课。六者，父、母、兄、弟、妻、子六亲也。害者，损也，如子畏午冲，直上穿心见未，合冲助仇而有害也。害则似水壅滞，血气未行，事多阻隔。然子未为势家害。子加未，举事无终始，及官非口舌；未加子，营谋阻塞、有灾。丑午、卯辰为少凌长害。丑加午，官病忧惊，夫妻不合；午加丑，事不明不就；卯加辰、辰加卯主事虚声，争财有阻。寅巳、申亥为竞强争进害。寅加巳主出行改动，退利进阻；巳加寅主事艰阻，口舌忧疑；申加亥，事先的后疑阻，必无终始；亥加申，图谋未遂，事无终始。酉戌为鬼害。酉加戌，阴小逃亡，病凶；戌加酉，时有阻，病凶。事此害神，主侵损相害，故曰侵害。统《损》之体，乃防人暗算之象也。

象曰：六亲失靠，骨肉刑伤。财利潜害，疾病殴伤。求婚人破，出阵军殃。胎孕防堕，干渴不祥。如六害神临日辰发用，又乘凶将恶杀，主侵害凶祸，当应《损》九二“征凶”之象。若带合德、善神、吉将，课体虽阻而终成，当应《损》上九“利有攸往”之象也。

如丙子日申时，卯将占，子日未害，并用子，为侵害课。

子
常
未
六
寅

	六	常	體
寅	未	未	子
未	子	子	丙
	賤		
子	丑	寅	卯
貴	亥		辰
	戌		巳
酉	申	未	午

订讹

侵害：干支害神上下相加发用。临行年更的。子未为势家害，丑午与卯辰为少凌长害，寅巳与申亥为竞强争进害，酉戌为鬼害。六处都能肆其侵损，故名侵害。

刑 伤 课

凡课中三刑发用，并行年，为刑伤课。盖恶莫大于刑，刑主伤残。如寅巳申刑者，寅中有木、火，巳中有土、金，申中有金、水，父子在位相伤，为无恩刑。寅刑巳，主举动险阻，官事灾害，彼刑我斗，前事生发；巳刑申，长幼不顺，先犯后成，彼刑我解，仇将恩报；申刑寅，人鬼残贼，男女相制，彼刑我动。丑戌未刑者，三宫皆土，兄弟以力相伤，为恃势刑。丑刑戌，主官鬼刑禁，尊贵伤卑贱，有挠不明；戌刑未，少凌长，举事、妻财凶；未刑丑，大小不和，或见丧服。子卯相刑者，水木母子，改节相伤，为无礼刑。子刑卯，主门户淫乱，死败；尊卑不睦；卯刑子，去明入暗，水路不通，子息不律。辰、午、酉、

亥自刑。寅申、巳亥四冲无亥，辰戌、丑未四冲无辰，子、午、卯、酉四冲无酉、午，惟子卯互刑，是四位无所相刑，为自刑，主自逞高大，更改自害。受此四冲，缺一不全，欹而不正。三者各自相推，不齐著力，罚而相刑。刑必有伤，故名刑伤。若寻奴仆、小人奔走去向，详支之刑神所临之方，追之必获。统《讼》之体，乃大小不和之课也。

象曰：偏欹失位，家门不昌。胎孕欲堕，婚姻不良。征下顺利，斗上刑伤。谋为乖戾，凡事遭殃。如刑神为用，或递互相加，乘凶将临日辰，皆主伤残，人情不和。刑干男伤，人身不利；刑支女病，家宅不安。时刑干，忧小口、小人，时下事不利。善刑恶无忧，恶刑善凶至。刑月建者不可讼人，刑日神者不可远行。干刑速，支刑迟。或上下相刑，遇日鬼，主公私之扰，尊长不分，凡事乖戾，谋干费力，忌小人；见蛇、血支、血忌，孕必堕胎，及血光灾。或辰自刑，又见辰乘凶将，主燥爆，挟刃自伤。或六处有神作支之自刑，又作干鬼，结连三传为鬼，为助刑或伐德，甚凶，当《讼》上九“或锡”“鞶带”，“三褫之”凶象。若遇德神、吉将，有气，事有阻终遂象。

如庚午日寅时，子将占，午为支刑，临日用，为刑伤课。

廉
 午
 六
 辰
 青
 寅

元 酉
 申 戌 辰 午
 戌 子 午 庚

	卯	辰	巳	午
空	寅		未	貴
	丑		申	
	子	亥	戌	酉

凡偷盗男女奔走，止论刑德。盖尊贵以德，卑贱以刑，故为刑德格。刑者，寅、午、戌日刑在巳、午、未方，申、子、辰日刑在寅、卯、辰方，巳、酉、丑日刑在申、酉、戌方，亥、卯、未日刑在亥、子、丑方。德者，甲、己德寅，乙、庚德申，丙、辛、戊、癸德巳，丁、壬德亥。阳德自处，阴德从阳。占奴仆寻刑，德胜刑易获，刑胜德难见，德、刑不相克，见闭口课中推寻。常人占，但取天盘上德、刑下所加之地，以别贵、贱去向之方是也。

如庚子日戌时，亥将，占走奴仆。支刑在卯，下加寅，主去东北方，追之可获，应在刑受克。金德，木刑也。若占贵人、君子，日德在申，下加未，主往西南，寻之可见，应德受生日时到也。其二者配为德刑格。

订讹同意。

二 烦 课

凡四仲月将，遇四正及四平日占，得日、月宿加四仲，斗罡系丑、未，为二烦课。四仲者，子、午、卯、酉也。日宿者，太阳躔度宫神也，正月起亥，逆行十二辰。月宿者，太阴躔度宫神也，正月初一起室，二奎，三胃，四毕，五参，六鬼，七张，八角，九氐，十尾，十一斗，十二虚，每月初一移一宿，逐日数二十八宿，遇奎、张、井、翼、氐、斗宿重算，留一数，尽月宿住处为太阴所在宫神，更详七政历，细度为准。斗罡者，辰也。四正者，朔、望、弦、晦也。初一为朔，初

八为上弦，十五为望，二十三为下弦，月终为晦。四平者，即四仲也。子平卯，卯平午，午平酉，酉平子也。如日、月经仲宿，度数多而有稽留，及天罡凶神交系丑、未，贵人不得理事，则三光不明，德气在内，刑气在外。此二者天地相并，故名二烦。占者家有灾祸。统《明夷》之体，乃荆棘满途之课也。

象曰：男遇天烦，命遭刑戮。女犯地烦，身受蛊毒。征战伤亡，疾病号哭。狱讼徒流，胎孕不育。如将乘螣蛇，主忧恐；勾陈，主争斗；后、合，阴暗；白虎，丧亡。此天、地烦并，主男女俱有患，惟春夏可生，秋冬必死。当此之时，利居家，不利出行及干求事，凡百谋为造作，决招凶祸，则应《明夷》上六“后入于地，失则”凶象也。

如九月初三丙午日午时，卯将占，寅命，行年在午。月将为日宿，躔氏二度。月宿躔氏五度。太阳、太阴俱值卯宫，加午为仲辰，为斗罡临未。二并为天地烦，曰二烦课也。

		子		
		阴		
		酉		
		白		
		午		
	勾		六	
子	卯	亥	寅	
卯	午	寅	丙	
				空
寅	卯	辰	巳	
丑			午	
子			未	
亥	戌	酉	申	
	贵			

凡日宿临四仲，斗罡系丑、未，为天烦格，主男子犯法。盖男禁天烦，无抵四正朔、望、弦、晦。如春夏，男行年并日宿临卯、午，主犯县官，刑囚见血及徒配之患；秋冬临酉、子，有犯刀兵刑戮、汗葬之灾也。

凡月宿临仲，斗罡系丑、未，为地烦格，主女子受灾。盖女禁地烦，无冲四平子、午、卯、酉。如春夏，女行年并月宿临卯、午，主产难、流血、斗讼之愆；秋冬临酉、子，有刑丧、犯法死亡之残殃也。

如三月十五己卯日子时，酉将，男命，行年在子。日宿酉并临子为加仲，罡下系未，为天烦格。又女命行年在午，月宿卯并临午为加仲，罡下系未，为地烦格也。

	勾		
	子		
	酉		
	阴		
	午		
		勾	常
酉	子	丑	辰
子	卯	辰	己
	空	女	
寅	卯	辰	巳
丑			午
子			未
亥	戌	酉	申
		男	贵
		年	

订讹

二烦：日宿临仲，斗系丑、未，曰天烦。月宿临仲，斗系丑、未，曰地烦。日月宿俱临仲，斗系丑、未，曰天地二烦。日宿者，太阳躔度也，正月起亥，逆行十二辰。月宿者，太阴躔度也，正月初一起室，二月初一起奎，三月胃，四月毕，五月参，六月鬼，七月张，八月角，九月氐，十月心，十一月斗，十二月虚。每一日行一宿，如遇奎、井、张、翼、氐、斗，皆重留一日，数至占日，即知月宿所在也。子、午、卯、酉为天地关格，四极之地，太阳、太阴切忌临之。丑、未，贵人之首也。斗罡凶神，加临其上，使贵人不得理事，此门户闭塞，三光不明，德气在内，刑气在外，天翻地复，莫大忧烦，故名二烦。

占主极凶。春夏尚可生，秋冬必死。百事祸散复至，殃及子孙。喜者反怒，解者更结。虽有吉神不救。日宿临卯、午为春、夏天烦，男犯刑，囚徒配；临酉、子为秋、冬天烦，男犯刀刑，法死不葬。月宿临卯、午为春、夏地烦，女产难，斗讼血流；临酉、子为秋、冬地烦，女犯重法，为男所杀。男女行年并尤的。月宿遇重留者更凶。大抵弦、望、晦、朔四正日，男行年抵日宿，主被吏执；子、午、卯、酉四仲日，女行年抵月宿，主被盗贼。假如壬子日、午将、卯时，四课^{寅巳卯、壬午、壬寅、壬子}，三传午酉子，若正月十四占得此课则为地烦。盖正月初一起室，数至十四日为柳，柳乃午宫宿是也。若六月初二占得此课为天地二烦。盖午为六月月将，临卯，此日宿临仲；又六月初一起鬼，初二柳，柳乃午宫宿，此又月宿临仲，故名二烦也。二课俱斗系丑。

此课，四仲月、日及四正日占之更的。然日、月宿不发用者不真。

附：日、月宿临仲，斗不系丑、未，又名杜传，传行杜塞也。

心镜

日月宿行为四仲，此卦名为天地烦。更被斗罡加丑未，复以兼称为杜传。男行抵日女抵月，举事灾殃为汝言。祸散更生欢复怒，仇人和了又成冤。弦望晦朔天烦合，男犯刑伤被吏缠。

弦、望、晦、朔为四正日，男行年抵日者主被吏执缠。
子午卯酉地烦会，主女流血迤复遭。

春，酉将，八课：

乙卯、丁卯、己卯、辛卯、癸卯、庚午、戊午、壬午。（并酉加午临仲发用，斗系丑、未。）

夏，午将，十二课：

甲子、丙子、丁酉、己酉、庚子、壬子、癸酉、辛酉。（并午加酉临仲发用，斗系丑、未。）

秋，卯将，三课：

戊子、辛酉、己酉。（并系卯加子发用，斗系丑、未。）

冬，子将，七课：

丁卯、丁丑、丁酉、辛卯、丙午、己卯。（并系子加卯发用，斗系丑未。）

二十八宿，角、亢、氐、房之类。正月起室，已见于前，假令正月初一日起室，二日壁，三日、四日俱奎，五日胃，六日昴，七日毕，八觜，九参，初十日、十一日俱井，十二鬼，十三柳，十四星，十五张，加四仲发用者是也。

起月宿法：

正室二奎三在胃、四毕五参六鬼期。七张八角九月氐，十心一斗十二虚。

每日一宿，遇奎、张、井、翼、氐、斗，重留一日，遇本日星发用者是地烦。地烦又要斗系丑、未，月宿加四仲发用是也。

月宿所属十二辰：

辰：角、亢；卯：氐、房、心；寅：尾、箕；丑：斗、牛；子：女、虚、危；亥：室、壁；戌：奎、娄；酉：胃、昂、毕；申：觜、参；未：井、鬼；午：柳、星、张；巳：翼、轸。

正月十四、十五、十六；二月十二、十三、十四；三月初九、初十、十一；四月初七、初八、初九；五月初五、初六、初七；六月初二、初三、初四；七月初一、初二；八月二十六、二十七、二十八；九月二十五、二十六、二十七；十月二十二、二十三、二十四；十一月十九、二十、二十一；十二月十五、十六、十七。

丁丑昴星，丁亥、己卯、甲子、癸酉、丙子昴星俯，己丑、丁酉、庚子、己酉、壬子、辛酉，并系午加酉为用，以上月内逢者是。

正月初六、初七、初八；二月初四、初五、初六；三月初一、初二、初三；四月初一；五月二十九、三十；六月二十六、二十七、二十八；七月二十三、二十四、二十五；八月十八、十九、二十；九月二十六、二十七、二十八；十月十四、十五、十六；十一月十一、十二、十三；十二月初八、初九、初十。

乙卯、庚午、己卯、壬午、辛卯、癸卯、戊午、丁卯，并系酉加午为用，以上月内逢者是。

正月三十；二月二十八、二十九、三十；三月二十六、二十七、二十八；四月二十四、二十五、二十六；五月十九、二十、二十一；六月二十三、二十四；七月二十六、二十七、二十八；八月十一、十二、十三；九月初九、初十；十月初六、初七、初八；十一月初三、初四、初五；十二月初一、初二。

己卯、丁卯、丁丑、己丑、辛卯、丁酉、丙子，并系子加卯、酉发用，如前月日逢者是。

正月二十二、三、四；二月二十一、二、三；三月十八、十九、二

十、二十一；四月十六、十七、十八；五月十四、五、六、七；六月十一、二、三、四；七月初八、九、十、十一；八月初三、四、五、六；九月初一、二、三、四；十月初一、三十；十一月二十七、二十八、二十九；十二月二十四、五、六、七。

戊子、己酉、辛酉、癸酉、乙酉、丁酉，并系卯加酉发用者是。

子、午、卯、酉四项，通计三十余课，值此月此日方是。假令正月二十二日，己酉申时，月宿在卯。此日偶值己酉，卯加子，仲临仲发用，为地烦课也。

斗不系丑、未者，名杜传课。四位俱闭，三光不明，德气在内，刑气在外，利于居家，不可远行。

假令戌将，卯时，己卯日占，四月丙午日，申将，午时，六月癸酉日，未将，酉时，皆乃天烦杜传。

假令九月，辰加酉，初一起氐，数十四日，乃月宿在戌，庚戌日戌加卯发用，是地烦杜传。

天 祸 课

凡四立日，占得今日干支临昨日干支，或昨日干支临今日干支，为天祸课，盖立春日木旺、水绝，立夏日火旺、木绝，立秋日金旺、火绝，立冬日水旺、金绝。一年之内，只此立春、立夏、立秋、立冬四立日前一日为四绝。如四立日干支神加绝神干支，或绝神干支加四立干支神，此四时之气，德绝用刑，如天刑时灾，人受其祸，故名天祸。占者动有凶咎，不可妄为。统《太过》之体，乃嫩草遭霜之课也。

象曰：以新易旧，天有灾祸。咎事莫为，身宜谨守。战斗流血，造死丧偶。出行死亡，干渴空走。如四立金日，前一日是火神，相加

又发用，占者主火殃，或雷震天灾。木日水动，主水灾，或盗贼淫乱。木主屋梁崩折，金主兵戈战斗，土主土瘟，墙壁险陷。更乘白虎，主死丧，元武失脱，朱雀口舌，勾陈争斗。带恶杀，必有不意凶祸，不出时节九十日也。或四立日值朔、望，先一日月穷，为四废，并此四绝之日上望见月宿，其凶尤甚。当此之时，不可出行、造作等事，犯者大凶，当应《大过》九三“栋挠凶”之象也。

如正月，立春甲申日，绝日癸未，寅加癸，为天祸课。

辰

巳

午

戌 酉 辰 卯

酉 申 卯 甲

午 未 申 酉

巳 戌

辰 亥

卯 寅 丑 子

订讹

天祸亦名四穷天祸，凡四立日，占得今日干支临昨日干支，或昨日干支临今日干支。立春日木旺、水绝，立夏日火旺、木绝，立秋日金旺、火绝，立冬日水旺、金绝，四立前一日为四绝。如四立日干支加绝神干支，或绝神干支加四立日干支，此四时之气，德绝用刑，日上日下皆不愿处，如天行时灾，人受其祸，故名天祸。绝神为四时穷日，故亦名四穷天祸。

占主动凶，不可妄为。出行死，干谒不见，造葬更忌。如绝神是

火，主火灾，或雷霆变异；水，主水灾，或盗贼淫乱；木，主屋倾；金，主兵战；土，主土瘟，或官司牵累。应验不出节内九十日也。或四立日值朔、望，先一日为月穷，又为四废，并此四绝之日上望见月宿，凶尤甚。

心镜

四立日占为百事，切忌干临向绝辰。

立春、立夏、立秋、立冬，四立前一日为四绝，前日干临今日干是也。

遇此是名天祸卦，天咎之灾四五旬。

经云，祸不出一节。一节，四十五日也。

今日立春当乙酉，昨暮穷冬是甲申。假令乙酉戌时课，乙将临甲害凌人。欲知祸患缘何起，以将推之决是因。白虎死亡元武贼，官事追朱斗勾陈。天空作事主欺诈，若依此法岂遭迍。

天祸：四立日日干临前一日日干上。天寇：分、至日日支临前一日日支上。创始值于干绝。旺极值于支离。天祸主九十日，水绝水厄，火绝火灾，虎加病死，元加盗贼。天寇主四十五日，出行遭劫，造屋火灾，骨肉不相保，疫病必相伤，遇之者上天怒之咎也。

假令甲申旬，乙酉日立春，子将，戌时。

贵申鬼

财戌阴

父子常

丑	亥	申	午
亥	酉	午	乙

丙 戌 巳	騰 未	貴 申 午 中	后 酉 未 己	陰 戌 申 庚
	朱 乙			元 亥 酉
午 辰	巳 門	六 卯		子 常
辰	勾 卯	青 寅	空 子	戌 辛
寅 甲	丑 癸	子	亥 壬	丑 白

天 獄 課

凡課，囚死、墓神发用，斗系日本，为天獄卦。盖囚死者，时令囚死之气也。墓者，日库也。我克者为死，克我者为囚。夫死囚发用，主死丧囚禁之事。斗者，辰，为罡也。日本者，日干长生位也。若日本强旺，生日有救，今日本又遭斗系，不能扶助用神囚死、墓葬之气，如天降灾殃，致人罹獄难逃，故名天獄。占者忧患相仍，难解。统《噬嗑》之体，委靡不振之课也。

象曰：日用违遭，刑獄之愆。犯法难解，染病未痊。出行凶也，谋事徒然。兵家大忌，出军不旋。如用神囚死，俯仰丘仇，斗系日本。或乙日，辰加亥孟神忧父母，加卯仲神忧同类，加未季神忧妻子。或带刑杀、灾劫，为真天獄，虽有青龙莫能救止。或为魄化，奇系日本，凶祸尤甚。当此之时，不可出行及造作，百事皆凶，则应《噬嗑》上九“何校灭耳，凶”象也。然辰为天牢，戌为地网，若罪囚入獄，喜见贵人临辰、戌，有履獄录囚之义，更日辰、行年得子孙、生气、德合、解神、吉将，为獄清平，则危中有救，忧中有喜，官讼得理，贼围可解，当应九四“得金矢，利艰贞，吉”之象也。

如乙酉日，春占，未土死气发用，斗罡系亥，为天獄课。

未
子
巳

未 寅 寅 酉
寅 酉 酉 乙

戌 亥 子 丑
酉 寅
申 卯
未 午 巳 辰

订讹

天狱：发用死囚，斗系日本。日本者，干长生也。我克为死，克我为囚。死囚发用，已主死丧囚系，又是斗罡凶神临日本之上，如天降灾，致人罹狱难脱，故名天狱。

占主犯法入狱，病多死，出行、用兵、一切造作凶。如用神囚死，作日墓，俯仰丘仇者，更的。丘乃三丘，天盘见之曰仰见其丘。仇乃克制，下受地盘克曰俯见其仇也。斗加日本，带刑煞、灾劫为真天狱，乃致死之地，虽有青龙莫救。或魄化为用，斗系日本，谓之绞斩卦，祸尤惨。

此课甚凶，主家有人系狱。如将得贵、龙、常、后，又不带灾劫等，变凶为吉，来意主望天恩事。有贵临辰、戌，未入狱者遇之，则贵人不得地，不能察讼，讼凶，若罪囚在狱，喜见贵人，有履狱录囚之义，更日辰年上得子孙，乘生气、德、解、吉将，为天狱清平，危中有救，讼伸围解。

天 寇 课

凡四离日占得月宿加离辰，为天寇课。盖春分、秋分，卯、酉月中阴阳均分而离，冬至、夏至，子、午月中阴阳俱至而离。四时之中，惟此春分、秋分、冬至、夏至四至前一日为四离，乃阴阳生杀，多主盗贼。月宿者，乃太阴躔度之辰，正月初一起室，逆行二十八宿，每日约行十三度，所到之宫辰为月宿。阴精刑杀，主盗，加此四离之辰，明中为盗，如天降凶寇，殃及于人，故名天寇。占事破坏，多值乱离。统《蹇》之体，乃时势多艰之课也。

象曰：阴阳分离，气不得反。盗贼滋生，军兵惰懈。病者即亡，孕妇当产。出路死伤，婚姻拆散。如月宿加离辰发用，祸事尤速。乘元武，勾陈，作游都、盗神，定主盗贼，来则必战。或乘虎作鬼劫，为真天寇，其凶尤甚。此时出行、市买，主劫盗伤亡，百事不遂，则应《蹇》“险在前也”、“其道穷也”凶象。若占人年命见月宿加离辰，必己身欲为盗来问也。故月宿值太阳，日月并明，主盗贼败露，为败寇，当应《蹇》“见险能止”，大人济蹇之吉象也。

如癸卯日春分，离辰壬寅，月宿在辰，加寅为天寇课。

亦非发用。

未

酉

亥

未 巳 巳 卯

巳 卯 卯 癸

未	申	酉	戌
午			亥
巳			子
辰	卯	寅	丑

订讹

天寇：分、至日，占得月宿临离辰。春分、秋分阴阳均分，冬至、夏至阴阳俱至，分、至前一日为离，乃阴阳离拆，盗生盗杀之时。月宿详见二烦课中，即正月起室，二月起奎等是也。逢奎、井、张、翼、氏、斗，皆重留一日，数到四离日，若是月宿加之，当主寇盗。假如八月初五日丁酉秋分，辰将，酉时占事。初一角，初二亢，初三氏，氏该重留一日，初四仍在氏，初五房，房宿在卯。申为离辰而卯加之，是离辰上望见月也。月乃金水之精，主刑杀，又乘四离盗气之辰，如天降凶寇，殃及于人，故名天寇。

占主凡事破坏，多值乱离，盗猖兵败，病者死，孕妇即产是女而凶，出路死伤，婚拆散，营造见火灾，谋望不成，一动即有生分死别之象，虽有救神莫解，惟居家守静可也。月宿临离辰，不在课传亦凶，发用更甚。乘元、勾，作游都、盗神，盗必来，来必战。乘虎作鬼劫为真天寇，凶尤甚，此时不可出行、市贾，主劫盗、丧亡。若占人年命见月宿加离辰，必己身欲为盗来问也。或月宿值太阳，日月并明，主盗贼败露，为败寇。

天网课

凡课，占时与用神同克日，为天网课。盖时为目前，用为事始，时、用既为日鬼，如人举目见天网，故名天网。占者凡事不能踊跃登

高至远。统《蒙》之体，乃罗网在头之课。

象曰：天网四张，万物尽伤。产孕损子，逃亡遭殃。战有埋伏，病入膏肓。先凶有救，后获吉祥。如占时与用同克日干，为天网。又天网，正月起亥，逆行四孟；天刑煞，春酉，夏子，秋卯，冬午。又天网，辰也；地网，戌也。入传凶甚。主官灾、口舌难消，出军被围难出，则应六四“困蒙，吝”之凶象。若末传及年命有救神克初传，为解网，反凶为吉，则应《蒙》九二“子克家”吉象也。

如庚辰日午时，辰将，午加庚，用，时俱克日，为天网课。

			贵
			午
		合	
		辰	
		腰	
		寅	
子	寅	辰	午
寅	辰	午	庚
卯	辰	巳	午
寅			未
丑			申
子	亥	戌	酉

凡日辰前一位为之天网杀，对冲为之地网杀，并日辰、命年发用者，为之罗网格。若遇丁马，主官灾厄难，更以神将言其吉凶。再论末传、年命，有救神克初传吉。

如甲寅日，辰将，酉时，用酉，俱克日，并日前冲位为罗网格。

酉
辰
亥

午 亥 辰 酉
亥 辰 酉 甲

子 丑 寅 卯
亥 辰
戌 巳
酉 申 未 午

订讹

天网：时与用神俱克日。时为目前，用为事始，二处既皆日鬼，则至近之处先有所阻，如人举目见天有网，故名天网。

占主动见阻滞，不能踊跃登高而致远也。孕损子，战有埋伏，病在膏肓。金鬼，主斗讼、疾病；水鬼，忧女子病，或讼；木鬼，斗讼，钱财毁伤；火鬼，主火灾惊恐，经官对吏；土鬼，争讼田地、坟墓事。传遇三煞，定主官灾，又遇灾劫，谓之人网。旺相克囚死，谓之天网四张，万物尽伤。与天网（正月起亥，逆行四孟）、天刑（春酉，夏子，秋卯，冬午）并，或天罗（辰也）、地网（戌也）入传，凶甚。主官灾、口舌难消，行军被围难出。若与天狱，死奇并，必死。

此课，凡占凶，惟利田猎、行刑、追逃捕盗，或日与中末及年命有子孙及冲破克鬼者，为解网，反凶为吉。

心镜

天罗地网卦

日前一辰天罗真，对冲名为地网神。发用行年支干上，官灾病厄是其连。朱雀火殃白虎病，滕蛇忧梦怪惊人。

订讹

罗网：日前一位为天罗，罗之对冲为地网。又日前一位为天罗，辰前一位为地网。前位神复盖遮隔，不得出头，故名罗网。

占主身、宅俱不便利，病危，官灾，谋为多拙，遇丁马更凶。

此课，得年命冲破罗网之神，为有救。

魄化课

凡白虎带死神、死气临日辰、行年发用，为魄化课。盖虎乃凶将，乘旺相气，受制，不能为害。若遇死神、死气及时囚死之神，则为饿虎，定是伤人。如魄神受惊，化而飞散，故名魄化。死神正月起巳，死气正月起午，俱顺行十二辰。其神乘虎克日，占忌己身之灾；克辰、门户之灾。统《蛊》之体，乃阴害相连之课。

象曰：人身丧魄，忧患相仍。病多丧死，讼有忧惊。产孕伤子，征战损兵。谋而招祸，切莫远行。如日墓乘虎，或魁罡作日墓，带死囚神发用，为虎衔尸，极凶。或在年命，又为日鬼，乃自己丧魄，动则自寻死也。或日墓虎鬼临干，主身受殃，且凶速速。日墓虎临支、克支，宅有伏尸作怪，或有形响。虎在阳，忧男；在阴，忧女。上克下及日，外丧；下克上与辰，内丧。或人年在魁罡蛇虎之下，无冲克救解，决有身主死亡之殃，当应蛊虫在器，六四“往见吝”之凶象。若虎临鬼门，虎阴神制虎，日辰、年命处有冲克，及吉神救解，为魄化魂归，先忧后喜，则应上九“高尚其事”之吉象也。

如壬戌日，戌加壬为用，虎乘死神迫日、年，为魄化卦。

白
戌
酉
申

申 酉 酉 戌
酉 戌 戌 壬

辰 巳 午 未
卯 申
寅 酉
丑 子 亥 戌
白

订讹

魄化：白虎乘死神、死气及囚死临日辰、行年发用。又曰，墓乘虎作鬼加日亦是。死神正月起巳，死气正月起午，俱顺行十二辰。虎乃凶神，乘旺相，自贪其旺，或受克制，皆难为害。若遇死神、死气及时令囚死，则为饿虎，定是伤人。如魄神受惊消散，故名魄化。

占主凶，病者死，无病亦有病，讼忧惊，孕伤子，战损兵，谋为招祸，远行更忌。如日墓作鬼乘虎，或作魁罡带囚死发用，为虎衔尸，更凶。若在年命上，主自寻死。并金神三杀，血支、血忌，主刀下身亡。或水神天河地井相迫，必是自欲投水溺死。或为悬索、勾绞，主自缢死。大抵虎克干，防身；克支，防宅。上克下，外丧；下克上，内丧。若在阳，忧男；在阴，忧女。如二月甲戌日，课得戌午午寅，三传甲戌戌午。

戌午寅，将得虎，乘天上死神迫日辰，必有死丧事。午为阳，忧男子。下克上，内丧。又如六月壬戌日，课得_{戌壬}_{酉戌}_{酉戌}_{申酉}，三传戌酉申，将得虎，乘地下死神迫日辰，必有死丧事。戌为阳，忧男子。上克下，外丧。

此课十分凶，若贵临鬼门，日辰、年命得吉神，虎被冲克，为魄化魂归，先忧后喜。

订讹

丧魄：正月未，二月辰，三月丑，四月戌，周而复始。加人行年或日辰发用，四土凶神能丧人魄，故名丧魄。

占主病将死，壮健亦衰。

订讹

飞魂：正月起亥，顺行十二宫。加人行年或日辰发用，令人魂有飞扬千里之象，故名飞魂。

占主夜多凶梦，鬼祟相侵，恍惚不宁。

袖中金

飞魂、丧魄：魂属阳，魄属阴，二者聚散去来之神，若于日辰、行年上见者，壅滞魂魄之往来。更值天乙逆行，白虎入传，三传隔角，不见生气，健者忧衰，病者忧死。

三 阴 课

凡天乙逆行，日辰在后，用其囚死，将乘元虎，时克行年，为三阴卦。盖贵人逆治，日辰在后，阴气不顺，一也；用神囚死，动作无

象曰：动作困苦，百事沉沦。见官屈伏，占病多违。仕忧禄位，男忌婚姻。求财破散，孕主女娠。如日辰、三传始终囚死，带墓，时克行年，最凶，主公私事皆不成。或丧魂、游魂、五鬼、伏殃诸煞并临，其祸尤甚。丧魂杀正月起未，逆行四季。游魂杀正月起亥，顺行十二辰。天鬼、伏殃杀正月起酉，逆行四仲。其杀并临日辰、年命，占病必死，行兵多败；谋为及占家宅，主家破人离，百事凶殃，宜禳之。则应中孚六三“得敌，或鼓或罢，或泣或歌”之凶象。六处有救解神，末传旺相，则应九二“鸣鹤在阴，其子和之”之象也。

如正月癸丑日卯时，子将，占人申命，行年在丑。天乙乘巳加申，逆理天乙，日辰在天乙后，戌为死，乘白虎凶将，加癸为用，卯时属木，克人年丑土。为三阴课。

白
戌
未
辰

未戌 戌丑 未戌 白戌癸
 寅卯 辰巳 貴巳午 命
 子亥 酉申 白戌年

订讹

三阴：贵人逆治，日辰在后，一也；发用传终各带囚死，二也；将乘元、虎，时克行年，三也。三者俱主暗昧无光，幽阴之象，故名三阴。

占主暗滞沉沦，见官屈伏，病多逆，名位失，财破，婚无就，孕生女。如日辰、发用带墓鬼克行年，最凶，公私事皆不成。或丧魂、游魂、天鬼诸煞，占病必死。

此课主凶，然六处有救解，未传旺相，反之。

附：课传中六阴俱备者，名六阴课，利私谋，不利公干，昼传夜迷甚。

订讹

四逆：用吉终凶，一也；用旺终衰，二也；天乙逆行，三也；传入天乙后，四也。四者皆属拂逆，故名四逆。

占主事体隔绝，有头无尾。志意不遂，妻奴不顺。

龙 战 课

凡卯、酉日占，卯、酉为用，人年立卯、酉，为龙战课。盖卯月阳气南出，万物生，阴气北入，榆莢落；酉月阳气北入，万物凋，阴气南出，麻麦生。此阴阳出入之位，刑德聚会之门，时气分离，不可复合。如卯日占课，遇卯为用，人年复立卯上；酉日占事，逢酉发用，人年并立酉上。此阴气主刑杀，阳气主德生，其体如龙，一生一杀，相战于门，故名龙战。主占事疑惑，反复不定。统《离》之体，乃门户不宁

之课也。

象曰：合者将离，居者将徙。欲行莫行，欲止莫止。出路迢迢，求婚莫娶。胎孕不安，财物弗聚。如三传入三交课，主贼来必战。游神春丑，夏子，秋亥，冬戌，相加，主行人必来，求财不得，占病反复，占官改动。或夫妻年立其上，主室家离散；兄弟年立其上，主争财异居。将得天后，事起妇女。乘蛇、虎、元，尤加惊恐。事宜决断，进退不能，南北俱凶。纵有吉神将，不免其咎。当应《离》九三“大耋之嗟，凶”象也。

如丁卯日辰时，戌将占，卯加酉发用，人年立卯地，为龙战课。

			常		
			卯		
			朱		
			酉		
			常		
			卯		
		常	朱	勾	阴
	卯	酉	未	丑	
	酉	卯	丑	丁	
				阴	
	亥	子	丑	寅	
	戌			卯	
年	酉			辰	
	申	未	午	巳	

订讹

龙战：卯、酉日占，卯、酉上神发用。行年卯、酉更的。卯月阳气南出，万物生，阴气北入，榆荚落。酉月阳气北入，万物凋，阴气南

出，麻麦生。此阴阳出入，刑德聚会，其体如龙，一生一杀，相战于门，故名龙战。

占主疑惑反复，门户不宁，出忌南行，入忌北行，合者将离，居者将徙，欲行莫行，欲止难止，婚阻，孕不安，财不聚。如传入三交，贼来必战。游神并，行人来，病反复，官改动。或夫妻年立其上，主室家离散；兄弟年立其上，主争财异居。将得天后，事起妇人。乘蛇、虎、元，犹加惊恐。

死 奇 课

凡斗罡系日辰阴阳发用，为死奇课。斗罡者，辰也。盖天罡为死奇、凶恶、厌翳之神。死囚带杀，所在者殃。如罡加四课之神，主死亡奇怪之事，故名死奇。月为刑奇，主刑杀，占者威凶，故主疾病、忧患。日奇为福德，主奸盗并息，反凶为吉。统《未济》之体，忧中望喜之课也。

象曰：辰为天罡，刑狱之曜。疾病死期，征战凶兆。论讼被囚，干贵失靠。婚嫁出行，祸患自招。如带日鬼、日墓、灾劫恶煞，相并克贼，及乘白虎，为必死之兆，大凶。更临岁月之上，为三死课，祸尤凶。经曰：三者尽伤，岁必受殃。此天罡临日，旬内忧；临辰，月内忧；临岁，岁内忧。孟忧二亲，仲忧己身，季忧妻奴。当应《未济》初六“濡其尾，吝”之凶象也。若旺相，德合相生，遇吉将，或六处有冲克救神及日奇，反吉。辰为月将尤美，为死奇回光，除祸为福，则应六五“有孚，吉”象也。

如甲子日丑时，巳将占，辰为天罡，加子为用，死奇课。

元
辰
青
申
辰
子

申 辰 戌 午
辰 子 午 甲

酉 戌 亥 子
申 丑
未 寅
午 巳 辰 卯

订讹

死奇：天罡发用，月行度到角亢之分，或月宿临太岁、日辰皆是。天上日月星，三奇。天罡星宿为死奇，月宿为刑奇，日宿为德奇。盖白昼万物光辉，夜则鬼神不潜，奸盗为害，所以日主德，月主刑，星主死也。日宿即月将是也。月宿乃月躔度。天罡、太阴同见，六处有月将照之，谓死奇回光。只有太阴，刑奇单见，亦主病患，而又天罡恶神并，且无月将救援，定主死亡奇祸，故名死奇。

观月经

式加死奇卦，天罡日月论。死亡推斗下，忧患月中陈。日至能除祸，诸家卦备均。

所生为父母，同类兄弟亲。墓处论妻妾，三奇推苦辛。斗临遭死损，月至忧患频。日到灾殃散，思量卦有神。

如甲、乙、亥为生，寅、卯为类，未为墓，是妾。如丙、丁、寅为生，

巳、午为类，戌为墓。戊、己、巳、午为生，四季为类，辰为墓。庚、辛日，己为生，申、酉为类，丑为墓。壬、癸日，申为生，亥、子为类，辰为墓。

心镜

天上三奇日月星，日为福德月为刑。

三奇皆灵奇也。日为福德者，日出则奸盗止，鬼神潜，恶兽伏，病者愈，故为福也。月为刑者，月，夜曜也，则奸盗不止，鬼神不潜，恶兽不伏，病则剧，故主刑也。

星是死奇为北斗，更互加之各有灵。

星是死奇，为北斗星也。星斗之光不及日月之曜，处暗之中，奸盗不止也。

加孟所生忧父母，临仲为身及弟兄，季上见之妻与子，看其臧否与谁并。

假令今日丙、丁，斗加寅为孟，所忧父母；临午为仲，所忧己身及兄弟；临戌是季，为妻子、奴婢。寅是火生，午是火旺，戌是火墓，他例此。看何奇加何位，即可知之。

日主旬中辰月里，

奇加日，吉凶在旬内。奇加辰，吉凶在月内。遇奇则吉凶有应。岁上一年之内程。

奇在太岁，吉凶在一年之内应也。

星月独临当死患。

星奇主死，月奇主患。

其中日照免危倾。

星、月之奇虽主凶恶，若日辰、太岁上或有日奇，则星、月不能为灾殃也。盖日出则星月没故也。日奇者，月将也，是太阳，故曰日宿。月奇者，月宿也，是太阴，是二十八宿值日发用也，亦

如二烦卦论也。

订讹

死绝：日之死乡，又加死地之绝乡发用。如甲日、午加亥发用是也。甲木死在午，午火绝在亥，故名死绝。

占主纪纲紊乱，壮者病，病者死，百事衰微、凶败。

灾 厄 课

凡丧车、游魂、伏殃、病符、丧吊、丘墓、岁虎发用者，为灾厄课也。盖丧车一名丧魂，正月起未，逆行四季，为恶鬼临门，主病疾忧死，妇人产厄，非病有危。游魂正月起亥，顺行十二辰，为鬼祟、妖怪、不详，主精神惊恐，病患凶灾。伏殃者，正月起酉，逆行四仲，为天鬼煞，主殃祸所侵，伏兵杀伤。病符，旧太岁。临支克支，主合家病患。并天鬼，时疫；并白虎，死丧，甚凶。或临干支，旺相，带日财、贵人，即宜成合残年旧事。丧吊，岁前二辰为丧门，岁后二辰为吊客。若全加支干或年命发用，主身披孝服。或并死气、绝神，白虎临身，吊客入宅，主自身死亡，致宅人挂孝。白虎，岁后四神，并旬虎临日辰，最为凶；并鬼，病不可疗。五墓者，金丑，木未，火戌，水、土辰，主死丧病凶。三丘，库墓冲位，并虎、雀、丧门，有葬埋事；临丑，有墓田事。或丘、墓入传，季神逢丁，神将凶，主恶祸、官病，凶灾最速。此凶杀，灾殃危厄，故名灾厄。统《归妹》之体，乃鬼祟作孽之课。

象曰：家门厄会，妖孽为害。疾病死亡，财喜破坏。婚孕多凶，征战大败。行人不归，访人不在。绝神，如申子辰用巳类，取水绝在巳也，亦为墓门，为女灾，为劫煞，主孕凶，宜了绝旧事。血支，每月闭也。血忌，正丑，二未，三寅，四申，对位顺数，忌针刺。并天空、沐

浴，为产血支、血忌，为破胎神，临产宜见。胎神，绝前一位。羊刃，禄前一位，主兵刀血光，或值日用囚死、凶将，并诸丧车恶杀，大凶。或青龙作日鬼，为幸中不幸，则应《归妹》“征凶，无攸利”之象。若病符、女灾、虎墓、囚死，日辰、年命有冲克，及天、地医救解，凶散为吉，病可疗。或白虎作长生，为不幸中之幸，则应初九“跛能履，征吉”之象也。

如亥年，正月将，乙亥日卯时占，未为丧车，春占死气加亥乘虎，亥年未为岁虎，曰灾厄课。

			白
			未
			合
			卯
			后
			亥
卯	未	申	子
未	亥	子	乙
丑	寅	卯	辰
子			巳
亥			午
戌	酉	申	未白

殃 咎 课

凡三传递克日，神将克战，或干支乘墓，为殃咎课。如己巳日，三传巳申寅，初传克中，中克未传，未克日干。如丙子日，三传子未寅，未传克中传，中传克初传，初克日干，为递克。主他人欺凌，互相

克害。为官宜自简束，防人论劾；常人有凶横之祸，或被邻人雷状攻讼。凡将克神，为外战，祸患易解；神克将，为内战，祸患难解。初遭夹克，凡占夹同类，身不自由己，受人驱策。夹财，财不由己费用。惟夹克鬼反吉。将逢内战，主谋事将成被人搅扰。天后内战为用，妻不和，或多病，余详天将言之。壬申日，亥加辰，申加丑，为干支坐墓，乃心肯意肯，人宅甘受晦祸。丙寅日，干上戌，支上未，为干支乘墓，主人宅皆不亨利。此例非殃祸，必过失之咎，故名殃咎。统《解》之体，内外凌辱之课。

象曰：五行克贼，征战凶祸。疾病增危，论讼反坐。官遭弹劾，人罹罪过。营干不成，出行不乐。如三传递克日干，为凶。如未助初传克日，主他人教唆贼害。如三传下贼上。及日辰内战，主家法不正，致争窝犯，丑声出外，病讼极危，惟占官自慎，从微至著，迤迤转迁，则吉，舍此皆凶。如墓神复日，为天罗自裹，主命运衰弱，作事昏迷，常被人揶揄，亏算，宜醮谢本命星位免殃。如干支逢墓，两空亡可解。如三传众鬼虽彰，有制无畏。或春占，木旺克土，鬼自贪荣盛，无意兴灾，至夏、秋其祸仍发。如传财太旺，财反倾危。或冬占，水旺克火，长上主灾，但财自贪生旺，身弱难受，至身旺财衰之时或可取，余仿此。

如辛酉日，三传未子巳，初传未递克日干，为殃咎课。

未
 空
 子
 后
 巳

未 寅 申 卯
 寅 酉 卯 辛

戌	亥	子	丑
酉			寅
申	•		卯
未	午	巳	辰

订讹

殃咎：递克、夹克、内战、外战、乘墓、坐墓皆是。递克者，初克中、中克末、末克干，又末克中、中克初、初克干是也。夹克者，用神下既坐克，上又受将克，如午加亥，将乘元武是也。外战者，三传皆将克神。内战者，三传皆神克将。乘墓者，干上、支上各乘墓神，如丙寅日，丙上戌、寅上未是也。坐墓者，干下、支下各临墓神，如丙寅日，巳加戌、寅加未是也。此等皆殃祸灾咎之兆，故名殃咎。

占主病讼危，营干、出行俱阻。末助初克日，主他人教唆贼害，官防论劾，常人有横祸，或被邻人连名攻诉。如三传下贼上，及日辰内战，主家法不正，丑声出外，惟占官细微谨慎，逡遑转迁，则吉耳。夹克，如夹同类，身不自由，受人驱策；夹财，财不由己费用；惟夹鬼反吉。乘墓，主人、宅各欠亨通。坐墓，主人、宅自招晦祸。

伏殃卦

天鬼临从四仲神，建寅居酉逆相寻。行年日上来相用，殃伏兵伤乱杀人。

心镜

伏殃即天鬼也。正酉，二午，三卯，四子，周而复始。如行年、日辰发用，主殃伏兵伤。

订讹

伏殃：天鬼临日辰发用，或临年命发用。天鬼者，正酉，二午，三卯，四子，周而复始。发用伏藏灾祸，故名伏殃。

占主伏兵杀伤，或全家病，惟宜禳祷以除之。

九 丑 课

凡戊子、戊午、壬子、壬午、乙卯、乙酉、己卯、己酉、辛卯、辛酉十日，为九丑日。如四仲时占，丑临日，加四仲上发用，为九丑课。盖子、午、卯、酉为阴阳易绝之神，有生杀之道，乙、戊、己、辛、壬乃刑杀不正之位，三光不照此五干，四平，合而为九丑。乃岁终物必纽结，丑恶同时，故名九丑。占事多凶。统《小过》之体，乃上下连遭之课也。

象曰：刚日男凶，柔日女祸。重阳害父，重阴害母。婚姻有灾，造葬无补。诸事谋为，徒劳辛苦。如刚日，日辰在天乙前，为重阳，害父；柔日，日辰在天乙后，为重阴，害母。上乘白虎，决主死亡。当此之时，不可举兵、远行、移徙、嫁娶、造葬、求谋万事，灾祸不出三年、三月，更与大时（正月起卯，逆行四仲）、小时（月建是也）二杀相并，祸不出月。或神将吉，有解。或神将凶，再与大、小时杀并，一切事皆不就，且多殃咎，则应《小过》上六“灾眚”之凶象也。

如二月将，乙卯日子时占，丑临支，时为仲，丑加卯上发用，为九丑课。

白
丑
元
亥
后
酉

亥 丑 子 寅
丑 卯 寅 乙

卯 辰 巳 午
寅 未
丑 申
子 亥 戌 酉

订讹

九丑：戊子、戊午、壬子、壬午、乙卯、己卯、辛卯、乙酉、己酉、辛酉，此十日占，丑临四仲发用是也，不发用而临支上者亦是。四仲时占更的。子为冬至，以阳易阴。午为夏至，以阴易阳。卯为春分，阳盛阴绝。酉为秋分，阴盛阳绝。此阴阳易绝之辰，有生杀之道焉。乙者，雷始震之日。戊、己，北辰下降之日。辛者，万物断绝之日。壬者，三光不曜之日。丑者，岁功既毕，诸神奏事，会集明堂，以考善恶。乙、戊、己、辛、壬五干合子、午、卯、酉四支为九，此等日，遇丑临仲，乃凶祸不美之兆，故名九丑。

占主大祸，臣叛子逆，奴欺妻背，不可举兵、嫁娶、移徙、起土、出行、埋葬。吉将祸浅，凶将祸深，祸不出三月、三年。若与大、小时并，不出月内。

心镜

乙戌己辛壬五日，四仲相并九丑凶。大吉临其支干上，值此凶灾将及人。大小二时并相际，刚日男凶柔女逆。重阳害父重阴母，

刚日，日在天乙前，为重阳，害父；柔日，日在天乙后，为重阴，害母。

测祸天官决事因。

大吉与朱雀并，主官讼口舌；与元武并，主失物，或奸淫；与勾陈并，斗讼；白虎并，疾病死亡。乃是天官决事因也。

不但纳妻并嫁女，最忌游行及出军。

鬼墓课

凡日辰墓神及日鬼发用，为鬼墓课。盖鬼者，贼也。阳见阳、阴见阴为鬼。如甲日用申，乙日用酉，丙日用子，丁日用亥，戊日用寅，己日用卯，庚日用午，辛日用巳，壬日用辰，癸日用丑、未，为鬼也。鬼多主事不美，谋望不成，且灾凶及己身。阴鬼，星宿神祇。阳鬼，公讼是非。墓者，蒙昧也，如甲、乙、寅、卯见未，丙、丁、巳、午见戌，戊、己、辰、戌、丑、未、壬、癸、亥、子见辰，庚、辛、申、酉见丑。若用起丑加申、辰加亥、未加寅、戌加巳，为用起四墓格。或甲日未加寅，为墓神履日，主人口灾晦。或丁卯日戌加卯，为干墓临支，主宅舍衰废，为关神尤甚。关神，春丑、夏辰、秋未、冬戌也。或壬寅，干

上辰，支上未，为干支乘墓，人如在云雾中行也，家宅凋弊，凡占皆不亨快。如申加丑、亥加辰、寅加未、巳加戌，为自坐四墓格，乃人自招其祸，身心甘受昏迷，家宅愿假与人作践，兑赁终不能出脱，占病颠狂，行人失路。或甲申日，寅加丑、申加未，为干支互换坐墓，乃彼此各招晦滞，不宜两相投奔。盖鬼主伤残，墓主闭塞不通，暗昧不振。凡事逢墓则止。此五行受鬼克贼，又加四墓，故名鬼墓。凡人占鬼入传及传墓，不吉，非官讼，必疾病。辰、未为日墓，暗中有明，及夜墓坐日亦吉。丑、戌为夜墓，昏昧自甚，日墓坐夜亦然。辰、戌墓，主刚猛急速。丑、未墓，主事迟延柔缓。统《困》之体，乃守己待时课也。

象曰：五行克贼，死墓之乡。人丁多耗，家宅不昌。行人可至，病者如狂。谋为迟滞，捕盗深藏。如鬼在日上发用，常人占事多凶；或内有德神、旺气，求官大利。或辰、戌、丑、未作日鬼，为魁罡，占科举必高中。余占用神克日，吉凶相半，事多反复而后成。鬼带恶杀，多主怪祸，举动不利。若寅加酉、巳加子、申加卯、亥加午为用，乃传墓入墓，自明投暗。如人下井，一脚深于一脚。健人必病，病人必死。或未加亥、戌加寅、丑加巳、辰加申用，墓加长生，旧事再发，讼断了又论，病痊了又作，事许了又悔，人喜了又怒，仇和了又怨。或生旺入墓，事成终止；墓入生旺，事废又兴。中传见墓，主进退求财无，百事不称意，合则晦甚。日鬼、墓神俱发用，无气，占病大忌，乘虎必死。或财神、禄神、官星、长生中未见墓，仕人不利，当应六三“困于石”之凶象。若日鬼盗气，中末逢墓，常人为喜。或鬼墓临日作生气，或自墓传生，或鬼墓有克制、冲破，变凶为吉，病者生，囚者释，凡事先忧而后喜也，当应“困，亨，贞，大人吉”之象也。

如壬申日丑时，午将。壬日属水，以辰为墓，又为日鬼，加日发用，为鬼墓。

后
辰
空
酉
滕
寅

申 丑 酉 辰
丑 申 辰 壬

戊 亥 子 丑
酉 寅
申 卯
未 午 巳 辰

凡日辰墓神乘蛇、虎，加卯、酉，并人行年，为墓门开格。如日墓加卯，为外丧，支墓加卯，为内丧出外，宜迁葬以禳之。日墓加酉，为内丧，支墓加酉，为外丧入内，宜合寿木以禳之，惟不可纳人。此水、火、木日辰有之。外有丁、癸、卯、酉四日，墓临卯、酉，真墓门开格，或见丧吊、死神、死气尤的。更发用囚死，克贼归墓何类神，以定何人丧也。

如壬戌日巳时，丑月，子将。命在戊子，七月二十六日卯时生，行年未，交生在酉，上见辰墓，将乘滕蛇，为墓门开格。

后
午
勾
丑
元
申

青	贵	勾	后
子	巳	丑	午
巳	戌	午	壬

青	勾	六	朱
子	丑	寅	卯
空	亥		辰 滕
白	戌		巳 贵
酉	申	未	午
常	元	阴	后

此课得一下贼上，为重审课，主女人，祸从内起。三传递生，为亨通课，主举荐。初传午加壬，下克上，将逢天后上克下，为财受夹克格，主财不由己费用。盖日为我，子命，水旺冬令，喜戌支冲辰，凶散，交生前四月内生疔服药，危自可救。壬日以午为妻，乘时死气。火以戌为墓，加卯，将乘白虎。妻辛卯六月命，交生后行年并临卯，正墓门开格，故因时患，饮水不药身亡。予初以课传夹克妻财，财生官，官生印，印转生身，只谓破财加纳，岂果妻病不服调理而死，财仍浪费，何其验效如是之神哉？录此以为记云。

订讹

鬼墓：干支上神发用，或作干鬼、干墓，或作支鬼、支墓。假如壬日，辰加亥发用，既作日鬼，又作日墓，故名鬼墓。

占主一切凶。盖鬼者，贼也，主伤残；墓者，昧也，主暗塞。都不利谋望，家不昌，病凶，财耗，盗难获。阳鬼公讼是非，阴鬼神祇星宿。墓有五格。日上得日墓，为墓神复日，主人昏晦，乃命运衰弱，天罗自裹，宜醮禳之。辰上得日墓，为干墓临支，主宅倾颓。或日上

得日墓，辰上又得辰墓，为干支乘墓，人宅俱不利。或日下临日墓，辰下又临辰墓，为干支坐墓，乃自招祸，身心甘受昏迷，家宅愿顾与人作践，占病颠狂，行人失路。或日上得辰墓，辰上得日墓，为干支互换坐墓，彼此各招晦滞，不宜两相投奔。辰、未为日墓，暗中有明，夜墓坐日亦吉。丑、戌为夜墓，昏昧自甚，日墓坐夜亦然。辰、戌墓，主事刚速。丑、未墓，主事柔缓。墓临长生，旧事再发，讼断又起，病痊又作，事许又悔，仇解又生。生旺入墓，事成中止。墓入生旺，事废复兴。凡日辰墓乘蛇、虎，加卯、酉，与行年并，为墓门开。如日墓加卯，为外丧，辰墓加卯，为内丧出外，宜迁葬以禳之。日墓加酉，为内丧，辰墓加酉，为外丧入内，宜合寿木以禳之。卯、酉日，墓临卯、酉，为真墓门开，见丧吊，死神、死气尤的。更看发用囚死，克贼归墓是何类神，以定何人丧也。大都鬼墓发用无气，病最忌，乘虎必死。或财神、禄神、官星、长生在中末见墓，仕人不利。

此课，常人更忌见鬼，鬼带恶杀更凶，惟内有德神、旺气求官大利。或魁、罡及丑、未作日鬼，占科名高中。若日鬼发用，中末逢墓，常人为喜。或鬼墓临日辰，作生气，或自墓传生，或鬼墓有克制、冲破，或墓逢空，变凶为吉，病者生，囚者散，凡事先忧后喜也。

订讹

鬼呼：天盘作鬼，加地盘墓神是也。行年神将凶更的。鬼临墓，则鬼为得地，引类呼朋，故名鬼呼。

占主壮者亦病，病必有祟，事多暗害，或连累入狱。五坟四煞：稼穡课，作本日墓神，乘凶将发用。五墓为坟，四神为煞，故名五坟四煞。

占主不可独行、远出，出逢凶祸。或讼病相缠。

丧门卦

心镜

丧门正月未为之。

正月未，逆行四季。

四季流行逆数推。用在行年支干上，病人忧死健人衰。白虎若临转凶恶，所主之事必无疑。

励 德 课

凡天乙立卯、酉，为励德课。盖卯、酉为阴阳交易之位，贵人由之而迁易。如日辰阴神在天乙前，贵人不得引从，则退阴，主小吏退剥。盖小人恃势，不知谨身修德，则凶。若日辰阳神在天乙后，贵人前引而从，则进阳，主君子进用。盖君子知机而能行仁布德，则吉。此天道福善祸淫，奖励有德。占利君子，不利小人。统《随》之体，乃反复不定之课也。

象曰：阳神前引，阴神后随，君子则吉，小人则危。阴神前立，阳神后居，小人得意，君子失机。前既曰阳后得贵人接引，利君子，此又曰阳神后居，君子失机，何也？前乃止于阳后，今乃阴前阳后俱全，故云君子失机也。如阳前，则贵人得其接引；阴前，则贵人受其羁绊。阴在贵人前，讼则卑遭责；阳在贵后，灾则修德自愈。若贵立卯、酉，阳前阴后，当应《随》六三“系丈夫，失小子”之象；阴前阳后，当应《随》六二“系小子，失丈夫”之象也。如戊子日申时，午将占，昼丑加卯，为励德也。

丑
亥
酉

申 戌 丑 卯
戌 子 卯 戊

卯 辰 巳 午
寅 未
贵 丑 申
子 亥 戌 酉

夫天乙为门内君子，处事之所，小吏犯罪而到。如日辰阴阳俱在天乙后，为微服格，主君子迁官，小人退职，事体稍迟。大干则可，小处则不可也。如辛丑日寅时，丑将：

子
亥
戌

亥 子 申 酉
子 丑 酉 辛
辰 巳 午 未
卯 申
贵 寅 酉
丑 子 亥 戌

如日辰阴阳俱在天乙前，为蹉跎格，主小人进职，君子退位，事体稍迟。处小则可，大干不可。如庚申日课：

午
辰
寅

辰 午 辰 午
午 申 午 庚

卯 辰 巳 午
寅 未 贵
丑 申
子 亥 戌 酉

订讹

解之甚明。

励德：贵人临卯、酉。卯、酉为阴阳交易之位，贵人临之，门户摇动，进退分焉。如干支阴神属卑，乃妄立贵人前，是小人恃势不谨，定当黜下，主小吏退剥；干支阳神属尊，乃退处贵人后，是君子谦冲循省，定当进用，主大吏升迁。此天道福善祸淫，奖励有德，故名励德。

占主反复不定，理宜迁动官位。君子迁，小吏黜。庶人身宅不安，宜谢土神。

此课外，有干支阴阳俱在贵人后，为微服，君子升迁，小吏黜，事体稍迟。大干则可，小处不可也。有干支阴阳俱在贵人前，为蹉跎格。主小吏迁，君子黜，事体亦稍迟。小处则可，大干不可也。

此课，《通龟》与《订讹》皆说不明，止曰日辰阴神在天乙前，而说不出阳神在何处。如俱在前，为蹉跎；如在后，为君子失机。止曰日辰阳神在天乙后，而说不出阴神在何处。如俱在后，为微服；如在前，亦为君子失机矣。此课止宜以四段定之：一曰日辰阴阳俱在天乙前，为蹉跎格，主小人进职，君子退位。二曰俱在后，为微服格，主君子迁官，小人退职。三曰阳前阴后，君子

则吉，小人则危。虽曰小人危，乃得阴阳之定位，小人如守分循理，亦获吉象。四曰阴前阳后，小人得意，君子失机。虽曰小人得意，盖阴在天乙前，贵人不得引从，则必退抑其阴。又小人恃势，不知谨身修德，必至于凶。虽曰君子失机，然阳乃贵人同类，贵人前引，则必进扶其阳。又君子知机，而能行仁布德，终当获吉。盖小人得意，君子失机者，其象也；其吉凶自取者，在人也。此理须明。

《定章》曰：天乙立卯、酉之上，为二、八门，刑德之会，摇动不安所居，法有转移。阳立于阴者，在天乙之后也。阴立于阳者，在天乙之前也。

假令七月辛亥日，巳将，申时。小吉加辛，天罡为阴神。传送加亥，阴得太乙。胜光为天乙，立酉逆行。小吉、传送为日辰之阳神，居天乙之后。天罡、太乙为日辰之阴，反居天乙之前。故曰阴立天乙前，阳立天乙后。阴阳错乱，居非其居，故曰不安。阳在阴位，今当进上；阴在阳位，今当黜下。以此占人，贵者将迁，下吏罢退，庶人居宅不安。

巳

寅

亥

巳 申 辰 未

申 亥 未 辛

勾	六	朱	蛇
寅	卯	辰	巳
		阴日	阴支
青	丑		午
空	子		未
			天乙后
			日
亥	戌	酉	申
白	常	元	阴

励德言前者，指天将而言，非论日辰，午以未为前，巳为后也。赋曰：“天乙居中，后六前五”是也。

盘 珠 课

凡太岁、月建及日、时并三传皆在四课之中，曰盘珠课也。如甲子年七月乙巳日酉时，巳将占，岁、月、日、时皆在四课之上，为天心格，主事远大非常，及干朝廷，可以成就。如辛亥日占，三传戌酉申皆在四课之上，为回还格，主谋为得遂，吉凶之事皆成。此二格合一，如盘中走珠，不出于外，故名盘珠。统《大壮》之体，乃凤翔丹山之课也。

象曰：三传四课，偶合异常。吉则成福，凶则成殃。贼不出境，行人还乡。阴私解释，事反不良。如日、用旺相，神将吉，大利。或四课不备，守旧、动作亦吉。课体吉，诸事利，则应《大壮》九二“贞吉”之象。外如反吟课为远，初传太岁，中末月日，为移远就近，缓事为速也。或斩关课，日辰乘龙、合，及占时为用，中末传空，乃动中不动，寻远就近。惟柔日昴星，伏匿不动耳。又如太岁加河魁，魁加岁，为重阴，忧女；月建加天罡，罡加月，为重阳，忧男。戌与岁加月，为阴覆阳，事在内；月与辰加岁，为阳覆阴，事在外。此时传及年命虽

吉亦凶。若盘珠课，占病、讼、生产、忧疑解释事，反凶。日用囚死，神将凶，凡事成祸，忧疑难解，灾甚，则应《大壮》九三“小人用壮”，“贞厉，羝羊触藩，羸其角”之象也。

如庚戌年十二丑月甲子日丑时，子将占，子加丑为用，年、月、日、时、三传，皆在四课之上，曰盘珠课。

子

亥

戌

戌 亥 子 丑

亥 子 丑 甲

辰 巳 午 未

卯 申

寅 酉

丑 子 亥 戌

如戊子日子时，未将占，三传俱在四课之上，为回还格。

订讹

天心：岁、月、日、时俱在四课之上，或俱在三传之中，皆是也。传止有三，而四建偶或同宫，故有岁、月、日、时俱在三传之中者。

四建偶尔同聚，遭遇异常，若天作其合，有心成就者然，故名天心。

占主事远大非常，及干朝廷，可立就。如三传、年、月、日、时顺去，为移远就近，缓事速也。日、用旺相，神将吉，诸事利，贼不出境，行人回。若天空、朱雀临太岁，主朝信即动，尤的。

此课吉事成福，若占病、讼、阴私、生产、忧疑解释事，反凶。日

用囚死，神将凶，祸更难解。

全 局 课

凡课，得三合俱在传者，为全局课。如三传申、子、辰水局，名润下格，主沟渠、鱼网等事，占天阴雨；寅、午、戌火局，名炎上格，主炉冶，文书等事，占天晴旱。春夏火旺相、水囚死。秋冬水旺相，火囚死。值旺相，老凶少吉。囚死者，少凶老吉。用有气，孕生男。亥、卯、未水局，曲直格，主般车、种植，利修造。巳、酉、丑金局，名从革格，主兵戈、金铁，利更改。春冬木旺相，金囚死。季秋金旺相，木囚死。值旺相，经求利。值囚死，坐守利。用无气，孕生女。辰、戌、丑、未，名稼穡，季夏旺相，动作遂意。秋冬衰败，田墓有忧。此三方神全入传，同类一局，故名全局。统《大畜》之体，乃同类欢会之课也。

象曰：三方会合，得成秀气。吉事必成，凶事难弃。尊长恩荣，常人财喜。利合婚姻，谋为大利。如求财，传有财，财易得；有官，官易就。日、用旺气相生，神将吉，大利，则应《大畜》上九“何天之衢，亨”象。若日、用衰，水倒，主事迟逆。火并火鬼，主火灾。金并血支、忌，忌行兵。木并木怪，土木压。戊、己日，用丑、未，田宅事。丑戌未，乘虎，病死，讼狱，则应九二“舆说辐”象也。

邵公云

三传俱合课，若干支见一神与中一字作六合，凡谋必遂，全无阻滞，亦有人于中相助成合，俱求解事则不能散。若见天将六合亦妙。或一传与支干上神作刑冲破害者，名三合犯杀，合如不合，人情美中有恶，俗谓笑中藏刀者也。

大抵五行正气入于杂揉之体。三合是异方。三合，生、旺、墓之

神，事主丛杂不一，主关众谋，不然三处干事，委曲托人，与人相合之类。

订讹

润下：三传申、子、辰。水生申，旺子，墓辰。水性润泽，就下，故名润下。

占主悠悠长久，事不急迫，亦主迟留屈伏，然终不能静也。木日生气，金日盗气，事多系舟楫、沟渠、网罟、鱼鳖等。性就下，吉凶多下贱人当之。占讼亦牵连下人。占天雨。孕生女。病凶，以天罡作墓故也，宜祷水神。占宅虽不凶，亦不振。占文书不利，为克雀也。寻常水将、水神多者，亦欠吉。三传喜顺，倒非水性，主事逆迟。大都润下主事浮游不安。后合并，定主淫；元武并，定主盗。惟智者乐水，兼有润泽之象，宜施惠于人也。

观月经

炎上卦

三传皆是火，炎上热冲天。利为窑冶事，文明炉火燃。五姓看宅上，切怕见行年。若到火炎上，火起主烧田。

此主文书相害，以炉冶、火烛争讼。宅神者，即宫、商、角、徵、羽五姓之宅也。宫辰，商酉，角卯，羽子。卦得炎上，若行年见宅辰者，必有大火起是也。不但本家宅羽姓，行年自有火起也。

订讹

炎上：三传寅、午、戌。火生寅，旺午，墓戌。火性炎蒸上行，故名炎上。

占主文书，金并主炉冶事。土日生气，木日盗气。火为日，象君，宜奏对。得驿马贞位，为天子持权，仕人差遣快心。驿马贞位者，以

艮加月建，视马上所得神为贞神，年命遇更吉。常人占，主口舌及宅不安。火鬼并，火灾；朱雀并，官讼；天空并，屋坏，病者多热，或在于心；见后、合，妇人血病。占天大晴，占人性急、文明。行人来，火性动也。失物藏窖炉处。事主急速，枉图不遂，虚多实少，或朋党疏狂鼓扇而成，先喜后嗔，先合后散。盖火炎炎，不久成灰矣。忌戌加寅，为墓临生。盖火以虚而明，实则暗，占事明反为暗。午加戌主失马，入墓故也。戌为狱神，传墓有讼狱事。壬、癸日为财，其实是鬼，盖火生土，土能克水，名子母鬼，凡占主破骨肉，解破其事。大都炎上利于见官，雪明皂白。秋、夏占为恃势，谋事成。庚、辛日名带杀，来意主占病讼，如年命更乘火神，病死、讼凶。辛酉日，寅加辛为用，主因财成怨也。

订讹

曲直：三传亥、卯、未。木生亥，旺卯，墓未。木性曲折又直遂，故名曲直。

占主进退未决，动则如意，不动不宁。盖木为震，主动也。火日生气，水日盗气。利用作舟车，修营栽植。木以水为根，秋冬气敛，外伐内实；春夏气敷，外刚内柔。壬、癸、乙日准此。己日根固，丁日枝枯，辛则成器论矣。春占最宜。自下传上则直，未加亥是也。自上传下则曲，亥加未是也。卯加亥，先曲后直。卯加未，先直后曲。先曲后直者，始难终易。先直后曲者，有始无终。木主风，风传事多不实。病因风，肝症，宜托人求贵暗祷。凡亥加卯，作雀，望信未来，雀内战也。亥加未，作蛇，内战，主失财。未主桑绢之属，卯加未，作虎，身灾，克命尤应。未加卯，作后，阴人灾病，有离哭之兆，失物藏茂林、木器中。曲直作鬼，讼主枷杻。

己日根固者，木得土为根也。丁日枝枯者，火脱木也。此以成局论也。若以日干论，则干己为官鬼，干丁为父母矣。大约君子吉，

小人凶。润下君子凶，小人吉。

订讹

凡从革无丑酉巳。

从革：三传巳、酉、丑。金生巳，旺酉，墓丑。既锻炼相从，又故旧可革，故名从革。

占主变动，革故鼎新。水日生气，土日盗气。丙、丁日虽为财，若丑发用，将见贵、常、勾，乃为降气，却主父母灾，被恃势力之人强抑而不得伸也，事先阻后就。若遇旺相气，吉将并，主革变富贵。遇岁、月破，及蛇、虎，主死丧兵革。日干囚死，有西行之兆。巳酉丑为顺，有气则革而进，无气则革而退。酉巳丑，主萌芽欲就，而又被隔。巳丑酉，变而不顺，又主革。酉加巳为愁课，盖酉为秋令，肃杀，万物愁苦。巳加酉，仕人差遣改易，常人道路、门户改革不宁，或有阴人离别之象，占婚大忌，仍以衰旺神将言之。大都从革与金鬼并，遇秋，作游都，定主金革血光。逃亡遇从革，藏山石道途之处。病在肺、在筋骨。讼有罪，三传见劫杀故也。求财获珍宝。远行隐避最宜。

此课，虽宜改动更新，然值酉加巳、巳加酉，方孚改革之应。若火多金少，火旺金囚，或将得武、后，盗金气，即名从革不革，来意主事欲动未能。如六癸日，巳加癸，酉发用，亦难以改动言也。将得六合，亦主欲动不动。凡巳加癸，止有勾、空，无六合。

订讹

稼穡：三传辰、戌、丑、未，无丁马是也。土主稼穡事，故名稼穡。

占主沉滞，戊、己日更属艰难，惟壬、癸日为脱难杀，谓物极则变，变则通，危反解散。常人占，则名鲸鲵归润，凡事逼迫，不由自己，遇雷神方能变化。雷神者，太冲、六合也。凡占多系耕农、土工、筑室、田宅事。若日辰、年命乘死气，为坟墓事；乘煞，坟墓不安。巳、

午加日辰、年命，则理窑灶事；寅、卯加，为耕农；申、酉加，为修城筑室；亥、子加，为治沟河；六合、青龙，为田宅交易。大凡为事迟钝，病者在脾。

此课如占田土，发用辰，将得空、贵、勾、常，主因田土争斗，带众。盖天罡为部领之神，勾陈又住戌辰土，定主带众。如将不遇此，主两人争竞田土，甲、乙日主争钱物。大都土气重，带煞冲破者，托人费力，谋事反复。

此上五课，总名三合，又名全局，皆主事丛杂不一，伙众共谋，不然两三处托人干事。或一传与干支上神作六合，及见天将六合者，凡谋必遂，名利皆宜，主人相助成合也。大都三合是无休歇之象，一事去，又一事来，必得吉将用事，须人引进方可，但不利解散事。

五课外，有寅卯辰，亦作曲直；巳午未，亦作炎上；申酉戌，亦作从革；亥子丑，亦作润下。

元 胎 课

凡孟神发用，传皆四孟，为元胎课。盖四孟者，寅、申、巳、亥，四生之局又为五行受气之位。如木生于亥，火子受气，水生于申，木子受气之类。此元中有胎，故名元胎，占者事皆新意。统《家人》之体，开花结子之课。

象曰：三传长生，胎孕成形。官加恩爵，婚获娉婷。病讼淹滞，财利叠兴。行人敌贼，恋生不行。恋生者，如寅加巳、巳加申、申加亥、亥加寅，为进步长生，主事迟。如用值天后、财爻，主妻必怀胎。外有妻财值生气，胎神发用，主妻有孕。如正月戊、己日用子，四月庚、辛日用卯，七月壬、癸日用午，占妻怀孕无疑。或年命见之，遇元

胎尤的。或元胎带喜神、吉将，吉利远行，又经求名利、百事皆吉，当应《家人》六四“富家，大吉”之象。若老少占病，为后世投胎之兆，最凶。或常占，遇三刑及凶神恶将，必有忧疑惊恐。父母用，事家中尊长见灾。或日、用休囚，天后落空，为元胎不育，家招干儿、义女接续，当应九三“妇子嘻嘻，终吝”之象。

如甲寅日寅时，巳将占，三传申亥寅孟神，为元胎课。

申

亥

寅

申 巳 申 巳

巳 寅 巳 甲

申 酉 戌 亥

未 子

午 丑

巳 辰 卯 寅

订讹

元胎：四孟神作三传。三传长生，为五行母气，此元中有胎，故名元胎。

占主事皆新意，有婴儿隐伏之象。最宜于产。求官、求财、求婚，皆以长生大利。病讼淹滞，行人不来，捕贼不获，恋生故也。若老幼占病，为后世投胎之兆，凶。寅加巳、巳加申、申加亥、亥加寅为进步长生，主事速，又名病胎。盖上下生，为五行病处，怀胎有忧。寅加亥、亥加申、申加巳、巳加寅为退步长生，主事迟，又名生胎。盖下生上，乃身临长生之乡，怀胎大吉。发用财爻，得天后，值生气、胎神，

定主妻有孕。如正月戊、己日用子，四月庚、辛日用卯，七月壬、癸日用午，占妻怀孕无疑，年命见之尤的。常占，遇三刑及凶将，必有忧疑惊恐。父母发用，尊长见灾。子孙空亡，为元胎不育，凡占无成，更艰子息。天后空亡，因孕伤母。

此课虽系新鲜、喜庆之兆，然多身喜心忧。盖为腹中有孕，心自悬悬也。事主远而多伏，暗昧不通，触则成祸。若反吟课，为绝胎。

袖中金

三传俱孟，名曰元胎，其象婴儿隐伏之状。利上不利下，事主远而多伏，暗昧不通，触则成祸。申加己名生胎，为忧课。女人怀孕必的，安得不忧？己加申为病胎，又名怕课，又名四病课。胎孕有病，安得不怕？生胎主事生新。病胎主疾病，见虎入传为验。然皆身喜心忧，事主四人共谋，终见灾异，又在临时消详。反吟四孟，为绝元胎也。

元胎有四驿马、龙、雀、贵人，大利举人占试。四孟是五行初气，事多迟缓。四马、四禄俱吉。官员占差除，是学馆，有旺气。若辰、戌、丑、未，是亲民守土之位，无土是学馆，此四位用处不同，不可一例而推，谓有刑、合、冲、破、害、克。如丙日，亥、申用，有克害，必有害事，更见元、雀、勾，定有五件事。又寅日见巳、申用，虽合于内，有冲有刑，盖申破巳，巳刑申也，占主刑中之合，薄有所就，欲出行则可。大抵四孟，须看人情状，如农樵小人，岂有学馆？如勾、朱、白，必有讼事相交，或有病人也。如见日长生处用，主妇人胎产。更行年见龙，必生男子；见后、元是女。螣惊，虎伤，阴难产，勾有厄，惟朱、空近产只如寻常。巳作天后，亦主怀胎，巳是螣蛇本宫；太常，占病主血疾。若巳作太阴，定伤血，如占妇人，多因产卧得之。若丈夫占病得此，是伤气。若见阴、常，须有脓血；见青龙，病不吉。占官事，见常、阴、白，皆有官厄。

连珠课

凡用神、传在一方，相连作中末，为连珠课，如三传寅卯辰之类。盖中末传孟、仲、季神相连，若贯珠，故名连茹。茹，菜也。盖拔茅连茹，言其相牵引也。吉事占之，若连珠可爱，凶，似连茹可恶。统《复》之体，乃山外青山之课也。

退连茹又名失友格，主事欲行不行，人情欠美。

象曰：阴阳拱夹，奇偶有主。凶则重重，吉当累累。孕必连胎，事获交逢。时旱多晴，天阴久雨。若传进宜进，贵顺事顺、速成，值空亡则宜退，可以全身远害。传退宜退，贵逆迟阻，遇空亡则宜进，可以消灾避祸。或三传亥子丑，日月星奇全者，为三奇联珠，主万事合和，乘吉将尤吉，当应《复》六五“敦复，无悔”之象也。

如乙丑日酉时，戌将占，三传寅卯辰，为连珠课。

凡日辰前后夹定三传在内，为夹定三传格，凡事进退皆不由人，以其夹定故也。占病讼、解除事，不利；问财喜，并成合事，可为美也。如癸酉日亥加戌，庚子日戌加亥，甲午日辰加卯之类是也。凡日辰前后夹定，少一位，为夹定虚一格，凡事有小节不完，其势稍缓。或前虚一，主初时有阻；或后虚一，主将成小阻。如虚一位是日财，主财上不足；父母，则长上不足。丁卯日，干上申，三传辰巳午，欠一未字，是子孙，乘朱雀，主卑幼文字、口舌不足，年命填实不在此限。此三传被干支夹定，不能进退，毕竟吉凶皆不散也。凡三传透出日干之外，为夹不住格。经云：“夹住不住，留中有去。”若进透出者，因进之太过；退透出者，因退之不及。如甲子日，三传子亥戌是也。若干透出支，不利外动，事有回还；支透出干，不利于内，惟宜外动。或透鬼，鬼在外，有凶；透财，财在外，有破耗。余仿此。凡三

传有支上发传，朝日格，神吉、传吉，主成合事不求自至，无心中得；或神凶、传凶，主祸来不测，及占病、生产事忌。如丙寅日干上午，三传辰巳午，戊寅日干上午，三传辰巳午，壬寅日干上戌，三传子亥戌之类是也。

凡三传有干上发传，及他处发传，归支上；有支上自发用，相连作三传者。三传朝支格，如臣使君、子使父，不免俯就于人，被人抑勒，不自由。旺相尤可，死囚更凶。利卑不利尊，利静不利动也。

如甲午日，三传辰巳午，末传引入死地，缘何会好？占病必死，行人未来，以上图例仿此前。

订讹

连珠：或三传孟、仲、季相连，或三传岁、月、日相连。连如贯珠，故名连珠。

占主吉凶各重叠不已。进连珠事顺，退连珠事逆。

间 传 课

凡课，间位作三传，为间传课。此顺间传十二格，逆间传十二格，其义各有所主，详具于后。盖间一位，递作三传，故名间传。占者顺主事顺，逆主事逆。统《巽》之体，乃阴阳升降之课也。

象曰：间位相传，事多间阻。顺有登天，向阳出户。逆有回阳，励明顾祖。占者逢之，皆为吉课。

如日、用旺相，神将吉，凡事吉利，则应《巽》“小亨，利有攸往，利见大人”之象。若日、用休囚，神将凶，则应上九“丧其资斧，贞凶”之象也。

如甲子日，辰加甲，三传间位而行，为间传课。辰午申亦名登三

天之格也。

顺十二格

凡巳、午、未、申四位，皆为天。如间传遇辰午申，为登三天格。盖龙登天则行雨，官登天位主迁转，惟忌空、脱，争讼事，情转大。占病，症候弥深。贼来，行人至，久旱则雨也。午申戌为出三天格。盖亢龙有悔，事情远大，出行失约，病讼皆凶也。盖戌为天头，有超三天之象矣。申戌子为涉三渊格。盖龙涉三渊不雨，贼涉三渊不来，病讼危险，目前阻隔，占官不吉，谋望不成也。戌子寅为入三渊格。盖亥、子、丑、寅属地。故有入三渊之象。凡举皆凶，如履春冰，蹈虎尾，其祸在前。或未传乘蛇、虎，为鬼煞，病必死，祸尤凶也。子寅辰为向阳格。盖子属北方幽暗之乡，寅、辰乃日出之方，故有向三阳之象。凡举皆自暗入明，初凶后吉，病愈讼解，人情皆美也。寅辰午为出阳格。盖午后阴生，自寅传午，有出三阳之象。凡占灾咎相仍，病讼皆凶也。

丑卯巳为出户格。盖卯为门户，巳为地户，自丑传巳，有人出户之象。凡占，访人不在，行人出利干望，君子升扬，小人狐疑而不吉也。卯巳未为盈阳格。盖卯、巳为二阳，未乃阴之始，自卯传巳、未，日中将反，阳已至盈，物极必反故也。凡事当急就之则吉，迟干则为凶也。巳未酉为变盈格。盖阳至午而盈，未为一阴，酉为二阴，自巳传酉，物满必缺，势过人衰故耳。凡占皆凶，占官被黜，占物非当时用者，占新病死，久病愈也。未酉亥为入冥格。盖酉、亥日冥之时，有明消暗长之象。凡占事体，速干则可，缓则不及时，病讼凶，官不利，吉渐消而凶渐长也。酉亥丑为凝阴格。盖亥、丑属北，冬令阴气凝结，有严霜冰坚之象。凡占有淫欲奸盗之事，多主幽暗，及事之不明也。亥丑卯为溟蒙格。盖亥、丑阴极，卯为一阳始生，二阴之下有明，在溟蒙时之象也。凡占事体不真，忧惧不宁，进退未决也。

逆十二格

寅子戌为冥阴格。盖寅为日出晓方，子、戌阴气盛旺，自寅传戌，有阳退入阴之象。凡占事自明入暗，凶暗在前，犹防暗损，占官最为凶也。子戌申为偃蹇格。盖申亦阴方，自子传申，以阴入阴，历涉艰难，有重遭荆棘之象。凡举迷暗不明，行军被围，出入作为亦不吉。戌申午为悖戾格。盖午为阴气始生，申、戌乃阴之盛旺，自深退浅，逃祸不能，有勉强后退之象。占行人未至，占贼不来，作事成祸。申午辰为凝阳格。盖辰为一阳，申、午皆阴，自申传辰，阳凝在阴，有灾尚萦系之象。占事前者未了，行人来迟，占讼留连谋迟。午辰寅为顾阻格。盖午为寅之子孙，寅乃午之长生之地，自午传寅，子回顾母，有复旧庐之象。凡求财、谋望皆吉，占贼去，行人来，惟庚日占病凶，占官大吉也。辰寅子为涉疑格。盖阳主进，寅、子不进而反退，又自明退入暗处，有涉历疑难，莫知深浅之象。占事进退不决，行人未来，欲出不出，关渡防人贼埋伏，安营不吉，不可举兵，用事，官病皆凶也。

丑亥酉为极阴格。盖阴主退，自丑传酉而终于极，有阴入阴之象。凡占有淫佚、酒色、奸乱等事，病主死，讼至省部，或淫乱而生疾也。亥主淫乱，酉主酒色耳。亥酉未为时遁格。盖酉为太阴，未中丁为玉女，利隐遁潜形，自亥传未，如人入幽暗求隐，有遁身之象。占行人不来，出行不行，捕盗不获，贼去不来，君子吉而小人凶也。酉未巳为励明格。盖巳为阳明之地，自酉传巳，从暗入明，有历阴暗而后得明之象。凡举皆由勉强而后去，君子利取禄位，小人宜早营运也。未巳卯为回明格。盖未为一阴，巳、卯二阳，自未传卯，由阴至阳，有缺月渐回之象，凡事不可骤举，只宜迟进，久雨则晴，吉事渐成，凶事渐消也。巳卯丑为转悖格。盖巳、卯二阳，丑乃纯阴，巳入丑，避明向暗，以巧就拙，弃正归邪，事转悖戾之象。主家零、身怯、怪梦，作事似邪魔随，事好出头，不知省检守分以安命也。卯丑亥为断涧格。盖卯为一阳，丑、亥二阴，自卯传亥，一阳深入二阴，阳

明断送，渐入深涧水底，有暗长明消之象。凡占君子退职，小人遇凶事者也。

以上阴阳，各有三说。或以昼为阳，夜为阴；或以子、丑、寅、卯、辰、巳为阳，午、未、申、酉、戌、亥为阴；或以子、寅、辰、午、申、戌为阳，丑、卯、巳、未、酉、亥为阴。

撞干格 撞支格（干支前一位为关隔）

凡日干支有期限，又为关隔。如三传通连日干，为撞干格。或初末传撞日之关，主事急，及我若向前有为也。若三传自干支内发用，传出日辰之外，事虽急而终闲慢；或自干支外发用，传入干支之内，事先缓而后急也。辛巳日，丑加卯，三传丑亥酉，本是退间传，凡事偃蹇阻滞，缘被末传撞辛之关，所以先缓而后急也，吉凶如此，如三传通连日之支辰，为撞支格。盖初末传撞支之隔，主事宜急候，彼动而我应之也。或传带日贵、日财为用，末传墓绝，大不利贵人交易，因财而有所屈也。

六 纯 课

凡四课、三传俱阳，或三传俱阴，为六纯课。如四课属阳，中一课发用，并中末皆阳，为六阳课，宜尊贵占天庭、高尊事。初中空，君子畏之，减力；常人赖之，省力，末事得理。若四课阴，中一课发用，并中末俱阴，为六阴格，宜卑下占阴谋、奸私事，病者死。此六者阴、阳皆纯，故名六纯。占孕阳男，阴女。统《革》之体，乃天渊悬隔之象也。

象曰：六阳动达，如登三天。私凶公吉，官遇升迁。六阴朦昧，似涉重渊。公凶私利，病患缠延。如甲午日，干上子，六阳遇退间传，为倒拔蛇，名悖戾，及兼初传戌财引入中末鬼乡，凡事艰辛，不免功

劳。或夜传昼，事有明白。或遇五阳，以人年命定之。或六阴，遇丑卯巳为出户，卯巳未为盈阳，酉未巳为励明，未巳卯为回明，未可以昏迷断之，凶中有吉，则应《革》九五“大人虎变”之象。如己卯日，酉加未，六阴遇昼将，入夜昏迷尤甚，将乘后、合、元，支干遇盗气，弹射发用坐空，费力不可言，问病必死，求望虚耗。或遇五阴，以人年命定之。夫五阴相续，盗气迤迤脱去，为源消根断，本命缘不摄而死，凡占皆脱耗，则应《革》上六“小人革面，征凶”之象也。

十杂卦

十杂看发用，本姓真不真。

辨人家有两姓同居也。

寅中有生火，水土墓于辰。辰中有死水，生死有缘因。

水土墓于辰，故辰中有杂水土也。

巳上有生金，土乃寄于申。

金长生在巳，水土生于申也。

未中有死木

木墓在未，故有杂木也。

水乃便生申。

申中有杂水。

戌中有死火，

戌为火墓，故有杂火也。

木生亥上亲。

亥中有杂木。

金在丑中墓，

有杂金也。

十干辨假真。生杂本祖宗，死杂两姓人。

发用得本长生者，上祖是本姓也。如甲、乙日用亥，戊、己、壬、

癸日用申，庚、辛用巳，丙、丁用寅，生杂卦也，故曰“生杂本祖宗”。如甲、乙日用未，丙、丁日用戌，戊、己、壬、癸日用辰，庚、辛日用丑，为死杂卦，家中有两姓人同居，故曰“死杂两姓人”也。

心 镜

甲与己合

戊己宫中忌木克，己来嫁甲合亲情。六月己回归奉戊，瓜果虽熟色带青。

六月木死、土旺，己却归戊，故怀木胎。瓜果虽熟，尚带青色，为怀木胎也。

乙与庚合

甲乙东方木畏金，甲将乙妹去合庚。春时木旺乙归本，所以园木开琼花。

东方木畏西方金克。甲兄乙妹，将乙配与庚合，至春木旺、金囚，乙却还东方。木色青，金色白，乙怀庚胎归还，所以春开白花，是乙中有金。

丙辛合

庚辛性怯南方火，便以妹辛丙合同。秋间火死辛归去，枣赤霜刑叶落红。

丙火死辛归庚，刑杀万物叶落，枣亦成赤色，带红，为辛临丙，色有火气也。

丁壬合

南方火畏北方水，故将丁妹配属壬。夏旺丁来归应丙，桑椹熟时带

紫深。

夏火旺、水囚，丁怀水胎归丙。水黑、火赤，相杂成紫，为丁中有水气也。

戊癸合

北方水惧中央土，戊癸成亲燕新妆。立冬水旺癸还舍，土孕严凝杀草黄。

立冬水旺、土囚，癸怀土胎而归，故杀百草而有黄色，为癸中有土气也。

杂 状 课

凡课，俱取初传动爻以别五行纯杂、数目、物色为用，曰杂状课。纯者，子、午、卯、酉四仲为纯。寅中有生火，一杂；辰中有水土墓，二三杂；巳中有生金，四杂；申中有生土，五杂；未中有木墓，六杂；又申中有生水，七杂；戌中有火墓，八杂；亥中有生木，九杂；丑中有金墓，十杂。如寅、卯为木，春寅怀火，杂木，故卯为纯木也。季火、金、水皆然。惟土守中宫，分旺四季，每季前各旺十八日，总七十二日，合而成岁，故辰中有余木，未有余火，戌中有余金，丑中有余水，各十二日。然四孟月怀胎，仲月娠壮，季月死墓葬，为五行十杂。纷纭众事，其应不同。

象曰：五行阴阳，万物纯杂。凶视救神，吉防害鬼。数目日期，颜色物类。觅物寻人，克应可取。如甲、乙，初用亥例，为生杂，家是上祖本姓人居住；庚、辛日用丑例，是死杂，家有两姓同居也。如戌为五数，加未八数，吉凶应在五八四十日，或四个月也。旺相倍数。休囚减之。如正月将，甲子日寅时占物色，午加酉为用，主上赤下白

色也。

物 类 课

凡课，俱取初传动爻以别五行六亲、物类、亲疏、旺相、休囚为用，曰物类课。如甲、乙日，日干及寅、卯发用，为己身同类占。寅为兄，卯为弟，寅中甲为姐，辰中乙为妹，亥中甲为伯之兄弟，未中乙为叔之兄弟；子为父，亥为母，亥中壬为伯，丑中癸为叔，申中壬为长姑，辰中癸为小姑；申为祖父，酉为祖母，巳中庚金为伯祖，戌中辛金为叔祖，丑中辛金为祖姑；未墓为妻，辰为继妻，丑为妾，戌为婢，妻土生庚申金为媒人；午为男，巳为女，寅中火为兄之男女，未中火为弟之男女，戌中火为姐妹之男女；生祖者为曾祖，生曾祖者为高祖；男生者为孙，孙生者为元孙。丙、丁日火，戊、己日土，庚、辛日金，壬、癸日水，六亲之类，各仿此推。惟妻妾则阳为妻，阴为妾也。若占父母，要父母出现。占子孙，要子孙出现。或父母兴旺，则克子孙。兄弟兴旺，必克妻财。旺相相生吉，休囚刑克凶。阳神下临阳宫，有德合为亲，入阴宫为疏。阴神下临阴宫，有德合为亲，入阳宫为疏。更以神将吉凶参祥，则富贵、贫贱、存亡应验了然可见。此六亲吉凶之族类也。如刚日用起阳神，旺相有气，加日上，是新物；用起阴神，休囚无气，加日上，是旧物。或甲日日辰见亥，乃木生，为生事，将来新物，应在父母；见卯，乃木旺，为目下事，主不新不旧之物，忧在同类、己身、朋友；见未，乃木死处，为死事，主已过旧事及旧物，忧在妻奴、下人。又刚日，用神在干前为未来，干后为过去；柔日，用在干前为过去，干后为未来。或乙日属阴，妇德从夫，日上见辰，为阳，是生、新物；见未为阴，亦是新物。乃阴德在阳，乙庚化金，辰、巳，金生处，未亦金冠带之位也。丑加日上，为死故物，

金死墓于丑也。此阴阳盛衰、生死、新旧之物类也。如初传旺相，神将吉，末传囚死，神将凶，为始吉终凶事，先成后败。若初传休囚，神将凶，带刑害，末传旺相，神将吉，见合德救制，为始凶终吉事，先难后遂。此始终吉凶之物类也。统《节》之体，乃蜃气楼台之课也。

象曰：物以声应，方以类萃。六亲俱现，以用为主。旺相吉言，休囚凶语。始终吉凶，神将分取。如甲、乙推六亲，见亥、卯为今日族类也。或用起水神，无气、乘凶将，占者当忧父母、长上及文书；见木神，忧己身、兄弟及同类争财事；见土，为妻奴及婚姻、财产事。推类神，见亥为猪，卯兔，未羊，及酒食之类。六畜有刑无气，主残伤，有气无刑即生育，更神将凶吉、旺相、相生、休囚逐类推之。如丙午日，三月占，三传寅午戌火局，与日辰同类，为生物，占事必干新象。火有气，谋为成就而速；秋冬火囚死，事稍缓成就，艰难中得。如乙日，阴德从庚化金，金虽以土生，然死墓于丑，故辰临乙为新，丑临乙为故。盖丑中之土恶见乙中之木也，乙中之木恶见丑中之金也。如初传凶，克末传吉神，为始克终，所事困穷。或末传吉，克初传凶神，为终来克始，万事皆美。或将乘六合，旺相，私事、私心；囚死，暗昧不明。螣蛇旺相，惊恐稍散；囚死，倍起忧惶。凶将囚休，凶事至甚；吉将旺相，吉事永久。凶将乘旺相气不为凶，吉将乘囚休气不为吉。初传言事之始，末传决事之终。初末神将凶，始终皆凶，则应《节》九二“不出门庭，凶”象。初末神将吉，始终皆吉，则应九五“甘节，吉”之象也。

如甲寅日，冬占，子水母，旺气用，为新气，曰物类课也

子
亥
戌

子 丑 子 丑

丑 寅 丑 甲

卯 辰 巳 午

寅 未

丑 申

子 亥 戌 酉

观月经

木火土金水，物类认疏亲。甲乙东方木，亥为父母身。

生我为父母，我生为子孙，克我为官鬼，我克为妻财，同类为兄弟姊妹，惟墓为妾也。

太冲与功曹，甲乙合三春。甲木为兄弟，姊妹乙为真。小吉为妻妇，巳午作子孙。甲来欲求己，庚便作媒人。外孙是丁火，与木为子孙。

甲以己为妻，己土生庚金为媒人也。

其日是丙丁，父母配寅中。巳午为身类，丁火姊妹宫。丙火兄弟是，河魁次妻同。辰与丑未土，子孙有始终。辛来欲嫁丙，壬水作媒人。寻思己中土，外孙此处穷。

阳为子，阴为孙也。

假令戊己日，传送父母期。未土丑同类，兄弟戌中推。己土为姊妹，申酉子孙宜。外孙辛上推，天罡小妻室。癸水欲妻戊，甲媒送信知。若遇庚辛日，太乙父母师。申酉为同类，庚金兄弟知。辛来作姊妹，亥子子孙期。癸日为外孙，丑墓小妻儿。乙来欲嫁庚，丙火作月冰。

乙木生丙火，火作媒，惟求阳干通信也。

其日是壬癸，传送父母居。辰墓为妻妾，亥子身类推。壬水为兄弟，姊妹癸相知。寅卯子孙类，外孙乙不虚。丁来欲壬位，戊己土送书。媒者正妻子，取其正丈夫。细心分配定，墓上小妻居。

正妻者，甲、乙见土，丙、丁见金，戊、己见火，庚、辛见木是也。
墓为小妻，木墓未，火墓戌，金墓丑，水土墓辰。六亲依此卦推之。

心镜

用神与日类须详，物气分明辨否臧。

立用之神与日有族类。

甲乙初传水为气，

甲、乙木，得水神为有气也。

占者当有父母匡。若见木神为兄弟，同类之称是可量。如逢小吉为妻类，

甲、乙木，见亥、卯、未，皆今日之族类。墓为妾也。

鹰雁妻奴及酒羊。亥猪卯兔甲乙类，旺相尤生墓己伤。

旺，生物。墓，死物。

甲乙

子	癸水母		
丑辛金祖 姑	癸水叔		己土妻
寅		甲木兄 姐	丙火兄之男女
卯		乙木弟	
辰	癸水小 姑	乙木妹	戊土继 妻
巳庚金伯 祖			丙火女
午			丁火男
未		乙木叔之兄弟	丁火弟之男女 己土妻

申庚金祖

壬水伯

酉辛金祖 母

戌辛金叔 祖

亥

壬水父

甲木伯之
兄弟

丁火姊妹之
男女 戊土婢 妾

丙丁

子癸水祖 母

丑癸水祖 姑

寅

甲木父

丙火伯之
兄弟

己土弟之
男女 辛金婢 妾

卯

乙木母

辰癸水叔 祖

乙木叔

戊土男

巳

丙火兄 姐

午

丁火弟

未

乙木小姑

丁火妹

己土女

申壬水伯 祖

庚金继 妻

酉

辛金妻

戌

丁火叔之
兄弟

戊土兄之
男女

辛金妾

亥壬水祖

甲木伯

戊己

子

癸水妻

丑

己土叔之
兄弟

辛金姊妹之
男女

癸水婢 妾

寅甲木祖

丙火伯

卯乙木祖 母				
辰乙木叔 祖		戊土伯之兄弟		癸水婢 妾
巳	丙火父		庚金兄之男女	
午	丁火母			
未乙木祖 姑	丁火叔	己土弟		
申			庚金子	壬水妻
酉			辛金女	
戌	丁火姑	戊土兄	辛金弟之男女	
亥甲木伯 祖				壬水继 妻
庚辛				
子			癸水女	
丑	己土叔	辛金妹	癸水姐妹之男女	
寅丙火伯 祖				甲木继 妻
卯				乙木妻
辰	戊土父		癸水弟之男女	乙木婢 妾
巳丙火祖		庚金伯之兄弟		
午丁火祖 母				
未丁火祖 姑	己土母			乙木婢 妾
申		庚金兄 姐	壬水兄之男女	
酉		辛金弟		
戌丁火 祖	土伯	辛金叔之兄弟		

亥				壬水男	甲木妻
	壬癸				
子			癸水弟		
丑	己土叔 祖	辛金姑	癸水妹		
寅				甲木子	丙火妻
卯				乙木女	
辰	戌土伯 祖		癸水叔之兄弟	乙木弟之男女	
巳		庚金伯			丙火继妻
午					丁火妻
未	己土祖 母			乙木姊妹之男女	丁火婢 妾
申		庚金父	壬水伯之兄弟		
酉		辛金母			
戌	戌土祖	辛金叔			丁火婢 妾
亥			壬水兄 姐	甲木兄之男女	

人类神

父母生气与日本，父兼德神母天后。

妻责天后并财爻，神后之神亦为取。

兄弟姊妹责太阴，及兼兄弟之爻神。

子孙六合子孙爻，太冲登明亦可寻。

奴责河魁及天空，婢责从魁太阴中。

朋友单来责六合，以上人之类神从。

事类神

求官龙常及官星，求名文书朱雀中。
干贵贵人婚天后，求财青龙财爻通。
衣服酒食责太常，雨责青龙晴天空。
田土勾陈路白虎，以上事之类神名。
人事类神兼二三，以入传课为取用。
若是皆入皆不入，不用兼神责将神。
如妻止去责天后，财爻神后不须论。
不在课传为局外，所临地位看原因。
有气亦远无气难，旺相德合终可亲。

人身类神

甲胆乙肝丙小肠，丁心戊胃己脾乡。
庚是大肠辛主肺，壬癸膀胱癸肾藏。
子肾膀胱耳腰液，丑脾腹兮与两足。
寅胆风门筋脉发，卯肝血筋手背目。
辰皮肤肩髻背项，巳焦小肠面齿股。
午心目神气与舌，未胃腹口唇齿户。
申为大肠筋骨间，酉肺口鼻声血路。
戌乃命门膝肋胸，亥膀胱髓二便呼。

农桑类神

木主谷禾及瓜果，当于寅卯位中寻。
火主黍稷与红豆，巳午之位乃为亲。

午神又为蚕之命，滕蛇蚕象妙有因。
 土主麻与大黄豆，辰戌丑未为其根。
 金主二麦八月时，申当别论酉为真。
 水主黑豆与稻菜，亥子之位所必云。
 旺相德合为收成，死囚克墓是所嗔。
 日乃农人辰禾类，生合吉将喜忻忻。
 日克支上农事荒，支克日上禾必损。
 太岁上神生何类，即主何类收十分。
 太常小吉为棉花，又在五行之外存。

十杂

子 有 癸 水		丑 有 己 土 有 余 癸 水 有 死 辛 金
寅 有 甲 木	有 生 丙 火	卯 有 乙 木
辰 有 戊 土 有 余 乙 木 有 死 癸 水		巳 有 丙 火 有 生 庚 金
午 有 丁 火		未 有 己 土 有 余 丁 火 有 死 乙 木
申 有 庚 金 有 生 壬 水 有 生 土		酉 有 辛 金
戌 有 戊 土 有 余 辛 金 有 死 丁 火		亥 有 壬 水 有 生 甲 木

经云：阴阳五行中有十杂，其类异方，万物存焉。或得凶，或得吉，或得短，或得长。纷纷众事，其应不同，各怀其子，以救其穷。故

曰：忧与不忧，传自相求。

颜色

甲青，乙碧。盖青者，东方正色，象木叶也。甲木畏金，以乙妹嫁庚金为妻。甲往召乙，乙怀金气以应甲，故有间色碧也。

丙赤，丁紫。盖赤者，南方正色，象火炎也。丙火畏水，以丁妹嫁壬水为妻。丙往召丁，丁怀水气以应丙，故有间色紫也。

庚白，辛栗。盖白者，西方正色，象霜露也。庚金畏火，以辛妹嫁丙火为妻。庚往召辛，辛怀火气以应庚，故有间色栗也。

壬黑，癸绿。盖黑者，北方正色，象水中泥淖色也。壬水畏土，以癸妹嫁戊土为妻。壬往召癸，癸怀土气以应壬，故有间色绿也。

戊黄，己绛。盖黄者，中央正色，象黄中通理也。戊土畏木，以己妹嫁甲木为妻。戊往召己，己怀木气以应甲，故有间色绛也。

子黑，午赤，卯青，酉白，寅碧，申黑白，巳斑点，亥淡青，辰、戌、丑、未纯黄。寅、卯为木，春旺时寅怀火，故卯为纯木，寅为杂木。巳、午为火，夏旺时巳怀金，故午为纯火，巳为杂火。申、酉为金，秋旺时申怀水，故酉为纯金，申为杂金。亥、子为水，冬旺时亥怀木，故子为纯水，亥为杂水。土居中央，分旺四季，故春夏秋冬辰、戌、丑、未月各寄旺十八日，四季共七十二日。五行之旺，各为三百六十日，以为一岁功成。故辰中有余木，未中有余火，戌中有余金，丑中有余水也，各十二日。木死于未，火死于戌，金死于丑，水死于辰。故四孟之月，为怀生气之所由也；四仲之月，为正位盛旺之所立也；四季之月，为死气葬送之所由也。是五行十杂，其应不同。阴阳五行，万物所存，吉凶之应，各以其类。或吉中有凶，或凶中有吉，征吉而有凶，或征凶而有大吉。凶则视其所救，吉则视其所害。凶则有救不致于祸，吉而有害不及于庆，纯凶则祸成，纯吉则福生。言举百事，姓音不同。一云五情不同时日，神将上下不和，四时旺相，新故差别。和同则吉，乘异则凶。凶则有短，吉则有长。纷纷众事，其应不

同者，言五行各有所利，各有所伤，故曰不同。各怀其子，以救其穷者，土中有金，金中有水，水中有木，木中有火，火中有土，此怀子救母之谓也。万类消息，尽在其中，不可不明。

乙中金刑己中之木，己中木刑癸中之土，癸中土刑丁中之水，丁中水刑辛中之火，辛中火刑乙中之金，是谓五刑也。

乙中之金，从魁、传送是也，于物为斧斤，于人为下贱土匠，人形为头、口、咽喉、缺齿，于色为白，于怪为釜鸣。己中之木，功曹、太冲是也，于物为船车、树木，于人形有奇骨耸起，若病为痈肿，于色为青，于怪为音声，于畜为野兽、驴、兔。

癸中之土，辰、戌、丑、未是也，于物为砖瓦、泥土类，于人形为大头，腹肿黄，四肢痈肿，于色为黄，于怪为风尘，垣壁崩颓，孔穴土聚，于畜为子母牛、羊、狐、犬类。

丁中之水，登明、神后是也，于人形为肾，于色为黑，于怪为井沸，于畜为鼠、猪。

辛中之火，太乙、胜光是也，于物为文书、皮毛、文章、炉冶、血光、飞鸟，于人形为髭发、赤目，有苍缺损，股肿有疾，于色为赤，于怪为光明，于畜为马、蛇。言十二辰以观亲疏也。

亲疏

日与辰三六合者为亲，不合者为疏。

生日干者父母。如甲、乙日，以子为父，亥为母。壬、癸为外翁姑。午为子，巳为女，丙火为外孙。寅为伯，为兄。卯为叔，为弟。甲为姊，乙为妹。辰、戌、丑、未为妻妾。

日干所克为正妻，如甲、乙见土，丙、丁见金，戊、己见水，庚、辛见木，壬、癸见火是也。以干之墓神为妾，如甲、乙见未，丙、丁见戌，庚、辛见丑，戊、己、壬、癸日见辰是也。

妻前一位为媒人。己为甲妻，则己前庚与申为媒；乙为庚妻，则乙前丙与巳为媒；辛为丙妻，则辛前壬与亥为媒；丁为壬妻，则丁前

庚与申为媒；癸为戊妻，则癸前甲与寅为媒也。

日干所克干神为奴婢，如甲、乙日戊、己，丙、丁日庚、辛之类。总之，干属外，支属内，外翁姑、外甥、奴婢，皆以干言。

媒辰所合为亲家。如申为媒，则卯为亲家，乙庚合也；巳为媒，则戌为亲家，丙辛合也；亥为媒，则未为亲家，丁壬合也；寅为媒，则未为亲家，甲己合也。

子日见亥，寅日见卯，日辰同气，为本家人；子见丑，丑见寅，为邻人。

十二支类神不就日干而言者：

子为子息渔屠儿，丑为贤者又僧尼。

寅婚道士更胥吏，卯术沙门长子宜。

辰为魁卒凶顽恶，巳朋长女为密皂。

妇人官女蚕姑午，姑姨舅妹小吉时。

申猎医巫银铁匠，少女婢妇姐从魁。

辛奴吏官仆凶戌，幼子寇盗亥官推。

凡占动众，三合为兄弟、朋友之众，同类为眷属之众，成为部领之众，反吟连茹牵连之众。

亥中木为功曹、太冲之父母，甲中木为兄姊，辰中木为弟妹，未中木为外孙。

寅中火为太乙、胜光之父母，丙中火为兄姊，未中火为弟妹，戌中火为外孙。

申中水为登明、神后之父母，壬中水为兄姊，丑中水为弟妹，辰中水为外孙。

巳中金为传送、从魁之父母，戊中土为兄姊，丑中土为弟妹，辰未中土为外孙。故曰万物比类，以观亲疏也。

假令正月甲子日辰时，上是功曹，临未为发用，上克下，与日比，将得天后；传见从魁，将得勾陈；终于天罡，将得元武。以此占人，法忧外孙，事因妇女，斗讼相伤，终至亡遗、偷盗。他仿此。

甲、乙日，日干及寅、卯发用，为己身、同类占。寅为兄，卯为弟，寅中甲为姐，辰中乙为妹，亥中甲为伯之兄弟，未中乙为叔之兄弟；子为父，亥为母，亥中壬为伯，丑中癸为叔，申中壬为长姑，辰中癸为小姑；申为祖父，酉为祖母，巳中庚金为伯祖，戌中辛金为叔祖，丑中辛金为祖姑；未墓为妻，辰为继妻，丑为妾，戌为婢妾，土生庚申金为媒人；午为男，巳为女，寅中火为兄之男女，未中火为弟之男女，戌中火为姐妹之男女；生祖者为曾祖，生曾祖者为之高祖；男生者为孙，孙生者为元孙。

凡十二支中亲属，论者不一，姑两存之。如甲、乙日，有取子阳水为父，亥阴水为母者；有取子中癸水为母，亥中壬水为父者。余说类此。

观月经

新故卦

凡事知新故，得之变生死。

五阳德自处，

甲、丙、戊、庚、壬，各以本干为德，故曰五阳德自处也。

五阴德改移。

夫自处德，妇从夫德，以阳为正。

甲为己德合，庚与乙为德。丙与辛为宜，丁德配在壬。癸德配在戊，生死后篇推。甲生原在亥，未是死根基。丙生寅上是，死戌是分离。壬戌生传送，天罡见死悲。庚来生太乙，大吉死无疑。生加日辰上，凡事焕为新。死加日辰上，凡事更无新。

假令甲、乙日，登明加甲上，为新，故曰“焕为新”。如今日甲、

乙，小吉加甲，为故。刚日以本干之生为新，死加日辰为故，故曰“更无新”。

前篇论生死，后法五行中。新来推旺相，

凡事，旺相加日，是新事也。

休囚死后终。

凡休、囚、死加日辰，是旧事也。

其气两相见，新故一半通。

或曰：曰上旺相气，辰上休囚、死气，其物新故相半。故名“新故一半通”也。

传中先见者，此法续无穷。

凡四课三传，先见者知新故，便以日辰推之，故曰传中见事续无穷。

心镜

新故阴阳不易分，刚柔异类辨斯文。刚日用阳及有气，是物装成不染尘。

刚日用起阳神，及有气神加日上，并主生气，曰“物”，乃是新物。柔日用起阴，及无气神加日上，并主死气物，是旧物。

柔须求德看临日，乙德居庚土是因。大吉临干为死旧，天罡加日是生新。

假令乙日是柔，即乙德在庚，生于土。天罡加日上，即生、新物；大吉临干上，是死、旧物也。

拘铃卦

十杂拘铃，支干配合，色数以四时休旺断之。数目颜色言倍者，加一倍也；言进者，一十进一百也

甲子日，亥将，寅时占：

蛇
午
勾
卯
白
子

午 酉 申 亥
酉 子 亥 甲

青 勾 六 朱
寅 卯 辰 巳
空 丑 午 蛇
白 子 未 贵
亥 戌 酉 申
常 元 阴 后

此午克酉为用。午是九数，酉是六数，色从赤白。春月火相，数宜加倍。甲己子午九，乙庚丑未八，丙辛寅申七，丁壬卯酉六，戊辰戌五，己亥无干四。此一节论走失远近，物类多少，依此推之。甲己半青黄，乙庚碧绿竹，丙辛带赤白，丁壬暗惨黑，戊癸灰黄样，天干十敝居。

酉白子纯黑，卯青午赤逐。辰戌丑未黄，寅来绯碧服。申主白黑色，巳上斑点绿。亥来淡淡青，发用为骨肉。先乃穷颜色，次神言数目。正月甲子日，寅时来买卜，胜光加酉支，上下相驱逐。下神本白色，上神赤不黑。上神其数九，下神本管六。六九五十四，地里宜数足。旺相倍加进，囚死退数目。休者五十里。

囚死者，二十四里之半也。旺相，五百四十里。

不离反与复。贼盗依数推，万数悉皆卜。六十四卦中，从头尽检束。
圣人言会者，神仙见骨肉。

午
卯
子

午 酉 申 亥
酉 子 亥 甲

寅 卯 辰 巳
丑 午
子 未
亥 戌 酉 申

· 观月经

· 始终卦

诸卦推始终，此卦最为良。初传为始位，末传是终乡。始吉兼终吉，
万事达无妨。

初凶末有吉，从空喜并强。

初传囚死、刑害，天空、朱雀，是初传凶；末传见吉将、三合、六
合、青龙，主喜事从空而来也。

始始终不善，先喜后乘张。

初传见吉将、良神，末传见三刑、六害、凶神者，主先吉后凶也。

始吉终见破，遇克却馨香。消息皆如此，论情道理长。

克未破也。

袖中金

论三传初中末，即事有创始，有成终，方为始终有全。凡初传凶，终末吉，能解之；三传凶，行年吉，能解之；三传行年尽凶，则凶不可解也。

曾门

始之与终，传自相穷。进退轻重，何喜何怒。始吉终吉，自穷于吉；始凶终凶，自穷于凶。始吉终凶，先吉后凶；始凶终吉，先凶后吉。神将俱和，是为大吉；相克不和，名曰大凶。

《定章》曰：终始即初终二传，以观吉凶。神将俱和，如子归母，为吉。神将不和，即仇怨为凶也。

三、十二神将篇

十二支神即亥、戌、酉、申、未、午、巳、辰、卯、寅、丑、子。十二天将即贵人、螣蛇、朱雀、六合、勾陈、青龙、天空、白虎、太常、玄武、太阴、天后。《六壬大全》有《大六壬神将释》，内分《十二神释》、《十二将释》。本篇即取自《六壬大全》之《大六壬神将释》，但于《十二神释》，删去了某些仅重复诗意的注文；于《十二将释》，因其中赋文之法亦见于本书所收《心印赋》，故这里全部略去。此外，对个别其它非切要的内容亦有所省略。

《六壬大全》在“大神总论”中说：“十二支神有阴阳之分，各司其事。以十二宫论之，凡五行五方之次序，四时四季之循环，三垣二十八宿之次度，七政四余之星辰，九州万国之分野，阴阳生克之体用，莫不包罗于其内，经纬于其间”。明白讲，《十二神释》的内容，备述十二支神五行所属，所应节气，所当日躔，其为月将所值之月，干支的寄生，及所当音、数、味、色、星、宫、分野、方位，并具述所主之事、所类之物及与乘、临相关的某些象征和有关判断。

《十二将释》对十二天将亦多方阐释。十二将之本家五行、吉凶之属及其所主、所象、所类，并有关占断诸说，是其中的主要内容。

壬课之天盘、四课、三传皆支神配以天将，无支神、天将也就无壬课，所以古人特于十二神、十二将著说详阐。在术家眼里，只有熟知这些内容，才能在判断中做到更为具体。

神 将 释

大神总论

十二支神有阴阳之分，各司其事。以十二宫论之，凡五行五方之次序，四时四季之循环，三垣二十八宿之次度，七政四余之星辰，九州万国之分野，阴阳生克之体用，莫不包罗于其内，经纬于其间，斯天神之大概也。故以天上斗罡旋转而言，则天罡为首，顺布；以太阳缠度过宫而言，则登明为首，逆布。逆布者谓之月将，其实即十二神也。壬课取用配合，皆曰神，不曰将，视其加於日辰、年命，或生或克，或刑或合，而休咎判矣。凡十二神相加，上克下，与上下生比者，俱取天盘言之；下克上者，取地盘言之。

又总说

子午为阴阳二至，卯酉为日月之门，寅申为道路之神，辰戌为牢狱之地，丑未为天厨之所，巳亥为堂庙之宫。

十二神释

登明亥

水神。雨水后日缠嫌訾，正月将。

登明云者，正月三阳始兆於地上，见龙在田，天下文明。《易·明夷》有曰：“初登于天，照四国也。”又亥为天门，故曰登明。

登明神，面长，发黄，手足黑色。带破为阴水，亦名天怪。古之修宫室匠人也。

壬寄其上，木生其下。玄武之象。音角。数四。味咸。星室、

壁。禽猪、狗、熊。宫双鱼。分野卫并州。属猪·位天门。

所主祯祥、征召、阴私事。为自刑、为极阴之位。又主争讼、狱囚、沉溺(谓乘凶将)、主取索亡失(巳、酉、丑日)、不净。

类为天雨师、又为鬼神、天马、天耳。

为幼子、将军、夫人、上客、醉人(加酉)、乞丐。

为肝、肾、发、头(临日干)、足(阳日加申、阴日加未)。

为脾病哭(临辰)、眼斜、青丑、坏头面(亥加己、己加亥)、病泻(加年命上)、为盗(作元武)、杀贼奸神(作后元)。

为宝殿(作贵人加寅)、楼阁(不作贵加寅、又龙为楼、合为阁)、台(加卯、又加卯为灯台)、廷院、坑园、墙基、狱犴、厕(加戌。又甲、乙日作天空加巳)。

为图画、幞头、帐幕、笔墨、伞盖、管龠(加巳)、笠笈、圆环。

为梅花葫芦。

为廩廩、酢酱、稻麦(酉加)、盐(朱雀加)。

为姓：杨、朱、鲁、卫、干、房、季(寅、卯加)、壬(丑、未加)、邓、范(俱六合加)、冯(蛇乘己、午加亥)，凡点水字样、直傍之类皆是。

登明天柱(亥为天柱)廩(乘太常)楼台(乘青龙临申)、贼盗(乘元武)伤人(乘虎)幼子(乘六合)哀(乘蛇、丙日占更的)、狱厕秽猪(乘勾主狱、甲、戊、庚、壬、癸的)忧溺死(乘空主秽厕、乘后主溺死)、阴私(乘阴主私)管龠(乘雀)召征(乘马作贵、或贵临亥的)来。

注云：五音山向，以登明为天柱。若乘太常主廩禄。盖太常是谷粟之神家，未与亥三合也。乘武主盗贼，入室故也。乘虎主伤人，亥是木之父母，虎作木鬼故也。乘六合主小儿，木到亥上，方生故也。乘蛇主哀哭，太乙丧车煞，与蛇同体。若丙日占之更的。乘勾主狱，若甲、壬、癸三日有战，主吏嗔；戊、庚二日，与神和不妨。(甲、壬、癸三日，又云丙、丁二日。)乘天空主猪秽厕，亥为天猪杀也。乘天后主溺死，以水投流溺之象也。乘朱

雀主管禽，盖四孟，禽神所居之地，若占讼得放之象。贵人临天门主征召，作驿马更的。

河魁戌

土神。春分后日缠降娄，二月将。

河魁即天魁，斗魁第一星，抵於戌，故名。建卯之月，万物皆生根本，以类聚合。魁者，聚之义也。

河魁神，古之狱吏也。

辛寄其上，火墓其下。天空之象。音商。数五。味甘。星奎、娄。禽狼、狗、豺。官白羊。分野鲁分徐州。属犬。位西北方。

所主诈欺、印绶及奴婢逃亡。若发用，旧事重新之象，又主虚耗、失钱物、带众。

类为天斗魁，又为天罗、计都、兵神、厌神（作元武）、地户。

为监司（加月建）、都辖（加太岁）、官长（作雀加日辰）、司直、善人、长者、僧道、猎人、小童、奴仆、屠恶、强盗（作虎克辰）、兵士（戌加申、申加戌）、舅翁、妹、贫丐（作元空）。

为命门、膀胱、足腿（加年命主足病）。

为城廓、寺观、冈岭、牢狱（作勾陈更的）、窑冶（作蛇加巳、午）、虚堂、仆室、土物、坟墓（作虎发用）、墙垣（甲日加寅）。

为朝服、印绶（作雀）、鞋履、军器、桎枷（作元武临刑）、剑仗、城钟、铁锄、铲枪、锁钥、碓磨、瓦器、石（作勾陈加申、酉）、数珠。

为五谷、田、丝。

为姓：魏、王、鲁、徐、娄、仇。凡土傍、足偏之类。

天魁印绶（乘常）吏（乘雀主讼）都官（乘龙为官），垒土高坟（壬、癸日乘虎）集众攒（魁主众，乘勾陈主集）。德合（乘六合）奴婢（乘武为奴，乘阴为婢）兼长者（乘后利君子）、犬豺狼畜（乘蛇厌主狼犬怪）悉为欢（乘阴、合主婚姻事）。

河魁主印，太常主绶。若魁作太常，乃曰印绶。雀为文书，雀入墓戌，凡言讼，主其吏也。青龙为都官，天魁为集众，凡言官位，必有部辖之权。魁凶神，虎凶将，若壬、癸日占，天乙逆治，魁作虎克日，名曰垒土之煞，病者必死。勾陈为土星，天魁为集众，此二神将并临，即主攒集会众之事。六合卯与戌合，又是支前五辰之合，故曰德合。元武奴，太阴婢，二将若临戌上谓之阴空同位，奴婢主不良，非逃即盗。六丙日，天后临戌，乃是官星，利君子，故曰长者，利见大人。螣蛇临戌主犬豺狼怪，春占有三等：辰、戌、丑、未日为天狗煞，戌日为月厌煞，甲、乙、寅、卯日为天喜，三者须各详之。又戌、己、辰、戌、丑、未日，戌蛇多主怪事；若甲、乙、寅、卯日，戌乘吉将，主婚姻、产喜吉事。

从魁酉

金神，谷雨后日躔大梁，三月将。

从魁者，斗魁第二星也。星抵於酉，故名。又三月草木枝叶从根而出之义也。

从魁神，形貌端正，黄白色，古之女巫也。

正禄，不受所寄。太阴之象。音羽。数六。味辛。星胃、昂、毕。禽雉、鸡、鸟。宫金牛。分野赵冀州。属鸡。位正西。

所主阴私、解散、赏赐，又主金刀、奴婢、信息。

类为天文星，又为霖雨（加子）、霜（加戌）、雪（丑、午加之）、海（加巳）、江（加子）。

为私门。

为中丞、太亲、阴贵、妇人（临旺少女）、姨女（天空休哀）、外妾、婢、妾（作六合、作青龙，若作太阴加日辰，主妾为妻）、匠婢、酒人、小奴（作天空）、尼（作合加寅、申）、乐妓（加太常、卯、未）、老婢（加子、丑）。

为官禄、边兵(作虎加孟)、孝服(作虎,主甲、乙日服至)、夫妇不和。

为皮毛、口窍、耳目、爪骨、精血、小肠、唇舌。

为劳瘵、目疾作(蛇、雀)、赤眼(丙、丁加之)、为刀伤(加季刑命)。

为白塔、街巷、小陌、祠庙、仓廩。

为碑碣、金银、首饰、珍珠、盘镜、铜铅(作太常加寅)、铁石、皮革、毡条。

为酒浆、菜食、姜蒜。

为姓:赵、金、乐、石、刘(卯加酉)、闵(卯、酉加六合)、郑(贵人加之)、程、吕(俱太阳加之)、凡立人、金榜之类。

从魁金玉(乘龙、虎,旺相的)小刀(乘龙、虎,囚死的)钱(丙、丁日乘阴的)、奴婢(乘空主奴,乘阴主妾)私通(乘后、合主表里私通)近水边(乘玄)、小麦(乘常)九江(乘后伏吟)并赏赐(乘贵人旺相)、鸡鸟(乘雀主鸡,乘蛇怪鸟)解散(乘勾)不为嫌。

虎临从魁,旺相为金玉,囚死为刀。龙临旺相亦为金玉。若龙发用,金木相克,事有终始。六辛日太阴主事,旺相为金玉,死为刀及屠戮事。丙、丁日太阴加酉,乃钱也,若非火制酉金,不能成钱之形。如甲、戊、庚三日,魁虽太阴,则不言钱。甲日春占,太阴囚,主奴妾奸私事。戊日则太阴相气,金土相生,两阴相会,主婚姻事。庚日,太阴旺气,主金帛事。私通者,六合主之。合是私门,卯酉相并,谓之左右表里阴私也。酉曰九江,玄武水将,金能生水,故曰水边;若六己日,土克玄武水,则濡涸。太常主小麦,壬、癸日占,金水相生,麦苗以秀,若甲、戊、庚三日占,又不同。甲日太常加酉,则麦已熟而先有损,酉克干故也。戊日则金土相生力壮,麦秀而实。庚日则过於刚硬,麦坚固而粒小。天后加酉,渊源之水,故曰九江。贵人加酉,旺相赏

艮，囚死主贵人嗔责，占讼即忧枷锁。朱雀加酉主鸡鸟，若克日，又主狱讼文书。腾蛇加酉，旦主鸟怪，暮主鸡怪。二月六己日占，月厌在酉更的。勾陈加酉主解散。甲日青龙直事克勾陈，勾陈之子是酉金，又克甲木，互相持势而战，战则散而不为嫌矣。戊、庚日合而无战，亦主散。壬、癸日被勾陈克，却得勾陈子金相生，救之，谓之无恩解散。

传送申

金神。小满后日躔实沉，四月将。

传送者，四月万物茂盛，阳极将退，一阴欲生，传阴而送阳也。

传送神形，项短，目圆睁，微有须发，大身。古之行人也。

庚寄其上，水生其下。白虎之象。音微。数七。

味辛。星觜、参。禽猴、猿、獠。宫阴阳。分野晋益州。属猴。位西南。

所主道路、疾病、信耗事。

类为天钱星，又为天鬼、天医。

为廷尉元帅（加三合之首）、行人、公人、民人、孝子、征夫（若加子、午又主军逃亡）、铺、兵猎师（作虎）、银匠、铁匠、舅、僧（作龙加孟）、商贾、巫医（作六合）、屠户。

为肺、胆、大肠、骸骨、音声。

为疾病、死尸、丧孝。

为产乳、水厄（加亥克日）、仇讎攻劫（作勾）、馈送、失脱（作玄武加亥、子）、淫（壬、癸日）。

为祠庙、庵堂、城宇、道路、池湖、陵寝、灵柩。

为绢帛、绵絮、经文、毛羽、药物、刀兵（加刑）、磨磨、大麦。

为姓：袁、郭、申、晋、侯、韩、邓，凡金榜、之绕之类。

传送刀兵（乘虎）僧及医（乘常主医或僧），冤仇（己日乘勾克德也）

道路(乘龙)税(乘贵主赋)湖池(乘后)。大麦守城(乘明旺相为麦,因死为守城)丧(乘蛇)碓磨(乘空),市贾(乘合)劫攻(乘劫杀、玄武)田猎师(乘雀)。

虎加申主刀兵,其义有五:甲日青龙主事,则虎因财而争伤,并死煞尤甚,谓金木相克,流血之祸也。戊日勾陈主事,金土相生无战,虽并恶煞不凶。庚日即虎主事,持德直日,虽动刀兵不伤,且利见大人,诛讨不义也。壬日天后主事,奸淫相伤。癸日玄武主事,盗贼有伤,俱不凶。六己日勾陈临传送,主冤仇争斗,盖己德在甲,勾乘申遥克伤德故也。道路之说有五:甲、戊、庚日俱申为青龙,但甲日主财帛出其道路,或远信、财物;戊日主奴婢、公文出其路;庚日主疾病、丧孝出其道路;壬日卦得申子辰,或八专,带奸神为用,主妇人淫乱败露出其道路;癸日切忌出行,主道路有遗亡。天乙加申,主田园赋税。盖申为水之长生,贵人土遥克之故也。水生申,旺子,天后加之,主湖池,甲日为池,戊日为湖,丙、丁日不为湖池,名曰日被云遮,作事暗昧,妨有谋窃。腾蛇主丧,甲日官贵财富之丧,戊日奴婢之丧,或因官致病死之丧,庚日则不病尫羸之丧,丙日官使之丧,或炉冶之家丧。六合主交易市贾,壬、癸日女人交易;或是媒礼之事,丙、丁日男子交易,牙侩与官置买卖事。

小吉未

土神。夏至后日躔鹑,五月将。

小吉者,夏至之气,大往小来,小人之道长,小之吉也。又为万物小成之义。

小吉神为风伯,古之药师也。

丁寄其上,木墓其下。太常之象。音微。数八。

味甘。星井、鬼。禽犴、羊、鹰。宫巨蟹。分野秦雍州。属羊。

位西南方。

所主酒食、婚姻、祠祀事。

类为天酒星，又为天耳（加己、午）、风伯、鬼神（一云家鬼）。

为太常、主保、父母、老人、继父（加亥）、继母（加酉）、姑、嫂、姨、妹、媒妁、寡妇、道人、酒匠、帽匠。

为请召（青龙比日）、庆贺、筵会、离别（见行年离神）。

为旱魃蝗虫（雀加亥、子）。

为肝、脱脊。

为庭院、墙垣、园（加辰）、林（加卯）、土物、井泉、陶冶、坟地（甲、乙日角姓）、茶房、酒肆、赛场。

为海鲜、盘盏、冠裳、印信、笙歌、医药、苗、帘、桑、木樽、麻（龙后加寅卯）。

为姓：朱、秦、高、章、羊、杜、井、魏、杨，凡羊、土傍之类。

小吉姨姑（乘阴）婚礼仪（乘龙），羊酒祠祷祭神祇（乘常、见玄武贵人应此）。白头（乘蛇见丧车主孝）争讼（壬癸日乘朱勾）公婆母（乘后），井泉（乘空）天耳（乘空四月宜提访）墓（乙日乘虎）风师（辛、己日乘虎）。

太阴临：主姑、姨、妹之事。青龙临，主婚姻、礼仪之事。太常，谷粟之神，壬、癸日并上，以土克水，故酤而为酒。丙、丁日，亥作天乙为天猪煞，未为天羊煞，亥与太常三合，主猪羊事。天乙加未，玄武居亥，为三合，主祠祷神祇。盖玄武是北斗将军，掌妖讹事，不听居其于丑、未，丑、未天乙所处，即无将军之位，如君子不与小人竞，故曰祠祷也。白头者，孝服也。腾蛇为丧车煞、魄煞，三者并临主孝服。勾陈主争，谓土将临旺乡，值壬、癸日占，必有争也。朱雀主公讼、文书。天后水，生木墓于未乡，主婆母。天空主井泉，带凶煞则主井怪、崩坏。四月占，天空又为天耳煞，凡捉人遇此，必得的信。天耳正月起戌，顺行四季。

木日占病，白虎临之，为坟墓煞。六乙日占，虎临。又为风师，主作大风。

胜光午

火神。大暑后日躔鹑火，六月将。

胜光者，午为阳火，正当离位，光被四表，所谓大明当天，燭火不熄，难乎其为光者也，故曰胜。

胜光神形貌：目圆，面赤，大身。古之御马人也。

正禄无寄。朱雀之象。音宫。教九。味苦。星柳、星、张。禽獐、马、鹿。宫狮子。分野周两河。属马。位正南。

所主光怪、丝绵，又主文书官事。

类为天王良星，又为左天目、霞、雷，为上小下大。

为宫妃、雨林、使君、娼妇、亭长、使者、善人、僧巫、骑者、蚕姑。

为惊恐、疑惑（见申）、诚信、文书（雀加寅）、口舌、咒咀（见申与雀）、胎孕（加亥受绝），为兵（勾陈加申、酉）、词讼、信息、光彩。

为心（若见亥主心疼）、目、口。

为血光、心虚、小肠患（雀加子）、吐泻。

为宫室、城门、堂宇、田宅、道路、厨（太常加申、酉）、窑冶。

为火烛、旌旗、丝绣、衣服、书画、衣架、柜、蒸笼。

为马、蚕丝、鸦巢、雉、小豆（太常加卯）。

为姓：萧、张、李、许、周、马、朱、柳（六合加）、狄（勾陈加亥）、馮（蛇乘午加子）。

胜光宫女（乘后）信诚（乘雀）妃（乘阴），善人（乘贵）通语（乘合）惊恐（乘蛇）遗（乘元）。土工（乘空）田宅（乘常）巫天目（乘元见天目），使君（乘龙）亭长（乘勾）巷兵持（乘虎主道路刀兵）。

天后主宫女，甲日则妇小而长，仁而有貌，戊日黄而浊肥，庚日瘦而有礼、多病，壬癸日淫而有色，壬则淫夫，癸则谗乱。朱雀

主信诚，暗主主礼，雀主书也。太阴婢妾之象，主死，大乙主善人，六辛日胜光为鬼，若作天乙变凶为吉。六合主通语，丙、丁日为牙讼，壬、癸日为妇媒。蛇主惊恐，六庚日最紧，他日缓矣。玄武临午谓之左目将军，又曰天眼开，主盗贼败遗。巫天目者，玄武被天日照之之义也，与遗意同。青龙，文官之象，故曰使君。勾陈，武官之象，又乡耆，土官之称，故曰亭长。白虎主街巷伯，又为兵刃持用之物，故曰巷兵持也。

太乙巳

火神。处暑后日躔鹑首，七月将。

太乙者，太微垣所在，太乙所居也。又七月，百谷成实，自能任持之义。

太乙神形貌：高，额赤，大口，黄发、眼目不正。古之锻人也。

丙、戊寄其上，金生其下。腾蛇之象。音角。数四。昧苦。星翼、轸。禽蛇、蚓、蟬。宫双女。分野楚荆州。属蛇。位南方。

所主斗争、口舌、忧惊、怪异事，又飞祸、赏赐事。（总论，已见辰为进往，吉；辰居巳为退伏，不吉。）

类为天太乙星，又为雪（冬至后巳主雪）。

为车骑、姑、女妇、术人、画工、木匠、厨夫、店人、乞丐、吊客（作虎主外服）、歌儿（太阴主娼妓）。

为孕（若作蛇加辰主双胎）、忧、文学、取索、轻狂、毁骂（克日辰）、徒配（巳酉相加）。

为心胞络、三焦、咽喉、面、齿、斑点。

为车乘、金铁、珠玉、筐、盒、疋帛、乐器、管籥、磁器、砖瓦、弓弩、花果、釜（又主金鸣）、炉冶（加火）、窑灶（加土，又巳未相加主井灶相连，己亥日戌加己主灶侧相连）、火光。

为飞虫、飞鸟、蜴、蟾、蛇（月厌加主梦蛇）。

为姓：陈、石、赵、田、张、荆、余、朱、郝（六合加）、楚、杞（寅加）、耿（子加）、龚（辰加）、纪（丑加）。

太乙蝉鸣（乘合）虫（乘空临水）散解（乘武加水），同宾姑（乘龙）骂詈（乘雀）驾丧车（乘虎）。赏赐（乘贵）灶炉（乘阴常，丙、丁日的）管龠等（乘勾，戊日的），非横之灾（辛酉日乘蛇，六月的）吊客蛇（亦辛日乘蛇，占病凶）。

六合临为蝉鸣煞。天空临为水虫煞。元武是小人，又加太乙破败煞，谋用破败无成，故曰解散。朱雀主骂詈，甲日因财口舌，戊日因官文与争田地口舌，庚日为忧最深，维无凶。白虎为丧车煞，又主弓弩曲物。太常、太阴俱主炉灶，丙、丁日太常临巳，炉灶最的。勾陈临，谓之管龠神，囚禁可放。辛酉占得腾蛇，有非横之灾，惟六月月厌在巳，定主见怪，灾祸连绵，又占病则为吊客，蛇之为患如此。

天罡辰

土神。秋分后日躔寿星，八月将。

天罡者，斗杓之所建也。又八，枝条坚刚之义。

天罡神，黄色，面圆满，多须，古之狱师也。

乙寄其上，水土墓其下。勾陈之象。音商。数五。味甘。星角、亢。禽蛟、鱼、龙。宫天秤。分野郑襄州。属龙。位东南方，近东多。

所主斗讼、死丧、田宅、旧事。又曰，辰天牢，戌地狱，专主狱讼官府。

类为天哭星，又为狱神、右天目、天罗。

为宰公、监司（加月建）、大将军、佞军、渔败、屠杀（虎加死地又加金）。

为敕书官事（雀、勾克日，加壬、癸日）、顽恶、坚硬、凶怪、欺争、杀斗（发用克日）、动摇、悲（虎加）、惊（日辰上）、虑（作初未传又加

土)、娠(天后)、邪梦(蛇发梦,加行年)、自缢(蛇、虎克日)。

为肠胸,又为死尸,为偏盲能视。

为廊庑、寺观、沟洫、石阑、坟墓、田园、麦地、海水(天后加亥)、井(武加己)、山坡(天空)。

为甲冑、网罟(加火)、滂澍、桮械、碾碓、缸瓮、钱物、盃、盆、皮毛、破衣、胶漆。

为五谷、米麦、荤腥、鳞族(加水)、鱼食(加亥)。

为姓:马、郭、乔、郑、邱、岳、龙、陈、田、庞(加勾)、周(加酉)。

天罡本是鱼(乘龙,秋冬暮的)龙物(乘龙,春夏旦的),欺诈(乘朱)网罗(乘蛇)为恶人(乘虎)。战斗(乘勾)陂池(乘后)二千石(乘常),右目(乘元主妖邪)虞官(乘阴)宰杀神(乘合)。

青龙临辰,春夏主龙,秋冬主鱼,又旦为龙,暮为鱼。蛇临谓之网罟缠绕,壬日妇人缠绕,癸日盗贼相绊。罡凶神,虎恶将,并主恶人。玄武临辰谓之右目将军,在北斗位下,掌妖邪,盗贼,主贼难捕。太阴主虞官,乃左右侍从之官也。

太冲卯

木神。霜降后日躔大火,九月将。

太冲者,日月五星所出之门户,天之冲也。又万物离散剥毁,若冲之义。

太冲神,面长,青色,高额,有须,身材细长,狡狴不正,古之乐师也。

正禄天寄。六合之象。音羽。数六。味酸。星氏、房、心。禽貉、兔、狐。宫天蝎。分野宋豫州。属兔。位正东。

所主驿马、船车。

类为天雷神,又为天心、地耳、雷电、雨水。

为长子、公主、大夫、母、姑、兄弟、男女童稚、沙门、贼人、艺术

(六合加寅、申)。

为逃(元空加酉、戌)、出入门户不宁。

为大肠、荣血、声(蛇加空)、目疾(午卯相加)。

为桥梁(加辰)、竹木(加同类)、池泽、车船(龙旺又主边方。又见水、船;见土、车。)

为窗牖、梯、椅、衣架、棺槨、杓、梳、床、幡竿、香盒、笙簧、鼓笛、刀俎、木器(见金)、盖轮、坊牌、箱、棒、竹篱。

为羝羊、驴骡(蛇加己、午)。

为姓:朱、房、鲁、杨、张、卢、高、刘、雷、宋、柳(加寅)、茆(六合加)、季、李(俱加亥、子)、钟、蔺,凡木傍、丝子、千里之姓,孙、董之类。

太冲术士(乘贵)沙门类(乘勾、空)、行往车舟(乘常)水(乘蛇)陆因(乘虎)。林木(乘龙)江河(乘武)雷电(乘朱)雨(乘龙,巳日的),兄弟(乘阴,甲日的)私门(乘后)匿妇人(三交卦主匿妇或罪人)。

冲乘天乙主术士,勾陈、天空俱主沙门。甲日僧多不洁、少实;丙、丁日天空,僧善讲谈。太常与太冲为三合,主舟车。天后临于私门,必有淫妇。

功曹寅

木神。大雪后日躔析木,十月将。

功曹者,十月万物大聚,岁功成就,而会计于曹也。

功曹神,面方,青色,有须,势大身材,古之使命也。

甲寄其上,火生其下。青龙之象。音微。数七。

味酸。星尾、箕。禽虎、豹、猫。宫人马。分野燕幽州。属虎。位东北。

所主木器、文书、婚姻、才帛、官吏之事。

类为天三台星,又为天,又风(作虎加申)。

为丞相、宾客、督邮、家长、夫婿、秀才(加六合、青龙)、吏(雀加申、戌)、医(天后加未)、丹客(亥加巳)、僧(后加申)。

为谒见、征召、喜庆、文章(加卯)、信(作六合),又为五色(蛇加午)、四角。

为三焦、胆、筋脉、发、口、眼。

为社稷、公衙、庵观、神祠(加土)、神树、山林。

为栋柱(寅午相加)、花木、屏风、宝剑、机杼、棺槨、火盆、香炉、禅椅、桥梁、竹箱、食物。

为姓:韩、苏、曾、乔、林(寅卯相加)、霍(子加寅)、杜(戌加)、程、朱(太阴加),凡木傍、草头、走脚、高、赵、杜之类。

功曹道士(乘龙)兼书籍(乘常),杂色班文(乘玄)火炬红(乘雀)。从事(乘后)信诚(乘雀)征召(乘贵)吏(乘勾)、虎豹(乘虎、昼)猫狸(乘虎、蛇、空、夜的)居木丛(乘合,水日木,火日为柴薪)。

白虎昼主虎豹,夜主猫狸。腾蛇、天空则主猫狸之怪。六合、壬、癸日主木丛,丙、丁则为柴薪,谓火旺木休也。

大吉丑

土神。冬至后日躔星纪,十一月将。

大吉者,冬至之气,小往大来,君子道长,大人之吉也。又一阳始生,上帝复位之义。

大吉将,其色黑,为古之策牛人也。

癸寄其上,金墓其下。贵人之象。音微。数八

味甘。星斗、牛。禽蟹、牛、龟。宫磨蝎。分野吴扬州。属牛。位北方。

所主田宅、园圃及斗争事。又总论丑、未,专主田宅、才帛、宴喜。

类为天牵牛星,又为天耳、风伯、雨师、天衢(作常加申、酉)、雷

雨(丑加卯,雨后雷;卯加丑,雷后雨)。

为人君、土主、宰执(加岁)、将军、长者、父母、神佛、尼僧、矮子(作空)、瘸子(加卯、酉)。

为表奏(雀加寅)、举荐、福德、爵、冤、仇、咒咀。

为脾、肺、小肠,又为秃发、病目、腹泄(丑亥相加)。

为宝殿(贵加寅)、室阁、社坛、僧舍(加申)、桑园、仓库、田圃、桥(龙加亥、子)、井、墙。

为车轿(卯日)、珍珠(贵人加,得旺相)、首饰、鞋履、秤、尺、斗斛、饮食、枯物、不完物(丑为未)。

为六畜、龟鳖(加子)、蜈蚣。

为姓:田、孙、邱、牛、吴、赵、杨、杜、董、岳、王(丑木加亥、子)、苗、黄(俱六合加丑)、汪(亥加丑),凡土傍之类。

大吉将军(乘勾)主荐贤(乘雀,火日的),桥梁(乘龙,乙、辛日的)长者(乘贵)地祇(乘阴)冤(乘月厌的)。风伯(乘虎)雨师(乘后)贵人召(乘贵),车(见卯)畜牛鳖(乘蛇、空)宅与田(乘常)。

勾陈乘丑加卯为将军。六丙日朱雀主荐贤,壬、癸日则主官讼口舌。六辛日、六乙日俱丑青龙,辛金乙木 削,且丑,癸水,龙木在水上,故属桥梁。天空、腾蛇主鳖,且主牛、蛇之怪。太常主田宅事。

神后子

水神。大寒后日躔元枵,十二月将。

子者,十二支之首,有君道焉。十二月子位,北方之中,上帝所居。神后者,帝君之称也。岁毕,酒醯蜡祭,以报百神,故名。

神后,面圆、黑色,古之淫妇也。

正禄无寄。天后之象。音宫。数九。味咸。星女、虚、危。禽蝠、鼠、燕。宫宝瓶。分野齐青州。属鼠。位正北。

所主阴私、暗昧、妇女之事。

类为天华盖星，又为河祟（丙、丁日辰上）、阴天（加酉）、大雨（子日亥、龙）、雪（冬至后加巳、午）。

为后妃、淫女、乳媪、媒妁（或作六合）、幼女（作后加午，或作天空）。又曰子为小口，并虎灾，受土克死亡）、孩童（亥加）、老妇（加未加丑）、嫁妇（巳加）、军妇（加辰作虎）、孀妇（酉加）、娼妇（太常）、婢妾（太阴）、翁婆（加日辰）、乐工、染匠、盗贼、驼子（勾陈）、邪师（空加卯木）、僧尼（贵、合加申、亥）、溺死。

为奸邪（加卯）、阴小、胎产、女经、淫佚、私祷、聪明、悲（加己。乙日子加己为六阳尽也，若乘吉将临德，变凶为吉）。

为肾、膀胱，又为滴痢、血病（作虎克日）。

为江湖、沟渠、沙石、道路（加寅、申）、莲塘、花盆。

为石灰、木灰、珠玉、图书、文墨、首饰、笼筐、绳索、木匙、瓶盖（日辰上）、浴盆、梯、瓮（加辰、戌）、小裁刀、水物。

为丝、布帛（天后加寅、卯）、大豆、糖（武加亥）。

为燕窝、鱼鲙。

为姓：孙、齐、谢、耿、聂、沐、漆、汪、任（丑、未加）、姜（未加）、孔（六合加）、陈（加卯）、付（申加）、冯（午加），凡水偏傍、流曲之类。

神后阴私（乘阴）彩女（乘后）奸（乘合），亡遗（乘龙）盗贼（乘亥）鬼神言（乘贵、常）。土公（乘勾）悲泣（乘空）浴盆事（乘蛇，见本季浴盆的）、燕（乘雀，旦）鼠（乘虎，夜）行人（乘虎）取类看。

六合主奸淫，丙、丁日男诱女，壬、癸日女诱男。玄武主盗贼，壬、癸日贼由水路中，必劳众；丙、丁日陆路，势凶。蛇临谓之浴盆煞，课传中见四时浴盆煞，又是壬、癸虎为浴盆，占小儿其凶甚矣。

天将总论

十二天将，天乙贵人为主，居中。前有五位：一蛇、二雀、三合、四勾、五龙，此木、火、土之神，在左方者。后有五位：一后、二阴、三玄、四常、五虎，此金、水、土之神，在右方者。天空虽云后六位，有名而无物，缘贵人相对，无物冲之，犹月杀之有月空，以遇之事皆可也。以课之天盘起贵神之例，地盘定顺逆之序，顺布者则背天门，逆布者则向地户。凡壬课吉凶，系于天将，五行虽各有所属，而用者专取天盘乘神决之。如贵人属土，若乘亥、子则属水矣，生克皆以水论。生日为吉，虽凶将亦为吉；克日为凶，虽吉将亦为凶。紧要不离生克二字。吉将喜生扶，忌克制，凶将反此。更察乘神所加盘之神生克旺相休囚，喜则宜旺相，忌则宜休囚也。

又《颐旨经》曰：四课三传虽一定不易；十二神将如四时而运转无穷。人皆言青龙吉将，白虎凶神，太常多主饮馔，勾陈必至勾留，殊不知龙无鳞（未上）则伤身之害至，折角（申、酉上）则斗讼之愆生；虎登山（未上）则秉权於阊外，衔牒（申上）则通信於道途；太常荷项（子上）而枷锁，勾陈捧印（巳上）而转职。似此之类，世所不知。又曰：十二天官在天应十二神，在地表十二分野，在岁为十二月，在人为十二经。

十二将释

贵人

论：

天官书曰：天乙在紫微宫门外，右星，天帝之神，主战斗，知人吉凶。经曰：天乙，阊阖门外，事天皇大帝，下游十二辰，家于艮丑斗牛之次，执玉衡，校量世间之事，乃壬式中天子也。

天乙贵人，己丑土，吉将也。为神将之主，传顺吉，传逆凶；比和

吉，不比和凶。若贵人顺治，更与日干相生，虽遇前一蛇，前四勾，不为深害。逆治，虽前三合、前五龙，不为深喜。兼克日干，定主贵人嗔。贵顺治，谓在天门之前，地户之后；逆治，谓在地户之前，天门之后。

贵人顺逆为吉凶之分，又看待从之神，在吉则吉，在凶则凶，诸神将仿此。

贵神得地则贵，失地则贱；加小人之命则生殃，在君子之身则降福；爰龙、常、合，不立魁罡；在卯、酉为关，子、午为格；在日辰前则动，在后则宁。

贵人从十干，分昼治暮治，独不居辰、戌之地，以辰为宰杀，戌为牢狱也。

又云：贵人临辰戌者，以冲为神。临辰冲申，临戌冲寅。乃天乙所临之位，诸将并随。天乙顺逆，前后取之。（二条论贵人出狱之法。）

又云：贵神在丑，其十二神入家，则不治事。

贵人空亡，忧喜皆不成。经所谓当忧不忧，当喜不喜。

一日两贵，一贵当权，其一为帘幕贵人，科试占得与日干相生，必得高第。凡谋事，遇两贵人，宜于囑吒。

太岁作贵人，不必入传，皆为救助。凡占得贵人吉，惟不救病（一说亦主病轻）。

贵人临旺相气发用，及加日辰，年命者，曰富贵卦。岁贵更用起月将者，曰龙德卦。皆主升迁，所求遂。

贵人临二八门曰励德卦，利君子迁转与动移事。不利小人，主忧身宅，移动不宁。

贵人入狱，主君子烦燥不宁。凡谒贵，遇入狱及励德，必阻滞。即相见，亦欠利，或贵人自有忧烦。

贵人专主钱财、喜庆、诏命之事。君子拜命迁官，小人田宅

财物。

赋：

天乙居中，后六前五。在子也解息，必囑事於仆童；在丑也升堂，宜投书于公府。案几在寅，卜庭谒之无虞；登车在卯，知路诉为有补。辰戌怀怒兮，上妒下忧；巳午受生兮，君悦臣喜。移途在申兮，有干求之荣；列席在未兮，有酒食之美。亥还绛宫，坦然安居；酉入私室，不遑宁处。

诗：

天乙神中是贵人，利为干谒庆财因。君子拜宫迁禄秩，小人争讼入公庭。旺相相生尊者召，死囚刑克忌官嗔。病名寒热头目痛，祟非凡鬼庙宗神。

类为官禄、文章、首饰、珍宝、谷麻、鳖、獬、牛，变异为水木之精、鳞角之物。色黄白。数八。

螣蛇

论：

螣蛇在天事天乙，为车骑都尉，雷部鞭馭之神，位居前一，家丁巳火，旺六十日，凶将也。螣蛇为太乙，照则福生，过则祸生。凡事造衅发端者，此神也。既过之后，风火刀兵、大劫小盗、流灾凶旱、风水蠹贼、虫毒疾疫多行。暗道私匿，妇人妊孕不明事。爱阴、虎、龙、玄、后，畏戌。

蛇主文字、虚誉、公信、小财、水火之交，其戾主火烛、惊恐、怪梦、火光、釜鸣、官司、口舌、血光事，应在丙、丁、巳、午日。若旺相、相生、比和则吉，休囚则转灾，空亡减半；披刑带杀，灾病立至。蛇附旺相神，更相生者，主胎产与婚姻之喜，以其为阴私血光之神也。在君子，主威权之相，以其将厉，车骑威武也。若附血忌，带刑煞，占胎必坠，当产即生。蛇附旺相神，乃有气，占怪必生气之类；附死囚气为死物，或有声无形。占梦与见怪，先责螣蛇及阴神，日辰、三传次

之。凡蛇附火神、居火乡及值时下见火，决主火烛惊恐，不然有口舌公事。求财，蛇附财星，旺相相生，必因贱货而得财，反此者主惊恐。凡蛇临日辰，占货必得下贱之物。

赋：

螣蛇怪异。掩目在亥，去难以消灾；盘龟在丑，祸淫而福善。生角在寅，露牙在酉，进用非讼，祸福两途；乘雾在午，飞空在巳，休祥不辨，皆主进望。入林兮在未，举步可防；坠水兮在子，从心无患。卯当门，申衔剑，总是成灾；戌入冢，辰乘龙，并云释难。

诗：

前一螣蛇车骑尉，火神惊恐怪非安。君子居官忧失位，小人争斗病灾缠。旺相相生灾未发，死囚刑克祸连绵。病者四肢头目痛，水木神来作崇冤。

类为文华、金火，每物变异为金火之精。于人为惊狂妇人，或作荧惑小人。于祟，水木土神，或不葬客鬼。于病为头目四肢瘫肿见血。于五谷为豆黍。于兽为蛇蛟。受味，甘美食物。色红赤。数四。

朱雀

论：

朱雀在天事天乙，为羽林将军，在雷部行火，亦名招风神，位居前二，家丙午火，夏旺春相，凶将也。阴火寄于重离，阳极反阴，不足之神，又名飞火流金。爱虎、阴，畏后、空，不立亥、子、戌。

雀吉得地，主文章、印信、敕命、服色、王庭事。失地则凶，主火烛、焚煌、口舌、生病、公讼、文字财物损失、马畜灾伤等事。若旺相、披刑带杀，为害必深，反此则浅。凡占公事，雀逆理，刑贼日干，官必嗔责，反此无害。占科场与投献文策，雀不入传，亦须寻讨，最爱为岁月建，与月将并，不然与岁月日相合，带禄、附马、并德，加临生旺之地，文策必中。如被刑克及落空亡、无气，加临死绝，其文必不合格。又卦体、三传并吉，亦不必以此断。朱雀，羽虫之长，文书、信息、

口舌、刑戮之神。其为印信，亦分大小，或天戒、或朝廷公文，或行人私信。尝夏月见山蛇戏路中，占得丑雀附天喜，临门户发用，合主朝廷文字，不然则天惊也。当晚骤风雨，几旬而止。盖丑为太岁，为风伯、雨师，附天喜，临门户，果应天戒。又旬日中有御榜至。凡将惊动，仿此断之。雀附火神、临火乡，并值火时占，决主火烛。尝正月己卯日占季卦，雀乘午火，居南方，春得相气，逆理。三传卯子午，四刑冲杀，当主火烛，幸课名伏吟，神杀不动，雀下贼日干，后不为灾。朱雀开口法，主斗喧。正己，二辰，三午，四未，五卯，六寅，七申，八酉，九丑，十子，十一戌，十二亥。

赋

朱雀南方，文书可防。损翼在子，自伤灾难；掩目在丑，用静得昌。寅卯安巢，则迟滞沉溺；辰戌投网，则乖错遗亡。在申曰厉嘴，在午曰衔符，怪异经官语讼；在未名临坟，在亥名入水，悲哀且在鸡窗。官灾起，盖因夜噪在酉；音书至，都缘昼翔在巳。

诗：

前二朱雀号羽林，灾殃霹雳火星辰。大人文卷忧察考，庶士妻财兢若辛。旺气扶持情解释，衰空克制事逡巡。病伤心腹还发呕，瘥日宜看子午辰。

类为羽毛、文章。于人与蛇略同。于崇，咒咀灶神。于病，在心腹、上窍，或见血、呕吐、阴肿。于五谷为果谷。于兽为飞禽、獐、马之类。变异为火气烧灼之属。色赤。数九。

六合：

论：

六合在天为光禄大夫，雷部中雨师也。家乙卯木，位居前三，旺春三月、六乙日，吉将也。六合乃和合之神，柔顺能通委曲，和合人事，位居东方，是青帝五阴之长女，职居辅弼。得地则文儒九流之官，失地则暗昧虚诈，僧、道、尼之类。爱龙、常，畏后、阴、虎、空，不

利四仲。

六合主婚姻、喜庆、信息、求望、交易、胎产、媒妁、牙保、阴私、财物、交契、木植、船车之象。其戾主阴刑不明，先喜后忧，小人、女子之过，伤失六畜之象。又云六合主门户、道路更改变迁。凡六合乘旺相气、相生、顺理而入用传者，的主婚姻或胎产喜、阴私财物。若死囚刑克，则主财物口舌、阴人烦挠。六合乘酉、戌，多主奴婢走失。尝见鸦窥天井，占得六合乘戌临门，旬内果有奴走，以六合为天地之私门也。故占盗，切忌六合入卦，以私门逃亡难获。六合与天后同入传，谓之狡童、佚女卦，占则人多不正，所为奸弊，兼妨有失。六合附金谓之内战，主阴私妇人、兄弟口舌；附土神谓之外战，事在外发谋，起议不安，宜暗求私祷。六合不合，阴私相怀，酉、卯、子、午也。

赋：

六合之神，婚姻嘉会。在亥为待命平和，在巳则不谐惊悖。在子反目兮，无礼之事；在酉私窳兮，不明之因。乘辂在寅，结发在申，从媒妁而成欢，皆主婚姻喜美；违礼在辰，亡羞在戌，因妄冒而加罪，皆主婚姻讼事。升堂在午，入室在卯，并为婚姻就已之占；纳采在未，丽妆在丑，总是婚姻欲成之例。

诗：

前三六合大夫位，和会婚姻吉兆扶。君子升迁增俸禄，小人饮食更欢娱。相生谋产多吉庆，受制奸窳用暗图。问疾阴阳心腹痛，丈人司命祭当苏（丈人，一云土神）。

类为竹、木、金石所伤之属，变异食盐、羽毛。于人为工巧、儿子，或术士，或仕宦，又为隐逸之士。于崇，丈人身命。于疾，阴阳不调、心腹虚。于五谷、盐粟。于兽，兔之类。味，可食物。色光彩。数六。

勾陈

论：

勾陈在天为大将军（一云左将军），雷部中作唤云神，位居前四，家戊辰土，旺四季，凶将也。勾陈乃宫中杀气，任职将军，得地则上令兵威，失地则兵卒不利。持重威权，又为兵甲守门之吏，大好争讼，多蓄二心，若伏丧带吊，则为不孝之神。爱玄、空，畏龙、后，不立四孟。

勾陈主兵戈、官讼、公事、印信、虎符、留连、皮革，或争田宅、土舍财帛。占望信息、财帛、出行，俱主留滞。其灾主病、蹇厄、牵累、财物损失，庶人得之如此。若官员见之，乃为印绶，盛则吉，衰则凶也。凡占讼，先以勾陈为主，如勾陈贼日，理难伸雪；日克勾陈，讼得理伸。又忌勾之阴神附蛇、鼠、雀，带杀克日者最凶。勾阴若作贵人生日，上得贵助为吉，亦要人行年上神不落空亡。凡捕天贼，勾陈所乘神制玄武所乘神，主获，勾陈临日干亦主获，反此不获。又勾陈所立之地制玄武所立之地，亦主贼败，或自首发。如玄武立申、酉，而勾陈立巳、午是也。占晴雨，最宜勾陈入传、临日辰，制玄武，决主天晴。占战斗，亦以勾陈制玄武，准上断之。

占宅墓，勾陈乘旺气加墓宅者，主安久不移，若休囚刑克，当主公事。

勾陈拔剑，主病患相伤。正月起巳，逆行十二位。若与辰、戌、丑、未交会，祸患连深，辰、戌大凶，丑、未口舌。又勾陈披刑带杀，灾咎即临。

赋：

或逢勾陈发用，斗讼争官吏过。受钺（丑）、沉戟（子），暗遭辱害。遭囚在寅兮，宜上书；捧印在巳兮，有改拜。临门在卯，家必不宁；被刃在酉，身遭决责。升厅在辰，有狱吏以牵缠；反目在午，因他人而累带。在未入驿，在戌下狱，往来语讼稽迟；在申趋户，在亥褰衣，反复勾连改革。

诗：

勾陈前四大将军，兵灾刑斗讼留连。君子掩逃擒盗贼，小人争妇竞田园。旺相相生犹合理，死囚刑克系迟延。病者肿痛寒热苦，崇在邱陵及主垣。

类于人为丑妇，或军卒，或贫薄小人。于崇，冤死之鬼，及门户、土垣鬼。于病，心腹寒热，痈肿见血。于五谷为木实。于兽，鱼、龙、水虫之属。变异为瓦石、金铁。若被损，勾连罗网之类。色青黑。数五。

青龙

论：

青龙在天为左丞相，雷部中作甘雨之神，位居前五，家甲寅木，旺春三月，吉将也。青龙，水木神也，东方青帝九阳五男所居，禄首甲寅之地。高贵端雅，方正廉平，执生气，为辅弼大臣。得地则富贵尊崇，失地则财宝外耗。畏阴、虎，爰后、合，不立申、酉。

青龙主文字、财帛、舟车、林木、衣服、书契、官府升迁、僧道高人、婚姻喜庆、媒妁胎产、宴会果药之属，其戾主哭泣病疾、公讼失财、走畜、陷溺舟车。凡占公事，虽以青龙为喜神，若披刑杀入卦，贼日干，却主凶，以其为杀神也。凡新妇入门时，忌天后乘神克青龙，主损夫。求财以青龙为主，要乘旺相气，临旺相乡，与日辰相生，或作三合六合者吉，亦须入日辰、三传，不然亦为闲地，求财难矣。占婚姻、胎产同此。又龙生命有财，克命退财。占盗贼，忌龙入卦，以龙为万里之翼也。占行人，亦主转往他方。占病，龙入传，必因酒食，不然，因会亲情，喜好得病。占文官则视青龙，武官则视太常，与日和合者吉，反此者凶。太岁作龙、常，必主迁转。凡龙与煞并，加日辰者，主喜庆中有斗杀。

龙开眼，主消灾。孟寅、仲酉、季戌是也。

赋：

青龙财喜，多主享通。伏陆在酉，允宜退守；蟠泥在丑，所谋未称。登魁在戌兮，小人争财；飞天在巳兮，君子欲动。乘云在寅，驱雷在卯，宜于营运利进；摧角在申，无鳞在未，宜乎安静动凶。午焚身，辰掩目，缘财有不测之忧；子入海，亥游江，因动有非常之庆。

诗：

前五青龙丞相位，酒食财钱婚礼仪。君子奏官迁远职，小人财物送乡耆。旺相相生媒妁吉，死囚刑克是私通。病者沉热心肠病，崇关司命且堪医。

类于人为贵官族、僧道高人。于崇，司命。于病，头目心痛，四肢寒热、痈肿。于五谷，草木之精、可食之物。于兽，龙、虎、豹、狸猫之属。变异，文章、羽毛、钱物、脯、笙之类。又为宿惇、枷棒之类。色黄赤。数七。

天空

论：

天空在天为司直官，雷部中为黄埃尘雾之神，又为渴雨神，位居后六，家戊戌土，旺四季，凶将也。天空乃阳土之神、燥灰之土，为中央最卑之位，列奴婢之行，为天地之杂气，作人间之诈神。得地则当直之吏，非多是少，妄起事谋；失地则奴辱婢舌，或显或隐，动无济物之心，静有妖氛之气。爰元、后，畏龙、合、阴、雀，不立四孟。

天空主奴婢、公吏、市井小人、财帛、言约私契。其戾主奴婢口舌，脱空不实，虚伪巧诈，是非毁败之事，以其为空亡寂灭之神，即空亡之类也。若在辰、戌、丑、未四宫，谓之天空闭，亦可以成小，不可成大事。其或顺理、旺气、相生，主财帛，喜奴婢小人同心，更带财星及天喜者，必因小人获财也。不然，因僧道获财，或因虚诈有功。《花瓶记》曰：天空安居，有言不虚。尝夏占铸钟，天空附火发用，旺相相生，钟遂成，止有小畔。占词讼，最爱天空发用，及终传，主讼解、谋不成；若求财物，又深忌之。一说加临日干，旺相，主作营运行

商。占婚，天空发用及临日辰者，其家必有孤寡之人，不然，更徒祖业。占奴河魁，婢从魁，皆以天空为主星。要天空乘神与干支生合，无克贼则吉。不然，主逃走。更值魁罡，其仆不良。占行动，主道路卑贱相损。占赴试、奏对亦吉，天空乃奏书之神也。托人谋事，最防虚诈。占宅墓，若宅墓上见水神，或门户上见天空并者，必主水道、垣墙壅塞，泥淤不便。宅墓者，宫音宅在未，墓在辰；商音宅在酉，墓在丑；角音宅在卯，墓在未；徵音宅在午，墓在戌；羽音宅在子，墓在辰。惟季将其音相连。如天空戊戌土，乃徵音及商、羽音；太常己未土，贵人己丑土，俱商音及角音；勾陈戊辰土，宫、羽、徵音。凡占得季将，必主大小墓相连也。

天空见泪，哀声聒耳。六甲旬中居壬、癸地，见壬、癸也。

赋：

天空司直，欺情诈弊。伏室在子，患生于妇女；居家在戌，事因于奴婢。侍侧在丑，诈尊长之言；趋进在未，起货财之利。受辱在巳，被制在寅，然自别其是非；识字在午，鼓舌在申，实难分其直伪。凶恶在辰，乘侮在卯，有暴客以欺侵；巧说在酉，诬词在亥，值奸人之谋计。

诗：

后六天空司直官，奸媒诡诈事多端。君子迁转防谗诳，俗辈孤单被欺瞒。比助相扶奴婢喜，刑伤不睦是非搀。疾关气胀疼胸胁，井灶为殃岂得安。

类于人，丑妇、贫人。崇，井灶及绝嗣鬼。于病，胁腹中气并下痢。于五谷，于兽，狼、狗之属。又为印绶、金铁空虚之物。变异为虚臭恶物。色黄。数五。

白虎

论：

白虎在天为廷尉卿，雷部者霹雳之神，又为风伯，位居后五。家

庚申金，旺秋三月，凶将也。虎乃西方白帝金神四气阴柔之五女也。刚金，专主权煞，九天玄女下执法神也。貌若妇人，多与人为凶器、丧服，能损骨肉，亦为胎孕，多行暗道，好作阴私，浸淫浊滥，与后妇同好暗室，操行不良。职居大将军。得地则气雄威猛，失地则狼狈而凶。冬至雹冻大风，夏主暴雷害物。

白虎主道路信息、兵戈动众、威权、财帛、犬马、金银宝物。其戾主孝服哭泣、死丧疾病、怪异凶恶、杀伐灾害、口舌狱禁、斗闹暗昧、血光怨仇、惊恐刑戮之事。披刑带杀，灾祸立至。虎旺相、相生及顺理者，亦作财物断之。不然，因闹处得财。凡占施大功、作大事，最要虎入课、发用，其功立成，虎乃威权之将也。占官爵亦要白虎，乃为威权，更带杀尤美，所谓不刑则不发也。

占病切忌白虎贼日，兼虎带杀贼日。斗魁作虎克日、克行年，虎阴克日辰、年命，皆凶。最爱虎空，附德神者吉。有白虎落空亡，或有德与相生，不损人，惟凶煞重，亦不能救。占公事，忌蛇、虎克日干，以二将皆血光之神也。占墓、宅，看白虎临何方，断其方有岩石神庙之象。占行人，以虎为准，初传立至，中传在途，末传失约未来。虎带丧、吊加支，主家丧服，或外服入宅。传中见虎，须干有服人。占天时，虎主大风。虎仰视，凶恶之甚，治四孟是也。虎遭擒，免灾，太岁类合治，寅午戌是也。

赋：

白虎道路，官灾病丧。溺水亥子，望音书不至；焚身巳午，虽灾祸反昌。临门兮卯酉，伤折人口；伏野兮丑未，损失牛羊。登山在寅，掌生杀之柄；落阱在戌，脱桎梏之殃。衔牒在申，立可待其有喜；啞人在辰，终不见其为祥。

诗：

后五白虎廷尉宰，孝服疾病狱囚紫。君子失官流血恐，小人杀伤致身倾。旺相相生惟损失，死囚刑克虑沉溟。病者目头痛疽苦，崇犯

伤鬼祭乃宁。

类于人为病人、孝子。于崇，兵死客鬼。于病，痈肿、头目见血、忧惊。于五谷，麦、麻。于兽，猿、猴、虎之属。又为金、铜、铁之器。变异为剑伤。形色白。数七。

太常

论：

太常在天为太常卿，一云少府，雷部中养物之雨，淑气之风，位居后四，家己未土，旺四季各十八日，吉将也。太常，己未燥土，为四时之喜神，和八节之嘉会，动遵礼乐，为司察之官职，在礼乐谷帛之权。得地则为衣物、财帛、田园、宝货，失地则退藏屯剥，牙保媒人。爰贵、合、后，畏蛇、空。

太常主文章印绶、公裳服饰，信息交关，酒食宴乐、绢帛、田地、五谷之属。其戾主乖违、失公私文字、窃盗衣裳、哭泣不美、公私牢系。占官最喜此将，终始见太常、天驷二马、印绶之卦，所求遂意。如传见河魁、太常，主两重印绶。盖河魁为印，太常为绶也。占得太常发用，更临日辰、门户者，为印绶星动，君子遇之，决主印绶文字之喜。旺相相生，迁官转职。即小人亦主谋妁婚姻。休囚刑克，则财帛不安，货物不足。

太常被剥，百事消烁。春辰、夏酉、秋卯、冬巳是也。

赋：

太常筵宴，酒食相奉。遭枷在子，必值决罚；侧目在寅，须遭妄谗。遮冠在卯也，财物损失；逆命在戌也，尊卑起讼。衔杯在申，受爵在丑，必进职而迁官；铸印在巳，捧觞在未，或征召与喜庆。午乘轩，有改拜之恩；辰佩印，有再迁之命。亥为聘诏，上虽善而必虑下憎；酉作券书，始虽顺而提防后竟。

诗：

后四官为太常卿，田园财帛彩鲜明。君子迁官荣爵贵，小人媒嫂酒

逢迎。旺相相生婚吉庆，死囚刑克失财惊。病者四肢头腹疾，崇缘新鬼可求亲。

类于人为贵人、贫妇。于崇，司命，又新化鬼。于病，四肢、头腹不宁。于五谷为麻。于兽为雁、羊之属。变异为金石、文华、耳目、毛发之类。味可食。形圆。色黄。数八。

玄武

论：

玄武在天为后军，一云又将军，雷部中为苦雨神，位居后三，家癸亥水，旺冬三月，凶将也。玄武，纯阴之水，倚乾辅坎，阴极之位，北方至阴之邪气也，能终万物。职将军。得地则御侮之官，专耗散之权；失地则奸盗、贼害、不祥，抱不正之气、妖邪六穷之鬼气，当六甲之穷位，在四时之尽。爱龙、蛇、雀，畏空、勾、恶立魁罡。

玄武主聪明多智、文章巧技、求望财物、干谒贵人。其戾主失脱盗贼、奸诈小人、女子阴私、不明走失、疾病鬼魅、梦想离别等事。武主鬼扇，其为事多浮泛难成。

武在江湖则主风云，在道路则主雨水。武与财星并，主财聚散，或亡失稽滞，少成多败。如其旺相相生，则主交易财物，或作牙佞断之。凡占盗贼，须责元武之三传。先以玄武为本传，次看玄武之阴为第二传，谓之盗神，而盗神有所生为藏物潜居之处也。又须看盗神之阴，为第三传。此三处神将相生，上得吉将，其贼难获。若三传神将相克，有凶，当主败露。又看人年上神与日，克制玄武者亦获。凡卦，忌武临日辰，或日辰作武。逆理，克日辰者，俱防盗贼失脱，亦不宜与小人交易，恐有脱赚，不然，其宅有阴人乘门户不利也。如顺理，旺相相生，不在此限。占走失人物，玄武附德，更临日辰，逃归获。玄武临门户，更直昴星者，必主失脱，官家当主牢狱走失。若值刑害，罪人自犯。

玄武横截，盗贼兵伤。顺行亥子是也，未明。又云武并风伯、雨

师二神，必有盗贼。

赋：

玄武遗亡，阴贼走失。散发在子，有捕盗之心；升堂在丑，有干求之意。爰寅兮，入林而难寻；恶辰兮，失路而自制。窃户在卯也，家有盗贼；反顾在巳也，虚见怖惊。在亥名伏藏，则隐于深邃之乡；在未为不戒，则败于酒食之地。截路在午，拔剑在酉，怀恶反伤；折足在申，遭囚在戌，失势可得。

诗：

后三玄武后将军，盗贼奸邪狱讼陈。君子奴逃车马失，常人家破户门淫。相生健旺伤财畜，互克衰绝丧系连。病者患腰兼胀满，崇殃河伯溺潭神。

类于人，盗贼、邪视小人。于崇，河伯水神，一云厕鬼。于病，心腹胀满，一云患腰。于五谷为豆。于兽，獬、猪之属，又为虫。于水中，连鳞甲、文章之物。变异为内虚、女子之物。色黑。数四。

太阴

论：

太阴在天为御史大夫中丞，又云天乙嫔妃，彩女也，雷部中霜雪冰冻之神，位居后二，家辛酉金，旺秋三月，吉将也。太阴乘金，西方白帝之少女，辅后宫，处人臣之位，有肃杀之权，严重有威貌。得地则正直无私，主台垣谏府、刑章典宪，操天下是非，故于人为信气，禀少阴嫔媵之职；失地则为婢、为妾，三十六怪之主。爰龙、常、后，畏雀、蛇、空，不立卯、午、子。

太阴主妇女、才帛、金银、钱物、阴私、喜庆、婚姻。其戾为阴私损失、谋事迟滞未成、远信未至、病疾未痊。旺相相生，主阴人财喜，或为胎产；死囚刑克，阳小病患及阴私舌口、婢弊不正之事。占公讼，太阴入卦，与日相生者，宜首罪。占罪，太阴入卦刑克者，主有神佛愿。占盗贼，切忌太阴入卦或临日辰，主难获，天地之私门也。徐

曰：太阴六合来加日，冥福佐之登远程。占墓宅，太阴入卦，所临之方，断其有佛寺，及奇美好物名。占婚，见太阴并酉、亥、未发用，加日辰，其女必不正，或神佛阻，妇人间阻，加日本克日曰主淫乱，丙午日见之有财。

太阴居申、酉为拔剑，主阴害。

赋：

太阴所为蔽匿，其来祸福不宁。垂帘在子，则妾妇相侮；守局在丑，则尊卑相蒙。被察在戌兮，忧怪异，小人诬谮；遭淫在辰兮，被乖争，勾连争讼。寅跌足，午脱巾，财物文书暗动；亥裸形，巳伏枕，口舌盗贼惊忧。闭户在酉，看书在未，雅称士人之正；微行在卯，执正在申，偏宜君子之贞。

诗：

后二太阴内史丞，阴私蔽匿事相仍。君子罪名将出入，小人赃奸致忧惊。乘旺相生婚礼验，逢衰刑克祀神微。病者足疾腰伤损，有崇须祈灶有灵。

类于人与天后同，或云贱妾。于崇，女祥，并灶及绝嗣鬼。于病，心腹、腰脚损。于五谷为小麦。于兽，鸡雉、飞鸟之属。又为金铁刀针。变异为野外水中物。色黄白。数六。

天后

论：

天后在天事天乙，为后妃，雷部阴霖雾雨之神，位居前一。家壬子水，旺冬三月，吉将也。天后，六阴之极，北方黑帝之五女，处人臣之位，任用财物，为阴户之事，掌握后宫，配贵人，多柔顺，主迟滞，体天地之至位，作群候之慈母。得地则清真廉洁，高贵尊崇，失地则淫滥奸邪，杂乱人伦。爱龙、常、贵、合，畏勾、空土神，不立四季。

天后主宫庭、阴私、喜庆、妇人、财物、婚姻、胎产与赏赦、庆贺、恩泽。其戾主帷簿不修、阴私不明、欺诈不实、口舌走失。凡占，后

乘太岁，加日，临门户，主恩赦之兆立至，更值三阳、三光允准，占公事最宜见之；如不临门户，但入课传者，则主迟慢。天后所乘神，切忌下贼上，必有小人凌辱之事。盖后是皇后星，女弱之象，不宜为下所制也。占婚，宜后与日相生，及三六合者成，反此不成。天后克日干，女贪男不肯；日干克天后，男贪女而女不肯。若卦传大吉，主先阻后成。天后乘神可以定女子性情、容貌。天后乘马，命见解神，主阴人离别。后、阴作玄，暗昧不明。后、阴作虎，主妻病凶。罡为后，加妇年，主堕胎。

天后阴申阳酉，主淫乱未明。一曰：天后多因占女人，忽逢土旺主灾损；若临午未并壬癸，万事十谋无一真。

赋：

天后妇女，敝匿阴私。守闺在子，治事在亥，动止多宜；临门在卯，倚户在酉，奸淫不足。褰帷在戌，伏枕在午，非叹息则呻吟；裸体在巳，毁妆在辰，不悲忧则羞辱。优游闲暇，皆因理发在寅，修容在申；惊悚惊慌，缘为偷窥在丑，沐浴在未。

诗：

后一天后彩女嫔，惟须禁锢莫因循。君子迁官会宾客，小人陈仪议婚姻。旺相维持妻妾产，休囚伤害暗私淫。病成痼疾腰肢患，崇犯河官溺死神。

类于人，贵流妇人。于崇，水神、溺鬼。病，阴阳不调，大小便不利，脏腑之疾。于五谷，稻、豆。于兽，鼠、蝠。又为女人用物。变异为金石、草木之属。色洁白。数九。

四、星 煞 篇

星煞，一般又称神煞，是壬占中所宜兼视的一种因素。古来结合六壬而言神煞之作，唯《大六壬指南》中的《大六壬神煞指南》较为完备，且经作者多年考订，故为本篇首选。另有《大六壬类聚》所载《神煞赋》，将六壬常用神煞以赋体述明，为术家所用，故录于本篇之次。

《大六壬神煞指南》本为方便术家掌握、使用而作，开篇及篇末“辨讹”中皆有使用说明，但对于初读者，首先需明确其中各项内容的关系，并对某些内容做到理解。

篇中首列月神煞表，继列年干和年支神煞表，继列日干和日支神煞表，此即原称的“方图”或“直图”。其中月神煞表和日干、日支神煞表的歌与注放在后面，即是标为“月煞”、“干煞”、“支煞”而其中有歌、有注而无表的内容，与表实为一体，结合理解自明。在月神煞表和日干支神煞表之间的年干支神煞表，其歌与注即标为“岁煞”内容中的第三种，二者合读亦不难理解。

标为“岁煞”的前两种内容，一为岁前神煞，其法从岁君上起。如子年，子就是岁君，丑就是阳、赶，寅就是丧门，余类推。二为马前神煞，其法从驿马上起。如申子辰年马居寅，寅即为岁驿马，即标为“(一)”者；寅前四位为巳，则巳为劫煞，即标为“(四)”者。这两种岁煞中所标的数字，都是表示连根前数的位数。

岁煞之后特点为表、歌、注相连的“月煞”，是与前面月煞表所列不同的月煞，共分七种。在安排上，皆把神煞名置于表后的歌中，

继之为注。每一时间内每一支神所代表的神煞多寡不一。第一种，标为“春夏秋冬”，实即季神煞。理解上，如春季之戌，夏季之丑，秋季之辰，冬季之未，其所当神煞即为天喜和天耳。其下则为这两种神煞的注说。第二种，标为“正起顺行”，意指为如正月起寅，则二月在卯，三月在辰，依次顺推；如正月起卯，则二月在辰，三月在巳，依次顺推。如天龙、游煞、革煞，都是正月起卯，二月在辰，三月在巳，顺行十二支。换言之，正月之卯，二月之辰，三月之巳，如此顺行十二支者，即是此三煞。第三种，标为“正起逆行”，其义与第二种相反。如“亥逆十二”，即指神煞、天猪、月合此三种神煞皆正月起亥，二月在戌，三月在酉，如此逆行十二支。第四种与第五种皆以“正五九”、“二六十”、“三七^十”、“四八^十”标月，其每一组数字，实即表示某种三合月份。如正五九，即指寅午戌月；二六十，即指卯未亥月；三七^十，即指辰申子月；四八^十，即指巳酉丑月。这两种神煞，皆或纯为孟神，或纯为仲神，或纯为季神。如月驿马，无论何月皆在孟神上；天鬼，无论何月皆在仲神上；光影，无论何月皆在季神上。所不同者，第四种是逆行孟、仲、季位，第五种则是顺行孟、仲、季位。如第四种之驿马，正月起申，二月到巳，三月到寅，四月到亥，依次逆行四孟，而第五种之天旺，则正月起巳，二月到申，三月到亥，四月到寅，依次顺行四孟。第六种，以“正七”、“二八”、“三九”、“四十”、“五^十”、“六^十”标月，乃指某一神煞，在正、七月应同一字，二、八月应同一字，三、九月应同一字，余月仿此。如天马，正、七月在午，顺行六阳位，二、八月在申，三、九月在戌，四、十月在子，五、十一月在寅，六、十二月在辰。皇恩则正、七月起未，顺行六阴位。第七种，乃“单顺双冲”类。如圣心，正月为单月，起亥；三月亦单月，顺行到子。而二月为双月，在亥之冲位巳；四月亦双月，在子之冲位午。

上述神煞之外，唯余旬煞，歌后继注，甚明。

在《大六壬神煞指南》中，唯表、歌、注相连的前六种月煞比较繁杂，其中包括许多非常占必用的神煞，兼因神煞名称皆含于歌中，不如置于表前鲜明，稍属难读。鉴于此，本篇将这六种月煞中常占所需的神煞以鲜明的形式列表附后，以利把握。

大六壬神煞指南

神煞全图

（凡看神煞，必须干支神将刑克，其事乃发。）

上位圆图，一起太岁，二起岁驿，余则直列于旁，而岁煞备矣；三起仪神，四起奇神，而旬煞备矣。下位圆图，一起天喜，二起月建，三起月合，四起月驿，五起成神，六起天马，七起圣心，余则方列于右，而月煞备矣。日煞列于方图，而干支煞备矣。

月 正二三四五六七八九十^{十二}

天德 丁坤壬辛乾甲癸艮丙乙巽庚

天德合壬 丁丙 己戊 辛庚 乙

月德 丙甲壬庚丙甲壬庚丙甲壬庚

月德合辛己丁乙辛己丁乙辛己丁乙

天解 见园图内

地解 申申酉酉戌戌亥亥午午未未

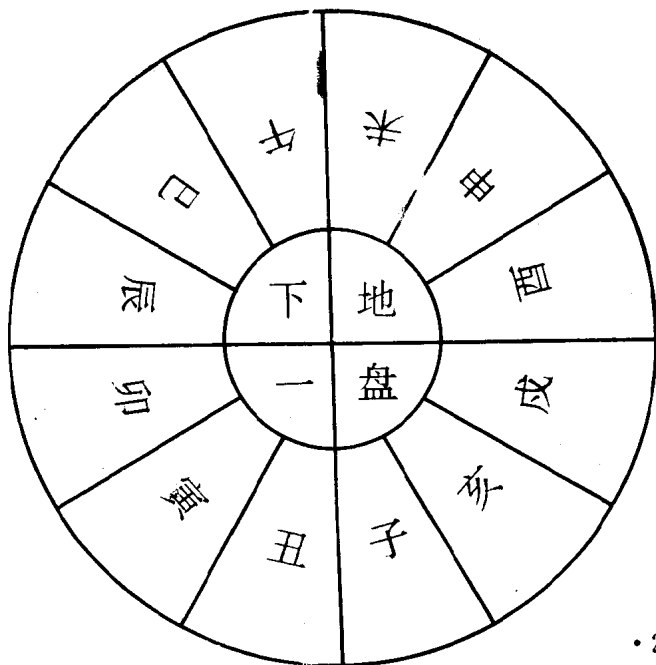
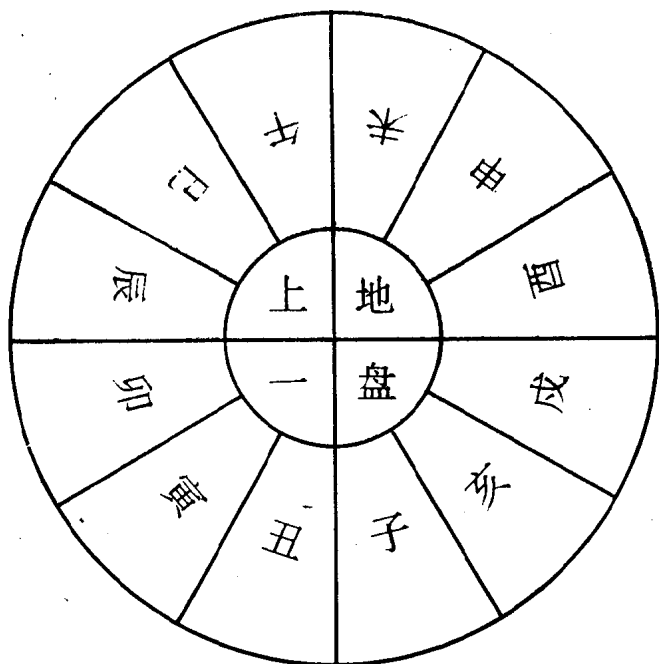
解神 申申戌戌子子寅寅辰辰午午

皇恩
大赦 戌丑辰未酉卯子午寅巳申亥

会神 未戌寅亥酉子丑午巳卯申辰

信神 申戌寅丑亥辰巳未巳未申戌

大德	午午午辰辰辰子子子寅寅寅
游神	丑丑丑子子子亥亥亥戌戌戌
戏神	巳巳巳子子子酉酉酉辰辰辰
泰神	丑丑丑子子子戌戌戌亥亥亥
忧神	丑丑丑子子子戌戌戌亥亥亥
无灾	戊寅 甲午 戊申 甲子
无咎	巳巳巳辰辰辰未未未酉酉酉
死别	戌戌戌未未未辰辰辰丑丑丑
奸神	寅寅寅亥亥亥申申申巳巳巳
飞祸	申申申寅寅寅巳巳巳亥亥亥
时盗	巳巳巳卯卯卯酉酉酉子子子
破碎	酉巳丑酉巳丑酉巳丑酉巳丑
白衣	未辰丑未辰丑未辰丑未辰丑
归忌	丑寅子丑寅子丑寅子丑寅子
飞廉	戌巳午未寅卯辰亥子丑申酉
往亡	寅巳申亥卯午酉子辰未戌丑
月刑	巳子辰申午丑寅酉未亥卯戌
天贼	辰酉寅未子巳戌卯申丑午亥
五鬼	午辰寅酉卯申丑巳子亥未戌
相负	亥亥丑丑卯卯巳巳未未酉酉
枉屈	巳巳未未酉酉亥亥丑丑卯卯
瓦煞	巳子丑寅卯辰亥午未申酉戌
门煞	戌酉辰卯戌酉辰卯戌酉辰卯
年	甲乙丙丁戊己庚辛壬癸
天庭	丑寅辰巳辰巳未申戌亥
死符	申申亥亥寅寅巳巳辰辰



年 子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥
 岁刑 卯戌巳子辰申午丑寅酉未亥
 大将军 酉酉子子子卯卯卯午午午酉

日 甲乙丙丁戊己庚辛壬癸
 千德 寅申巳亥巳寅申巳亥巳
 千合 未申戌亥丑寅辰巳未巳
 日官 酉申子亥卯寅午巳^{未辰}_{丑戌}
 日禄 寅卯巳午巳午申酉亥子
 长生 亥午寅酉寅酉巳子申卯
 恩赦 寅辰巳未巳未申戌亥丑
 千奇 午巳辰卯寅丑未申酉戌
 日解 亥申未丑酉亥申未丑酉
 日医 卯亥丑未巳卯亥丑未巳
 贤贵 丑申寅寅午丑申寅寅午
 福星 子丑子子未未丑丑巳巳
 文星 亥亥寅寅午午巳巳申申
 兼务 戌酉申未午巳辰卯寅亥
 进神 子子子子子卯卯卯卯卯
 午午午午午酉酉酉酉酉
 退神 丑丑丑丑丑辰辰辰辰辰
 未未未未未戌戌戌戌戌
 日鬼 申酉亥子寅卯巳午^{辰丑}_{戌未}
 日墓 未戌戌丑戌丑丑辰辰未
 日刑 巳辰申丑申丑寅未亥戌
 日冲 申戌亥丑亥丑寅辰巳未

飞符 巳辰卯寅丑午未申酉戌
 羊刃 卯辰午未午未酉戌子丑
 飞刃 酉戌子丑子丑卯辰午未
 日下
 大煞 亥亥未未戌戌寅寅巳巳
 游都 丑子寅巳申丑子寅巳申
 鲁都 未午申亥寅未午申亥寅
 日贼 辰午申亥寅辰午申亥寅
 日盗 子亥卯申巳子亥卯申巳
 日奸 亥酉辰申巳亥酉辰申巳
 日淫 午午未未戌戌寅寅巳巳

日 子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥
 支德 巳午未申酉戌亥子丑寅卯辰
 六合 丑子亥戌酉申未午巳辰卯寅
 三合 申巳午亥申酉寅亥子巳寅卯
 辰酉戌未子丑戌卯辰丑午未
 支仪 午巳辰卯寅丑未申酉戌亥子
 支破 酉辰亥午丑申卯戌巳子未寅
 破碎 巳丑酉巳丑酉巳丑酉巳丑酉
 六害 未午巳辰卯寅丑子亥戌酉申
 三刑 卯戌巳子辰申午丑寅酉未亥
 支冲 午未申酉戌亥子丑寅卯辰巳
 支鬼 辰卯申酉寅亥子卯午巳寅
 支墓 辰辰未未辰戌戌辰丑丑辰辰
 死神 卯辰巳午未申酉戌亥子丑寅
 病符 亥子丑寅卯辰巳午未申酉戌

勾神 卯戌巳子未寅酉辰亥午丑申
 绞神 酉辰亥午丑申卯戌巳子未寅
 驿马 寅亥申巳寅亥申巳寅亥申巳
 华盖 辰丑戌未辰丑戌未辰丑戌未
 劫煞 巳寅亥申巳寅亥申巳寅亥申
 灾煞 午卯子酉午卯子酉午卯子酉
 四煞 未辰丑戌未辰丑戌未辰丑戌
 咸池 酉午卯子酉午卯子酉午卯子
 支亡 亥申巳寅亥申巳寅亥申巳寅
 雷电 辰辰未未戌戌丑丑寅寅卯卯
 雨师 申酉戌亥子丑寅卯辰巳午未
 晴朗 午未申酉戌亥子丑寅卯辰巳
 白衣 酉未巳卯丑亥酉未巳卯丑亥
 翰林

岁 煞

岁君(一)阳赶(二)及丧门(三)

太岁为天子之权，主事于朝廷，及岁内吉凶，应在一年。太阳至尊之神，士人得权贵显。又为青龙，凡事有喜无忧。又为赶煞，若克干支，死人败家。丧门主死丧，占病凶。

六合(四)官符(五)小耗宅(六)

六合主会合，凡事有成无破。官符主官非勾连。小耗主破耗财物。又为岁宅，占家宅用之，若并鬼，主灾病讼。

破迫(七)墓龙(八)白虎神(九)

岁破为宰辅、主司，又主半年事。又为大耗，主破耗财物。又为迫煞，若克干支，死人败家。岁墓主坟墓、病讼、宅灾。又为龙德，加吉神将，生干支，功名诸事吉，反此诸事不成。又为朱雀，

主文书、口舌。白虎主凶灾、血光、惊恐。

福德(十)吊阴(十一)病符测(十二)

福德贵人，难中有救。吊客主吊送姻亲，初传见，主骨肉更；中未见，主外服。又为太阴，大将宜居之方，作吉神将，主婚姻；作凶神将，主阴谋口舌。病符主疾病，又主去年旧事。

驿马(一)六害(二)华盖蟠(三)

马主行动。六害凡事阻滞。华盖作事有悔。黄蟠兵占用。

劫煞(四)灾兮(五)天岁看(六)

三煞凶速，诸占不喜。

地煞(七)桃花(八)兼豹尾(九)

三位诸占不喜。豹尾，大将宜居之方。

亡神(十)将星(十一)迄攀鞍(十二)

亡神病讼大凶。将星兵占用。攀鞍婚喜见。

(以上二论载圆图内)

岁干禄后号天庭，死符申亥寅巳辰。岁刑太岁所刑者，亥子丑顺酉将军。

天庭主朝廷事。死符占病多凶。岁刑主官非刑责。大将军主头目领兵权，又占行人用之。

(以上四位载直图内)

月 煞

春夏秋冬

戌丑辰未 春戌夏丑喜耳加，
秋辰冬未顺无差。

天喜主喜庆恩泽，官迁财喜。天耳主信息，察探追捕。

亥寅巳申 返魂俱是刀砧煞，
子卯午酉

第二位与第三位同。返魂病复生。刀砧六畜忌。

丑辰未戌 寡宿三丘关管家。

寡宿信虚，忧喜无成，失物亡，婚娶忌。三丘坟崩病凶。
关神动处身灾滞。管神讼遭禁。

寅巳申亥 拜命皇书雄吏至，

皇书主拜命功名，词讼喜之。战雄战胜。吏神并吉神吉；
并朱、勾、蛇，追呼速。

卯午酉子 贼神奸盗转丝麻。

贼神、奸盗主奸私贼盗。旺连天干为天转，春乙卯，夏丙午，秋辛酉，冬壬子；旺连纳音为地转，春辛卯，夏戊午，秋癸酉，冬丙子。百事凶，出行大忌，君子赴朝则可。丝麻煞主缢绞。

辰未戌丑 浴盆天目龙神位，

浴盆堕水，病凶产吉。地盘忌亥子，天盘忌乘辰，主小儿病死。天目主鬼祟，宜捕盗寻人。龙神占地。

巳申亥寅 喝散孤辰梁钥查。

喝散讼解散，求事成。孤辰占同寡宿。梁神行人阻。钥神囚释。

午酉子卯 火鬼伤支蛇雀忌，

火鬼乘蛇、雀克支主火厄。

未戌丑辰 哭神五墓狱为嗟。

哭神作虎有哭声，亥、子上见为哭神下泪，大凶。五墓坟崩病凶。地狱并朱、勾主囚系。

申亥寅巳 煞神绝气战雌败，

煞神、绝气病凶。战雌战败。

酉子卯午 四废无成即丧车。

四废百事无成。丧车克日病死。

正起顺行

寅顺十二 月建小时龙虎木，

月建主月内休咎，应在一月。小时煞主阻滞，忌行师，蛇加惊恐，龙加为青龙煞，吉。天虎虎狼害。木煞主树木怪。

卯顺十二 天龙游煞草蛇伏。

天龙求利、名、禄。游煞忌出行，入传、年命主行动。蛇加为草煞。

辰顺十二 天医雌虎瘟天巫，

天医病用。雌虎虎狼害。瘟煞主疫。天巫宜作福。

巳顺十二 厄杖死神电鸟烛。

厄煞家事损。孝杖忌见子孙传内。死神病凶，若并虎，名白虎触尸，大凶。电煞有电。朱加为鸟煞。火烛并蛇雀克日身灾，克辰宅毁。

午顺十二 死气官符孝谩花，

死气病产最忌。官符有官事。孝服有孝。谩语并天空言不实。朱加为花煞。

未顺十二 井枯小耗印羊福。

井煞并虎、魁害主落井。枯煞病凶，诸事不利。大小耗忌开库求财，入宅、加墓为用，百不利。天印利仕进。天羊占羊。福神吉利。

申顺十二 破兵虎耗路阳缠，

月破主破坏离散，却可解冤，忧喜不成，产易生，婚娶忌。兵煞主兵事。虎加为白虎煞，凶。大耗见前。道路神主道路事，阳年占为缠绕，病讼忌。

酉顺十二 书信天机钱聚卜。

书信并雀有信临门，并贵有来音。天机主口舌是非。天钱主钱怪，或有钱堆积。

戌顺十二 戌顺天书愿地医。

天书官迁财喜。愿神，占病有愿未还。地医病用。

亥顺十二 飞魂伏诏病儿哭。

飞魂临年命或日辰发用为飞魂卦，主神魂不定，夜多凶梦，鬼祟相侵。伏连诸占皆忌。天诏并二马受恩。病煞忌同墓虎。儿煞小儿灾。哭忌有哭声。

子顺十二 生气子正雨煞来，

生气解凶增吉，成就新事，乘后、合有孕，乘龙财婚。雨煞加旺相有雨。

丑顺十二 支坑佛煞牛坟墓。

血支主血光产孕，病忌针灸。天坑忌出行，主损蹄轮。佛煞主佛象事。天牛加六奇牛怪病。坟墓加宅，有尸未葬。

正起逆行

亥逆十二 神猪月合方，

神煞主神象事。天猪加六丁，猪怪病。月合有吉庆。

子逆十二 鼠视捕追良。

天鼠主鼠耗。天视之下可捕贼。

丑逆十二 天怪占天变，

天怪主天变。

寅逆十二 风煞卜风扬。

风煞有风。

卯逆十二 忧焚看烛命，

烛命防火。

- 辰逆十二 非灾封血光。
灾封忌婚娶。血光有血灾。
- 巳逆十二 月害阴空竹，
月害忌婚医、纳财畜。阴煞主阴人口舌，病凶。
- 午逆十二 破化地咒防。
破器主破器为怪，病忌。化神事消化，不喜见之。地咒主咒诅。
- 未逆十二 阴奸邪床卯，
阴奸主私通。邪神有邪气，卯加为床煞。
- 申逆十二 绕猴风解详。
阴年占为缠绕，病讼忌。天猴忌出行，主损蹄轮。风伯有风。天解化凶为吉。
- 酉逆十二 轩辕天鸡折，
轩辕主兵戈。天鸡主信息、行人至。折伤，六畜走失，忌见。
- 戌逆十二 狗足厌石光。
天狗，孕产不宜。四足主四足怪。月厌防嫁娶，为用，百事不成，加玄盗贼，加蛇怪梦，加虎克日病死，加朱、勾忧禁，逃者忌向此方。石煞主石怪。火光并蛇、雀刑克日，身灾；克辰，宅毁。

正二三四

五六七八

九十一十二

申巳寅亥 正申驿马孟神游，

马临初传，又逢生旺，行人至，利名吉；中传稍迟，末又稍迟。其吉凶决于天将。

- 酉午卯子 鬼吏长绳天咒接。
天鬼临年命、日辰发用为伏殃卦，主兵亡、产死、病患。
天吏占同吏神。长绳见鬼有缢死鬼。天咒主咒诅。
- 戌未辰丑 光影黄幡火怪神。
光影、火怪主火光、鬼怪。黄幡即华盖，覆日人昏暗。
- 亥申巳寅 狱门酒网女雷劫。
天狱并朱、勾主囚系。墓门主坟动，酉加为酒煞。天网宜捕猎。女灾阴人病。雷煞占同雷公。劫煞有劫盗，病凶，灾速，诸占不喜，士人应举作魁。
- 子酉午卯 坎魁灾煞镜披麻，
坑坎煞主坑坎怪。山魁主山怪。灾煞凶速，诸占不喜。
镜煞主镜怪。披麻煞主孝服。
- 丑戌未辰 五盗小天迷惑月。
五盗主盗。小煞小口灾。天煞凶速。迷惑煞主痴迷失记。月煞忌移造，病患。
- 寅亥申巳 天盗雷公下逆寅，
天盗主盗。雷公并后阴雨，并贵、空晴，并蛇、雀雷电，并常、勾不足。
- 卯子酉午 桃池悬索大时煞。
桃花咸池主淫乱口舌。悬索见鬼有缢死鬼，占贼必自屋而下。大时煞忌出行，兵捕必获。
- 辰丑戌未 正辰邪鬼逆三轮，
邪鬼有速灾。
- 巳寅亥申 月德亡神游祸说。
月德化凶为吉。亡神防亡失。游祸动有灾祸。
- 午卯子酉 大煞午正伏骨同，
大煞灾速，家长凶，君子加官，小人凶事。伏骨病凶。

未辰丑戌 下丧月鬼秽丧魄。

下丧主下人服。月鬼病讼凶。秽煞主污秽物。丧魄临年命、日辰发用为丧魄卦，主病死，若并虎，健大亦衰。

正 二 三 四

五 六 七 八

九 十 十一 十二

巳申亥寅 驿合旺成梯，

天旺官迁进。成神旺相生合，作事成。卯加为梯煞。

午酉子卯 病占天破宜。

天破病吉。

未戌丑辰 炉煞丧门狱，

香炉煞主香炉怪。丧门病忌。狱神讼忌。

申亥寅巳 奸门申孟移。

奸门主奸淫。

酉子卯午 酉顺占天信，

天信主信息。

戌丑辰未 戌正反激为。

反激怨仇互报。

亥寅巳申 阳煞亥孟轮，

阳煞主阳人口舌。

子卯午酉 邪怪火雨师。

邪督阳灾。天火忌同蛇、雀。雨师加旺相有雨。

丑辰未戌 月奸丑顺季，

月奸阴私靡乱。

寅巳申亥 釜产厕奸私。

釜神主锅叫。产煞见后、阴立应，见勾、虎产难。天厕主

尊卑不正。奸私主隐匿。

卯午酉子 盗神卯顺仲。

盗神防盗。

辰未戌丑 天械上丧诗。

天械官事凶。上丧主上人服。以上五章俱依次顺行十二支位。

正二三四五六

七八九十一十二

午申戌子寅辰

未酉亥丑卯巳

午未天马受皇恩，

天马正、七起午，主朝廷即信之喜，加大煞尤速，宜占迁动更改事，见传送、白虎必动，若克日主失脱。皇恩正、七起未，主诏命迁转之喜。

辰午申戌子寅 天财正七辰阳遵。

宜求财。

寅辰午申戌子

卯巳未酉亥丑

天刑怪煞先寅卯，

天刑起寅，忧囚系。怪煞起卯，有凶事。

戌子寅辰午申 兽煞戌官依列论。

主走兽。

正二三四五六七八九十十二

亥巳子午丑未寅申卯酉辰戌

圣心正月起亥宫，

单月顺行双月冲。

和合富神，

最宜营运。

卯酉辰戌巳亥午子未丑申寅	玉宇卯正依例取， 二神更逢龙贵。
辰戌巳亥午子未丑申寅酉卯	金堂辰上亦正逢。 月德主有贵。
戌辰亥巳子午丑未寅申卯酉	受死戌正行斗忌， 一切大凶。
午子未丑申寅酉卯戌辰亥巳	午正罪至讼遭凶。 占讼忌之。
丑未寅申卯酉辰戌巳亥午子	丑正血忌毋行针， 血灾，产难。 单顺双冲法亦同。

（以上七论载圆图内）

月煞

天德正丁宫，二坤三壬同。辛乾甲癸艮，丙乙巽庚从。月德逆行孟，丙甲壬庚询。二德合俱良，凶消而福进。

天德，百福助佑之神。月德，五行生气之神。天德合、月德合、干神五合者，是俱改祸成福。

天解正申逆十二，地解申申酉酉次。戌亥午未俱重临，申申顺阳解神是。

忧喜无成，诸恶逢之皆灭。

皇恩大赦戌丑罡，未酉卯兮子午当，寅申巳亥是其方。

会神春占未戌寅，亥酉子为夏月神，丑午巳兮卯申辰。

婚成，行至。

信神正二居申戌，寅丑亥辰半年率，巳未巳未还申戌。

主有恩信。

壬占须识四时神，大德午辰迄子寅。天赦戊寅夏甲午，戌申甲子秋

冬云。游神丑子亥兼戌，巳子酉辰戏视临。丑子戌亥忧泰决，巳辰未酉天车惊。春戌逆回为死别，春寅退孟是奸神。申寅巳亥为飞祸，巳卯酉子时盗寻。

此十一位以四时例起之。大德官迁，求望之主。天赦灾散，百事吉。游、戏二神加孟，行人未来，加仲在途，加季即至。泰、忧二神加季信实，加孟信虚，旺相信实，空亡信虚。天车忌出行，主车败、马亡、兵覆。死别不利四季。奸神并合、后主淫。飞祸所为皆忌。时盗主有盗贼。

金神破碎鸡蛇牛，未辰丑上白衣愁，归忌丑寅子便休。

此三位以孟仲季例取之。金神破碎即红砂，财损，病不利，凶速。占坟并空，子孙败绝。凡物破损不完。白衣煞忌加子孙、六亲上。归忌，家神为祟，忌出行还家。

飞廉起戌巳午未，寅卯辰兮此法最，亥子丑兮申酉畏。

求事迅速，行人立至，及非常不测事凶速。

正寅五卯九天罡，隔二顺行小往亡，军行还娶悉为殃。

百事不利。

产婚官病月刑忌，巳子辰申午丑值，寅酉未亥卯戌记。

乃月建所刑之位也，诸占不吉。

满破开兮天贼逮，辰酉寅未子巳在，戌卯申兮丑午亥。

举动招盗。

五鬼之星忌出行，午辰寅共酉卯申，丑巳子亥未戌寻。

出行大凶。

正二登明三四丑，依例顺阴人相负，冤枉屈情冲位有。

相负煞被人负。枉屈煞有冤枉。

阳日瓦煞阴冲出，正巳子丑寅卯辰，七亥午未申酉戌。

此阳日瓦煞也。阴日于冲位取之。

正五九兮三合轮，酉戌辰卯煞曰门，辰戌丑未梦神论。

此二位以正五九例起之。门煞主门户事。梦神主梦寐事。

(以上诸煞载方图内)。

旬煞

丑子亥为日月星，甲旬之内三奇名，六仪用起旬中甲，二者解凶化吉神。

子、戌二旬丑奇，申、午二旬子奇，辰、寅二旬亥奇，此旬奇也。

外有遁奇，三传全值甲、戌、庚或乙、丙、丁者是。旬甲即旬仪也。奇、仪发用或入传，为三奇、六仪之卦，逢凶化吉，惟仪克行年凶。

旬乙盗神庚响动，丁神动处六亲详。旬辛便是五亡煞，癸闭空为孤寡方。

旬乙为盗神，主盗贼。旬庚为响动，官病忌。旬丁须视六亲，如壬癸日见丁卯则因子动而有财之例。旬辛为五亡七煞，出逢盗贼，若并空、玄主走失。旬癸为闭口，主机关莫测，病不食，人不言。空亡，十干不到之地也，主失脱，忧喜不成。凡凶神将，喜空；吉神将，忌空。

(以上九位载圆图内)

干煞

阳德自居阴在合，克偏为鬼正为官。长生顺逆宜详取，禄墓须教此处看。

天、月、干、支四德为百福祐助之神，临日入传，转凶为吉，干德尤良。俱宜生旺，不宜休囚。忌逢空落空，及神将外战。干合者，甲己中正合，乙庚仁义合，丙辛成制合，丁壬淫泆合，戊癸无情合。三合以干合为主，支合次之，行合又次之。凡德合同入传，百事皆吉。若乘凶神，全无吉助，则反凶矣。昼鬼主公讼

是非，夜鬼主神祇妖祟。凡鬼恋生、受制、陷空，皆不能为害。若鬼旺无制，则大凶。日官功名喜。长生诸事吉。日禄主食禄事。墓主暗昧不通。辰、未为日墓，主刚速。戌、丑为夜墓，主柔延。凡墓逢冲则吉，逢合则凶，若年、命上神能冲制，亦可救。

广按：火生寅，金生巳，木生亥，水、土生申，有顺无逆，此五行长生也。甲生亥，乙生午，丙、戊生寅，丁、己生酉，庚生巳，辛生子，壬生申，癸生卯，阳顺阴逆，此十干长生也。五行家土寄于坤，故土行与水行同也。六壬家丙、戊同宫，丁、己同宫，故土干与火干同也。土干既与火干同位，而复袭水行之生败墓绝，可乎？且临官即禄，顺逆得之，既为壬式所用，而墓绝等项何独不然？今改正如前图内。

干奇甲日午行逆，庚日还于未顺行。飞符甲日巳逆转，己日胜光复顺征。

干奇消祸增吉。飞符百事勿举，出行忌，走避、出入不可抵向。如日德入传，凶中生吉。若并朱、勾，凶尤甚。

游都牛鼠虎蛇猴，游都冲处鲁都求。亥申未丑酉日解，卯亥丑未巳医流。

游都主逢盗贼，加大煞来速。占贼来路，出行忌。鲁都不可漏税，占贼去路，出行忌之。日解解凶。日医病用。

亥酉辰申巳奸言，子亥卯申巳盗伍。日贼辰午申亥寅，贤贵丑申寅寅午。

奸淫、盗贼俱不吉。贤贵立天门，其人可传道。

二章以甲己同例起之。

大煞亥未戌寅己，日淫午未戌寅巳。文星亥寅午巳申，两两言之此法是。

日下大煞凡事忌。文星并龙加干大贵。此章以甲乙同例起之。甲乙福星子丑取，子未丑巳双双语。刑冲支位寄官论，癸干亥逆兼

务举。

福星求望吉。刑主人情不美。冲主反复不宁。举主兼务，官职双行。

恩赦之星本十干，禄前羊刃对飞安。进神子午卯兼酉，丑未辰戌退莫难。

恩赦吉占。羊刃静吉动凶，又主血光。飞刃血光凶事。进神凡事不可退，退则可惜。退神凡事不可进，进则多阻。

（以上千煞载方图上列）

支煞

支德解凶已顺支，六三合事有成期。支仪子日午行逆，午日未官又顺之。

支德解凶增吉。支合者，寅合亥破，亥合寅就；卯合戌新，戌合卯旧；辰合酉合，酉合辰离；巳合申刑，申合巳疑；午合未虚；未合午晦；丑合子空，子合丑实。行合者，亥卯未繁冗驳杂，巳酉丑矫革离异，寅午戌党侣不正，申子辰流动无滞。凡合临日入传，和合成就，唯不宜占病讼，又当视其进退：传进利进，传退利退。支仪解凶增吉。

酉子卯午门户败，丑辰未戌墙坟坏。亥寅申巳破终欣，鸡孟蛇仲季牛碎。

支破，人情暗中不顺，事多中败，不完全，宜散凶，不宜成吉。破碎见月煞，凶。

寅巳巳申申刑寅，丑戌戌未未丑寻。子刑卯上卯刑子，辰午酉亥自相刑。

寅刑巳，官灾动阻，事复起。巳刑申，仇将恩报，事终成。申刑寅，人鬼相残，各不宁。丑刑戌，尊伤卑残，忧困桎。戌刑未，少凌长上，妻财畏。未刑丑，大小不利，丧孝有。子刑卯，门户败

淫，尊卑扰。卯刑子，水路不通，子不轨。自刑，自逞其才，妄改更。

穿心六害暗相伤，对位支冲散事良。戌火丑金木墓未，辰坟水土顺支详。

六害，暗相伤克。子加未，官非口舌；未加子，阻塞有殃。丑加午，官病不睦；午加丑，不就不明。巳加寅，口舌疑阻；寅加巳，进滞退良。申加亥，先得后阻；亥加申，谋事不长。卯辰相加，虚诈，争财有阻；酉戌两害，病凶，阴小逃亡。支冲，子午道路奔驰，卯酉门户改易，寅申人鬼伤残，巳亥反复无实，丑未兄弟相持，辰戌奴婢离异。凡冲日身动，冲辰宅移。生旺忌冲，凶旺宜冲。墓主暗昧不通。

阳克阳兮阴克阴，明伤支鬼宅中侵。死神卯顺病符亥，绞即破兮勾对神。

支鬼明相伤克。死神病凶。病符主疾病。勾绞二神俱主缢绞。雨师申顺滂沱落，晴朗午官日影灼。辰未戌丑寅卯排，双双雷电空中作。

申为水母，故雨师起焉，此与月煞不同。三位占天时用。

驿马诸神同岁月，白衣入翰情欣悦。从魁逆转六阴方，庄氏图歌掌内诀。

驿马等详见岁月煞内。白衣入翰林，上下吉祥之星。

（以上支煞载方图下列）

神煞辨讹

岁、月、日煞，壬式所需，然百家异同，贻驳尤甚。予因博记青囊，详搜秘史，删芜就简，去谬标真。复参稽之星家历纪，选卜阴阳，期在符合有征，斯能用之不爽。如天喜为四季养神（春戌顺四季者是，顺十二者非），大煞为三合旺气（正午逆四仲者是，正戌逆四季者非）。

雷公、风伯位起先天之震、巽(雷公,正寅逆四孟者是;风伯,正申逆十二者是。余说非),雨师、晴朗位起后天之坎、离(雨师,正子顺四仲者是;晴朗,子日午顺十二者是。余说非)。雷动风散,自下及上以逆行;雨润日暄,由上及下而顺转。又嫌訾次有霹雳雷电之星,析木次有南箕好风之宿,此雷风二煞所从起也(雷煞,正亥逆四孟者是;风煞,正寅逆十二者是)。然雷公、风伯,神之号也,是以居乎先天之位;而雷煞、风煞,化之行也,是以占于有象之星。坎,阳陷阴中,故天耳起先天坎位而居支;离,阴丽阳中,故天自起先天离位而居干。此耳目二司所由附也(天耳:春戌,夏丑,秋辰,冬未。天目:春乙,夏丁,秋辛,冬癸。相对者是)。然坎离正卦虽定列于东西,而耳目傍官不得行乎中位。转煞云者,言物极则必反也(春卯顺四仲者是,顺十二者非)。四废云者,言囚死而无用也(春酉顺四仲者是,正申顺十二者非)。秦野有与鬼尸气,故枯骨起焉(正未顺十二者是,正申、正辰俱非)。赵次有卷舌天谗,故天机生焉(正酉顺十二者是,正丑逆十二者非)。四孟玄胎逢三合绝地,非女之灾乎(正亥逆四孟者是,正未顺十二者非)?登明幼子作哭忌飞魂,非儿之厄乎(儿煞,正亥顺十二者是,正巳者非)?四土之神令人昏暗,故日逢之而迷(迷惑,正丑逆四季者是,逆十二者非),夜逢之而梦也(梦神,辰戌丑未三轮者是,正丑顺十二者不用)。狴犴之司不慑当阳,故天狱居三合绝地(正亥逆四孟者是,余说不用),地狱居四时墓乡也(春未顺四季者是,余说不用)。驿马不同天猴,吉凶异焉。(驿马正申逆四孟,天猴正申逆十二,不同。)天车不同关锁,占候殊焉。(天车春巳,夏辰,秋未,冬酉,关锁春丑,夏辰,秋未,冬戌,不同。)以至于天鼠起子,天牛起丑,莫不各以类相从。然鼠畏缩,猴柔贪,故退而逆行(顺行者非);牛驯顺,羊刚躁,故进而顺转(逆行者非)。聊举数端,可推其概,斯理既明,厥数亦符。此皆天地万物自然之化,非有牵强附会于其间也。考订十稔,始获小成,爰次第为韵语,既可运

轮于掌上(将前歌于掌上一句一位移读便是),复层叠作旋图,更可瞭彻乎目中(转法,如子年,正月,甲子旬,甲子日,先将上位圆图以太岁加子,岁驿加寅,仪神加子,奇神加丑,次将下位圆图以天喜加戌,月建加寅,月合加亥,月驿加申,成神加巳,天马加午,圣心加亥,而圆图所不能载者,则于前列方图内视之,即此时之岁、月、旬煞也。其日煞则于后列方图内视之,即此日之干支煞也。余仿此)。虽不免金根之消,或可辟三豕之讹。其于壬式,未必无小补焉。云岳山人庄广之再识。

附:部分四季神煞、月神煞表

	春	夏	秋	冬
天 喜	戌	丑	辰	未
天 耳	戌	丑	辰	未
寡 宿	丑	辰	未	戌
三 丘	丑	辰	未	戌
关 神	丑	辰	未	戌
管 神	丑	辰	未	戌
皇 书	寅	巳	亥	申
吏 神	寅	巳	亥	申
天 转	乙卯	丙午	辛酉	壬子
地 转	辛卯	戊午	癸酉	丙子
浴 盆	辰	未	戌	丑
天 目	辰	未	戌	丑
孤 辰	巳	申	亥	寅
钥 神	巳	申	亥	寅
火 鬼	午	酉	子	卯
哭 神	未	戌	丑	辰

	春	夏	秋	冬
五 墓	未	戌	丑	辰
四 废	酉	子	卯	午
丧 车	酉	子	卯	午

	正	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
月 建	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
天 医	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
死 神	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰
火 烛	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰
死 气	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
小 耗	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午
月 破	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
大 耗	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
书 信	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申
天 书	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
地 医	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
飞 魂	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
天 诏	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
生 气	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
雨 煞	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
血 支	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
月 合	亥	戌	酉	申	未	午	巳	辰	卯	寅	丑	子
风 煞	寅	丑	子	亥	戌	酉	申	未	午	巳	辰	卯
阴 奸	未	午	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	申
风 伯	申	未	午	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉
天 解	申	未	午	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉
天 鸡	酉	申	未	午	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌

	正	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
月 厌	戌	酉	申	未	午	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥
火 光	戌	酉	申	未	午	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥
驿 马	申	巳	寅	亥	申	巳	寅	亥	申	巳	寅	亥
天 鬼	酉	午	卯	子	酉	午	卯	子	酉	午	卯	子
华 盖	戌	未	辰	丑	戌	未	辰	丑	戌	未	辰	丑
雷 煞	亥	申	巳	寅	亥	申	巳	寅	亥	申	巳	寅
劫 煞	亥	申	巳	寅	亥	申	巳	寅	亥	申	巳	寅
雷 公	寅	亥	申	巳	寅	亥	申	巳	寅	亥	申	巳
桃 花	卯	子	酉	午	卯	子	酉	午	卯	子	酉	午
月 德	巳	寅	亥	申	巳	寅	亥	申	巳	寅	亥	申
大 煞	午	卯	子	酉	午	卯	子	酉	午	卯	子	酉
丧 魄	未	辰	丑	戌	未	辰	丑	戌	未	辰	丑	戌
成 神	巳	申	亥	寅	巳	申	亥	寅	巳	申	亥	寅
奸 门	申	亥	寅	巳	申	亥	寅	巳	申	亥	寅	巳
雨 师	子	卯	午	酉	子	卯	午	酉	子	卯	午	酉
天 马	午	申	戌	子	寅	辰	午	申	戌	子	寅	辰
皇 恩	未	酉	亥	丑	卯	巳	未	酉	亥	丑	卯	巳

神煞赋

三传吉凶有狐疑，全凭煞到解心迷。德解二神能解祸，仪奇生气亦如之。月德正己逆行孟，日德阳居阴合食。天德正丁二坤位，三壬四辛五乾明，六甲七癸八艮逢，九丙十月居于乙，十一巽上腊月庚，逐月逢之凶变吉。解神两月行一位，正二居申顺阳推。仪神六甲当旬首，奇神三从两宫移：子戌牛头申午鼠，寅辰两甲共居猪。

正子顺流生气在，更乘吉将福偏滋。天诏皇书君命至，圣心天喜乐无迟。四时养官承天喜，临官地上接皇书。天诏正猪顺十二，并乘二马赴皇都。圣心阴阳分南北，双月逢蛇单月猪。俱是顺行十二上，庶人利动宦迁除。天赦皇恩同到课，为官免罪复兴隆。六阴正未皇恩顺，天赦须知四日逢：春戊寅来夏甲午，戊申甲子记秋冬。天龙专利求名禄，卯顺春王十二终。月合所谋皆就遂，亥官逆对庆非空。天庭专主朝堂事，天吏为官最喜临。三合仲鸡天吏逆，岁干禄后号天庭。文福二星吉庆来，文占贵客福占财。文星亥寅午巳申，两两行之此法精。甲乙福星子丑取，子未丑巳双双语。天财上课求财吉，谋望成神真有益。天财六阳正顺午，成神正巳临官逆。占病须寻天地医，课传有救瘥疗时。天医寅月辰官顺，正戌前行属地医。天马六阳正顺午，驿马三合顶头冲。传中若不临空陷，行客迁官最喜逢。天鸡天信主信音，宴会须知有会神。天鸡天信正从酉，鸡逆飞来信顺奔。会神正羊二月犬，三寅四亥五鸡轮，六鼠七牛八在马，九蛇十兔不须寻，十一逢猴龙遇腊，人生惟喜会姻亲。天耳天目四时均，捕盗寻人易现身。天耳墓神春戌顺，乙丁辛癸目方真。三个游煞同二马，在家思出外思归。春正（一作月）自卯安游煞，顺行十二不须猜。游神春丑逆到戌，四时相配分端的。游戏春蛇夏鼠依，秋鸡冬向龙宫立。红煞三煞大小煞，灾如其类定无差。四仲金鸡四孟蛇，四季丑日是红沙。三合墓前为劫杀，灾煞天煞次第加。大煞春逆午，小煞丑逆查，俱同三合看，仲季是其家。欲问灾危病体深，死符死气死神侵。三丘五墓兼亡哭，吊客丧门及墓门。白虎丧车皆可畏，病符尤忌伏殃临。死符顺孟增辰土，甲乙重申克岁干。生气对冲为死气，生前五位死神看。三丘四季牛先顺，五墓随时作库安。未戌丑辰尤主哭，哭神见泪猪鼠间。伏殃原来即月破，旧年太岁病符名。岁后二辰为吊客，岁前二位作丧门。岁后四辰为白虎，四生正巳逆亡神。丧车四仲春从酉，墓门三合绝官嗔。血支血忌血光见，女灾羊刃产

胎危。血支旧月顺，血忌丙分之：正月当从丑，二月未冲之。血光正起辰，逆行十二支。女灾卦绝地，羊刃禄前奇。天贼外有诸盗神，乘时乘鬼暗伤人。游鲁二都行客忌，路途难免遇灾逆。天贼阴阳分两处，单从龙起六阳辰。六阴酉上逢双月，不论阴阳总逆行。天盗正寅逆四孟，时盗四时旺宫真。旬盗六甲前一位，须知六乙劫旬神。日盗鼠官甲乙妒，乙庚猪上丙辛兔，猴来却忌在丁壬，蛇见应知戊癸恶。游都甲己常居丑，乙庚在子丙辛寅，丁壬居巳言非谬，戊癸逢申有寇侵。游都冲处鲁都见，更主兵家探贼情。天刑天狱讼多忧，喝散官符两熟筹。天狱孟神正亥逆，天刑寅顺六阳求。官符十二正顺午，喝散春蛇孟顺流。大耗小耗钱财损，五鬼之星忌出行。大耗正申顺十二，小耗正未顺前轮。五鬼午辰寅卯酉，申丑巳子亥未戌。正月起午顺推移，数到戌宫岁已毕。孤辰寡宿忌联姻，春夏秋冬仔细寻。寡宿丑辰兼未戌，孤辰巳顺孟神行。飞符方上难逃避，飞廉诸事速招凶。飞符甲日蛇光逆，逆到丑宫配戌终，己日又从马上起，顺行到犬癸干穷。飞廉正戌二在巳，三午四未五寅记，六卯七辰八亥临，九子十丑真难易，十一逢猴十二鸡，见之单主行人至。阴阳二煞口舌起，阳主男人阴主女。阳煞正亥进孟神，阴煞正蛇退十二。月厌妨婚娶，关神阻滞多。往亡行客忌，光怪火灾罗。火鬼乘蛇雀，惊焚可奈何。天巫宜祷告，迷惑似痴魔。谩语多虚诞，天机口舌窝。月厌正戌逆十二，关神春牛顺暮行。往亡正虎先行孟，仲季挨随次第寻。光怪季神正犬逆，火鬼春午顺仲行。天巫龙顺全支数，迷惑春牛逆季奔。谩语马行正顺递，天鸡正酉逆飞奔。天坑天破损蹄轮，华盖黄幡覆日昏。悬索长绳牵累甚，桃咸淫乱并奸门。天坑牛顺一轮转，天破正驹顺仲穷。华幡正戌同季逆，正申进孟即奸门。悬索正卯逆四仲，长绳正酉逆仲行。更有桃花咸池煞，并同悬索一齐轮。阴奸可卜私通事，四废无成免进趋。游祸动为皆不利，返魂危病转生机。正羊逆岁阴奸是，顺仲春鸡四废期。蛇逆孟神游祸看，四时

生沐返魂依。支旬两煞出逢凶，兼主遗失并逃走。支亡四生从蛇逆，三合孟神四头走。旬亡六甲在于辛，庚响亲丁癸闭口。进神凡事莫驩心，进神子午见卯酉。退神强作亦徒然，退神丑未戌辰守。天怪占天变，风雷雨不同。雨师兼雨煞，雷煞及雷公。风煞偕风伯，推求各有宗。一逢晴朗煞，红日照虚空。天怪正午逆十二，雨师仲顺鼠先求。原来雨煞同生气，雷煞正猪逆孟流。虎逆雷公四孟取，一轮风煞虎回头。欲安风伯从猴逆，逆到鸡窠岁已休。晴朗子辰冲在午，日支冲处好开愁。神煞便有百余名，其他无验皆检出。只此临传用熟精，祸福阴阳随手得。

五、要论歌赋篇

本篇内容为前人的重要壬学论述和不专就某一类占断而发的重要歌赋，共分两部分。前一部分，主要是论，但少量与某种论说相关的歌诀亦列于其内。其出处，在内容之末标明。后一部分，全为歌赋。其中，《指掌赋》、前《心印赋》、《肘后神书》、《百事分类责神歌》、《雨血鬼哭集》和《毕法赋》皆采自《大六壬类聚》，《云霄赋》和《三才赋》采自《六壬金口》，《通神诀》采自《大六壬易简》，《古法占来意诀》采自纪氏《六壬类聚》，余皆采自《六壬大全》。篇末所附“姓氏类”内容，亦出自纪氏《六壬类聚》。

第一部分内容，有些是对壬课、壬学中重要的组成因素、组成内容从涵义、作用、关系等不同方面作出阐释，有些则专论占断中的诸问题。第二部分内容，纯以特殊的文体，或是对六壬的总体内容（包括演课程序、课义、原理及占断）梗要揭示，或是从某一角度（例如从占断角度）对某些问题作出阐发。有些歌赋虽在内容上互有重复，然亦互有发明。其中的《毕法赋》注内立有大量的“格”，分别明晰，极关实用，尤为术家所重。

有预知来意的功用是六壬被目为神奇的原因之一，《古法占来意诀》即纯属这一内容。然古人测来意所用颇杂，如《照胆秘诀集》，一些术家亦兼用占测来意，应用占时测来意则为最基本方法。

“姓氏类”内容，为测姓氏而用，附于篇后，以供研究之参考。

断 要

凡占六壬，以六处决断。日与辰，二处。三传，共五处。年命，共六处。年命系二处，实是七处。看类神为要，就于七处取来问何事，各于类神上决断。如问走失奴婢，亦有二等：河魁、天罡为男，太阴、从魁是女。此神落在何宫，遇何神，兼取刑、冲、破、害、旺、相、死、休、囚断之，又看当令不当令，有气与无气，空亡不空亡。然六处之说不同，《心镜》、《中黄》二书及《毕法》主此，《直启通神集》与《断经大要》有八处之说：天上时、正时、日与辰、三传、本命，共八处，比前六处无年，多正时、天上时。《断径了了歌》亦主六处，则日与辰、岁支、月建、来人方位、用神，比前六处无年命，无中末传。大抵六处要紧，其太岁、月建、正时、天上时、来人方位亦不可不庸心，但方位难定，故卜者于此忽略，要当兼而用之。

（《大六壬类聚》）

壬学前知占宗

课传既立，玩而占之，必有所宗。神将之类，不可不审。（神克将为内战，虽吉有咎。将克神为外战，虽凶可解。）

如太岁，乃天元一气，号令四时，为众煞之主，至尊之神。若作贵神，不必入传，皆有救助。（惟不救病。）

月将乃幽冥之司，福德之神。在日为福，在辰为龙德，宅舍光辉。临用、年命皆吉，临元武贼必败，乘天空、空亡亦为光耀之象。（其属为部、院，带马为使命，青龙为公卿，常、勾为大将。）

旬丁为变动之神，附以魁罡，传以二马，乘龙、合、太阴，万里飞腾之象。（若避难者，当往大吉之下。）

天乙贵神握尊权，随在无犯，临日辰、年命，发用最吉。滕蛇为惊恐、卑贱之神，占怪视蛇之阴，小儿之病亦责之。

朱雀为口舌、文书，若占选举，视朱雀之阴，而文移亦责之。

六合神为和合，婚姻视合之阴。

勾陈为迟滞、斗争，词讼视勾之阴。

青龙为富贵财神，求财视龙之阴。

天空为虚诞，仆从视其阴。

白虎为道路，占病视虎之阴；作日官，带马，为催官使者。

太常为衣服、酒食。

元武为虚耗盗神。

太阴乃暗昧之神。

后神为恩泽，取妻视后之阴，女人之病责之。

诸将之中，日德为一日之喜神，访谒贤者亦视其阴。至于魁罡，贵神不临，作用反多。天罡则又随所占而操其吉凶之柄，尤为紧切。然神将为众课之所同，而年命为一人之所独，故命为日之应，不得与太岁、日上神相伤，年为用之助，不得与日、用相伤。（如命上见财，宜求财。年命见月建，能消一切祸；见申乘凶将，主病；见亥乘凶将，主水厄。）

若三传，初为心之所之、事之所向，故曰用神。（要神将比和，上下相生为吉。如用克岁，岁中灾；克月，月中咎；克日，忧身及家长；克神，宅不安；克时，心惊；克中传，有头无尾。）

中传为事体。（母传子则顺，子传母则逆。鬼主事坏，墓主事止，空为折腰。）

末传为之结果。（克初为吉，传空事败。如初有凶神，克之方吉；初有吉神，末生为宜。）

（《大六壬类聚》）

占断八门

占断之法，其门有八：曰先锋，曰直事，曰外事，曰内事，曰发端，曰移易，曰归计，曰变休。凡占，如门之次第，审之，吉凶自见。以其能察祸福来去，故均谓之门。

正时为先锋门。凡占，以正时为主时，或为日之德合鬼墓，或为辰之破害刑冲。传课未成，吉凶先露，故谓之先锋。

月将为直事门。凡占，以月将加正时，分四课之阴阳，别三传之生克。非神不能决事之祸福，非将不能知神之吉凶，故为直事。

日干为外事门。凡占，以日干为人。动作谋为，皆主乎日；生克制化，皆应乎干，故为外事。

支辰为内事门。凡占，以支辰为宅。欲知宅之盛衰，须审辰之休旺；欲知事之祸福，须察支之吉凶，故为内事。

初传为发端门。凡占，以初传为事之始应。传吉事吉，传凶事凶。祸福之端，皆从此发，故曰发端。

中传为移易门。凡占，以中传为事之中应。有初吉中凶者，则事由吉而变凶；有初凶中吉者，事由凶而变吉，故为移易。

末传为归计门。凡占，以末传为事之终应。初中虽凶，末传却吉，事终有成；初中虽吉，末传却凶，事终有悔，故为归计。

年命为变休门。凡占，以年命为事之变易。盖命为身之应，年为用之助，传有一定吉凶，人有各殊年命。如传财本吉，年命见官鬼而成凶；传鬼本凶，年命见子孙而成吉，故谓之变体。

（《六壬视斯》）

占 时

须以占课之日辰为主，与占时论生、克、禄、马、德、刑等项，不必俟卜者相告，便知来意，此所谓先锋门也。

诀曰：

占时便别务须捷，昼夜禄马德贵人，冲合比合印福鬼，财墓破败刑害屯，劫空刑将克初用，年命来情方的真。此说占时之本体，如何为用后词申。得时昼夜须先辨，时宪太阳出入衡。

凡占得一时，须先辨是昼是夜。当随所占课日，遵时宪书节气，日出为昼，日入为夜，不可依俗例拘定卯至申为昼，酉至寅为夜。

日禄见官求禄位，驿马动改迁不宁。

时为日禄，主欲见官，或求禄位，动用进身之事。

日德外人施厚惠，贵人谒贵近公卿。

时为日德，亦主见官，或外蒙赏赐、贵人馈送之事。时为日贵，见官吉，或主官贵委托干事。如甲日得丑、未之类。

冲日外来烦恼动，冲辰宅内盗逃惊。

时为日冲，主外动，或外来烦恼，凡事皆从外起。冲日，如甲日得申时，乙日得戌时，丙、戊日得亥时类。

时为辰冲，主内动，或家有走失，凡事皆从内起。冲辰，即如申日得寅时，十二支相冲是也。

合于外有行财信，合支内有婚孕成。

时为日合者，乃时与日干寄宫作三合、六合，又时干与日干作合。皆主外事取财，托人和合，有远行喜信。干合，如甲日得己时干，乙日得庚时干，丙日得辛时干，丁日得壬时干，戊日得癸

时干。反之，如己日得甲时干类，亦同。

时为辰合，乃时支与辰支作六合或三合。主内里和合，家中婚姻成就，或占妻妾产孕，乃吉庆事。如寅日得午、戌时，为三合时也。

干比占人多外滞，支同内滞虑财倾。

干比，即时与日同。主外滞，行人暗损财帛，事从外来。日同者，乃时与日干之寄宫同也。如甲日得寅时。时与支同，主内滞，家中财物损滞，事从内起。如寅日得寅时是也。

时生日他人惠我，日生时我惠他人。

时为日干之父母爻，主他人以财物助我；时为日干之子孙爻，主自己将财物付与他人。

鬼主官灾失物小，财兴财物可思寻。

时为日鬼，主官灾失物，小人为仇克身之患，如甲日得申时类。入传克日，灾及人身；克辰，祸及家宅；与日墓并，因事争讼。鬼墓加日，占病最凶。

时为动用之主，不宜作鬼克日，及克年命、用神。见灾甚速，不出时中。

时为日财，主动财及求财。如甲日得辰时是也。

墓为田土坟茔事，破败失财逃走争。

时为日墓，主动因墓田，又主他人蒙蔽。墓与财并，旺不落空，主得古窖藏财。如甲日得未时，丙、戊日得戌类。惟甲、乙墓与财并，余日则否。

时为日破，甲日得亥，乙日得丑类。

时为辰破，主失财。破者，子日得酉时，丑日得辰类。

时为日败，主盗逃。败者，甲日得子时，乙日巳，丙日卯类。

时为辰败，主家内有盗逃事。如子日得酉时，丑日申，寅日子类。

刑为紧急凶将至，害是忧愁暗里生。

时为日刑、辰刑，主来事紧急。若贵人逆行，防有刑罚之累。

时为日害、辰害，凡事损害，须防不测。

劫煞强人横肆恶，空亡失脱或闲评。

时为日劫，主事来急速，又主劫盗。日劫，如寅、午、戌日得亥时，申、子、辰日得巳时，巳、酉、丑日得寅时，亥、卯、未日得申时是也。

时为旬空，主财物散失，更防脱赚，官灾无事，求谋难成。

冲刑月将灾来速，若克用神事不成。

月将，即雨水后用亥为月将是也。如所占之时或冲或刑，灾来最速。用神者，初传也，为事之始。时主目前，如时克初传，凡事难成。

年命日干宜较量，比和无克是祥因。

凡占得一时，宜与日干、辰支、年命较量，或生或克，禄马等项，以定吉凶。占时与干支、年命相生吉，相克凶。

（《大六壬易简》）

卒然相遇之谓机，自然符合之谓神。六壬之用占时，非神与机之谓乎？故古人以占时为先锋门，谓其不待运式而先有所主也。

凡时为日干之财，更乘旺气，得吉神良将，上下相生，定主财帛之事。

时为日马，若不值天空，不落空亡，定主出入道路，攸往咸宜之事。

时为日贵、日德、日禄，又带财星，定为官贵之财，或托官人干事获福。若披刑带煞，传见凶将，又主争财官府。若传见青龙、六合、太常，与日三合、六合，不见刑克，仕人加官，秀才拔第，庶人得之，见官得理，或得高人携手。

时为日干三合、六合，主外事和合。若合中带财，得吉神良将，

主获外财，及妻子和合之事。盖财亦为妻妾也。

时为日支三合、六合，主内事和合。若式中见子孙爻，乘旺相气，而带吉神者，又应添丁，或子孙有和合之事。若支空中带鬼，上见朱雀、勾陈，卦得乱首、绝嗣，定主眷属仇讎，及为内事竞争。若仕人得之，主同僚不睦，公吏则同辈相残。

时合日干，又合日支，主两动，应内外和合，非一事也。

时为日干六害，主外忧。

时为日支六害，主内忧。

时为日之空亡，事主虚诈，闲占无益；若式中见三合、六合，上带合、后、龙、常，凡占空喜，终难成功。惟病讼以时落空亡为吉，然新病逢空则病散，旧病逢空则人亡，此又不可不知。

凡占事见空亡，出旬可成，访人不见，托人无效。占失物，其类神落空亡者，尤难寻获。如鬼落空亡，虽有仇敌，亦不足畏，盖空则无力也。如日干落空，虽三传为鬼，上挟凶神，亦不为害。盖我既落空，彼不得见，将谁与争耶？空亡中见太阴，主虚诈设谋。见玄武，主盗贼窥财。

时为日墓，更在传中，主干涉田土，或事属茔葬。

时为干冲，主外动。

时为支冲，主内动，或主家宅卑幼，及与人相争之事。

时为日刑，或为日干劫煞，主出入事速。

时为日破，主破财走失。

若发用，又为日鬼者，课名天罡，占病最凶。若中末传见者，其凶稍缓。

若时为日破，上带吉神，式中见玄武，与日干相合而为财者，物虽失，可复得。

若时为日破，上见凶神，式中见玄武，而所乘之神又克财爻者，主失物难寻。若玄武乘神与日为鬼，值旺相而为刑害者，定主盗贼

伤人。若勾陈为玄武所制，又主捕盗人受伤。

更有昼占而得夜时者，事多暗昧，病主重，讼主屈。夜占而得昼时者，从可知矣。

（《大六壬探源》，注略）

论 月 将

月将，太阳星君也，乃幽明之司，动静之机，祸福之始，福德之神。中气后过宫。此星到处，解咎除殃，临日为福助，临辰为龙德，临用、临年命皆吉，临日身躬少病，临辰宅舍光辉，入用动作如意，临元贼必败。乘天空或空亡，为光辉之象。其属为台省部院，带天后为使命，乘龙为公卿，乘太常为武职，乘虎为权贵，乘勾陈为大将军，乘朱雀为羽林军。

（《六壬视斯》）

日 辰

日上生日百事吉，昼将人助夜神庇；

日上克日百不利，昼将人害夜鬼魅。

日上生神百费出，日克上神事抑塞。

日上之神去生辰，辰上之神来生日。

日辰各受上神生，两家顺利有生意。

日上之神去克辰，辰上之神来克日。

日辰各受上神克，两家俱伤都不利。

日上脱辰我脱他，辰上脱日他脱我；

日辰各受上神脱，彼此防脱俱蹉跎。
日上之神见辰旺，辰上之神见日旺，
日辰上各见旺神，静则为禄动遭网。
日往临辰遭下克，自取卑幼凌犯推；
辰来临日又克日，卑幼上门肆侵欺。
二者皆名为乱首，父子兄弟各离析。
日临辰上去受生，以尊从卑受包容；
辰临日上来生日，彼自上门来周济。
日临辰上去生辰，宅旺人衰虚耗频。
辰临日上来脱日，亦主虚耗钱财是。
日临辰上去克辰，事虽费力得财云；
辰来临日受日克，尊长得财卑幼悲。
二者皆名为赘婿，日辰比和吉将吉。
日上禄马主荣迁，日见辰马宅动言。
(君子迁官，小人宅动。)

辰上日禄受屈抑，权摄不正此为占。
日辰上各见德神，再乘吉将进发真；
若见六合和合事，不宜解散忧病寝。
乘墓坐墓日辰同，俱主昏迷云雾中。
(以上见鬼墓为暗鬼，尤当防。)

宾主不投怀猜忌，日辰互见害与刑。
日辰逢败人宅颓，绝神结绝旧事宜。
死气死神宜休息，若值空亡虚无实。
日课不足心意焦，辰课不足家宅忧。
若见卯酉为阻隔，魅蜮蛇虎有伤折。

(《六壬大全》)

发 用

日主外兮辰主内，四课各就日辰推。

(日上两课发用主外事，辰上两课发用主内事。)

一二发用贵顺行，用在贵前事速成。

三四发用天乙逆，用在贵后吉凶迟。

四课发用名墓逢，事主偶然或墓成。

用上克下事外来，利男利先卑小灾。

用下克上事起内，利女利后尊长悲。

下贼上兮神克官，事将成合搅扰言。

(内战。)

用遭夹克名逼迫，身不自由受驱策。

用克上下为隔将，隔断难合事不冒。

用起长生凡谋遂，长生临墓发旧事。

用败与死事坏毁，用绝事了人信至。

用墓事缓病者悲，物在人归凶事微。

(旧凶事不发。)

刑冲破害事阻隔，用空忧喜无实遮。

克日忧身长上讼，克辰家宅不安宁。

克时心动惊扰起，克末有始必无终。

克命上神主得才，克年上神事必乖。

丧吊事干有服人，休主疾病囚主刑。

天将入庙喜愈喜，凶将归家亦不虑。

(将凶亦不为祸。)

用岁中末或月日，移远就近急速是。

用神即系初传，又名发用。断事须凭用神神将，此固不易之经，然课象千变万化，未可拘泥，有取干上断者，有取支上断者，有取正时断者，有取年命断者，要在临时酌取，未便执定成法。

昴星、别责、八专、井栏等课，俱不由四课为用，如用神不空者，自应扼定用神为断；若值空亡，则无可进取，舍用却神，专取干支或年命上以断吉凶。

三六合，吉凶全在用神。盖四课合而不动，而用神为动机，则吉凶之旨在是。若干支各作三合，互冲、互克者，两局各不相通，其中当有趋吉避凶之方，未可全凭用神。

转杀为用，事将转，吉不能保，凶亦将消。（转杀：春卯，夏午，秋酉，冬子，乃四季之旺神，取物极则反之意。）

四废为用，百事无成，如课象吉者，须俟废神当令，始得有济。春占酉为废，须俟八月；夏占子为废，须俟十一月；秋占卯为废，俟次年三月；冬占午为废，俟次年五月。

四废之阴神生之者，不以四废论。酉阴见辰，子阴见申，卯阴见亥，午阴见寅是也。此犹官员罢职闲居，逢上游举荐，即便起复；常人贫困，得契友帮扶，即忻忻向荣也。若夫戌与酉害，丑墓酉，俱不生酉者；酉破子，不生子者；子刑卯，不生卯者；卯破午，不生午者。故惟辰之于酉，申之于子，亥之于卯，寅之于午，然后可以为生也。

四废作月合、月将，不以四废论。此惟卯、酉二神有之。酉于三月，上半月为月合，下半月为月将；卯于九月，上半月为月合，下半月为月将。

四废为用，须视地盘，如临旺相之上者，旧事从新之兆。如春占，丁巳日，酉加寅为用，或酉加巳为用，废神临旺相也。若废神临衰败之上，则真废矣。如春占，庚午日，酉加午为用，废神临败也；丙戌日，酉加丑为用，废神临衰、临墓也。

四墓覆四生，未可漫云复起，须视传内有生干之神始的，如辛卯日，干上午，三传未卯亥，未生干是也。是课幸逢初传之生，得以起复。乃三传化为财局，克尽生气，必旋起而旋废。且干上有鬼，乃三传财局反生之，恐贪财而祸作耳。

四墓覆四生，须未加亥、戌加寅、丑加巳、辰加申方的。

（《六壬秘笈》节录）

三 传

传者，传课之隐微，发课之几蘖也。故课为体，传为用，传吉课凶事终吉，传凶课吉事少成，纵成亦无终始。

凡事之始末，系于三传。以初、中、末为次第。假令初鬼、中印、末财，便是先阻、中助、末得也。若初凶末吉，初虽艰难，终则有成；初吉末凶，初虽好，终不济；初末凶而中吉，事虽中合而无益。

初传为发端门，乃心之所主，事之所向，须要神将比和，上下相生为吉。若逢德禄，举事称心，事危有救。

中传为移易门，乃事体中间一段。初凶中吉，则移凶为吉；初吉中凶，则移吉为凶。母传子则顺，子传母则逆。鬼主事坏，墓主事止。害为折腰，事多阻隔。破主中辍无成。逢空断桥。折腰主事体不成。

末传为归计门，乃事之结果。发用在初，决事在末，最为紧切。若初传受下克贼，而末传能制其克贼，终可反凶为吉。末克初为终来克始，远行万里，入水不溺，入火不烧，病苏灾止。若加破害，则有阻，吉凶皆不成。逢空亡则事无结果。

初传为日之长生，末传为日之墓库，则有始无终；初传为日之墓库，末传为日之长生，则先难后易。

初传凶，中末吉，能解之。初中凶，而末吉，能解之。三传凶，行年吉，能解之。若三传、行年俱凶，不能解也。

三传神将，若将克神，为外战，忧轻，虽凶可解；神克将，为内战，忧重，虽吉有咎。

三传皆空，占事了无一实。如两传空，一传实，却见天空，亦系三传空之象。如初中空，以末传为主；中末空，以初传为主。

三传自干上发用，传归支上者，名朝支格，主我去求人干事；自支上发用，传归干上者，名朝日格，主人来托我干事。朝日格，若神吉传吉，则事易成合，不求自至；若神凶传凶，则祸起不测，谚云“闭门屋里坐，祸从天上来”，占病、产、忧、讼、行人，皆忌之。如丙寅日干上午，三传辰巳午，壬寅日干上戌，三传子亥戌是也。朝支格，俯就于人，不得自由。如甲午日干上辰，三传辰午申，甲木传于死地，行人不来，病者死。丁亥日干上酉，三传酉亥丑，财被贵人引入绝地，不利与贵人交易，反主有厄。庚寅日干上午，三传午辰寅，此乃支助日鬼，反害尊长。

三传不离干支，求物得，谋事遂，行人回，贼不出乡，逃不脱。

三传不离四课，号曰如珠走盘，谋事成，吉则吉，凶则凶，忌占病、讼、忧、产。如辛亥日干上酉，三传戌酉申；戊子日干上子，三传子未寅。外庚申、甲申、庚寅、甲寅、癸酉、癸未反吟同。

三传离日远，凡事难成，惟占避难及讼灾可退。

三传日辰互换，三合递相牵连，占事翻来复去，不易了当。外有三传三合，为日干全脱、全生、全鬼、全兄弟者，俱视天将吉凶及五行制化何如。假如全鬼，为凶兆，若年命日辰四处有子孙爻则制鬼矣。故脱气要见父母，全生不可见财。

三传与日辰上下皆合紧，则不得妄动，要寻日月冲破方可动也。然又要看三传吉凶何如，若吉，则宜合不宜冲破；若凶，而遇冲破则凶散矣，却不以凶论。

三传生日百事吉，占讼轻，虽无理之讼，亦不至于大凶。

三传克日者至凶，惟被冲则凶破。如癸亥日，辰加癸，三传辰未戌，初蛇、中勾、末虎，是戌冲辰，虎冲蛇，以凶制凶。若行年更在戌上，则凶可散；或行年在辰，则戌一辰二，冲不能破，而辰为癸之墓，便主全凶。

三传入盗气，只宜退散，宜防失物。更加于蛇虎、空亡之乡，主托人不得力，官事反复。

三传递生干，或递克干，吉凶详课体中。内有干克初、初克中、中克末者，求财大获，此法最验。

三传、日辰全逢下贼上者，全无和气，讼必刑、病必死，占事必家法不正，自惹其害，或丑事出于堂上，以致争竞。

三传有被日辰夹定居中者，若乘凶将，凶不可逃；乘吉将，吉乃可从。惟宜成合诸事，若占病、讼、忧、产、行人，皆不利。外有透出支干外者，只先紧后慢，更看所夹如何。若是夹财则利求财，不利病讼；夹官利于求官，亦不利病讼；夹脱气利忧病，不利求财，利占孕，不利占产；夹生气利占用事，不利占产。夹兄弟百事不利，夹空亡事多虚诈，枉用其心，卒无实效。如乙丑日，干上巳，三传寅卯辰；甲午日，干上卯，三传辰巳午是也。

三传有被日辰夹定，而日辰上乘空亡，谓之遇夹不夹，始困终亨，有名无实，过后失时，失于机密，反成差错。虽凶不至深危，有吉不成大喜。

三传有虽在日辰中间，而前欠一位或后欠一位，谓之夹定虚一格，主有小节不完，更看所虚如何。若是日财，则因财不足不能成事；若是官鬼，则因官事外生；若是同类，则因手足兄弟不足，或朋友不足；若是子孙，则因卑下不足；若是父母，则长上不足，或文字不圆。更看天将之吉凶决之。假如丁卯日，干上申，三传辰巳午，欠一未字，未乃今日之脱气，为日之子孙爻，夜将朱雀，主卑下口舌文

字不足，昼将勾陈，主子孙旧事牵连未了。若年命填实，不在此限。

三传有透出日辰之外，名透关格，乃当时不时，过后失时，凡事主失时，或心力不逮，致使已成之事被人破坏。如甲子日，子加丑，三传子亥戌是也。看所透者是鬼爻，反害成凶，主破财；若是退茹透出者，因退之慢而有所不及；进茹透出者，因进之过反成不及。若是干透出支，不利外事，主有回还意，先动后静；支透出干，不利内事，惟宜外动。

（纪氏《六壬类聚》）

年 命

命为身之应，所占与日干同也，大要不得与岁、月、日上神相伤，宜全与日及类神相生德合。

年为用之助，大要不得与日与用相伤。克日为不及，克用事不成。故年命上见财，问财必吉；逢鬼，主讼病；逢父母、兄弟、子孙，俱依法推详。

年命上神与太岁相刑，常人主官府忧疑等事。若逢太岁，乘天乙，君子有天庭文书恩泽之喜，或主横发得官。

年命上见月将，大能除一切凶祸。

年命上逢辰、戌，作凶将，凡事不利。

年命上见二马，主迁官奉诏；若见破、勾为用，主疑惑无定向。

年命上见天喜，又乘吉将，百事俱吉。

年命上见月厌，作死气，主有冤家，人鬼相逼；见血忌，车马惊恐。

年命上见凶将，乘传送，主疾病服药；乘登明，主水死。

贵人临年命，非常喜庆。若贵人克年命，主有官事。螣蛇临年

命，有非常疑滞。白虎主斗狠，克年命者灾，乘死气，不出一月之病，不过四十九日即死，乘金煞者尤凶；乘生气克年命，有传尸癆瘵之疾。

丧门、吊客、病符在年命者凶。

（纪氏《六壬类聚》）

论 太 岁

太岁乃五行之标，岁功之本，上主天庭之事。作贵人，不必入传，皆为救助，公讼主得贵人力，惟不救病。如入传而为日鬼者，凶甚。月建次之。故太岁在传，主一年凶吉之事。如今年子，或传亥子丑，定是隔年旧事；或戌亥子，是二三年前事。若月建在传，则二三月事。行年上见太岁，即尽今年一年事。

初见太岁，中末月建或日辰，谓之移远就近，以缓为速。

太岁生我最吉，合我次吉，我生亦吉，或贵人扶我，发用为我。故太岁克我虽凶，若有救神，尚可免也。惟我克太岁主凶甚，小事反为大事。故日干、年命上神最不宜克犯太岁，凶祸甚大。

太岁乘天乙相生，吉庆非常，惟君子可以当之，加官进禄，常人反凶。若太岁克日，名太岁下堂，君子、常人俱主灾孝。

太岁临辰上克辰，家长不安。岁破加于月破，作吉将犹可，作凶将必凶。岁破、月破加于日辰，破财耗失。

（纪氏《六壬类聚》）

论 月 建

月建，月支也，主一月之事。岁破加月破，吉将犹可，凶将大凶。龙、常求名改职，常人百事大吉。月建加天后，主妻妾怀孕。岁、月破加日辰，主破财走失。

（《六壬视斯》）

论 阴 神

凡神之阳者见其象，而其究竟则又归于阴。盖有阳不能无阴，阴神乃事之影子，所常参看也。惟天乙贵人，且暮互为阴，其余各以本家所乘者为阴神。如蛇乘申临子，则申上之辰即为蛇之阴神之类。

如占惊怪，视蛇阴，而小儿之病亦责之。

占婚姻视六合之阴，占子孙亦视六合。

占考选视朱雀之阴，而文移书信之类亦责之。

词讼视勾陈之阴。

求财视青龙之阴。

奴仆视天空之阴。

疾病视白虎之阴。

筵会视太常之阴。

捕缉视元武之阴。

婢妾视太阴之阴。

求妻视天后之阴，而妇人之病亦责之。

此阴神之大概也，神而明之，存乎其人矣。

（《六壬视斯》）

论 遁 干

课传皆支神出现，而遁干之为吉凶伏藏，最宜兼看。然遁法有二，有旬遁，有五子元遁。

甲为数之始，冠万物以为尊，占者多主革故鼎新，重谋别用。

乙为日精，丙为月精。乙、丙所至，妖邪伏匿，凶恶潜藏，故婚姻得之而成，家宅得之而宁，盗贼得之而倾，大抵利明不利暗，利正不利邪。

丁为玉女，为星精，能变化，能飞腾，能通灵，故逃亡得之而远遁，盗贼得之而潜身，婚姻得之而奸淫密成，病讼得之而幽暗难伸，大抵利暗不利明。又云，丁主动，乘蛇、马则行，乘虎、常则服忧，乘阴、后则女人走，乘天空则奴婢逃，乘玄武则贼遁，乘朱雀则信来，乘勾陈则远兵动，乘青龙则万里腾，乘六合则子孙远行。

戊为阴伏隐遁之象，最利逃亡远行。

己为六阴之首而宜静。

庚、辛主肃杀之气，亦不宜动，动则必见死伤，惟占盗、财、渔、猎则必获。

壬者，天一生水，为五行之始，位乎乾，为八卦之始。故《易》以乾为首，课以壬为名。此万物之祖，动之根也。占者观其动机，而萌芽见矣。

癸，数之终，效天地以为静，可以隐遁，可以伏藏。

（纪氏《六壬类聚》）

壬学中，四课三传，皆支神出现。支常静而不动，遁干则运此移

彼，变动无方，祸福潜伏其中，最宜参看。例如发用虽非鬼，若其通干克日，则以鬼论矣；发用虽非财，若其通干为日所克，则以财论矣。

（《六壬秘笈》）

论 类 神

占课有三要：一用神，二类神，三日上神，俱宜详看，而类神更为事类，最要。如求官、病讼，责官鬼、龙、常；白虎，求名责文书及龙、雀，求财责财星及青龙，求婚责天后，谒见责贵人，求雨责青龙，求晴责天空，文字责朱雀，衣服、饮食责太常，田土责勾陈，道路责白虎，如此等类。要入课传之内，旺相不空，与日辰德合相生，求谋方得有济。若入课传而刑克日辰、年命，更乘旺相，立见倾败，谋亦无成。如无气而为日鬼，亦凶。或不入课传，谓之类在闲地，若又值无气，或作空亡，乃曰无类难成，凡有所求，皆宜退吉。故类神入局者主事速，不入局而有气者主事远，无气者主事缓。凡类神得在课传、年命者，俱作入局论，即不入局，亦当以所占之事类决之。如占失脱，虽玄武不入局，但求玄武所居之地，看其生克、刑合、喜畏，以决其方所色目，自无不验。

凡类神用阳，宜看其大象；用阴，当察其隐微。阳者，类神所乘之神也。阴者，类神传出之神也。如类神乘申加午，则午上所乘之申为阳，以申上所乘之戌为阴。故捕盗以玄武为类神，然必求玄武所传出之阴神，而盗之捕捉乃见。又如访人，必求日德之阴神，而彼人之短长乃识。求妻，必看天后之阴神，而此女之情性乃知。求财，必看青龙之阴神，而财之得失乃验。

（纪氏《六壬类聚》）

类神

壬占吉凶，虽见于课传，尚须以类神核定。盖按类神视之，吉凶两岐者，可归于一是，而似吉而凶，似凶而吉者，亦不致混淆。如不视类神，则凶吉茫茫，何所取准耶？

人类神

父母：父母爻、长生、贵人(父)、天后(母)。

夫：官爻、日德(阴干)、贵人。

妻：财爻(阳神)、神后、天后。

妾：财爻(阴神)、从魁、太阴。

子孙：子孙爻、登明、太冲、六合。

兄弟：比肩爻、六合。

姊妹：比肩爻、太阴。

奴：河魁、天空。

婢：从魁、太阴。

朋侪：比肩爻、太乙、六合。

又人类神

子：舅姑(加日辰)、妻、中子、子媳。

丑：父母、尊长、夫。

寅：家长、夫、少子、婿。

卯：兄弟(加乙、未、亥)、长子。

辰

巳：兄弟、长女。

午：中女。

未：继父母(加亥、酉)、舅姑(加干支)、姊、妹、姑、嫂、甥。

申：母、妻。

酉：少女。

戌

亥：父、夫、幼子（子加、乘合）。

事类神

会场：胜光、朱雀、幕贵。

捐纳：财爻、官爻、青龙（文）、太常（武）。

仕宦：父爻、官爻、青龙（文）、太常（武）。

贸易：父爻、财爻、六合。

求财：财爻、青龙。

房屋：长生、父爻、胜光、朱雀。

田地：大吉（田）、小吉（地）、贵人、太常。

山荡：天罡（山）、登明（荡）、勾陈、元武。

婚姻：财爻（男占）、神后（女占）、天后（男占）、官爻（男占）、贵人（女占）。

男家占问奩仪，视青龙。女家占问聘礼，视太常。两家占婚期，则均视六合、青龙。

婚姻首重媒妁。《六壬大全》于阳干无取媒妁之说，于阴干云：乙欲嫁庚，丙作媒人。丁欲嫁壬，戊作媒人。己欲嫁甲，庚作媒人。辛欲嫁丙，壬作媒人。癸欲嫁戊，甲作媒人。不著义理。细核之，媒人皆阴干所生，阳干受克之神，意取克制也，然取克不如取合，应以合住官星、财爻者为媒人。如男家占，丙、丁日，申为妻，则以巳为媒人，巳合申也；女家占，庚、辛日，巳、午为夫，则申、未为媒人。或取三合亦可，如申为妻，子、辰为媒；巳为夫，酉、丑为媒是也。天将则专视六合为媒妁。

干贵：父爻、长生、日德、贵人。

音信行人：传送、二马、丁神、朱雀、白虎。

航海：功曹（舶）神后（海）、青龙、天后。

讼狱：官鬼、朱雀、勾陈。

灾病：日鬼、白虎。

晴旱：胜光、太乙、朱雀、腾蛇。

雨水：神后、登明、天后、元武。

风：功曹、白虎。

霜雪：从魁、登明、太阴、元武。

以上人类、事类，举其大略。人事纷繁，不能备列，随占酌取一神一将以为类神可也。

凡人事类神为用入传，不特课象明晰，而且应期紧速。类神作用神者，课极准而应极速，见于中末传者次之，然亦必应者。如占求财，以日财为类神。占荐举，以长生、父母爻为类神。适得日财、长生、印爻为用，或作中末传是也。

如人事类神不入三传，而临于干上、年命上者，为亲，为近，为易，不久即到。占吉事，可喜；占凶事，则深忌也。不临干上、年命上者，为疏，为远，为难，遥遥莫必。占喜事，深忌；占凶事，却可喜也。不临干上、年命上，而与干上、年命上相生相合者，吉事尚属可望，凶事则和而解矣。生则有分别，鬼生干上、年命上，无妨；干上、年命上生鬼，深以为忌也。若与干上、年命上克、冲、刑、破、害者，占吉事，必无成。占凶事，干上、年命上制鬼者吉，反为鬼制者凶。

类神入占，须视变化。如占求财，戊戌日，干上申，三传亥寅巳。虽日财为用，但中传日鬼脱之合之，此财岂能到手？占谒贵托荐，丙申日，干上申，三传申亥寅。亥为贵人而作绝，似乎无望，然生出末传寅木生干。占课望，甲辰日，干上午，三传申子辰。申为日鬼，伤干作绝，却与子辰合局生干。皆主先受艰苦，后乃获济。

人事类神，有两三位者，视为用入传之神，余不必视。如俱入

传，俱不入传，或俱在四课、年命上，俱不在四课、年命上，则置却兼神，而视天将。假如占妻，财爻、神后、天后皆为类神，若俱入占，则专取天后为断；若俱不入占，则于天盘内专取天后为断，财爻、神后俱不必视也。占婚姻，官爻、贵人、财爻、天后皆为类神，若俱入占，则专取贵人、天后为断；俱不入占，则于天盘内专取贵人、天后为断，天后与男年命上六合，贵人与女年命上六合者，其婚可成。又如占出行，日马、天马、寅、申、辰、戌、旬丁、白虎皆为类神，如俱入占，却不可专视白虎，宜取先见者为断。二马为用，即视二马；寅、申、辰、戌为用，即视寅、申、辰、戌。旬丁、白虎仿此。无为用者，取入传、入课为断。若俱不入占，则于盘内视二马、寅、申、辰、戌、旬丁、白虎所临，临年命者有行动，不临者，未必能行。占灾晦疾病，日鬼、白虎俱入占，必有重重灾祸，未可专视白虎。或日鬼入占，而白虎不入，则专视日鬼，不必再于盘内寻白虎。若白虎入而日鬼不入，则专视白虎，不必再于盘内寻日鬼。若俱不入，则于盘内视日鬼、白虎所临，临年命者有灾病，不临者，灾已过，病即痊矣。

此皆指事而占，分别去取之法。若泛占，则又不然。如占家宅，两财俱见，安知非有妻又有妾耶？两子孙俱见，则有子复有女也。官占流年，官鬼俱见，主重重升迁。常占流年，两财俱见，主重重发财。皆不可置神而视将也。

人事类神，俱旬空者，亦置神而视天将。如占雇舟，寅、卯、六合、青龙俱为舟。甲辰旬，寅、卯皆空，岂十日，凡占皆无舟可雇乎？宜置寅、卯，而视六合、青龙也。

人事类神，原可一视两视，三四五六视者，再以所乘天将参之，则为类愈广，其应无穷。如戊寅日伏吟，巳为用。巳即本干，一也；为禄，二也；为德，三也；为印，作长上看，四也；夜乘雀生干，作荐举看，五也；雀又作文书音信看，六也。又如己丑日，子加丑为用。子为妇女，一也；加于合位，非女而妇矣，二也；与干作害，与支作合，

妇有异心矣，三也；昼将乘贵人，为贵家妇，四也；又为受过封赠之命妇，五也；遭上下夹克，妇有灾或嫌，六也；子又为财，财遭贵人夹克，主与贵人争财，致生嫌隙，七也；财遭夹克，亦主财不由己而化费，八也。若再以类神之遁干生克，类神之阴克神将，以及六旬之空亡、四时之衰旺参之，溪肴纷纷万变？然占者未可漫无主宰，宜针对所占，审择其至明至确者，酌取一类为断，庶不离宗。

为嫡属占，其类神不按日干看，须先定六亲。如父占子嫌，癸丑年十月甲子日亥时，卯将，三传辰申子。干上午为子孙，三传会局克之，是即子之鬼也。又如父母为女占婚，丙辰年四月戊戌日巳时，申将，三传亥寅巳。干上申为子孙，末传巳克之，即是女之夫星。若为疏远亲族、朋侪占，不以此论，仍按日干看可也。

人身类神

甲胆，乙肝，丙小肠，丁心，戊胃，己脾，庚大肠，辛肺，壬膀胱、溺，癸肾、精。

子：膀胱、耳、腰、液、溺。

丑：脾、肌、肉、腹。

寅：胆、筋、脉、发、毛、风门穴。

卯：肝、胸、目、手、爪、筋、血。

辰：项、背、肩、皮肤。

巳：心胞络、三焦、面、齿、咽喉。

午：心、小肠、目、舌、神气。

未：胃、腹、口、唇、齿。

申：肺、大肠、筋骨、经络、音声。

酉：口、鼻、皮毛、血、声。

戌：命门、胸、筋、臀、腿、膝、足。

亥：肾、头、阴囊、髓、精。

此为占病而设，日鬼、白虎克何干支，刑何干支，即主何经受病。如甲日，申为日鬼，加甲，主胆经受病；乙日，白虎乘丑加戌，主腿足病也。虎鬼遥克干上、年命上神者，亦如是推之。

（《六壬秘笈》）

德

德者，福佑之神也，凡临日入传，能转凶为吉。其名有四。

凡四德入传皆吉，日德尤吉。俱宜生旺，不宜休囚。

凡德入传，忌逢空、落空及神将外战。

凡德加干，发用为鬼，仍作德断，不可作鬼断。盖德神能化鬼为吉也。（惟寅、申、巳、亥四课。）

凡德下贼发用，得贵神生扶，仍作全吉断。若无生扶，又见克泄，主喜处生忧。（如乙未日，申加午发用，申为乙德，受制于午，但阴阳贵神属土，脱午生申，仍作全吉之例。）

凡德神归日，又会合带贵，主有意外之喜，惟不宜占病讼。（如丁酉日，阳贵，干上亥之例。）

凡德临死绝，又值凶神，减力十之七。

凡日德发用，又同下神克日，名鬼德格，主邪正同途。（如乙酉日遥克，申加酉发用，申为酉扶，化德为鬼之例。）

凡德作官星，又临朱雀，名文德格，主应举得官，在官得荐。（如己巳日，寅加巳发用，作官星，顺贵，朱临寅之例。）

合

合者，和顺之神也。凡临日入传，主有和合成就之喜。盖阴阳配合，奇偶交求，故凡事皆成也。其名有三。

行合，即三合也。亥卯未木合，主繁冗驳杂；寅午戌火合，主倡党不正；巳酉丑金合，主矫革离异；申子辰水合，主流动无滞。

凡三合入传，主事关牵连，必过月方能了结，又主亲识朋侪众多之应。

凡取成合之期，以三合决之。（如寅、午、戌日，见天空则发，若不见天空，主戌月、戌日成就之例）。

凡三合入传，缺一神，名折腰格，占事必待缺神值日方能成就。亦名虚一待用格。

凡三合入传，缺一神，若日辰偶足之。名凑合格，主有意外和合之事，以所凑乘神决之。（如凑足者是贵人，即主贵人提携之例。）

一千合，即五合也。甲己为中正合，乙庚为仁义合，丙辛为威权合，丁壬为淫泆合，戊癸为无情合。

凡中正合，乘贵人，主贵人成就，见贵得喜。与德神并，能解诸凶；若与阴、后、玄、六相乘於卯、酉，主有贵人奸邪不正之事。

凡仁义合，乘吉神，主内外和合，作事端肃；若乘阴、六、玄、后临卯、酉，主假仁义以行奸邪之事。

凡威权合，乘吉神，主施威德，布号令，观兵耀武；若乘凶神，主挟令凌下，卑幼勉强承顺。

凡淫泆合，乘吉神，主阴谋成事；若乘阴、后、玄、六临卯、酉，主女子淫奔，家门丑行。

凡无情合，乘吉神，占事半实半虚；若乘凶神，主外合中离，百

凡承顺皆是假意。

一支合，即六合也。子与丑合，寅与亥合，卯与戌合，辰与酉合，巳与申合，午与未合。

凡合与德同入传，百事皆吉。即会凶神，亦主凶中和合。

凡合入传，视其进退。传进利进，传退利退，百事如意。

凡寅合亥为破合，巳合申为刑合，主谋事合而不合，成而不成，若得贵、青、德、禄乘之，仍主顺利。

凡合入传，谋事皆成，但不能即时了结。不宜占病占讼。

凡暗中三合、六合，主失脱、藏匿难获。

凡天后、神后作合，占婚立成。二后与阴、合同。

凡刑、破二合发用，主内吉外凶，占事须费力，然终有济。

凡合逢空、落空，又见刑害，主和中藏祸，有德可解。

凡合带刑害，虽乘吉神，其力亦减，但可宛转小用。

凡合克日，或乘蛇、虎、朱雀，主合中有害，不可托人谋干，恐以直信人，反招不足。

右三等合神，以干合为主，支合次之，行合又次之。要与德神、禄、喜临并方为全吉，可制诸凶；若乘凶神，全无吉助，则又与凶合，返为凶矣。凡占宜详之。

凡三合，在课中作干支上神交克干支者，主外合中离，各怀疑忌，或为人挑激，以致不和。（如甲子日干上戌，支上申，干支三合，申克日，戌克辰之例。）

凡支干互合，名同心格，主一切谋望，皆同契齐心成就。若见刑害，又主同心之中暗生妒忌。（如乙酉、丙申、戊申、辛卯、壬寅五日返吟，干支相合，上神亦相合。此五日支加干或干加支，皆干支会合。又如甲申日，亥加干，上神与支干合；乙亥日，卯加干，上神自相合；壬午日，未加干，干上神与支合，支上神与干合之例。）

凡支加干，上神邻近相合，主彼此变换，共相谋事，皆有成就。

(惟壬子、戊午、丙午三日有之。)

凡支加干，上神相合，或干加支，上神相合，亦可共谋成事。(惟丙寅、丙戌、戊戌三日有之。)

凡支干上神相合，又相破，而支干自相害者，主谋事外面假意相成，中心百万暗毒。(惟壬申、戊寅、丙寅日六课。)

凡干支相害，上神相合，无刑破者，主外合中离，凡相成皆是假意，若逢空，仍主暗害。(乙卯、辛酉二日四课。)

凡日干与支上神相合，支辰与干上神相合，名交车格，主交关、交易、交加、交换成合之事。凡值此课，惟利合谋，不利解散。此例，除甲寅、庚申、丁未、己未、癸丑五日，支干同处，交车不合，余则一日一课，有十种分别，占用各随所宜。

一、长生合。宜合本营为。(如甲申日，干上巳为支长生与支合，支上亥为干长生与干合之例。)

二、财合。宜交关取材，或财相交涉。(如辛丑日，干上子为支财与支合，支上卯为干财与干合之例。)

三、脱合。不宜交涉，主彼此各怀相脱之意。(如戊辰日，干上酉脱支与支合，支上申脱干与干合之例。)

四、害合。主彼此合谋，暗中相害。(如丁丑日，干上子害干与支合，支上午害支与干合之例。)

五、空合。主先好后恶，有初无终。(如辛亥日，干上寅空与支合，支上卯空与干合之例。)

六、刑合。主和美中生出生争竞，及彼此各不循理。(如癸卯日，干上戌刑干与支合，支上子刑支与干合之例。)

七、冲合。主先合后离。不论亲疏，五伦皆然。(如甲申日，干上巳与支合，支上亥与干合，巳亥、寅申又相冲之例。)

八、克合。主交涉中生出生争讼，或匿怨相友，笑里藏刀。(如庚子日，干上丑克支与支合，支上巳克干与干合之例。)

九、三交合。凡交关用事，必有奸私，或相交涉二三事。（三交者，孟、仲、季各临孟、种、季也。惟己酉日辰加干、丁卯日戌加干二课。）

十、交会合。主内外相合，或世代义门，更有外人相助。凡占事，事有成，惟忌空亡。（如乙丑日，干上子与支合，支上酉与干合，三传巳丑酉又三合之例。）

鬼

鬼者，贼害之神也。干支之中，阳克阳为鬼，阴克阴为鬼。经曰：传中多鬼，事事不美。谋望不成，凶灾及已。凡昼鬼主公讼是非，夜鬼主神祇妖祟。

凡鬼入传，若日干旺相，及传中、命上见子孙亦不为凶。凡占讼、占病，忌鬼入传、临日。见子孙为救神，减凶。

凡占盗，鬼入传，自相冲，或与盗神相冲，其盗自败，若落空、带合，返难捕捉。

凡干土鬼发，事多不美。若用见德合，犹可望事，求官。

凡传鬼带合，又克日之上神，主求事反复进退而后成。

凡鬼宜衰败，不宜生旺。若鬼当时，亦不为凶。（如甲为戊鬼，若在仲春，木贪生发，返不制土之例。防过时为凶。）

凡鬼发用，又临克日之乡，名攒眉格，占事主有两重不美，即遇救神，推解其一。（如庚辰日午加巳发用之例。）

凡辰上神发用，为日鬼，占事主自家人暗害。

凡鬼多有制，返不为凶，占事未免先值惊危，终乃无畏。若闻人谋害，但是商量，不能为祸。惟白虎发用大有畏惧，要年命上有制虎之神。（如壬辰日遥克，戌加未发用，三传戌丑辰，上下六鬼，干上寅

木制之之例。)

凡鬼发用,是支上神,又引中末入鬼乡,谓之家鬼弄家神,有救无祸,无救有祸。(如己丑日,支上寅发用作鬼,三传寅卯辰皆归木乡之例。此课,干上申制鬼有救。)

凡鬼临日干,得支上神救者,主一切事自外来,要家内人解救。(如癸亥日,辰加干发用为鬼,支上寅制之之例。)

凡鬼发用,生末传作干长生,名鬼脱生格,主一切先凶后吉。(如丙子日,干上子发用为鬼,生末传寅之例。)

凡三传入局为鬼,返生起干上神生干者,主一切返凶为吉。(如庚午日,干上辰,三传戌午寅火局为鬼,生起辰土以生干之例。庚寅、午、戌,乙巳、酉、丑,己巳,七日同。)

凡贵德临身制鬼者返吉。(如乙丑、乙巳二日,酉加巳发用,三传酉丑巳金局为鬼,申加干为德,为贵,初传滕蛇火制鬼,破其局,末传巳返作救神之例。)

凡传鬼为贵人盗气,亦能免祸。(如辛巳日,午加辛发用,三传火局,顺逆贵皆贵,勾、常,盗火气,不能为鬼之例。)

凡传虽脱干,能制暗鬼,名借益格,犹有人来瞧我,恰值我有祸患欲借其力,姑遂其意,用之反有益也。(暗鬼者,贵神克干也,其凶出于明鬼。如壬子日,未加卯发用,三传木局脱干,夜贵贵勾常为鬼,木反制神之例。)

同类受克绝,以神而言:甲、乙日,寅、卯临申、酉;丙、丁日,以巳、午临亥、子;庚、辛日,申、酉临寅、卯;壬、癸日,亥、子临巳、午。

同类受克绝,以将而言:甲、乙日,青龙、六合乘申、酉;丙、丁日,朱雀、蛇乘亥、子;戊己日,贵人、太常、勾陈乘寅、卯;庚、辛日,白虎、太阴乘巳、午;壬、癸日,玄武、天后乘辰、戌、丑、未。

墓

墓者，伏没之神也。五行墓於四季，有阴阳生死之分。阳干死地，即阴干生地，故未为甲、癸之墓，戌为丙、戊、乙之墓，丑为庚、丁、己之墓，辰为壬、辛之墓。此盖戊、己从丙、丁分顺逆，以子依母，以生金也。未为木墓，戌为火墓，丑为金墓，辰为水土墓，此盖单论五行土寄坤，不以干之阴阳分顺逆也。壬课重在日，惟从十干墓，不从五行墓。

凡墓入传临日，主一切闭塞暗昧；壅蔽不通。

凡辰、未为日墓，戌、丑为夜墓。日墓刚速，夜墓柔延。凡墓，朦昧昏暗。若夜墓临日，自暗投明，诸事尚有解救；如日墓临夜，自明投暗，一切愈见模糊。

凡寅加戌，巳加丑、申加辰、亥加未，自生入墓，如人坠井中，呼天不应，占病必死，占贼难获，占行人不来。

日之长生处乘墓。如甲、乙日未临亥，丙、丁日戌临寅，戊、己、壬、癸日辰临申，庚、辛日丑临巳是也。主旧事再发。

长生处自乘墓，主新事废。如甲、乙日辰加亥，丙、丁日未加寅，戊、己、壬、癸日丑加申，庚、辛日戌加巳是也。

天上长生坐墓。如甲、乙日亥临辰，丙、丁日寅临未，戊、己、壬、癸日申临丑，庚、辛日巳临戌是也。主不能生。

以身入墓。如甲、乙日未传遇未，丙、丁日未传遇戌之类。

以魂入墓，即墓神覆日。如甲、乙日未加寅、辰，丙、丁日戌加巳、未之类。

以日入墓，即坐墓。如甲、乙日寅、辰临未，丙、丁日巳、未临戌，戊、己日巳、未临辰，庚、辛日申、戌临丑，壬、癸日亥、丑临辰。

以支戴墓、坐墓。戴墓，如辰加亥、子并辰、戌、丑、未，未加寅、卯、丑加申、酉、戌加巳、午。坐墓，如亥、子并辰、戌、丑、未临辰、寅、卯临未、申、酉临丑、巳、午临戌。

行年化气入墓。如行年立寅、午、戌，化气属火，火墓戌，加戌是也。

年命乘墓、坐墓。如年命在子，辰加子为乘墓，天土子临辰为坐墓。

以鬼入墓。如甲、乙日申、酉加丑，丙、丁日亥、子加辰之类。

凡生旺入墓，成而后败；墓入生旺，败而复成。

凡墓，主暗昧忧郁。若自墓传生，凶中变吉。

凡墓发用，宜日干有气，若无气，占病防死，占讼防屈。

凡中传见墓，百事不顺，进退有悔。

凡末传见墓，百事终无成就。

凡墓，逢冲则吉，逢合则凶。若年命上神能克制之，亦可为救。

破

破者，散也，移也。其法以十二支环列，阳日破后四辰，阴日破前四辰。凡破临日、入传，惟宜散凶事，不宜成吉事。

凡破，占事多中辍，有更改，一切主不完全。

凡午破卯，主门户破败；辰破丑，主墙墓颓圯；酉破子，主阴小灾悔；戌破未，主人物刑伤；亥破寅，申破巳，破中有合，败而复成。六反皆然。（六反，如卯破午、丑破辰之例。）

凡四孟见酉，四仲见巳，四季见丑，名破碎煞，主凡物破损不完。

凡破冲，主人情暗中不顺。占婚，虽强成难久。占产，胎动难生。

若乘喜神、吉神，凡事艰难后遂。若逢空、落空，有声无形。

凡年命上见破，主有伤损。

害

害者，阻也，斗也。其法以十二支，从辰、戌两分。自戌至卯横列于下，自酉至辰横加其上，上下相交，即为六害。凡害临日、入传，事多阻隔。

凡子加未，主事无终始，官非口舌；未加子，主营谋阻滞，暗里生灾。丑加午，主公讼不利，夫妻不和；午加丑，主事不分明，终难成就。寅加巳，主出行改动，退利进阻；巳加寅，主谋事阻难，口舌忧疑。卯加辰，主事有虚争，好中生斗；辰加卯，主求谋多阻，干事无终。酉加戌，主门户损伤，阴小灾疾；戌加酉，主暗中不美，奴婢邪谋。申加亥，主先阻后得，事必有终；亥加申，主图谋未遂，事必无始。

凡害，必无和气，只宜守旧，动即有失。

刑

刑者，伤也，残也。其法以十二支环列，以丑、寅向下两分，隔四刑之，始分而刑三，冲中者自刑；终交而刑二，冲首者自刑。故丑刑戌，戌刑未，未刑辰，辰冲戌为自刑。寅刑巳，巳刑申，申刑亥，亥冲巳为自刑。子刑卯，卯刑午，午冲子为自刑。卯刑子，子刑酉，酉冲卯为自刑。是以辰、亥、午、酉为自刑，子卯、卯子为互刑，丑戌未、寅巳申为朋刑，故曰三刑也。凡朋刑，惟丑能刑戌，戌能刑未，未不能

刑戌，戌不能刑丑；惟寅能刑巳，巳能刑申，申不能刑巳，巳不能刑寅。而世本有以未刑丑，申刑寅者，盖未考冲首为自刑，而误以冲为刑也。凡刑入传、临日，必主伤残。自刑主自逞自作，以致落败，事非顺成，死非正命。

凡互刑，主无礼无义，大荡小淫。子刑卯，死败相刑，门户不正，尊卑不睦。卯刑子，明入晦出，子息不律，水陆不通。

凡朋刑，主无情无恩，威凌势挟。寅刑巳，刑中有害，举动艰难，灾讼骈至。丑刑戌，刑中有鬼，贵贱相侮，病狱交臻。巳刑申，戌刑未，刑中有破，长幼不和，身家零落。

凡刑发用，必见刑伤。刑干忧男，刑支忧女，刑时忧事。

凡时刑日，忧小人；日刑时，忧君子。

凡旺刑衰则福过，死刑旺则祸起。

凡发用刑月建，不可对讼；刑日阴，不可远行；刑干支，诸事不安。干刑应在外，速；支刑应在内，迟。

凡上下相刑发用，又作日鬼，主反复乖戾，公私两忧。

冲

冲者，动也，格也。其法以十二支环列，阴阳各相对为冲，即返吟之例。凡冲日，主身有攸往；冲辰，主宅有动移。

凡冲主动移，反复不宁。子午相加，道路驱逐，男女争交，谋为变迁，举动差失。卯酉相加，分异失脱，更改门户，乘阴临合，淫佚奸私。寅申相加，邪鬼作祟，夫妻异心。巳亥相加，顺去逆来，重求轻得。丑未相加，弟兄两意，谋望无成。辰戌相加，悲喜不明，奴仆逃走。

凡岁、月、日、干支，皆不宜冲（如甲子岁，干上申、支上午之例，

月日仿此)。冲岁，岁中不足。冲月，月中不足。

凡吉神不宜冲，冲则不吉；凶神宜冲，冲则不凶。

(《六壬大全》)

论 向 背

向背，以地盘而言也。吉神得地为向，不得地为背。大端天上神所临之地不宜陷空，不宜入墓，不宜受克制、刑冲、破害，唯得党得照方为有情，方为向我。然其中有正有变。如生我者为恩主，我生者为救神，克我者为鬼贼，我克者为财星，此其正也。唯变而通之，则有见生不生，不如无生者。如木日为水生，若水居旺金之上，水自恋生，不来生我；水居旺土之上，水自受制，不能生我。纵日辰、行年上见之，亦不能生我。若水临空亡，其凶反甚，占父母上人之病主不救，占干求官长亦主徒然。有见克不克，不如从贼者。如木日金为鬼，若金居旺土之上，金自恋生，不来克我；金居旺火之上，金自受克，不能克我；金若陷空，亦不能克我。有见财不财，枉费心怀者。如木日土为财，若土居申、酉之上，为财入鬼乡，不可取也。且居申、酉脱气之上，反有所费。土若居空亦主不吉。有见救不救，灾须自受者。如木日见金，得火为救，若火立旺水之上，火自受克，不能救我；火立旺木之上，亦自恋生，不能为救，反能为灾；若立空亡，无能制鬼，亦不为救。如不见鬼，而有救神，反能为盗也，亦不为吉。有见盗不盗，本根元耗者。如木日见火立水上，火已受克，若坐空亡，火自无力，皆不能为盗，反为吉也。此等凶中有吉，吉中有凶，占宜详究。

凡传课，见父母忧子孙，见兄弟忧妻财，见子孙忧官禄，见妻财忧父母，理固然也。不知财虽入传，或三传纯财，而日辰、年命上无

父母爻，未可便言父母有灾，惟日辰、年命上先有父母爻，而后传财，方可言父母、上人有灾，或求财有防生计，或有妻妾悖逆翁姑。若日上乘官鬼，能生父母，盗其财爻，而父母反无咎矣。又如传见父母，而日辰、年命上见兄弟，则子孙无忧。又如传见子孙，而财临日辰，则子孙受泄，惟主迁官、应试；占讼有罪，问病难苏。又如传见官鬼，而父母临干，则已身及兄弟无忧。又如传见兄弟，而子孙临干，则子孙受生，兄弟受泄，而妻反无恙，则益丰盈矣。

（纪氏《六壬类聚》）

旬 空

凡天盘作空，是转动则实，乃游行空，吉凶事常主七八分。凡地盘作空，乃落地空，吉凶事常主十分。凡吉将吉神，生益我者，皆不宜空；凶将凶神，贼害我者，皆喜其空。惟太岁、月建、月将、行年、本命皆不论空，惟占时值空，主事不成。又日干不论地盘空，而天盘仍以空论。如甲子旬中壬申日，壬课在亥，而地盘亥上不作空论，惟天盘之亥为日禄，仍以空论也。

（纪氏《六壬类聚》）

空即旬空。消极事宜空，积极事不宜空。

日上神为空，且乘天空，占事全无实象。

占仕宦，忌官鬼爻空。占父母病，忌父母爻空。余可类推。

进连珠，初中传遇空，宜退步。退连珠，初中传遇空，宜进行。

日辰上神俱值空亡，宜解散，不宜谋为。占病，久病者死，新病者愈。

凶神宜空，空则不凶。吉神不宜空，空则不吉。

尽艰难而后成，若逢空落空，则有声无形。

年命上见破，主有伤损。

（《六壬秘笈》）

释论四时旺相

五行俱旺四时中。

此说不论春木、夏火、秋金、冬水四时得令为旺。且如寅木加亥，虽七月占，更三传水旺生木，便言木旺，不可言七月金旺木绝也。此言五行，四时有旺有衰也。

莫指东方木旺春。

木虽逢春令，如甲、乙、寅、卯木坐于庚、辛、申、酉金，又三传克剥，虽春占，亦不可以旺言也。此言五行四时常旺、常衰不可执于一端，但坐处逢生得地即为旺，受制失地即为衰。鬼不旺吉，反此凶矣。

用神旺处鬼无克，自然凶祸不为殃。

言克今日鬼，若更初传生鬼，便是鬼有气，若初传克鬼生日，便是我有气也。盖初传生我则吉，虽有克处，不敢伤害我也。又看坐处，同断。

（《五变中黄经》）

衰 旺

生、克、合、冲，皆须以衰旺揆之，此亦大旨也。干衰宜生，相亦宜生，旺则不必生，生之如锦上添花，于我何益？干衰忌克，旺则不忌克，克之如坚石受磨，于我何损？类神亦宜作如是观。常占以生

干为福星，福星衰宜逢生，相亦宜生，旺则不宜生，生之则彼更荣显，岂肯佑我？官占以克干为官星，官星衰宜生，相亦宜生，旺不宜生，生之则我不能当其克，应作灾祸看。

合神衰者，不能成合，旺相者方能成合。冲神衰者，不能冲动，旺相者方能冲动。

（《六壬秘笈》）

论 聚 散

以天时而言，得令有气为聚，不得令无气为散。大端相气更吉于旺气。如现在之季生我，不过取眼前吉，后季生我，福祉非常。然而有正有变，未可执一。如凡喜聚，俱以四季时令详之，此其正也。然占进用事，则以课传有气为吉，若占解散事，则反取无气，此为变也一。占远大事，但以四时时令为主。若射覆等小事，一时俱用，其衰旺只以日干而言，不须看大时令。凡二日二十四时，各有旺相休囚衰死，过二日而又换也。如甲乙日，即以木旺、火相、水休、金囚、土死详之。变二。又有不执定本支五行，专看初建与复建，干多者为聚，干少者为散。初建者，日干五子元遁是也。复建者，时干五子元遁是也。如巳、午本火，上下壬、癸，又临水乡，即从水论。又如丁亥，春夏从火，秋冬从水，若临火地，还从火论，临水仍从水论也。变三。

（《六壬视斯》）

已往未来

用神临干前，为已往；临干后，为未来；临干，为当时事。如甲日，辰加卯为用，为已往；戌加子为用，为未来。

用起休囚死，为已往；相气为未来；旺气为当时事。

占灾患，视天罡。罡临干前，为已往；干后，为未来；临干，为当时事，只在朝夕间也。如罡离干四位，无灾。

（《太壬秘笈》）

论应期

占事尚应期，证其验也。有取决于五行者，

谓水一、火二、木三、金四、土五是也。

有取决于先天数者，

谓巳、亥四，辰、戌五，卯、酉六，寅、申七，丑、未八，子、午九。

有取决于末传者，

谓事吉，取末传合处所临之神为成期；事凶，取末传冲处所临之神为散期。

然皆不若决之于发用。

如发用是日，即日应；是辰，旬内应；太岁一年，月建一月，四正季内，正时因前，节应半月，候应五日。大抵用起第一二课，天乙顺行，在贵神前者，应事必速。用起第三四课，天乙逆行，在贵神后者，应事必缓。第四课发用为暮越，应事不可测度，暮然而成，多为他人。

迟速日期，各循用而至。独应期，神之说，则又在所不必拘者。

用起亥子，则以丑上神为应期；寅卯，取辰上；巳午，取未上；申酉，取戌上。

至若关格之课，则又在所当参看者也。

辰加子为天关，加午为地关，加卯为天格，加酉为地格。凡所为之事，遇天关，必因天时而格；遇地关，必因地理而格。

念四节共七十二候，一节三候，故云候应五日也。

（《大六壬类聚》）

占事之临期应验，当决诸末传。如吉事，取末传合处所临神以定成期；凶事，取末传冲处所临神以定散期。旺相应速，休囚应迟。在日前者应速，在日后者应迟。空亡则不应也。

一云凶事取刑墓绝，吉事取生合旺，皆求末传所冲合神临处言之。

一云末传之阴冲合之日言期，或墓神对冲之日上下之辰以定期。

一云阳神取绝日，阴神取墓日言期。

一成合之期，用三合末日，取天将临处以言其期，如寅午戌日，三合之末乃戌，戌配天空，视天空所在，入课传者为的；否则，视戌所临处亦是。其他三合日可仿此。

一用起申酉，取戌上得何神以言其期，言此一气联珠，从末日上所临神为期应是也。余五行一气，末日可仿此推。

古歌云：用传申酉戌为期，亥子须从丑上推。寅卯不离辰上用，方知巳午未当时。土神四季前为用，此课传人可指迷。

一间传，名折腰三合，看中传对冲一辰为成就之期，谓之虚一待用。

远信章曰：

远信月将加正时，日上阴神是信期。信见临官并帝旺，家神无

气信方归。

试问文书何日降，朱雀合处求马上。合神绝处用为真，不见之时不足尚。

马动临支占远信，忽然合日行人应。但将用墓作归期，百发百中无差径。

所用克期去几时，各于合绝上推之，行人行马于巳上，合申绝亥是归期。

凡成合之期，如寅午戌日要见天空，无天空则候戌月就也。

（《大六壬类聚》）

大都事端之吉凶起处，专看发用，而吉之成合与凶之究竟散期，皆决于末传。

如春占，发用见寅、卯，主事在即近；见巳、午，主事在方来。

用起太岁，则吉凶应在岁内。用起月建，应在月内。用起日干，应在即日。用起日支，亦应在即日。用起旬首，应在一句。若非旬首，即当从本日支次第推之。如丑日，用起于寅，则应在第二日；用起于卯，则应在第三日，递而推之可也。二十四气，每一气管十五日，占日若得交气之日支发用，则应在本气日内。如初二日丙子立春，初六日庚辰占课，以巳加庚发用，将得勾陈，主争田宅斗讼，在十六日庚寅以前应之。又一气分三候，共七十二候，每候五日，以立春为始。如发用在每候之头一日，则应在本候五日之内。如发用在立春、立夏、立秋、立冬之日，则应在一季之内。如用起正时，则应在本时。（此系事无吉凶，乃平常之占，而取其应期也。）

一法以用神之上下为月期，以占日爱恶之神为日期。吉课，以占日生我者为爱神。凶课，以占日克我者为恶神。如吉课，戊、己日占，以卯加辰为用，则月期在二月，以二月建卯故也；不在二月，当在三月，以卯加辰故也。其日期宜在丙、丁之日，以丙、丁能生戊、己，此即以占日之爱神为日期也。又如凶课，甲、乙日占，以巳加申

为用，则月期在四月，以四月建巳故也；若四月不应，当在七月，以巳加申故也。其日期则在庚、辛之日，以庚、辛能克甲、乙，此即以占日之恶神为日期也。（此系事之吉凶未见，而先定其应期也。）

末传为结局之期。占凶事，以末传之冲处为散期；占吉事，以末传之合处为成期。然又当看旺相休囚之气而变通之。（此系事之吉凶已见，而定其结局之应期也。）

又一法，以用起阳神，取其绝日为验；用起阴神，取其墓日为验。（此系凡占结绝事情，皆用此法以取应期也。）

三合课，各以墓为期。如三合少一字，则以少一字为期。如寅午戌课中，有寅、午，无戌，又见天空，直候至戌月、戌日方可成就。

又如间传课，名折腰三合，待中传对冲之神为克应之日，谓之虚一待用。

若看远期，当于太岁上之天神详之。如正月占课，以巳加太岁之上，则事在四月，为未来；以亥加太岁之上，则事在去年十月，为过去。（此占过去未来之期也。）

（纪氏《六壬类聚》）

太岁为一年之宰，月建持一月之权。太岁为用，应在一年之内。月建为用，应在一月之内。如己末年占得己未为用，丙寅月占得丙寅为用是也。节气为用，应在半月之内。如甲子日立春，正月节，己卯日雨水，正月中气，占得甲子、己卯为用是也。旬首为用，应在本旬之内。如甲子旬，占得甲子为用是也。候首为用，应在五日之内。候首，一候之首神也。五日为一候，一节一气各三候，一月六候，一年七十二候，即月令也。推算之法，以一节之第一日为候，第六日为第二候，十一日为三候之类。一节一气，间有缩一日、盈一日者，总依节气为始终。闰月，节前归上月算，节后归下月算。本日日干为用，应在本日。支辰为用，应在旬内。正时为用，应在当时。

有取用神临官为应期者。如甲子日，寅加未为用，应在未年月

日。乙丑日，寅加酉为用，应在酉年月日。

有视用神逢生、逢合、逢冲、逢绝、逢墓日者。如甲子日，甲子加丑为用，本旬壬申日干支皆受生，应在壬申日。丙寅日，戊辰加寅为用，本旬癸酉日干支皆合，应在癸酉日。乙未日，乙巳加子为用，次旬辛亥日干支受克逢绝，应在辛亥日。亦有视干不视支，止视支不视干者。如戊辰为用，逢癸逢酉便为合者，不必癸酉日；乙巳为用，逢辛逢亥便为克绝，不必辛亥日。又如用神申、酉，应期在丑，丑为金之墓也，终之。用神衰废者，应期取生；旺相者，取合取绝；旺而又值生者，嫌其太旺，故必取墓也。

干支各乘三合，又交互六合者，专取用神为应期。盖重重作合，合而不动，而用为事始，则用实为动机也。如占机缘，壬子年十二月乙丑日巳时，丑将，三传巳丑酉。巳值衰令，应期在次年巳月日。

干支各乘三合，互相冲克者，干二课为用，仍视用神；支二课为用，则不视用神，专取干上神为应期。盖干支既不和，则舍彼而视此也。如占干贵，庚申年正月丁巳日申时，子将，三传酉丑巳。干支上互冲互克，支二课为用，三传毫无益处，而干上亥卯会局生干，亥为德合贵人，临未，应期在当年未月日。

三传三合者，取三合上神为应期。如戊午日，寅加戌为用，三传寅午戌，应在戌月日。

三传缺一神，以缺神值月日，或缺神临宫月日视应期。逢日辰正神偶足之，以足神值月日，或足神临宫月日为应期。

三合间一神，以间神受克受冲之日为应期。克之冲之之神，须出现方验。出现者，在干上、年命上也。

有视末传者。占吉事，视末传之合神，合神临何宫，即主何日成就。占凶事，视末传之冲神，冲神临何宫，即主何月日解散。

古人于应期，每视用神，不视末传，末传偶一视之而已。余深思其旨，用为事之始，末为事之终，而凡占皆属未来，则应期实为事之

始，自宜视用，不宜视末也。惟吉事已动，凶事已萌之际，占之，应期宜视末传耳。

有视生日、克日者。占吉事，生日之神临何宫，即主何日喜至。占凶事，克日之神临何宫，即主何日祸发。

有以合住类神为应期者。如占谒贵，庚午日，子加辰为用，与丑贵六合，主子、丑日相见。又如丙寅日，辰加卯为用，与酉贵六合，酉临申，主申日相见。干支上作合者，即视干支上。如占行人，丙午日，干上午与支上未六合，未临午，当于戊午日到。乙巳日，干上午与支上未六合，未临巳，当与后甲辰旬中乙巳日到。

有以克制类神为应期者。如占病，乙未日，巳加子为用，克制干上酉鬼，主巳月日痊。甲戌日，午加申为用，克制支上申鬼，主午月日痊。

有以类神逢墓、逢绝为应期者。如占子病，甲子日，辰加子为用，三传辰申子并力克干上午火子孙，势在必死。午墓戌、绝亥，当死于甲戌日亥时。

欲克应期，须先审干支、用神、类神之衰旺。旺相，应期速。衰与废，须俟逢旺始应。若结局不紧者，吉事无成，凶事不发，竟无应期。更须详亲疏、远近、已往、未来。亲近者应速，疏远者应迟。未来者有应期，已往者否。至用神、类神值旬空者，旺相而结局紧，换旬填实即应；衰废而结局紧，徐俟逢旺填实始应。若神既衰废，局又散漫者，必无应期。

（《六壬秘笈》节录）

进 退

传进为进，传退为退。进空宜退，退空宜进。又观三传，吉则宜

进，凶则宜退。

(纪氏《六壬类聚》)

拟 《易》

六壬与《易》无殊。《易》以阴阳消长，明进退存亡之道。六壬以日干为本，生克为端，生即阳，克即阴，生即长，克即消也。干上吉，支上凶，三传凶者，宜静、宜守。干上凶，支上吉，三传吉者，宜动、宜行。此即进退存亡之道也。故深于易者，见六壬而洞然；深于六壬者，见易亦可悟也。

数 目

水一，火二，木三，金四，土五，此五行本数。甲己子午九，乙庚丑未八，丙辛寅申七，丁壬卯酉六，戊癸辰戌五，己亥四，此干支本数。天后朱雀九，贵人太常八，青龙白虎七，六合太阴六，勾陈天空五，腾蛇元武四，此天将本数。值时令相气，以本数论；旺气，加倍论；休、囚、死皆为衰，衰则减半论。临占先定类神，以类神天地盘上下相乘作数。亦有不视上下，而以类神之通于天将相乘作数者，又有不取相乘，而以类神之通于天将相并作数者。要随机酌断，未可拘泥也。至数之多寡，是十是百，数之尾零，几分几厘，皆无定计，亦随机酌断可也。

如占财，七月壬戌日子时，午将，巳加壬为用。巳数四，休气减半，壬数六，上下相乘，一百二十两。丁数六，休气减半，壬数六，上下相乘，一百八十。又如丙辰年九月乙卯日卯时，辰将，辰加卯为

用。辰数五，系太岁、月将，以极旺论，加倍论作一千。乘勾陈，亦为财。勾数五，与辰相并，作一千五百断。但干支同类，两分其财而各争之，故中分之，不过七百有零。

占道理远近，视道路神，或视二马，相乘、相并定其数。如四月乙酉日，酉将，戌时，占贵人。子乘贵人，加丑。子天马，阴见亥。驿马遁丁，则远来而到速，明矣。既见二马，即当以二马相乘。子数九，亥数四，相乘三千六百里。衰气减半，一千八百里断。

占官，以官星上下相乘、相并定其品。如相乘得四数，则以四品断；相乘得四十八数，则以从四品断。若逢三光、三阳、轩盖、龙德、时泰诸大吉课，应以极品断，不心拘定官星之传。

若三传三合局，作财星、官星者，竟按水一、火二、木三、金四、土五断之，不必上下相乘。至占道里，仍相乘、相并为准。

众 寡

干在空乡，为孤立之象，而无相助之人。如庚辰日，干在空乡是也。若辰加干，主孤立之际，有相契之人来扶，辰为日三合生干也；若午加干，主立孤之际，又遭厄难，午为日鬼克干也。

干支三传作三合局者，皆以众言。

三传三神同气，如辰未戌之类，两神同气，如卯寅之类，亦以众言。比肩加干，兄弟、朋侪之众，如乙日干上卯，干阴寅之类。

返吟连茹，为牵连之众。

河魁有部领之权，为用，亦以众言；如乘勾陈，主凶徒集众为妖。

合 冲

合则视冲，冲则视合，此六壬之大目。盖合则不动，故须视冲；冲则将散，故须视合。然冲神、合神必须出现。若不出现，而以月日冲合推取，百无一验。

动 静

生合克冲，更须以动静揆之，此亦大目也。动者，类神为用。静者，类神而不为用也。神吉，动静皆宜生，不宜克，生则吉增，克则吉减。神凶，动静皆宜克，不宜生，克则凶消，生则凶很。神吉，动静皆不宜合，合则伏而不发。神凶，动静皆宜合，合则祸可消弭矣。神吉，动不宜冲，静宜冲。神凶，动宜冲，静不宜冲。

数 事

一课占数事者，古人原有此法。舍却课传，就盘内类神推看而已。如一课既问求财，又问娶妾，又问疾病，则于盘内，看财爻不空亡，与命上生合者，求财必得，否则无望；太阴乘神不空亡，与命上生合者，娶妾必得，否则无成；白虎乘神旺相者病重，虎阴有制无妨，无制者凶。

数 人

一课数人同占者，古亦有此法。亦舍课传，就盘内各本命推看。如举子数人同占一课，问何人中，于盘内看各本命，得朱雀乘神生合本命，或两贵拱夹其命，或贵人加命，或德禄加命者，此人必中。若命上见刑害之神，乘凶将者，与人必不能中。

（《六壬秘笈》）

心 印 赋

六壬如人，先明日辰。以月将加占时之上，视阴阳为四课之分。贼克为初用之始，相因作中末之身。克多此用涉害，无克是以遥嗔。夫昴星当俯仰于酉上，若别责取干支之合神。伏返以刑冲为定，八专以逆顺为真。天乙居中，后六前五。解纷必囑事于童仆。

贵人居子名曰解纷，言解除纷纭扰攘也。盖子乃夜半安居之神，故得解去纷扰而坦腹。然既为至贵，日有万几，虽非君象，贵臣宰辅，代天宣化，事亦同天子之劳，恐其繁芜脱漏，故囑委于有用之童仆，庶不负国瘼民矣。

升堂宜投书于公府。

贵人居丑曰升堂，乃本位属己丑故也。升堂则有泰山岩岩之象，非可私干。必欲见之，宜持书或移文，必以正大光明，然后可于公堂府第见之。

凭几可谒见于家。

贵人居寅曰凭几。盖功曹乃案牍琐碎之象，贵人有暇必亲于典

籍也。当此有可乘之机，虽细务亦可相干，可就私第谒之，而非公堂之比也。

登车宜诉词于路。

贵人居卯曰登车。卯乃轩车之象。既升车，则非私家，又非公署，若非紧急之事，岂可唐突于贵人之前耶？若讼被屈，若遭豪暴，非陈诉于有位之正人，何能雪斯沉辱？故不得不俯于路而哀达其情也。

巳午受贡兮，君喜臣欢；

贵人居巳、午曰受贡，乃相生助，而非不遂之方。既贡，则以贱事贵，以贵下贱，君喜臣悦，忘其授受之私，贡者受者俱不越度之象也。

辰戌怀怒兮，下忧上辱。

贵人居辰曰天牢，居戌曰地狱。非法之地，必非法之人而后入之，何贵人而居此乎？文王羑里，亦莫非天所使耳。在上者有此非常之辱，则俯仰于彼者乌得不忧乎？

移途则有求干之荣，

贵人居申曰移途。盖传送乃道路之神，贵人在道，嬉戏游衍时也。因而获便以求其进用之私，乘间而行，必荣遂矣。

列席则有酒筵之娱。

贵人居未曰列席。盖未乃夜贵，二贵相会，贵入贵家，故有宴会之象。托贵以干贵，事无不遂矣。

还绛宫坦然安居，

贵人居亥曰还绛宫，又曰登天门。此时六凶俱藏。盖腾蛇、朱雀之火而伏于水，勾陈、天空之土而伏于木，白虎之金而伏于火，元武之水而伏于土。且亥乃夜方，日之劳扰者，至此而坦然安居矣。

入私室不遑宁处。

贵人居酉曰入私室。盖酉为日月出入之门，有私门之号也。夫贵人达而在上，致君泽民，律身行己，自当持以至公。难进易退，若趋谒于私门，则律己不正，而清论所不容矣，岂遽宁处耶？

但见腾蛇，惊疑扰乱。

前一腾蛇，乃丁巳火神也，主火烧、惊疑、忧恐、怪异，盖凶神也。以其离贵人前一位，故曰前一也。

掩目则无患无忧。

腾蛇居子曰掩目。不惟子水克腾蛇之巳火，而居夜方，有掩目之象，蟠伏栖息之时。其凶焰无所施，无患无忧矣。

蟠龟则祸消福善。

腾蛇居丑曰蟠龟。盖丑中有暗禽星龟也。夫蛇与龟腾，亦离坎交济之象，岂复有祸心于人哉？是以祸消。占者修善以立身，斯福不穷也。

生角露齿，祸福两途；

腾蛇居寅曰生角。盖火生于寅，荣旺之极，化蛟化龙，此为之基。贪荣不祸，是以为福。居酉曰露齿。盖火制金乡，猖獗得志之地。且金石空地无食，彼蛇肆毒贪饕，求口腹之计，为祸岂浅？得此者，退藏于密可也。

乘雾飞空，休祥不辨。

腾蛇居巳曰乘雾。以雾为隐，虽毒，目无所见，毒不得肆矣，得此者仍宜避之。盖雾之蒙彼，固目迷矣，而我至此，独不迷哉？倘误犯之，为其所噬，悔何及矣！居午曰飞空，以蛇飞空化龙化蜃之象也。彼有此大志，始有此大为，岂复毒人？纵彼不毒，在我仍宜避之，斯不失为明哲。

入林兮，锋不可砍；

腾蛇居未曰入林。未乃木墓，以土有木，非林之象乎？林麓栖

止。既有所蔽，其穴必深，虽有刀锋无所施其利也。彼滕蛇有此优游之乐，必无肆祸之心，占者无所忌矣。然逢林有蛇，还当莫入。

堕水兮，从心无患。

滕蛇居亥曰堕水。蛇能水居，则随波逐流，鱼虾为食，似无横路毒人之欲也。在我则任其往返周旋，岂不从心所欲哉！

当门而衔剑总是成灾，

滕蛇居卯曰当门。卯乃日月之门。蛇当门，则出门即被其害，然有备者无患也。得此者预为之计，则不待彼奋起而攻其不意。若趋而不顾，斯堕其害矣。居申日衔剑。申，金刃之象也。金刃乃斫伐之物，而胡为彼所衔哉？盖火能克金，得以猖獗逞妖。剑，盖异且妖之象。占得者惟潜而避之。彼凶不能久，妖气息而吾乃无患也。

入冢而象龙并为释难。

滕蛇居戌曰入冢。戌乃火库墓也，为蛇入墓之象。彼深居而简出，我往过，虽不免小心翼翼，而彼非蟠伏路途之比矣。居辰曰象龙。蛇乃龙之从也，有化之机，若入龙之窟，有随进化之义。夫彼贪上达，必热于中，岂复深为我患哉？故可释难。

朱雀南方，文书可防。

前二朱雀，乃丙午火神也，故曰南方，主文书、词讼、章奏、口舌之神，火光怪异。去贵人二位，故曰前二。

损羽也，自伤难进；

朱雀居子曰损羽。朱雀乃丙午火，而加临水乡，有损羽之象。羽翼不成，进飞必难矣。占得此者，文书无气，而口舌词讼不凶也。

掩目也，动静得昌。

朱雀居丑曰掩目。丑亦北方水气之余，制朱雀之火，有投江破

头之喻。盖彼既目暝，吾得有为矣，动静俱吉，无口舌之扰，讼惠而文书不行也。

安巢兮，迟滞沉溺；

朱雀居寅、卯曰安巢。盖二木皆火生助之神，且有山林之象。雀至山林，结巢砌垒，育子贪荣，占者所喜，有口舌消亡之义，而曰迟滞沉溺者，盖卜文书、章奏之事，则未免于淹滞而沉溺也。

投网兮，乖错遗忘。

朱雀居辰戌曰投网。辰戌名天罗地网，且戌为朱雀火之库，而辰与戌对宫，有丘墓之象，故曰投网。夫朱雀之凶，入此不得飞扬，占者之所喜也，胡曰乖错遗忘？亦指文书之事言之耳。

励嘴衔符，怪异经官语讼；

朱雀居申曰励嘴。申，金也，朱雀至此能克制其方，得志之处也。励嘴奋啄，所以口舌尤旺也。望文书，固有气，而他占则讼诉之象，凶不可免矣。居午曰衔符，古名真朱雀，有非细之讼，常人之忧也，若士子入场，斯高中矣。

临坟入水，悲哀且在鸡窗。

朱雀居未曰临坟，言其结巢于古墓之象。夫巳、午、未、申俱在上，有飞空而翱翔之义，朱雀得肆时也，主口舌不细，故曰悲哀。妻孥乌有不悲者哉？居亥曰入水。火入水乡，有投江之象，乃甚喜矣，凶神无气，何曰悲哀？盖亦指文书动用而言耳。若有急用文词，不能得用，亦悲也。

官灾起，盖因夜噪；

朱雀居酉曰夜噪。亦火制金乡，得以奋志为恶，其性好乱，便生口舌。得此者，必官非不免。又且酉为门户，口舌入门，非官灾而何？

音信至，都缘昼翔。

朱雀居巳曰昼翔。以巳、未交午，乃白昼之象。雀至此，最为有

气，占凶则口舌、词讼，占喜则起用文书。望人、信息俱至。
粤有六合之神，婚姻佳会。

前三六合，乃乙卯木神也，主和合、成就、宴会、婚姻，又名私门。以其离贵人三位，故曰前三。

待命和同，

六合居亥曰待命。亥乃天门也，我欲成就公私事端，而来天门之下待命。必成，故曰和同。

不谐惊悸。

六合居巳曰不谐。盖六合，木也，入于火乡烟灭灰飞，不吉甚矣。占得此者，恐惧不免。

反目兮，无礼之事端；

六合居子曰反目。子，水也。六合木，本相生助，何乃曰反目耶？盖子卯无礼之刑也。凡事必起于无礼，以致彼此不投，而有反目之失。

私窳兮，不明之囚地。

六合居酉曰私窳。以卯、酉为私门，而六合又乙卯之属，以私并私，以门复门，乃出入私门，逃窳之象。且六合之木而临从魁之金，木受金伤，故曰囚地。重复私阴，故曰不明。得此者，惟奸淫阴私是利，而正大反映也。

乘轩结发，从媒妁而成欢；

六合居寅曰乘轩，居申曰结发。盖寅木乃轩车之象，故曰乘轩；申乃庚也，卯乃乙也，乙庚相合，故曰结发。似从媒妁之言，而有成欢之庆矣。

违礼亡羞，因妄冒而加罪。

六合居辰曰违礼，居戌曰亡羞。盖六合本属乙卯，卯辰有六害之凶，故曰违礼；若临戌，则以己之私门而自就戌，以为六合，苟求合会，亡羞之似。占得此者，必因不自检约以招罪愆，非干

人之害我也。

升堂入室，并为已就之占；

六合居午曰升堂，居卯曰入室。午乃离位，似为升堂。卯则六合之本位，故似入室。二者合于堂，合于室，岂非已就乎？凡占得此，皆可成遂。

纳彩妆严，总是欲成之例。

六合居未曰纳彩，居丑曰妆严。六合临丑，乃贵之本垣也。以贱谒贵，妆饰不得不严，所以事上也。居未，乃卯未有相合之庆，且太常、酒食、帛物之乡，似纳彩之喜也。占得之者，何事不可成耶？

或逢勾陈发用，必然斗讼争官。

前四勾陈，乃戊辰土神也，主征伐、战斗、词讼、争论田土之事。以其去贵人四位，故曰前四。

更遇受越投机，被辱暗遭毒害。

勾陈居丑曰受越，居子曰投机。丑乃贵人之乡，以争神而入贵地，乃受其远越之诉讼，而勾陈得肆其侮于人也。若至子，乃土能克制之，适所以投其狂妄之机，尤可以展布其忿忿之心。占得之者，亦惟忍而已矣。

遭囚兮，宜上书；

勾陈居寅曰遭囚。勾陈遇寅，乃克制之方，故有遭囚之象。宜上书者，彼凶既囚，而我得以上言告发其积害成愆之状。若不于此制之，则过此仍肆虐焰，而物受其害矣。

捧印兮，有封拜。

勾陈居巳曰捧印。巳乃铸印之方，而勾陈，铸印之模范也。印铸既成，捧以奉上，非封拜之象乎？君子见之，迁擢必速。常人见之，反为可忧，自非有不法等情，何干於印信也？

临门兮，家不和；

勾陈居卯曰临门。卯本日月之门，而勾陈争斗之神入之，是争神进门矣，必家不和，以致抢攘纷更，人鬻匪宁。盖亦破败之征矣。

披刃兮，身遭责。

勾陈居酉曰披刃。以酉金，似为凶器矣，况又阴爻肃杀之气，与勾陈之戊辰生合。彼凶斗之神而持此器，岂有善念哉？然非理之举，法所不容，终於遭责，占者惟避其凶可也。

升堂有狱吏以勾连，

勾陈居辰曰升堂。勾陈本属戊辰，而入辰，非升堂而何？其神主斗讼勾连，故至辰地，则有狱吏勾连之应。知机君子，生平无非礼之举，不过因他人之不法而及之耳。

反目因他人而逆戾。

勾陈居午曰反目。午火生勾陈，而何曰反目耶？以勾陈好斗讼，而午火真朱雀，尤讼之最者也。彼此皆反面相贼之人，孰肯相容耶？故有反目之象。君子占之，必被他人之逆戾余波以及之耳。

入驿下狱，往来词讼稽留；

勾陈居未曰入驿，居戌曰下狱。未乃坦途，如驿道也，故曰入驿。戌乃地网，又曰地狱，况与勾陈之戊辰对相冲射，乃下狱之象也，非词讼之往来而何？占者惟退避则吉。

趋户褰裳，反复勾连改革。

勾陈居申曰趋户，居亥曰褰裳。夫申，非门户之神，何以趋户目之？盖申前即酉户也，立此可以入门，故曰趋户。至亥而褰裳者，亥方夜静更阑，必褰衣而憩息。然曰勾连反复者，申为坤，地户也；亥为乾，天门也。门户之前伺立此等凶神，君子至此即返而抽身，稍迟则被彼勾执矣。

青龙财喜，虽主亨通，

青龙，前五甲寅木神也，主财帛、米谷、喜庆、亨通。十二神中，惟此最吉，增福解祸。以其去贵人五位，故曰前五也。

在陆蟠泥，所谋未遂。

青龙居未曰在陆，居丑曰蟠泥。未近南离之火，故为陆；丑近北坎之水，故为泥。夫龙，飞於九天，潜於九渊，神变化而莫测也，若失地，亦厄且困矣。蟠於泥，在於陆，非失地而何？欲望其遂也，难矣！

登魁兮，小人争财；

青龙居戌曰登魁，戌乃可魁也。以青龙之吉神而入网罗之地，则小人争财之象矣。由财喜之神落此，所以致小人之争也。

飞天兮，君子欲动。

青龙居辰曰飞天，以辰乃龙庭也。而曰天者，戌、亥、子、丑象地，在下也，辰、巳、午、未象天，在上也，故曰飞天。青龙吉神，飞腾在上，君子有为之时也，非欲动乎？

乘云驱雷，利以经营；

青龙在寅曰乘云，居卯曰驱雷。寅乃青龙之宫，有乘云出入之象，所谓云从龙也。卯乃震卦，震为雷。龙得云雷，非经营之时乎？故驱雷乘云，而得以施为展布。

伤鳞摧角，宜乎安静。

青龙居申曰伤鳞，居酉曰摧角。申乃阳金，酉乃阴金，金能克木，青龙之甲寅所深畏也，至此有退鳞折角之象。吉神遭厄，岂福佑於我也？惟安居安静而已。

烧身掩目，因财有不测之忧；

青龙居午曰烧身，居巳曰掩目。以青龙之木，得木为喜，而见火为仇。巳上入蛇穴，尤为不吉，故有掩目之象。午乃南离真火，故曰烧身。青龙有此不足，尚可赖之为财神歟？若求谋财物，有不测之忧矣。

入海游江，因动有非常之庆。

青龙居子曰入海，居亥曰游江。盖俱水也。青龙得水，何吉不生，福佑斯民。占者动则有非常之庆矣。

后一天后之神，蔽匿阴私之妇。

后一天后，壬子水神也，主阴私暧昧之事，蔽匿秽污之神，性似柔而实刚。以其后贵一位，故曰后一。

守闺治事，动止多宜；

天后居子曰守闺，居亥曰治事。天后，妇人之象也。壬子乃天后之本宫，故象守闺阁也。亥乃乾健自强不息之地，有治事持家克勤之道。二者动止相宜，得其道之正，且当旺相，其庆深矣。

倚户临门，奸淫未足。

天后居酉曰倚户，居卯曰临门。以秽污之神而入卯、酉之私门，非淫奔之象乎？除奸私以外，而正大之举反见为殃矣。

褰帟伏枕，非叹息而呻吟；

天后居戌曰褰帟，居午曰伏枕。盖戌土克水，病之象也，且戌，昏之时，有褰帟之象。午乃昼长午寐之时，故曰伏枕。二者皆卧而不快，故曰叹息呻吟，非病即事不遂也。

裸体毁妆，不悲哭而羞辱。

天后居巳曰裸体，居辰曰毁妆。壬子遇巳，有暴露之伤，为刑克之地，故曰裸体。辰为水之克贼，天后至此而毁妆。形体裸露而见伤，毁妆易容而不饰，非羞辱而何也？占得此者，悲灾必矣。

优游闲暇，盖因理发修容；

天后居寅曰理发，居申曰修容。平旦而早起，理发时也；日晡而容残，妆退时也，故有理发修容之义。二者非不遂也，且水与木金不克，故主优游闲暇，乐其平和也。

悚惧惊惶，缘为偷窥沐浴。

天后居丑曰偷窥，居未曰沐浴。以天后之子，与丑为六合，有私昵之情，窥之恐人知，是以偷窥。未有井宿，而壬子入之，有沐浴之象，浴则畏人至矣。二者皆有疑惧之心，故曰悚惧惊惶。

太阴所为蔽匿，祸福其来不明。

后二太阴，辛酉金神也，主阴私蔽匿、奸邪淫乱、暗昧不明，又为冥冥中之默助。以其后於贵人二位，故曰后二。

垂帘则妾妇相侮，

太阴居子曰垂帘。子，正北也。端门向明，垂帘昏夜无见，所以妾妇居阴位，得肆其慢上之心而欺侮之。不过群小别地生非而已。

入内则尊贵相蒙。

太阴居丑曰入内。丑乃斗牛之墟，天乙贵人之位也，至尊而受此阴蒙，则蔽其明矣，乱之始也。君子必谨焉。

被察兮，当忧怪异；

太阴居戌曰被察。盖太阴之辛酉，与戌六害，且河魁刑狱之方，非被纠之象乎？欲饰其非，则愈怪且异矣，故当忧也。

造庭兮，宜备乖争。

太阴居辰曰造庭。夫辰，乃龙庭也，且与酉合，而太阴之妖媚必与天罡相得。然彼刚之眷宠必夙，亦未常无也，乌得不争宠而乖变哉？

跣足脱巾，财物文书暗动；

太阴居寅曰跣足，居午曰脱巾。盖寅方平旦晨起之时，有跣足之象。午则长昼昼眠，亦必有脱巾者矣。然太阴之金能克寅木为财，而午则朱雀反制太阴，二者乃财物、文书俱暗中动也。

裸形伏枕，盗贼口舌忧惊。

太阴居亥曰裸形，居巳曰伏枕。亥乃夜深，就榻有裸形之象，而

巳则克制太阴，必伏不起，乃有伏枕卧病之义。并主忧惊、口舌、盗贼。盖巳乃腾蛇，主口舌、惊恐；亥乃元武，主盗贼、忧疑也。

闭户观书，雅称士人之致；

太阴居酉曰闭户，居未曰观书。酉乃太阴之本家，阴好静，故闭户。未乃离明之次舍，土金生养，故有涵泳优游之象。二者安且吉也。

微行执政，偏宜君子之贞。

太阴居卯曰微行，居申曰执政。卯乃私门，必袒裸之象以入之，非微行乎？申乃太阴之旺地，得志行权之所，有执政之象焉。君子占之，非阴神之比，时当微行也，持以贞一之操；或当执政也，亦持以贞一之操而已。

元武遗亡，阴贼走失。

后三元武，乃癸亥水神也，主盗贼、阴私、走失、遗亡、兵戈、抢攘。以其后天乙三位，故曰后三。

撒发有畏捕之心，

元武居子曰撒发。子乃夜半，其睡未醒，而子鼠乃虚惊之神。况元武贼神，自多怀疑，被惊而夜起，有撒发之象，怀畏捕之心。不过虚疑不害耳。

升堂有干求之意。

元武居丑曰升堂。丑乃天乙贵人之位，土能制水，元武不能行盗，以礼谒见，实怀穿窬之心。有所干求，不以宾对也。

爰寅兮，入林难寻，

元武居寅曰入林。寅、卯，山林之地。盗贼有所凭依，捕者难于追寻，非穿窬得志乎？

恶辰兮，失路自制。

元武居辰曰失路。辰土能制元武之水神也，至此，非失路之象

乎？盜賊消亡，君子坦腹之時也。

竊戶也，家有盜賊；

元武居卯曰竊戶，盜賊入門之象，當謹之於預也。

反顧也，虛獲驚悸。

元武居巳曰反顧。巳乃昼方，非盜賊之利也，縱無人追逐，亦必反顧。既無追者，豈非虛驚耶？

伏藏則隱於深邃之鄉，

元武居亥曰伏藏。亥乃夜方，又屬元武本位，深邃之象。捕賊者必難獲也。

不成必敗於酒食之地。

元武居未曰不成。未乃土也，克制元神之水，所以欲盜不成。又未，太常之家，酒食之地，必因酒而敗，盜易獲也。君子之庆，小人之忧。

截路拔劍，賊懷惡攻之而反傷；

元武居午曰截路，居酉曰拔劍。午乃天地之道路，故取象於截路；酉陰金刃鋒之象，故曰拔劍。賊勢至此猖獗已甚，豈宜攻之？攻之必反傷矣。

折足遭囚，賊失勢擒之而可得。

元武居申曰折足，居戌曰遭囚。申乃坤土，制元神之水，且昼方賊所深畏，有折足之象，剛金斬賊也。戌乃地獄，又土克水，故曰遭囚。二者，賊失利矣，故擒之易獲。

太常筵會，酒食相奉。

后四太常，己未土神也，主筵會、酒食、衣冠、物帛，又為吉庆之神。以其后天乙之四位，故曰后四。

遭枷必值決罰，

太常居子曰遭枷。土值水乡，有崩陷之象，又子未六害，以害而陷，有枷鎖之象，所以必值決罰。

側目須遭讒佞。

太常居寅曰側目。寅木克制太常之土，有虎豹在山之勢，而太常之土何敢与为敌耶？况未羊逢虎，受其制伏，敢怒不敢言，亦惟側目而已矣。尚畏有讒佞於旁潛之，则凶仍不免。

遺冠也，財物遭傷；

太常居卯曰遺冠。以冠裳之神而入私門，有冠不正之象，故曰遺冠。然何以曰財物遭傷？太常亦主財物、衣帛，主失去者，以土被卯木之克也。

逆命也，尊卑起訟。

太常居戌曰逆命。未与戌相刑，且河魁为獄网之凶，故曰逆命。未在上，其位为尊，戌在下，其位甚卑，二者相刑，非尊卑相讼乎。

銜杯受爵，不轉職而遷官；

太常居申曰銜杯，居丑曰受爵。申为傳送，太常酒食之神，二义详之，似銜杯矣。然庆冠裳之象，而非轉職之吉也。丑乃天乙之宮，以太常而拜至尊，非受爵乎？故曰遷官也。

鑄印捧觴，不征召而喜庆。

太常居巳曰鑄印，居未曰捧觴。太常为印綬之神，见巳火，乃鑄印之位。公器，非征召不用也。未乃太常之位，宴会之宮。捧觴酬酢，有喜庆也。

乘軒有改拜之封，

太常居午曰乘軒。午乃天地之道路，乘軒之象也。又立南向北，面君之义，故有改拜之封。君子大庆也。

佩印有遷之命。

太常居辰曰佩印。辰乃天罡，首領之神，而与太常印綬并之，乃佩印之义，必主遷除。

亥为征召，虽喜而必下憎；

太常居亥曰征召。亥乃天门，有征召冠裳之象。但未土在上，亥水在下，水必惮土之克也，故虽喜而下憎之。

酉作券书，虽顺而防后竟。

太常居酉曰券书。太常之未土生从魁之酉金，得助於魁，则锋刃成功，宜书之左券，有何不顺耶？但酉金强自刑其方，终有后竟。惟勿以身贵而贱人，勿以独断而违众则吉。

白虎道路，官灾病丧。

后五白虎，庚申金神，主道路、刀剑、血光、官灾、疾病、死亡，至凶之神也。以其后天乙五位，故曰后五。

溺水音书不至，

白虎居子曰溺水，居亥亦然。白虎喜山林，主道路，今溺陷於水，则道路不通，不凶矣。盖至凶之神陷没，有何不利？勿以道路阻而音不达为忌。

焚身祸害反昌。

白虎居午曰焚身，居巳亦然。在彼白虎之金，固所深畏，而占者反昌矣。何则？白虎凶丧血光之神，既已焚身，何能为患。

临门兮，伤折人口；

白虎居卯曰临门，居酉亦然。白虎守卯、酉之门，则一家惊惧不宁。轻出无备者，莫不为之噬矣，故伤折人口也。

在野兮，损坏牛羊。

白虎居丑曰在野，居未亦然。丑未，田野之象。白虎在此，固似无威，而丑中之牛、未中之羊为虎所噬，贪哺啖，无复凶矣。

登山掌生杀之柄，

白虎居寅曰登山，其威自倍。仕途占之，当有生杀之重柄；常人占之，凶不可当。

落阱脱桎梏之殃。

白虎居戌曰落阱。戌乃地狱，吉神入之，则占者必凶；凶神入

之，则凶焰猥衰，不复孔炽。占者不被其殃，往返无虎截路，犹桎梏之脱也。

衔牒无凶，主可持其喜信；

白虎居申曰衔牒。申乃白虎之本宫，彼贪其巢穴之荣腴，无复肆噬之心，故有喜信可持。而日衔牒者，传送乃往来之神，牒信之象也。

啞人有害，终不见乎休祥。

白虎居辰曰啞人。辰中有尸，乃虎噬尸。既曰啞人，岂复有吉祥於人耶？得此凶占，亦惟避之而已矣。

天空奏书之神，以天乙尊者无对。

天空后六，戊戌土神也。其神无形无影，由正对天乙至尊，即空亡也。由无敢对至尊而虚其位，故曰天空。专主诈伪不实。曰奏书者，言惟执书以奏则此片时可对至尊耳。

神虽所主休征，必详察卦名之义。

元首象天，重审法地。象天者先喜而后忧，法地者先迷而后利。

象天者，上位之动用也。法地者，下位之动用也。以其上克下，故先喜后忧。以其下贼上，故先迷后利。

知一则得一为宜，

比用卦又名知一卦，知一不知其他，惟一得则永得也。

见机则不俟终日。

涉害之深者曰见机。见机不俟终日，言机贵速。时者，难逢而易失也。

遥克所卜难成，

遥克者，神遥克日曰蒿矢卦，日遥克神曰弹射卦。二者皆力不雄也，故所卜难成，观蒿与弹之意自明矣。

别责所占罔济。

四课不备，而无遥克，曰别责，尤无力之甚也。故凡占罔济，不

过利守而已矣。

冬蛇掩目，虚惊而终不伤人；

鼎星卦，有滕蛇发用，曰冬蛇掩目卦。既曰掩目之蛇，则人得害彼，彼不得害人，不过虚凶，非实害也。

虎视转蓬，出外而稽留不起。

鼎星卦，有白虎发用，曰虎视转蓬卦。既曰虎视，凶不可当，即犹转蓬而避之可也，出外必稽留不回。

伏吟任信宜用静，去盗非遥；

伏吟，刚日自任卦，柔日自信卦，主静也，逃去之人及盗贼失物俱不远也。贵顺，支前一位寻之；贵逆，支后一位寻之。

返吟无依则复旧，往来不一。

返吟来去不定，故曰无依，主无依倚也。凡事不定，且主於远。

八专之意，不宜男子波波，帋薄之名，不利妇人嘻嘻。

八专卦，支干同位，内有怨女，外有旷夫，故曰帋薄不修之卦。多淫佚之意也。

龙首累逢君命，恩赐频加；

太岁、月建、月将、贵人同为发用，曰龙首卦。君子则有恩命出自天子，常人利见大人。

龙战屡见改革，灾祸不定。

卯、酉日辰，行年、发用又值此者，名龙战卦。不问君子常人，俱主更革，灾祸不一。

官爵改拜升迁，

驿马发用，名官爵卦，主改拜升迁。常人得之，反摇动不宁。

富贵增财吉庆。

贵人发用，主增财喜庆，君子、常人皆吉。

斲轮铸印，官职须迁；

卯加申发用曰斲轮卦，戌加巳发用曰铸印卦，有官者必迁，无

官者反不能当，而有官非口舌。

高盖乘轩，鼎席必致。

午卯子三传，曰高盖乘轩卦，亦同斲轮、铸印断。

芜淫主琴瑟不调，

夫，干也。妻，支也。上神互克干支，名曰芜淫卦，主夫妻异心。
佚女必渎乱太甚。

初传天后，末传六合，更传见卯、酉，曰佚女卦，主淫奔不正。
是知三交为藏匿，

子、午、卯、酉仲神全见於三传，曰三交，主藏匿阴私不明之人。

盖此神皆五行之败气，主人昏晦。收留此人，异日不利。

九丑定灾殃。

乙、己、戊、辛、壬日更得四仲相并，而又大吉加仲上，曰九丑卦，主占者家长有灾。

斩关不利安居，波波不定；

罡魁加干支上，更得六合、青龙，名斩关卦，主不能安居，而奔波不定。

游子不遑宁处，碌碌无常。

辰、戌、丑、未，全四季在三传，本静，而丁神、驿马入之，曰游子，主动，而碌碌奔波不免。

天狱忧刑罪责，

凡用神囚死，更天罡加日本之上曰天狱卦，主官非口舌，刑罚及身。

天网囚系灾伤。

凡时与地支并克天干而发用者，曰天网卦，词讼必遭囚系，常占多主病凶。

悬胎主隐匿，藏怀为胎孕；

寅、申、巳、亥全在三传曰悬胎卦，主隐匿藏怀，或为胎孕。

贅婿主伏潜，屈辱或相将。

支神加天干之上，被克为用，曰贅婿卦，主屈身於人而受辱，必依栖於人而相傍。

无禄之名，是上骄而下弱；

凡四上克下，曰无禄卦。上皆得意，故骄；下皆受制，故弱。无禄犹无路，最凶之占也。

绝嗣之意，乃下逆而上伤。

凡四下克上，曰绝嗣卦。下皆得志而逾逆，上皆受制而全伤，尤凶之甚也。

又为厉德，以动摇为意；

贵人当卯、酉之地盘上，曰厉德卦，贵人不自觉而动摇也。

乱首，以悖逆为心。

日加辰而被辰克，曰乱首卦，悖逆之象也。

稼穡定自微而至著，

辰、戌、丑、未全在三传，曰稼穡卦。土有生物之功，而日渐增长，故自微至著。

曲直必福善而祸淫。

三传亥、卯、未曰曲直卦，为福者愈增其福，有祸者愈益其祸，乃木日渐长之象也。

巳酉丑俱逢，则伤情革故；

三传巳、酉、丑全者曰从革卦，主革故鼎新之象。且金乃破物之神，主刑伤之凶也。

寅午戌全见，则意欲成亲。

三传寅、午、戌全者，曰炎上卦。主气焰薰天，上进之象，而急于进用，有相亲傍之义焉。

原夫润下之道，惟宜施惠於人。

三传申、子、辰全者，曰润下卦，主恩泽下流，惟宜施惠於人，不

可独利而招尤。

凡断吉凶，占从将意。大抵功曹为用，木器文书；

功曹，寅也。寅乃木神，功曹乃奏书之神，故主文书。

传送加临，行程信息。

传送乃邮驿之象，故主信息行程。

太冲盗贼及车船，从魁金银与奴婢。

辰为斗讼，兼主丧亡。

天罡主斗争、词讼，亦名天牢，又名天罗，主死亡。

戌为欺诈，或称印绶。

天魁主欺诈，亦名地狱，又主印绶之神。

登明征召，太乙非灾。

胜光火怪丝绵，

午主光明、怪异，又主丝绵、布帛。

神后阴私妇女。

子水，天后之官，主阴私不明，事干妇女。

未为衣物筵宾，

小吉乃太常之官也，主衣冠、物帛、筵会宾客。

丑号田宅园囿。

大吉土神，主田宅、园囿之事。

大吉小吉会勾陈，因田宅而争讼；

丑、未主田宅，见勾陈斗讼之神，必因争田宅而起讼。

从魁河魁乘六合，为奴仆之逃亡。

酉主婢，戌主奴，乘六合之私门，乃奴仆逃亡之象。

文宜青龙不战，武欲太常无争。

文看青龙为类神，武看太常为类神，旺相、相生必吉，上下克战则凶。

登科者禄马扶会，

登科者，禄神、驿马临於干支之上，“富贵干支乘禄马”是也。马。

主前程远大，禄乃临官之神。

不第者刑害俱并。

三刑、六害并临干支之上。刑主有缺，害主有阻隔。

投书宜虎勾无气，

投书、献策，见上贵也。若白虎、勾陈无气，自然无阻。

捕贼欲元武相侵。

捕贼以元武为类神，若元武临克地，自然易获也。

若候雨占风，须看青龙白虎；

白虎主风，青龙主雨。有气旺相，有风有雨；囚死空亡，风雨必微。

若迁官进职，宜观天吏天城。

寅为天吏，申为天城，若加年命发用，必主迁升。

动望行人，视二八卯酉之限；

占东南行人以西为中途，子上神为至期。若西北行人，以卯为中途，午上神为至期。

追逃亡盗，捕四六元武之阴。

占捕盗贼，看元武之阴神上所得何神，便知其在哪里，捕之必获。

失伴，必详胜光而可见；

胜光在日前，则向前追必见；在日后，则稍等立至。

亡财，则察元武而可寻。

失财物，以元武之阴神上见，乃知方所，寻之必获。

此皆略举其纲，要在智者临时而审情。若夫旺气，求就官职；相气，经营利禄；囚气，囚系呻吟；死气，死亡悲哭；休气，疾病淹延。详在四时丘墓。

旺气发用，利求官；相气发用，利求财；囚气发用，讼则囚系呻

吟；死气发用，病必死亡哭泣；休气发用，疾病淹缠。若丘墓同之必凶。

相加孟仲，万事新鲜；季上逢之，互为故旧。

孟、仲之神发用，主新事动。季神发用，乃旧事矣。

欢欣在旺相之中，悲哀在死囚之处。

旺相发用皆主喜，休囚发用皆主忧。

凡见火加木上，亡遗口舌非宁。

乃巳、午临亥、子也。火乃朱雀，主口舌。水乃元武，主遗亡。火入金乡，淫佚奸邪未息。

火则腾蛇、朱雀，金乃白虎、太阴。淫佚奸邪，皆太阴为火所逼致也。

水加土位逢财，若在火宫迁职。

水加土上，受土之克则为财；水加火上，受火之克则为官。木逢水则流落他乡，

以木之少而见水之多，有水漂木之象，故曰流落他乡。

水遇土则人财散失。

水加土上，本为财，而主散失者，亦水为元武之位也。金居火上则疾病死亡，

金居火上，白虎入朱雀、腾蛇之位，故主疾病死亡。土临木地则田宅讼起。

土加木，乃勾陈受制之象，主因争田宅而兴词讼。金加火位，中传有水无妨；

若金加火为发用，而中未见水，则有教矣。火入水乡，未得镇星复喜。

若火加水上为发用，而中未有土，则不凶矣。贵人顺行，凶将少降祸殃；天乙逆行，吉将聊施恩惠。

天乙贵人顺，则凡事顺；逆，则凡事逆。顺贵，虽凶将降祸必轻；

逆贵，虽吉将赐福不重。

逢灾遇恼，上下皆凶；招利求祥，始终俱吉。

三传中全无吉将、吉神者，灾恼并见。三传中全吉者，主招财得，可求吉祥。

凶神刑害，灾祸连绵；吉将相生，欢欣不已。

三传中凶将更乘刑害，灾祸愈重。三传中吉将更得生助，喜庆愈多。

凶神和合，逢灾不至深危；吉将逢伤，赐福终非全美。

三传中凶将见生合，虽凶不甚。三传中吉将见伤克，虽吉亦不甚。

日辰有彼此之殊，神将有尊卑之异。

日干为自己，支辰为他人。贵神在上为尊，月将在下为卑。

辰来克日，诸事难成；日往克辰，所谋皆遂。

支辰来克日干，乃我受制於人也。日干去克支辰，乃人听命於我也。

男逢灾厄，须以日上推；女遇迍遭，但向辰宫寻觅。

日干又曰天干，故看男子之灾祥。支辰又曰地支，故看女人之祸福。

先凶后吉，终成喜庆之征；始吉终凶，必见悲哀之兆。

初传凶，末吉，终于吉也。初传吉，末凶，终于凶也。

初刑末位，灾来果系非轻；未克初传，祸至须知不小。

先贤以时作先锋，占万事皆必可指。若乃披刑，则侵欺诡诈；乘马，则摇动迁移。

时作支刑，如子刑卯之类。乘马主动摇也。

冲支冲干，彼己不遑宁处；同辰同日，尔我蹇滞逢疑。

时冲干，己不宁；冲支，彼不宁。同辰蹇滞，同日逢疑。

时日相生，迭为恩惠；生克其辰，宅有灾祥。

时生日，下报上；日生时，上惠下。时生支，宅吉；时克支，宅灾。
所以遇子遇午，若往若来；值卯值酉，为门为户。

子、午，天地之道路也，往来之象；卯、酉，日月所出入也，门户之司。

更宜视以用及传终，当察其生与畏。

大抵克多则事繁，克少则事一。

涉害、比用主繁，元首、重审事一。克者，动也。

鬼临所畏，当忧而不忧；财在鬼乡，闻喜而不喜。

财而变鬼，祸难立至。

神将互克，占及夫妻；同类来伤，事因兄弟。

鬼乃夫也，鬼动事起夫；财乃妻也，财动事起妻。比肩爻动，事起兄弟朋友也。

财遇天空兮，产业须伤；鬼临旬尾兮，官灾不起。

财爻空，求妻财不得也。官爻空，有官非不妨也。

吉神临凶卦之中，无咎争之道；恶煞临吉卦之内，无欢忻之理。

煞虽恶，生我则其喜终至；将虽良，克我则其忧不已。

如虎、勾生我，其力尤雄；龙、合克我，其凶亦至。

凶神无吉也，合干则讼休；吉神无凶也，克日则祸起。

与日合，虽朱雀之口舌亦休。

更若识其通变，举一隅而不待复矣。

指 掌 赋

六壬通万变之机，大为国而小为家；日辰定动静之位，日为人而辰为事。

变即穷、变、通、久之变。家国要从地盘分野处看。若单论家宅，

· 则惟在支上看可也。

月将加时，局图顺布。日二课而辰二课，合成四象；生主和而克发用，义法三才。

日上神为太阳，日阴为少阳，辰上神为太阴，辰阴为少阴。阴阳生合比和处，吉凶之端倪不露，惟於相克处一逗杀机，而吉凶遂尔见形。盖不杀不成其为生，而取克，正所以观五行相生之妙也。

一上克为元首，理势顺而百事攸宜；

上天下地，天克地於理势为顺，故百事皆宜。

一下贼为重审，人事逆而谋为不利。

地克天是下陵乎上，故逆。

二三贼克，知一总名，神将凶而祸不单行，神将吉而福祥双至。

如二三克贼，则看克处与本干有益无益，而祸福之来可决矣。

用孟名曰见机，当因时以制宜；仲季号为察微，事未萌而预料。克贼重重，比用涉害。用辰主外灾害己，用日主我祸延人。

涉害取地盘孟、仲、季发用。涉四孟，乃见机课；涉仲季，乃察微课是也。涉害比用复等，则刚用日此，柔用辰比。盖人我以支干分，日上发用乃我先发端，辰上发用是人先发端也。

蒿矢神遥克日，二克主两事而合为一事；弹射日遥克神，一克主一端而分作两端。

日止一日，克有两克，是两事合来作一事。一克互观，自见二课。若见金、土二煞，为有铍有丸，能伤人。

昴星如虎对立，视俯仰以卜远近之忧危；

俯忧近，仰忧远。杀气至酉而盛，故将曰太阴。俯仰皆以西位言。阴阳无克，乃从至阴处讨出消息来，正君子履霜之渐，而多忧惧之时也。

· 别贵如花待时，合日辰以定人事之巧拙。

课名不备，事属有待，如花待时，象可知矣。玩别责字，言事见端於此，而成就於彼之义也。

八专士女怀春，一名不修帙薄。

凡阴阳施化，以别而神。今干支同位，阴阳不分，主客未辩，故取象若此。

丁己辛同丑未，井栏射主灾深。

井栏射亦主前途忧危。

伏吟任信，用刑而作事忧疑；

诸课有加临，皆可信任。独伏吟上无加爻，止堪自立主张，尽多忧疑之兆。

返吟无依，迭传而事多反复。

无依谓十二神各居冲位，无可依倚，主反复不宁。

凡上克则事起男子，或属他人；若下贼则事由女人，或因自己。

大凡克处是动机。上克动在客、在阳，故为男子、为他人。下贼反观可知。

将克神为外战，灾自外来；神克将为内战，祸由内起。

将谓月将，神即贵神。将克神，相战在外。神克将，相战在内。

灾外来，是因彼而有克也。祸内起，以其克加於我也。

用在日前，事情已过。用在日后，事起将来。日辰发用，应在今时。

辰日刑冲，事成恍惚。年月节旬发用，事应年月节旬。

如甲课在寅，则卯为后而丑为前。盖前为已往，后为未来故也。

日谓今日辰，主十日，言日干发用，事应在今时。凡日寄辰，辰仰於日，要合、德、禄、比合、相生，乃为足贵，刑则人情不美，冲则反复不宁，故事多恍惚也。年主一年，月主一月，节主半月，作气字看。如立春为节，雨水为气，节字论气，非谓月也。此二句论克应之理，最为绝妙。方朔克应歌云：“起岁年华问，逢蟾月里寻。占句句日应，值日日前陈。气动蟾分体，候来旬折身。”

诸门从此起，万类若通神。”苗公云：“七位克应诀，季神总用同。墓中见的实，吉凶取合冲。阴阳分墓绝，七位应须通。”又云看发用是何季之神，如见寅卯，则应在辰月、辰日、辰时；如见巳午，则应在未月、未日、未时。故言与日同也。

吉神旺相事皆吉，凶神旺相事必凶。

旺气求官吉，争财相气亲。死主丧祸起，囚动见官刑。休来忧病患，五气仔细寻。此皆以克日论也。吉凶二神，谓三传、日干、年命兼岁月建、正时、来方、支辰上神，非搜尽此十一处也。须要视何处生我、克我，还是生我者多，克我者多，助我生者多，或助我克者多，生我者得地，还是克我者得地。宜详察。

已上九门定式，次观附卦加临。日临辰而受克为乱首，主行悖逆之道；

如庚午日，申加午，是日临辰而辰克之。

辰临日而受克为赘婿，不能自立其身。

如庚寅日，寅加申，是辰临日而日克之。夫日寄於辰，今反克辰，是自家竟无安顿处矣。

辰临日而生日名自在，有恢拓之志；

辰来生我，可云安亨。

日临辰而受生名俯就，有荣显之风。

我就他生，一何荣显。

日临辰而生辰名历虚，主无稽之笑语；

我去生他，便为脱气。

辰临日而受生名归宠，主福履之来崇。

辰是我所履之境，加我於上，而与我合体，生辰，岂非福履之崇乎？

同类相加，培植和合。

培植和合，言比肩之妙。

日辰交生名为脱骨，主彼我舒情多实；日辰交克号曰无淫，主内外疑忌生猜。

交生不认我而认人，故为脱骨，乃相信之诚也。交克反看。传课皆在年月日時名天心，忧不成忧而喜中加喜；三传不离四课名回环，吉不全吉而凶不全凶。

天地大化不离，见在天之心也。玩回环意，不宜占解散事。三传所以变化，四课不离，殊少变动之意，故吉凶不全。三上克为幼度厄，腐绳维巨室之象；三下贼为长度厄，越海无舟楫之形。

凡长幼课，看发用财、官、父、子何如。是财则伤财，余可例推。

又看余一课，或是上克，必主上下不安，争斗致凶；若生日干，则凶可解。上下相生，凶亦稍解。

四上克为无禄，主孤单，得救神亦能免祸；四下贼为绝嗣，主贫苦，虽吉将到底成空。

救神，如三传、年命有一处生干即是。若四下贼，则是我所遇皆仇敌，吉将其奈我何。

日辰见辰戌又发用为斩关，阳逃亡而阴主伏匿；

辰、戌动神，中传更遇寅字，为天梁，主万里飞腾，故阳日为逃亡，阴日为伏匿，总无踪迹可寻也。凡传遇寅、卯、未、子，乘贵、阴、合，为天地独通，出行吉。

贵人临卯酉分前后为励德，庶人吝而君子亨通。

视干支。阴神如立贵人前，是小人恃势当绌。阳神如立贵神后，是君子谦冲当进。此励德之义。盖日阴、辰阴为卑，不合安居於前；日阳、辰阳为尊，不合退居於后也。

天乙在卯酉立私门，名微服而各怀异志；

天乙来临二八门，日辰阴阳俱后存，即此是为微服象，惟利阴私贵后存。谓居贵人后。卯、酉为日月门，阴私之象，惟利安居，

不利有为。

夫妇若年神交相克，作荒淫主琴瑟不调。

夫妇年若相克，上神更与日辰互克，乃乖戾之象。

用卯为龙战，用酉为虎斗，主更改而忧疑不定；

凡卯日，发用又卯，行年又在卯上，为龙战卦。虎斗仿此。盖卯日阳气南出，阴气北入，酉日阳气北入，阴气南出。阴主刑杀，阳主德生，相战於门，故名。主事疑惑，反复不定。

后合为佚女，合后为狡童，主厌翳而男女奔淫。

卯为六合，私门也。酉为太阴，私户也。凡卯、酉作传，而前见天后，后见六合，阴往求阳，非佚女而何？前见六合，后见天后，为阳往求阴，非狡童而何？

三传四孟名曰元胎，非怀孕则有移旧更新之意；

四孟，五行生地，故曰胎。元水色黑，言方胎於中，男女未分，不可见也。主事有根蒂，日渐长进之意。如入胎於母腹，铸成五官之象，所以说移旧。

三传四仲谓之三交，加日辰则主隐匿罪人之占。

凡仲日，四仲相加，一交；有克发用，二交；课传又见阴、合，三交卦也。子、午、卯、酉所藏，乃乙、丁、己、辛、癸五阴干。阴为刑，偏阴无阳，故太公立课，将五阴干移於四季，正此谓也。盖四仲当阴干之旺，如乙禄到卯，丁、己禄居午，则其气已极盛矣。而五阳干生於四孟者，以四仲为沐浴败地，是这仲位刑旺而德衰也。若课传年命全逢乎此，诸事不吉，故武侯云：德气在内，阳气在外之日，不可出兵也。

四仲亦名二烦，主杀伤而更遭狱讼。

凡太阳加仲，斗系丑、未为天烦，太阴加仲，斗系丑、未为地烦。是天地大小吉之气，俱为天罡所伤。而太阳加仲，是德为刑也。月宿加仲，刑气太旺。故主杀伤狱讼之象。如斗不系丑、未，名

杜传，德在内，刑在外，凡占利静不利动。

四季名为游子，乘天马而将欲远行。

四土是游行之地，天马是游行之象，故名游子课。不止远行，凡事主游移不定，踪迹无凭。

用天马而中卯末子名为高盖，主公卿爵位；

正月午为天马，卯天车，子华盖，利见大人之象。

卯发用而中戌末巳号曰斲轮，为印绶俱全。

卯加庚、辛，木就金雕，中传戌又是辛之寄宫，未传巳火炼辛金，而金又斲卯木成器，且戌中辛金得巳火又为铸印，而戌又为印绶，所以说印绶俱全。爵禄崇高之象。

巳戌卯为铸印乘轩，驷马六合而升官爵。

丙辛合为铸印，卯戌合为乘轩。驷房星，谓卯也，如卯发用，升官之兆。

若逢真破，得罪於帝王之象；害气交加，远涉有江湖之患。

凡刑冲破坏，皆谓之破，於仕宦则为得罪，於贾人则为江湖之患。以卯为舟车故也。

时逢太岁作贵人，兼发用而乘月将，名时泰，有锡宝升官之庆；日时月建会青龙，而用岁气作初传，名富贵，主利见大人之征。

天乙发用，又日辰、月建会青龙，岁支作天乙，是为用岁气，言一时而诸吉臻合也。

四离前一日为天寇，利居家而不利远行；四绝前一日为天祸，事体绝而又复复兴。

分、至前一日为四离，已非远行吉兆，那堪月宿极阴、元武阴私重加，故主遇盗贼。四立前一日为四绝，乃阴阳交卸之日，那堪立、绝互交，是乘权卸肩，两不得力，所以主事体绝而复兴。

四时前孤后寡，或值旬空，苦楚无依；闭口旬尾加首，乘元发用，病危讼失。

如寅、卯日当春之时，则巳为孤，丑为寡，若无别吉象，则为孤寡课。闭口有二格，如元武加天地盘，六甲合此成两般。病逢闭口，则饮食不进。讼逢闭口，则枉屈难伸。

时克日而用又助之名曰天网，有死丧之厄；用死囚而斗加日本名曰天狱，主囚系之灾。

时、用克日为天网。如春占，甲子，用土、金死囚神，而辰复加日本亥，则木之根本受伤，运用不旺，囚系可知。

上下旺相为三光，始终迪吉；神将顺布为三阳，作事皆成。

用旺相，一光；吉神临用，二光；干支当令，三光。用旺相，一阳；日在天乙前，二阳；贵顺，三阳。忌克、破、刑、冲、害。

传见六仪，病将瘥而狱囚出；三奇发用，疑惑解而喜气生。

旬首发用为六仪。子、戌旬中奇在丑，申、午旬中奇在子，寅、辰旬中奇在亥。丑为玉堂，鸡鸣於丑而日精备；子为明堂，鹤鸣於子而月精备；亥为绛宫，斗转於亥而星精备。

用起天魁为伏殃，有杀伤之厄；传虎死神为魄化，主死丧之忧。用乘丧魄，健者衰而病者死；传起飞魂，家有咎而人有灾。

天魁，正酉逆四仲，非河魁也。死神，正巳顺十二是。虎乘死神，加日主死，加辰主丧，有吉可解。丧魄正未逆四季，飞魂正亥逆十二。

卦曰始终，视神将玩克战以方知；课名新故，用刚柔察死生而后见。

始终，要兼旺相休囚细细推寻，然亦就三传说。三传原该本事始终，或始克终生，或始生终克，或始生终墓，或始墓终生，皆始终之义。视神将者，神将以生我为吉，不生则虽吉将亦减力。凡阳干发用，得阴为故，得阳为新；阴干发用，得阳为故，得阴为新。阳主生事，方生而未有艾也。阴主死事，已去而不乘权也。死生即得令不得令之义。

八连立见忧危将至，五福必主福禄骈臻。

八述、五福，不是定然八件、五件。八是阴数，一切恶神凶将克贼日辰，兼带刑害者，是阴惨之极，故名。五乃天之中数，极阳明之象，如传逢生旺，贵人、日德，即有凶亦解救矣。

若顺相加之卦，传列巳申亥寅。春元胎者，生意已萌於中；夏励阳者，机关略见於外；秋占四牡，驱驰不息；冬占全福，行止亨通。

凡三传顺加，以巳上加申起算。四孟是五行长生之地，顺加则水、火、木、金各就所生，是四生之神复各居长生之位也。如春令寅木乘权，勾萌甲拆，生意方蒙，乃生生之始也，故曰胎。四孟至於夏，则生气日长日盛。曰励阳者，谓阳气盛中伏衰，君子当勉励勿纵，犹退藏意。秋时生气渐微，杀气渐盛。且言申位，何为传送？天地之化至七月，是生杀之转关，是送往迎来之会也。盖巳为海角，巳酉丑三合为宽大，坤为马，即四牡，即传送也。以申加巳，行宽大之地，正驱驰不息意。至於冬，万物归根，四生各归生处，是全福而无害，行止有不亨快者乎？

四仲相加，子午卯酉。春占关隔，若羝羊之触藩；夏占观澜，似游鱼之吞饵；秋占四平，日逢望弦晦朔，名曰三光不仁；冬占匿阳，时遇日月辰戌，号为四门俱闭。

四仲乃四败地，以卯加子起算。四仲相加在卯，为阴不备，以日出於卯，离太阴也；在酉，为阳不备，以日入於酉，离太阳也；在子，一阳初复，阳气不壮；在午，一阴始生，阴气不壮。玩课体名义，重阴互换，知无一吉占矣。春曰触藩，言为阴所缚，进退不得自如。观澜意同。盖午生於寅，败於卯，前见辰是水库，乃观澜而不敢进意。弦，月渐进。望，月已满。晦，月既尽。朔，月初生。重阴相加，又逢弦、望、晦、朔，更加四仲，天官如六合、太阴，总是阴翳之象，故曰三光不仁。日月，卯、酉也，四仲相加，更卯、酉上见辰、戌，总是阴阳闭塞意。又子乃一阳初生，今加於酉方，向闭塞之路，那见生机，故云匿阳。

四季相传，丑辰未戌。春稼穡而生长以时，夏游子而飘流不定，秋地角据一隅而忘天下，冬五墓舍朝市而守丘墟。

稼穡者，以辰加丑起算为顺。土生万物，故在春为稼穡，且辰加丑，土气乍开、乍生之意，初动。又土盛於夏，乘巳、午之生，有千万里之势，故云游子。至秋，则土气渐衰，生物之功成矣。曰据一隅而忘天下，便与夏之通达不同。四土皆库，独以冬为墓者，休囚故也。

若逆相加，势情为悖，三传亥申巳寅。六合一名六害，春亢毓有始勤终怠之形，夏洪钧秉中正权衡之象，秋含义而无中生有，冬待庆而暗事将明。

逆相加，谓以亥上加申起算。六合、六害在加处见。寅盛於春，巳毓矣，又值亥生，则毓之太过，故曰亢毓。且亥加於寅，为休气用事，故云始勤终怠。寅加於巳，木火通明，是为洪钧。巳加於申，正火旺於夏，亨嘉之会，谓之中正、权衡固宜。申金断制为义，巳加申，是金生於巳，含义之意，故曰无中生有。申加於亥，天乙生水，得申金之光相涵相生，是为将明。从此而春，而夏，而秋，生长万物之庆，皆为有待。

四仲逆传，子酉午卯。春占陷阱，如鸟投笼；夏占正烦，若牛受刃；秋失友，既离而复合；冬出渐，阴极而阳生。

四仲以酉加子起算，则皆相逆，为五行死地。如金库於丑，则酉死于子，余可类推，投笼正表其象。正烦或作二烦，以日宿、月宿临四仲分。曰受刃，则生气尽矣。金主杀，酉加於子为泄杀气，气既衰，故为失友。酉、未为离隔之神，加于一阳初生之地，为阴静而阳复，乃离而复合之象。

逆传四季，丑戌未辰。春占越库，散财不以其道；夏曰转魁，委任不得其人；秋杀墓势，将兴而将起；冬伏阴机，渐收而渐藏。

四季以辰加未起算。春季，辰土受未中乙木之克，是发越，库财

已散矣。曰不以其道者，顺则合道，逆则不以其道也。戌为天魁，中藏辛金。夏季，未土木库加戌，而为戌中辛金所克，又戌为火库，泄木之气，是木转魁上，为委托非人也。戌火库，丑金库，火加金则杀金；金阴象，原状而不动，遇火炼之，将有发越之象。丑金库，辰木库，丑加辰则金水相涵，象重阴，又子见母，故云收藏。

若顺相合，理势自然。申子辰为润下，以和顺为义；寅午戌为炎上，以发达为名；亥卯未为曲直，当举直错枉；巳酉丑为从革，宜革故鼎新。三传稼穡，田土稽留。

子为水，申为生地，辰水库。自申而子而辰，理势自然，有不和顺者乎？甲、乙日，为生气炎上，顺其次序，自然烈焰弥天，与和顺同解。更得驿马贞位，为倚权，利奏对也。凡木之生，先曲后直，举直错枉，正去徇向直意。金有革故之义，俾言革故，自有鼎新之势。凡占得四土，虽当作稼穡，须玩顺逆，玩四时，参上文方备耳。

子辰申为出奇，自新改过；午戌寅为间魁，舍宝从庭；卯未亥为合纵，彼我各怀其忿；酉丑巳为献刃，远近俱被其伤。申辰子为呈斗，玩阴阳於天象；戌寅午为顶墓，会消息於方舆；丑巳酉为藏金，因事而韬；未亥卯为从吉，待时而动。

若逆三合，事主乖违。辰子申为循顺，贵毋贲等；戌午寅为就燥，行合中庸；未卯亥为正阳，遵发生之意；丑酉巳为法罡，防肃杀之威。四土逆行，尚宜守正。

水局逆行。言毋贲等者，欲其以顺正之也。火不顺则燥，故正之以中庸。玩遵之一字，言当依木生生之理，而毋毗乎阳也。罡杀气，金逆而杀气愈盛，故肃杀宜防。土能生金，若逆生，恐犹未出於正，故特用戒之。

子申辰为仰元，守凝寒之困；午寅戌为正义，显朱夏之形；卯亥未为

先春，未萌先动非时过；酉巳丑为操会，已过受时岂失宜。申辰子为间斗，聚秀气於怀中；寅戌午为华明，彰精光於天表；亥未卯为转轮，因颠簸而自反；巳丑酉为反射，怀杀伐以酬恩。天罡加四仲为关格，人事睽违；登明临日辰为萃茹，事情和美。

卯、酉，日月门也。子、午为阴阳之门，辰、戌为网罗之煞。辰加四仲，则门被阻隔，人事何由通快？子、午为关，卯、酉为隔。卯、酉既为日出而作、日入而息之门户，子、午既为阳死阴生、阴死阳生之地，则人事一动一静，能离此阴阳、离此门户乎？今被此网罗煞阻隔，人事岂得亨快？亥为乾位，加日辰，是统天之德聚於日辰也。天德照临，人情自然和美矣。

用为发端之门，中为移易之府，末为归计之宫。

太公立三传，极重在发端，归结在末传。

孟为神之在室，仲为神之在门，季乃在外之应。

孟、仲、季，乃泛论其理，不在传之例。孟为生地，仲为旺地，季为结果之地。此正由微而著，由小而大意。

初生中、中生末名遗失而事久凌夷，末生中、中生用名荣盛而人多推荐。初克中、中克末为迭噬而受众辈之欺，末克中、中克用为僭亡而致外人之侮。

《毕法》云，“三传递生人举荐”，重下生上，不重上生下。大凡发用之气，要无所分析，一心聚於干上方好。若初生中末，则益我之气薄矣，所以事久凌夷。惟从末生上，专专益我，故荣盛耳。又上吞下为迭噬，下贼上为僭亡，众辈侵欺，即《毕法》“众人欺”意，然中初、初中缓急有辨。

三传生日百事宜，日生三传财源耗。日克三传求财可羨，三传克日众鬼难堪。初传克末成者罕，末克初传事可成。传见妻财利益多，传见父母饶生意。传见兄弟口舌生，传见子孙福禄满。传见官鬼有两途，病讼畏兮官位显。子传父兮逆且疑，母传子兮顺且便。干支

吉兮三传凶，谋事不成终不善；三传吉兮干支凶，事吉而成无少悛。支若传干人求我，干若传支我求人。课连茹，传逆速而顺则迟；越三间，向阳明而向阴暗。故顺三间之课，亥丑卯为溟濛而事多暗昧，子寅辰向三阳而渐望光明。丑卯巳为出户，春雷震蛰；寅辰午出三阳，金鲤波中。卯巳未迎阳者，鸣高冈之鸾凤；辰午申登三天，得云雨之蛟龙。巳未酉变盈者，名秋场之登稼；午申戌出三天，似鸣鹤之在阴。未酉亥为入局，主心劳而日拙；申戌子涉三渊，当隐於山林。酉亥丑乃凝阴而忧不可解，戌子寅入三渊而屈不能伸。

天地之气，东南为阳，西北为阴。自寅至酉为日，自酉至丑为夜。凡人日出而作，与阳俱开，故向阳则明；日入而息，与阴俱闭，故向阴则暗。凡人逆则归，归则速；顺则游，游则远，自然之理也。若三传俱在夜方，岂不暗昧？寅为三阳，而传之前后拱向之，岂不光明？卯为门户，出门而向阳，正如雷之震蛰，阳起地下也。寅，三阳之地，出乎此，一路向东南辰、午之旺气，可知亨快，鱼得水之象。午为阳，而卯、巳、未迎之，正高岗鸣凤之象，占事宜速就，稍迟则无气矣。午、申在南，先天乾位，固曰天，而辰在东南，亦是阳明之位，合之曰三天。登之，故有蛟龙云雨之象。只一巳字在午之前，而未、酉则向西去矣，阳终阴始，肃杀初进，万宝告成，故曰登稼。午当阳极，而申、戌已流于酉矣，在阴子和，言闻其声，不见其形也。未酉亥，阴气盛矣，凡人心劳不休，皆属于阴，书云：“为善，心逸日休。为恶，心劳日拙。”善恶之际，阴阳之别也。申子水局，有林之象；戌土，山象。言入夜方，似幽人之守正也。酉亥丑皆在夜位，阴气所凝，何忧如之？戌寅火局，而子木居北，乘旺为渊，则火亦化而为水矣，故曰入三渊屈不能伸，无非幽暗之意。

至若逆三间之课，亥酉未为时遁，无出潜之意；戌申午曰悖戾，有追悔之心。酉未巳励明者，出入从其所便；申午辰凝阳者，动止罔戾於

心。未巳卯为回明而利有攸往，午辰寅为顾祖而喜气和平。巳卯丑为转悖，当吉凶二者之间；辰寅子为涉疑，入祸福双关之道。卯丑亥名断涧，义利分明；寅子戌为冥阳，善人是宝。丑亥酉为极阴，如月隐西山；子戌申名偃蹇，似马驰栈道。

亥酉未，逆传。亥遁於酉，酉遁於未，有退而归隐之意。戌午火局，中间一申，反成克象，不和同矣，故曰悖戾。酉至未，已有背暗投明意，曰励明者，言策励以从明也。申、午、辰居东南阳位，故曰凝聚於阳，所以行止如意。午为明，未、巳、卯回绕而向之，故利有攸往。午火生於寅，三传午辰寅，有顾母之意。和平者，谓得所生而安也。巳丑酉金局，为杀机之悖，今中传不用酉，而用卯，是悖之转，转则吉。然犹未离於杀也，亦主凶，故为二者之间。辰子水局，中传见寅，虽涉於疑，而不沈於渊，但二局不纯，故云祸福双关。经曰：断涧如何涉，忘前失后时。君子宜退位，小人须有悲。盖亥为水，丑、卯有桥梁意，言难进也。高高下下，义利岂不分明？寅戌火局，中传见子，阳入于冥，乃怀宝不出意。丑、亥、酉皆是夜方，不见光明。子申水局，间一戌土在中，坎水见险，岂是坦道。

若顺连茹，亥将顺行。亥子丑为龙潜，阳光在下，空怀宝以迷邦；子丑寅为含春，和气积中，勿珣玉而求售。丑寅卯为将泰，有声名而未蒙实惠；寅卯辰为正和，展经略而果浴恩光。卯辰巳曰离渐，利用宾於王家；辰巳午为升阶，亲观光於上国。巳午未为近阳，名实相须；午未申为丽明，威权独盛。未申酉为回春，若午夜残灯；申酉戌曰流金，似霜桥走马。酉戌亥革故从新，小人进而君子退；戌亥子隐明就暗，私事吉而公事凶。

亥、子、丑俱在夜方，全无阳气，故云，即《易》“潜龙勿用”义。子丑寅，得阳气而未畅，仍宜韬养勿用。寅为三阳开泰，此时从丑初履之，虽有将兴之誉，而功业犹未成就。寅卯辰，为日之始，

正君子向明图治之会。卯辰巳，逼近离火之位，是君子作宾於王朝也。午正阳，有泰阶之象，从辰巳升之，岂非观光乎？午阳明君位，巳、未近之，君臣合德，功成名就之象也。午未申是圣主当阳，揽权御下之象。未申酉，东南之气藏矣，是以比之残灯，励之也。申酉戌，乃金地肃杀，何险如之？曰霜桥走马，危之也。酉戌亥，纯是夜方，乃小人道长，君子道消之时。戌亥子，以公私分明暗，若占逃亡、贼盗，又当用夜方也。

若逆连茹，亥位逆推。亥戌酉曰回阴，心怀暗昧之私；戌酉申为返驾，主行肃杀之道。酉申未名出狱，主离丑出群，疏者亲而亲者疏；申未午曰凌阴，主行险侥幸，安者危而危者安。未午巳为渐晞，脱凡俗而渐入高明；午巳辰名登庸，舍井蛙而旋登月阙。巳辰卯名正己，人物咸亨；辰卯寅为返照，行藏攸利。卯寅丑联芳悔吝，须知否极泰来；寅丑子游魂乘凶，坐见事成立败。丑子亥为入墓，有收藏之态，仕进无心；子亥戌为重阴，安嘉遁之形，宁甘没齿。

自亥而回戌，自戌而回酉，一团阴气用事，可以卜其心之所藏矣。戌酉申，肃杀之地，昔孙臆占此，不满期而出，别足而返，故名。戌为狱，酉不向戌而向申，是为出狱，不与戌之丑群为伍，而往西南，是平昔之亲类反疏，而疏属反亲矣。申为阴，而未午凌之，阴阳之战，安危之机也。晞指午、未，渐而入之，是脱凡境入高明意。午巳辰，逆转，又未中有井宿，午逆向巳，巳中有蟾，月阙是也。巳宽大，有正己之象，从巳至辰卯，正己而正物，人物皆归於通达。寅中有生火，辰、卯返而从之，是返照也。阳明相比，行藏自利，发泄太过，中藏乌有，反为吝象；今归寅、卯於丑，披枝归根，方是泰来之兆。寅之阳气正好发舒，反之於丑、子极阴之位，诸事不利。魂阳魄阴，向晦宴息，百事收藏，占者宁矢没齿，静俟不敢进也。

局有进退之异，气有旺绝之殊，衰墓总同退断，胎生进气无虞。退气

则吉事成凶，凶事反吉；进气则安者益安，危者益危。

长生等十二位，所以象人之始终也。要从胎处说起。胎在母腹中，养在始生之时，长生则从始生渐渐长矣，宜竟接冠带，何有沐浴一位？盖五行之气，不郁不舒，不凝聚不发散，正《复》卦安静以养微阳意。这一点生意，不得沐浴处一番闭藏，如何得冠带而临官而帝旺也？到帝旺处，一生事业尽矣，衰、病、死，理势自然。至墓之后，胎可言矣，又加一绝字者，五行之气，不绝不生。不有十月之纯阴，何以得一阳之生？绝，正死生互换之交，人鬼转关之路也。课义虽言五行，实字字切着人事，细玩自见。进退二字，全在旺、相、休、囚、死五字中分别，大抵吉气进则聚，若散则吉者不吉矣；凶气退则散，若散则凶者不凶矣。

顺连茹空，名曰声传空谷，退吉而进则不宜；逆连茹空，名曰踏脚空亡，进宜而退则不可。三间之课，亦有缘由。课传六阳，利於公干；课传六阴，利用阴谋；半阴半阳，原情审势；阴多阳少，以理推求。

阳为德而阴为刑，阴从夫而阳自处。癸为闭而丁为动，闭主死而动主生。

子、午、卯、酉，多是五阴所寄，而日德从于阳干，在四孟位上。如甲禄在寅，乙禄在卯，甲则合己而以寅为德禄，乙则合庚而从庚之申以为德也，余例推。癸水润下之性，干逢旬尾曰闭口者，言水气在上，不能开口也。假如人在水中，一开口便不能生矣。丁火之性，主阳、主动，是生之象，正与癸相反。

空亡乃耗散之神，初斩首，中折腰，而末刖足；辰戌为网罗之煞，辰覆巢，日毁卵，而用置遼。

空亡为天中煞。人只知旬空为十干不到处，不知惟虚能起化，此正天之中也，故曰天中煞。数中凡遇空亡，不可便说不好，要细察始见端的。天罡之气，鼓万物而出，天魁之气，收万物而入，为四时网罗之杀，言一网无余也。在日辰上，是静位，所以

为覆巢、为毁卵；在用上，是动机，所以为置遼，言一往便留碍也。

年命若立魁罡，动者静而静者动；日辰加临卯酉，离者合而合者离。

立，是年命所乘神立於地盘辰、戌之上，非辰、戌作年命也。

三传纯子孙，不求财而财自至；三传纯父母，勿虑身而身自安。三传纯妻财而父母克害，三传纯官鬼而兄弟成灾。

《毕法》云“六爻现卦防其克”，即此意也。

见克不克，从其鬼贼，崖岸迫而勒马收缰；见生不生，不若无生，鸟兔尽而藏弓烹犬。见救不救，灾须自受，当如燕雀处堂，见盗不盗，本根无耗，须识荆棘巢风。

凡见克神，要细看他立处。若是生地，他自恋生，不来克我；若是他之克地，他自受制不能克我矣。下三句俱如此看。如人之临於危崖，尚可收缰，危而不危也。“鸟兔尽”，言人之施恩於我者，今已尽矣。燕雀处堂，而不知危机将至，救神无力也。“荆棘”解“盗”字，“巢风”则盗而不盗之意。

合中带煞，蜜里藏砒。煞遇空亡，饥食甘李。交车入长生之位，苦尽甘来；交车坐刑害之宫，幸中不幸。

吉中凶，凶中吉，须详之。干支门路，正在上下照射处，故曰交车。此处刑冲破害，极有关系。盖“交车”二句，似指交车立地盘长生刑害也，玩“位”字、“宫”字自见，不然与下节重复矣。

先生后克，乐极生悲。劫煞入辰，萧墙祸起。

乐极生悲，即《毕法》“乐里悲”意。劫煞，如亥卯未，劫在申，其应极速。萧墙应辰字。

日辰神将交生，龙虎聚明良之会；日辰神将交克，猿鹤争风月之巢。

龙虎是合气的状，猿鹤是不合气的状。“交生”、“交克”，可谓极切。

交车入墓，瘖哑双盲；交车冲刑，风瘫痲隔。

“瘡”、“盲”，俱切“墓”字，“風癱”切“刑沖”字，凡斷當各從其類。

乙戌己辛壬同四仲名曰九丑，天地歸殃；死絕休囚氣加日辰號為二難，夫妻反目。

凡戊子、戊午、壬子、壬午、乙卯、己卯、辛卯、乙酉、己酉、辛酉日，而大吉又臨日辰子、午、卯、酉上者，為真九丑卦也。蓋乙是雷電始動之日，震而不安；戊、己是諸神下位之日，又戊、己為坤，諸神清虛之氣，合德於乾，轉入坤維，曰下位是也；壬是三光不照之位，壬祿在亥，六陰俱足，日月之光，至此損照；辛是西方殺物之位，如何又居在四仲極陰位上？大吉是十二宮神之主，為貴人之本家，所以為星紀，言諸星朝會於斗也，今又臨四仲極陰之位，是為九丑。九，陽數。九丑，言陽之丑也。“二難”正配“夫妻”兩字。

上下六合，主客和同。上下刑害，冤仇相見。引從日辰名曰用媒，家必興而人必旺；干首支尾名曰回環，成事吉而散事凶。男年支而女年干，合後成婚；辰加羅而日加網，巧中反拙。太陽照武宜擒盜賊，月將加辰宅舍光輝。魁度天門行多阻隔，罡填鬼尸事任謀為。

既定課傳，次觀神將。貴人為百神之主，得位為福，失位為殃；騰蛇為卑賤之神，旺相怪異，休囚亦主忧惊。朱雀文書，亦主刑戮奸諛口舌；白虎道路，又為官灾疾病死亡。勾陳主迟滞勾連之事，囚主訟而旺主爭；元武為盜賊虛耗之神，休失人而旺失物。六合為婚姻和合，婦女得之則為私門；太常主酒食衣裳，武職占之則為擢任。青龍所主財物，文官見之尤為恩寵；天后雖為婦人，庶人得之亦主亨嘉。天空奴婢妄誕，太陰暗昧不明。

太公前，止用天將十二，後見丑位為己土之精，北斗之樞，是十二宮氣化拱照之地，因而加一，名曰天乙貴人，貴人即丑也。前五位引之，後六位從之，其間分文武、貴賤、男女。如天后，貴人

之妻；太阴，贵人之妾；空、滕、武皆贵人奴婢，龙、朱文臣，常、勾、虎武将，所不可不知也。滕属巽，风火摇动不宁，故主惊疑。离火外明内暗，故曰奸谗；火色赤，故主刑戮。虎处坤方，故主道路，又申金杀物，故主官灾，疾病。勾陈，辰也，万物至此勾萌甲拆未舒，迟滞勾连之象也。元武为亥水，阴私暗昧，故主虚耗。六合，和合之意，妇人岂宜私合？未，味也，言物至此月而始成味也，故曰酒食。衣裳者，谓麻絮丝绵，都于是月就绪。曰武职者，言巳、午所生之金，得未土而刚锐之气毕聚，至申位方显出纯金来，可见未中之金已旺了，故为武职。寅为三阳开泰，号曰青龙，正应文武之德。世间财物、吉凶、嘉宾、生死、丧祭、贵贱、尊卑、男女、长幼，那一事少得？所以属青龙，言其变化莫测也。天后有恩泽意，故亦云亨嘉。天空诞诈。太阴，阴私是也。

寅功曹主木器文书，申传送主行人消息。卯太冲主林木舟车，酉从魁主金刀奴婢。辰天罡为词讼兼主死丧，戌天魁为欺诈或称印绶。巳太乙惊怪颠狂，亥登明阴私哭泣。午胜光官讼连绵，子神后奸淫妇女。丑大吉咒诅冤仇，未小酤歌医药。

辰乘贵人合禄公门役吏，遇马而为奔走公人；戌逢空禄临孟为嘹哨边军，见丁而为逃窜落阵。大吉小吉作勾陈，斗争田地；天魁从魁为六合，奴婢逃亡。从魁若乘武合，妻妾怀娠；传送上会青龙，子孙财损。胜光如逢天马，必同行人；太乙若逢白虎，家多疾病。未逢天后，妇人奸淫；丑合贵常，欲添财喜。天空临酉，走失家奴；常遇登明，亲朋酒食。辰戌上见空武，奴婢逃亡；小吉单逢六合，婚姻聘礼。

辰上原无贵人，若天乙立地盘辰上，则贵而不贵，若合日禄，主为公门役吏，但食其公食而已。更带日马，则为奔走公人。戌加天空，军人之象，临孟而为嘹哨者，言去路方赊也。丁者，壮也，惟壮盛善走，所以落阵中亦能逃出。从魁是妻妾，元武为

胎，合是怀孕。子孙历代相传，传送之意。青龙为财，居申受克，非财损而何？胜光离火，为日之精，行游之象也，更乘天马，岂非问行人事？太乙在紫微垣内，家室之象，家遇疾病刑煞之神，则抱恙可知。未地始离於阳，渐进於阴，再乘天后，奸淫必矣。丑为贵人本家，太常为财、为田，合而得之，则财产之事添进无疑。天空为奴。酉，门户也。奴临门户，背主逆行。亥卯未三合，故未、亥为亲朋也。又未中酒食，与亥共之。辰、戌动而不静，有奔逃之象。空是奴，武是婢，临於辰、戌，故云。小吉主礼仪酒食，又见六合牙媒之神，其为婚聘可知。

辰逢勾虎必问田坟，丑作虎勾墓田破损。太岁龙常来占官职，子乘龙合女受皇恩。寅乘龙合儿孙欢庆。二八如同阴武，私通门户摇动；巳亥若逢阴后，二女争淫不已。子作六合为荡妇，见亥亦作孩儿；丑遇天空为矮子，会申名为和尚。寅作朱雀，会卯为文章之士，寅乘元武，见巳为炼丹道人。卯上乘传送为匠斲，辰上见白虎是屠人。巳入酉宫为犯刑远配，会太阴亦作淫娼；酉加午上为宠婢登堂，会六合必主淫乱。未加酉为继母，申乘合作医人。戌作天空，健奴军吏；亥乘元武，乞丐鬼神。

天罡主动，勾陈属辰，为田坟之象，更见白虎凶丧之神，则动问必在田与坟矣。丑土主静，遇勾、虎凶神，必主墓田破损事。太岁君象，文视青龙，武视太常，二者如近太岁，岂非问官职之事乎？子为天后，龙为恩宠，女与龙合，自是应受皇恩之象。寅即青龙喜神，六合为儿孙，所主必喜庆事。二八谓卯、酉，如乘太阴、元武蔽匿阴私之神，则门户污淫必矣。巳为双女，亥为双鱼，都是淫乱之象。子为妇女，见阴私六合之神，自然所主淫荡。亥为幼子，乘六合儿孙之神，其为孩儿无疑。天空是戌，为足，而加於丑，足为丑刑，不能大长，故为矮子。天空亦作和尚，申解作身，身会空，则身入空门矣。寅为书籍文章，卯为士，朱

雀文明之象，课象值此，自是文人声誉。寅为道士，元武不正之神，乃窃取财物者也，巳为鼎灶相会，为一炼丹可知。一说寅属艮，成言乎艮，道在是矣；上元武，下巳火，水上火下，正丹经所云“取将坎位中心实，点化离中腹里虚”也。申者，身也，身琢木为匠作，又卯加申，琢成器物。罡乘虎，杀气太旺，故为屠人。酉主杀，是天地之刑官，巳从巽，入兑相克，犯刑之义也。又巳加酉为配，所刑必属远配。巳双女，见太阴私蔽匿之将，所主必淫邪事。午，正阳，有堂之象。从魁为婢，加午为登堂，若见六合阴私之象，其淫污可知。土，生金者也，金旺於酉，土败於酉，以败气生旺金，如子已长成而母又生之，故为继母。申，身也，身入六合药材之中，岂非医流？戌者，戌也，天空戌之本位，故为军奴。元武脱耗，亥为天门，故云乞丐鬼神。

虎踞二八之门，八难兴而三灾发；贵立天门之地，四煞没而六神藏。

卯、酉为二八门，诸事所必由，今为虎踞，灾难自兴。惟丑贵加亥，方说得四煞没，六神藏。四煞即辰、戌、丑、未，而加四孟地，则化凶为吉。六神藏者，蛇临子、朱临丑、勾临卯、空临巳、虎临午、元临申是也。

太常乘破碎为孝服，加天狱螣蛇生灾致讼；天空会勾陈为斗争，并伏殃化鬼家破人离。天后临卯酉一举成名，月将乘贵龙片言入相。勾龙同居旺地，财宝如山；常贵共入官乡，当朝执政。

四孟金鸡四仲蛇，四季丑日是红沙，此破碎煞也。太常主衣服，而遇破碎，岂非孝服之象？天狱即天狱煞也，或值天狱卦亦是，常乘此，更会螣蛇惊恐之将，灾讼必矣。天空即戌，勾陈即辰，辰戌相争，又魁罡动摇，岂非斗争？伏殃正酉逆四仲，凡四仲为五阴之地，阴盛化鬼，家破人离之兆也。又天后为恩泽之神，月将君将之象，又青龙为恩宠，太阴属金，乃财帛之神，勾陈积聚之神，妙在“同居旺地”四字。问功名一事，大抵要官星得地。若

太常、天乙共入官乡，而他处更无克害，便是升官迁职吉兆。年临孤寡，自甘半世孤灯；日遇空亡，多主首阳饿死。太阳加神后之位，有水火之灾；太阴临胜光之宫，主自缢之患。财遇绝官而上乘旺气，定因白手成家；子作白虎而下见离明，多主螟蛉承嗣。年命加临卯酉，作事朝移暮改；龙合下临丑未，为人佛口蛇心。武会太阴，嘲风弄月；虎同天后，恋酒迷花。财同朱雀，主口舌上生财；武见官鬼，因奸伪中成事。财为天后，主宅、主妻；财作太阴，为奴、为婢。年作卯酉而入空申，随娘再嫁；时逢酉未而成刃绝，市井呼庐。合武乘旺临酉寅，非雷惊必主沉溺；虎蛇带煞临未巳，非虎咬必主蛇伤。子午卯酉为关格，谋望多主难成；辰戌丑未为墓神，发用多因掩蔽。

四时前孤后寡，或值旬空，皆为孤寡。若人年临孤寡地，占婚最忌。“日遇空亡”，非日干上见空亡，单言日干落空，则主空乏之事。水火相激而成灾。午火克乾金，乾为首，火为心，心自害其首，故有自缢之象。财物遇绝是白手之象，上乘旺气，则绝而复兴。虎伤子息，本应无儿，幸离火克虎，则绝而不绝。卯、酉为日月往来之门，故主移动不一。六合、青龙乃东方生气，主慈，而临於丑、未上，又主克，是口慈而心毒。阴金生阴水，象淫佚，又金水相涵，风月有情。白虎为传送之神，会天后，则闺门那得贞静？大凡事之成否，要视官鬼。苗云“不克不成事”者，此也。申为坤、为母，申空而母不安室矣，人年又加卯酉，必主变动，故云。凡酉为歌喉，未为酒肆，又乘刃绝，故不事正业，但日趋于败耗也。六合属震，元武属水，水雷，屯，正“雷雨之动满盈”也，故云。又蛇虎凶神，带煞，乘巳、未之生，其凶愈甚，故主受伤。掩蔽，要论旺相休囚。

占天看云龙风虎，察水火升降以辩阴晴；占地看玉藻金英，视神将生克以知凶吉。占宅占人看日辰而次详课义，占狱占病视勾虎而解救同论。捕亡，三奸之下可得；鬼祟，类神之位推详。占婚姻视天后

妻财与日辰比合，占胎孕看夫妻年上方判阴阳。占谋望要成神合气，占求财看旺相龙常。占功名先看吉神吉将，占官职当明天吏天城。

占地，支之阳神是墓，支之阴神是穴，玉藻金英有之。勾主狱，虎主病，见此宜视救神。凡亥、子、丑有一位加於地盘仲上，则对冲处便为三奸，对冲视天盘。天后、妻财、日辰比合俱重，若一处并合，便可言吉。男、女，自夫妻年上推来方的。成神，正己顺四孟。合气是合旺相之气，言成神有气不休囚也。龙、常是财神。

出行日为陆而辰为水，视神将之生克以辩吉凶；经商辰为主而日为客，视神将之衰旺以卜合宜。子孙动而求官不吉，官鬼动则兄弟遭。兄弟动则妻财有损，妻财动则父母灾危。父母动则子孙受克，官鬼动亦忧及己身。吉神宜旺宜相，凶煞要墓要空。吉神空吉中不吉，凶煞空凶内不凶。吉居德禄之官，出潜离隐而招祥致福，凶居生克之地，恋生解客而无暇害人。贵人顺治，凶神少降灾殃；天乙逆行，吉将聊施恩泽。

子至巳为阳，亥至午为阴，乃天地一大开辟也。贵人顺治向南，诸事吉；逆治向阴位去，则诸事少吉。

凶神刑害日辰，连绵灾患；吉将交加传课，不绝欢忻。凶神和合，虽灾而不致深危；吉将刑伤，有庆而终难全美。日辰有彼我之分，神将有尊卑之别，克日则灾及己身，刑辰主祸延家宅。男推日而女推辰，于中元妙，阳课明而阴课暗，此际幽微。孟仲发用，事应尊亲；季作初传，定应卑幼。用神验人事，比合为亲为近，不合为远为疏，神将断吉凶，旺则日新月盛，衰则渐退旋颓。贵神带印克今日，有位有禄；申午相加乘天后，为保为媒。虎克日辰，官灾痨病；勾刑卯酉，路死扛尸。白虎会旺相之金而克害年命，难免一刀之患；勾陈合太岁之神而刑冲日辰，定遭尸解之厄。年逢阴鬼，暗地生灾；日遇阳官，

明中致福。

大凡合处为来之有路。带印，非生我之印，乃已加戌为铸印也。又戌为印绶，皆所谓带印。经云“带印”，皆指通干生贵人说，此大有理。传送象媒保，午为朱雀，乃口舌上生财是也。又传送于道路，而发用在天后。日主讼，辰主疾，勾主死尸，卯、酉主道路。金旺虎愈旺，其凶愈甚。岁君合勾陈刑冲日辰，凶不可解。专言勾、虎者，以二煞原极刑、极阴之气故也。阴鬼是建干遁来之鬼，阳官则实见干上矣。

要见分类形状，当视州野区分。子列青州，亦主江湖沟涧；丑为扬地，更为宫殿桥梁。寅主幽燕，亦主栋梁寺观；卯为豫州，更为棺槨门窗。辰为兖州，亦主井泉坟墓；巳定荆楚，兼为弓弩鼎筐。午主三河，亦主山林书画；未为雍地，亦主酒肆茶房。申主晋分，更主神祠鬼屋；酉为冀地，又为仓廩山冈。戌主徐州，亦主州城牢狱；亥为邠地；更为屋榭廐房。此特举其大略，於中仔细推详。

子作内房、妇女、鬼神，兼泄泻；丑为庭院、秃头、病腹，患脾肠。寅主道路，入长生则为道士，主须发而病疯疥；卯为门户，会元武而为经纪，主手背而病在膏肓。辰为墙垣、书簿，主皮毛痈肿之灾；巳为窑灶、小口，主咽喉面齿血光。午为堂屋，主心目、吐泻、瘟瘟；未为井院，主头胃、膈咽、脊梁。申为驿递，主骸骨、心胸、脉络不利；酉为门户，主口耳、小肠、喘嗽难当。戌为墙院、足腿，亦主梦魂颠倒；亥为侧阁、疟痢，定应脾疝膀胱。自兹触类而长，当遵此例推详。

天后为妇女，天乙生水，鬼神变化之始。丑为星纪，塞土不生毛，故云秃头。木主肝，又膏上肓下，肝之表也。巽为风，主入。腾蛇火，主血光。未，井宿。先天午、未属乾，为首。未者味也，故言胃。魂藏辰、戌，魄藏丑、未。疟痢，寒热往来。

先贤时察来情，端倪无不相应。时遇空亡，必主侵欺诈伪；时乘驿马，必主动改迁移。冲日冲辰，彼我流离颠沛；同辰同日，事情偃蹇

迟疑。时日相生，迭为恩泽；日时克害，互作寇仇。日克时则为财，时克日则为鬼。遇子遇午，时往时来；值卯值酉，为门为户。时乘日墓，虽冲而终成蒙昧；日得夜时，见贵而反为不祥。日逢时破，主走失之灾；辰遇时刑，应讼狱之祸。时干日干相合，外事和同；时支日支相合，婚姻和会。日辰俱合明时，内外见一团和气；正时冲刑月将，顷刻有不测灾来。

古人以时为先锋门，故未得课传，先视正时与日干禄、墓、生、克何如。又以天上正时所乘神为直事，而事之原委已可知矣。

如甲日巳时，巳作滕，便知其为子孙忧疑事也。

大抵四课三传，克多则事烦，克少则事一；生多则虚诞，生少则理明。三传内有克日，子孙名为救神，无克则为脱气；日辰交相入墓，冲神号作天恩，遇墓终成破损。天地务致中和，阴阳不宜偏胜。鬼临畏地，当忧不忧；财入鬼乡，闻喜不喜。神将交克，占及夫妻；同类相伤，事因昆季。财遇天中，产业倾颓；鬼临旬尾，官灾不起。吉凶视其神将，生死辨其安危。条例多而同归一理，举一隅当反三隅。

天中，谓空亡也。旬尾，谓闭口也。

肘后神书

六壬秘法式中寻，数语真机不妄陈。若遇匪人难尽授，敢将仙术告贤人。主客会分灾福应，类神能责数通灵。三传夹定分事类，四课盘珠谋事成。财库加干财不现，鬼墓加日暗鬼兴。三传朝日分吉凶，始末回还反复频。随财入墓财消烁，财归末库禄丰盈。医人必欲逢生气，医者不宜见死神。用事宜逢三六合，散事何妨见破神。传中有墓人遭狱，课遇冲神同出因。白虎伤干忧消重，青龙加日所谋成。干加支上人归宅，支加干上出难寻。支上见空人难觅，支上比和主

客迎。逃亡但寻元本位，盗贼当求元武终。空加干上空中实，更审空亡何类神。贵顺元藏物非盗，十二支辰逐类分。用起贵前人可望，三支关格未归程。支加干上生男易，时下阴阳男女分。日辰相加分五等，传神关格有三论。遥克两般分四项，煞神数百类宜寻。六墓入传看有救，三宫真假式分明。别责九课三归一，八专五日干传真。子来加巳为阳极，午加亥上极阴名。岁乘天喜天书动，天喜空亡喜不成。运式依天无妄转，将神随记应如神。

百事分类责神歌

占天 雨责天后狗掩阳，黑云蔽日虎风狂。课内青龙宜责取，升天坠水细消详。

占科试 若专科试责何神，日命文昌与贵人。武观白虎文观雀，德立天门喜更新。

占官禄 官禄还须责正官，并将日禄马来看。青向文兮常问武，现求阳贵未阴还。

占家宅 家宅占来却问辰，看他落处吉凶分。二才阴后言妻妾，元后从何仆婢论。父责长生儿责子，命神惟与自身云。

占婚姻 婚姻天喜合神兼，媒妁须从六合看。男若占时责天后，女占直去向龙言。

占胎产 胎产之神天喜临，忌支二血也相亲。占胎生气胎神并，母腹胞胎一并徵。产责子孙之驿马，浴盆白虎共占云。

占病 疾病原来责类神，天医生气及丧门，病符死气同干鬼，白虎还加吊客论。

占埋葬 埋葬先看日墓谁，葬须旺气未生归。天空论穴当为主，青白朱元属四维。卯子寅兮男子论，酉午巳上女人推。

占词讼 讼寻官鬼识来情，最紧干支与贵人。两盘生克兼刑害，逆顺都来喜怒评。原被须分辰与日，再将白虎喝神亲。

占田禾 田家气象不相同，种谷须知各有宗：早稻寅兮晚稻卯，还凭六合共青龙；申为大麦酉小麦，太阴更与太常工；胜光责处宜寻豆，小吉从来瓜果隆。元责水荒旱朱雀，螣蛇荒歉是蝗虫。

占出行 出行命马要生扶，劫煞须看亲与疏。若问行人并信息，信神类马细踟躇。

占求财 求财甲乙责青龙，余日当知责不同，但看财爻方是准，还凭劫煞类神通。偏财空手求财责，详鬼如何识利丰。有本营谋应责正，论官断利允而中。

占买卖谋生 如求谋望责成神，买卖兼看六合灵。细推生克分成否，得诀通神不误人。

占口舌 口舌占时别有宗，尝看朱雀落何宫，并将的煞同来责，仔细推详定吉凶。

占逃走 逃走凭谁去立根，德惟君子责其贞。小人宜责刑伤处，余向日干责类神。

占防盗 防盗非同捕盗看，须将劫煞鲁都参。元神衰败宜防慎，旺相之时总不干。

占捕盗 捕盗勾陈即捕人，与元相制或相亲。元来克捕终难获，捕若伤元贼易擒。赃物武生分类取，窝家生武得其情。

占命流年 占命流年看六亲，行年到处上神凭。命中禄马分生害，还与干支一共陈。

占失物 问君失物更何凭，只在支神十二经，水火木金兼土位，各分物类与谁亲。比如金铁寻申酉，衣服太常木器寅。此是课中真秘诀，潜心搜究得通神。

雨血鬼哭集

值阳奇事宜显应。

其事主应速。

当阴偶机在阴谋。

其事主应缓。

发端慎始，厥末虑终。末克初，人乘我隙；初克末，已取彼衰。

互刑则根本先摇，

其事主艰。

递生则源流俱盛。

利未至初。

进气则先发制人，

进茹递生。

退气则后期颓志。

用神无气。退茹，或脱至末，脱货利。

生旺相扶，事纵倾危终可望；刑冲叠见，谋虽周到必无成。

神来伤日，他人屡见齟齬；

用与披带。

日去伤神，自己频生坎坷。

用受伤也。

仲为危地，并传则事势难安；

寅、申、巳、亥或二三入传而不得用，且披带不吉，事险阻不宁。

库是迟星，互列则机缘未偶。

三传库披带土，为谋多而就少。

值四孟或见合刑，吉神来断为十美；

子、午、卯、酉或二三入传，三传冲动，而发用又与日干生合，披带又吉，又与本命生合，则凡事吉断也。

得三奇又当顺数，由煞去占作万全。

甲戌庚阳奇，乙丙丁阴奇，子寅辰、辰午申亦顺数三奇，子丑寅顺数，披带又吉，且与本命生合，万全之吉数也。

六阳以动，否极泰来；

干支同。

六阴咸临，迨多吉少。

且带凶煞，不吉。

纯偶呈奇，事宜静待；

缓图可也。

纯阳作吉，类可设施。伏吟凡事务宜收敛，返吟定谋必主变迁。三局须审其旺衰，六合当详其变动。

当详日干本命与传相刑冲。

顺天时者事无舛错，悖行生者动出参差。

五行相悖不生。

马临正地，行人断作临门；骑入库中，旅客须知难返。

传本日干库更的。

戊己淹留他国，

马所披煞。

庚辛强半程途。壬癸多逢，萧然行李；

马披。

丙丁叠见，富贯腰缠。

亦须分披衰旺。

贵人临马，须知官长扶持；天马合生，必定因财阻滞。

临财长生。

华盖覆青龙，众扶势旺；

马逢龙，并华盖。

贵人生华盖，机速财盈。合三阳赖人扶助，

马，子寅辰。

临四局必见沉滞。

马，申子辰。

常六到，门宅平安；

初、末。

元雀临，须防失盗。

天地披火。

乘天后，家有阴私；

天地后、阴。

作官鬼，行多错谬。

初披带以鬼旺，此居外占家宅。

禄飞贵地定谋成，

二禄临贵人。

禄拱命元须遂志。

命中首、尾二禄。

系六仪，大吉无讹。

首尾戌、子得禄。

并三奇，众谋皆合。

甲戌庚又生合得禄。

升天门允为超越，

亥长生，又命禄长生。

沉海底断作空亡。

子旬空，壬癸、元武。

旺官虽吉，赖孙子之陶镕；

鬼太旺，中末子。

衰鬼全彰，喜吾身之乘势。

身得势而乘受。

元临墓知病者之难痊，本命更刑衣衾速备；

命墓元地穴，更与命刑冲。

常遇水识官司之有理，太岁文吉狱讼成抒。

常天门，或太岁地太岁。

岁逢龙公私两利，朱合贵名利皆成。

贵用，中末朱、合、贵，或天乙地朱皆是。

魁度天门多阻隔，甲木到事反速成。

甲、乙二利。

罡塞鬼户任谋为，元武行遍多窒碍。

辰加寅，逢元武。

功曹临巽，宜入公门；

巳为风门。

传送加辰，快寻媒妁。

申加辰，水合。

神后会白猿，威惊宵水；

子加申。

登明乘金马，皆通权奸。

阴私临午。

小吉登舟最利，江湖商贾；

未加子。

胜光出猎大宜，破贼将军。

午加戌。

墓中大吉，诸事皆空；

用丑，旬空日、命二墓。

马上太冲，行人即返。

天乙、二马临卯。

从魁临甲寅，惊散一车之鬼；

寅鬼户，酉加克寅车，披带青龙。

天乙坐己丑，竟成盖世之名。

贵人己丑加己干。

织女渡银河，百为皆利，而最利者阴私；

太阴披辛临丑，丑为金库，酉合丑。女为太阴。

牛郎逢猛虎，诸事以迟，而更迟者栽种。

六合临寅披壬。

玉女登堂，百事称心如意；

旬丁临午。如甲子，卯加午。

将军执戟，出兵速奏凯歌。

白虎辰披丙午。

铸印贵人，许功名之易就；

午披带庚贵，火局生土。

旺生文卷，知官府之可亲。

未卯木局披癸。

双蛇相会，家宅不宁；

蛇临巳，披乙干。

两虎并持，难辞盗贼。

白临寅地，元武披戊干。

挺刃交加，官刑未脱。

卯日刃披癸，未局又与命刑冲。

枷锁互动，词讼频兴。

六合酉披辛，金局，地朱雀。

阴后披丙丁，妻妾不和；

天地。

六爻逢壬癸，奴婢作祟。

天地。

元临日月时，逃贼必获；

初元建正时披巳。

空临寅卯辰，奸计难成。

天空所临。

贵入蟾宫，燃犀照水；

酉披丁临贵。

龙投阱内，幽谷潜麟。

申披庚临青。

人事统乎天时，万殊归于一断。愚者举一忘三，智者闻一知十。引伸触类，天机发乎先见，学者务在精研。

释十二将

贵神斗战莫论官，

克日名为四闭看。

克日主事业失。

若与日辰相生利，

若与日辰相生，百事皆利。

福禄荣华万事安。

蛇日相生喜气至，

凡十二将，固喜生日，亦要与乘神相生，不喜战克。如蛇乘木神

则喜，乘水神则战，余仿此。

战克忧惊在小儿。

初传怪梦心无定，

末传火烛卦中推。

其神上下带火、木，更乘天地火煞，可取火厄。若在日上、宅上，无救，主火厄。宅者，命前五辰是也。火光煞，正月在戌，逆行十二支。火烛煞，正月在己，顺行十二支。不克日则不用矣，克日伤人，克宅焚宅。

朱雀相生印信权，

其神乘木、火、土神，更有太岁、贵人相生，有权握，文字至。身不克则吉，克则凶。

克日口舌定难安。

初传祸发官事急，

注曰：在初传克日，急起口舌。

末传身须有远看。

注曰：谓朱雀飞腾远路，言有远信，若更乘天、驿马，必有远信至。又朱雀为交易文字。

六合从来福遂佳，

六合不克日，所求合和；若克日，忌合和事，不成，又主中损，更看何事断之。若见财，主合和中破财；若克禄，主官事。

相克夫妇见乖差。

注曰：六合克日，夫妇口舌，若绝神、离神，主夫妇别离。若六合带今日干合交加克战，必主分离。

用在门户奸邪事，

注曰：若六合临卯、酉，为门户，主有奸邪之事。

乘於巳亥远天涯。

六合乘巳、亥，更加天、驿马，或初传是道神，主有远行。道神者。正庚，二辛，三甲，四癸，五壬，六乙，七丙，八丁，九戊，十己，十一庚，十二辛。

勾陈战斗福皆休，

与日相违道路仇。

勾陈建干或有克日，官事并起，更没吉事，不克无凶。兼乘二马者，若在家，必有远人来相害，虽在外，亦主道路不吉。

中末二传俱吉利，

注曰：须别。中末都吉，却来克勾陈，亦平平矣。

也须禁系出身愁。

勾陈克日，如不是日上、作初传，却中末传生日，克勾陈，不为凶。如在初传、日辰上为鬼，中末传虽有吉将亦凶矣。

青龙相生事皆和，

更逢旺相福样多。

若与日干交相克，

疾病伤财祸转恶。

注曰：若与日相生，不克战，所求皆吉。更有气，不落空亡，或居福德位上，建无内战，宜求财干事。若青龙克日，主破财。若作白虎阴神、兼克日，必死。若落空亡则不凶。

天空上下共相讼，

得出狱兮病沉重。

支神与日相克战，

死亡奴畜小儿惊。

天空解凶狱，讼和。占病主凶，谓入空者无名也，故灭人口。

白虎皆凶须见详，

男女分占断死亡。

复有其神临卯酉，

免死须归道路傍。

注曰：白虎阳神克日，主女子得之必死；白虎阴神克日，主男子得之必死。健者主病、病者主死。如白虎加卯、酉，临门，如不

见凶，必有出入之理，谓白虎主道路也。

太常无克欢事宁，

小吉同逢宾客迎。

勾与日辰同聚会，

事因酒食起官刑。

太常不克日，主酒食，宾客欢乐。如克日，虽聚会，更妨因酒饭筵会起官事、破财。同勾陈，克日最凶。

玄武相刑忌贼伤，

破财官事主逃亡。

注曰：不克日无妨，克日主逃亡、遗失财，或双目人或奸盗人相害也。

类与日辰无战克，

凶中就吉却无妨。

注曰：元武乘恶煞，与日不克，何畏？生日宜求横财于阴私中。

太阴克日起奸私，

终有阴人挠讼词。

注曰：太阴克日主奸淫，若乘寅、申，口舌自消。同元武，主暗昧破财。若在末传系。不克日不用。奸神，春寅，夏亥，秋申，冬巳。邪神，正未，逆行十二支。若太阴与二神并，必起奸邪事。

更同卯酉为合类，

同凶为恶定不移。

天后相刑暗昧生，

不逢战克必婚成。

注曰：天后克日，主阴人口舌、不明事，若临沐浴之方，或亥、子、卯、酉，亦主淫乱，起口舌。无战克，宜求婚亲，又宜求妇人财也。

子亥卯酉同传者，

必见奸邪在狱庭。

注曰：若天后乘亥、子、卯、酉，更初传乘沐浴，主奸事；更有勾陈克日，主官事至，牢狱不明也。

二 字 诀

卜人十件莫移时，

三传日辰并来期，

行年太岁合本命，

见其二字决凶疑。

注曰：三传为三件，行年、本命为二件，太岁、来方、日上、辰上、正时，共十件。占课不出十件物事。其吉凶，日上、三传、本命、行年六处最紧，外四事亦可思。

寅亥遇之身主病，

注曰：课内、三传、年命、日上若见寅、亥有气克日，无救，即主病，若更今日乘行之道，或六处有一处见白虎旺相克日者，即应矣。

寅辰逢处狱囚迟。

课中、三传、年命、日上若见寅、辰，主官事。再论日行之道，及六处有勾陈或朱雀克日，宣言官事。若不见勾陈克日，只初传与日在囚墓之中，亦主官事。

子卯当逢占贼盗，

注曰：课有子、卯主贼盗。若更有玄武克日，或玄武克财，亦应。又如不见玄武克日、克财，只见日财落空，及受下克，亦主盗贼失财。又如不见财落空及下克，只见财乘玄武，为财去从贼。元

武阴神克日，必见不明损财事。临时细详。

马见巳亥在路歧。

注曰：巳、亥主出入，若六处中有玄武乘天驿马、六丁、游神，主取财在外方，又天上正时加马，远行亦然。

丑入午传多咀咒，

注曰：六处有丑、午，主咒骂口舌，更六处有朱雀准验。

酉未加之姑嫂离。

注曰：未为离神，酉为孤煞，二煞中建干克日，在六处，必见离别夫妇。又更隔角，准应。隔角煞，乃未立辰、未、戌、丑，酉立午、酉、子、卯，皆名为隔角煞。若行年更立离神，准应。

要知心中多犹豫。

胜光传送事疑惑。

注曰：申为肺，乃传送。午为心。午加申，主心有疑惑。

河魁行年临玄武，

身主须胡事不疑。

注曰：河魁为玄武，建干克日，即有一须胡人相害也。

通 神 集

凶神复行凶神位，

注曰：甲日用申、酉，或建干庚、辛为白虎，在三传、年命、日上，更在今日三刑、四煞、六冲、六害，转凶。若白虎在今日三、六合，贵神干合，虽凶亦减半矣。

带煞被刑无制度。

注曰：论凶神凶将，带煞，更坐三刑、六害、四煞、相冲，地下无

制，大凶；若坐下克上，凶神有制，其凶稍减分数。戊日，寅为白虎带煞，更临亥地，故曰被刑，大凶主死也。若亥中干克寅，其凶减半。

救也不救复来伤，

注曰：若白虎带煞被刑克日，即凶；若三传、年命、日上却克得白虎，为救神。更看谁先到。若救神先到即吉，后到即不用。如戊日，寅为白虎加亥，亥中水生木，必先到，主必凶，若庚、辛、申、酉在三传，被下制，虽在三合有路，却四煞、三刑、相冲、六害，为有制，后到，即不救、不用矣。

官灾流配死入墓。

注曰：前后凶煞皆忌带煞被刑克日。若重，则主死亡；轻，则破财官事矣。

吉将行来吉神助，

更兼吉煞同支住。

注曰：龙、合、常是吉将，如所乘神两不战克，又不克日，更与日相生，即吉。总见白虎、玄武，如生日，亦宜求财及远行，见官则吉。经云：“吉神吉将还相生，喜事求财必然成。”又《宝鉴经》云：“吉神助今日，生处不受制，更却无他克，百事大吉利。”有制伏则不吉，只言平平矣。

吉神不解吉相生，

注曰：吉神吉将，且忌解神，吉事必无矣。若凶神，入解即吉。自是官迁福禄聚。

通 神 诀

课体以定诀来意，日辰年命三传记。

断课先视六处：日上、辰上、年命上、初、中、末传。

配合天官参其义，来克我者当其事。

天官即天乙等十二神也，有凶有吉。克我者，官鬼也。六亲有父子兄弟财官，此先看官鬼者，乃恶患预防之意。

干前支上如临鬼，定主凶灾人宅处。

干为人，支为宅。临鬼者，如丙干遇子加干克之，午日遇亥加午克之。如乘朱雀为鬼，主口舌。在干人灾，在支宅灾。

日阴克日日乘墓，暗塞为多事齟齬。

音阻语。齿不值曰齟齬。

如戊午日，卯加辰课：

辰 巳 卯 辰
巳 午 辰 戊

庚寅日，子加未课：

子 未 午 丑
未 寅 丑 庚

主抑塞不通，暗逐屈折之事。

辰阴克辰罡处孟，可知卑幼有灾横。

如甲子日，戌加亥例：

戌 亥 子 丑
亥 子 丑 甲

第四课克支为鬼，又天罡加巳为孟，主煞在内，乃卑幼不安之象。

阴阳互克兼不备，合虎天后多私意。

互克者，如甲午日，戌加寅例：

戌 合 狡
午 白 童
寅 后

戌 寅 午 戌

寅 午 戌 甲

乃干克辰阴，阴克干阳，四课重一课，只戌三课，谓之不备。

又如辛丑日，酉加巳例：

酉六 狡

丑白 童

巳后

酉 巳 午 寅

巳 丑 寅 辛

辛即戌。戌酉为害，寅巳相刑，主夫妇不正奸邪。

阴阳间克传藏课，内外紫心成虚破。

间克者，乃日阳制辰阳，辰阴制日阴。如甲子日辰加卯例：

寅 丑 辰 卯

丑 子 卯 甲

又有日阴制辰阳，辰阴制日阳。如壬辰日戌加亥例：

寅 卯 酉 戌

卯 辰 戌 壬

俱主杂乱，内外不正之象。又有间克，如壬戌日午加申例：

午 申 未 酉

申 戌 酉 壬

日辰上交互相害，主内外奸心。又有传藏课，如庚午日午加申例：

午

辰

寅

寅 辰 辰 午

辰 午 午 庚

乃三传不离四课，主凡事破败，内外不足之象。

初传若被日干克，财现制文尊长厄。

初传见财则克印爻父母，主尊长有厄。

正课用神伤日辰，家中老幼不安存。

如戊、己日干，四土辰支，遇卯鬼为用，或合曲直课；庚、辛日干，申、酉辰支，遇午发用，或合炎上课。余例推。此皆用神伤日辰，或会鬼局，主家中老幼俱不安宁。

吉神遭制凶神状，忧喜两端虚祸福。

如甲、乙日龙乘申、酉，丙、丁日虎乘巳、午，主忧喜俱无。

初凶终吉惊无实，初吉终凶吉亦空。

此指天官而言。如甲日，初传白虎，末传腾蛇，火克金为救，虽有惊恐终不实。又如庚日，初传六合，末传太阴，卯酉冲克为破，纵有喜事终主成空。

顺喜当观母见儿，解忧可冀传扶持。

母见儿者，如甲、乙木日，值巳、午火为子孙发用，能克申、酉金之鬼，为救神，故能解散忧疑。

魁罡作鬼冲临宅，魍魉藏家丧服白。

戌为河魁，辰为天罡，俱主坟墓，如作鬼临支，支为宅，主宅中有伏尸魍魉。如冲支，亦主宅中发怪，不作鬼亦主孝服白色。

从魁太乙墓同虎，临支宅有衣麻缕。

从魁即酉，为白色之服。太乙乃巳，为丧车。墓即丑为金墓。三神如并白虎、死气、哭神等加于支上，主此宅内定有丧服人。初传见此，主于孝服之凶。

虎乘丧吊临年课，加墓殃人入鬼簿。

白虎与岁前二丧门、岁后二吊客或同岁墓如临家长年命上及干支课位，主悲泣。岁墓，太岁后第五位，如太岁是酉，则岁墓是辰。

魁罡作鬼临年上，元武侵袭暗损破。

魁罡为奴贼凶人，元武为寇盗小人，如并日鬼加年上，主遭连累不明事。

刑害两神忌为鬼，谋间逢盗官病祸。

刑害又作日鬼加干上主患病损人，加支上主官事损财。

魁乘阴后临财乡，密意私谋畏播扬。

魁即戌，阴度之象，更乘太阴、天后之神临于财上，主阴私财物，有畏惧彰露之兆，或主妻有孕。

用空传复支与干，归事从新废欲完。

空亡本无形兆，如发用，而中未传归日上，辰上，主旧事复来之象。

比和河魁两同用，心谋不一或干众。

比和主同心，为众事而占。

岁月为用乘天乙，来占必定干王勅。

太岁、月建乘天乙发用，定主君上之事。如乘蛇虎，无气克日，难免刑责，凡事必干朝省。

贵居卯酉或为用，意欲安居难守故。

卯酉为门户，乘天乙在上，或为用神，主门户不宁，有意外不明事。

后合元阴乘卯酉，加临课上遭贼寇。

卯酉为门户，如乘六合为私门，天后为奸诈，无武为贼盗，太阴为蔽匿，加日辰上主盗贼。

除定开危卯酉方，龙常阴后可逃藏。

如正月亥将，甲戌日巳时占，正西方酉位见卯乘太阴，正合危方，从此方逃去兵不伤身。

兄	寅	后
官	申	青
兄	寅	后

六	元	后	青
戌	辰	寅	申
辰	戌	申	甲
朱	蛇	贵	后
亥	子	丑	寅
六戌			卯阴
勾酉			辰元
申	未	午	巳
青	空	白	常

青龙传送主伤财，白虎遭焚祸不灾。

龙即甲木，如乘申、酉，受克，主公事破财。虎即庚金，如乘午火，受克，解凶，主凶不成。

将神有与干支类，莫得内外拘执情。

十二天官与月将、干支总有同情，如龙与甲寅、后同壬子类也。内外者，如甲子日，以青龙为外，以天后为内。如龙临支之二课，为外事入内，主进口。如后临日之二课，为内事出外，主出口。古有此法，然不可拘执也。

罡乘天后冲年忌，有孕且虑伤胎气。

天罡乃辰土，天后乃子水。辰乘后，土克水。如妇人行年上见此，主伤胎孕。如老妇、幼女，则为脾胃病。

血神挟虎同刑害，日本年逢官病会。

虎带血支、血忌加人年上或临日本，主血光官事。

传包两贵并干德，面君见贵任南北。

两贵者，昼夜贵也。干德，如甲德寅之类。三传见两贵与德，再生扶日干、年命上者，凡面君谒贵大吉。

关钥持刑虎作初，囚拘更视勾朱虎。

关是季神，钥是孟神，若持刑作鬼，与勾、朱、虎并发用者，主讼狱。

占时与用两生日，百事可求多随意。

如甲、乙日占得亥、子时，更发用又是亥、子，两生其日，乘吉将旺相，凡谋大吉而成，如空陷则非。

时用克干多暗逆，求谋定可为灾论。

如甲、乙日，占时与用皆值申、酉为鬼，乘凶将，带囚死气者，主谋望难成，如空陷反吉。

岁后临初年将良，遭囚得此赦音扬。

太岁，人君之象。天后，后妃之象。如加日辰、年命发用，如遭囚禁者主蒙恩赦。

财须分别内与外，求用无令鬼耗会。

日财为外，支财为内。如日财加辰支之两课，为外财入内，乘吉神旺相，求财大进；如遇岁前二耗并休死，财不可求。如支财入日之两课，为内财出外，宜出财吉。

三传寅未子初终，阴小惊惶抑意重。

如乙日寅加酉为用，乘太阴，初传寅被酉下克，太阴又自上夹克，寅上未为寅墓，此等课为不明之象，主屈伏暗钝之灾。

兄	寅	阴
才	未	青
父	子	贵

青	阴	阴	六
未	寅	寅	酉
寅	酉	酉	乙

朱	蛇	贵	后
戌	亥	子	丑
六酉			寅阴
勾申			卯元
未	午	巳	辰
空	龙	虎	常

传化为因分事端，中藏生克勿忘看。

如巳日占，见寅为用，主尊卑不和。此乃寅中之生火克巳中之生金，虽寅木生巳火，乃内有刑害之气动也。又如辰加甲上，主上下不和。虽甲木克辰土为财，殊不知辰中死水克下寅中生火。此例，学者大宜细察，余例推。

空亡四绝闭口课，病膈气壅伤胃饿。

日禄空亡为气穷，四下贼上为四绝，旬首加旬尾为闭口，故主噎膈气壅之疾。

太岁天罗枷锁藏，岁刑白虎见重表。

日前一辰为天罗煞。太岁若入天罗，有刑害，主枷杻。（又天罗煞正月起亥，逆行四孟。）用神是岁刑，带死气克日辰，主重见死亡。

岁破用神多是失，月刑家口不安康。

用为岁冲为岁破，更乘空、武主走失。又用是月破或月刑，乘蛇、虎无气，主家长不安。岁、月刑，如寅为岁，则巳是刑。日、时刑亦同。

日刑定是忧妻妾，时刑小口有灾殃。

用是日刑，值蛇、虎，主妻妾灾，勾主官事。用是时刑，更与鬼克日，值朱、勾、阴，主官非，蛇、虎主病。

三刑六害同伤日，蛇虎灾病雀讼妨。

罗网墓中囚狱系，医巫生气得财粮。

罗者，日干寄宫前一辰。如甲干寄寅，寅前一辰是卯，加于甲上是也。网者，罗之对冲，甲见酉是也。日上见罗网，或见墓神，主官灾囚系。日上见医、巫生气，主得财粮。

死神同德为坟墓，生气墓方是宅场。

日德如与死神并在一位，主坟莹事。生气如入墓方，主田宅事。元武有权为走失，后乘生气育阴阳。

元武有权者，乘申、酉金将，临卯、酉也，主有走失等事。育阴阳者，天后并生气临干支，作初传，主妻有生育之喜。

天狱日年主久病，地狱临同患大疮。

天狱煞正月起子，顺行四仲，如临日上、年上，主久病。地狱煞，春辰、夏午，秋戌，冬子，如临日上、年上，主患疮。

雀刑金将防遭火，建破魁罡是折伤。

雀属火，乘金将则火克金，如临支，支为宅，主火灾。建破，月建所破之煞。魁即戌，罡即辰。加临日、年上，主有折伤。

龙入天罗来问父，虎乘地网主官妨。

天罗者，日前一位是也，对冲即是地网。如天罗并青龙加年月日時上，主问父母。如地网并白虎加年月日時上，主招官非。

腾蛇乘亥须见怪，龙临金劫陷山冈。

腾蛇火神，本主怪异，乘亥水，克火，定主见怪。龙乃木神，如乘金煞、劫煞，主出行入山被劫破财。金煞即破碎煞，四孟金鸡四仲蛇，四季丑日是红砂。劫煞，正月起亥，逆行四孟。

死气日前灾已过，若居日后病眠床。

死气正月起午，顺行十二。

朱雀小吉为虚妄，德合六龙喜婚良。

雀属午，主口舌，小吉，乃朱雀乘未。以午合未，所谓午合未虚，故主虚妄。日干之德、合乘青龙、六合临午，主占婚喜事。

元武盗神贼入室，后合私门淫佚彰。

盗神乃元武之阴神，如加支上，主贼入室。私门即地盘之卯、酉。

勾陈狱上囚呼急，朱雀临辰哭泣殃。

狱，天狱煞也。勾陈，狱吏也。勾陈乘狱，主官差拘唤之象。辰即勾陈，朱雀入勾陈克日，主有大讼，且有哭泣之殃。

元武持刀忧贼劫，螣蛇丑午马牛伤。

元武持刀者，元乘金煞（即破碎煞），主遭盗劫。蛇乘丑、午，主伤牛马。

贵人朱雀空亡内，失落文书纸数张。

朱主文书，若空陷，主失书信等物。

后常若入空亡内，须知必定失衣裳。

后、常主衣服，若空陷，主失衣裳。

辰戌阴空忧脱赚，勾陈斗打在寅乡。

太阴、天空如乘辰、戌克日，主走失拐带。勾临寅主斗打。

盗入青龙防喜贼，日刑时破防血光。

元武之阴为盗神，乘青龙，主招喜贼。初传刑日破时，主见血光。

武入私门人欲走，贵常龙马朱官方。

私门，卯、酉也。元武入之，主家人欲逃。贵、龙、常乘二马，主官职升迁。

始日终辰传入阴，托人退口莫沉吟。

初传日上，末传辰上，又自昼传夜，是已求人而人口退也。

支用日未传入阳，他人托我进入房。

支上发用，传归日上，又自夜传昼，是人来求我而添人口也。
此为百廿通神诀，传与学人仔细详。

上通神诀计百廿句，灵验异常，宜仔细参详。

轩辕肘后经（亦名玉女通神诀）

课例区分事若何，先从卦体上包罗。三传四课明凶吉，将与神兮和不和。

上下相生皆喜美，交相克战定癯痾。将克神兮忧易解，神克将兮祸必多。

如期要视终传上，好恶从兹更审歌。初来克末凶还甚，始被终贼祸自磨。

初传克末传，喜即不成，凶即尤甚。末传克初传则吉，更遇吉神、吉将，吉尤甚，虽有凶自消矣。

假使金神临火土，末传遇水必无他。纵有灾殃自消散，须知福禄重巍峨。

倘得土神，亦成吉庆。他皆仿此推之。

已前秘诀虽陈露，犹恐三传吉凶误。假使土上用水神，未传木救无忧惧。

忽然无救将复凶，未便极凶仍更虑。如还年上吉神临，遥克凶神何必怖。

假令正月癸未日寅时占，以登明加时，河魁临癸水，上克下为用，将得白虎，凶将；中传小吉，将得太阴；末传天罡，将得滕蛇。此三传皆克癸日，又首尾俱凶将，三传俱不救也。如人行年二十八岁，行年在癸巳，上见功曹，为六合，是木，乃遥克三

传土神，即为救神，必转祸为福也。如行年在寅木，亦遥克三传为救也。如人行年立申，上见天乙为贵神，亦为救也，缘天乙贵人至尊之象也。

用生终死忧最深，用死终生吉相聚。

生者，是五行之所生之神也。死者，是五行所葬之地。假令甲、乙日，初传登明，末传小吉，丙、丁日，发用功曹，末传河魁，是用生终死也。庚、辛日，初用大吉，末传太乙，壬、癸日，初用天罡，未见传送，是用死终生也。

顺道用传母见儿，失礼还因子传母。顺则为和失则旋，此是三传真秘语。

初传母，末传子，顺道也。初传见子，末传见母，是失礼也。顺道即为喜美，失礼则为悖逆，所作稽留疑惑也。初用功曹木，末见胜光火，为初见母，末见子，谓木生火也。假令初用神后水，末传传送金，是初用子而末见母，为水本生于金也。

喜不喜兮亲与疏，日辰之下辨相遇。母临于子为和喜，交克魁罡事必疏。

假令甲日，神后水临甲木，是母临于子，为喜也；若还魁罡土临甲，是下克，为疏，不美矣。

初凶后吉终须吉，初吉后凶渐多凶。若遇德生名有救，如逢刑杀恶神穷。（德者得也）

若三传中遇德神、生神者，卦虽凶而为救神，其凶可解也。若三传卦凶，更犯三刑、凶将者，其凶尤更深也。

假令三月癸巳日午时占，月将从魁加时，传送金临巳火，下克上为用，是犯三刑也，谓巳刑申。又更下克上，为逆用也。假令五月己亥日申时，以小吉加时，河魁临亥为用，五月死气在河魁，劫煞在亥，是下克上，俱有凶神。

日辰救之其事缓，三传用救急能和。

若三传俱凶，却日辰上神救之，其事缓慢；如三传中有救神者，即变凶为吉也。假令正月丙辰日辰时占，以登明加时，胜光火临亥水为用。初传胜光，将得白虎；中传大吉，将得朱雀；末传传送，将得玄武。三传俱犯日辰，神将俱凶。日辰上神见神后、登明贵神遥克白虎凶神，此名日辰上神救三传也。假令正月甲子日卯时占，以登明加时，河魁临寅为初传，中传胜光，末传功曹。河魁临寅，下克上，虽凶神却被末传功曹克之，更功曹为日之德神，更末传克初传，更用死终生，传母见子，皆是三传相救者也。

日德支德并生气，奇神天德解仪科。此上七神冲作救，日年传末记伊何。

凶卦遇之凶渐止，吉卦遇之吉庆多。日上阴阳非属己，辰上阴阳匪为他。

日上阴阳为用，事非止于自己。辰上阴阳为用，非止他人。阴内阳外各有理，阴往阳来可知委。阴主伏兮阳主行，阴暗损财阳损明。

用日辰之阴神主内事，用日辰之阳神主外事。日辰之阴神主彼事，日辰之阳神主自己之行事。日辰之阴神主暗损财物、日辰之阳神主明损财物。

阴阳配在刚柔位，内外男女此中情。刚日下克内忧女，若有上克外男惊。

柔日下克还用外，上克下时凶内兴。日克神兮神克将，事从于内定吉凶。

将克神兮神克日，吉凶自外决枯荣。魁罡上下并蛇虎，休囚为死旺为生。

魁、罡，凶神。蛇、虎，凶将。此二神、二将相为用者，或在传中得四时之旺相气，若病者生，狱可脱也。若为用，带四时休囚、

死气者，病者即重，狱未得脱。

旺相为多休废少，更将物气证其情。旺则相乘十数之，相气因而信更精。

凡用神及三传带旺相气者，为多数也。若用神及三传带休囚、废气者，数之少者。更将物气卦证其由也。若旺相神，则相乘其数而进一位，是十数之也。假令功曹临辰为用，是旺神者，即功曹数七，辰数五也，五七三十五也，数进一位，则是三百五十或三千五百也。若用相气神者，以少因多数，而更倍之。假令太乙临申为用，太乙数四，申数七，四七二十八，更倍之，即五十六也。

休言本数莫疑惑，死囚折减数皆轻。支干之数翻复算，拘检卦内见其名。

若言休气神者，只言本支干数也。假令神后临戌为用，神后数九，戌数五，五兼九是十四也，若用死囚气神者，即减其数，折半言之也。假令从魁临丙为用，从魁六数，丙七数，七六十三数，折只得一半，是六数半也；或只用神减半言之，从魁六，只言三数也。

亡盗行人知远近，但寻此数自消停。其他万物皆如此，不可一途仍更宁。

课逢旺孟有来意，旺仲必当朝夕期。死囚休废状如何，四般皆属过去事。

若发用旺孟神，或三传俱孟，即来占新发意之事。发用囚、死、休、废者，皆主过去事也。

假使季神当相气，旧事即今将欲至。孟神无气临相地，废仲还同于此义。忽然相气临孟神，新事欲来须防备。

假令四季神下临相气为用者，即占旧事，再动之兆也。初用孟神，无气，临相地，亦是占旧事动也。用废，仲神临相地，亦主旧

事动之。用神是孟，临相气，亦是新事。

若占所事吉与凶，卦中神将言其意。不比远事反吟同，比合伏吟近之事。

不比、反吟为用者，主事迟迟也。比用与三六合、伏吟，其用主事近邻。

若占凶事与凶祥，更克日辰凶可畏。日鬼辰鬼月破神，更兼刑害五般陈。

若占人为凶事来卦，得凶卦，更发用凶神恶将，更用神克日辰，其凶可畏，不能解救也。

日辰年上兼为用，吉卦先欢后却嗔。复有解神孤寡煞，忧喜无成是真的真。

为前举事也。假令七月甲子日巳时占，用起传送为日鬼，天罡为辰鬼，用起登明为日破神，未传遇之亦不能成其吉也。如子上见小吉，为六害也。如太冲临子为用，是三刑也。遇此之杀者，吉事为凶，况若凶神恶将加之、并者，尤甚。余者仿此推之，无不验也。孤辰、寡宿者，春三月，太乙为孤，大吉为寡，本法前孤后寡，余仿此推之。又甲子旬中，河魁、登明是孤辰、寡宿，本法，十干后二辰是也，又名空亡神也。若此三煞在日辰上为用者，闻忧不忧，获喜不喜，狱囚必脱，疾病得痊，占行人虚望，失财难寻也。余仿此而推之。

若占吉事旺兼美，德合重重多喜庆。德生已说在前篇，三六合神看用起。

凡占人来，若问吉事，三传见旺相气，及与日辰相生，神将不内战，又三传中用神、合神见者，吉庆即多，求事谐合。

事神年上两相生，此主所为皆得成。事神年上两相克，此主所为皆不得。

事神者，上用主事之神也。若事神与占人行年及年上神相生并

加者，所占事亦得；比合，纵得凶神恶将亦不害。

何以明其急与迟，但看天乙自然知。日辰在前为事急，支干在后迟无疑。

假令四月戊寅日午时，以传送加时，天罡临寅为用，大吉为贵神，临亥，顺行，是用神、日辰俱在贵神前，主事急速也。假令正月壬子日辰时占，以登明加时，胜光临壬为用，天乙加戌，逆行，是用神与日辰俱在贵人后，主事迟慢。

顺行利阳虽急速，常阴不能成福奇。逆行利阴复缓慢，龙合难为降喜仪。

天乙顺行虽利阳，如遇太常、太阴，不能成福庆。天乙逆行利阴不利阳，主事迟缓也，虽青龙、六合亦不能成其福奇。

忽然贵神临二八，摇动不安主迁移。被刑带煞皆凶恶，神在外兮亦如斯。

若用神被刑带煞者，及凶将凶神，更神在外而煞在内，其卦尤凶。刑煞已注在前。加天罡于四季，即神在外，煞在内也。天罡加四孟，即神在内，煞在外也。如天罡加四仲，神在门，煞即入也。余皆仿此。

神将所主为月内，已往将来用意推。斗在日前灾已过，若居日后事还迟。忽然正当日辰上，凶吉只在朝夕期。

假令正月内，以功曹为用者，事应月内。正月建寅，是神将所主之月也。假令正月内，用大吉，为已往之事，为十二月建丑；若用太冲，主将来事，二月建卯，为将来也。斗者，天罡也。天罡临今日前，其灾已过；天罡临今日之后，其灾未过；天罡临今日之上，灾发朝夕。假令甲日寄在寅，天罡临卯，事在今日前，灾已过；天罡加丑，事在今日后，为灾未过也；天罡正临甲上，为灾只在朝夕发也。

前言课例都分显，犹恐应期难尽善。用起太岁一年中，斗建发时当

月见。

假令今年丁未年，以小吉未为用，事不出今年之中也。斗建，月建也。假令三月建辰，以天罡为用，事应在一月之内也。

传辰旬内应期详，用日克期在朝晚。

假令戊子日，用起神后，是今日辰也，吉凶应一句之内也。假令甲子日，以功曹为用，是用日也，为甲寄在寅也。

气首难过半月间，应候休言五日远。得时不出八刻中，仔细记之心莫倦。

假令丙寅日立春，太乙为用，吉凶应在一气之中，主十五日之事也。谓丙寄在巳，故在太乙为气首之神。应候者，假令庚午日为鱼负水，发用传送，吉凶应在一候之中。为庚在申，传送为候首之神，故用在五日之内也。

更有应日未宣陈，吉凶之卦各言因：今日生我为吉日，克我干者是凶神。

课得吉卦者，以生今日者为用日。假令正月甲子日寅时占，其日是木，水能生之，合应在壬日，故云“今日生我为吉日”。若课得凶卦，以克今日为应日。假令戊日得凶卦，即应在甲日，甲木克其戊土，“克我干者是凶神”。

事神与日何亲属，或为父母或妻儿，或作鬼吏或兄弟，不离神将决因疑。

事神者，用神也，看今日与何亲属也。

忽然兄弟为鬼吏，哪知还被兄弟累。旺为官爵相钱财，死亡囚狱休病忌。忽然兄弟化为财，财物还从兄弟来。

忽然用神与今日为兄弟，更见鬼吏者，占人须防是弟为累。假令今日丙、丁日，用太乙、胜光为同类，忽然兄弟得玄武，却克丙、丁，为兄弟化作鬼吏也。用旺鬼，忧官厄；相鬼，忧财物；用死鬼，忧死丧哭泣；囚鬼，忧囚狱；用休鬼，忧病人。假令庚、辛

日，以从魁为用神，是同类，为兄弟，将得青龙、六合木，是兄弟化为财，即财物因兄弟上得来；或见凶神、恶将，却因兄弟失财。

大哉圣法实难测，须凭将神决疑惑。其事有长有不长，此即专寻立用乡。

课事有长有短，但寻立用神所临之乡，看吉凶之事也。

若临冠带长生位，福禄重重更显扬；或值死囚休病地，官灾凶事不能当。

但立用神若临冠带、长生、临官、帝旺、有气之地，即有重重福禄。更得吉将尤吉也。假令传送临未为用，是用神立冠带之位，余仿此推之。若用神临死、囚、休、病地者，官灾凶厄。假令神后临丑，是为用神临休衰之地，临寅为病地，临卯是死地，临辰为囚墓地也。他皆仿此推之。

大要先须看日辰，次辨尊卑长幼分；官人百姓从头记，贤德奸邪次第陈。

须看日辰之体。日为尊，辰为卑；日为老，辰为幼；日为官人、为贤德，辰为百姓、为奸邪人。

舟车水陆夫妻定，病鬼人宅表里寻。既往即须寻至处，为客方知有主人。

日为车，辰为舟；日陆，辰水；日为夫，辰为妻；日为病人，辰为鬼祟；日为人口，辰为家宅；日为表，辰为里。日为既往，辰为至处。

出入但依南北路，左右须详男女身。使作往往知的当，有求人物见虚真。

日为出，辰为入；日为南，辰为北；日为左，辰为右；日为男，辰为女。日为往，辰为住；日为人，辰为物也。

弓箭网罗为猎师，鸟兽禽鳞所获因。干吉支伤顺为喜，干伤支吉逆

为逆。

日为弓箭、网罗、猎师，辰为鸟兽、禽鳞、所获也。日上神克辰上神，顺也；辰上神克日上神，逆也。

支干相生旺有气，举动和合疏者亲。支干互伤带刑煞，休囚无气祸来臻。

支干上神若相生及旺相气，举动所求者吉。支干上下神交相克，更带休囚气，及披刑带煞，又无气，主所求皆多不遂。

日辰大体已分明，更看行年合事情。行年克日为不及，日克年神失节名。

行年克日上神者，名曰不及也。日克行年上神者，名曰失节。假令占人三十七岁，行年在寅，今日丙上见大吉土，是行年寅克日上大吉土，是名不及也。假令寅年，寅上见神后水，被日大吉土克行年上水，名曰失节。

用神若还害天乙，是为四闭凶不轻。应喜反怒解复结，用兹三事要消停。

用神遥克天乙贵人者名曰四闭，喜者复怒，解者复结，不及失节。四闭之课，消息天官，断其吉凶也。

卦体纪纲前已别，复有举为未尽说。百事三传见类神，与日相生为果决。

凡所求望、动止百事，于三传中见其用神，并为今日相生者，所求望事必果决也。

假令欲去见君王，须寻天乙为何方。酒食有无看小吉，衣物将来视太常。

如欲见贵人，视天乙，求衣服、印绶视太常，酒食视小吉，财物视青龙，妇女视天后，罪囚视太阴，交易视六合，火光、词讼视朱雀，斗讼、淹留视勾陈，病人视白虎，惊恐、怪异视螣蛇，欺诳、诈伪视天空，盗贼、遗亡视元武。

明举三事将为例，欲求他课自消详。此是神仙肘后诀，能晓乾坤掌内藏。

大六壬玉成歌

六壬元妙有灵机，支干神将辨安危。克冲刑破休衰害，七者言凶必定期。

日为君、为尊、为官人，支为己、为宅、为卑幼、为物。一克、二刑、三破、四冲、五害、六休、七囚。神将相变，内外相克，上下相刑，传中相破，或见上下相害，又是囚死休气加干支及传者，凶也。凡占，见刑气克干，无气作初传，动者为凶。

德合相生并旺气，此神相访福来随。

德者，如己在甲之类，及支前五辰之德。合，三、六合也。相生，子母相归。旺相，有气。大抵无气神将不能害有气神将也。旺相、相生、德合者通。

将是神兮神是将，若得青龙便是寅。

天之十二将，便是十二神也，如乙日见虎，便是德矣。又如甲日见青龙入辰两课，为外人入内也。

日主尊外并人类，辰为卑内宅兼身。

日主尊长之类。辰为卑幼，为宅，为己身。

占时考校日和辰，是财是鬼是何神。

占时将与日、辰考校吉凶、内外。如甲子日寅时，并又得子时，主凶。

见机两用艰难险，疑惑先难后易伸。

知一每事须云近，遥克当传主远寻。

知一卦者，占贼盗皆主近，占事皆近应。

遥克主远，应遥远也。

元胎生下病人占，当用下生定有婴。

元胎卦，四孟上生下者，主人病。三传四孟加长生处，主新事及孕育事，老少久病俱凶也。

神遥克日名蒿矢，日遥克神弹射名。

主暗昧、口舌、遥远事。有客至不可容过夜，必主口舌。

反吟占事休言定，往复双双两事因；

常占须主身离动，不动人情有怨欺。

反吟，常占主身动；不动，主人情不足之兆。

伏吟举动心无遂，刚主行人到户庭。

三交凶吉皆因内，昴星蛇虎定凶危。

三交，凶将主釜鸣，天空主失物，龙、常、雀主迁官，勾、后、阴主走失，蛇、虎主讼。三交卦皆主内。昴星主外，见蛇，虎入传，病死，讼枷锁，太阴主暗昧事。

岁月受伤克为用，虎临丧吊哭声归。

太岁、月建受克为用，得凶将，主长上灾；虎临年命，丧吊为用，有丧祸之事也。必岁、月在传方是。

三刑为鬼人家破，日鬼用扶官职辉。

三刑为传，蛇虎克战，带凶煞伤日辰，主家破人亡也。日鬼为用，生行年、本命者，主迁官之兆。

墓神加日身灾滞，支临干上所为危。

日墓加日主身有灾滞。支为卑，干为尊，若卑加尊，所依皆危。

岁月死虎加年命，相刑之月气归云。

岁乘死神、白虎加年命者死。假令申年，戊辰日，伏吟占，行年在寅，四月申为死神，同岁虎伤刑行年者，主四月死。申为死神，刑行年寅也。此言太岁乘白虎为死神也。

日鬼加临辰两课，门中官吏乃相紫。

日之官鬼来加内两课，主官吏到门也。《毕法》谓“鬼临三四讼灾随”也。

吉将遭伤求事阻，休囚归传也不成。

吉将被战，求吉事不成。休衰之气为传亦主无成。

时伤年命入传来，必然卒暴有惊忧。

占时克年命，又乃入传，至卒暴惊恐之事。入三阴课也。

德神动处吉相随，反遭刑制见凶危。

日之德神临日辰为用，上下相生者，主有大喜庆也。返遭刑制者，如己日见寅加申、酉，德神受克也。及将乘白虎，又或寅上见申、酉，名无德。

支上有鬼家移动，干若逢之人主忧。

日课对隔主人离，内之值时宅破期。

日之两课有对神、隔将，主家宅离隔也。假令乙日，干上见六合，乘酉，内二课有对神隔将，主家离隔。假令丙日，朱雀乘亥加干是也。

阴神却受阳神克，退除阴小人堕胎。

第二课受第一课克者，主退阴人口之象。

四课相间于内外，传用冲支宅不宁。（课间）

四课相间，事须内外也。假令丙辰日亥时，丑将，四课相隔（阙）以将言之，元武走失，虎、勾、朱、贵主讼。发用或传神冲支者，主宅不宁。

子孙阴劫同加日，逆乱欺凌尊上人。

子孙爻乘太阴、劫杀加日，主卑小逆乱，欺凌尊上人也。

用将支类家中事，三合支辰眷属亲。

传、用天将与支类者，主内事。如巳、午日，传见蛇、雀者是也。支辰、三传合，或传、日三合，皆属眷爱。只如占盗，见支合为玄武，主亲人所盗也。

天空在未井多怪，兼主人遭疾病索。

天空乘井煞，加未入传，主宅中井损，厠、灶、门皆准。此兼主宅中人患宿疾也。

从魁同虎住干支，宅中须言有孝人。

酉主孝服，乘虎加干支，主宅上人孝服也。

白虎或乘日辰墓，来临内外亦丧逆。

传带凶将冲干支，疾病人灾官事至。

三传内有一神冲干，主人灾；冲支，宅灾。主人病或官事，并以内外言之。

本日墓与蛇虎并，棺槨坟灾欲动兴。

宅神，日前五辰，或命前五辰也。本日墓与蛇、虎临宅神，并日辰、传中，主有丧祸之事也。

占身用与纳音详，相生有喜克时殃。

发用克日之纳音者，身灾，相生则吉也。

父母临干忧子孙，雀伤支日闹如篁。

日上父母带凶将恶杀加日，主子孙有疾病也。雀克日、辰，主文字口舌闹燥。

子息见时官事解，妻财尊位岂安康。水乘火将皆惊恐，勾雀同传多讼伤。

蛇、雀乘子、亥，主惊恐暗昧、口舌相伤。勾、雀同入传者，主斗讼之争。

卯乘前二招唇吻，罡作朱雀狱讼囚。

卯乘朱雀主口舌之事。罡乘朱雀主入狱之争。

荧惑加寅音信至，太阴为用主阴谋。

朱雀乘寅远信至。太阴为用，主机谋、不欲人知事。

天魁立用须干众，若加寅卯狱追收。

戌主众，必有干众之事。戌加寅、卯为用，或加行年、本命，主狱

之事。

昼夜贵人传共见，或同日德动高尊。

天空立用事无凭，前四带合勾引情。

天空立用，占求事须三五次，失信无成。天空，不实之神也。支干与勾陈合者，主有勾引之情也。

后阴玄发暗阴谋，传出贵前将主明。

后、阴、玄为用，是天乙之私气，皆主阴暗不明之事。若三将为用，却传出天乙前者，先暗，将得明矣。

恶将从来只说凶，若逢生合却欢欣。

虎、蛇、雀、勾、空皆属凶将，若不战，却生日辰，反吉。凶将若合或生日辰，不战，比合，为有喜也。

贵临巳亥多反复，罡加癸水主藏名。

贵人临地盘巳、亥上，主事有反复之意。天罡，鱼龙之物，下临癸水，主藏避逃形，如得水藏之象也。假令癸酉日寅时，巳将，主藏逃也，为辰加癸为用。余仿此。

支干发用岁神临，所望远大及朝廷。

必主远大之望，非细微之事。缘太岁临干支为用，或岁君发用是也。

占时发用当日言，太岁连传三二年。

占时发用，应在当日。太岁相传，却三二年事，必迟却三二年。

支干入传为事速，岁建并煞亦如然。

干支入传中者，占事主速。岁月建共入传，或杀刑重，亦主速也。

旺相气发必欲速，休囚死气皆迟延。

春木旺，火相，四时各以类推。发用或传阳传顺，事又速也。休囚、死气为用，三传逆，又传入天乙后，主事迟，目下未成也。

日阴辰阴用为合，更乘吉将待求成。

凡干三合在日阴发用，主外亲事；在辰阴发用，主内亲事。支三合亦然。

日辰相会无凶将，亦主他来相合因。

日辰相并，得吉将，主合事也。

三传带合须求事，类就其干众所占。

三六合多主干求事。假令甲、乙日，上见寅、卯入传，及丙上见己、午，皆众用之事也。

用与时伤干支凶，若生干支福兴荣。

乃天网卦也。用与时同克日则外灾，克支则内灾。占时、用生干主外喜，生支主内福集门。

地足天头加酉卯，将乘蛇虎远行为。

戌、亥为天头，辰、巳为地足，若加卯、酉为用，更乘蛇、虎为将者，主远行道路之事。

斩关游子身当动，支来日课亦如然。

二卦主身动之象。支来日上之两课亦主身动，故日为外，支为内，故主动也。

天驿二马为初用，参星白虎动行神。

日之驿马及天马为用者，亦主身动。参星者，传送也，虎为路神也，为用必动。

玄空直财遭贼盗，财伤年命斗争因。

日之财神乘玄武、天空，或为旬空者，主失财。若财神克年命，主因财而争或失。

或陷空亡须主失，劫亡下克盗为真。

财在空亡，须主失财。劫杀同财，却又遭劫杀下克者，多招窃盗也。

外财入内多财喜，忽然大旺货物起。

日之财入支二课，是外财入内，多主求财之意也。内见外财者，

主货物起求财。余依此也。

伤破须看天上神，财入传来天将伤。

假令癸日，巳、午为财，入传或发用，上见水将克者，财破。如财遭天将破失，是伤也。

官鬼下临财位上，阴私用事畏人彰。

假令己酉日，申将，巳时，卯是日鬼，下临子水乡是也。天盘日鬼加地盘日之财位，阴私用事，畏人知也。

日往支辰亲识至，返遭刑克被凶侵。

日来支上两课者，主外人至，及进口口也。

火主其明水主暗，失明只为火难任。

发用克日，蛇、雀临巳、午，主明信动；后、玄临亥、子主暗信动。火属阳，水属阴，故火明水暗也。火临亥、子为失明，主虚忧、惊恐事。

少多大小详衰旺，旺多衰少细推寻。

占物数多少、大小者，皆以系神将，旺相为多，休囚为少。

月厌丁符与将空，伤于怪动好沉吟。

月厌，正月起戌，逆行十二辰。丁者，六甲旬中之丁，及蛇亦是。符，直符也，甲日巳，乙日辰，丙日卯，丁日寅，戊日丑，己日午，庚日未，辛日申，壬日酉，癸日戌是也。将空者，天将不曾游到之地，却于天上乘之。假令龙不到戌、亥，却天上亥与戌为龙，乃是将空之地，余依此。又月厌、丁符、将空伤日辰，必主怪梦之事。取怪之状以类神主之。

生死二气常顺用，飞魂丧魄畏来临。

生气，正月起子，顺行。对生气为死气。飞魂，正月起亥，顺行十二辰。丧魄，正月起未，逆行四季，未、辰、丑、戌。此二煞乘凶将，加临年命、日辰发用，必定有死绝之象也。

天鬼或与蛇雀并，宅舍须忧火烛惊。

关神动处身灾滞，飞祸之神忌临辰。

关神：春丑，夏辰，秋未，冬戌。如入传，加日辰，有勾牵之灾。飞祸：春申，夏寅，秋巳，冬亥，不宜动用，进出口、求事皆主灾横。

如加日辰、年用，不利战，宜守旧则吉也。

游都天盗并天贼，六辛便是五亡神。

游都煞：甲、己日丑，乙、庚日子，丙，辛日寅，丁、壬日巳，戊、癸日申。天盗：春卯，夏午、秋酉、冬子。天贼者，正月起丑，逆行四季，与玄武并临日辰、年命者，主盗贼发动必矣。旬中六辛便是五亡煞，刑克日辰、年命，主盗亡也。

房都不可漏商税，天车出外必遭伤。

房都：甲、己，未；乙、庚，午；丙、辛，申；丁、壬，亥；戊、癸，寅。加日辰，不可漏税、作私事。天车：春丑、夏辰，秋未，冬戌，出门忌此煞，必主惊恐。

天喜相和喜庆多，解神忧喜见消磨。

天喜：春戌，夏丑，秋辰，冬未，与吉将并，日辰、人年上见，大吉利也。解神外有起法，逢此者，乃吉神也。

成神为用总皆成，天目家中有鬼神。

正、五、九，巳；二、六、十，申；三、七、十一，亥；四、八、十二，寅。与吉将并临，主事成就。天目：春辰，夏未，秋戌，冬丑，占宅有祟。

迷惑始为终不记，刑亡终并事遭凶。

迷惑，正月起丑，逆行四季，占事遇之，迷惑不已。刑亡：正戌，二亥，三子，四丑，五申，六酉，七辰，八巳，九午，十未，十一寅，十二卯，又与勾、虎加年命，传中刑害日辰，主市曹赴法死。

金神四煞占来凶，凶将相并祸重重。（金神即破碎。四煞即天杀。）

金神：孟月酉，仲月巳，季月丑。四煞：亥、卯、未在戌，巳、酉、丑在辰，申、子、辰在未，寅、午、戌在丑。此二煞，即吉将亦凶，其

应速。金煞与四煞与凶将加年命、日辰，传用者，祸大重也。
吉神吉将不相生，喜事论之未必成。凶将凶神无贼害，忧疑却得见和平。

虽是吉将，缘却克战日辰，喜而必凶，占喜不成。凶将不克日辰，占忧事必散，而和平矣。

深不离衰休克，灵验应须学玉成。

六壬之法，千经万论，各不出於旺相、相生、德合则吉，比合凶事不成。若休衰、刑克，则凶事将成，吉事不就。

来经考验古贤文，翻成新句乐同人。

永挂清台而默秘，玉成歌指细推寻。

心 印 赋

月将 月将独为福德神，能除殃咎祸难侵。喜事能成忧事散，本命逢之见得真。

月将前支或后支，三位占来作此时，或进或退事多疑，退保无灾进喜期。

注解曰：如子为月将，丑为前支，亥为后支，若逢之吉。逢进为有喜，逢退为无忧。

太岁 岁临本命事堪详，支逢家长不安康。常人逢之事乖张，君子遇之有吉祥。

解曰：太岁临支为入宅，主家不安；临身命亦然，常人主官府忧，君子主利见贵。

岁冲便为岁破神，天空玄武莫相并。逃亡走失怪事频，支干逢来尤得真。

岁前五位岁宅君，后五须知岁墓神。蛇虎祸来有灾迤，门灾阴

小不安宁。

解曰：如寅年，未为宅君，酉为岁墓。

岁命相逢岁里欢，三刑克害主凶残。建边见福月内安，干上逢祥日下端。

解曰：太岁上神与本命上神相生、德合者，岁中之喜；若相刑、克害者，一岁之灾。月建上神同断。

岁破加临月破中，上下相逢财物空。吉将逢来忧可容，若见凶神凶更凶。

岁、月破，即冲者是，主财物失脱。

月破人情有不和，失财疾病扰求多。凡事不成争奈何，惟解冤仇自消磨。

月破即月冲。

干支 日上神与命上神，相生合喜福来亲；六害相逢自成嗔，三刑冲克亦为违。

日命相合为福祥，日来克命喜相当。命若克日见灾殃，反复推穷理最长。

日上神克命上神，为财喜之兆。如命上神克日上神，为不利，凡事不顺也。

日辰上见墓神加，病者无痊灾可嗟；行人失约路途赊，若当时日来临家。

如正月庚寅日，大吉加寅，行人病死。

用起遥克与日干，救神制鬼却为欢。丁日愁逢传用子，丁上辰居吉又安。

如丁卯日，子加卯为蒿天，遥克丁，丁上见天罡为救，不为忧也。

三合俱在日加临，支上皆同上下寻。或合喜事或婚姻，最好相宜望信音。

巳加申、辰加酉、卯加戌，此三课俱合也。戌合婚、望信音，吉庆也。

支辰三合为眷亲，假如子日见申辰。惟有巳酉丑三辰，岁中必定别阴人。

凡支辰三合，皆为亲眷，进人口之象，惟巳酉丑主阴人别离之兆。

支神三合发用来，加刑受克骨肉灾。天后阴人事萦怀，定知年内必见乖。

支神三合发用为亲眷。若刑害交克，骨肉疾病灾兆。后、阴主阴人水灾，玄武、天空主逃亡之兆。

日辰传逢两破神，破财失脱事皆空。恩人断绝亲不亲，事多乖错不和情。

甲申返吟之类。

支破临支作用初，自因妻妾不安居。玄空见退事不无，腾蛇失脱上同居。

支破者，辰冲也。须是支上为用。乘阴、后主阴人、小口灾，乘天空、玄武主退损象，腾蛇主灾惑不定、怪梦，失脱奴婢财帛之兆。

占时

贵人用起卜时辰，干贵图谋百事成。常人官府喜重重，求利求迁可以荣。时逢朱雀象文书，或求信息或同途。丙丁巳午又同居，秘密流传法不虚。

时逢朱雀，又与丙、丁、巳、午同宫，主文书。

占时时里有灾祥，诸煞天官务共详。克日为恶必凶伤，日财吉将喜能昌。

子

子临四季虎来并，小口频频灾病重。岁为丑未戌加辰，卑幼年中命见迎。

子为小口，制于四季。土克水，又乘白虎，主子孙灾。四季

为太岁而加子，主年死小口也。

子来加巳为极阳，戊癸为合吉则昌；若逢蛇虎无福祥，合乘不遂事乖张。

子为一阳，至巳为六阳，是极阳。子中癸水，巳中戊土，相合，吉将、有气则吉昌。凶将则凶也。

子丑相加事必成，更逢吉将转欢欣。旺相加临神合神，进取婚姻两事成。

子丑相加，合处为用也。

丑 丑加巳上乘合龙，贵来举荐两相同。阳道消兮阴渐治，用神此理主父凶。

丑为二阳，至巳上为极阳，若极则阴生，为阳道消，则阴治也。更乘龙、合，主暗求私祷事，不然主父凶。

寅 寅加酉上为用初，中末未与子上居，行人远至及文书，传墓为来有一失。

卯辰 乙庚用起见天罡，地上同辰亦此方。象主争夺须预防，或于失脱见乖张。

乙庚通庚辰，辰在乙，主失脱并争夺事。卯子作六合为日鬼，内外阴私。

庚酉辛寅若加临，寅若加日病来侵。卯加三位木就金，利遂名成两称心。

庚、酉、辛乃申、酉、戌也。寅若临三位，更乘恶将，为有病来占。寅、卯皆木也，寅临三位为病，何也？答曰：寅为天之栋梁，临金为损折之象，故主疾病，为利名不遂也。卯为太冲，临金，有雕斲成器之象也。

寅卯并辰上见魁，戌加三位酒食推。旧事有财新事悲，虎临仆逃足病时。

寅乃青龙之位，卯乃六合之位，辰中有乙木，戌中有辛金，

若戌加寅、卯、辰，则为酒食也。白虎主病，又为道路。天魁为奴，又为人足。若非仆逃，则主足病也。

天罡为用象如何，旧事重新灾自磨。酉前带众事皆和，干求长者福禄多。

天罡为用，利占旧事。天罡，利见大人。

官魁须分有禄人，转官迁职喜氤氲；常人疾病或官刑，莫使常流取次闻。

天罡克干为官魁。

巳 太乙加临子占初，戌乃为铸巳为炉。君子迁官或音书，常人官府事忧疑。

巳加子为铸印卦，仕人吉，常人主官忧也。

巳为初传命上金(财也)，用财临命法幽深。干财得遂喜相随，财物无烦别用心。

初传克命上神，主利求财。

太乙登明为用初，阴阳不备亦同途。交克用事神不殊，事先不足后有余。巳为双女亥双鱼，用起须知两事俱。或求或动皆音书，他人别处吉收扶。

巳亥发用，主两事动，或望信息，他人别处事皆吉。即返吟课也。

午 胜光克日为螣蛇，阴人离散事堪嗟。若不休妻及淫邪，不然孕妇在其家。

午为一阴生，主妇人离散。若不休妻，必淫邪，不然孕妇淫佚事。

胜光为贵加支神，宅中发愿赛神明。辛日临亥最为亲，圣法流传事更真。

胜光临亥为德乡，婚姻有象不相当。立名四绝病人亡，隔绝旧事可消详。

午加亥上，德合也，虽主婚姻事，则主不成，绝乡故也。若发用在四立上，又克日者，病人死。利解释事，绝故也。午加亥上见极阴，胜光为火火为心。心神荧惑疑虑真，总疑灾害不相亲。

午为一阴之地，至亥为极阴。胜光属火，在人为心，临亥被克，必有疑惑之理。

胜光太乙主文书，用或来加命上居，更逢贵雀莫踌躇，若见龙常皆可图。午加酉上吉相扶，进取求迁疑可图。逢凶恐怪有忧疑，先是疑难后得苏。

午者，火也，加酉金，死，必有疑怕之事，终则吉也。谓高盖乘轩卦也，主隔中通也。

申
申加巳上六合神，玄胎生处又为真。六合内战子灾逆，不然媒妁议婚姻。

为长生玄胎也，主婚姻有成之象。六合为子息也，乘申、酉为内战，主子孙灾病。

年命上逢传送神，传送临时灾病侵。更加凶将伏沉昏，庚申白虎位属金。

酉
酉加巳上用朱雀，青龙贵位要加临。干贵求财有信音，三事占来多称心。

酉加巳上，乘朱雀，宜占信音。青龙宜占财帛，贵人宜干贵。

初传年命有从魁，从魁不乐有忧疑。为财为信有凶期，吉将逢来百事宜。

酉为八月建，刑位在内，德位在外，主行肃杀气，万物雕零啾唧，忧疑不乐。忌乘刑将。若乘吉将，主先忧后喜。

天上从魁酉作鸡，鸡能报信法堪依。上临本命事相宜，信息须知早晚归。

日辰、年命、三传、太岁见酉，乘朱雀，主信。

戌 占人命上见魁罡，来情必动往他方。天驿二马用更当，须知此法最为良。

天马，正月午，顺行六阳辰。魁罡、二马临命主动，发用亦然。

亥 登明忽来传上居，干求贵位必悬鱼。卯未同传事不虚，祈祷求人见福余。

登明刑害虎朱勾，狱讼争论事不休。凡事如芽残未谋，欲动求人疑不周。

亥为自刑，又为极阴之位，若乘白、朱、勾，必有讼狱之象。

亥为十月，万物收藏之象，惟有求用，随进退，不自快也。

贵神 贵人临命喜非常，有喜无忧百事昌。凶中尚乃免灾殃，吉事占来尤福祥。求贵先须看所乘，贵上神详命上神，三刑克害事难成，德合相生便可亲。

天乙所乘神与命上神交互生、合、德、比为吉；刑、冲、破、害、克战者为凶，不可干求也。

昼夜贵人临命宫，夜得日贵互相同。壬癸最宜用太冲，大宜干贵百相从。贵人冲处是天空，常人虚诈却难容；君子文书有始终，利占奏对必遭逢。

天空为直符，奏书之神。君子得之为文书，利意。小人得之，不可托人，奸诈之兆。

五行遥合或德乡，贵人合处两相当。癸日弹射太乙方，动望须知有吉祥。

贵人用事皆吉。癸日弹射，巳为日德，辛日蒿矢，巳为日合。皆用太乙是也。远行干事吉祥。

腾蛇 腾蛇所主告君知，本命逢来大端疑。十分干事九分时，常怀犹

豫意迟迟。滕蛇玄武用初传，专主朝朝事必然。午加亥上意同缘，五行受气孕胎言。

滕蛇家住丁巳，玄武家住癸亥，巳、亥见胎神，妇人占之，专主身孕。午加亥、酉加寅、子居巳、卯临申，俱同也。

滕蛇玄武作初中，须知终处见青龙。用临支上定其宗，失财失物与灾凶。滕蛇玄武共青龙，三传俱见不为凶。玄武象龟龙蛇同，龙蛇物类喜重重。

三将一体，须是甲、戌、庚三日得润下卦，在秋冬时占之为福也。

朱雀

朱雀克日事纷纭，望事求财总不成。妇人为挠不合情，百章诀内见甚真。

朱雀乘神克天乙，不可干贵、文书事。

朱雀临神克日支，定知宅上祸殃随。不然门户讼官词，此法微妙更幽奇。

朱雀来乘卯临申，多因信息在他程。三传和合期有成，门前问信有来真。

朱雀为信，卯亦主信，加申为绝，主信至也。

占人命上见朱雀，象主文书及信音。王相相生作加临，合处须知事称心。

朱雀临命，主文书、信音。若与命克、刑、冲、破、害，为凶信，凡事不成；生、合、德、比则吉。

勾陈

用起命上见勾陈，百般留滞屈难伸。不然事有两般心，诸般秘法必然云。

发用、命上见勾陈，占人主留滞、两头事，及求谋托人用意也。

青龙

占财紧要视青龙，用起或加在命宫。加临王相相生处，须知财利喜重重。

青龙乃财神，日辰、三传、年命及时上逢之有财，若王相尤吉。

五行生处见青龙，财帛如意事相容。壬癸日占申上逢，丙丁火日功曹同。

龙作鬼与墓，主病缠身。

天空

酉作天空已上临，须知中处是太阴，走婢失财不称心，阴空一位理还深。

酉即太阴，乘天空主失财，走婢，临巳上为双女也。

白虎

庚辛白虎作初传，更言占者病连绵。三月辛未申时占，死气飞祸昴星言。

如三月辛未日申时占，阴人久病也。

白虎乘神克命宫，假土生人见太冲，兼与恶煞一路同，须知月下病来临。

虎克命宫主灾病，命克虎亦然。

玄武

玄武传来暗遗财，盗贼淫乖事须乖。惟见功曹得和谐，寅亥相合身不灾。

玄武住癸亥，乘寅为合，主进入口。

太阴

用起阴武何所宜，阴私得助暗扶持。常人见处有忧疑，君子托人见贵奇。

太阴、玄武发用，主心间谋事不欲人知，或托人有阴私之意、惊灾疑惑之事。

天后

天后受克死绝乡，母及妇女灾病伤。若不离逃病在床，已加亥位未卯当。

天后为阴人，临死绝乡，或母、妻女灾，以应天后受克。已乘天后临亥，绝地受克。未乘天后临卯，死绝受克。主阴人灾。

三传

三传克日是为侵，卯酉居上变其神。腾蛇朱雀应六丁，户后门

前见怪频。三传先看克日辰，次观日克察为真。神将克处吉凶门，此法玄妙最分明。

三传中先看克日者为事神。无克日，取日克者为事神。克者为灾，生者为福，日克者为财。干克初、初克中、中克末，利求财，极准。

行人未至看三传，三传顺行人未还。刚日伏吟会时间，三传退逆见团圆。

柔日伏吟、三传顺行，未来。刚日伏吟来也。

用始为终相见时，更详诸煞可为之。上头地下交互克，圣法流传事不疑。

五月占，天马在寅，加午，为始终相加也。五月辰在午，午加戌、戌加午是也。

三位相连作三传，占者须知进退间。进行千里见回还，退则不久还再迁。

如丑加子，退中有进，子加丑，进中有退，而以进退之象。进必回还，退则却迁也。

曲直

三传亥卯未相期，曲直为名春旺时。托人干贵见相知，暗求私祷事相宜。

亥卯未为天门，主征诏、贵人事。卯为私门，主阴私、隐匿，宜求祷，干贵人事成也。

关隔

酉上功曹共太冲，卯边四季土皆同。此名关隔俱难通，逢金逢木却相容。

此二例，若日辰、年命上有救，隔中通也。

四绝

午加亥上酉加寅，子居巳位卯居申。诸经名此为四绝，结绝旧事最为真。（四绝亦主胎孕。）

用临绝地，主结旧事。更乘朱雀，为信息也。

天喜 天喜加临本命来，忧疑心惊不为灾。君子迁官百事谐，常人财利称心怀。

天喜主忧事散也。

天马 天马加临本命逢，驿马须知事亦同。迁官承诏喜重重，出行远动吉祥逢。

天马克日复临支，得此须知失脱事。后阴玄武又来期，破财人口走东西。

天马为干鬼，临支发用，如四月丁丑日酉时，必有走失之事。

占财 占财紧要视三财，日辰命上细推排。三传生日如王相，定知凡事有和谐。

如春占，庚子日返吟课，亥生人是也。何为三财？

三传俱作日之财，得此须知长上灾。金日曲直必见乖，木来克土不和谐。

日财临命是来情，必得财帛喜事成。假令巳午克申酉，日上逢金命卯寅。

若日上神克命上神，为财喜之兆。

克应 百事皆详克应时，五行墓绝俱预知。假令用神见从魁，便于寅丑日为期。

用神绝处、见墓，人来、信至也。

行人 若问来人在与亡，行人年上在何方。不系三传日辰藏，魁罡临处可消详。

年临处就为所在之方。若不知生死，以行年临孟为在，仲病，季死。不知行年，以天罡加阳孟为安，加阴孟小病，加阳仲不死，加阴仲死，加阳季不死，加阴季死。

病符常来岁后居，支上逢之宅不虞。若临年上咎难除，蛇虎尤

凶法不虚。若克日辰凶转乖，吉来旧岁事和谐。若逢丧吊两凶神，日辰年上用为逆。白虎更兼死气并，岁内频频见哭声。

岁前二神为丧门，岁后二辰为吊客，临日辰、年上主灾，更与死气、死神、白虎并者，主死亡。

吊客初传白虎乡，日辰逢之骨肉伤。若在外传主外丧，复寻年命细推详。

丧、吊乘白虎为用，或在日辰上，主有骨肉死亡兆。若在中末传见之，主外丧之兆。年命逢之亦然。

病符临命为用初，玄胎并处亦同途。事之未定病未除，重叠阻难后方苏。

病符与玄胎并，主先难后苏也。巳加申，亥加寅。

空亡用起喜无成，忧灾虽有不为逆。托人虚诈不实情，要遂当在别旬中。

空亡发用，忧喜俱不成。久病凶，新病安。干求谋事，过旬方成。

天地上下作空亡，财物占来最可伤。问事不实忧得散，罪可消除病可康。

空亡克日事百端，走失人物有欺瞒。安闲守分免祸残，干事求财难又难。

括囊赋

一气初判，二仪肇彰。设四时以成象，布六壬以配方。吉凶本末之端，生於好恶；祸福推移之始，造用柔刚。

此明加临，生克之端、相生之道。刚柔之意，吉凶。

原夫黄帝遭孽于蚩尤，玄女降灵於风后。以月将加於正时，用五行

论其克贼。

加临地局，内外别于阴阳；

地局法，用起干为阳、为内，起支为阴、为外也。

运转天盘，逆顺分为南北。

亥至辰顺，巳至戌逆。

所用稽疑，来方为准。

看来方上神，合於日辰也。

先立课体得何象，次观神将之是推。

贵人小吉，传中皆云其吉；太乙螣蛇，始末咸谓乎危。如是则推索幽微之旨，惟详探深浅之辞。

害挟太常，动止则尊亲有讶；德乘朱雀，谋谟而官吏无亏。

朱雀乘德神为用，与贵人合，投书必来听，望信必来至也。

复有勾陈带剑，白虎持丧。

勾陈乘金神克日干，大凶。白虎乘丧门杀克日亦凶。

青龙被克兮，财寡；六合负喜兮，婚良。

青龙乘金神，内战，又值空亡，无财。六合乘天喜，与日相生，占婚吉矣。

武作浴盆，抱病魂归逝水；空持传送，望信仆造回廊。

太阴巳午兮，被辱；天后辰戌兮，孕妨。

月厌六丁，往往家招怪异；游神本命，频频梦主惊慌。

首视火鬼，次审金杀。宅中防火，事主破碎。

直符、飞帘、天目、火光、天怪、天鬼、游魂、月宿号为八妖，宅必见孽。贵人刑处，辰加孟而成妖；华盖到宫，知是岁而起复。

月将加时，寻子，落寅、申、卯、酉，是四足为怪；加巳、午，厨灶为怪；加辰、戌，是产鬼；加未，井怪；加丑，主伤牛马；加子，鼠怪；加亥，宅神。

时有休囚死衰，兄弟妻儿。旺相比则人是，休囚气则物为。

干稟长上，支云贱卑。支克干而尊祸，干制支而幼疲。

上下相生，居处而内和外睦；将神遇合，访寻而主喜客怡。

莫不课象渊源，在乎天乙。传归前，理皆明显；递于后，情多塞窒。

用在天乙后，传归天乙前，先昧而后显。用在天乙前，传归天乙后，主先明而后暗。又看逆顺也。

贵临魁罡，论公而易换有司；复诣从冲，谒贵而动摇他室。

式体既定，来情多猜。任信多知动静，返吟况是往来。

元首尊神，所作仰为领袖；空亡阴鬼，加谋转托梯媒。

龙战不离於门户，玄胎欲卜於婴孩。

不备无淫，必有阴私而起潜；拔茅连茹，何妨类聚以求财。

天狱囚禁，三交暗灾。

昴星归去而防险（刚日出灾，柔日归忌），游子商贾而未回。

斩关逃窜拟速疾，乘轩宠招非徘徊。

三奇六仪交重，连绵喜矣；四杀五墓相冲，不久衰哉。

爰及见机、察微、赘婿、乱首。见机取舍宜变通，察微暴进逢殃咎。日临辰位，招两姓以同居；支就干宫，寄一身而匹偶。

必见灾生九丑，祸起二烦。得绝嗣兮妨父母，见天禄兮少子孙。奄奄枕席难痊，奈逢魄化，恍惚精神不定，必值飞魂。

其有曲直、炎上、润下、从革，遇吉将而朋从，见凶杀而支折。

或主公讼，或遭难厄。内出外而已求，阳入阴而彼索。

用神得墓，长生未以无忧；吉将入传，帝旺终而有获。

及乎弹射日克，蒿矢辰凌。望行人至有矣，想求事成罕曾。

望行人至，求事不成。

贵人顺治，德扶，忠臣孝子；天乙逆行，杀动，便佞交朋。

况夫课例极繁，究推奚尽。苟贵杀而可凭，乃神将之在紧。

时逢土旺，乘天后而失衣；气涉水休，带土神而伤肾。

玄武乘午兮，职转；白虎申酉兮，讼争。罡作太阴，奴婢乃非淳朴；申

为朱雀，阴书必起途程。

腾蛇巳午而怪梦，六合寅卯而亲情。水遇雀蛇，多横死于非命；木逢勾虎，必栋折于三刑。

阴作大吉兮，僧愿；戌为白虎兮，犬惊。勾陈卯寅兮，论讼；寡宿子午兮，孤惻。

龙带胜光，壬癸日妻怀妊孕；常携小吉，申酉辰首饰簪纓。

丑到戌兮，足疾；寅加巳兮，灶更。土克水兮，潺潺；金伐木兮，丁丁。相生相克之元，视于衰旺；有吉有凶之本，分尔轻重。

善恶有期，进退相庆。占宅兮，忌克人；问疾兮，怕入墓。

论公讼兮，恶狱留；迁官爵兮，须印绶。

关遐隔远，占行客而未来；阳少阴多，产男儿应不误。夺标望荐，卷策须合乎主文；越省登科，传末须逢于帝坐。

噫，术之至幽也，莫深乎课；道之至远也，只在乎心。

心既达于玄妙，课亦通乎古今。

无常德兮，不为卜；有正己者，乃可为占。欲求夫感应，志其在乎精严。

云 霄 赋

论人生五行之祸福，详课体克战之兴衰。

相生则喜，克战为危。

月将与地分分其高下，人元与贵神定其尊卑。

臣犯于君，己欲侵人；君陵臣下，人来害己。

人元克六阳之神，阳男有祸；天干战六阴之将，阴母逢凶。

泉沈蛇马，定主眼目之灾；

壬、癸为龙泉，巳、午为蛇、马。亥、子加巳、午上，故有眼目之

灾。

虎负冈嵎，必主羸瘦之症。

甲、乙木克辰、戌土。

红马登途，行商外病。

丙、午火克庚、申金。

赤蛇入户，闺妇内灾。

丁巳火克辛酉金，主暗昧之灾。

西女来东户，狂病伤蚕；

辛酉金克乙卯木，蚕不收也，主风瘫之狂病。

白道映绿林，老翁路损。

庚、辛金克寅、卯木。寅为山林，申为道路。损害老翁者，神树寅木也。

东方贼子，园中盗粟偷孽；

卯加丑。丑乃金库，又为栗园。

未地勤儿，店内搬食弄酒。

未地井宿，乃酒食之神。小吉，酒店也。

产癆病患，因井宿入天门；

己未入癸亥也。

鬼蛊气疾，为土星填北海。

辰、戌土克亥、子水也。

土牛逢江猪，贼人自败；

丑属牛，亥属猪，乃丑入亥也。

火宿遇波涛，阴妇井溺。

丁巳火入亥、子水也。

南方赤鸟，怕北海之浮波；

丙午火怕逢壬子水也。

寅地青龙，畏西方之恶吼。

青龙畏白虎也。

龙虎交加，老来伤害；

甲寅木见庚金也。

丘坟倚叠，衰后独孤。

辰、戌重加是也。

天冢为僧道，犯阴后必主奸淫；

辰、戌为天冢、寺观，若六合、天后、太阴临，或值天空，奸淫之兆。又卯、酉为门户之神也。

金井饮牛羊，牧坟冈定然鳏寡。

丑未、辰戌相加。丑、未为牛羊，辰、戌为坟冈，金井乃未也。犯之主二姓三名，男鳏女寡。

青龙入户，接脚老翁为夫；

寅入卯主接脚夫也。

神树临池，应得阴人财宝。

寅入亥，男得阴人财物也。

负水浇林木，徒养他人；扬波溢苑中，终伤自己。

子水至卯为死，又子卯相刑，水浮泛溢故也。

大门木户，相见两和；

指卯、亥也。

醴酒元浆，相调两便。

未为酒，亥为水，未亥和合，富贵昌盛。

内室专权，有仙女跨云之象；

巳到寅也。

行商得利，逢坤门洒酒之征。

未为酒神，加坤方，主利禄非常。

木象化天门，经营自变；

未木克亥水，亥旺得卯，三合成木象，是化于天门也。

白虎嫌黑水，祸患相仍。

申虎到亥水之乡，是金体衰，必有祸也。

当途决水，享耄颐之遐龄；

申为道路，水至申旺，金水相生，而有眉寿。

生地安坟，乐绵瓞之旺续。

辰、戌为坟，加申，取生意也。

阴人疤面，赤蛇走入金门；

巳加酉，丁加辛。

姜女失音，白雉飞来巽户。

酉加己、午，克之，主有此兆。

玉女游斗宿之宫，阴权太富；

酉与丑三合，丑又为食库。

牵牛至金门之路，血畜庭羸。

丑至酉而无气。

仙女游园，乐生产充盈之兆；

巳火双女宫，至丑，乃因火生土而财帛充盈。

土牛奔火，恐亏负暗昧无言。

丑土入巳。丑为巳火之炉，未为木墓，必伤身也。

土多乏嗣续，

土孤独也。

水盛好荒淫。

水泛滥也。

木众枝繁，金多体折。

火气炎炎，人多性燥；

水形汨汨，性主必柔。

五行大忌结胎逢刑，四位切防无权交战。

金临丑地，木人遇肢体不全；

金旺，若木人遇之，主伤筋损骨，肢体不全。

水至申宫，木命值飘蓬无定。

水旺，若木人遇之，男主为盗，女主娼淫。

火炽伤金，边塞奔驰之子；

卯荣破丑，田园耗散之人。

独木遇三金剑刃，须防有鬼祸；

一金遇二火铄销，切备值天灾。

孤土入败绝之乡，见木多传尸久患；

弱水临休囚之地，逢坤常呕血之忧。

五行最要相生，四位偏嫌杀战。

果尔留心留意，自然无惑无差。

三 才 赋

金口元妙，入式幽微。能决有疑之事，先知未见之情。指方定位，神将成课体之机；验煞推元，吉凶妙鬼神之用。干神将位，当立贵贱尊卑；四象三才，须分高低上下。

干克神而剥官，人谋害已；神克干而进职，己欲侵人。

将克神，不求财当言身病；神克将，非捕盗必主妻伤。

位克干而神克位，病疾官灾；位生神而将生干，求财喜庆。

将克干方，损妻妾而牛失马倒；

干克神位，防盗贼而财散人离。

位生于干，印绶迁而子孙弱；

干生位兮，嗣续旺而名位卑。

本音全见，妻儿难保长年；

妻旺官衰，父母恐防不寿。

金纯而道途分异，

木全而官事缠身。
水多败散，主痔病儿童；
火盛惊忧，应伤残妇女。
纯土乃丑妇当权，孤立则尊人不利。
土入木乡，争讼田宅之兆；
火加水上，生育产难之惊。
水入土乡，疮灾牢狱，
火临金地，劳患缠萦。
金加火上主销熔，
木到水中为飘荡。
水临火地，寒暑往来；
木入金宫，口舌争辩。
水加土上，争竞田畴；
土入水中，多生肾病。
欲尽吉凶，再推神将。
大抵功曹主文书木器，
传送为信息行程。
太冲盗贼及车船，
从魁金银与奴婢。
辰为斗讼，兼主犯丧；
戌为奸欺，或称印绶。
登明征召，太乙非灾。
胜光鬼怪连绵，
神后奸淫牵惹。
未为衣服筵席，
丑为田园苑囿。
大吉小吉为勾陈，争讼田宅；

河魁从魁化六合，逃亡奴婢。

寅辰若遇勾陈，官刑禁系；

亥寅如逢白虎，疾病惊忧。

子卯与玄武同传，当逢贼盗；

巳亥逢驿马并驾，在路奔腾。

丑未之临朱雀，口舌咒咀之非；

未酉之加隔角，夫妇休离之患。

丑寅辰巳戌亥未申入之者也。

魁罡临处，多生词讼；

申午并交，常有狐疑。

原夫天乙所占官宦，遇克必定官嗔。

9324 蛇为卜惊忧，逢刑决然火怪。

朱雀文书口舌，

六合喜庆婚姻。

勾陈主官讼勾连，

青龙应婚姻财宝。

天后奸心暗昧，

太阴隐晦阴私。

元武防盗贼之侵袭，

太常有酒食之筵会。

白虎主死丧之道路，

天空主欺诈之逃亡。

将神更忌刑冲，干位仍防带煞。

将带神兮神带将，于中玄妙；

干被刑兮位被煞，就里幽微。

天上神将，有加临幽显之微；

地下支元，有隐伏不明之意。

是故太岁受克，尊人有不测之灾；

月建遭刑，兄长有沉溺之祸。

凶神同居白虎，哭泣临门；

丧吊相并鬼乡，哀感动地。

月建号曰青龙，遇吉将资财进益；

月破名为白虎，逢凶神疾病崩摧。

枉横死于灾祸，

阳月前三辰为大祸，后三辰为天门。阴月前三辰为天门，后三辰为大祸。即平、收也。

淫乱发于奸私。

破耗失畜亡财，

岁前五辰为小耗，六辰为大耗，即执、破也。

青龙添人进口。

丘墓丧车并煞，病者必临孝帏；

丘者，春丑、夏辰、秋未、冬戌。墓者，春未、夏戌、秋丑、冬辰。丧车者，春酉、夏子、秋卯、冬午是也。

德合解神诏赦，囚人定主脱灾。

天医宜占疾病，丧门不免惊忧。

游魂哭煞，非灾有准；

亡神月厌，祸患难逃。

星月为刑为煞，

太岁为祸为奇。

天马驿马入垣，所占迅速；

孤虚死气同传，谋举逗留。

德合生神临用，占事有成；

煞并天空四课，有像无依。

五行衰败之乡，加临人情断绝；

四位生荣之处，相逢事体光辉。

将神沐浴之处，所占事为露机。

功曹加毕昴之位，河魁属氐房之方。

重关用锁于西方，贝金则斩关不闭；

寅、卯加酉为关，上乘金将为斩关。

设隔致防于东位，见木则毁隔无防。

辰、戌加卯为隔，上乘木将为毁隔。

酉加卯上为锁称，上再见火破锁名。

申、酉加卯为锁，上乘火将为破锁。

元武与壬子窃户，当忧盗贼；

卯、酉上为窃户。

白虎同传送临门，须防疾病。

子、午、卯、酉上见。

煞神既定，象类更详。

合局则事从众起，分局则分劈支持。

重叠则事多重叠，

二三神将同。

交互则宛转无依。

上下交克。

若占脱走逃亡，别课体兴衰可见；

如占求财见货，视将位有气方知。

进表投书，详君臣察其善恶；

战斗博戏，认主客定其输赢。

贼盗若值孤虚，追之莫捕；

死气加诸墓绝，病者不愈。

详天禽地兽之形，察人间隐伏之状；

明此祸福之原，细究五行之理。

毕法赋 上

前后引从升迁吉，

引干宜进职，引支宜迁宅。

夫前引后从格者有二等，如遇初传居干前为引，末传居干后为从，值此格者必升擢官职。又如遇初传居支前为引，末传居支后为从，值此格者必迁修家宅。二事皆吉。

拱贵格 引从天干格内，如庚辰日，寅加酉为初传，子加未为末传，此乃初末引从庚干在内。干上丑为昼贵人，兼三传下贼上，岂不应升擢官职也？夜占乃墓神复日，亦无畏。缘中传未作天乙冲破丑墓，仍为吉课也。

两贵引从天干格 如壬子日，初传巳加子为昼贵，末传卯加戌为夜贵，亦是墓神复日，赖中传之戌冲辰，不畏墓也。凡值此例，必得上人提携，或两处贵人引荐成事。如辰为月将，尤妙也。

初末引从地支格 如己亥日，初传巳加子，末传卯加戌，亦系引从地支格。虽初末，加其干墓复支；赖中传之戌冲辰，亦无畏，宜迁修家宅则吉。又如丁亥日，初传巳加子，末传卯加戌，亦初末引从地支格，奈昼夜天将皆是白虎，居于支上，岂宜迁修宅舍乎？殊不知亦赖中传戌蛇冲辰虎，不为害也。如用辰为月将，尤为妙也。或占人行年、本命又居巳位，以巳上二戌冲辰，众凶皆散矣。

昼夜贵人临干支上拱其年命在内者 宣告贵用事，必得两贵人成就。如丁酉日酉加丁，亥加酉，占人年命在申；丁巳日亥加丁，酉加巳，占人年命在午；癸亥日巳加癸，卯加亥，占人年命在子。

年在子。凡干支夹拱，在下层惟甲子、甲辰、癸亥、癸卯；在上层惟庚午、庚戌、丁巳巳、丁巳酉。

二贵拱年命格 如癸未日，初传巳加子，末传卯加戌，占人行年、本命在亥，宣告贵成事，名未助初财、初德，亦贵人助贵人也。

干支拱定日禄格 惟伏吟卦为的。如丁巳、己巳、癸亥，皆伏吟，宜占食禄事。癸亥为嫌禄空。

干支拱夜贵昼贵格 惟伏吟为的。如庚午、己酉，支干拱夜贵；甲子，支干拱昼贵。皆伏吟卦。宣告贵人求事。

初中拱地盘贵人格 如庚午日干上戌，支上申，乃支干并初中拱夜贵也。又庚午日干上酉，支上未，又庚午日干上午，支上辰，乃支干初中皆拱地盘之夜贵，皆宣告贵而成合事。余皆仿此。

首尾相见始终宜。

攻必取，战必胜。

谓干上有旬尾，支上有旬首，名周而复始格，亦名一句周遍格。凡值此者，占事不脱，所谋皆成，占赴试宜代工，占讼宜换司易局，占交加用事，去而复来。惟不宜占释散事。如有忧疑，其事仅在未能决断。惟乙未、辛丑、丙申、壬寅、戊申五日有之，干支隔四位方有。前四日俱甲午旬，惟戊申乃甲辰旬。

干上有旬首，支上有旬尾，惟乙丑、辛未、丙寅、戊寅、壬申五日有之，诸占亦照前断。惟戊寅乃甲戌旬，其余四日俱甲子旬。

天心格 乃年月日時皆在四课之内。凡占乃非常之事，即日而成。或干天庭之事，定然成就。如占阴私、常用、鄙俚之事，反成咎也。

回还格 乃三传在四课之中。如辛亥日干上酉，亥上戌，三传戌酉申是也。此以不备言之。至于干支自作三合者，内多回

还格，乃干支相会，不可作不备言之。如丁卯、丁亥、己卯、己亥，皆干上卯或干上亥。诸如此类，占凶凶成，占吉吉就，凡事只宜守旧，不能动作。如占病，其病难退。讼不解。如女命占得干加支，男命占得支加干，来意占婚尤验。宜详其生、克、空、脱、刑、冲、破、害、墓言也。

帘幕贵人高甲第，

班超封万里之侯。

帘幕官者，如昼占乃夜贵，夜占乃昼贵。如占科目，专视此神，临于占人年命之上，或临日干上，试必高中矣。凡庶人占得帘幕，得林下官扶持；如有官人占得之，为休官之象。

旬首作帘幕官者，临年命、日干之上尤的。惟乙、己、辛日有之。又辰戌作旬首临年命、日干者，必中魁元，乃甲辰、甲戌两旬二十日有之。

斗鬼相加格 或丑加未，或未加丑，作年命、日干者，亦中魁元。缘丑中有斗，未中有鬼，斗鬼二字合而为魁故也。

亚魁星 天盘酉临年命、日干者，占试必高中，缘酉为从魁也。已上诸说忌空亡。

德入天门格 乃日德加亥为用，士人占之必高中。亥为天门，德者得也。

真朱雀格 如六己日，于四季年占，用夜贵，逆布，乃朱雀乘午，占春闱，其文贴上意，必得高中。缘朱雀主文书，生太岁，又生日干。如真朱雀克太岁，占讼必达朝廷，罪必致死，惟申、酉岁的。

朱雀乘神克帘幕官，占试其文不贴主文意。

朱雀乘丁马，榜将出忌。

昼夜贵人拱年命者，赴试必中。如丁酉日干上酉，支上亥，占人年命在申，大宜占试，缘干支上神作昼夜贵人拱年命上河魁。

源消根断格 如癸卯日干上卯，支上巳，年命在寅，大宜占试，不在此论。缘只取二贵拱年命也。但高中矣，恐以不摄终成劳瘁。

帘幕贵人尤分喜畏，细具于后：甲日不喜未墓为之，庚日不喜丑墓为之，又甲寅日不喜丑空为之，庚寅日不喜未空为之，丙寅、丁卯日不喜亥空为之，己卯、乙亥日不喜申空为之，壬子、癸丑日不喜卯空为之，壬寅、癸卯日不喜巳空为之，六辛日不喜午克为之，又辛亥日不喜寅空为之。空亡尤甚，使试官置卷不视，徒劳一次。

占武举法 以巳为弓弩，申为矢箭。申加午，必箭中红心。如申加寅、申、巳、亥，为四脚花。以第几课发用，言其箭中之数。四墓脱垛。

催官使者赴官期。

惟将赴任宜见。

凡占上官赴任，见日鬼乘白虎加临日干或年命之上，乃名催官使者，纵是远缺，必催速赴任也。如催官使者空亡，又是虚信，或被遣差。

催官符，如官星临日干年命者，其三传上神生其官星是也。

恩主举荐例 传、年、日辰有父母爻者是，亦为食禄之地，如值长生作贵人亦如之。如乙日见日贵为父母，己日见夜贵为长生。外乙卯日昼贵空，己卯日夜贵空，不用。

四时返本煞 占赴任极迟。夫返本煞者，春得金局、夏得冰局、秋得火局、冬得土局是也。如赴任占得返吟，多不满任。

六阳数足须公用，

《随》六三：“系丈夫，失小子。随有求，得，利居贞。”扬兵于九天之上。

六阳格 谓支干、四课、三传皆居六阳之位是也，凡占皆利

公干而不利私谋。假令庚子日，第一课戌加庚，第二课子加戌，第三课寅加子，第四课辰加寅作初传，其中传午加辰，未传申加午，卦名登三天，宜占天庭事，有动达高尊之象。如君子占之，稍畏，初中空亡而减力。如常人占之，赖初中空，却省力也，尤未免公干，明白事理。

悖戾格亦名倒拔蛇 如甲午日，干上子，虽四课三传皆处六阳之地，缘三传退间，主事间阻艰难。兼被初传戌财引入中未鬼乡，凡占事皆艰辛，尤不免公用也。如甲戌日，干上子，四课、三传亦皆处六阳位。以上是自夜传出昼，尤明白。

五阳格 课传居五阳之上者。或占人年命填之，亦名六阳，事主公用明白，利公不利私也。此例极多，不暇细具。

六阴相继尽昏迷。

《随》六二：“系小子，失丈夫。”伏兵于九地之下。

六阴格 谓课传皆居六阴之位是也。凡占利阴谋私干，不利公闻，尤尽昏迷也。或自昼传夜，昏迷越甚。如己卯日，第一课酉加巳，第二课亥加酉作初传，第三课巳加卯，第四课未加巳，中传丑加亥，末传卯加丑，课名溟濛，凡占事必是阴谋奸私之象，兼天将天后、螣蛇、六合、元武，支干上皆乘盗气，又是弹射，发用坐于空乡，至费力而不可言也。占病必死，求望皆为脱耗。又己亥日干上巳同。

五阴格 课传止五阴者，占人年命填之，凡占利私不利公，利小人不利君子。

源消根断格 如癸卯、癸未、癸巳，干上卯，课传俱在五阴之位，又是下生上神，迤邐而脱去，占病缘不摄而致病，岂不危绝乎？凡占皆脱耗，其法如神，切宜秘之。又如辛卯日，干上子，自干至支及初中未迤邐下生上神，尽被脱盗，虽不系五阴位全，其理一同。已上例除占一病外，诸占未免脱耗，日渐消烁

也。

旺禄临身徒妄作，

不战而屈人之兵。

谓日之禄神又作日之旺神临于干上者，切不可舍此而别谋动作。如乙卯日，干上卯，幸得乘日之旺禄，何不守此？乃舍而就初传之财，中末之生，殊不知皆是旬内空亡。既逢干空，不免罗网再归干上，就禄就旺，诚所谓“到处去来，不如在此”之语也。又乙酉、乙亥日干上卯，癸巳、癸丑日干上子，辛卯、辛丑、辛酉日干上酉，己亥、己酉、己巳日干上午，虽不系己土旺神，亦可用也。己上皆在铃内。又如辛巳日，虽干上酉为日之旺禄，奈是旬空。既旺禄空亡，必所得不偿所费，反不宜坐用，未免弃禄而就三传之财，及别谋改业，遂致亨旺，切不可如前论之。又如癸亥日，干上虽乘子，为日之旺禄，亦是旬空，未免弃禄而就初传之戌，乃值日鬼，乘白虎，又不免向前投中传酉，又值败气，又坐鬼乡，酉加戌为鬼乡也；迤邐至于末传申，始逢日之长生。凡值此课，未免舍空禄而就艰难中更进一步，始得如意。此法奇妙。丁亥日干上午，乙巳日干上卯同。外有乙未日，干上卯，缘是闭口之禄，而不可守，遂投初传；奈是昴星不入之财，不免中传，再归干上受其旺禄；又不能守，致于末传，弃禄而归于末传宅上，受其干墓之乡。以此占之，乃见食于人，把心不定，终处于家中，受困厄而已。

禄被元夺格 如辛卯日，干上酉为日旺禄，缘昼乘元而夜乘虎，遂不可守，未免投初传丑，又是日墓，中传子又是脱，末传又是丁亥乘虎而遥伤日干。自末传至干虽欠一位，终不能复投其旺禄也。此例尚有，皆在铃内，甚详。又辛未日，干上酉，夜乘虎，支上午火，初巳，中归巳乡，末丁卯。

权摄不正禄临支。

不为邻国之游士，亦作幕府之客臣。

谓日干禄神加临支辰上者，凡占不自尊大，受屈折于他人。如占差遣，主权摄不正，或遥授职禄，或正宜食宅上之禄，或将本身之职禄替于儿男者。斯占尤的。且夫此例每日有一课，可逐类而言之。假令甲子日寅加子、乙丑日卯加丑之类，不暇细具，皆仿此。

禄被支墓克脱。外有日干之禄加支上，被支辰墓其禄，或被支克其禄神者，必因起盖房宅而失其禄；或被支辰脱其禄神者，必因起盖房宅而以禄偿债。假令辛丑日，酉加丑，乃禄神受墓；又乙酉日，卯加酉，乃禄神受宅克；乙巳日，卯加巳，乃禄神受脱。此例极多，不暇细具，余仿此。

避难逃生须弃旧。

四面受敌，亦有无敌处。

避难逃生格 如甲子日，戌加子作初传，虽曰日财，乃是旬空，中传申金又是日鬼，末传午火作日之脱气，且三传既无所益，不免只就干上子水而受生，乃应避难而逃生之语。丁卯日干上亥，乙亥日干上酉，戊寅日干上申，庚戌日干上午，辛未日干上丑，戊午日干上辰，己巳日干上酉，辛酉日干上亥，壬申日干上寅，庚辰日干上子。

避难逃生。如甲子日，辰加寅为初传，虽曰日财，奈昼夜天将皆是六合，其财受上下夹克，终不可得，中传午火乃日之脱气，末传申金又是日鬼。三传既无所益，不免日干就子支上而受生，亦谓之避难而逃生。又如庚子日，子加申，此乃支神上门而脱干，兼三传水局皆作脱气，及昼夜天将蛇、龙、武皆是水中之兽也，越击其水而蚀庚金，诚所谓脱耗迳遁而不可逃。熟视之，天盘申金坐于辰土之上就生，子水坐于申金之上长生，岂能蚀天上之申金？亦为避难逃生也。

古人本命作丁神，动摇不安，而坐长生之上，亦为避难逃生。

避难逃生而终不能逃生者。例如丁亥日，干上戌，夜占昴星，三传午戌寅。缘始弃干上之墓，遂投初传之禄，奈是旬空，不免弃空禄而再归干上中传戌墓，终不可受其久困，又投末之长生，奈值白虎，未免止居宅中，受惊危之长生尔。

避难逃生得财格 如壬午日，辰加亥作初传，乃是墓神覆日为用。三传辰酉寅，不免弃墓而投中传酉金之生，又是旬空，遂再投末传寅木，又是脱气；然后弃其三传，而壬干加午而取财也。如丙寅日，寅加丙，申财加亥乘元，三传亥申巳，缘申见在之财落空，又焉能求外来之财也？

舍益就损格 亦名不受福德。《贲》初九：“贲其趾，舍车而徒。”如壬寅日，不就干上之申金为长生，愿以壬干加寅木而受脱。

舍就皆不可格 如乙酉日干上亥，辛丑日干上未。唯有庚子日，干上辰，乃空亡；庚午日，干上戌，乃空亡。

墓作太阳格 谓墓神覆日，却作太阳，处难中得上人提携，共有五等：一就干上之生，二就支上之生，三日干坐地盘之生，四本命乘丁坐地盘长生，五日干下临财乡。

朽木难雕别作为。

谓斲轮课中卯为空亡者，故名朽木不可雕也。凡值此例，宜改科易业而别作营生。如庚戌日卯加申，辛亥日卯加辛，此二者尤的。余有癸丑日，卯加申发用。

斧斤不利格 如丁丑日，卯加申为发用，乃申、酉空亡，卯木加空地，非朽木难雕之例也。凡谋不遂。

众鬼虽彰全不畏，

虽有乌合之敌众，难当虎豹之雄师。

假令壬辰日，戌加未为初传，丑加戌为中传，辰加丑为末传。三

传戌丑辰，皆是日鬼，诚为凶也，殊不知干上先有寅木可以敌其三传之土，制鬼贼，不能为害。兼是蒿矢择比为用，又坐空乡，鬼力至轻也。凡占未免先值惊危，下稍无畏，但言必有人相谋害，终不能为祸也。如用夜贵，初乘白虎，尚可畏焉；如用日贵，全无畏矣。且论寅木，切不可作脱气言之，实为救神。其寅木论如孔氏门下有子路，能御侮者也。又如壬戌日干上寅，丙子、丙申、丙辰干上丑，皆是。己亥日干上申，夜贵，必得贵人力。

家鬼取家人 如己丑日干上申，支上寅为用，三传家鬼取家人。如己丑日干上申，支上寅为用，三传寅卯辰，如用夜贵，必得贵人解救，自支寅木发用，中末传俱归木乡。凡值支上有鬼引入鬼乡者，皆如此说。如丙申日干上丑，丙寅日干上辰，从支阴发用为鬼，亦以家鬼断，赖干上有救。有官人可。病讼凶。

家人解祸格 如癸亥日，辰加癸为用，三传辰未戌皆是土神，并来伤干，兼夜天将皆是蛇、勾、虎，诚为凶也。殊不知支上有寅木可以敌鬼，不为凶咎。此例必得宅中之人解祸，余仿此。

引鬼为生格 谓初传日鬼，而生其末传来育干者是也。如丙子日，并干上子为初传，虽是鬼，却生末传寅木，作丙火之长生，反不畏干上之子水，亦赖宅土未土为救，是丙子是也。丙午日亦有丑土为救也。余不为救。己丑日卯加申，甲寅、甲午日酉加寅，乃先凶后吉。

传鬼为生格 三传皆作日鬼，反生起干上之神而育干者是也。如庚午日，干上辰，三传戌午寅火局虽全伤日干，殊不知三传反生干上辰土而育养庚金也。又癸巳日，巳加酉用，昼将皆土克日，殊不知土将生三传金局，三传金局生干，乃凶返吉也。

贵德临身消除万祸格 如乙丑、乙巳日，并酉加巳为初传，三传金局并来伤其乙干。如用昼贵，凶不可遏。设用夜贵，反

为吉言。初传酉金上被腾蛇克，下被巳火伤，又被中传丑土来墓，末传巳火来克，其酉金全无力来克干。纵然干上乘申金，又为贵人，又为日之德神临身，能伏诸煞。

天将为救神格 如辛巳日，午加辛为用，三传火局并来伤干，诚为凶也。如观天将，昼夜皆是贵、常、勾土神，而窃其火气，生其日干，亦宜免祸。

脱气为救格 如壬子日，未加卯为用，三传木局并来脱干。且此例，既无日鬼，岂宜处于众鬼虽彰全不畏者之例？三传木局切不可作脱气言之，如用夜将，缘三传天将皆是勾、常、贵人，土神并来伤壬干，反赖三传木局去其土将，岂不应斯格也？余五壬日，干上卯，夜贵，并如其说。壬戌、壬子、癸卯、癸亥，三传未卯亥，夜同。

虽忧狐假虎威仪。

夫仗他人之力，乞儿向火，何倚冰山之徒。

狐假虎威格 如丁未日，干上子，其丁火实畏子水所克，反倚赖支属土，却能制其子水，不敢来伤丁干也。疑丁火喻狐，未土喻虎，故名为狐假虎威仪之例也。凡占切不可动谋，如动用，离其未土，其子水随迹而伤丁火也。又辛亥日，干上亥，昼虎夜元，皆乘脱气，尤赖亥水坐于戌土之上，尚惧戌土，不致辛金全脱。尤不宜动作，稍如前例。余五辛日亦可如此说。

鬼贼当时无畏忌，

吴释越而终为越灭吴。

假令戊子日，干上午，三传寅卯辰皆是日鬼，如春占木旺，诚所畏也，殊不知木至春令而荣旺，既贪荣盛而无意克土，故戊土不畏木克也。此例虽春占无畏，防至夏秋其祸仍发，如有祸时便宜断绝，免至后患。其余传内全逢日鬼者，各详四季天令而言之。

三合为鬼格论如前说。

传财太旺反财空。

沉默武而海内空虚

假令戊申日，干上丑，三传子申辰皆作日之财，兼昼夜天将皆是水中之兽，又于秋冬水生旺之月，占求财事即无财也。如取其财，切防反费己财，缘水自贪其生旺，不能与我作财。只待身旺之月，财气稍衰之月令，方可取其财。例尤多，余亦仿此。

进退连茹为财格 如网江鱼之论。求财不宜坐财墓，亦忌财加鬼墓。

财神空亡格 求财反费己财。缘见在之财已空，求外来之财岂有得也？如辛亥日，干上寅，支上卯，二财皆空。庚戌日同。

脱上逢脱防虚诈。

金以议和愚宋，而宋以议和自愚。

谓日干生其上神，上神又生天将者，故名脱上脱，凡占尽被脱耗，多虚诈不实之象也。假令六庚日，干上子，夜将，上乘青龙，此乃庚干生上神，子水又生青龙木将，那更三传皆是水局，并来盗日，凡占岂不遭虚诈乎？内有庚子日，子加庚，乃支上门来脱干，三传又来脱之，并三传天将夜昼俱是蛇、龙、元，尽被脱盗；倘熟视之，其庚居天盘坐辰土之上受生，子水居申金之上受长生，终不致脱尽，不可不知。六甲日干上巳，昼占，上乘太常；六乙日干上午，昼占，上乘天空；六丁日干上丑，昼占，上乘太阴。

无依脱耗格 惟丁未日反吟，昼占，乃干生丑，丑生将，一火逢九土，如忧事不止一件。若止见一件，别项又来，必有大灾。六己日干上酉，夜占上乘天后。

脱盗格 乃干上逢脱气，天将作元武者例，亦如前说。六辛日干上亥，夜占乘元武；六壬日干上寅，昼占乘元武；六癸日干

上寅，昼占上乘元武。余有甲午日，午加甲，三传又是火局，并支来盗干，虚诈尤甚。丙辛亥日干上亥，尤可恶，缘支干上皆脱，初墓，又坐脱方，中末空亡，昼虎夜元之将日上俱值，其凶可见。

空上乘空事莫追。

陈隋基业於唐，五代收功于宋。

谓上见旬空乘天空者，凡占指空话空，全无实象。如甲申日，干上未，昼占，上乘天空。余占日上空亡，上乘天空皆仿此。

脱空格 谓干上有脱气，乘天空，亦名脱空神。凡占皆无中生有，尽是脱空，全无实迹，不足取信也。如辛卯日干上子，昼占上乘天空，初传又是遥克，中末皆空亡，凡占尽被脱空。六辛日干上子，昼占乘空。六乙日干上午，昼占乘空。余日皆仿此。但凡遥克为用，作空亡，或坐空乡，或乘天空者，凡占皆虚无不实也。

进茹空亡宜退步，

《坎》初六：“习坎，入于坎窞，凶。”遇此课宜班师。

假令壬子日，干上子，三传寅卯辰皆是空亡。既向前值三空亡，既宜退步，抽身缩首，却就支干上，子与丑合，反有所得。庶使壬水不被传木全脱，可以全身远害。不利托人。如甲午日，干上卯，三传辰巳午亦皆是空亡，亦宜退步，庶乎甲木不被传火脱尽。奈支干前后夹定脱气在内，尽被脱空而无穷也。如遇丑为年命，始宜退步，就其禄神。

脱空格 如癸丑日，干上寅自是空亡，那更寅卯辰为三传，使癸水生其脱空，虽有千金亦不周其足。如昼占，乘元武在干上，尤甚，占讼费而不直，占病脱而虚甚，终不能退步。

踏脚空亡进用宜。

四课三传俱退连茹。丁巳日，干上午，三传卯寅丑，宜深入重

地。

谓退步传全值空亡者，故名踏脚空亡。既退后遇空，宜进而不宜退也。如戊申日，干上辰，三传卯寅丑皆作日之鬼，幸遇鬼空，足可以脱灾避难，惟不宜守旧，缘干上乘墓。反宜于三传之外向前一步，便逢禄神。此却不利有官人占之，缘官爻空亡故也。

寻死格 如丙午日，干上辰，三传卯寅丑。虽三传生日，岂宜皆空？如占病，乃寻死格也。占父母病，死尤急。如占子息病无畏。占讼理亏，必官人不主张，缘生我者空亡故也。如乙卯日，干上卯，亦若寻死格。已上例如背后有三阱坑，岂宜退乎？如退则脚下踏空，反陷其身。凡占宜催督。

踏脚空亡格 惟不宜进前者例，但占事虚声而无成就。如甲子日，戌加子为初传，乃是本旬之空；申加戌为中传，乃后旬之空；午加申为末传，乃外后旬之空亡。故向后全无实意，尽无成就。甲申日，午加申；乙卯日，丑加卯；丙辰日，丑加卯；丁巳日，丑加卯。

胎财生气妻怀孕。

谓日干之胎神作日之妻财，又逢月内之生气者。如占妻，必孕也。如壬寅日，干上午，七月占，午加亥为发用。壬水胎在午，又是日之妻财，及七月生气在午，占妻必有孕而无疑。五壬日，干上午，七月占皆同。六庚、六辛日，干上卯，四月占皆然。六戊、六己日，干上子，正月占亦主孕喜。何故言？戊、己土神胎亦在子，或有用午为胎神者，不可不知，未免略具拟《土神歌》于后。歌云：“戊己当绝在亥怀，明知子上是胞胎”，云云。支之胎神作月内生气，占妻有胎孕亦确，不必作干之财。惟此胎神临妻之年命尤好，或临支上亦同。妻财作生气，纵不作胎神亦可用。

损胎格 如壬辰日，干上午为发用，又七月占，虽妻财作胎神，乘生气，必后有损孕，缘午作空亡故也。余仿此。

妾孕格 如辛、癸、己日，胎神为生气，乃妻妾之妹有孕，尤验。如丙、丁日，胎神在子，如正月占，非妻有孕，即是偏房也。

私孕格 如辛、癸日，乘元有私。外有甲、乙日，胎神在酉，十月占；丙丁日，胎神在子，正月占。非妻有孕，必是偏室婢妾有胎孕也。如作空乘死气，必是鬼胎也。

互胎格 如戊寅日，干上酉乃支之胎神，支上午乃干之胎神，又作夫妻之行年、本命，必然妻怀孕喜，不必寻生气及财神也。乙丑、己未、癸未、干上子；己未、癸丑、己丑、辛未、丁丑，干上午；甲申，干上卯；庚寅，干上酉。已上并是干上得支之胎神，支上得干之胎神也。

忧子格 论孕产。乃六合三月占加申，四月占加酉，乃月之死气克六合，至产则忧子凶。此二例乃天后、六合为子母之类也。

忧母格 如十一月占，天后乘辰；五月占，天后乘戌；八月占，天后乘丑；二月占，天后乘未。已上者，乃月内死气克天后也。如至产期，必忧母凶。

子恋母腹格 如干加支、支加干而互相生者，乃名子恋母腹，利占孕，保育，不利占产。如至产期占之，迟生则吉。外有支加干而克干者，主产速，或无克亦产。支为母，俯首已见其子也。

损孕格 如壬辰日，午加亥；癸巳日，午加丑；庚戌日，卯加申；辛亥日，卯加戌；戊午日，子加巳；己未日，子加未；甲戌、乙亥日，酉加巳、午；丙辰、丁巳日，子加辰、戌、丑、未。已上例，缘胎神作空、受克，占产当日便生，占孕必损。

月厌煞 如三月占，不宜申加母年命上；九月占，不宜寅加

母年命上。缘死气作月厌，占产必凶。六月占巳加母年命，十二月占亥加母年命上。缘生气作月厌，占产必速生。

养神二血法 如丙、丁、戊、己日，胎神在子，养神在丑。如在正月占，言血支、血忌皆在丑，并养神而克胎神。如占产，生速；如或占孕，有损无疑。如在十二月占，言血支、血忌皆在子，作胎神，如占产亦生速，如占孕亦防损。巳上血忌作空亡，或坐空乡，占孕、占产亦无妨也。

三元胎格 如寅加亥，为生元胎，怀孕之时渐有生意，生下男女必兴旺家门也。如寅加巳，为病元胎，如值此，怀孕之时母常有病，生下男女多病，不甚长进。寅加辰为衰元胎卦，惟乙未日亥加丑，昴星一课是也，怀孕之时家道日渐衰替，生下男女身躯衰弱，全无生意。

昴星格 刚日生女，或柔日虎视生男。取俯仰而生故也。

胎受克绝格 胎神临本日及临绝受克。六壬日午加亥，六庚日卯加申，乃胎临本日，占产可言当日便生，且安好。或六癸日午加亥，六辛日卯加申，乃胎神临绝受克，占孕、占产俱畏。六戊日子加巳同。六甲日亦如前说，且占产稍不畏矣。

小产法 如母之年命上神冲克胎神者，纵作生气，必是小产，此法极验。

胎神坐长生格 如丙、丁、戊、己日子加申，庚、辛日卯加亥，壬、癸日午加寅，甲、乙日酉加巳，大宜占孕。惟不利占产；占得此者反凶。

腹胎格 腹加胎神。丑为腹也。如甲、乙日丑加酉，丙、丁、戊、己日丑加子，庚、辛日丑加卯，戊、己、壬、癸日丑加午。如值此，来意妻必有孕。缘胎在腹内。丑为腹之类，加临胎神故也。

腹空格 如天盘之丑作空或落空，如占产则生速。缘腹空而必已诞其子。占孕必损孕。

全伤格 支干全伤，子母俱凶。独支受伤，害母。独干受伤，害子。如产期，以本月之内破胎之日生，或害胎之日生，或刑胎之日生，或月内生气之日生，或以子息爻中长生之日生，或以五行养处生。如甲、乙日，以戌为养神。或以逐季之天喜神所临之日生。妙矣。夫天喜者，乃逐季养神也。以上不利占孕，反有损。

纳音法 又妻本命纳音之胎神冲破之日生产。尤验。

夹定三传格 如干支夹定三传，或初末六合，如占产，子母俱不可保，缘气塞于中故也。如约母之年命透出支干之外，可免母之凶也。

胎财死气损胎推。

戊、己日子为胎财，七月死气在子；庚、辛日卯为胎财，十月死气在卯；壬、癸日午为胎财，正月死气在午；甲、乙日酉为胎财，四月死气在酉，甲戌旬鬼胎空亡。余皆仿此，全如前篇论。但凡胎神作月内之死气，妇孕不育。

交车相合交关利，

临机应变，或战或守，或退或和，视课体而行焉。

交车长生，大宜合本而作营生。庚寅，干上亥，支上巳；甲申，干上巳，支上亥；戊申伏吟，戊寅返吟。

交车合财，惟宜交关取财，以财交涉最好。辛丑，干上子，支上卯；辛巳，干上申，支上卯；壬申返吟，辛卯伏吟；癸未，午加癸，子加未。

交车脱，虽相交涉而用事，彼此各怀相脱之意。如壬午，干上未，支上寅；乙亥，^寅；戊辰，^酉；丁卯，^戌；甲申，^巳；庚寅，^亥（各自脱）；壬辰，^酉；乙未，^午（自脱）。

交车害，彼此各相谋害，但不宜相交用事，各有戾害。辛酉伏吟，乙卯伏吟；丁丑，^午；己丑，^午。

交车空，如占事，始初相交之时极和极美，后总成画饼。靡不有初，鲜克有终也。

交车刑，如结交朋友，正和美中必致争竞，各无礼也。丙寅、戊寅伏吟，辛未、辛丑伏吟。

交车冲，不论亲疏，先合而后离，夫妇、父子、兄弟、客主皆然。丁丑、癸未、甲申、庚寅，俱伏吟。

交车克，乃蜜里砒、笑里刀之喻也，匿怨而友其人。如相交涉，必至争讼。庚子，_庚丑；庚戌，_庚卯；辛未，_辛午（自克）。

交车三交，乃三交为三传，凡因交关用事，必有奸私，或相交涉二三事。己酉，_巳；丁卯，_丁；丁酉，_丁；己卯，_巳。子、午日无。

交车三合，乃三合为三传。又支干交车相合亦名交合格。凡值此者，家合仁义，外人相助，而有成合。惟忌空亡。乙丑，_乙子，三传己丑酉；辛未，_辛午，三传卯亥未之类。已上谓日干与支上神作六合，地支与干上神作六合，故名交车合，凡占皆主交关、交易、交加、交换而成合也。惟不利占解散诸事矣。此例如六十日内，除甲寅、庚申、丁未、己未、癸丑五日系八专，日干支不分，交车无合，其余五十五日每日一课，更宜详其相合凶吉而言之。内有伏吟相会合者亦同其说。内辛未日，干上午，支上卯，三传卯亥未，如占交易后必齟齬，始见齟齬后却和合。因发用乘丁也。又丙寅日返吟亦同。

上下皆合两心齐。

上下同心，三军协力。

谓支干上神作六合，地盘支干亦作六合。如乙酉、丙申、戊申、辛卯、壬寅，此五日伏吟者是也。

上下俱合格 如日干与上神作六合，地支亦与上神作六合者。例如甲申日，干上亥与甲干作六合，支上巳与地支申作六

合；丁丑日，干上午，支上子，己丑日同；癸未日，干上子，支上午；庚寅日，干上巳，支上亥。

独支干上神作六合格 如戊辰日，干上丑与支上子作六合；又戊辰日，干上未与支上午作六合；辛未日，干上寅，又干上申；乙亥日，干上酉，又干上卯；丙子日，干上卯，又干上酉；戊子日，干上卯，又干上酉。

交互六合格 如干上神与支作六合，支上神与干作六合。如乙丑日，干上子，支上酉；丙寅日，干上亥，支上申；戊辰日，干上酉；辛未日，干上午；乙亥日，干上寅；丙子日，干上丑；戊寅日，干上亥。每日皆有，内有一字空亡，反为凶咎。已上相合，凡占主客相顺，神合道合之象。

外好裏槎芽格 凡占皆如其言。缘支干上神虽作六合，奈何地盘支干上神却作六害也。如壬申日，干上寅与支上亥作六合，殊不知壬干与申支作六害。乙卯日，干上丑与支上子作六合，其支干辰卯却作六害，况合空亡而害实在，凡事空喜而实害。辛酉日，干上丑与支上子作六合，俱空，独留支干酉戌六害。又辛酉日，干上未与支上午作六合，支干酉戌自作六害。乙卯日，干上未与支上午作六合，卯辰支干自作六害。丙寅日，干上寅与支上亥作六合，干己与支寅却作六害。戊寅日，干上寅与支上亥作六合，干巳与寅支干作六害。

日辰邻近格 缘干支相会，上神作六合者，凡占皆主有变换，彼我共谋求合之事也。如壬子日，子加亥与支上丑作六合，又是支加干，兼支干相邻近也。戊午日，干上午与支上未作六合，又是支加干，兼支干相邻近。丙午日同。值此例者，客主相顺，神合道合。

干支相会格 缘上神相合而不相邻近者例，亦可相共谋而成合事。丙寅日，寅加巳，亥加寅；丙戌日，戌加巳，及卯加戌；

戊戌日，戌加巳，及卯加戌；壬辰日，辰加亥，及酉加辰。

彼求我事支传干，

彼有事必来求于我者。

谓初传从支上起，末传归干上者，凡占必主他人委托我干谋事体，吉凶皆成。故占吉则吉遂，占凶则凶成，行人至，求取得。如

癸酉日，初传从支上巳起，末传至干上酉止。乃三传巳酉丑也。

我求彼事干传支。

谓初传从干上起，末传归在支上者，凡事勉强，不免俯求于人，亦为忤抑勒，难自屈伸。旺相尤吉，死囚不安。又主为卑下所屈，兼礼下求人之意，只宜低心下意，不宜高上，百事不举，家宅不和，行人未来，病者难愈，死。如丁亥日，自干上酉作初传起，至支上丑作末传止也。

金日逢丁凶祸动，

海内方宁，不料盗贼蜂起。

如有官人占之，则赴任极速，不欲占人行年上神克去六丁所乘之神。常人占之，反宜制丁乘神。谓庚、辛二干，三传、年命、日辰逢旬内六丁神者，必主凶动。如乘勾陈，必被官司勾追；如乘月之死气，必亲族在外府郡报死亡而动往；乘贵人，必贵人差往；乘元武，主逃，或妻有血灾，蛇雀尤的。如庚午、辛未二日见卯是丁神，则因妻而凶动，不然取财而祸起，或先得财而后凶。庚辰、辛巳二日见丑是丁神，则因父母之墓田而凶动，尤分旺相为田，死囚为墓。内辛巳日昼将顺行，丑乘白虎作丁神而遥伤日干，其凶动尤速。庚寅、辛卯二日见亥是丁神，则因子息而凶动，内辛卯日昼将逆行，亥乘白虎，凶动尤速。庚子、辛丑二日见酉是丁神，则因兄弟或己身而凶动，尤分庚日是兄，辛日是弟及己身，及禄有动遥。内辛丑日夜将顺行，酉乘白虎，其凶尤速。庚戌、辛亥二日见未是丁神，则因父母长上而凶动，内辛

亥日夜将逆行，未乘白虎，其凶亦速。庚申、辛酉二日见巳是丁神，则因官鬼及长上而凶动，尤分庚日主鬼动，辛日主官摇动。火鬼蛇雀克宅格 缘火鬼乘朱雀而克宅神，其未传又乘丁而遥克日干者例。惟庚辰日卯加辰，冬占用昼将是也。如值此课，必遭天火焚伐而无怨也。余有火鬼乘蛇雀而克宅者例。春占火鬼是午，如甲申、戊申、庚申三日，并午加申用，夜将乘腾蛇而克宅，宜以井泥涂灶禳之，后例亦同。夏占火鬼是酉，如甲寅、庚寅、戊寅三日，酉加寅用，夜将乘朱雀而克宅；乙卯、己卯二日酉加卯用，夜将乘腾蛇而克宅；丁卯日酉加卯用，昼将乘朱雀而克宅。秋占火鬼是子，如甲午、庚午、戊午三日，并子加午用，昼将乘腾蛇而克宅；丁巳日，子加巳，昼将乘腾蛇而克宅；辛巳日，子加巳，夜将乘朱雀而克宅。冬占火鬼是卯，如甲辰、戊辰、庚辰三日，并卯加辰，昼将乘朱雀而克宅；癸未日，卯加未，昼将乘朱雀而克宅；辛丑日，卯加丑，夜将乘腾蛇而克宅；壬辰日，卯加辰，昼将乘朱雀而克宅。

人宅罹祸格 缘日上神克日，而辰上神乘丁又克日，主身宅皆凶，人且灾而宅必动摇，惟有官人占赴任极速，宜乎昼将。凡六庚日巳加庚，六辛日午加辛者，皆丁神临宅。

蛇虎循鬼格 专论蛇虎二爻，谓六甲日遁旬内之庚，乘白虎在六处，并辛日遁旬内之丁，乘腾蛇在六处者，凡占至凶、至危、至怪、至动，纵空亡不能解救。如甲子日，庚午加戌，三传戌午寅；又庚午加子，返吟；又庚午加丑，三传辰申子，并用昼将。此乃遁旬内之庚，乘白虎而遥伤日干者例。辛巳日，丁丑乘蛇加巳临宅，三传午寅戌；又丁丑加申，三传卯申丑，丁在未传；又丁丑加酉，三传酉丑巳，丁在中传，并用夜将。此乃遁旬内之丁，乘腾蛇而遥伤日干者例。

凶怪格 谓月厌、大煞、天目、墓神、丁神，皆主怪异凶灾，并

临年命、日辰。如乙巳日干上未，四月占；庚辰、辛巳日干上丑，十月占。此主极怪极凶。

马载虎鬼格 如甲寅日，申加午为未传，昼将又乘白虎；又伏吟，又申加戌，又申加亥，并用昼将。戊午日，寅加未，昼将。戊辰日，寅加未，又寅加酉，又寅加亥，并用夜将，白虎克干。余甲戌及戊申，此二日虽有此例，赖鬼空亡，不能为害。其余日辰极多，不暇细具，凡占主凶速。

蛇虎乘丁格 如乙亥日丑加亥，辛亥日未加亥者，乃丁作白虎而克支辰，必因家宅而有动，不然屋宇塌倒，以致损人口，或染灾病而不可免。余日鬼乘丁作腾蛇，尤凶尤怪。乙未日，干上酉，夜乘腾蛇亦凶。外有丁神作日鬼、乘白虎而克日干者，未免本身有凶动也。惟有己巳一日，卯加巳，夜将乘白虎而克干者是也。

水日逢丁财动之。

掠敌人之粮必得。

惟畏占人行年上神克去六丁所乘之神，则财不动。谓壬、癸二日，三传、年命、日辰之六处逢旬内之丁神者，必主财动，及远方封寄财物付本身之象。如未有妻，则有娶妻之喜；如已有妻，则主别妻之忧。如壬申、癸酉二日，见卯是丁，则因子息动而有财，内癸酉日因门户之财动，或为子息而得财。壬午、癸未二日，见丑是丁，则因官鬼之财动，内癸未日伏吟与癸丑日同说。壬辰、癸巳二日见亥为丁，则因己身或兄弟之财动，内有癸巳日见亥，丁马交加，财动又速。壬寅、癸卯二日，见酉是丁，则因父母或长上而财动，内癸卯日又因门户之财动。壬子、癸丑二日，见未是丁，则因官鬼之财动，内癸丑日干上未并初传是丁，缘三传皆鬼，不可取财。壬戌、癸亥二日，见巳是丁，则因妻之财动，内有癸亥，巳为丁马交加，财动尤速，离妻娶妻更的。

财乘丁马格 缘财神乘丁或为驿马者，必因出入求财，或因妻动用者。如丁马交加，必因妻财而非细之动。如己丑日亥为财乘丁马，甲辰、乙巳见未，丙申、丁酉见酉，戊子日见亥，甲戌、乙亥日见丑。

太常乘日之长生临日干上者，来人必占婚姻之喜，或有锡赐物帛之事。如六甲日，亥加寅，夜将乘太常；六己，申加未，昼将乘太常；癸亥日，干上亥，夜常，未巳卯皆财。

太常乘日之长生临支上者，宅中必有婚礼之喜，或宜开彩帛铺，或开酒食店肆，后有长进。如甲子日夜占，亥加子做太常，为日长生，又是交车合。并甲戌日亥加戌，夜将，亦是交车合，乘太常作日之长生。斯二例占婚尤的。甲寅日，亥加寅，夜。己未日，申加未，昼。

牛女相会格 缘丑中有牛宿，子中有女宿，子与丑合，乘太常为用。如乙丑、己丑，子加丑；丙子、壬子，丑加子。乘太常，大宜占婚姻。内壬子日是芜淫体，后必不成。

传财化鬼财休觅，

不宜掠军粮，不可受敌贿赂。

谓三传皆作日之财而生起干上日鬼而伤其日干者，必因取财而致祸，及防妻与鬼交而损失。余生支上鬼者，主破家。如辛亥日，干上午，三传未卯亥皆作木局，为日之财，其财且不可取。欲待不取，奈财在目前，争忍舍之？设取其财，即生起干上之午火而伤辛金，难免其凶祸也。此财如在虎口，又喻如刀上蜜，焉可舐？稍识事君子，见其财自祸而出，必不取之，庶得全身远害。此例虽不利取财，惟宜以己财而告贵人成其事，言用昼贵，乃以财生贵，必宜饶求关节，事可谐也。余辛卯、辛未二日，干上午，同前说。丁巳、丁丑二日，干上亥。若丁酉日，干上亥，三传亥卯未全生，但日上见鬼耳，幸为贵德，宜告贵得益，

宜为长上占之。若壬戌日，干上未，夜乘太常，三传全脱，占病则因伤食以致邪祟侵缠，尤恐不救，如得占人年命去其干上之鬼稍轻。内有丁丑日，干上亥，三传酉丑巳，其金财不能生亥水。言初中空陷，未作天空，夜占三传天将皆土，能克去亥鬼，致使财亦不可取，祸亦不伤身，未免经由此二事后始无一成。并丁巳、丁酉二日，各视天将言之。

传财化鬼格 缘三传作日之财，反生起支上神而来伤日干者，此等祸害必自宅中而发，惟要行年、本命上神克制其鬼，庶不致深害。如乙巳，^未_乙，三传未戌丑，支上申；乙亥，^丑_乙，三传丑戌未，支上申；丁亥，^申_丁，三传申酉戌，支上子。惟宜纳粟得官，或以财告贵，买恩泽而补授，极妙。但有官人占之则吉，必陞擢官职也。又如四己日，己卯、己亥、己酉、己未，干上亥虽为日财，奈三传曲直木局并来伤干，亦宜纳粟求官。

因财致祸格 或畏妻室。如带凶将，或被妻伤者。缘财爻反克干上之神者是也。如庚辰日，干上丑，初传寅木为财，乘白虎而伤干上丑土，和被妻伤其命，又被丑——旬中之丁作墓而覆日，亦是命运灾衰以致然耳。不然娶恶妻而不孝于父母。

财遁鬼格 缘日上神作财，却遁旬中干鬼，必因财致祸，为食丧身，因妻成讼。如甲戌日，干上庚辰；辛丑、丙寅日，干上壬申；壬戌日，干上戊午；癸酉日，干上己巳；丁卯日，干上癸酉；戊辰日，干上甲子。

借钱还债格 如辛酉日，干上卯，支上寅；壬子日，干上巳；丙午日，干上申。外有乙未日伏吟。凡干支相同者不宜求财耳，此曰借钱还债不明也。

传鬼化财钱险危。

占兵同前。

谓三传俱鬼，则能去比肩，既无夺财之神，于传内有一作财现，其财安稳而无破也。谓三合课中，虽作日之鬼，两课俱空，独存一字中间为财者，乃名全鬼变为财，其财终是危险中出，纵得之亦不安稳，倘君子识事，必不取其财也。如占人命年上乘日鬼，其祸仍发，亦不为财也。如丙申、丙子、丙辰三日，并干上丑土，可以敌其水局，独存申金为财，如用昼将少畏，龙、蛇、元皆水兽，恐为祸也。

取还魂债格 缘三传全为脱气，反生干上财神者。例如己丑，干上亥，三传酉丑巳，虽为日之脱气，殊不知金局生起干上亥水作日之财。己巳，干上亥空亡，尤为的验。壬寅日返吟，甲戌、甲午、甲申、甲辰、甲寅日干上戌。又如丁丑日，酉加巳用，墓，土将生空亡之财，亦如前说。有三传为脱气，生起支上财神者，如壬寅、壬戌二日，并支上午。甲午日，支上戌，亦为取还魂债。

求财急取格 如乙未日，未加乙，虽曰财就人格，惟宜速去取之，如缓则财反被未来墓其乙木，却恐为祸。又如辛卯日，卯加辛，虽名财就人格，亦宜速取其财，如少缓亦被卯木克其戌土，反有害也。

空财格 如丙子日，酉加巳，乃空财。如用夜将，反生三传之财，亦宜索债。

危中取财格 缘干克支辰为财，支上神为鬼者，不免自惊危中取财。如甲辰日，乃甲木克辰土为财，如辰上乘申是也。甲戌日，支上申空亡，似乎无畏。乙丑、乙未二日，支上酉；丙申日，支上亥；丁酉日，支上子；戊子日，支上寅；己亥日，支上卯；庚寅日，支上巳。辛卯日，支上午作空亡，不可畏之。

眷属丰盈居狭宅；

凡占兵利先举。

谓三传生其日干，反脱其支辰者是也。值此必人口丰隆而居宅窄狭也。如甲申日，干上午，三传辰申子水局全来生日，乃应人口丰盈也；申金为支辰，反生三传之水局，乃应屋舍窄狭也。如得此课，切不可迁居宽广之屋舍，恐反生灾咎。此乃造化使然，不可逆天理而妄作也。其余占别事，即我盛而他衰，我胜而他负，后例准此。乙酉日，干上申，三传申子辰；又干上巳，三传亥子丑。

人旺弃宅格 缘三传生其日干而克其支辰者，占人虽亨旺，而无正屋可居，纵为官，多是寄居，或欲逃亡而弃其家，尤的。如丁未日卯加未，又亥加未用，癸卯日酉加巳用，甲午日子加丑，丙戌日卯加辰用。

赘婿卦 缘支加干而被干克者，其支上又乘脱气或克支者，必无正屋可居。如丙申日，申加丙，亥脱申；丁酉日，酉加丁，亥脱酉；戊子日，子加戊，未克子；己亥日，亥加巳，卯脱亥。

屋宅宽广致人衰。

占兵利为主而后应，或昔空虚。

谓三传窃盗日干反生支辰者是也。凡值此课，必宅不容人居止，不然，人口少而居宽广之屋舍，致使人口日渐衰羸，患难俱生。惟宜弃此住场而别迁居止，庶免此患。余占事皆我衰他旺，我负他胜，后例准此。如甲辰日，戌加寅；甲戌日，寅加戌；又壬午日，未加卯。

卖宅备患格 缘三传生支克干，惟宜兑卖宅舍，以钱预备灾患之费。如癸酉日，辰加丑用；己巳日，卯加未；丙寅日，子加丑；癸酉日伏吟。

狮兽冲宅格 缘对邻兽头吻冲其本家，或有狮子道路冲宅，以致家道衰替。如对邻空亡，不足畏也。如壬辰日，申加戌作白虎冲支上寅；辛巳日伏吟，亥作虎冲支上巳；甲午、庚午二日

伏吟，子作虎冲支上午；辛丑日，酉加未作虎冲支上卯。

血厌克宅格 缘天后乘血支、血忌作月厌临支克支，凡交易买卖铺店皆宜忌此。如七月癸亥日，辰作天后加亥，乃夜占，缘七月血忌在辰，月厌亦在辰，又墓克其宅神故也。止有七月占有血忌与月厌同处，余只有天后临血支、血忌之例。

三传递生人举荐，

生干客胜，生支主胜。

此格有二等。一自初传生中，中生末传，末传生日干。一自末生中传，中传生初传，初传生日干。凡占值二例，必隔三隔四有人于上位推荐之意，所谓皆赖众人之说。如欲干官及请举文状，皆宜得之，必得始终成就也。惟宜详初末空亡，如值空亡者，虽有举荐之心，终无成就之实，乃便作闲话多，赤心少之语也。如辛丑日，卯加丑为初传，生其中传巳，中传巳生末传未，未土生辛干，此中空，未落空，如年月并干事人命填实可成。又辛酉日干上寅，癸未日干上卯，甲子、壬申、壬辰、甲申、壬寅、壬子、壬戌并干上午，丙子、丙寅、丙辰、丙午、丙申、丙戌干上申，三传申亥寅。此数日内有传空者，有传不空者，如丙子初中空，丙寅中末空。

将生财神格 缘三传作财，其天将又生财神者，大宜取财。如六丙日酉加巳，夜。

支干相生格 如壬戌日干上申，支上未，土生申金，金来生日，可无畏。未为鬼，然后作福。

两面刀格 如六戌日伏吟，巳申寅，末传寅能助初生干，必能克干。俗谚云：“成也萧何，败也萧何”，作两面刀。

外有三传生干，天将又生传者。例如六癸日，三传酉丑巳，或巳丑酉，昼占，天将贵常勾。

三传互克众人欺。

克干客败，克支主败。

此例亦有二等。一初克中，中克末，末克日干。一末克中，中克初，初克日干。凡占值此二例，必有人递互而相克害我也，或使众口一词总相欺凌。或如常人，所为凶横，遂被他人雷攻状论。如或见在朝官占得此课，宜自检束，提防恐有台阁上言之患。如丙辰日，初传寅加酉克中传未，其中传未克末传子，末传子克日干丙火。辛酉日干上卯，己巳日伏吟，六戊日伏吟。如丙子日，末传寅加未克中传未，中传未克初传子，初传子克丙火日干。

求财大获格 如庚辰日，干上丑，三传寅未子，自庚金克初传寅为财，初传寅木克中传未土，中传未土克末传子水，总为财故，求财可以大获。此法极好，他课例推。又如乙酉日，未加寅，或如乙丑日，干上酉，三传寅未子，俱同。

土将助财格 如六丙日，酉加巳，三传皆财，夜将又皆土神，尽生起财神，大宜求财事，尤宜成合万事，却不利父母，占病死，兼此人不义，多贪横发。

雀鬼格 朱雀作日鬼加干，如在朝官，防弹章，及不宜上书献策，反受责黜。六丙日干上亥，夜；六庚日干上巳，墓；六甲日干上酉，夜；六戊日干上卯，昼。壬癸日未乘雀，昼贵顺行有之，但不临干，如临年命亦可用。

三传内战格 缘三传俱下贼上，迤邐克去，递相侵伐，乃名三传内战，凡占必是有窝犯，讼自家庭而出。如癸酉日，未加寅，下克上，中传子加未受克，末传巳加子亦受克，且天盘未克子，子克巳，地盘寅克未，未克子，尽相伤伐而无穷也。又如戊辰日，寅加酉为发用，亦同。

有始无终难变易。

占兵有先后，互为胜负。

此一句乃是二项事体。夫有始无终者，乃因初传是日之长生，末传为干之墓是也。夫难变易者，乃初为干墓，末为干之长生是也。如乙未日，初传亥加未为干之长生，末传未加卯为干墓，占得此例者，如初起谋事之时如花似锦，后将必无成合。又如乙丑日，亥加丑，初传亥，末传未，皆自生传墓也，亦如前说。又如丙寅日戌加寅，初传戌为干墓，末传寅乃丙火长生之地，占事先难后易。又如壬子、壬寅二日，辰加寅为初传，申加午为末传，此乃自墓传生，先迷后醒。如占得此例，谋事之初虽值艰难，已后却有成合，凡占未免先暗后明。

舍损就益格 如甲申日，丑加甲，丑乃日之破碎，支上卯又作六害，又是干之羊刃，宜弃此而就三传子亥戌，为生干，凡占不免舍无益而就亨旺也。占得此例，一则有寿，二则自微至显。又如甲子日，亥加甲，六月占，乃父母爻作空亡，又是死气，又为木之长生，主父母灾，如父母歿后不论。余极多，仿此。

苦去甘来乐里悲。

不成功处反成功。

此一句亦宜分为二项说。且夫苦去甘来者，如戊午日，末传申生中传亥水，中传水生初传寅木而克日干之戊土，诚为被寅木之苦，殊不知反赖末之申金冲克其寅，又为戊土之长生，乃应苦去甘来之喻也，凡占未免先受磨折，后却安逸。又如六戊日伏吟，乃初克中，中克末，末克日干，亦是先被寅苦，殊不知又赖寅径生其巳火而生戊干也。以上二例，亦可作成败萧何。

一喜一悲格 如癸亥日，干上戌乘龙克日，乃幸中不幸；支上申乘虎生日，乃不幸中幸。又癸卯日，干上申乘虎，支上戌乘龙。又壬寅、壬子，戌加子发用，夜将同。如干上长生于月令无气，却喜传中见鬼。乃甲日上见亥，月令无气，传中见申、酉，为可生亥水也。亦名不幸中幸。

乐里生忧格 如庚寅日，干上巳乃庚金之长生，支上亥乃寅木之长生，此乃先各有长生之意，然后递互相参，其庚金反被亥水脱，寅木又被巳火脱，却反为两边脱盗，凡占皆然。又甲申日，干上亥，支上巳，同前。又庚辰日，干上戌生干，支上午生辰，此例止宜坐待用事，尽有其益，如若动，其支干皆坐于克乡。如庚午日，干上辰土生庚金，支上寅木生午火，亦宜坐用，倘动，其支干坐于脱气乡。如庚子日，干上巳作干之长生，殊不知巳火亦能克庚金，且支上酉生支，殊不知水败于酉。如癸酉、癸丑、癸巳三日，酉加癸，昼占，三传虽金生日，其天将皆来伤日，虽有面前之生，背后反为深害，占病死，占讼刑，乃应俗谚云：“贪得一粒粟，失却半年粮”，凡占俱如是。如庚辰日，干上巳虽曰日之长生，却被未传生中传，中传生初传之巳火而克庚干。丙申日夜占，干上申，三传申亥寅，初传申加巳作日之财，受上下夹克而无用，中传为日之鬼，末传乘虎遁壬水克干，先是初生中，中生末，末生日干，后却变出许多不美，亦如前说。巳上诸例，变官商薤露。

思多怨深格 缘干生初恩也，初生中，中生末，末却克日干，反成仇是也。如己巳日，申加巳生中传之亥水，中传水生末传之寅木，反克日干之己土。乙亥、乙未、乙巳、乙卯四日，午加亥用。

不幸中幸幸中不幸格 缘白虎却作长生，青龙却乘日鬼是也。凡占皆然。如六戊日伏吟，昼占，三重白虎作长生，乃不幸中幸；如夜占，三重青龙作日干之鬼，乃幸中不幸。外有戊、己日返吟，三月占，生气克日主病，死气生日主生。

人宅受脱俱招盗，

占兵主客俱不利。

此例亦有二等。一则支上千上皆乘脱气，一则干上脱支，支上

脱干。已上二例，凡占人被脱赚，家宅必被盗窃财物。如占病，定然起盖屋宅费用，以致心气脱弱而成虑惫，宜服补元气药饵获愈。内有支干递互相脱者，及相交涉，必是我欲脱漏彼，彼亦早辨脱漏我也。既各怀脱漏之意，故应道典云“天网恢恢，疏而不漏。”

遥克、昴星、别责，乘空落空为初传发用，将乘元武者，凡占定主失脱，此法极验。如乙亥日蒿矢，酉元加亥用；丙子日弹射，申元加子用，昼将；己巳日弹射，亥元加酉；辛丑日别责，巳元加申，夜将；庚午日昴宿戌加酉，昼将、夜将有之。又有庚子日元首，辰空，元加子，昼将，皆乘元武；辛亥，卯加戌，昼将。此等日乃空亡乘元武为用，但初传不系遥克并昴星。

财空乘元格 或临支发用，亦防失脱。如甲子日，戌加子，昼占上乘元武。此例极多。

鬼、脱乘元格 缘日鬼或脱气乘元武，来意占失脱，为发用尤的。如己酉日，卯加酉，昼；辛丑日，亥加丑，夜。

干支皆败势倾颓。

占兵同前。

谓干支上皆逢败气者，占身气血衰败，占宅屋舍崩颓，日渐狼狽，全无长进。更不可捕捉奸私，告诉他人阴事。倘若到官，必牵连我之旧过，同时败露，各获罪也。其余占用，彼此皆值衰败，乃应俗谚云“杀人一万，自损三千”之意也。如甲申日，干上子，支上午；庚寅日，干上午，支上子；丙申、丙寅日，干上卯。

破败神临宅格 缘支上有败气，又为破碎煞，必宅中有人不利，而致日渐衰残，家道破败。宜详其破败者类神是何人。如己巳、己亥二日，干上乘酉，乃干之败气，又作支之破碎，故总名为破败神也。以类推之，昼占必家中有破败之子，缘酉为己土之子息故也，夜乘天后囚妾败。又戊申、戊寅日干上酉，壬

寅、壬申、癸巳、癸亥四日干上酉，并同。其酉为婢类。亦缘酒色而败家。其余破败神临之同说。一说破败神临干主凶，非临支。

末助初兮三等论，

占兵视其或利主或利客。

谓末传助其初传而生日干者，亦有末助初而克干者，亦有末助初传而作日之财神者。此三等皆是旁有相助，而各成其上说。内末助初生日者，欲年命制末始可言吉，年命生末反凶。如庚午日干上午，三传午辰寅，末传寅加辰生起初传午火而克伐庚金，末传之寅木乃教唆词讼之人也，其为公曹、吏、道士，为胡须人，或属虎人，或姓从木，详天将逐类而言之。尤不宜求财取财，反为祸也。又庚辰、庚申二日，寅加辰；辛未日，卯加戌；甲辰日，辰加子。

抱鸡不斗格 缘己亥、己酉，卯丑亥为传；庚寅日，午辰寅为传；癸亥日，丑卯巳为传。虽末助初而克干者，因初传或空亡，或落空，本无意克其日干，其末传徒为冤憎。奈初传无力，终不能克干，故取喻于抱鸡不斗之例也。

枉做恶人格 如庚戌日，午辰寅为三传，末空，干上午。又庚子日，午辰寅为三传，末传落空，亦是末助初传而克日干者。缘末传空亡，不能助其初传，其教唆人必自败露，所以喻为枉做恶人也。

渴求祸出格 乃支上神作财生干上神为鬼者，大不利渴求财，犯之即有祸出。如甲子、甲午日干上酉，甲辰、甲戌日干上申，乙亥、乙巳日干上酉，乙卯、乙酉日干上申，丙寅日干上子，又干上亥。

二者者，如辛酉日，未传巳加子助其初传之未土生日干者例。必旁有人暗地相助推荐而致亨旺。如值末传空亡，亦名闲话

多，赤心少也。六戊日伏吟，己巳日伏吟，己丑、辛亥、己巳、己卯、己亥、己未、辛酉七日并干上子。

三等者，如甲辰日，干上子，三传戌申午，未传午加申助其初传之戌土而作甲干之财者。凡占值此，必暗有人以财相助也。如占博奕，宜此未助初为财者作例。来意占婚尤的。如甲寅、甲午、癸未日，干上子。

未助初传作日财反克干上神者，如甲子日，干上子，三传戌申午。又壬申日，干上酉，三传午辰寅同。

自招其祸格 缘年命自助其初传而克干者，乃自招其祸，必致惠害也。

闭口卦体两般推。

捕盗亦可查。

《心镜》云：阳神作元武，度四是终阴。闭口卦止宜捕盗贼而追逃亡。此课，纵值目前时师，多未尝拈出，故立成法于后。

地盘旬首，上神乘元武者，每日有一二课，推之如甲子旬中甲子日，辰、戌加子，昼夜皆乘元武。戊辰日，辰加子，昼夜。乙丑日，卯加子，昼。乙丑日，亥加子，夜。戊辰日，辰加子，夜昼。庚午日，戌加子，昼夜。庚午日，辰加子，昼夜。己巳日，卯加子，昼。己巳日，亥加子，夜。丙寅日伏吟，夜。丙寅日，申加子，昼。丙寅日，寅加子，昼。丁卯伏吟，夜。丁卯日返吟，夜。

甲申旬中，甲申日，辰、戌加申，昼夜。戊子日，辰加申，昼夜，又戌加申，昼夜。庚寅日，辰、戌加申，昼夜。乙酉，亥加申，夜；卯加申，昼。丙戌日，子、午加申，夜，又返吟、伏吟，昼。丁亥日，午、子加申，夜；返吟、伏吟，昼。壬辰日，子、午加申，夜；返吟、伏吟，昼。乙酉日，巳加申，夜；酉加申，昼。

甲戌旬中，凡甲、戊、庚返吟、伏吟，昼夜皆是。乙亥日，巳、亥加戌，夜；卯、酉加戌，昼。己卯日，卯、酉加戌，昼；巳、亥加戌，夜。

甲午、甲辰、甲寅三旬，止有天盘之旬首乘元武，无地盘旬首乘元武，因元武不到东南方也，亦可如其说。凡旬尾加旬首作元武者，惟甲子、甲申二旬，甲戌旬无之。

旬尾加旬首为发用者例，更值初末上下六合，则气塞于中，如占病即是痼重，或患禁口痢，不然咽喉肿塞，或痰厥症，不纳饮食。如占胎产，定是哑儿。如占失脱，纵有旁人见其贼盗窃物，竟不肯言之。凡求人说事，人但闭口而不语有无之意。余占更详天将而言其事类。且如上乘贵人，告贵不允；上乘朱雀，占讼屈枉难伸；乘白虎，占讼使人不明而伏罪。余皆仿此，但不免应闭口之意。此法尤好。如甲申、丙戌、丁亥、壬辰、庚寅日并巳加申用，甲寅、戊午、癸亥、丙辰、丁巳、己未、庚申日并亥加寅。内惟丙辰、丁巳为闭口发用，若甲午、庚子、丁酉日卯加午，甲辰日丑加辰，乙巳日丑加辰，甲子、丁卯日酉加子，甲戌、乙亥未加戌，以上不必皆属闭口发用，但旬尾加旬首即有闭口之意，六旬中皆有。

禄作闭口 缘辛未日，酉加寅，大不利占病，缘日禄作闭口，非旬尾加旬首。如乙未日，卯加申、酉，夜又乘白虎，或乘元武，不在传课，就天盘言也，亦非旬尾加旬首。辛未日，酉加戌，夜亦乘白虎。外有丙戌、戊子日，巳为闭口禄神，但不乘虎。壬戌日，亥为闭口，亦无白虎。

财作闭口，或食神空亡，皆如前说。丙寅日，干支上酉；丁卯日，干支上酉；甲戌日，干支上未；壬辰、癸巳日，干支上酉；庚子、辛丑日，干支上卯；甲辰、乙巳日，干支上丑；戊午、己未日，干支上亥。

太阳照武宜擒贼，

不利劫营伐路。

谓元武坐于太阳月将之上，占贼必败。缘贼人喜夜而可以隐

形，岂宜被太阳之光照耀，以致盗贼之形现露，不劳捕捉，必然自败。纵太阳月将乘天空，或作空亡，及坐空亡，尤好。缘太阳不被云翳，更光明也。惟畏占时在夜，贼反大幸也。尤宜逐季推寻日出日入之时，极准。如止以卯为日出，酉为日入，则元武止有临地盘之申上者为昼，缘不临地盘寅、卯、辰、巳、午、未故也。如推究节气日出日入，则元武纵临酉、戌，尚可作太阳照武之用也。如壬申日返吟卦，十月占，且支上寅木乃是日之盗气，上又乘元武，必是家中人作盗，后必败露，缘寅为月将照破元武故也。如辛亥日，亥将，戌时，三传丑寅卯，此课所合主失脱而无疑也，缘干上亥是日之盗神，又乘元武，又初传是日之墓神，中传虽寅卯为日财，又是旬空。虽是太阳照武，奈是戌时，太阳已归地下，其贼难获。此例极多，余皆仿此。至元武虽不临太阳之上，如加于卯、辰、巳、午、申地盘之上者，尚可捕盗。或元武临天马、六丁，更临酉、戌、亥、子、丑上，其贼终不败露，必至远窜。如占失财，其财坐长生之上者，终不致失，或所失物类坐于长生之上者，亦不至失也。

天网四张格 最宜占贼，必获。谓用神与正时同克日是也。惟在破网卦反难捉贼矣。破网者，有神克其初传者是也。

贼向防连坐者例，缘元武所临之神有神作六合是也。如元武加子临丑，子与丑作六合故也。

捉贼不如赶贼格 假令甲日占，以申为贼，不可便以丙火去克之，虽去其鬼贼，亦窃甲干之气，尤忧所费。以此推之，不如以壬水暗窃其申金，尤生其甲木为妙。

游都下捉贼必获。游都煞者，甲、己日，丑；乙、庚日，子；丙、辛日，寅；丁、壬日，巳；戊、癸日，申。

元武加丁主失脱。

贼捉贼格 如壬、癸日，辰、戌、未、丑等为传，三传自相刑

冲，可以凶制凶。又内有四金字可以化鬼也。又元之本家上神能制元，亦是。

鬼作生气，贼来不已。如日之劫财，或占失财亦以此为贼。或鬼贼本家与元武本家上神乘太阳，占盗贼立获。

后合占婚岂用媒。

《大过》九五“枯杨生花”，《家人》九三“”，“嘻嘻”。占兵，有敌与臣下私谋者。

谓干为夫，支为妻，凡占婚，全看此，岂宜支干上乘天后、六合以应私情？那更女之行年居在干上，男之行年居在支上？此乃私情先相交通，至嫁娶之期何用媒伐乎？如占婚，值此者必有先奸后娶之意也。如丁卯日干上寅，昼乘六合，支上戌乘天后，又干上子夜乘六合，支上申乘天后，又干上戌乘天后，支上午乘六合，夜。更看那边空亡，审其真伪。如值空亡，则虽乘天后、六合，既已坐空，乃止怀虚意也。

富贵干支逢禄马，

功成受赏。

谓干上有支驿马，支上有干禄神者，故名真富贵卦。凡君子占之，加官添俸，富贵双全；常人占之病讼俱凶，宅移身动。如丙寅日，干上申乃支驿马，支上巳乃干禄神，余仿此。

尊崇传内遇三奇。

如占大吉，有成功封拜之喜。

且夫三奇者有二等，有三传全遇甲庚戌者，有三传全遇乙丙丁者。其法亦有二，有遁旬中之干者，有遁五子元建之法者。凡值此二例，君子占之，官居一品之尊，贵入岩廊。纵使常人占之，虽无吉泰之兆，亦可消除灾祸。

遁旬中之干者，如己卯日，干上午，第四课发用，初传丁丑加寅，中传丙子，末传乙亥。又己巳日，丁卯加辰，丙寅加卯，乙丑

加寅。又壬申日，初传乙丑加子，中传丙寅，未传丁卯。戊辰日，初传丁卯加辰，中传丙寅，未传乙丑。

遁甲己还生甲者，如辛巳日，干上午，初传甲午加戌，中传庚寅，未传戊戌。己酉日，初传乙亥加戌，中传丙子，未传丁丑。余仿此。

害贵讼直作屈断，

虽有深谋密计，终主败露无成。

如甲申日，未加申为夜贵，乃日之墓神。丑作昼贵，又受寅木克，又作天空。初传子与未又为害。如占讼，理虽直而必致曲断，事小而必大凶。余占皆弄巧成拙，止宜识时而屑就，庶不为大祸。其余五甲日，未加寅用，夜贵亦如其说。又如乙酉日，未加寅作初传，害中传之昼贵，其象稍相类，占亦如前说。

曲宜作鬼枷锤，如六己日，逢曲直课是也。卯加亥先曲后直，卯加未直后曲。凡申加午为白虎投朱雀，午加辰为朱雀投勾陈，皆主讼。

课传俱贵转无依。

李广不封侯，乐毅见疑。

如丁酉日，第一课干上酉乃夜贵，第二课酉上见亥乃昼贵，第三课酉亥相加，第四课又归亥乡，然后三传酉亥丑。此四课、三传皆是昼夜贵人所聚，名曰遍地贵人。贵多者不贵，凡占不归其一，反无依倚，或权摄所委不一，托事无成。如用夜贵，乃名咄目煞，如贵人咄目专视，反坐罪也，大不利告贵，占讼尤凶。外有三传皆是贵人者，亦可用。辛巳日，干上午；丁卯日，干上酉；乙亥日，干上子，又干上午。

昼夜贵加求两贵，

亦可请谒于诸侯。

谓六处有旦暮天乙相加者。如占告贵求事，必干涉两贵人而成

就。或占谒贵，必不得见其贵人，缘贵人往见别贵，多不在宅。纵然在宅，必会贵客而排筵。盖贵临贵位，乃官人见官人也。如是同官占之，反宜谒见。以后虽值昼夜贵人相加在传，视其合用之贵，如值空亡，不可照前说。如六丁日，亥加酉，昼；丁巳、丁亥、丁卯、丁丑日，酉加亥，夜；六丙日，酉加亥，夜；六癸日，巳加卯，昼；癸未、癸亥、癸巳、癸酉日，卯加巳，夜；辛酉日，午加寅，昼；辛巳日，寅加午，夜；乙酉日，子加申，昼，申加子，夜；甲、戊、庚日返吟。余虽有之，缘不在传课，故不具载。

贵覆干支格 缘干支上皆乘昼夜贵人例，凡占亦得两贵人周全而成事。如甲申日，干上丑，支上未；庚寅日，干上未，支上丑；己卯日，干上子，支上申；己亥日，干上申，支上子；丁巳日，干上亥，支上酉；丁酉日，干上酉，支上亥。

两贵空害格 如己卯日，干上子，支上申，用夜贵，乃空亡之贵加宅上，又克宅，干上之昼贵却作勾陈，又为六害，凡占必家庭神位不齐，尊卑相厌，邪正同处，以致人口灾患。又不宜告贵，告则反逢其怒。或夜贵人加在昼贵人上，宜求关节也。

贵人差迭事参差。

权臣在内，忠臣不能在外立功。

谓昼贵临于夜地，夜贵却临昼方，故名贵人差迭。如占告贵人求事，多不归一，如俗谚所云“尖担两头脱”也。此例极多，不暇细具，或每日有二课者，但仿此而言之。如甲子日，丑为昼贵坐在酉上，未为夜贵却坐在卯上是也。

贵人顺治格 缘一日内全无逆贵人者。凡告贵皆顺，竟无阻却，兼宜催督，频复进取。唯有巳为月将，甲、戊、庚日有之。内有空亡贵人，乃无用；如丑、未坐于辰、戌上，贵人怒嗔。

贵人逆治格 缘一日内全无顺贵人者。凡告贵竟无相允意，止宜退步，不宜进前，如进则反受挫。惟亥为月将，甲、戊、庚日

有之，内忌空亡。

日贵在夜，开眼作暗。

夜贵在日，自暗而明。

贵在前，事不宜迫，迫则反为贵所怒，事必无成。

贵在日后，事宜速催，不催，事反被散漫，久必有灾。

贵虽在狱宜临干，

谓天乙贵人加临地盘辰戌上者，虽名入狱，如是乙、辛二日占，却名贵人临身，反宜干投贵人周全成事。其余八干，昼夜贵人坐地盘辰戌之上，始名天乙入狱，干官贵怒，惟宜私谋阴祷，亦名贵人受贿。如辰戌二日占之，乃为贵人入宅，非坐狱论也。

鬼乘天乙乃神祈。

当行反间，可得敌人之助。

如六辛日，午加干，如用昼占，虽是日鬼临身，缘为贵人，切不可作鬼祟看，占病必是神祇为害。如临宅上者，必是家堂神像不肃而致病患，宜修设功德，安慰宅神，庶得无咎。又六丙日昼将，亥加巳或亥加支；六丁日昼将，亥加未或亥加支；六乙日，申加乙或申加支。

空亡贵人格 缘贵人作空亡者，亦是神祇挠害，占讼大凶。亦为之闲贵人，尤忌。

贵人作墓格 六甲日，夜贵作墓神加干；六庚日，丑为昼贵作墓神加干。

贵人脱气格 如六壬、六癸日，以卯为夜贵，作脱气，必被贵人脱赚。或神祇降殃，以致脱耗。

两贵受克难干贵，

栖栖皇皇，终身不遇知己之主。

凡昼夜贵人皆立受克之方者，切不可告贵用事。缘二贵自受克制，必自怒而不能成就我也。不论在传不在传，皆可用之。占

得此课，不如不告，天乙漫被怒阻也。如六乙、六己日，申加午，子加戌；六丙、六丁日，亥加未，酉加巳；六辛日，午加子，寅加申；六壬、六癸日，巳加亥，卯加酉。惟甲、戌、庚三千无此例。白虎或乘临丑格 乃贵人怒恶之貌，凡占干贵官，值此必招贵人嗔怒，占讼尤忌。缘丑乃天乙之本家，不宜见白虎也。或欲告贵人求文书事吉。

贵人忌惮格 缘朱雀乘神克贵人，不可告贵求托，必贵人忌惮而不肯用事。如甲日，丑加寅，乃昼贵临身，如占用文书之事不吉，缘朱雀乘卯克天乙之丑土故也。又六己日，申为夜贵临身，朱雀乘午而克贵。又六己日，昼贵人是子临身，朱雀乘戌而克贵。

真朱雀格 缘朱雀临午，惟可求文书于朝廷，或达于至尊之前，最宜戊、己年或辰、戌、丑、未年占之，以真朱雀生太岁故也。若申、酉年占之大忌。

二贵皆空虚喜期。

《咸》“象曰”：“山上有泽，咸。君子以虚受人。”功无成而终，多不见用。

凡昼夜贵人皆空亡者，如干投贵人，事已蒙许允，后却被人排越，凡占若值此，事事成拙。或有人报喜，且勿信，恐为同名姓人，后非我喜，诚为虚喜而已，反有所费也。故俗谚云：“争似不来还不往，亦无欢喜亦无忧。”如丁丑日，酉加未作空，亥加酉，又落空之类，主告贵先允而事未决，后换旬始可有望。

毕法赋 下

魁度天门关隔定，

《贲》六五：“贲于丘园，束帛戔戔，吝，终吉。”犹驾舟楫而登剑阁，如御輜重而过江津。

谓戌为天魁，亥为天门，凡戌加亥为用者，占谋用皆被阻隔。或壬、癸日占，旦暮皆乘白虎，占病多是隔气，或食积隔，或是邪祟为灾，服药宜下之为佳。如占盗贼难获，访人不见，诸占总不免关隔二字也。如壬午、壬辰、壬子、壬戌、癸亥五日，并戌加亥为用，旦暮天将皆是白虎。又乙亥、丙子、丁亥、戊子、乙未、己亥、庚子、己酉、辛亥，此九日亦见戌加亥为用者，宜观昼夜之天将以定其吉凶之兆。

罡塞鬼户任谋为。

当行周文仁义之师。

谓辰为天罡，寅为鬼户。凡辰加寅为罡塞鬼门，不论在传不在传皆名罡塞鬼户，使众鬼不得窥觑，宜闪灾避难，阴谋私祷，或吊丧问病合药书符。如甲、戊、庚日尤的，缘昼贵登天门，天罡塞鬼户，凡占无不亨利。又如己丑日，卯加丑为初传，乃是日之鬼，中传巳又入鬼乡，末传未空，诚为凶课，如用辰为月将尤妙，名天网四张，赖天罡塞鬼户，使万鬼潜，恶兽伏，所作任意谋为，无阻无障碍也。

贵塞鬼户格 缘三传作日鬼，赖贵人塞鬼户也，亦任谋为。如壬戌、壬辰日巳加寅，癸丑、癸亥、癸未、癸酉四日亦巳加寅，三传辰未戌皆鬼，如用昼贵乃名贵人临寅，鬼门杜鬼，贼不出，万事皆宽。已上例，如不在传上，或占人行年、本命在寅亦是也。

神藏煞没格 如甲、戊、庚三日，以丑、未临亥者尤的。余日有神藏无煞没，有煞没无神藏。缘贵人登天门，百煞拱护，凡谋亨利。且夫六神藏者，如甲、戊、庚日，丑、未为昼夜贵，加地盘亥，乃名贵登天门，腾蛇临地盘子名坠水，朱雀临地盘癸丑名

投江，勾陈临地盘卯名受制，天空临地盘巳名投绝，白虎临地盘午名烧身，元武临地盘申名现形，此乃六神藏也。夫四煞没者，缘辰、戌、丑、未五墓煞陷于四维而没故也。于四孟月内占尤的，缘四维为月将故也。余月尚未可用。

两蛇夹墓凶难免，

兵战流血。视其主客孰先预定。

谓丙戌日，戌加巳，及支辰来墓日干，兼昼夜天将皆乘蛇，及地盘之巳亦是腾蛇之位，故名为两蛇夹墓也。如占病，必有积块在腹中，因此疾以至不救。或行年、本命是戌，其死尤速。如年命居亥，上乘天罡，可用辰虎冲戌蛇，故名破墓，庶得少延。如丙申日得此，终不能为救，缘辰作空虎，无力冲其戌蛇也。外四丙日亦然，但不得如丙戌日例。已上占讼必被囚禁，凡占事已见凶祸，卒难脱免，转昏转晦，不能亨快。占病难愈，占产凶。此例，邵师为抱石投江之喻。外有六己日，辰加未，夜占乃两蛇夹墓；辰加辰伏吟，两勾夹墓。六壬日，辰加亥，乃两后夹墓。六辛日，丑加申，两虎夹墓。六甲日，未加丑，夜贵，两贵夹墓；未加戌，昼贵，两空夹墓。六乙日，未加巳，两蛇夹墓。六壬、六癸日，辰加巳，两蛇夹墓。六庚日，丑加丑，两贵夹墓；丑加戌，两空夹墓。六丁日，戌加巳，两蛇夹墓。六己日，辰加辰，两勾夹墓。

虎视逢虎力难施。

《颐》六四：“虎视眈眈，其欲逐逐，无咎。”项羽临垓下，韩信入未央。

谓虎视课者，乃柔日也；昴星课者，乃刚日也。缘鸡鸣则仰首，虎视则俯首也。如柔日虎视卦中，天将又乘白虎者，譬如前后皆有猛虎，纵勇夫至于此时亦难施力，凡占岂免至惊至危乎？如丁亥日，夜将，寅加亥作白虎在未传；丁丑日，辰加未，夜将，

又辰加丑，昼将；辛卯日，子加卯，夜将。辛未日，亥加戌，昼将，虽白虎临戌亥是空亡，缘临干上，乃白虎临身，兼中传并干上是两重虎，又支上乘申，及初末申亦作白虎之本位，乃支干三传乘其虎五，凡值此课，惊天动地而凶祸难免也。及有戊寅日，丑加酉，旦占虽是刚日，亦如前说。俗谚云：“双拳不敌四手”，何况逢两猛虎乎？《履》六三：“啞人凶”；九四：“塑塑终吉”。外有己巳日，干上申，初传申，中传申，又是虎视卦，凡占既历四重虎穴，岂免至惊至危？又己酉日，第四课白虎未加申，末传又是申，又是虎视卦体，凡占亦如值三虎。又癸未日乃虎视卦，初传申，中传寅亦是虎，末传又是申，一如四虎。乙未日，寅加辰亦是虎，又是虎视卦，末乘白虎临酉，酉为年命者更凶。

所谋多拙逢罗网。

犹譬者纳诸陷井之中。

谓干上乘干前一辰，支上乘支前一辰，故名天罗地网。凡得此卦，网裹身宅，诸占岂能亨快？此例，如进连茹课中多有，不必细具。如甲申日，干上卯，支上酉，余仿此。凡占止利守己，则为支干乘旺。倘若动谋，变为罗网缠其身宅，及作羊刃之煞伤其身而毁其宅。又乘凶将，其祸尤甚。如占人年命上神冲破支干之网，始无咎也。或遇空亡，亦名破罗破网。

干上乘支之网，支上乘干之罗者例，凡占事我欲网罗他，他已网罗我，互相暗昧。如庚寅日，干上卯，支上酉。余干四绝体中多有，值干之天罗地网，有官人主丁父艰；值支之天罗地网，主丁母服。丁丑日，干上寅，为互网，又干上申，为皆网。癸未日，干上寅、申；己丑日，干上寅、申；庚寅日，干上卯、酉；丙申日，干上午；庚申日，干上酉；戊申日，干上午；壬寅日，干上子。

天网自裹已招非。

霍光有废立之功，卒招夷族之祸。

如甲申日，未加寅，乃墓神覆日，如占人本命又是未生，乃名天网自裹。凡值此课，必是自招其祸，非干他人暗算。所作昏晦，如处云雾，常被揶揄。必是命运灾衰，星辰不顺，惟宜醮谢本命星位，庶免前殃。余干仿此。或是用起并时同克日课，又值本命作日墓神，尤为凶甚。

丁神灰目格 如乙巳日，未加乙，乃墓神覆日。如夜占，上乘滕蛇。如四月占，又为月厌，亦是飞廉大煞，亦是天目煞，又乘旬内之丁神。如占人未为本命，必是夜多怪梦，而至身位灾衰，亦宜祷禳上天星煞，庶免极凶。余甲辰旬中遇未加支，于四月占，皆如前说，必宅中多怪现象。盖未为丁神，乘灰、目等凶煞故也。

费有余而得不足。

四夷虽服，而海内空虚矣。

如丙午日，干上寅，支上卯。此支干全生，岂宜俱空？其第二、第四课却全见鬼贼。如壬午日，干上申虽为日之长生，奈是旬空。既见生不生，不如无生，不免寻初传巳火为财，又坐空乡，又为破碎，反至破费钱财。岂宜中传见寅为脱气，及支上卯木并力而盗脱其日干之气？以此推之，得之不足，费之有余，亦喻所得不偿所费。又如癸未日，干上申金乃长生作空，支上寅木乃脱气却实。又戊子日，干上午虽是生气，奈是旬空，既生我者空亡，岂宜三传寅卯辰皆鬼，引起干午反为羊刃，其凶难免，如亥子本命稍缓。又癸未日，丑加巳，三传金局生日，岂可初末空亡，独留中传丑土不空，并昼将贵勾常土将尽来克干？又乙巳日，干上卯空亡，情愿以干加支而受脱也。以上总皆生空，脱与鬼皆实论耳。

得失多格 如甲寅日，干上卯乃日之旺神，三传辰巳午，彼此引入，初传辰乃干上卯之六害，中末盗气，此所谓“贪他一

粒米，失却半年粮”也。

用破身心无所归。

志决身藏，三军务劳。

如戊申日，干上未，三传子寅辰。初传虽是日财，奈坐戌土之上受克，又乘白虎，缘恋此惊危之财，引入中末鬼乡，尤幸鬼亦空亡。凡占乃应俗谚云“争似不来还不往，亦无欢笑亦无愁。”又丙寅日，申加巳，夜乘蛇夹克财，中末空陷。丁卯日，酉加丁，昼乘朱雀夹克财，中末鬼空。癸未日，巳加子作财，乃传墓入墓，中末虽是日鬼，缘贪墓其巳火，不能为鬼。巳酉日，亥加巳作财，受克，虽三传克干，奈中末空亡。壬寅日返吟，弃干上空财就初末脱气，幸受申生干也。壬寅日伏吟，干上虽逢日之禄，如昼占乃乘天空，中值脱，未财又空。己上财禄俱作空、被克，总无实得之意也。

华盖复日人昏晦，

君有羁縻之令，将有无用之功。

谓辰之华盖作干之墓神，临于干上为发用是也。凡占身位多昏多晦，卒难明白，或遭冤枉难以分诉。占行人不归，尽在彼处不如意也。如壬申、壬辰二日，辰加壬为用；乙亥、乙未二日，未加乙为用。

太阳射宅屋光辉。

无邀正正之旗，无击堂堂之阵。

如丙午日，戌加午乃是支墓，如占家宅，诚为宅舍不亨快。如用戌为月将，反名太阳辉照家宅，其屋必向阳而明朗，不然常有上人光饰，尤胜如太岁贵人入宅，更美。其余占彼我，乃我不利而利于他人，以支属他人也。又如乙卯日，子将，卯时，此乃太阳作贵人而生宅，如占宅，下必有宝藏。或是子年占之，其年必产贵子。其子虽是旬空，缘太阳乃悬空之象，不畏空亡故也。余

论太阳，惟忌坐于夜方，而不可用。或太阳临身，甚宜辨明雪恨。

干乘墓虎无占病，

不利交兵接刃。

谓六辛日，丑加戌，昼将乘白虎，作墓神。内辛酉日，丑为空亡，尤可畏也。至辛巳日，可畏愈甚，缘丑作丁神，乘虎作墓，占病必死。诸占且昏且迷，又且凶恶，提防仇人冤执而遭捶楚。如冬占稍轻，缘丑至冬旺可作库说。外有六乙日，昼贵顺行，虽是未乘白虎，止有临行年、本命上者，即无加干者也。夏占稍轻，缘未旺亦为库也。其余干无此例。

虎鬼加干格 如六己日，卯加己，夜；六壬日，戌加壬，昼夜；六癸日，戌加癸，昼。除乙辛二日外，如甲、丙、戊、庚、壬、丁、己、癸八日有之。

支乘墓虎有伏尸。

《大过》九三：“栋桡，凶。”不利深沟高垒。

此例有二等，一者干墓临支，二者支墓临支。以上二例，占宅必有伏尸鬼为祸，或有形响，如又克宅者为的。假令乙亥日，未为干墓，临支而克支，如昼占，上乘白虎。其余乙未日伏吟，并乙酉日，未加酉，虽是墓虎临支而不克支。外有辛未、辛酉二日，虽是丑加支，缘不克支，稍轻。其墓作月将，不在此限。第二等者，假令丙子日，辰加子，昼占，乃支墓临支而克支乘虎，如占家宅，值此课者必家中有孝服动，或有丧吊，其年内必有停丧。尤详其墓属何类，而言其人死。又丁亥日，辰加亥，夜。

虎鬼克支格 缘支鬼乘白虎而克支者。例如壬子日，戌加子，昼；丁丑日，寅加丑，夜；壬寅日返吟，夜；癸卯日，申加卯，夜；壬午日返吟，昼；乙未、己未日，卯加未，夜；丙申日，午加申，昼；癸亥日，戌加亥，昼夜皆乘白虎。

墓门开起 如卯、酉日占，干墓乘蛇虎加支，主重重有丧。

蛇墓克支格。缘干墓乘滕蛇而加支又克支者，必宅内怪异频见。如丙子日，戌加子，夜；壬子日，辰加子，夜。余有虽临支而不克者，稍轻，然亦未免怪异。外有三十三日，例不欲细具。已上例，宜召法官行遣或安镇之吉。此乃墓门开，占病主死两三口，乘白虎者亦的也。

彼此全伤防两损，

鹅蚌相持，渔人坐收其利。

谓支干各被上神克伐者，故名。此例，如占讼，必两家皆被扑责，诸占必两边各有所亏。如占身，被伤；占宅，崩损。如丁亥日，干上子水克丁火，支上辰土克亥水之类是也。诸例欲去其所克者。如辛未日，干上午，支上卯，如占交易等，后必齟齬。如先有齟齬，后却和合。

夫妇荒淫各有私。

两敌阴相图议。

谓干被支上神克，支却被干上神克者，为荒淫卦。既名荒淫，何又云夫妇各有私乎？缘夫妇乃人之大伦，既无夫妇好合之情，必有奸私不协之意，却详何处有情而言夫妇之私情也。如《心镜》中，以甲子日干上戌、支上申一课为例，乃“甲将就子受申克，子近甲兮魁必侵。妻怀内喜私情有，申子相生水合金”是也。余有癸巳、壬午干上子，庚子、乙亥干上丑诸例。凡占不可执为荒淫卦，非专言夫妇而已。如先有人相允许，后各不相顾接，非独无情，尤彼此各怀恶意。

真解离卦 缘干克支上神，支克干上神。或夫妇行年又值此者尤的。如甲子日，干上午，支上辰，干克支上辰土，支克干上午火。如男命年在支上，女命年在干上，此时占人必占解离事。已后例内唯详空亡而言之。《小畜》九三：“舆说辐，夫妻反目。”

干墓并关人宅废(关即寡也),

谓日干之墓作四季之关神发用者是也。宜分干、支发用。如日干之两课上作发用者,主人衰。如支辰之两课上作发用者,主宅废。

夫关神者,春丑,夏辰,秋未,冬戌。如乙丑、乙未、乙酉、乙亥四日,于秋季占之,未乃干之墓,作关神,为发用,临于干上,乃应人口灾衰。余六甲日,除甲辰秋占,未作丁更凶,其余各占皆如前说。如丁卯日,戌加卯为发用,冬占,乃干墓临支上,乃应宅废,余仿此。

墓神覆日作生气格 如占作库务差遣必得,勿作墓看之。

支坟财并旅程稽。

钟邓终没于蜀。

谓地支之墓却作日干之财者,必主商贩折本,在路阻程,凡谋蹇滞不亨通也。如甲子日辰加子,乃支之墓神而作干之财为发用;甲午日,戌加寅用;甲午日,戌加子用;乙酉日,丑加辰用。

疑惑格 卯、酉日占事,如行年又在卯、酉之上者,必主行人进退疑惑。此《心镜》内龙战卦中具载,尤忌天车煞。天车煞者,春丑,夏辰,秋未,冬戌也。

受虎克神为病证。

受虎克之国民流兵役。

金神乘白虎,必是肝经受病,可治肺而不可治肝;木神乘白虎,必是脾经受病,可治肝而不可治脾;水神乘白虎,必是心经受病,可治肾而不可治心;火神乘白虎,必是肺经受病,可治心而不可治肺;土神乘白虎,必是肾经受病,可治脾而不可治肾。已上诸法,常得灵验,惟虎受克及空亡不必治也。

运粮神格 占治病,专视日干之食神,尤妙。于行年乘之,乃名运粮神,忌空。

禄粮神格 缘宜观干之禄神，亦名禄粮神。唯不可落空亡，及作闭口，或受克。如占久病，值此必绝食而饿死。如辛未日，酉加寅，乃是禄坐绝乡，又作闭口，又名无禄卦，占病必死，占食禄事亦忌。

绝体卦乃是柔干之禄受绝，返吟卦乃是刚干之禄受绝。绝嗣体先亡为祟。

生死格 宜观生气死气，尤验。如正月生气在子，死气在午，乃生气克死气也。如在甲寅旬中占之，乃生气空亡而死气实在，占病可畏。如行年上神是亥水，尚可医疗，缘亥水克其午之死气故也。如死气克生气，又落空亡，或行年上神生其死气者，必死。如生气与死气不相克者，占病虽无妨，但迁延而未即痊愈也。

白虎乘日鬼作空亡，必已病而未痊。

虎墓格 缘日干之墓乘白虎在六处者，如占病必是积块病，宜以破积药治之。如六乙日，昼将顺行，乃未乘白虎。内乙酉日，未空亡，无畏，或易疗，非年深积块也。又六辛日，昼将顺行，亦丑乘白虎。辛酉日，丑空亡，亦容易治疗。

虎乘丁鬼格 如六辛日有白虎乘丁者，占病必知所患疼痛之处也。如辛卯日，亥加丑作中传，昼占乃亥乘白虎作丁神，必为头疼以致不救。余观丁虎乘类而言之，丑为脾疼或腹疼，卯手疼或目疼，巳齿疼或咽喉疼，未胃疼或积腹痛，酉大肠，亥临戌、亥、子、丑、寅、卯、为头，亥临辰、巳、午、未、申、酉为肾，余逐类言之。如日鬼临于六处，不乘白虎，但拟其鬼亦为病症。如火为鬼，便言肺病；水为鬼，便言心病；金为鬼，便言肝病；土为鬼，肾病；木为鬼，脾病。如鬼受克并空亡，不必疗亦痊。

蒿矢卦亦宜言有疼痛处。金加火上，筋骨疼痛，惟庚日，申、酉加午尤的。

连茹卦作日之财，占病必因伤食而得。如人年命上神能制其财神者，尚可医疗。如年命上神生其财神者，必致死亡。

斲轮格 如卯加申，戌加卯，占病必手足不举，或有伤。

空禄格 缘日之禄神作空亡，又坐克方，占病必绝食而饿死。如甲辰日，寅加酉，夜又乘白虎；返吟，夜。乙巳日卯加申，夜；返吟，夜。丁亥日午加亥，夜，日之食神在禁方，与前课同。

禄神闭口格 缘禄神作闭口，为旬尾，乘白虎者是也。如乙未，卯加申，又返吟，夜。丙戌、戊子，巳为禄神闭口。辛未日，酉加戌，夜。壬戌日，亥为闭口禄。

六片板格 缘六合乘申临卯，为尸入棺。缘申者，身也。于三月占尤的，乃是死身，即死尸也，且上有六合，下有卯木，是为棺也。尸入棺，占病必死，尤宜详其类神而言之。或申加卯，不乘六合，于九月占，但病在床而未愈，缘申是生气，卯为木床。癸卯日，申加卯，占父母长生病死尤速，缘父母爻入棺故也。又如丙戌、丁卯二日，申加卯，昼将，上乘六合，如占妻病必死，缘妻财爻亦入棺故也。已上皆三月占尤验。

白虎入丧车格 缘申加巳发用为的，占病可畏。

人入鬼门格 如庚日，申为本命，返吟课占病必死。

收魂神，乃戊日辰为元武者是，夜顺昼逆有之，于十一月占尤的，缘辰为死气故也。

浴盆煞，缘忌浴盆有水。夫浴盆者，春辰，夏未，秋戌，冬丑是也。如地盘见浴盆，上忌乘亥子水；天盘见浴盆，上忌天后、元武二将。如占小儿病死尤速，缘亥为孩，子为子息，故不要见水也。天后亦是子，元武亦是亥。

寒热格 如巳、午加亥，如或克日，主癆病。十干返吟，必心患店疮。

宴喜致病格 如癸酉、癸亥、癸丑三日，并支上未作太常为

用，夜将有之。壬戌、子、寅日，并支上未作太常，夜贵有之。已上六日例，缘未为太常克干，居于宅上，或为发用，如占病必因喜事及宴饮，或往亲戚家带病而归。若是官人占之，必因赴宴席过觴而得病。余占皆因前事而致不美。

因妻致病格 如壬子、癸丑二日，未遁旬丁者，必往妻家得病，极验。惟宜占人行年、本命上有卯木为救；如乘寅木，必得神护，尤宜命法官治之为妙，倘少缓，寅木反被未墓，便难救也。

血灰病虎作鬼格 白虎乘病符克干尤可畏，或年命上乘血支、血忌者，必是血病。或女命占病，又带月灰作血支、血忌，病必是血崩或堕胎，尤验。

制鬼之位乃良医。

访贤求救于制鬼。

凡鬼喜见者，惟妻占夫与有官人为宜，其余皆凶。巳、午作虎鬼，不宜灸；申、酉作虎鬼，不宜鍼。如乙丑日，酉加乙乃日之鬼，却赖支上有午火而克其酉金，此午火便是良医，或是本家亲入能医，或得家堂祖宗神位保护，其余可逐类而言之。除占病外，凡占虽值危难灾患之中，必得人解纷，诚为救神也。其神临于占人行年、本命之上者，宜雪理辨明，自解其祸。如制鬼之神上乘贵人，必得上人除释过愆，如见被囚禁，必有救援而可免祸；或乘蛇虎，必得神护，更详神类而还谢。且制鬼之神即是良医，缘皆是日之食神故也。赶贼神宜占捕盗，即制鬼之神。如甲戌日，干上酉虽为日鬼，奈是旬中空亡，不足为畏，兼支上巳火坐于墓上，亦不能为救。似此一例求医，其医虽言病证甚的，其实庸愚不能治疗，奈何有福而成功也，必竟巳火克空鬼。又己丑日，干上卯，支上酉；壬辰日，干上戌，支上卯。其余救神不在支上而临三传之上，及临行年、本命，亦可为救。虎鬼临处为

畏期。且如制鬼之神加亥、子，宜服汤药；加寅、卯并四土之上，宜服丸散；如巳、午，宜灸；加申、酉，宜针砭。其余制鬼神空亡者，乃言不副行之喻。医神所生为痊愈期，所克为死期，乃天地医也。

天医作虎鬼格 不宜医者治。虎乘干鬼，必有不明之人作祸。

病体难担荷格 如丁巳日，干上申，三传申酉戌俱日财，占病必因伤食而得，以致不救。缘丁火逢病、死、墓，更于秋冬占之无疑也。如求财，春夏二季却有，缘干强之故，尤宜详空，而忧喜俱无。如占病，三传俱财，无制财者必死，有制财者可救。丁丑、丁未、丁亥日，干上申用。

虎乘遁鬼殃非浅，

入峥嵘之敌境，遇伏藏之强卒。

谓白虎加临旬内之干为日鬼者例。此法应验如神，凡占皆畏，其咎弥深，难以消除，纵空亡亦不能为救。如甲子日昼占，乃虎加庚午临戌为用；又旦占，虎加庚午临子在支上；又旦占，庚午作虎加干，或返吟。乙丑日昼占，虎临辛未加戌。戊辰日夜占，虎临甲子加戌。

明暗二鬼格 乃干上神作日干明鬼，又支上神遁旬干作日干暗鬼。如六甲日，申加甲，庚加支；六乙日，酉加乙，亦庚加支；六丙日，亥加丙，即壬加支；六丁日，子加丁，即壬加支；六戊日，寅加戊，即乙加支；六己日，卯加己，即乙加支；六壬日，未加壬，即戊加支。六癸日占无。

鬼临三四讼灾随。

先和好而后有兵谋。

谓日干之鬼临于第三四课全者，官词病患继踵而至，唯宜修德作福，及归正道，庶得稍轻，犹未免于病词二事也。如或全值空

亡，始能免此，然亦且先见此而后无虑。如乙未日，申加未为第三课，酉加申为第四课之类。如甲戌日，酉加戌为第三课，申加酉为第四课，虽曰日鬼加临辰两课，尤幸皆作空亡，不能为害，似可无畏也。

岁破作鬼临支格 如再克支辰，讼灾免难。

天鬼作日鬼格 在六处，占病必是疫气。如天鬼作日鬼空亡者，病虽似疫，旋即无事，但未免头疼发热而已。

朱勾相会格 如丙辰，午加辰，乃朱雀入勾陈，必有非常之讼。

病符克宅全家患，

兵疫师老，为主将者宜深忌焉。

夫病符者，每年旧太岁是也。且如子年亥为病符，丑年子为病符，余仿此。若病符临支又克支者，乃主合家病患，更乘天鬼，定遭时疫而无疑也。病符乘白虎而临支克支尤凶。如病符作月之生气，尤主合家病；或作月之死气，必死。已上乘天鬼尤凶。天鬼者，正月酉，逆行四仲。涉害深者必久病。

宜成合旧诸事格 缘病符临宅反来生宅，或生日干，或作日财，或作贵人者，却宜成合残年旧事，一切之事宜逐类而推之，勿作病符论。

丧吊全逢挂缟衣。

主帅丧亡，三军皆服缟素。

谓岁前二辰为丧门，岁后二辰为吊客。如支干上全逢此二位凶煞，主凶。又于占人行年、本命上神乘之，其年必哭送亲姻，身披孝服也。若论支干上全逢丧吊者，唯甲午、丁亥、己亥、庚子、癸巳，乃干上乘吊客，支上乘丧门；甲戌、丁卯、己卯、庚辰、癸酉，乃干上乘丧门，支上乘吊客。

内外孝服格 如日鬼作死气而乘太常加干上，必主有外孝

服至。如六辛日，午加戌，正月夜占，为死气作太常；六壬日，未加亥，二月夜占；又六壬日，丑加亥，八月旦占；六癸日，未加丑，夜占，二月为死气。内辛亥日，太常临午加戌，支上未亦为太常，上又乘白虎，作丁神而克支，此必有内外孝服。内壬子日，太常临未加亥，支上申又乘白虎，三月占又是死气乘虎入宅，亦主内外孝服。又壬戌日，太常临丑而克亥干，支上子为白虎，作空亡羊刃入宅。

孝白盖妻头格 如癸亥、卯、未三日，干上未，夜将，酉年二月，丑为年命，如是妻占夫病必死，缘妻之年命上乘华盖，作太常，为日鬼，又是死气，为吊客故也。如八月内占之，乃未为生气，尚有孝服未已。又如日干之鬼作死气、乘太常加于支上，主有内服至，再见丧吊更凶。又乙未日，申加未，三月占，用昼将，作死气、乘太常入宅。又戊戌日，卯加戌，十月占，用夜将，乃卯作死气，乘太常入宅而又克宅，凶尤甚也。又戊子日，卯加子作太常死气入宅刑宅，亦十月占，用夜将有之。又壬子日，丑加子，八月占，用昼将，乃日鬼乘太常作死气入宅克宅。又辛酉日，午加酉，正月占，用夜将，乃死气作日鬼乘太常入宅克宅，凶甚。又壬戌日，未加戌，二月占，夜将，乃死气作鬼乘太常入宅。又癸亥日，未加亥，二月夜将，乃死气作日鬼乘太常入宅又克宅，凶。又癸酉日，未加酉，二月，夜将，乃死气作日鬼乘太常入宅。辛未日，九月，昼将，寅加未作死气乘太常入宅又克宅。甲戌、庚戌二日，卯加戌，十月占，夜将，乃死气作太常入宅又克宅。己亥日，戌加亥，十一月占，昼夜将，乃死气作太常入宅又克宅。辛亥日，戌加亥，五月占，昼夜将，乃死气作太常入宅又克宅。

墓门开格 如岁后五墓又为干墓，临卯、酉，作蛇又作月厌，必主重丧。如子年四月乙酉日，未加酉，夜乘蛇，同上。又午年

十月辛酉日，丑加酉，乘蛇作月厌，为岁后五墓而又作干墓。

前后逼迫难进退，

前有强敌，后有追兵。

假令壬寅日，干上子，三传辰巳午皆空，而不可进。欲后退一步，逢地下寅盗气。又退一步，逢丑为干鬼。乃前不可进，后不可退。以此推之，惟宜守干上之旺，切不可轻举妄动，如动则虚耗百出。又癸巳日干上子，乙巳日干上卯，三传卯寅丑；甲寅日干上卯，三传辰巳午；壬申日干上子，三传丑寅卯；癸卯日干上寅，三传辰巳午。此于逼迫二字不合，若克处回归又受克还似。初传被下克，继归地盘之本宫，又被上神所克格。此例乃克处回归又受克，虽虎贲之勇亦不可为。如癸巳、卯、丑、亥四日，午加癸为初传，乃午火受癸水所克，及归本家午上，又被亥水所克，使其午火去住不能也。且午火之类神为日之财，主财聚散，如用夜将，元武加午主失财，其午火之上亥亦为元武，主重重失财；亦为日干之妻，主妻常病；亦为马类，或有马而常被人挠；亦为屋类，主频迁徙而耗费用；亦为心类，主心病；亦为眼类，主常患眼目。已上之类皆不宜占。

全伤坐克格 如支干各受上神克，又坐被克方者。假令甲午、寅，丙寅、午、辰、戌，癸卯、巳，并是返吟。

顾祖格并回环格 止宜守旧，亦进退不能也。

空空如也事休追。

不可受降盟约。

谓三传皆空亡者是也。于进退连茹课中多有。如三合课，两传空亡，纵有一传不空而上乘天空将者，亦系此例，不必细具。凡值此等例，占事皆主指空话空，全无实象，惟宜解散忧疑，欲成事而不可得也。或鬼空尤妙。如遇占病，久病者死，新病者安。欲望事成合，须待改旬再谋之方可也。凡鬼空亦宜制之，不然

尤有虚挠之凶，为我难见彼之象。

四课全空格 四课无形，事不出名。纵然出也，也是虚声。如乙巳日，干上寅为空亡，第二课又入空亡乡，支上卯作空亡，第四课又入空亡乡，此乃四课皆空，故应前言。丙午日干上寅，戊辰日返吟，戊戌日返吟。已上前例内，如年命上乘空亡，但非成事，或替他人占事。或初传遥克作空亡，坐空乡，尤无力也。

宾主不投刑在上，

犹金宋之和议而毕竟相侵。

凡支干上乘刑者有三等，凡占未免相刑之意，所谋交涉事，必各有异心。

一字刑者，乃四课上神全逢辰、午、酉、亥者是也。甲辰日，第一课酉加寅，第二课辰加酉，第三课亥加辰，第四课午加亥，此乃四课上神全逢辰、午、酉、亥者也。又癸亥日干上午同。又乙酉日，第一课亥加辰，第二课午加亥，第三课辰加酉，第四课复亥加辰，支干上乘辰、午、酉、亥，又克支干者，尤可畏也。壬午日，干上辰克干壬，支上亥克支午。又己酉日，辰加己上为墓复干，午加酉而克支。丙戌日，干上亥克干，支上辰墓支。如甲子日，支上辰，其三传辰申子乃名自刑，在干、支上。又如乙丑日，支上酉，其三传巳丑酉，亦支上重逢自刑。又丙寅日，干上酉，其三传酉丑巳，乃干上重逢自刑之酉也。余并仿此。

二字刑者，乃支干上全乘子、卯者是也。子卯相刑者，两边无礼。乙未、丙申、戊申、壬申、辛丑五日，干上子，支上卯；乙丑、丙寅、戊寅、辛未、壬申五日，干上卯，支上子。已上十日，乃支干上神各无礼之刑也。

三字刑者，乃三传寅、巳、申或丑、戌、未是也。寅巳申三刑者，未免无恩之意，凡占必恩反怨也。如丑戌未者，凡占多恃势而凌弱。尤宜观干上之神，带生旺，不空，乘吉将，乃名能刑于他

人也。三传寅巳申、巳申寅或申寅巳，丑戌未、戌未丑或未丑戌，俱是也。

金剛格 巳酉丑三合为三传，支干上复见酉者，乃应金剛自刑其方。缘巳刑申，丑刑戌，唯酉不能刑，故自刑其西方也。

火强格 寅午戌三合为三传，支干上复见午者，乃应火强自刑其方。缘寅能刑巳，戌能刑未，唯午不能刑，故自刑其南方也。

水流趋东格 申子辰为三传，干支上复见辰者，乃应水流趋东也。缘子能刑卯，申能刑寅，惟辰不能刑，故趋其辰之本官，以辰为水之墓库故也。

木落归根格 亥卯未为三传，干支上复见亥字者，乃应木落归根也。缘卯能刑子，未能刑丑，唯亥不能刑，故归其亥之本官也。兼亥为木局之本夫。本者，乃木之父母乡也。已上皆不宜值之。如占讼，不论一字刑，二字刑，三字刑，皆被刑责。如乘凶将，其凶尤甚。唯空亡及皇恩或天赦可解，亦宜问罪犯轻重而言赦宥。如犯重，但刑稍轻而未免遭刑，如情轻，则无刑也。皇恩者，正月起未，顺行六阴位。天赦者，春戊寅，夏甲午，秋戊申，冬甲子。

四胜煞格 乃干上酉、支上午，或支上酉、干上午者皆是。又就自刑中单言，酉午为四胜煞，凡占各逞其能，或皆邀功逞俊之意。如乙丑、丙寅、戊寅、辛未、壬申五日，干上酉，支上午；又壬寅、乙未、丙申、戊申、辛丑五日，干上午，支上酉。以前无恩刑等中，如甲子日，寅刑干上巳，子刑支上卯；丙子日，干上申，日刑干上申，子刑支上卯；辛丑日，戌刑干上未，丑刑支上戌；癸卯日，丑刑干上戌，卯刑支上子；辛卯日，戌刑干上未，卯刑支上子。于前例中，如此五日乃支干相刑，其上神又是子卯无礼刑。外有甲寅、庚申、己未、丁未、癸丑五日，或干上乘辰、午、

酉、亥，亦作自刑例。

助刑戕德格 乃六处有神作支之自刑，又作干鬼，又结三传为鬼，是也。庚午，午加庚发用，又午加未，暮将。天乙临于本身可以解凶。

彼此猜忌害相随。

威振人主者身危，功盖天下者不赏。

此例有五等。一者，干支上下皆各作六害。凡值此者，彼此各相猜忌，主客不相顾接，乃两意相谋，各有戾害。如甲申日，干上巳与干为六害，支上亥与支为六害。外有庚寅、丁丑、己丑、癸未等日，皆干支上下作六害者。二者，支干上神作六害，亦主各相猜忌。如乙亥日，干上子与支上未为六害；辛巳、壬午、丙子、戊子日，干上子，支上未。三者，支于天盘、地盘皆作六害，此等戾害尤甚。如辛酉日返吟，支干戌酉为六害，上神辰卯六害，又壬申、乙卯、丙寅返吟，又乙卯、戊寅、丙寅、壬申、辛酉伏吟，皆有之。四者，干支三传皆作六害，此局全无和气。如辛卯日，干上未，支上子，三传又子未子皆作六害；辛未日，干上亥，支上申，三传又申亥申皆作六害。五者，支干上下交互作六害，如我方动念害人，人已早思害我，此局更为危难。如乙未日，干上子与地支未作六害，支上卯与干作六害，而支干上子卯又复相刑，展转为害，无从解免。外如甲申日，干上亥，支上巳；庚寅日，干上巳，支上亥；丁卯、己卯日干上辰。

人喜我忧格 如辛丑日，干上酉与干上作六害，支上子与丑却作六合也。外有乙未、乙丑日，并干上卯；辛未日，干上酉。

互生俱生凡事益，

南唐有顺正之忠，宋祖有褒封之惠。

虽有生而作墓、败、空亡者，知其人宅盛衰，彼此旺败。

互生格 干上神生支，支上神生干是也。此例两相有益，各

有生意。如辛卯日，干上亥生支，支上辰生干；庚戌日，干上巳生支，支上未生干。庚子日，干上酉虽生支而却败其支，支上丑虽生干而却是干之墓；庚午日，干上卯虽生支而却败其支，支上丑虽生干而却墓其干；丁酉日，干上丑虽生支而却墓其支，支上卯虽生干而却败其干；己酉日，干上辰虽生支而却墓其干，支上午虽生干而却克其支；辛巳日，干上卯虽生支而却败其支，支上戌虽生干而却墓其支；辛亥日，干上酉虽生支而却败其支，支上戌虽生干而自克其支；壬午日，干上寅生支，支上酉虽生干而作空亡，又为败气也。如值此等例，虽有生旺之名，反作衰败空耗论矣。

俱生格 乃干上神生干，支上神生支是也。此例各有生意，彼此和顺，或两家合本作营生尤应也。如逢月生气光的。支干金受上神生，丙寅、丁酉日并干上寅，庚午、子、戌、申日并干乘辰。丙寅日，干上卯虽生干而亦败其干，支上子虽生支而亦败其支。丁卯日，干上卯虽生干而亦败其干，支上亥虽生支而奈作旬空。乙卯日，干上子虽生干而作空败，支上亥为长生，此一课乃利宅不利人，利彼不利己。己巳日，干上巳生干，支上卯虽生支而反败支，此一课乃利己不利彼，利人不利宅。丙子日，干上寅实生其干，支上酉虽生支而反败其支，又作旬空。丙午日，干上寅，支上卯，皆作空亡。

自在格 如甲子、乙亥、丙寅、丁卯、戊午、己巳、庚辰、辛未、壬申、癸酉十日，并支加干上而生日也。

互旺皆旺坐谋宜。

运筹于帷幄之中，决胜于千里之外。

互旺格 止甲申、庚寅二日有之。甲申日，干上酉乃是支之旺神，支上卯乃是干之旺神。庚寅日，干上卯乃是支之旺神，支上酉乃是干之旺神。凡值此者，惟宜两相投奔，各有兴旺，客旺

主而主旺客，人旺宅而宅旺人，夫旺妻而妻旺夫，父旺子而子旺父，兄旺弟，弟旺兄，朋友彼此助益。

皆旺格 支干上皆乘旺神者，乃彼我、客主、夫妇、父子皆然兴旺。凡谋事，顺利不劳其力，惟宜坐待，不利谋动，止可就本身之宅职而静听迁转。或已遭失而欲复旧事极妙。倘若意外之求，或远谋而动用，则变为网罗缠绕身宅，乃作羊刃，反为灾祸。如或坐待，则人口通泰，宅复兴隆，并无心中得人扶持而发旺。斯占最的。甲申日，干上卯，支上酉；庚寅日，干上酉；壬申、壬寅日，干上子；丙申、丙寅日，干上午。忌空亡。

干支值绝凡谋决

立三穴而欲晋室，终不能遂其谋。

如甲申、甲寅日返吟，乃支干上皆乘绝神。又丙申、丙寅日，亦是返吟绝神作鬼，止宜结绝凶事，亦宜释解官讼，占病痊。丙辰、丙戌日如昼占，亦宜告贵结绝，凶吉二事皆可。戊寅、庚寅、壬寅、戊申、庚申、壬申六日返吟，缘绝神作日之财神，止宜结绝财物事，惟不利占妻病，值此必死，又作月内之死气者，妻死尤速。壬辰、壬戌日如旦占，亦宜告贵结绝财物事。已上返吟，结绝事极速，缘绝神投绝乡故也。亦不宜占食禄事，缘禄神投绝。如占病，又作死气，必绝食而死。外有乙未日，干上申为乙木之绝，支上亥乃未土之绝，如夜占，却宜告贵结绝事理。又辛未日，干上寅，支上亥，如夜占，亦宜结绝告贵之事。又癸未日，干上巳，支上亥，昼占，亦宜告贵结绝事理。丁未日，支干上皆乘亥。己未日，干上亥，又干上巳。已上皆宜结绝，亦不宜占食禄事。此言土内寄寅者，故以亥为绝也。

绝神加生格 如庚辰，寅加亥为用是也。凡巳加寅，申加巳，亥加申，寅加亥，最不宜占结绝事，缘绝神反坐长生之上，凡占事卒未了，当必止了又兴。或年命乘之。

递互作绝神格 最宜两相退换屋宇，或兑替差遣、交代职任等事。如甲申、庚寅二日伏吟。又癸未日，干上亥，支上巳；丁丑日，干上亥，支上巳；丁未日，干上亥；癸丑日，干上巳。

人宅皆死各衰羸。

全师皆没。

干支上互乘死气格 如戊申日，干上子，支上卯；庚申日，干上子；庚寅日，干上午，支上子；甲寅日，干支上午。诸例惟不宜吊丧问病，如乘月内之死气尤的，如占病必死。

支干全乘死气格 如庚寅、庚申、辛丑日，并干上子；乙丑、甲申、甲寅日，干上午；己未、壬申、壬寅，并干上卯；丙寅、丙申、丁丑日，并干上酉。此例止宜休息万事，不利谋动。

传墓入墓分憎爱，

·当知主客孰憎孰爱。

此等例，详初传是何类神而言之。如是日之财神、禄神、长生、官星等，不可值中末之墓。如是日之鬼及盗气等，却喜中末墓也。细具于后。

生我者传墓入墓 如辛未日，三传巳戌卯。巳加子作初传，乃日之长生，岂宜中传戌来墓巳，末传又入戌乡。又己巳、卯、未、亥、丑日，并巳加子为用，大不利占生计及长上之事。如辛未日，有官人占之，缘官星、德神、长生入墓；如常人占之，反喜鬼入墓也。

德禄传墓格 如丙子日巳加子为用，癸未、壬子日巳加子为用，乃财神入墓；戊子日，巳加子用，乃德禄并生气入墓。

长生入墓格 如庚子，巳加子用，常人占之喜鬼入墓。

脱气入墓格 乙未日，巳加子用。

财神传墓格 丙戌日申加卯，庚辰日寅加酉用，乃财入墓；庚戌日申加卯用，乃德入墓格。

长生脱气入墓 戊戌日，申加卯用。

鬼入墓格 戊辰日，寅加酉用。已上如占行人不迟。

不行传者考初时。

夫不行传者，乃中末空亡是也，中末既空，但只以初传断其凶吉，言其事类。此例极多，不必细具，或一日内有三五课者。如甲子日，干上巳，初传申是日之鬼，中传亥是日之长生，末传寅是日之德禄。既长生、德禄皆空，岂宜独存初传之申金，为日之鬼而坐空地。若以初传用事，必好事无而恶事有也。已后如值初传凶者，若是遥克者好恶俱无，皆仿此，亦名守株待兔。

独足卦，己未日，干上酉。凡占万事皆不可行。此一例乃初中末并支干皆在未上，于七百二十课中止有此一课，故名独足。既止有一足，焉可行乎？如欲商贩，利行舟而不利陆路。如欲逃亡者亦然。占病死。虽众皆知有独足例，殊不曾稽考己未伏吟卦亦名独足。且己未伏吟，虽有未丑戌为三传，缘中传乃旬内空亡，既中传空亡，岂能刑其末传之戌乎？且中末既无，惟支干与初传皆在未上，与独足何异耶？凡谋皆不能成也。

万事喜忻三六合，

民安物阜，君明臣良。

谓三传寅午戌等，或干支上见未；三传亥卯未等，或干支上见戌；三传申子辰等，或干支上见丑；三传巳酉丑等，或干支上见辰。皆名为三合课，又与中间一字作六合者也。故经云：“三六相呼见喜忻，纵然带恶不成嗔。”且夫带恶者，乃金日得寅午戌，土日得亥卯未，木日得巳酉丑，火日得申子辰，纵然三传克干，亦不能为祸，尚可成合。其余占虽曰未尽善，究竟事亦可成就也，何况三传生日或作日之财，又三六相呼，凡谋皆遂，全无障碍，不然有人在中相助而成合事。唯不宜占解释忧疑事。如占病，其势弥笃。如占行人，忻喜而来。如乙酉日，申加辰用，

三传申子辰水局并来生干，又支上见丑，乃名三合中有六合，为全吉之课。兼三传之天将昼夜皆是贵勾常土神，并作日之财，尽可求财。舍占财外，大不宜尊长，及不利占作生计，缘天将上神克生气故也。又如丙申、丙子、丙辰三日，干上丑，三传皆水局来伤日干，殊不知三合六合相呼之格，带恶不成嘆之义也。兼干上丑亦可以敌其传水。凡谋虽有成意，终是可畏，但顾目下成合，余畏拨置事也。又辛未日，干上寅；壬午日，干上卯；辛亥日，干上午；壬寅日，干上未；戊申日，干上丑。三合课中，又逢天将六合居干支上者，亦可用，但力稍轻。

合中犯杀蜜中砒。

辑兵勿食。

谓三传寅午戌，如支干上有午为自刑，见丑为六害，见子为冲；三传亥卯未，如干支上有子为无礼刑，见辰为六害，见酉为冲；三传申子辰，如干支上有卯为无礼刑，见未为六害，见午为冲；三传巳酉丑，如干支上有酉为自刑，见戌为六害，见卯为冲。凡值此例，所谓“三合犯杀少人知，惟防好里定相欺。笑里有刀谁会得，事将成合失便宜。”占得此者，必至恩中怨，合中有破。虽是属我之事，亦被人在中阻隔。俗谚云“笑里刀，蜜里砒”，正此意也。其中犯杀空亡，徒为冤憎，下稍成阻，不免先应其事。

初遭夹克不由己，

指日克汴，而班师之诏屡颁。

谓初传坐于克方，又被天将所伤，故取名夹克。凡占必身不由己，及受人驱策，尤宜详其受克者是何类而言之。且如夹克者是财，必财不由己费用。或是日之同类受夹克者，乃自身不由己。惟是日鬼受夹克者为妙，乃当忧不忧之义也。如六甲日，戌加寅为初传，昼夜天将皆乘六合木神，此乃夹克其财。六壬日，午加亥为初传，昼夜天将元武水神及天后水神，此乃夹克

日财，必财不由己而费用。外有甲辰日，辰加卯为初传，昼夜天将皆是六合木神，夹克其财。又甲申日，戌加卯，同上，或妻常病。

家法不正格 缘三传皆受夹克例。唯乙丑、乙卯、乙亥日，并寅加酉，旦占有之。

俯丘仰仇格 甲子日夜将，寅加未为用，乃俯见丘，仰见仇。乙巳日，酉加丑。乙未日，卯加未，夜。

将逢内战所谋危。

不知祸起萧墙内，空筑防胡万里城。

六合内战为发用者，凡用事，将成合而被人搅扰也。如癸巳日昼占，六合加申，申金加巳火之上。天后内战为发用者，如丁卯，戌加卯，旦占，必妻常作闹而多病。

夜贵内战格 六癸日，卯临申为用。

腾蛇内战格 丙辰日旦占，子临辰为用。

朱雀内战格 丁丑日夜占，乃朱雀乘亥临丑为用。

勾陈内战格 丁丑日昼占，乃勾陈乘卯临申为用。

青龙内战格 壬寅日夜占，乃青龙乘申临巳为用。

白虎内战格 丁亥日昼占，乃白虎乘午临亥为用。

太常内战格 丁酉日昼占，乃太常乘卯临酉为用。元武无内战。

天空内战格 如丁丑日，卯加申为用，夜占。

太阴内战格 壬辰、壬戌日返吟，夜占，乃太阴乘巳临亥为用。夫十一天将皆有内战，此例余尚有之，不暇细具，今略具一例，余皆仿此而逐类言其内战之意也。

三传日辰内战格 支干三传皆下克上者，凡占皆是家法不正，或自窝犯，或丑声出于堂中，以致争竞，斯占极验。如癸酉日，癸水克上神之午火，酉金克上神之寅木，初传未加寅，中传

子加未，未传己加子，皆下贼上，凡占全无和气。占讼被刑，占病必死，吉事不成。惟宜占官，从卑贱而迤邐迁转，大为兴旺，舍此皆凶。己酉、辛酉日未加寅，戊辰日寅加酉，皆如前说。

人宅坐墓甘招晦，

鲁酒薄而邯郸围。

谓天盘支干皆坐于地盘墓上者，乃心肯意肯，情愿受其暗昧，凡事皆自招其祸，切不可怨天尤人也。不惟本身甘招其祸，犹且将家宅亦情愿假借与他人作践，欲兑赁终不能出脱也。如壬寅日，亥加辰，寅加未；壬申日，亥加辰，申加丑；己未日，未加辰；丁丑日，未加戌，丑加辰；庚寅日，申加丑，寅加未；庚申日，申加丑，刚日四绝体也。

互坐丘墓格 干坐于支墓之上，支坐于干墓之上者，乃彼此各招其昏晦，惟不宜两相投奔，必是愚蠢人也。如丁丑日，未加辰，丑加戌；戊寅日，巳加未，寅加辰；甲申日，寅加丑，申加未；庚寅日，申加未，寅加丑；戊申日，巳加丑，申加辰。余传内虽有所喜之神，其年命上却克去者，乃心多退懒，自不肯向前也。

干支乘墓各昏迷。

如支干全被上神墓者，其人如云雾中行，其家宅蔽而自尘暗，凡彼此占不亨快。经云：“墓覆日辰，人宅昏沉。”壬申日，干上辰，支上丑；壬寅日，干上辰，支上未；己未日，干支上辰；丙寅日，干上戌，支上未；丙申日，干上戌，支上丑；乙丑日，干上未。已上诸例，乃干支两课皆见墓神。经云：“干支墓全逢，所为皆不通。两处欲克害，犹忌合墓神。”如甲申日，干上未，如用夜贵，则两处皆通，可以解疑。

互乘墓神格 干乘支之墓，支乘干之墓者，此谓我欲昏昧他，却被他已昏昧我也。道典云：“天网恢恢，疏而不漏。”戊寅日，干上未，支上辰；戊申日，干上丑，支上辰；辛未日，干上辰，

支上丑。甲申日，干上丑实，支上未空；庚寅日，干上未空，支上丑实；乙未日，干上辰空，支上未实。

欲弃屋宇格 凡干加支，求宅必得，缘己身入宅故也。或被支所克，或被脱，虽目下强得其屋，后无益也。凡支加干，得之尤不费力，缘宅来就人故也，亦不可受宅克墓脱。如我有屋宅欲出兑者，如值干加支乃人尚恋宅，或支加干乃屋尚恋人，二项皆不能脱也。其支干相加，宅生其人，切不可弃之，后有长进；如被克脱墓者，终被屋所累矣。

任信丁马须言动，

如占访人，虽不藏匿，必在他处。相见有仓卒之军旅。

夫任信者，伏吟卦也。如刚日，名自任，可委任于他人；柔日，名自信，可取信于自己。凡值伏吟卦，切不可便言伏匿而不动，于传中及支干上有旬内丁神或乘天马、驿马者，必静而求动，不可不知。如壬辰、戊午、丙辰、甲寅、庚申、癸未、癸丑、己酉、辛亥，已上俱丁神在传，如占访人，必出外干事，如先允许，后必改易，故名无任无信也。天马逐月推之。如卦内无天马、驿马、旬丁者，如始欲谋事，尽伏尽匿，终不可动谋矣。如已尝得人先蒙允许，后必有信也。凡占静中求动终是静，或动中求静终是动，诸占不易之故也。

伏吟卦内无丁马，却占人本命、行年上乘魁罡及丁马者，亦主动，尤速。又乙酉、己丑、癸巳三日伏吟，如占人年命是亥，乃丁马；又如占身，动最速。又乙卯、己未、癸亥三日伏吟，如占人年命是巳，亦丁马交加，身动尤速。

非伏吟而乘丁马者亦主动，如癸亥日，干上巳为财动，余同。又癸酉、己未、丙子、戊寅、辛巳、丁亥、甲午、庚戌九日伏吟，占行人必中路被阻，缘中传空亡而不能刑至未传，故前后难进退耳。余占必先虽允许，后却无实惠也。

六丁加天马，或天马加六丁，必非小动也。如甲子日，卯加甲，十一月占是也。余皆仿此言之。如值丑为本命，乃名本命恋宅，全无动意，此法极验。

伏吟卦六丙日吉，缘初传为德禄，中传为财，末传为长生。各忌空亡。

伏吟卦六戊日伏吟凶，缘初传巳火克中传申金，中传克末传寅木而伤日干，似乎无和气也。且戊日伏吟，切不可被时人惑作甲戌庚三奇言之，且初传天盘乃巳火，地盘乃戌土，岂可言三传甲戌庚耶？此之不可不知者也。

来去俱空岂动宜。

《复》：“七日来复”。虚张攻势。

夫来去者，返吟卦也。缘初传与末传，初、中、末往来交互也。故凡占得返吟卦，切不可便言凡事往来动移，内有三传皆空亡者，虽有动意，实不动也，尤详其空亡有用及无用言之。己酉返吟，三传卯酉卯，此乃鬼皆空亡，正宜处难中解祸，余占空空然。乙丑日三传戌辰戌，此传财俱空亡，止宜占病，不宜问婚，妻及财凶。戊辰日返吟，三传巳亥巳，此乃生气落空亡，不利长上。或六月十二日占之，尊长病死尤的。戊寅、戊午、戊戌、戊申、戊子、己亥、庚戌、甲辰等日返吟皆空，更宜逐类推之。

德丧禄绝格 乃阳日返吟者是。若阴日子加巳，乃四绝体也。

移远就近格 天罡乘青龙、六合在日上，乃真斩关卦。如占时为发用，名动中不动，寻远在近处，兼中末空亦然。如初见太岁，中末见月建或日辰，亦名移远就近，将缓为速。又如己丑日，干上辰，支上戌，虽干支上全乘魁罡，缘干上墓复，又是柔日昴星，伏匿万状，终不能动。庚寅日，干上辰，支上戌，亦是真斩关卦，必主动，缘中末空亡，反不能动。又干上戌，支上辰同。

后二假令，乃言斩关卦之义，非返吟也，须知之。

似返吟卦。癸未日，干上寅，虽不系返吟卦，缘三传申寅申，往来皆在支干上，似乎与返吟相类也。如占事，虽不免往来交通，不稍全无一事，缘始末皆空，又是柔日昴星，故伏匿也。如用昼贵，三传合元合，阴私万状，兼支干上皆乘脱气，占事不出旋窝。

诸返吟卦占事难成而覆破，访人差迭，复被诱差迭。

虎临干鬼凶速速，

克干客败，伤支主败。

谓日干之鬼上乘白虎者，凡占凶祸，速中又速。如六己日，卯加未，夜占；六壬日，戌加亥，旦夜占；六癸日，戌加丑，昼占。此三千乃虎鬼临干者。六甲日，申乘白虎，旦将顺行有之，但不临干而在五处。六戊日，寅乘白虎，夜将顺行有之，亦不临干。六庚日，午乘白虎，旦将逆行，不临干而在五处。若乙、丙、丁、辛四千无此例。唯宜详其虎鬼，或空亡，或鬼坐鬼方，或坐生方，及虎之阴神能制虎者，虽目前值其灾祸，后却无畏也。如甲子日，申加戌，昼将，上乘白虎作中传，诚为可畏，殊不知申坐戌空，又赖虎之阴神上乘午火而制虎鬼。经云：“虎之阴神还制虎，生者安宁病者愈。”此虎鬼论如小人，稍得其势即为祸患，极速；倘受制伏，随即缩首拘捉，灰飞烟灭而不能为害也。又如甲子日，申加午，昼将，上乘白虎作末传，其申不空，诚为可畏，尤赖申金坐于午火之上。经云：“鬼坐鬼方无所畏。”又如戊寅日，寅加亥，夜将，上乘白虎作中传，纵干上有申金，缘作空亡而不能克其寅鬼，诚为凶也，殊不知寅木坐于亥水之上，寅木受亥水作长生，不来为害。经云：“鬼自就生不来侵。”其余虎鬼无制、不空等，占讼被刑，占病作死气必死，所占万事祸不可逃，唯有官人占赴任却名催官符，赴任极速，反不宜受制及空。余仿此

而推之。

马载虎鬼格 乃虎鬼作日之驿马是也，凶祸尤速。占讼必得罪于远方，极妙。如戊辰日，夜将，得寅加未作未传，乃鬼乘白虎，又是驿马。又戊辰日，寅加酉，夜；又戊辰日，寅加亥，夜；戊子日，寅加未，夜；甲寅日，申加午，昼；甲寅日伏吟，昼；甲寅日，申加戌，昼；甲午日，申加午，昼。甲戌、戊申二日虽有，因虎鬼空亡，不足论也。

龙加生气吉迟迟。

谓青龙乘生干之神，又作月内之生气者，虽目下未足峥嵘，却徐徐而发福也。此例喻君子欲施惠于人，未尝启齿，缓而作吉，尤奈岁寒尔。如六丙日，寅加巳，夜将乘青龙，三月占尤的。六丁日，干上寅，夜将，三月占。内丙午、丁未日，空亡不中用。六戊日，干上申，昼将乘青龙，九月占。内戊寅日申空。六己日，干上巳，昼将，六日占。内己亥日巳空。余干无例。

妄用三传灾福异，

时人起三传尚有错误，想灾福应无的验也。且问三传错误者何？如辛酉日，干上亥，既是辛日，岂可便以亥加戌为传乎？又如乙酉日，亥加辰，既是乙日，岂可便以亥加辰为传乎？乙巳日，干上卯，既是乙日，岂可便以卯加辰为初传乎？戊寅日，第四课申加巳有克。又如甲辰日，干上戌，时人皆以戌加寅涉害为用，三传戌午寅皆作脱气，凡占谋用无成，有忧皆散，殊不知乃择比为用，非涉害也。何故？缘甲木与子水比和，戌土畏甲木而不比，乃子申辰作三传，皆来生日，凡占欲成合而不利解释灾祸，但凶吉二事皆成也，后学何得以知之？又甲戌日，干上辰，乃子加戌为用，非辰加寅用也。又戊辰、戊戌日返吟，丙子、戊辰日干上子，戊子一日干上寅，庚辰、丁亥二日干上卯，壬戌、甲申日干上辰，庚子日干上午，乙卯日干上申，又乙卯日干

上寅，庚寅日干上午，甲申日干上戌，各有其说也。

喜惧空亡乃妙机。

强敌宜落空亡。

凡空亡，有要见有不要见者，后学不辨，一例而言之，诚为可叹。盖天盘作空亡者，谓之游行空亡，其吉凶有七八分。如地盘作空亡者，谓之落底空亡，其吉凶有十分。此不可不知者也。且夫要空亡者，乃克、盗、墓神及神遥克日，已上皆要空亡。惟生我者及救神，并天德、生气、财官及日遥克神并不宜空亡，皆返为凶兆。尤有遇不遇者。共列五等于后。

见生不生格 甲、乙日以亥为生，其亥水居申上，他自恋生不来生我。或是亥水居于辰、戌、丑、未之上，为土所制，纵日辰、行年上见之亦不能生我。至于亥入空亡则大凶。如生我者空亡，占父母上人病主不救，占干上位亦是徒然。略举一例，十干仿此，各令占之，亦如上说。

见克不克格 如甲、乙日以申、酉为克，其金居巳、午火上，他自受克，何暇克我？又申、酉坐辰、戌、丑、未上，他自恋生，亦不来克我。鬼陷空亡亦不能为害，惟鬼作空亡加日辰、传、年命上，无制伏者极凶，或失人口，或犯官司，费用百出。十干仿此。

见财无财格 如甲、乙日以辰、戌、丑、未为财，其财居寅、卯上，不可取财也。或财作空亡，虽得反有所费。财陷空亡亦不得，尤费财。如财居申、酉脱气之上，反有所费。十干仿此。戊辰日，干上酉；壬午日，干上未；壬寅日，干上子；庚子日，干上酉；丙午日，干上午；己酉日，干上申。

见救不救格 如甲、乙日，传内先有申、酉金，于日辰上见巳、午火，乃为救神。其巳、午火居亥、子上，或作空亡，或陷空亡，或在寅、卯上，他自贪生，此不能为救也。如此反为灾咎。如不见日鬼，其救神即盗神也。余八干仿此。

见盗不盗格 如甲、乙日，见巳、午火居亥，子之乡，或入空亡之内，皆是盗我之气不得也，反变成吉。十干日同。今人不看如何，见生便言生，见财便说财，见鬼便言有鬼，有救便言救至，于所立之地、所行之方不少为分别，惜哉！

德贵合局生身格亦贵德临身消除祸患格 如乙酉日，干上申，昼占，虽三传水局生日，缘天将昼夜皆贵勾常土神，使水局不能生其乙木。如用夜贵，尚赖贵临本身，犹能勉强倚贵而求生计。

长上灾凶格 乃长生空亡之例。戊寅日，申为长生作空亡；庚子日，巳为长生作空亡；壬午日，申为长生作空亡；甲子日，亥为长生作空亡；丙午日，寅为长生作空亡。月内生气亦忌空亡。

喜惧格 一则以喜，一则以惧之例。谓干上长生，三传皆鬼。

六爻现卦防其克，

财爻现卦必忧父母。歌云：“三传俱作日之财，得此须忧长上灾。年命日辰乘干鬼，争知此类不为乖。”如辛未日，干上午，三传卯亥未木局，三传皆作日之财。虽忧父母，赖干上先有午火生其父母爻，窃其财爻，此名传财化鬼。人但知言父母等类，而不知言传财化鬼，如欲占财则有灾祸耳。余日辰、年命上无官鬼爻者，乃可言父母灾也。亦必支干年命上先有父母爻，后被传财克者，始可言父母长生灾。如无父母爻则亦不言。此例如丁丑日，干上先见卯为父母爻，岂应三传金局之财来伤卯木？此方可言长生灾，或求财而妨生计，或被恶妻逆其翁姑，此二事尤的。又有己丑日干上午，庚辰日干上未，丁酉日干上卯，戊戌日干上午，皆如前说。必待财旺月乃忧长上，其财休囚，却为财也。外有乙亥日，欲赖支上申生父母爻而窃其财爻，殊不知申空亡，仍主父母之灾。

父母爻现卦必忧子息。歌云：“父母现卦子孙忧，日辰年命细参求。同类比肩居在上，儿男昌盛不为仇。”如戊寅日，干上丑，三传戌午寅火局皆作父母爻，虽忧子息，赖干上先有丑土生其子息，窃其父母。

若子息爻现卦必忧官事。歌云“子息见时官事无，古法流传实不虚。岂知四处财爻现，官迁讼罪病难苏。”己巳日，干上亥，三传酉丑巳金局皆作子息爻，虽忧官职，缘干上先有亥水生其官鬼。其子息爻余如前说，官讼则忌。

官鬼爻现卦忧己身及兄弟。歌云：“官星鬼贼作三传，本身兄弟不宜占。父母之爻如透出，己身昆仲总安然。”如乙丑日，干上子，三传巳丑酉金局皆鬼爻，虽忧己身及兄弟，奈干上先有子水生其己身、兄弟，窃其官鬼爻也。余仿此。

同类现卦必忧妻及去财。歌云：“干支同类在传中，钱财耗散及妻凶。支干上神乘子息，妻官无恙反财丰。”如丙寅日，干上丑，三传戌午寅皆是日之同类，虽忧妻位及损耗钱财，奈干上先有丑土生其财爻，窃其比肩。余仿此。

六爻相生而成类。乃三传生起干上之爻象者。

传财化鬼者。如辛未日，干上午，三传卯亥未生起干上之午鬼。

传鬼化父母者。如乙巳日，干上子，三传酉巳丑生起干上之子水父母爻。

传父母化兄弟。如戊午日，干上丑，三传戌午寅生起干上之丑兄弟爻。

传兄弟化子息。如丁亥日昴星，干上戌，三传午戌寅生起干上之戌土为子息，乃不言墓。

传子息化财爻。如甲寅日，干上戌，三传戌午寅生起干上之戌土为财。已上如或占病，或父母、兄弟、子孙、妻妾、己身有病。如逐类现卦，虽曰不吉，其各类加干，令得地，反不为凶。如位

死绝，又坐克方，死而无疑。

三传内现类而传自墓克者例。皆是午丑申作三传者，如乙亥、乙酉、乙未、己卯五日，并午加亥为用。如有官人占之不可得官，如常人占之反宜急难除祸。缘末传之申金为官鬼，被初传午火所克，又被中传丑来墓申，兼末之申金自坐于丑墓之上，其申金全无气象。又如丙辰、丁亥二日，亦是午丑申为三传，乃申金财全无气象，亦缘初被克，中被墓也。己亥日长生无气，庚辰日德禄无气，辛亥日兄弟爻无气，六壬日长生无气，已上皆是午丑申为三传者。

支干同类格 难求财，缘支干各相争夺。惟有十二日：甲寅、乙卯、庚申、辛酉、丙午、丁巳、壬子、癸亥、己丑、己未、戊辰、戊戌。

白议食尸格 壬癸日，申坐丑上，夜将上乘白虎，此乃父母爻乘白虎坐墓，必父母墓中生白蚁，或兴祸端。如父母在，主病灾，更作月内死气，死神，占父母病必死。又六戊日，午加戌，昼将上乘白虎；六己日，巳坐戌，旦将上乘白虎。皆如前说。余干逐类而推之。

懒去取财格 六甲日，干上寅或卯，纵传内见财爻，如求财必心多退悔，懒去取财，恐争夺也。余日逐类看所乘何神而言其事类。

德丧禄绝格 阳日返吟，阴日四绝体。

旬内空亡逐类推。

财空军储乏，鬼空敌人遁，救空谋策拙，比空赞佐慵，生空防失惠。

甲子旬戌、亥空亡。甲子、乙丑日妻财及父母空。丙寅、丁卯日墓贵及官鬼空。戊辰、己巳日兄弟及妻财空。庚午、辛未日父母及子息空。壬申、癸酉日官鬼及兄弟空。又壬日德禄皆空。

巳上纵戌、亥在六处亦不可用。

甲戌旬申、酉空亡。甲戌、乙亥日官鬼空。丙子、丁丑日妻财空。戊寅、己卯日子息空。庚辰日德禄空。辛巳日兄弟、己身空。壬午、癸未日父母空。巳上纵申、酉在三传、年命、日辰上亦不可用。

甲申旬午、未空亡。甲申、乙酉日子息墓，妻财空。丙戌、丁亥日兄弟、子息空。戊子、己丑日父母、兄弟空，内己日禄空。庚寅、辛卯日官鬼、父母空。辛日旦贵空。壬辰、癸巳日妻财、官鬼空。内甲、戌、庚三日夜贵空。

甲午旬辰、巳空亡。甲午、乙未日妻财、子息空。丙申、丁酉日子息、兄弟空。戊戌、己亥日兄弟、父母空。庚子、辛丑日父母、官鬼空，及长生空。辛日官德空。壬寅、癸卯日墓及官鬼、妻财空，并昼贵尤不得力。内丙、戌日德禄空。

甲辰旬寅、卯空亡。甲辰、乙巳日兄弟、己身并禄空。甲日德空。丙午、丁未日父母空。戊申、己酉日官鬼空，内己日德空。庚戌、辛亥日妻财空，内辛日夜贵空。壬子、癸丑日子息空，止宜脱祸。

甲寅旬子、丑空亡。甲寅、乙卯日父母、妻财空。丙辰、丁巳日官鬼、子息空。戊午、己未日妻财、兄弟空。庚申、辛酉日子息及父母或墓空。壬戌、癸亥日兄弟、官鬼空。甲、戌、庚、乙、己五日旦贵空。

十恶大败日，乃无禄之日也。盖甲辰、乙巳、壬申、丙申、丁亥、庚辰、戊戌、癸亥、辛巳、己丑此十日内禄神空亡，故为无禄之日。

所筮不入仍凭类，

如占失脱，虽元武并脱气，日鬼不在六处，亦宜用此类而言其方所色目也。余所占，万类皆如其法。

非占现类勿言之。

凡行师之日，以干为三军，支为营垒。

如前贤有诸秘法，用之极灵，且如白虎临寅在支上发用者，必宅中有栋折榱崩之惊，斯法极验。设有占课君子，问求财事卜得此课，切不可言其梁栋摧折，大抵与求财异。如此条贯，犯之极多，时人不可不为自警。举此一法，其余可知。

常问不应逢吉象，

贵课利贵人不利小人。太平时虽有破敌之策，而无所用之日。诸龙德、铸印、高盖乘轩、断轮、官爵、富贵、三光、三奇、三阳之吉泰卦，但有官君子占之则为吉兆，或迁官转职，或面君而奏事也。如常人占得上项吉卦，恐致灾咎临身，大难相压。盖常流百姓既不事贵，兼以本身无官无禄，岂宜占得面君及见贵之卦乎？必因讼而名达朝廷，不然必到讼庭面见太守而遭罪，占病必见阴司。如得远干出外，可免病讼。

已灾凶逃返无疑。

凡值丧魂、魄化、天祸、天寇、伏殃、天狱、天网四张、天地二烦诸凶否卦，如已见病讼灾迺，之后占得前项诸凶卦，其灾却可消除，不足为虑。如未见病讼之前占得此者，必病讼丧祸并至，更无疑也。至天罡之神临身命、行年，静者主动，动者主静。如占讼，入狱者即出狱也。及问罪曾犯与不犯，然后言之。其余占凶者却吉，占吉者却凶。

结绝格 六丙日，干上亥，或常问必主病讼。如已见凶灾，反宜结绝旧事。又作昼贵，尤宜告贵人而结绝凶事。

以凶制凶格 六癸日，辰加丑，此乃墓神覆克日，诚为凶也。如夜将，又乘蛇，尤凶。以未戌乘白虎冲辰，谓之破墓冲鬼，以凶制凶，凶即散而无咎也。又四癸日，戌加丑，昼将，亦赖未之蛇冲虎，辰冲戌，尤宜解忧。外无癸酉、癸亥日也。

古法占来意诀

家宅

命爻带父自占身，爻上生神与墓神。日干头上带父母，并传生作住基论。

岁宅支干马与丁，或临年命带生神。此来一定占家宅，略过些时间出行。

凡支干、身命带宅神，又带父母，与发用生命身，或生支干，又支干上带丁马、岁宅，或命位、行年上有岁宅，俱是占家宅，或买卖房屋，或租典，或更改新造。如不占宅，即是出行。或年、月、命入传，或时与支冲破，又带宅神、父母，四废或空亡，必是家宅不宁，或无住宅。又主破坏。带大小耗主退财，带火神、火鬼主火灾，带光怪主见怪，带长绳、吊死、死神主伤人口。

火神定主火烧房，光怪原来怪作殃。空废等神无宅住，不然破坏要更张。

卯酉两来加在户，意欲迁居难守旧。若还丁马劫加临，决定迁居与行路。

马退回家不出行，则言家事有纷争，且言家宅年来动，莫作登途事上论。

时为干冲，如丙日见亥之类，余仿此。

八专九丑与三交，独足长幼度厄爻。乱首反常残下卦，天狱龙战刑德包。稼穡并占家宅象，(以上卦皆主来占家宅)姓宅墓从辰日标(若见姓音于辰上，亦主占家宅意)。宅墓行年克日辰，魁罡蛇虎不相饶(魁罡蛇虎加日辰上，主占家宅)。贵人若也临门户，并主宅

灾身动摇。(贵人临卯、酉，主宅、人摇动之象。)

坟墓

五墓加干为用初，死神死气更休囚。此来一定占坟墓，若问阴谋不出头。

时、用为日墓，作死神、死气，或加支上，主占坟墓；加丁马，是占买卖，或更改坟墓。此二条不论命位。

时墓动干，主田土他人蒙蔽，若见日鬼，并乘凶将，必致争入官。已上只可占坟墓，余占不吉。

婚姻

婚姻本体看弹蒿，八专九丑与三交。曲直玄胎并狡洩，六合乘用是财爻。青龙阴后三传判，支合为龙事理昭。

凡前列等卦，必有婚姻之意，或见六合乘财为用，又见青龙、阴、后三传相应，或逢六合入传，皆主婚姻。支合为龙，如子日得传送、天罡为青龙是也。

财爻动可问求财，父母占来却有灾。若带龙合阴后到，必问婚姻何用猜。

先看命位，带天喜，与用传生合，或与日干三、六合，主自身上求亲。若命位加子，为子；加兄，为兄；加父，为父。带传生合者，为别人求亲。或时为干合，或传为干合，带龙、喜、阴、后，旺相者，亦为求亲。或时为日财，带阴、后、喜、合、龙、常，或用为日财，带上作合者，主求亲。

一小吉与阴、后、六合相逢，作用者，亦问求亲。

一龙、喜带三、六合，临寅、卯，亦主问姻。

一千传三合，或夫妻年命相合，乘后、合，主自奸成婚。

一酉加午上，亦主占婚。或命合天后，亦主占婚。

一申加巳上作六合，非问子息，即是占婚。

生产

占人来意问妊娠，见机长幼察微闻。度厄地烦蛇掩目，玄胎之卦好求姻。四仲为初看中末，虎后还乘喜孕神。见财为用亦当尔，魁罡来并合玄真。辰支是儿作天后，巳临四孟后合亲。父母子孙官鬼动，后阴六合每相邻。长生若为蛇后虎，卜时入墓亦宜陈。

凡见机、长幼度厄、察微、地烦、冬蛇掩目及玄胎等课，皆主占妊。更得四仲发用，而中末传见天后、白虎乘天喜，乃为孕神。或见财爻与子孙爻为用神，则主占孕。魁罡同六合、玄武，更为真也。今日之辰却是子孙爻，更为天后入卦，主占孕。太乙临四孟，为天后、六合、青龙，主宅中有孕妇。凡父母、妻财、子孙、官鬼爻为六合、太阴、天后者，主孕。今日长生神作蛇、虎、天后，或占时是今日之墓，皆主孕事。

产子卜朝问子来，产胎田畜可推裁。纵然病讼还无事，端的今朝问子来。

发用、正时、本命为干之子孙，并为胎神、生气、天喜、龙、合、支、忌者，主问生产、六畜、奴、田等事。

时与支合，支上带子孙，或用卯带龙、合，或子、午乘龙或支、忌，又或辰戌兼六合、天后、玄武，或用寅乘白虎，皆主占子。

胎神：火胎于子，水、土胎于午，木胎于酉，金胎于卯。

凡胎神值生气必孕，值死气、空亡、蛇，主损堕胎。

子息今朝问子来，产胎病讼且宽怀。传初为破钱财退，六畜田禾一样猜。

凡子孙不带凶神，只带胎神、生气，加丑、酉、午、亥、戌、未者，

或带畜杀，主问田禾、六畜事。

功名仕宦

求官占见三交卦，六仪龙德并天恩。官爵斲轮并铸印，乘轩之卦主呈文。（占此皆受官爵。）太岁月建天城吏，印绶龙朱后贵人。诸位若还来入卦，常乘干合受君恩。

谓传送为天城，寅为天吏，太常为绶，魁为印，若乘太岁、月建、贵人，皆主占官，更得太常乘今日干合则应。

官动儒人是问名，龙常喜德带皇恩。不是科场并考贡，必为居官除与升。

时为日贵用生干，一定今朝是问官。若带吉神并旺相，姓名高中拜朝参。

时生干也贵初传，太岁诸神又共联，必定科名高得中，除官次第喜绵绵。

时为日禄马和丁，来意原来是为名。更有用传扶旺相，新科一定显前程。

官鬼因知兄弟抛，官非贼盗并离逃。此中还有灾和病，带吉求名第一高。

时为日贵、德禄，或时为日鬼，用为日鬼，带贵人、龙、常而旺相者，又朱雀加行年、月建、命上，并驿马加日辰及传而旺相者，又太岁吉神克日辰、年命，又用与贵人临生旺之地，又龙、常加寅、申生干，旺相不临休囚死绝者，皆主占名。

又龙、常不带刑害，主上人提挈，加官升职。

斗殴词讼

察微蒿矢转蓬加，度厄荒淫及缀瑕。鬼呼凌犯兼天网，天烦虎视及冬蛇。乱首天狱并龙战，刑德五墓天祸加。润下稼穡忧官事，（以上

主占官事)月建官爻作雀蛇。勾朱白虎逢天乙,多是相刑相克他。(谓勾、朱、虎与天乙相刑克。)或与日辰相战克,克害行年亦可嗟。(谓勾、朱、白与日辰、行年相克战,或在行年上,俱主官事。)

官带勾陈有斗争,贵来传旺入公庭。此时必定相争讼,来意须知问讼因。

辰戌已见入初传,又带刑来挠不休。必定官司缠不了,于今欲脱也无由。

官动因知兄弟熬,病灾盗失并离逃。此中亦有求名者,口舌官非却不饶。

时为日鬼、贵、勾、或时与日刑害,或勾陈带天刑、天狱、天吏、直符、罗网等杀,或加年命上,或戌上勾陈带天狱,或太岁、天罗、地网加时、加用,俱主占讼,或争田地、坟墓。

求财

如何见得是求财,弹射重审及玄胎。稼穡六仪龙德卦,(以上皆主求财)正爻旬遁见求财。

注云:但见正财,或旬财——遁见其财。假如甲子日见辰、戌、丑、未,皆为正财。若无财神,而见太乙者,亦是财,甲子旬见己巳为遁财故也。甲寅旬见戊午。

财爻动是议婚姻,亦系来占问父亲。龙合丁马生与旺,端为求财问是真。

或时为日财,用为日财,亦是求财。或龙、合生干、命,亦是求财。

凡看命位上带财神,或用为命财,干作命财,时为命财,或带龙、合,皆是占财。课得斩关、游子与白虎,是出外求财。或时、用、命位有财,带白、勾、朱为鬼者,主争财。或时、用、命、干有财,带天空,是虚妄求财。日上有财为手内财,又为出外求财。来情先看正时来,日克为财是问财。旺相德成龙合到,此是求财不

用猜。

其二原来看用来，德成旺相喜生财。传中再见龙合到，也是求财不用猜。

其三青龙作用来，德成主合喜扶财。日辰课里财神见，也是求财不用猜。

其四财连丁马来，又多生气合中排。意欲经营别处去，出外求财不用猜。

其五天鬼作用来，时用空亡不问灾。虽是休囚无有吉，也是求财不用猜。

课传并没一财来，巳亥相乘也为财。干课合头无克破，也是求财不用猜。

凡见旺气，主目下之财；见相气，主将来之财；见休气，为过去之财，或为旧日之财，或主在病人处求财；见囚气，为少他人之财；见死气，为亡人之财，或干出外之财，或欲出之财。

若见干神休囚空亡，主空手求财。

若见干支互生，是买卖货物。

若见天后乘财，与日三合，主亲人处求财。

若见玄武乘财，更与鬼合，主占失财。

若带贵人，主谒贵求财。

时为干冲，带马，主干财。

干支自合，无丁马，主开店求财。

带六合、丁马，主行船求财。

日辰与年命相合，或上下自相合，主交易求财则吉。

干支互合，甲上子合丑，支上亥合寅，干带六合，亦主交易求财。

寅、亥带吉神或墓财生日，或巳、亥带龙、合，或丑带勾、常，主相会求财。

未带吉神或墓财生日，亦主求财。

疾病

来占疾病如何决，九丑三阴魄化源。天狱察微蛇掩目，五墓四杀地天烦。龙战鬼呼兼死绝，(以上卦皆主占疾病)河魁为武日辰闲(河魁乘玄加日辰上主病)。斗月加临见合常(斗者，天罡也。月者，太阴也。二宿度数抵此，必有疾病患害。若太常、六合入卦，皆主疾病)，魁罡蛇虎亦非安(鬼罡、蛇虎大忌加于日辰年命上，主有病)。官鬼因知兄弟憔，官非盗贼并离逃。就中还有功名事，得此因知灾病招。

时、用为日鬼，带丘、墓、丧门、丁神、死气、死神、虎、蛇，命位同者，主有灾病事。

又时与支同，时与支害，时与支冲，墓临日上，俱主灾病。

交易

来情交易见三爻，元首无依赘婿爻。重审始入及知一，(以上卦皆主占买卖事)勾陈还作正财抄(勾陈乘旺，是正财，必主交易)。青龙六合加日辰，兄弟为财理自昭(初传兄弟，中传是财，谓兄弟化财，主交易)。朱勾龙合来入卦(如得此四将入卦，其财可必)，财并合用必无逃。

访谒

访人来意见转蓬，元首三爻知一同。始入或逢弹射卦，辰日相加彼我通(日加辰，己谒人；辰加日，人谒己)。天乙来临卯酉上，魁罡加在日辰宫。(贵人加卯酉，魁罡加日辰，皆主出行，故为访谒他人。)

行人

欲知来意问行人，见机游子察微亲。弹射转蓬蛇掩目，斩关狡狴细区分。常乘干合冲白虎，行人在路必灾迍。

凡得以上诸卦，皆占行人。若见太常乘今日干合，如乙日见传送为太常，太冲为白虎，则主行人信息在路，仍主灾患之信。兄弟须防妻不安，是非朋友类相攒。行人未必无书信，又主我家兄弟欢。

时为日马用皆同，四季丁神又不空。必是行人方可拟，安排行李去匆匆。

时与干冲，天罡乘马，子、午、申乘马，四季丁神，行人年命上值丁马，皆主占行人。

时带丁马，见朱勾刑克日干，主因官事或因公门而动。

贵、朱、常带丁马，与日三合，主因官员差除。

三交、斩关，更得凶将，主避罪远行。

返吟带丁马，主千里之行。

马若前行又落空，徒有虚声未可容。且将意欲求谋断，或是寻人问信通。

马在支前或空，不是出行望信，或求谋寻人。

出行

出行之卦见无依，自任三交天网时。弹射乘轩及游子，斩关龙战亦如之。稼穡又同刑德励，(以上诸卦皆有出行之状)魁罡加在日干支(魁罡加日辰发用，主动)。未辰临日须出外，午卯临传道知(午为马，卯为车，或入传，或加申而发用，皆主出行之象。故占得斲轮之卦亦主出行)。太常行李白虎路，或乘午卯主行期。

失脱

知一蒿矢及八专，虎视眈眈天鬼烦，玄胎鬼呼占盗贼，或乘旬首亦须言。六合在初天后末，或逢玄武末初传，财并玄武天空将，总是求占失脱缘。

以上诸卦皆主失脱。玄武乘旬首，《金匱经》内名闭口，亦应盗失。六合在初传，天后在末传乘财，有淫佚之象。玄武在传亦主失脱。财作玄武，或是天空，亦主盗贼。

官鬼因知兄弟焦，官非灾病并离逃。就中还有功名事，占此原来盗贼招。

时为日破，主逃亡。玄武乘旺，或乘辰上，亦主逃走。天空临酉，主奴婢逃走。玄武带盗神、劫杀作日鬼，盗贼必逃。

玄、合、阴、后乘辰加卯、酉，主占逃亡之贼盗。

天空乘空亡，主奴婢逃亡。

时为支害，玄、合临门，主盗贼窥财。

时、用带六辛，作玄武、天空，必主逃亡。

逃亡

三交狡洑并龙战，游子玄胎及斩关，知一天网连魄化，俱是逃亡出外看。阴后空玄加门户，定有逃亡事必然。六合太阴并玄武，乘神申酉及胜光，日辰更同天将出，辰加日上尽逃愆。

如甲日，功曹加卯，作青龙，或加丑，为日辰同天将出外，即为逃亡之象。

父母

财爻发用是占财，或问婚姻喜里猜。若带凶星来会合，必因父母卜

灾来。

凡财动，带白虎、哭神，或克父母爻，主占父母之灾。或玄武，带牢狱煞、盗贼煞者，主父母失脱官非。

或临丁马，及空亡，主占父母远行信息。若带财吉神，此以财动论父母，主占求财。

时为日父，或用为日父，或命上为日父。此是本父母动也，亦是占父母。

死神，死气乘墓，主灾病。

父母原来有子灾，文书坟墓一同猜。若占身命终身事，目下于今父母灾。

凡占身命终身，亦以命位父母看。

文书

父母生来父母用，坟宅田园及子孙。更有终身年寿福，或问文书成不成。

有考举官吏文书，有官讼文书，有信息、各项文书。凡时与用为日之父母，带丁马、贵、禄，为功名文书；带丁马、财、子，为交易、宅墓、财帛文书；带丁马、游子、斩关、游戏、信神，为信息文书；带官鬼、贵人，为官府文书。

姓氏类

子：为点水，为耳，为女字（为羽、子、予、又），为衣字（为一、衤、示）。

丑：为田、土，为土旁、土脚。

寅：为木（为良、艮），为一头（为一），为佳（盖艮为重土也）。

卯：为艸头(为竹、禾)，为木旁、木脚(为车、门、户、雨、兆)，为丝，
为卩旁(不分左右)，为乙。

辰：为山(为角)，为土，为龙，为厂(为广)，为ナ，为尸(为厶)。

巳：为大(为巽、为、甫、乡、...)，为双女，为己字。

午：为火(为心、)，为张(为长)，为周，为马，为者字(为日、目)。

未：为井，为田，为羊，为鬼，为杨。

申：为金(为庚、也、寸、弗、力、矛、白、声、弓)，为人，为イ，为走，为
乚、为刀，为卩，为身。

酉：为金、为□、为彳(为鸟、乌、贝、页、□、月、勿、皿、西、谷)。

戌：为犬，为戈，与酉俱主为鬼(以天魁，从魁俱有鬼也)。

亥：为水(为士、儿)，为古，为双鱼、豕、登、公。

赵：申加酉，乘太常。角。天水。

钱：申加戌，乘河魁。徵。彭城。

孙：子加卯。宫。乐安。

李：寅、卯加子。徵。陇西。

周：午加小吉。单午亦可。角。汝南。

吴：酉加亥、丑。亦吴地。羽。延陵。

郑：酉加卯。徵。荥阳。

王：子加丑。商。太原。

冯：子、亥加午。宫。始平。

陈：卯加卯。徵。颍川。

褚：子加午，乘太常。羽。河南。

卫：商。河东。

蒋：卯加子，月将。宫。乐安。

沈：子加子。子为坎穴。商。吴兴。

韩：商。高阳。

杨：未宫分野，以未取之。商。弘农。

杨：宜取寅加午，得太阴为是。

朱：午加寅。单午亦可。角。浦国。

秦：申加亥。申坤，亥乾，泰也。徵。天水。

尤：辰加卯。徵。吴兴。

许：酉加午。羽。高阳。

何：申加酉，乘太常。申加未乘雀亦是。商。高阳。

吕：酉加酉。羽。河南。

施：申临传送。徵。吴兴。

张：申加午。单午亦可。羽。清河。

孔：子加卯。角。鲁国。

曹：寅加午。角。谯国。

严：卯木乘雀。宫。天水。

华：卯木临旺处。角。武陵。

金：从魁乘旺气。角。彭城。

魏：卯乘天后临戌，或加酉、加未。角。钜鹿。

陶：卯乘勾陈。徵。荣阳。

姜：未加子。角。天水。

戚：戌加小吉。商。东海。

谢：酉加申。商。陈留。

邹：太冲加卯，得六合。商。范阳。

喻：羽。江夏。

柏：寅、卯加酉。商，邑召。

水：单子。宫。吴兴。

窦：寅加仲，乘空。徵。扶风。

章：单未，申加申。商。河间。

云：卯加丑。羽。琅琊。

苏：六合乘太冲临亥。羽。武功。

潘：子加丑。羽。荣阳。
葛：六合加午，乘勾陈。商。颠丘。
奚：子乘六合临大吉。商。谯国。
范：卯乘子加巳。宫。高平。
彭：酉乘元加仲。宫。陇西。
郎：寅加卯。商。中山。
鲁：亥加午。羽。扶风。
韦：丑加酉。羽。京兆。
昌：午加午。商。汝南。
马：胜光乘生气。羽。扶风。
苗：六合加丑。卯加丑亦可。宫。东阳。
凤：雀临酉，乘生气。宫。平阳。
花：六合乘申加酉。宫。东邱。
方：传送临驿马。商。河南。
俞： 角。河间。
任：申加亥。宫。乐安。
袁：申乘破，或未加子。羽。汝南。
柳：寅加卯。商。东海。
酆：功曹加卯。宫。京兆。
鲍：亥乘勾加巳。宫。上党。
史： 徵。京兆。
唐：申加酉。徵。晋昌。
费：申加酉。羽。江夏。
廉：雀乘胜光临午。角。河南。
岑：天罡加酉。宫。南阳。
薛：六合临从魁加戌。商。天水。
雷：太冲逢冲，卯加丑。角。冯羽。

贺：酉加酉或申加酉。商。广平。

倪：申加亥。官。干乘。

汤：子加午。乘太阴。商。中山。

滕：滕蛇加子。酉乘蛇加亥亦可。徵。南阳。

殷： 宫。汝南。

罗：或巳、或亥乘六合加寅。徵。豫章。

毕：丑加土，乘阴。徵。河间。

郝：朱雀乘卯，或午加卯。徵。太原。

邬：酉乘六合。商。颍川。

安：寅加子。商。武威。

常：从魁临未。商。平原。

乐：太冲乘白虎临寅。角。南阳。

于：子逢破。羽。河南。

时：胜光加土临申。徵。陇西。

傅：申加太冲，临旺气。宫。清河。

皮： 徵。天水。

卞：亥加午破。羽。齐阳。

齐：用亥。徵。汝南。

康：申加亥、子。商。京兆。

伍：申加戌。羽。安定。

余：太阳乘空。羽。下邳。

元： 商。河南。

卜： 羽。河西。

顾：酉加寅，乘贵。

孟：子加丑、酉。

平：六乘午。

黄：六合加申。

和：六合加酉。

穆：卯得虎，临巳。

萧：卯。

尹：丑临空。

姚：子加六合。

邵：虎乘从魁加卯。

湛：亥加子。

汪：子乘神后加丑。

祁：子加卯，乘常。

毛：子乘生气。

狄：戌加巳、午。

米：太常临未，卯加未乘青。

贝：以从魁取之。

明：午乘太阴，或午加未，卯酉相加。

藏：戌加酉。

计：从魁临旬尾。

伏：申加戌、辰。

成：戌加丁，戌乘勾。

戴：戌加丑。

谈：酉乘胜光，得朱雀。

宋：寅得青龙，或寅得六合。

茅：卯加申。

庞：青龙乘辰，或辰加辰。

熊：以亥取之，谓亥有能也。亥加巳。

纪：六合乘巳，或卯加巳。

舒：六合乘子。

屈：辰加辰。

项：辰乘贵。

祝：寅乘常。

董：六合乘卯。

梁：子加寅得六合。以卯为寅之羊刃。

杜：寅加丑。

阮：卯。

蓝：卯加酉。

闵：卯得青龙，或得朱雀。

席：辰乘常。

季：卯加子。

麻：勾陈加功曹。

强：申加酉，得蛇。

贾：酉加酉。

路：申乘驿马。

娄：戌加戌。

危：辰加巳，得虎。

江：亥、子。

童：青龙临丑。

颜：申乘贵。

郭：子加卯。

梅：寅乘太阴。

盛：戌加酉。

林：寅得青龙，或寅加寅，卯加卯。

刁：丑破刑，又取刃意。

钟：太阴临卯，或酉加卯。

徐：从魁乘金临败。

丘：丑乘旺气。

骆：午得青龙，临酉，值生气。

高：寅乘旺气。

夏：巳加午、未。

蔡：太冲加登明。

田：丑加丑。

樊：寅、卯加阴。

胡：亥乘太阴。

凌：子加丑，乘雀。

霍：卯加寅。卯为雷，寅为佳。

虞：酉乘虎加亥。

万：卯加申。

支：旬首加子。

柯：青龙临未加酉。

管：六合乘寅加酉。

卢：白虎乘丑加酉。

莫：六合加墓。

房：太冲乘卯。

裘：太常乘子。

缪：卯加巳。

干：子加旬尾。

解：辰加未。

应：罡乘寅加午。

宗：寅临小吉。

丁：朱乘旺气。

宣：寅加午。

贲：卯加酉。

邓：亥加卯。

郁：子作太阴加卯。
杭：寅加辰。
洪：亥、子同位。
包：勾陈临巳。
诸：酉加午。
左：辰作空亡。
石：辰加酉。
崔：辰加寅。
吉：丑未相加。
钮：从魁加丑。
龚：辰加巳。
程：六合乘酉加丑。
嵇：六合作青龙加辰。
邢：小吉临卯。
滑：亥加子。
裴：坤乘小吉，或申加子。
陆：六合加丑逢空。
荣：亥加寅。
翁：亥加子，乘衰气。
荀：六合加旬首。
羊：未得生气。
於：坤加败金。
惠：太冲临午。
甄：申、酉加土。
麴：酉加戌。
家：寅加亥。
封：寅加申，败木。

芮：六合临丙。

羿：子加六合。

储：虎乘酉加午。

靳：以纯金之义取。

邴：巳加卯。

松：寅加乾。

井：未加未。

富：寅乘从魁加丑。

巫：以天空取之。

乌：以酉取之。

焦：寅加巳。

巴：酉加乙。

弓：以巳取之，或单申。

牧：丑加朱雀。

隗：六合乘未。

山：以天罡取之。

谷：以申、酉取之。

车：太冲，取卯。

侯：以申取申。

宓：寅、午逢破。

蓬：以子取之，或卯。

全：申加乾。

郝：坤加卯。

仰：以震取。

秋：卯加午。

仲：申临土。

伊：申加丑，临空。

官：寅乘酉。

仇：申加乾。

桀：寅、卯乘酉。

暴：巳加子。

甘：以子取，象耳字。

针：金临旬尾。

厉：勾陈乘卯加寅。

戎：戌临旬尾。

祖：子加丑。

武：以太常乘生旺取之。

符：六合乘申，临败木。

刘：六合乘酉加申。

景：以午取之。

詹：子加酉，虎乘辰加酉。

束：寅加酉，逢破。

龙：以辰取之。

叶：以卯取之，或六合乘卯加寅。

幸：卯加午。

司：勾陈，太常乘子加酉。

黎：卯乘勾陈加子。

蓟：六合乘亥加申。

薄：六合乘子加太冲。

印：卯乘朱雀。

宿：寅加申。

白：以金取之。

蒲：六合临子加巳。

郇：太冲临酉。

从：酉加酉。

鄂：太阴临巳加卯。

索：寅加卯。

咸：戌加酉。

卓：申带空亡。

蔺：六合临卯加寅。

屠：辰加午。

蒙：六合临寅加亥。

池：亥、子加坤。

乔：亥乘太阴加酉。

阴：以酉取之。

苍：六合加乾。

双：旺寅乘朱雀。

闻：卯、酉加子。

莘：卯加戌。

党：太常临酉加乙。

翟：子加寅。

谭：旺相临蛇。

贡：天空临酉。

劳：旺火临寅。

逢：申临会神，或朱乘申。

姬：天后临子。

申：以申取之。

堵：小吉临午，或丑加午。

冉：

宰：寅加戌。

酆：旺午加卯。

郤：酉加卯。

桑：逢寅叠木。

桂：青龙临寅。

濮：亥加天空。

牛：丑加丑。

寿：以子言之。

边：申作白虎逢空。

扈：六合临酉加巳。

燕：以寅取之。

冀：以子取之。

郟：申加卯。

浦：亥临巽。

尚：太常临酉坐空。

农：功曹临辰。

温：神后临午加酉。

别：从魁乘虎加申。

庄：六合临旺土。

晏：胜光加子。

柴：寅临死气。

瞿：旺午加寅。

阎：卯加坎。

慕：六合乘午加子。

连：卯加申。

茹：六合乘子加酉。

习：子加午。

宦：寅乘太常。

艾：卯乘六合临旺地。

鱼：以亥取之。

容：寅加酉。

向：以金取之。

古：旬尾得酉，加亥。

易：午乘太阴。

慎：午乘朱雀。

戈：或逢破，或乘玄武。

廖：以巳取之。

庚：天罡加申。

终：卯加亥，或卯乘朱加子。

暨：艮带死气加午。

居：辰加亥。

衡：太冲临亥。

步：以艮取之。

都：午加卯。

耿：子加巳、午。

满：子乘六合加卯。

弘：巳加辰。

国：酉加戌，带合。

文：以朱雀取之。

寇：以辰、戌取之。

广：辰加寅。

东：以卯取之。

· 爻：以乾取之，象天故也。

沃：神后加亥。

夔：

隆：卯加亥。

师：以午取之。

库：辰临太冲。

聂：天后乘子加子。

晃：午加卯。

勾：以辰取之。

敖：以戌取之。以戌为獬。

冷：亥水临金。

管：子加酉。

辛：以戌取之。

阙：卯加子，乘朱。

那：以卯加刃取之。

简：六合乘卯加午。

母：以坤取之。

乚：以乙取之。

养：未加寅。

鞠：以秋金取之。

须：子加酉。

丰：天罡加丑。

巢：申加寅、卯。

关：卯酉相加，乘六合。

蒯：卯乘太阴，得旺气，加申。

相：寅加午。

查：寅、卯乘胜光加坎。

后：酉加卯，乘朱。

荆：以巳取之。

红：卯乘天空；或以巳、午临丙、丁取之。

游：亥、子加申。

竺：卯加火。

权：六合加寅，乘旺酉。

盖：六合乘休气加酉。

公：以亥取之。

以上姓氏，专责发用上，以五行衰旺分明之，不必兼取日辰上神。

六、分类占断篇

本篇集中于各种事类的占断，或以散体、或以诗赋的形式言判断原则和具体断法，为壬学中不可分割的内容。其中的《类占》，即《大六壬类聚》中《类占》部分的内容。《占断各门》出自《六壬视斯》，仅将其中与《类占》内容基本相重的“占疾病”一节略去。因本书专有《星煞篇》，为不致重复，对《占断各门》原附的“神煞”内容一般仅存神煞之名，但极少内容上较《星煞篇》所言更具体者，则选出另录于后。《心机独悟》出自《大六壬类聚》。《大六壬会纂指南》出自《大六壬指南》，其后所附“释疾病章”出自《六壬大全》。《龙首经》（节录）见于《古今图书集成》。《军帐赋》、《兵帐钩元》分别取自《六壬大全》与《大六壬类聚》。

就内容类别言，《类占》内容多属平时常见事类，少量内容属于兵占。《占断各门》、《心机独悟》、《大六壬会纂指南》所言皆平时常见事类。但对相同事类，四者所言有浅深、详略之别，且互有补充。对比研读，庶可对其中某些较艰深的内容得以理解，并对同一事类的判断原则、方法全面了解。《龙首经》诸项，内有“选择”方面的内容。《军帐赋》、《兵帐钩元》皆属兵占。

“占例选录”共选五十余条前人占例，从中可更具体地了解前人判断之法和所据之理。

(一) 类 占

天文

凡占晴雨，坎为水，而壬、癸、亥、子、后、元皆坎类也；离为晴，而丙、丁、巳、午、蛇、雀皆离类也。坎临日辰及发用主雨，离即主晴。巽为风，而辰、巳、勾、蛇皆巽类也；震为雷，而甲、乙、龙、合皆震类也。巽临日辰及发用主风，震主雷。

凡占雨，要亥、子二神及青龙在课传，刑克日或日上神者有雨，不然无雨。如丁卯日，子加丁，申加卯，申子为水来克丁火，即日雨。月建生扶亥、子及龙雨大，月建克制亥、子及龙雨小。亥、子、龙落休囚则阴而无雨。亥、子加于巳、午、未、申，巳、午加于亥、子、丑、寅，是水升火降，主累日雨。临土受制无雨，居北方为退居江湖，无雨。青龙临申、酉主雨，不以克制论，盖申为水母，酉为兑泽，若金旺更大。青龙所乘神克日有雨，如壬辰日见土龙是。青龙生旺升天大雨，乘亥、子、丑、寅无雨，盖寅为入庙，亥、子、丑为游乐江湖，不能变化；并入墓，无雨。

凡占雨，虽专看青龙，若虎临亥、子亦有大风雨。大抵龙、虎须以投神合看。虎投甲、乙，先风后雨；龙投庚、辛、戊、己，先雨后风。子卯相加亦有雨，子为云，卯为雷也。后、元合而入传主雨。欲知雨期，以所用神加下辰为应期，如龙乘子加申，便以申为期；又如亥、子加午，即以午为期。又专以青龙位下决之，临巳，巳日雨也。又以龙所乘神决之，乘神克日即雨，如壬癸日，龙乘土是未，为风伯。

凡占晴，看巳午二神、蛇雀二将，在课传，刑克日或日上神者晴。土临日辰上，无克制，主晴。三传皆土主晴。蛇、雀加巳、午上

晴。天空解得辰上神，凡入得占神，看巳、午、蛇、雀所临之地，为晴期。

地理

日为生人，辰为亡人，辰阴神第四课为坟陵。亡人庇荫子孙，以干支上神将论；穴中无有水蚁，吉凶如何，以辰阴上神将论；葬后子孙吉凶，以发用神将论；地势形局，以三传神将论。地势形局，柱山作穴，兼作元武。寅为左龙，申为右虎，亥冲巳为案山，朱雀各以四位上神将详之。未葬之坟贵生旺，已葬之坟忧动摇。时、日、月旺，月德、天德临支，此上吉地，可葬。若已葬地，辰之阴阳俱欲静而不动，欲安不欲刑害，三六合、上下比合大吉，若逢占时与亡命之驿马，主迁移不定。已葬未葬之坟，俱喜阳而忌阴，课传六阳神多吉，六阴多不吉。辰上之阴阳神旺相，与辰相生合者吉；休囚，与辰相刑克者凶。辰生日，并辰上神生日者吉；日生辰，与日上神生辰者凶。辰上神与辰自相生，不来生日，墓虽不荫人，亦不生灾。大抵逢吉神将则吉，凶神煞即凶。吉神者，贵、龙、常、阴、朱及传送、功曹、生气、天喜是也；凶神者，魁、罡、蛇、虎、勾、元、后、飞廉、破碎、天空、死神、死气、羊刃是也。辰之阴阳神，若得凶气煞，又刑冲破害者凶。

选举

太岁干为考官，岁支为场屋，日干为举子，日支为题目文字，为榜案。四处有吉神，带旺相，即吉。进学、进乡以月建为主司，会试以岁破为主司，殿试以太岁为主司，主司带龙、朱，生日辰、年命不空者，俱中兆也。小试以三传分县、府、道，大试以三传为三场考官。虽有分属，然俱看幕贵为主。如幕贵乘旺相，生日辰、年命，必中。旬首作幕贵中高，如乙、己日，子、申作幕贵是也。朱雀乘神作幕贵，文不中主司之意。选举全看幕贵，后以朱雀为类神，虽不入传，亦须寻

讨。朱雀临午名真朱雀，乘旺相入课传，无刑克，而生合日辰、年命者，文章显名；又喜临东南方，若临亥、子为投江，临西方为克战，主文字不畅。

三传生日中。进连茹俱生日者中。天、驿二马，天魁、太常为印、绶，四位临日辰、年命，全备者必中。日德加亥发用为入天门，必中。丑中有斗，未中有鬼，斗鬼合为魁，丑未相加在年命、日干者中。酉、戌临年命、日干相生者中。甲戌、甲辰旬内得辰，戌加日干、年命，相生，必中元。若殿试，于甲辰旬内占，辰作太岁生干，状元无疑矣。

六马并在六处者中，然学试、省试重马不重禄，会、殿试重禄不重马。学试、省试专重文书，不重官鬼；以其克我也。

会、殿试，即拜官期也，当兼重矣。小试，如进学及考科举，只干上、三传旺相生合、朱雀俱有力。若乡、会试事大，必须元首、时泰、龙德、三光、三阳、三奇、六仪、铸印、乘轩、斲轮、富贵、官爵之课方可断中，元台得吉将中。

占官爵

以日为人，辰为官职，岁为朝廷，月为部。文看青龙，武太常。寅天吏，申天城，河魁为印，太常为绶。凡占官，视太岁、月建、龙常、城吏、印绶、贵人、朱雀、日禄、天马、七驿马，入传，临日辰、年命，旺相生合者，主得官升迁，若有刑、冲、破、害、墓、绝、空亡皆不遂。最要官鬼透露，与其日辰旺不如官鬼旺也。若官被子克、印被才克，皆不宜也。

官要与禄兼看，日禄、命禄临正时上，并吉神，主升迁。天驿二马与禄并亦主迁。元、后、蛇相值主休官。日辰刑克，又兼元、虎，主上官嗔怒。传顺，得太岁发用，迁速。传逆，若乘马带丁，迁不如意。天空亦占官所忌。若已上迁疏者，得天空发用，三传相生旺相，旦夕可得朝命。

凡文以青龙为主象，立于旺地为吉，无气地为凶；临日辰年命为显，不临为晦也。与日辰相生长久，相克、内外战不利。日生青龙主象，主外除；青龙生日，主内补。又以主象落处为食禄地，又以禄临处为食禄地。日去主象为岁期，辰去主象为月期，主象生处为日期，克主象为时期。如甲子日，青龙乘申立辰，从寅至辰为三年；从子至辰五位，为五月；申所生为壬、癸、亥、子日；克申之时为丙、丁、巳、午时。

谒见

以日为我，辰为人。若是贵人，即看天乙加临，兼辰上，并彼所居方神；若平人，即专看辰上并方神。天罡亦宜兼看。谒贵视天乙，无论入传，但所乘神生合日干并年命，主喜见，必会，刑、冲、克即不然。贵临辰、戌主怒，若生亦喜。若干才，初传便见才，及青龙入传。干文字要朱雀，酒食要小吉，衣服要太常。类神得地即见。文官青龙，武太常，文人朱雀，夫人天后，妇人神后，僧传送，道功曹，须干上与类神生合比和为吉。日上克辰，他不出见我；辰上克日，日上生辰，见之无益。如甲戌日，未加申，卯加戌，戌既刑未，卯为日刃，刑而且刃，见必怒。日上见空亡、天空、元武，我自不去；若辰上见之，彼不著意，即许亦虚。

访人在否，用神与所往方神合即在，不合不在。如用寅，往戌、亥、午方，以午、戌与寅为三合，亥为六合也。方上神见子、午在家等，见申、酉在路行，未在家饮酒。罡加孟人在家，罡加仲在家等，罡加季人在外不得见。

家宅

干为人，支为宅。宅上神并三传来生、旺、德主大吉，若克害、休囚不可居。日上神亦要看，若生合乘旺即人安，相克刑害不安。再

以干上、支上并看，生、比、合吉，若刑、冲、破、害、墓、绝、克战凶。人宅利阳不利阴，阳旺阴衰吉。课得阳备，阴不备，人旺宅不全。阴伤，阳不伤，宅安，反此否。干支上将吉即安，凶即不安。天乙是贵人之宅，龙、合、阴、常富贵宅，蛇、虎、勾、元亡凶之宅，天空是奴婢、畜产、虚耗之宅。白虎乘发用，旺相来生日辰，大发横财，但不久，生气一退即败。凡买宅，看课传中龙、合、贵人，与家长年命相生吉，相克凶；人宅生旺有气吉，否凶。

婚姻

以干为夫，支为妇。各乘旺，生合吉。次看男女本命、行年，相生合，而用传类神俱吉，即全吉矣。若干支先已刑冲破害，即不必问命年矣。干上神克支上神，女家不肯；支上神克干上神，男家不肯。青龙属婿，天后属妇，六合媒人，三神俱宜出现，详其衰旺。发用亦属媒人，若值吉将并六合，媒人得力，生干为男，生支为女。干长生为翁姑，支长生为岳父母，看其休旺可知盛衰。用传生日赠送丰厚，日克用传即否。

占女容貌性情，天后乘旺相，日辰上下相生，必貌美而温柔，反此否。若太阴乘卯、酉发用，或临支上，主淫佚；或六合、元武、天马、丁神发用，或临支上，主淫奔。日上神克日害夫，辰中有气助之即夫不利；辰上神克辰害妇，日中有气助之即女不利。如甲戌，申加甲为贼，戌中有辛金助之，夫不利。贼辰反此。若天后上下神生日辰与日辰上神者主孝顺，克主忤逆。日辰上相生合即夫妇和睦。害支生干，妇道无亏；害干生支，不吉。若占子息，如夫在午，妻年在寅，春占木旺火相，年中必有子，以女年上神孕产之期，见某月将即某月。

胎产

未孕之先，要台神出现，兼生气，方许有孕。既有孕，要台神旺

相，方保不损。临产，又要台神空脱冲破方可定期。以干为子，支为母，干受克伤子，支受克伤母。支生干顺，易产；干生支为逆，难生。三传生干吉，干生三传不利。

喜台神作日才，又为月内生气，主妻有孕。如七月甲午旬壬寅日，干上午发用，壬台在午，午为壬妻，七月生气在午也。丑为母腹，若临台神，即台在腹中之象，主孕；若丑值空，即腹空，占孕必损，占产必生。支台神临支上主孕，如寅台在酉，酉加寅是也。日台神临支，支台神临日，亦主孕，台神临妻年命更的。元台主孕，却分三等。如寅加亥，为长生，最吉；如巳为病，主孕时有病，或生子多病；加申为衰，生子衰弱。台神临长生主孕，临产反主迟难。六合，子类神也，临月受克，子凶。天后，女类神也，临月死气受克，母凶。如死气，三月中，四月酉。六合属木，加之即受克也。

占产迟速，不要见三六合日时，主迟；要见空亡、脱气并传退，即易生。若进茹元台，子恋母腹，主迟难。台神临日，或临日干，当日即生。台神值空、受克亦生。养神临占月克台神主速。干加支是子母相恋；产迟。惟支加干速，支为母，俯首以见其子也。五行逢绝处为绝台，主速，如巳、亥、寅、申相加是也。

欲定产期，专责台神。刑破台神之日生。月内生气之日生。子爻长生日生。又以用神三合定其月，用刑冲定其日。天乙顺，日生；逆，夜生。胜光者，产神也，所临之下为产日期。辨男女，刚日干上得阳神为比，生男，不比生女；柔日干上得阴神为比，生女，不比生男。次看母行年、日上、年上，俱阳即男，俱阴即女；阴阳相参，又择有气决之。日上两课发用为阳，上克下主男；支上两课发用为阴，而下克上主女。如三传俱阴，又临阴地，阴极生男。

出行

以干为行人，要旺相、吉将、生合，二马加临，即吉。辰为道路，

生日生年命吉，反此凶。日上神生合用神行速。若日辰生合，行必缓，未行以辰为家，相恋故也。日辰上下相克行，日干空亡不行。日辰在天乙前行，在后不行。三传逆，谓之回马，不去，或空亡亦不行。日干支不行，以支主静也。自生传墓速，自墓传生缓。墓神、关神临日不行，若三传、年命上神破墓关即行，不然待破冲月日可行也。若申、酉、卯加日辰、年命定行，加白虎亦行。时空不行。时加日即行。伏吟不行。反吟已行复还。马在用传行速，三六合主迟。

出行要与日上相宜，方若克日凶，日干见金西行吉，见木宜东。

以日为陆，辰为水，看其上神将生合吉凶，刑冲生合年命决之。投宿，日为行客，辰为旅店，彼此生合即吉。失伴，胜光在天乙前，其人在前；在后，人即在后。

行人

以日为行人，辰为家宅。日辰上神彼此生合即来，刑克被害必不来。日加辰上，辰加日上，乃为日辰相见，行人必至。若日辰相加，同会未传，即日至。如戊申日，申加戊，未传又申，即刻会合。又癸巳日，巳加癸，未传又巳，主不至。何也？戊申相生而相会，癸巳相克故也。日干在东南，酉临即归；在西北，卯临即归。盖东南是昼，遇酉即墓，墓即有归意；西北是夜，遇卯即晓，晓即登程矣。又日在东南，传归东南，即来；日在西北，传归西北，迟来。东南明，西北暗也。

辰上两课发用来速，日上两课发用来迟。发用见支来速，见干来迟。用加在支，当日可到。又用在支前即来，以用临处为来期；若在支后，行人未动。又用在日前为向日，将至；在日后为背日，不至。用见正时，与时归日辰上，俱速归。三传与日辰相克害者不来。

初传空，其人在彼处欲来不来；中空，若有马，至中途有阻；末传空，为行人足空，主来。更得末传上克下，旺相有气，谓之足动，行

人至。

行人本命、行年加宅，为本命入宅，即归。年命若克支干不归。年命入辰上二课发用即来，入日上两课发用来迟。

年命发传，或未传，即归。日近归期亦近。

又专以类神占，入传课，生合旺相，必至，以所临地盘为至期。如贵人视天乙，父母太常，兄弟太阴，子孙六合，朋友、夫婿青龙，妇人天后，奴婢天空，贼奸元武，丧柩白虎，官吏天罡，斗卒勾陈，文书朱雀，舟车太冲。

凡天官入庙，在日辰间发用，主在他乡住定未归。

天乙加卯酉，或临日辰，或日辰发用天乙前，皆至。白虎为道路神，太岁为家宅神，虎旺临行年、乘太岁，或与日辰合，或在初传，皆主速至。勾陈在日辰、行年发用皆不动。天罡乘马，虽不入课传，当日至，并马尤的。传送发用，或加日辰，皆即至。又以卯、酉二门为度限，子、午二至为来期。如行人在寅、卯、辰、巳、午、未六方，以酉为限，子上神为至期；至在申、酉、戌、亥、子、丑六方，以卯为限，午上神至期。如占东方寅地人，仍在旧处，未动，加南为已发，加酉为度限，而子上见何神，即为至期也。未度限，不可便决至期也。

又卯酉二门上神不宜与行年相克。天乙逆行，以天上行年逆还地下行年，天乙顺行，以天上行年顺还地下行年，是谓还家年。或过门不过门，最怕门上神相克，主不归，又怕本宫上神克之，亦不归。如寅为行年，加未，贵人逆治，随贵人逆入门，卯门上见戌，戌中有辛金克之，不来。若贵人顺治，即顺行入门，酉门上见辰，不克，即来也。卯、酉发用，行人已动，三合日至。又专看二马，马加卯酉生日辰速至，加日辰上亦至，或信至。二马并道路神即至，二马遇三合日即至，又云墓绝日至。但马入厩，厩既午也，主不至。驿马上克下起身在途，下克上束装要行。

游戏二神加四仲、四季速至，加四孟不至；入课传，并二马，及

生日辰，俱至。墓加干支入传即至，若自墓传旺生旺不至，传墓入墓至。

占来期，三千里外将军下，如亥、子、丑年在酉，临子，即子是至期。千里外看岁支下，五百里月建下，百里日干下，五十里时下，必度卯、酉之限者方用。

行人在外，不知下落者，以行年所加之处，旺相，与方神相生、比和、见吉神即吉，反此即凶。

占信息，以日干为占者，用神为行人。要日干与用神相合、比和有信，反此无。又朱雀与信神在课传者有信，若乘二马有速信。欲知信期，以朱雀、信神所临之辰为期也。

以初传为去时伴，末传为归时伴，以先天数加减论之，一、六水，二、七火。

求财

财爻、青龙俱要入传，或临日辰；若不出现，犯空，即不能获也。二神亦要旺相，即财丰，休囚少，逢比劫即亦少矣。

若发用是支之财，方为真财。如戊寅日，辰发用，为支财，求得辰上神及财神生日，无刑冲克害，可得，反此不得。凡财宜旺相，与日辰、年命相生即易得。若土才临在申、酉鬼，取反为灾。如初传财，中末生助，或中传财，初末生助，俱吉。若纯财太旺，恐化为鬼矣。若初财，中末或墓，主财十倍。若财墓，又防空破，主在库中有失。如财墓加干，得三传、年命有破墓之神，可空手求财矣。日、命禄上课传更妙，所谓一禄胜十财也。日辰、年命上见暗财吉，如甲遁得己是也。土日得金局，金多生水，亦是。又以财位数至青龙临处位为几分，以休旺加减。又生气、青龙即加倍算，死气、休囚即减半。

所往方是午，上得寅，行年寅上得戌，寅克戌，是方克年也，不利。若行年子上见申，是年克方也，大利。大端财爻、青龙所落之方，

往必有得。

占买卖，要类冲入传，买者要相生比合则易得，卖要相冲克则易脱。

占借索，只以日辰生克论，亦要财神旺相。若无气，是彼人无；刑克，彼人怒。占借物，当以类神代财。凡博戏之财，一人占，得吉将胜。二人占，看行年，行年同，看方位。

商贾

以干为人，支为物。要类神出现，与日干相生克。相生买易得，相克卖易售，若无其类不能成。

类神有气生旺，其物必贵，休囚必贱。

辰生日、日克辰有利，日生辰无利。辰克日折本，刑害尤甚。日辰俱吉有利，反即否。正时亦不宜伤，伤即不吉。

以日为买主，辰为卖主。日克辰买得值。日上神生辰上神，买得亦贵。辰上生日上肯，刑克不肯。日上刑克辰上，我不买。

卖物以日为卖主，辰为买主，贵贱同前断。但物类，买即要生我，卖即欲克我。课传上见空、脱、刑、克、墓、绝，其物可卖，生旺反迟。凡人与我合作，生意合本，视传课阴阳中取六合，与我相生、比和、旺相吉，相克、财落空凶。若在路卜吉凶，亦看六合，有气不落空亡吉。再论贼盗，又以元武、空亡、劫杀等论。

讼狱

以官鬼为听断之司，勾陈为切紧类神，以其判断之衡也。始入词，视朱雀；词已成，专责勾陈生克，以言胜负。

日为词主，辰为对应。日克辰我胜，辰克日彼胜，日辰俱刑伤两损。若日辰同位，以日上辰为我，建干为彼；若又同，即以建干为我，时干为彼；若又同，即以时干为我，将为彼。

日生辰，我求彼；辰生日，彼求我。日得贵官，助我；辰得贵官，助彼。日克朱、勾，我胜；辰克朱、勾，彼胜。朱、勾克者，公吏屈折我。日上见鬼，我受责，辰反此。日上见官，官只问我。

日上见兄弟，我有强证，辰反是，并见者牵连人。

日上见子孙，我吉；若子孙生辰，他吉。辰上子生日，我吉。日辰见父，二家俱有文卷照证。日上见财我使钱，日辰俱财，俱有人情。日上空，我不欲词，两空即有解散。日辰上相生、三六合、比和，必和。日上墓，我事不明，或入禁。辰反是。

用传生日，不论曲直，事体皆轻；克日、带凶将凶。三传有空亡，讼解。初中空，解前不解后，未空则解。

勾陈为主，怕作鬼克日、克行年，发用带凶杀尤甚。然勾陈要看阴神，阴神化凶化吉。阴神得白虎，与勾陈俱有气克干，凶极。若勾凶而勾阴得天乙、吉神将生合日干者，可救。

期候：初传与日旺、官旺即决。问何日绝决，四课三传刑战未已，未可言绝，必末传克用、克鬼必决，以日墓绝之下为绝期。

凡天乙乘岁君、月建，不论入传，俱有恩赦，在二八门亦赦。

青龙、天后生日有赦，龙后并太岁亦然，加日辰、门户立到。

凡天乙、太岁并皇书、天喜等用传，天月德加日辰上下，皆有赦。占狱出，门关神、天牢、天空入用传，或加日辰、年命，俱主入禁，见钥放。勾陈爻用克日辰者禁。勾与日同，主久禁。自生传墓者禁。自墓传生，冲破墓日放。辰、戌加日主动，未入者禁，禁者得放。伏吟不出，反吟、斩关得出。占关即以日为我，辰为干事之人，日辰相生可谐，相克否。

占捕人，日克辰、勾陈克辰，追得出，反克追不出。朱、勾生辰，捕人受囑。日上见朱、勾，乘空亡，捕人不力。辰上见空、墓，寻不获。

疾病

凡占病吉凶，虽不离干支、三传，而年命、虎鬼最为紧要，犹重在年上。行年有气，虽病重不死，故虎与鬼、墓专于年命二处推究。若鬼乘白虎克日、年命者极凶。干为人，支为病。如支为鬼来加干，是病克人，凶；人克病，吉。干上神最要紧，取其克虎克鬼吉，又怕支来窃我之气，如甲午日得火局之类。日干与本命相克凶，如亥命，午日，亥加丙上凶。日本长生不宜受克。日干上不宜见马，谓之游魂，凶。三传自旺方传入休囚死墓者凶，反此吉。自墓传生，虽干墓亦无妨。鬼若临旺，他自贪生不来克我，若休囚死绝方是真鬼。鬼坐墓极凶，如暗地陷井，难以回避；若临克地、受制、落空亡不为凶。三传纯才，生鬼大凶。子为克鬼之神，多又泄气。年命、日辰乘德克虎须吉，亦分真假，如甲申日寅为德，缘遁庚，此德反为鬼也。甲子日申为鬼矣，遁壬生干不为鬼矣。墓畏夹合。如干上墓加、入庙，天将夹墓凶；如辰是墓，见酉合，凶。喜冲破，即吉。如丙、丁日，干上戌，传遇辰冲之，吉，忌辰空无力。若年命上再有辰冲，凶即解矣。墓旺亦不为凶，如春占，辰为旺。一专责白虎，不论入传，若虎阴生虎大凶，此克日、年命者论。若阴与虎相克，主不死。虎与日、年比者病难愈，发用克虎即愈。虎加午为烧身，加申、酉为自伏，不为灾。虎加岁一年内，在月内凶，岁前一位来年凶。魁罡作鬼，乘凶煞，临日辰、年命，最凶。

天德、月德、月合、天乙、月将俱为救神，不如生气更吉。干支、年命落空亡，少壮、新病愈，老弱、久病凶。凡占不宜三合，病不得解。

死气、死神、病符、死符，皆以鬼墓为主，详其生、克、旺相、休囚、刑、空、破、害以分吉凶。然课吉终吉，不可专泥神煞也。

得病根由，以支为主。先看干来生支，如甲午日，寅加午，乃禀

受不实。干加支被克，如甲申日，寅加申，乃劳费力得之。又以干上决之，干上见天乙，病起忧劳辛之事。又有壬、癸日占，白虎乘丁未，断其往妻家得病，盖以丁为妻，而未又克壬、癸为鬼，故病。又日受虎克神为病因，如木虎病在脾。

占寻医，视天地医所临之方请之。男、女，以魁、罡加行年，于功曹、传送下请医。如男子，三十一岁，行年在申，以罡加申，则功曹在午，宜南方请医；如女，三十一岁，行年在寅，以魁加寅，则传送在子，宜北请医。病期视日辰所喜，得某用神相扶为愈期，所忌并相克为凶期。总是课传之中，日辰、年命得力，救神临处制鬼、虎，旺衰之日为准。占六亲，以干为尊，支为卑。尊占卑，要支神旺相也。

贼盗

日干为失主，元武为盗，元阴为盗神。以元武乘神定盗之男女老少。

元阴所乘定盗之犯否、生死，即盗之所在，天地盘相加定其远近。

盗神所生之方为藏物之处。

勾陈为捕。获盗日期，皆以克武克鬼之时决之。

太岁加元，贼走入京；月建加元，走入府州市井。元顺去远，元逆近潜伏。

元武与阴神相克，有人出首。

盗神与雀、勾、蛇、虎并，自败；与太阴、六合并，有藏匿之处，难获。

日辰、三传、年命上有克盗、盗神者易获。

元坐辰，戌必败，若与相生，捕卖放。元武带死气亦败。元武乘月将名露形，须生亦败。大抵元武坐日方即易获，夜即难获。

勾陈克盗神易捉，反是则拒捕矣。勾生盗神，捕人纵贼；盗神生

勾，捕人受贿。

初传为贼，中为脏，末捕人。初克末难捉，末克初易捉。如元武立戌，即西北方，阴神乃迁移藏匿之处。三传有一传不克，即是盗止处，一传生之亦然。

视盗神所在，得神后在北方水泽之处，大吉在北城池、雨坛、龙王庙等处，功曹在东方林木、堤岸之所，太冲东方竹木家或竹水匠。

• 盗神上乘贵人，旺相相生，在贵宦人家，不可得获。若乘蛇生旺，在富豪之家，虽多惊恐而不可得；若休囚，在凶恶之家，相克即获。元武所乘，阳神为男人，阴神为女人，有气为少壮，无气为老弱，乘寅为公吏，卯为经纪，辰、戌为军人，巳为手艺，午为炉冶。

• 贼数目，与岁月并者多人。又云，贼去本家知伴数，谓无武与阴神相去也。如武乘戌加申，戌上见子，相去五位，是五人也。旺即加之。如戌子加倍。如木为贼，非三即八之数。

• 远近，以盗神上下相乘论之，如“子午九”之说，以休旺辨远近。

盗神是水，水生木，旺相，其物必藏树林中，休囚即在草柴中。

元武乘土，即甲、乙日获之；岁上神制元武，岁中得；月建上神制元武，即月中得。欲知物处，以元生处视之，如元是水，旺相，物在林中，东方；休囚，草柴中；死，在柜中。余火为元，旺相，物在土中。

逃亡

逃亡以日为人，辰为避所。日辰上神将吉，生合比和，去大吉。日上旺相吉，空亡见鬼贼凶。传进宜前去，传退宜后逃。前神将吉宜前行，前见鬼莫进，后见鬼勿退。传生旺宜远遁，休囚宜近。日干生旺之方安居无咎，鬼方宜避。如甲、乙日，畏申、酉，宜往亥、子方，泄申、酉之气；或往巳、午方，克申、酉之鬼是。天上戊、己之下可以避难，如甲子旬，辰、巳为戊、己。若六辛下，被捉。辰、戌发用宜速行，丑、未发用宜伏藏勿动，斩关、游子宜逃，伏吟要日干所喜之天

将入庙吉。如申日，龙庙于寅，阴庙于酉，宜避酉向寅。

遇天关难脱。辰加子为天关，加午为地关，加卯为天格，加酉为地格。

捉逃人，以干为己身，支与元武为逃者，看元武与用传、年命生克、乘旺，并吉凶神煞。及其方向、期候，照前捕盗占法。

元武为逃人，元武所临为逃地，勾陈为捕者。元武加空亡、死绝、魁罡等煞，在外病死难获；元武落父母方，其人必投亲戚；落鬼方，在仕宦军伍家。元武入课传，出现，主近，不出现主远。传进即去，传退即回。三传无捉获之神难寻，中末传加支自回，武生日当日回。

又看类神，如父母、兄弟、子孙、妻财爻是也。

又尊者看太常，父看日之德，母天后，夫青龙，妻神后，兄弟子孙看六合，孙登明，姊妹太阴，以此为亲。

朋友看六合，佣人朱雀，奴河魁，婢从魁。再察逃人年命所向，神将比和在外安住，克害刑冲奔走不安。

奴婢

干为主，支为仆，天上戌为奴，酉为婢，所临地盘为奴婢。支生干、比合，无刑冲破害，类神旺相之方，不致休囚空墓，即吉。支与类加干克干为犯主，地生我得力，我生地难制。支上为奴婢本家，恶见刑害，贵人刑害被主凌辱，天后刑害主母凌辱，太阴刑害同类相妬。奴婢不宜见丁、飞廉、月厌、天驿二马，定主逃亡。

农桑

日为田主，为农人，为耕耘。支为田亩，为苗种。类神、日上神旺相吉，即农夫吉，否即迟滞不利。辰土神旺相，田苗茂盛，否则欠丰。日辰上神比和、生合则收。日克支上神，耕不如法，支上神克日，

田禾虽盛，终致耗散。五谷类神：金主二麦，水主稻与黑豆，木主梁谷、瓜果，火主黍、赤豆、枣、栗，土主二麻。入课传、临旺相地主收；若不出现，或刑克空亡，不收。日生三传，耗费无成；三传生日，大利。

五谷视太岁为丰欠。岁上之神宜与类神和合，刑克者不收。岁上见魁罡田不熟。次看天乙所乘神，合其类者主收，类神乘太冲、从魁、神后大收，见亥半收，太乙苗而不实，丑、未有蝗虫。

五行不宜偏胜，金胜主蠹贼，木胜主稀疏，水胜主腐烂，火胜主枯槁，土胜不收。

占岁中宜何种，以月将加立春之时，视太岁上见何类神，详三传生克，以定所收多寡。

禽兽

日为人，支为物。支吉则物吉。看类神天盘，临生旺，或本日长生之方，带吉将，即物俱吉；或临死、绝、囚、墓、受克之方，则物凶，凶将亦然。天地盘宜兼看，盖地盘乃物所属本命也。物类所临之神生干、比和则生长有利，克干则否。干克物，物即难长进；干生物，偿物债，无利益。

类神所临刀砧与血支、血忌、月厌、死神、死气、白虎主疾病死亡，带元武被盗。类入三传为吉。如牛、羊、犬属土，怕寅虎加临。类神：寅猫，卯驴、骡，辰鱼，午马，未羊，亥猪。凡买六畜，视类神本位，有旺相气临之可买。

凡畜走失，以类神所临之方为方向，离辰远即路远。天乙顺行责蛇，逆行责元武。三传有鬼、蛇、武，是人盗去，无即为走失。视日辰上神，能制蛇、元、日鬼则获，反此不获也。辰生日自回，类神入日辰自回。反吟去远，伏吟未去。

蚕桑

以午为蚕，寅为茧，卯为丝，申为绵，辰为箔，巳为筐，未为桑。各要旺相，见吉将者吉；若见酉、戌、亥、子、丑，蚕皆不利。又以蚕姑行年上神与蚕命上神，生比吉，刑克凶。若蚕房，以蚕姑行年加太岁，看寅、卯、午、未下，其房吉。

怪异

神后为贪狼，专主怪事。神后加子即鼠怪，加丑鬼神怪，因类推之。

占人家有酒否

从魁为酒，日辰、三传有酉，相生合，无刑克，为有酒。若无酉，或酉落空亡，临天空、元武，刑害克战，为无酒。旺多休少。未为酒缸。酉克日主醉，生日半酣。辰为客，反此。

闻事

以辰上神克日上神为实，反此为虚。若初末见空亡，及魁罡、太阴、空、蛇临日辰，皆虚。

凶事视白虎，吉事视青龙，与今日比合即实，不比合即虚。

占扣门何人

日上见罡为凶徒，戌卒，亥为征人，酉为女子，未为乞食，巳为乞儿，午请宴，卯人来佣力，寅吏，丑贵相召，申行客僧道。或以日辰上神决之。

补占武举

以巳为弓，申为箭。申加午必中红心，凡加四仲为中垛，加四孟中角，加四季为脱垛。若日之墓神临辰，主开弓数箭必中。

婚姻占

婚姻之求也，必先于男，故择妇之占，犹当详之。青龙，男也，夫也；天后，女也，妻也。日，阳，男也；支，阴，女也。如青龙旺，则男为佳婿；天后旺，则女为佳妇。青龙之阳神上乘天乙，则男为贵客；天后之阴神上乘太常，则女为贵妇。青龙所乘之神生后，或与后比和，则男益乎女；天后所乘之神生龙，或与龙比和，则女助乎男。此以龙后而占男女之何如者也。日上神旺相，则男吉；辰上神旺相，则女吉。日上神乘天乙，则男贵；辰上神乘太常，则女贵。日上神生辰上神，或比和，则女与男相得。日之阳神旺相，则男家富；辰之阴神旺相，则女家富。此以日辰而占男女也。若夫龙、后所乘之神刑冲破害而不相合，或落空亡而带孤寡，日辰上之神刑冲破害而不相合，或落空亡，而乘恶神，兼之龙所乘神克后，与日上神克辰者，则为妨妇之男；后所乘神克龙，与辰上神克日者，则为损夫之妇，皆所当不议者也。

何为成否之占？日上、辰上神比和，而三传三六德合。如甲德在寅，发用是亥之类。暗合：寅中甲，与己合，己日寅发用之类。与龙后所乘之神，兼日上、辰上之神而无刑冲破害者。男家占则重辰上，女家占则重干上。六合所乘之神比和而无刑冲破害者，发用龙、合乘卯、寅者，发用子加丑乘太常者（六合媒人也），三传比和、相生、乘吉将而无空亡、刑害者，三传成神、喜神并见，又乘龙、合、常、后者，课传俱吉，而男女行年上神比和、三六合者，课传俱吉，而斗罡加仲加季者，天后、神后与今日干支三六合者，或日克合、辰克合

者，皆婚姻成就之占也。至成就之期，远者则以龙、后之阴神为成年，近者则定其月，又近者则定其日也。出嫁之日，则大吉所临之辰是期也。

三传初男、末女、中媒，欲其比和相生也。又日克合，男家紧；辰克合，女家紧。

日上、辰上神刑冲破害而不相合，龙、后、六合所乘之神与日辰刑冲破害者，干支上下之神相克，干支上神互克，三传相刑而白虎发用者，天空、空亡发用者，日干克天后，天后克日干者，日生三传，后、合不见者，男女行年上神刑害相克者，课传不吉而斗罡加孟者，男占而日财空亡，女占而日官空亡者，皆婚姻不成之占也。

以天后所乘之神论，日克后则女不肯，后克日则男不允。

第一占女之邪正。如四课全备，辰上神旺相，三传吉神将者正；四课阴不备，传见元、合乘亥、卯、未、酉，与天罡乘太阴者邪。女命上神为日官，乘贵、常、日德、支德者正；女命上神为神后，乘元、阴、桃花煞者邪。

第二占女人之情。女子命上神属水则智慧，若乘恶神或下克则谲诈轻淫；属火则亢直，若乘恶神或下克则执拗散乱；属金则断制，若乘恶神或下克则好杀贪欲；属土则持重，若乘恶神或下克则愚顽自用；属木则秀拔，若乘恶神或下克则倔强难制。故凡不知女子年命者，则以天后所临地盘之神照此例定之。

第三占女子之妍媸。支上神乘贵，则贵重美好；乘蛇，面多红色；有病；乘雀，有目疾，如在巳、午反好，在亥、子面麻，在寅、卯、申发少，在四季则雀子斑；乘六合，姣好；乘勾，粗短；乘龙，美而清瘦；乘空，肥丑；乘白虎，恶而丑；乘太常，美而好酒；乘元，黑而逸；乘阴、后俱好。支上神为支六害有残疾，面目、四肢以类神决之，如亥为首，戌为足之类。大概知其妍者，天后、神后入课而旺相也；知其丑者，发用子加巳，或加四季，与女子命上神见魁罡也。干长生为公

姑，支长生岳父母。

第四占女之有子。以太乙加女之本命，而生月之神，为阳，主有子；生月下神，为阴，主无子。六合与命相生者有子，相克者无子。三传为日之伤、食者有子，为日之父母者无子。子临命上则先女而后男，午临命上则先男而后女。

第五占当女入门之时。以月将加之，视天后所乘之神，伤日之本则公姑病，伤青龙所乘则夫婿残，伤六合则男女少，伤六畜之本命则六畜灾，伤财则财退。反此而相生，则随其类而得助矣。如日上乘天后，支上乘六合，是未取而先通也。课传循环、三合六合，是因亲而致亲也。日临辰上，男就女家也。辰临日上，女就男家也。子加申，酉加寅，则男有二妇。申加子，寅加戌，则女有二夫。巳亥相加发用，主两心不定。六合乘神克后主强横夺妻。

所喜者，三光、三阳、六仪、元胎、连茹、高盖。

所忌者，狡童、佚女、芜淫、八专、孤寡、绝嗣。更有三四女子之当求，而未必何女为胜，则月将加时，而据女子所居之地，天后所乘之神视之。如女居西北方，属水，天后乘申则宜矣，否则不宜。

更有闻媒之议合，而未必其言之虚实，则月将加时，而据六合所临之神，以孟、仲、季视之。

合临孟实，临仲半虚实，临季虚。

成神：正月巳，顺四孟。

喜神：甲、己日，东北方；乙、庚，西北；丙、辛，西南；丁、壬，正南；戊、癸，东南。

桃花煞：申、子、辰，酉；寅、午、戌，卯；巳、酉、丑，午；亥、卯、未，子。

干长生为公姑，支长生岳父母，看其休旺，可知盛衰。

胎产占

占其孕之有无：日辰上神相合，三传旺相而发用为今日之子息者，虎、后、合入传而加干支者，发用辰、魁乘元、后，与血忌乘六合，或蛇乘生气发用，子加丑乘白虎者，夫妇行年上神为三六合、德合、生气者，或乘今日子息无空亡六害者，太乙乘合，临妇人行年者，孕主有。日辰上神刑冲，三传休囚空亡，而子息不见者，课名四绝、无禄、绝嗣而三传丑亥酉者，为传归西北极阴卦，夫妇行年上神利害，乘恶煞，而子息不见者，则孕主无。发用寅未相加，蛇、虎作鬼，天鬼临支克日者，孕虽有而为鬼也。天后乘罡加日辰，与子息乘空、武，或三传克日，传见天目煞者，子息乘死神、死气、空亡，与元胎乘蛇、元、虎者，孕必死。己亥日返吟，子息乘蛇、勾作空亡、六害者，孕必动。

何以占其孕之男女？其法甚多，悉皆虚谬；惟以孕妇行年上神决之，斯为的确。年上神是阳则孕男，年上神是阴则孕女。如视课传，只有二说：四上克下者为男，即范蠡所报者，四下克上者女。课传六阴者男，六阳者女。贵、合、龙、常课传并见者，三传生日者，日辰上下相生、旺相，又得吉神吉将，太岁与日辰入传相生者，龙加正时发用者，则男女贤良。空、勾、元、虎课传并见者，日辰上下刑冲破害者；又得恶将凶神，太岁与日辰不入传，或入传而相刑，白虎加正时而发用者，则男女不肖。日上神吉则男必佳，辰上神吉则女必正。

何以占其孕生期之吉凶？如干上神脱支上神，或三传脱支者，三传逢大煞、空亡、传退者，发用子加戌，又作血支、血忌者，传内白虎乘子、戌爻者，日辰入传而辰脱日干者（如丁酉日伏吟，酉未丑之类，此传脱日也），天空乘日，日生三传者，青龙乘酉为产门而逢冲动者（如卯酉相冲，酉酉相刑之类），则生期速而易。

干上神合支上神，或三传合支者，三传逢三六合及传送者（如

亥子丑之类),发用血支、血忌冲动浴盆煞而无水者,勾、武乘子爻者,日辰入传而辰合日者,课传循环而不见刑冲空脱者,则生期迟而难。

其月期则以发用之三合定,如用神是亥,则卯、未是所生之月。

日期则以发用之刑冲定,如用神子,则刑卯冲午,主卯、午日生。

时期则以用后一辰定,如用子,则亥时是也。若天空、白虎乘日干之脱神发用,与今辰脱日干、作大煞,一无合者,则主当日生。其生日时则以今日之长生定。如甲日则亥时生也。至于用胜光、天罡之法,执一求之,鲜不误矣。

日辰上神各旺相、相生,乘吉神者,日辰上神不相克害者,三传龙、合、辰生日、辰生三传者,或三传递生而不乘恶神者,妇人年上神旺相、乘吉神,而干上吉,则以吉断也。或干上神克支上神,或六合克后神者,或墓神覆支,不见刑冲者,或三传克支,蛇、虎入传而支乘死气者,则损母。或支上神克干上神,或天后乘神克合神者,或墓神覆日而不见刑冲者,或三传克日,蛇虎入传,而日乘死气者,则损子。或干支互克,后合相刑,而日辰上下、四课、三传并无一吉者,则母子俱伤。更有三传俱旺,未乘天后,与课不备而日脱辰者,月不足而生也。发用空亡,传归实地,与阴日昴星,伏吟无丁马,必过月而生也。贵神乘子、午、卯、酉加寅、申、巳、亥,与壬戌日伏吟乘天空者,双生也。传顺、贵顺,或戌加亥者,顺生也。传逆、贵逆,或亥加戌者,逆生也。辰、戌乘蛇、虎作月厌为用者,怪生也。伏吟不动,干支刑克,神将俱凶者,产不生也。伏吟元武加日辰者,生而残疾也。庚辛日神后乘白虎,与卯加辰作天空者,生而缺唇也。

天鬼:正月酉,逆行四仲。

天目:春辰,夏未,秋戌,冬丑。

月厌:正月戌,逆行十二支。

血忌：丑、未、寅、申、卯、酉、辰、戌、巳、亥、午、子。

血支：正月丑，顺行十二支。

浴盆：春巳，夏寅，秋申，冬亥。占产宜见水，占病不宜见水，春辰、未、戌、丑。

大煞：戌、子、午、未、寅、卯、辰、亥、子、丑、申、酉。

死神：正月巳，顺行十二支。

死气：正月午，顺行十二支。

产门：青龙乘酉。

月厌：正月戌，逆行十二辰。天狗同。申加巳、亥、辰、戌为用，名天盘地结，主凶。

选举占

日上神，主文也。日，应试人也。辰上神，场屋也，题目也。以三传言，初传初场，亦为应试人；中传二场也，亦为文章；末传三场也，亦曰主文。以十二辰言，子《易》，申《诗》，亥《书》，卯《春秋》，巳《礼记》，午文、酉武。廷试主文，太岁也；会试主文，月将也；乡试，岁破也；督学府县主文，月建也。天乙、青龙、六合、螣蛇、朱雀，太常，所喜也；勾陈、白虎、元武、太阴、天后，所忌也。天喜、皇恩、五马、印绶（戌印、未绶），所喜也；死气、病符、月厌，所忌也。三奇、六仪、龙德、富贵，所喜也；日墓、空亡、休囚、刑害，所忌也。日辰上下相生，乘吉神者，三传递生与生日者，三传克日而天官生日者，龙、雀乘日上神发用，作日德、禄、官而不陷空亡者，日上神作奇仪，发用螣蛇，未见青龙者，年命上神乘天喜而帘幕贵神见课传者，随所试而主文生日，或乘吉神在年命、日上与发用者，皆可以占其名之有也。如日辰上下相克，乘凶神，三传刑害、无气、乘凶神者，三传递克而克日者，勾、元、阴乘日神发用，作日墓刑害者，墓神覆日辰，传墓日者，空亡加日上与传用者，死气、病符、月厌见三传而无吉神者，雀落空

亡，龙扫墓地（青龙乘未）、天空发用者，元神克日上神，与白虎伤日者，年命上凶神恶将而课传俱空陷者，随所试而主文空亡，或克日，乘凶将居年命上者，可以占其名之无也。

占中高下

廷试，太岁乘吉神生日，或作贵临干发用，五马交驰，印绶、德禄、皇恩并见，六阳足者，状元也；太岁乘吉神生日，或作贵临干，见中传三四马交驰，印绶、德禄、天喜并见，六阳缺一者，榜眼也；太岁乘吉神生日干，或作贵临干，见传末三四马交驰，印绶、德禄、天喜并见，六阳缺二者，探花也。日辰、课传俱吉，而吉神并于初传者，一甲也；日辰课传俱吉，而吉神并于中传者，二甲也；日辰课传俱吉，而吉神并于末传者，三甲也。会试，月将乘吉神生日干，或作日贵临干发用，传见德、禄、马、天喜者，元魁也；吉同上而月将见于中传者，中于后也；末传者，又后也。乡试，岁破乘吉神生日干，或作日贵临干发用，传见德、马、天喜者，亦元魁也；吉同上而岁破见于中末传者，中在后也。小试，月建乘吉神生日干，或作日贵临干发用，传见德、禄、马者，批首也；龙、朱旺相，月建乘吉作贵，见于中末传者，一二等也；若禄神旺相入课传则补廪；龙、朱休囚，月建乘吉作贵，不入传者，三等也。如元胎吉将，六合加子、未、辰、卯，冒籍得也；天后、太阴乘日贵生日，阴私得也。朱雀乘神克主文，主文怒也；朱雀乘日无气，文字败也；朱雀乘亥、子内战，防点污也；元武发用，防涂抹也；三传空亡，卷疏失也。

武举之法，日上、发用与年命上遇大煞、月煞，乘天空、白虎、太岁入传者利。巳为弓，申为箭，午为马，三者并见，又乘吉神，不犯空亡者利。三传克日，羊刃、禄、马并见者利。其余则照此例观之可也。

午为红心。

童生入学，要学堂。甲，亥；乙，午；丙，寅；丁，酉；戊，寅；己，酉；

庚，巳；辛，子；壬，申；癸，卯。乘雀尤的。

行人占

如出门虽久而地近，以月将加时，视天罡下之神，是孟未发，是仲半路，是季则至。若天罡乘马，其至尤速。如远行人出久，则视四课内，墓复干支，二马乘支，是为入宅。类神乘支，支上见天罡，或行人本命临初传，初传是日之绝神，或初传是干，末传是支，或末传归干支上，末传是日墓，或乘二马，或末传戌加卯、酉，或三传内见类神、游神临墓绝，或类神发用，类神乘干支之墓，或虎乘二马，皆主归。归期则以游神下决之。如游神是子，子下寅，寅日至。行人久出杳无音信，则视行人之行年与今日之日干，要天盘日归地盘日。其归之顺逆准于贵神，贵神顺，则自亥而子；贵神逆，则自子而亥。若归从门上过，门上之神不克日、不克行年，及地盘干上之神不克干、不克行年，则其人必归。三千里外视将军煞下之神，如巳、午、未，煞在卯，卯是子，则子月归也。千里外视岁支下神，五百里视月建下神，百里外视日干下神，必应。行人出久不知去向，视其行年之下神，则知从何方去；视行年之上神，则知从何处来。行年立处下克上，日干落空亡墓绝者，死也。如行年卯去加午，则知从南方去；子来加卯，则知从北方来也。归而病者，则末传是墓，而虎乘之也。归而无财者，则年命上与三传俱无财，或见财而落空乘武。归而不如意者，年命上乘败神也，如申命，命上神是午之例，或贵、喜二神见而空陷。他如课传内日克初传，初传为日墓者，初传空亡、类神空亡、二马空亡者，马临长生者，马被合者，与夫天盘日要归地盘上日，而卯、酉门上之神克日与行年，及地盘日上之神克日与行年者，则以不归断。若为人稽留而不得归者，则视类神上所乘之神，断其何人所留。如类神是戌，戌上加本日贵人，贵人所留也；戌上加酉，又乘太阴、天后，是为妇女所留也。若以所至之方为乐地而不归者，

则类神临长生、旺乡与驿马临长生也。若中道而止，不能归者，刚日遇昴星发用、戌加亥发用与发用关隔，或犯天车煞之类也。若病而不归者，行年值病符，乘凶将，马临空亡之类也。若死而不归者，则本命值墓神，乘凶将，马临绝、空之类也。至于人未归而信先至，则信发用也。信未至而望信之期，则视信神、丁神而决也。如信神是酉加子，则子月日信至。行人虽寄信，信不至家，则信神见而空也。或闻口信之传，则视其不犯漫语煞，日上神不伤支上神，而后可为吉凶之实信也。若阴、虎、空、蛇四将乘辰、戌加日上者，其信不实。

请人不知来否，以月将加时，天罡加于日上者必至，罡加日前亦至，罡加日后不至。其人远，则如占行人之例而视类神，要天上类神转至地盘类神，如门上神及地盘类神上之神不克类神者至，克类神必不至。其来临则以类神下决之，如类神是巳，巳加子，子日至。

唤下人不知来否，以月将加今日之辰上，视正时上所得之神决之。正时上见辰、戌、子、午即来，见寅、申、丑、未少顷见，卯、酉在道而转见，巳、亥必不来。

与人期会不知遇否，以月将加时，天罡加今日支必遇，加干前为已去，加干后为未来。贵人视天乙，官吏视寅、青龙，朋友青龙，卒吏勾陈，医巫视申，僧、术士视卯，妇女视天后，仆兵视天空，婢视酉、太阴，媒妁视六合，小儿视卯，兄弟视太乙，姊妹视太阴。生今日干者为父，生支为母。日干生者阳男，阴女。正财妻，偏财妾。

求财占

求财何以占也？占其求之有无、得之难易、数之多少，与夫财为何人所与、财为何物也。占其求之有无，取日干所克者为财，而课传俱有财见，如甲、乙日以戊、己为财，而课传有辰、戌、丑、未是也。或日土神、支上神、命上神，俱以下克上而为日、辰、命之财。如日是寅，上神是丑；支是子，上神是巳；本命是酉，上神是寅。所谓“求财

紧切视三财”者是也。或发用是暗财，而贵神作青龙。如酉以寅为财，而初传是亥，寅木生于亥；又如酉以寅为财，初传是未，而寅木库于未，皆所谓暗财也，而贵神又作青龙。或课传无一财，而三传为伤食。如丁日以金为财，而课传无申、酉，三传是戌、丑、未，而土能生金，财亦自出矣。或日财现于青龙之阴，或旺财临于行年之上。如行年是酉，春占，上神得寅、卯是也。或日克初传，而三传递克，则占求财者可必其有。若占求财而必其无者，虽有前项之吉神吉将而落空亡也。如甲子旬中空戌亥，戌、亥之神将虽吉，亦主无财。若戌、亥年月不作空论。或三传俱是财，而财多化鬼；或发用是日财，而作天空；或课传俱无财，而青龙入庙、入墓。如丙日占，课传俱无金，青龙在寅，伏不动，或在未入墓。或青龙乘空亡，而日辰比肩、劫财。凡此皆无也。占其得之难易，取支来生干则易，支来克干则难；财临卯酉则易，财临关隔则难；财为发用则易，干临财则难；德禄发用则易，伏吟、返吟则难；支传干则易，干传支则难；干上、支上和吉则易，干上、支上背驰则难。其先难后易者，初来克干，而中末被干克也，求之宜缓；其先易后难者，初为干克，而中末来克干也，取之宜速。占其财之多寡，视财逢旺相则多，财遇休囚则寡；发用为财则多，中末为财则寡；类神现则多，类神反伏则寡。如求金银则宜酉见，求衣服则宜未见。太岁作财神而乘青龙则多，时日作财神而乘别将则寡。定以先天之数，如子午则二九十八，九九八十一，加以倍减之法。如子在冬则倍，在夏则减，而多寡明矣。占财为何人所与，视类神。如财乘贵神，则贵人尊长之财；乘龙，主富客之财；乘六合，主牙佻之财；乘太阴，主老妇或婢之财；乘元武，主盗贼或牙人之财。引而伸之可也。占财为何等之物，亦视类神。财乘天后，是水利、酒醋之财；乘天乙，是田宅、牛畜或桥梁之物；乘龙，是公中书籍、柴薪、钱帛之物；乘六合，是船车、竹木之财；乘勾，是田土之财；乘蛇，是炉灶、弓弩之财；乘朱雀，是文字、书籍之财；乘太常，是

衣服、段匹、定婚、饮食之财；乘白，铜铁、刀剑、丧具之财；乘太阴，金银钱玉、首饰、钗镜之财；乘天空，坟宅之财；乘元武，鳞介、畜类之财。亦有空手求之者，则财逢旺相，适值旬空是也。亦有无心而获者，则太阴乘神作日财是也。至于求财之方，则视青龙所临之地，如青龙居午，宜往南方。以求财之时日论，则视财爻所临之神，如财临太岁之上，则以年计；临月将、月建之上，则以月计；临日则本日，临时则本时。其以索债求财者，则详日、辰、时而推之。日为财，辰为债主，时为欠债人。如时上神生日，日上神生辰，或俱比和吉将，或辰上神克时上神，类神发用，索之必得，反此者无。其以博戏求者，则视支干。支为主，干为客。主克客利，客克主损。财皆视上神。若夫日上财为外财，辰上财为内财，财临伏吟则近，财乘二马则远。视何者之财为旺相以求之，亦可得也。

疾病占

一曰占其死生，二曰占其病症，三曰占其医药，四曰占其鬼祟。何以知其死生也？日为人，辰为病，日上神克辰上神吉，辰上神克日上神凶。如四课、日辰俱墓，三传发用复墓，而无刑冲者，白虎乘死神、死气克日，而无救解者，白虎临日克日，或辰作白虎克日者，年命俱墓，复乘死气者，月厌、大煞、飞魂、丧车、哭神同死神、死气填满课传，内有克日者，青龙乘日马，与元武乘浴盆煞，加命上者，德禄发用、加年命，俱空亡者（辰上空为病空反愈），魁罡加日，龙、合、阴入传者，为人占病而类神空亡者，皆为死之占也。其死之期，则以日干之绝神定。如甲、乙日，木绝在申，看申临何辰，临岁不出一岁，临月不出一月，临日不出本日。一法，男用功曹，女用传送，加行年上，以魁罡下辰为死期。年命入墓而四课中有生气，三传俱绝而年命有气者，课传俱凶，而类神在生旺之乡者，课传填恶煞而不来伤日干者，白虎乘神克日干，而干上神反克虎者，白虎乘神克日支与

支上神者，白虎乘神生日，或日生白虎乘神，与白虎作今日德神者，白虎虽入墓而加午上者（如甲日；未为墓，虎乘未本凶，加于午上则为烧身，无畏），白虎克日而虎之阴神能制虎者，德禄发用不空亡者，皆为生之占也。其病之愈期，则以日之子孙定。如甲日占病，丙、丁日愈。何以占其病症？日为人，辰为病，辰上神为受病之症，故当视辰上之神也。神后，伤风肾竭，如天后乘之则男子精竭而女子血绝；亥，颠邪头风，元武乘之则目流泪；戌，腹痛脾泄，乘空则行步艰难；酉，喘咳劳伤，乘阳则发肺伤脾；申，男唇破，女孕危，乘虎则疮肿、骨痛；未，伤食翻胃吐逆，乘常则气噎、劳嗽；午，心痛、目昏，乘雀则伤风下痢；巳，齿痛、吐血，乘蛇则头面疮肿；辰，遗漏、风瘫，乘勾则咽喉肿塞；卯，胃肋多风，乘合则骨内痛；寅，目疼，青龙乘之则肺、胆、胃疾；丑，气促伤残，乘贵则腰腿痿痺。更验十二辰所属：亥、子水，属肾；巳、午火，属心；寅、卯木，肝、胆；申、酉金，肺；四土，脾胃。变通则子，膀胱也；巳、亥，头面也；寅、申，手足也；辰、戌，顶门也；丑、未，肩、背、耳也；卯，大小肠；午，营卫；酉，肺、肝、胆也。何以占其医药？男以天罡加行年上，功曹下是医神。寅下是子，则医在正北方。女以天罡加行年上，传送下是医。医神能克支制虎则善矣。何以占其鬼崇也？课传无鬼，则无矣；有鬼，以所乘天官占之。乘贵，则岳祠土地；乘蛇，淫祠真武，在东南方；乘雀，灶君火神；乘合，家先祠神；乘勾，道路孤魂，先分男女，次列八方；乘青，香火口愿；乘空，古庙神祠；乘虎，横死凶，在申、酉尤的，或系狱神；乘太常，新化先灵；乘元武，斗圣不安；乘阴，女姑阴降；乘后，水亡老妇，旺相则观音愿白。虎乘卯，坊隅禁忌也；虎、合乘四土，则丧家煞神也；螣蛇乘寅、卯，自缢伤亡也；勾陈四土，土神作殃也。死气亦可参看，死气乘合，家有柩也，余可例推。此鬼崇之占也。日干、正时入墓主死，日干死绝亦然。

赌博占

发用从支即主胜。若干上弱，再遁来合支，则客兵必降。赌同占贼来否，看贼将、马、元武。

摇会占

要元武临财，三六合。罡埴本日之鬼，为罡塞鬼户。

渡江过水占

渡江最怕支神伤，支水干陆两评详。岁乘神后遭沉溺，干支临卯车轱伤。日遇罡冲风逆浪，支乘伤克恶泥殃。

渡江怕支上乘神克支，或支克支上神，主沉。子加太岁、太乙亦同。卯太常，主船车，若乘破岁入子宫，主沉没，被干支克伤亦同。

天河地井行船恶，土煞水龙过渡愁。支吉干伤舟可渡，湾池罡指不须忧。

壬、癸、子为三河，卯、酉、辰为三井，有一河加井则不可渡。如亥加酉为河覆井，亥即壬也。丙子、癸丑、癸未为触水龙日，不可渡江。戊寅、己卯亦同。过汗泥，只向天罡下去，自得干路。天罡加孟，船头有补，加仲中有补，加季稍有补。

堪輿占地

龙下为主穴下宾，停匀生旺祖照均。

正时之下地盘为照山，对宫之下地盘为祖山。二者俱要停匀，不可偏胜。须从生克以断其衰旺。

高下五行随数断，两山顾照穴情亲。

祖山、照山之尖、平、方、圆、长、短、厚、薄，俱随五行断；其彼此

照顾联络，穴情，俱以理气衰旺断之。

一十二局为精义，两盘互察须详细。

看数不知看地盘者，如盲子测日也。合天地盘各十二局，为二十四气。故《雨血鬼哭赋》曰：“上下支令合造化，二十四气分玲珑”，语妙。

拱禄拱富出公候，拱贵拱文三台至。

拱禄局者，以正时为主，日干之禄与本命禄在其左右也。拱富局者，正时为主，天盘左有青龙，右有白虎是也。拱贵局者，天盘左有贵人，地盘右有贵人是也。拱文局者，天盘左有紫微，地盘右有文昌是也。紫微子年在未，丑年在申，顺行禄前三位是。文昌惟有辛年在戌乡。

专禄朝天富贵隆，龙楼凤阁公卿第。

专禄朝天局者，正时得本年太岁并，得日干之禄是也。龙楼局者，正时天盘左有青龙、贵人，地盘右有青龙是也。凤阁局者，正时天盘左有朱雀，地盘右有六合是也。三传惟中传为穴，若数局带正时更临中传者，必主富贵之莹地也。

若临仓廩富非常，局到魁罡万事昌。

仓廩局者，正时天盘左有太常，地盘右有六合是也。魁罡局者，正时属巳，加地盘酉，辰在天盘之左，戌在地盘之右，为魁罡局是也。

龙吟虎啸拖青紫，二水中分词藻良。

龙吟虎啸局者，正时天盘左寅带青龙，地盘辰带白虎是也。二水中分局者，正时值天空，天盘左有青龙，右有白虎，地盘左有元武，中存太阴，右有天后是也。龙、虎在天盘合局，元武、天后在地盘合局，不得以元武、天后言水太过而疑其地有水不可用也。

挂印将军成武库，仔细参之诚不误。

挂印将军局者，正时天盘白虎披戊、己，地盘朱雀披丙、丁。戊己土能生金，丙丁火又助朱雀。得此局者，知其必出武贵人也。库乘青六并贵勾，一二三四定房数。

壬占阴宅，惟蛇、虎、天空、元武四者入传贫贱看。若贵人、勾陈、六合、青龙更临墓库地者，当以富贵断。房数分孟、仲、季看。

但入库者便为良，乙青断贵勾六富。

断贵者，贵人、青龙，龙亦显贵之象。断富以勾陈为主，勾陈为土库亦主富。六合为财，六合入库亦以富断。

天后元武水法看，壬癸二神一并参。

元、后二煞，水象也，本支乘此二神，若加披干壬、癸，或地盘更披壬、癸，其穴中之水太甚。二者不必相兼，但以入传为论。

左近即为左倒左，右近须知右法传。

穴左遇之即为左近，穴右遇之即为右近。倒左倒右，看其生克制化，有益无益，不徒以水法详明为喜也。

本干要生地要制，一生一制方云是。

本宫要神生煞，煞生神，地盘要有制，方有用。又要看四时旺相，若遇休囚，无制略好；遇旺相，无制便无用也。

纯生一派看汪洋，多制无情不如式。

水法。天盘遇元武，地盘又遇天后，披干又值庚、辛，地盘又有戊、己制之，必水主无情也。

一湾辛水向东流，武曲之形在左收。

天后、元武临申、酉，或披壬、癸在辰、巳，乃辛水向东流也。水法如斯，为左倒左，此大贵之局也。

水法如斯真足羨，位当一品拜公候。

左武右文。水法倒左，当有武贵人之应。

半亩丰润抱唐蝉，文曲灵源获泰安。

天后、元武水拔壬、癸干，临于戌、亥，此水为水法倒右，坟地主出文贵人，以为文曲灵源也。

左向右流归火库，富拟陶朱后裔繁。

戌为火库，左绕向右流，归于火库，则财必积聚。得此占者，其家必大富渐至，不独出文曲贵人也；后人繁衍，又何疑焉。

乘舟占

青龙发用逢元武，四课披干带火燃。

凡占舟船，以青龙、六合为主，兼看正时。以水为用神，土为元神。水宜见而不宜多，披煞无水，舟即不行，而木无所养；水多带旺，则水泛滥而木漂流矣，是传中不可无土也，故以土为元神。如青龙发用，此船遇木也；地盘又值元武，此船遇水也；初传支却是辰、戌、丑、未，披干又是丙、丁，此水木火土均匀，可称全吉。反是，或逢冲害克破，行舟即不利矣。

乘舟遇此为大吉，若逢壬癸不为全。

前此全吉之象，元武又旺，设若日干又遇壬、癸，则不得为全吉。何也？传中原不可无壬、癸，但水少土多方为十全，又加本日干亦是壬、癸，则水太旺，青龙必主泛流矣。故凡占行舟，其五行最要平和。元武、壬、癸虽不遇冬旺，若乘凶太多，亦为可虑。

六合青龙乘克害，篷桅篙桨未全完。

传中有青龙、六合，或逢本宫干支与地盘神煞克害，主篷桅、篙、桨等件不得完全。盖青龙、六合亦篷、桅、篙、桨船器之象也。

腾蛇若遇刑冲地，长江风浪必掀天。

若发用带腾蛇，遇刑冲，渡江湖必然风波掀天。随看本命之衰旺以决其吉凶。

更值命中临死绝，波心难得保安然。

驤蛇入传，遇日干克害，其支又为本命死绝之地，或支属本命，却为日干之死绝，必主波心丧亡无疑。

太常若到贵人地，神祇保护自然安。

发用若遇天盘太常、地盘贵人，或天盘遇驤蛇，日干又复克害，而地盘却是贵人，或是太常，虽为危险，中主有救也。

课内若逢龙会煞，劝君切勿上舟船。

龙会煞者，青龙临戌、白虎临辰是也。遇此煞临干发用者，切忌登舟，不利，冒昧者必主身亡。

六合青龙逢退气，更临刑害不须言。

若六合、青龙二煞临于退气之支，如春月值金、水，秋冬值火、土之类，更逢刑害者，舟行决然不利也。

众鬼入传兼见戌，或临白虎阴乘元。

传中鬼旺，又临戌，带白虎或太阴，地盘更遇元、阴，上此船必遭盗贼，不可不慎。戌又名河魁，为破败盗贼之神。

此数须知为不吉，出行遇盗费周旋。

戌为河魁，鬼旺临之，又带白虎血神，伏于其下又有元武，金水相助，主盗贼有害也。

发用巳申逢日马，风帆大利去如烟。

惟发用或巳、或申、或巳临申，俱乘日马者，主风帆大利获安也。盖巳为巽风，申为水母，风水相遭，彼此顺利，何快如之。

六青申酉临阴虎，官衙封锁不能前。

青龙、六合，舟船之象，若此煞发用，临申、酉，而干支又带鬼，其地盘又是太阴，舟船出外必被封拿。

子乘龙合临生旺，避金见水遇长年。

占船全要子孙旺，旺则生财。若带六合、青龙，不见金而见水，则有用。盖有金则克木而船不完固，不见水则木无所养而船亦

无用。若见元武，而木支被克，又为本日之死绝者，必主覆舟无疑矣。更详本命衰旺、生死而言之。

四库若来与日合，舟行迟滞枉徒然。

支遇辰、戌、丑、未，又与日干作合者，船有迟滞停泊之患，须以冲库日为行动之期，然而终多迟滞。

文旺兄多为停泊，财临马旺利名牵。

文书太旺，兄弟太多，则有议论牵连阻滞。惟财旺临马，子孙带财，则行动主有利息。

青龙临库不为吉，惟宜生合忌刑冲。

青龙遇水旺，不可无土。若传中无水，重见辰、戌、丑、未，兼披亦属土，此船为不行。宜生合者，遇凶课，生合日干、本命也。忌刑冲者，凶课，相冲克也。

太岁入传为大吉，日干本命要安全。

诸占忌太岁，惟舟行喜太岁生合日干、本命，入传者佳。而日干、本命尤宜安详。

传中进气行为速，如逢退气阻不前。

进气者，进连茹也。退气者，退连茹也。或末生至初，亦为进气。

初脱至末，亦为退气。传中若遇此二项，分别言其迟速可也。

式中最忌逢支戌，披干带木却无嫌。

河魁戌为破败之神，占舟船最忌。青龙、六合临戌，占船恐有破损，若披木干克制即属无妨。

盐务占

盐务，文书即为引票。类神生合文书者，货物出脱甚迟；类神冲克文书者，货物出脱自速。自初传生至末传者名脱气。有财之衰旺。财若旺，更带青龙者，脱货最利；财不旺而带螣蛇者，脱之亦利，但不大耳。自末传生至初传者稍迟，然亦看财之衰旺以决其脱之宜与

不宜。天空为鱼盐之神，若临河魁者，主破败。若财传遇之，定主折本。天空临火土，干支带朱雀，更逢天喜、福德、驿马者，有利可寻。天空临水土，干支兼带螣蛇者，虽得利亦主耗费无定。天空合财，临驿马，带青龙，支属亥、子，干披壬、癸，更遇风煞者，式中又无土制水，又乘旺，必主长江风浪掀天，有复舟之患。青龙为风帆，六合为船，若临巳加申者，巳为巽风，申为水母，风水相遭，如不逢截江煞，必主风水顺利，财物安稳；若带此煞，则舟有停滞之患，石矶之伤。更带螣蛇，兼逢本命羊刃、劫煞带财入传，又遇日干死绝，戌带白虎、太阴，加官鬼披血刃双日者，必遭贼之杀戮。式中元武、天空临亥、子，遁得壬、癸干，其支上下皆空，或遇旬空，此名沉海底，大不祥也。若本命有气，或可独保性命，余一无存也。十二煞中，贵人、太常、勾陈、天空为主盐之神，财临贵人、太常发用，虽休囚，后必有利；勾陈得价最迟，却吉祥安稳；天空不临破碎及河魁、破败凶神者，亦有利可觅。螣蛇为卑贱之职，发用如临类神者，到底不吉，虽主贱买，亦主贱卖，不得利，且为游走之象；若临天罡化财，加风煞、破碎煞者，江行必险。六合、青龙固属船与篷桅，然亦是财神，若临旺相，财支与日干生合者，利主加倍。白虎、太阴，凶宿也。何以言之？白虎主江上诸风，又为血神；太阴为血刃，又为妇女暗昧事。若二者带凶神，加临衰弱之日干者，必有奇祸；惟日辰旺相，财星入传，并遇火制，则白虎、太阴反属血财。秘笈曰：“山君被克死，为白镵青蚨”，此之谓也。太常遇吉则吉，遇凶则凶。若太常不逢生旺，兼带华盖煞者，必主凶丧孝服；如遇火土生之，则为米谷，可以盐易之。

又曰：“常宿逢生，乃是稻粱黍稷”，亦此之谓也。元武、天后，盐之本色也。若盐出所到江，遇元武者不忌。切忌回载遇元武临诸凶煞者，非遇水灾，即患盗贼，尤看衰旺以决其微甚。从来书中论元武，以登明属元武本家，神后属天后本家，积疑千百年。而松源道人

正之以子为元武本家，亥为天后本家。余尝怪之。松源正以秘本真说，余始释然。孟子、午为相对之支，则朱雀、元武应亦相对之煞。元武临子，正对朱雀之午，不易之论也。亦如寅申相对，寅属青龙，白虎属申，其位亦相对。知此则凡以亥属元武本家者，皆传写书籍之误耳。不遇至人，真伪何以别哉？故真本有曰“误加天乙乱神祇”，亦此之谓也。十二神中，惟朱雀为财神，为南方丙、丁之宿，吉凶亦无大过。式中遇此，或为上司文书，或为本地方官告示，虽带凶神，不过申其禁令，久则澹然矣。

游都鲁都

游都鲁都法最元，穿地寻尸见九泉。鲁都临处逢白虎，戊己原加辰戌间。常将月将地分数，两位相逢远近看。此是先贤真妙诀，千金莫与世人传。

金凤战干

占贼之法妙难穷，起成课法自通灵。要知贼寇藏人马，游都鲁都两千称。方为贼居将为寇，贵人为我主人兵。干是我军为里数，更知贼数百和零。又言我财为我利，干若受克财须倾。四课之中神克将，不须努力用心勤。若还行兵谋计策，寇兵一扫化为尘。课爻神将来克贵，我当谨备莫攻征。方来克贵主细作，必有奸谋诱我军。贵神不克地方位，将军攻战莫消停。将若刑方贼移动，晚间逃走似飞云。方若克将贼守寨，故然不动亦难通。干克将兮兴人马，依行兵士将贼攻。神将刑干贼须胜，我当提备不宜兵。方来克干贼坚固，干若刑方我得赢。神若克干军宜使，干反克贵军不听。贵神为将干为使，将位二方是贼兵。我克他时为战斗，他来克我不须攻。地方名为游都将，对冲鲁都贼游兵。有人学精游都法，不须专念六韬文。千卷万书惟此验，只此一卷应如神。一脉流传元妙诀，常将贼寇掌中擒。

论盗方路

甲寅乙卯丙巳空，丁午戊辰己戌中，庚申辛酉壬亥上，癸子十干定吉凶。天地相合为去路，暗藏人马捉贼兵。若人会得鲁都法，捉将如同在掌中。

寻贼消息

丑未贼名大小分，传闻两耳实非轻。若人探觅寻卯酉，消息从来待此真。

此论月将加时，专看天盘上丑、未、卯、酉四字，凡六法。以丑为小贼，未为大贼，丑为地耳，未为天耳。如差人探密事，看天盘卯、酉方，出可得消息。假令庚辰日，巳将，未时，丑在卯地，主小贼在东方；未在酉地，主大贼在西方；卯在巳地，酉在亥地，南东、西北二处可差人探事。余仿此。

来使虚实

敌使欲分真与伪，支干先克细详推。天空朱雀为奸诈，辰酉逢时主蔽亏。

此论月将加时，专看日上神与支上神，相生为实信；若支干相克，主来使虚言。又看日干上或支辰上，有朱雀、天空二将临之，主变诈不信。假令庚辰日，巳将，午时。庚课在申，申上见未，土旺。辰上见卯木，乃木克土，主来使虚言，不可信。又况天将朱雀临辰，天空临午，尤不可信也。若未在申上，午在辰上，寅在子上，为相生，其言可信。余仿此。

来人善恶

遥望人来未测详，神后加临孟是良，仲是商人季奸恶，欲逃正位去

天罡。

经曰：月将加时，神后落处断之。寅、申、巳、亥，良人；子、午、卯、酉，商客；辰、戌、丑、未，奸恶、细作之人。

兵将多少

国家兵数预先知，旺相相生更有余，休囚死绝自散，先知一局候兵机。

我比为旺我生相，生我自休君莫乱，克我为囚我克死，可载千军无更变。

甲己子午九，乙庚丑未八，丙辛寅申七，丁壬卯酉六，戊癸辰戌五，己亥无千四。

方性强弱

发用何神方性知，假如子动北方知，性情定是多奸诈，急早提防用力宜。

此论，专看发用之神。若是亥、子水神，主北方之兵，巳、午主南方之兵。若论其性，见申、子为之奸邪，见亥、卯为之阴贼，见寅、午为之猛兽，见丑、未为之公正，见辰、戌为之奸诈。

大将居方

大将居方取亥宜，左为卯将右酉随，胜光前处为前将，神后临方是后推。

春寅，夏巳，秋申，冬亥，六壬谓动于九天之上。如亥方不便位，即将春以寅为雄，背之吉。夏以巳为雄，秋以申为雄，冬以亥为雄。如四位不便，再以年支天盘上背之吉。此大将居之如神将。又甲日用兵先举红，丙丁黄色不须论。此论专看大将下营所居方分，以月将加时，看天盘上亥字落在何方。如在酉上，正西安

营大吉；如亥在卯上，正东安营大吉；如亥在午上，正南安营大吉。假令辛巳日，巳将，卯时，亥在酉上，为中军，大将正西安营吉；午为前将，在辰地；卯为左将，在丑地；酉为右将，在未地；子为后将，在戌地。如有警，大将居亥，左右前后将分兵击之，全胜。余仿此。

方分岁占

岁占方分莫狂嗟，阴岁须将小吉加。阳岁却从丑未并，传中机泄思神夸。

如申、寅，子上加青龙；卯、酉，寅上加青龙；辰、戌，丑上加青龙；巳、亥，午上加青龙。凡遇甲、戊、庚三日，就将贵神放在丑上，丑放在亥上，看月德临何地支，即知此时煞没。又看月将临何支，如在申，对官是寅，申、寅二时吉。余仿此。

迷路寻出

山野林中忽觉迷，便将月将正时推。天罡百步还投未，投未前行道路知。

此论月将加正时，专看天盘上辰、未二字决之。假令乙丑日，申将，酉时迷路，此月将加时，辰加巳为东南方，就往东南上，逢百步为止。此时辰在巽，未在坤，又从东南转向西南，往三百步，乃见天盘上未字加在申上，再逢八十步方有路也。

渡河涉水

天河覆井渡河惊，水用寻罡水道通。支伤水涌前难渡，支吉不逢龙日亨。

其法，月将加时，专看天盘辰、未、卯、子四字，为天河。若天盘四字加临地盘子、卯、辰、未，名曰天河覆井，此时渡河主沉溺。

又法，水在周围，看天罡加处为水道。如罡加孟，勿前行；加仲，勿中行；加季，勿后行。又法，六壬以日干为陆路，日支为水路，若支不受克，宜水路行。又看丙子、癸丑、癸未三日，为水尤日，不可行船渡河。假令丁亥日，巳将，寅时，天盘未字为天河，临地盘辰上，名天河覆井，不宜出兵渡河。余仿此。

觅水求粮

丑为粮草未为泉，卯未之间水道间。饥渴有时难共饮，将军且算莫愁颜。

此论月将加时，专看天盘上未、卯、酉三字，为水泉。以丑为粮草，以卯为水道。若天盘丑字落处，就从起算，往丑处推进三百步，即见粮草。假令甲子日，戌将，卯时，未加子上，在北，行三百步有井泉；卯上加申，西南三百步有水道；丑加午上，正南三百步有粮草。

藏形遁迹

紫房华盖可藏兵，卯木从魁莫自惊。月将加时投此处，自然遁迹却成功。

此论月将加时，专看天盘上子、丑、卯、酉四处，如有事，或藏兵于山林沟壑，自然掩袭，必得全胜。假令丙寅日，午将，辰时，子加戌，宜西北藏百人；加丑，东北藏千人。酉加未，西南藏万人。此法不拘多少，可隐藏也。

水战

水战全凭风便方，日干未巳正堪详，白虎风神逢劫煞，飞廉大煞亦风乡。旺相乘煞风速起，休囚无煞息风狂。

巳为风门，未为风伯，白虎风神。若旺相，逢劫煞、飞廉、大煞，

主大风暴起；休囚不乘煞主无风。

大煞：正月午，逆行四仲。

飞廉：正月戌，巳、午、未、申、酉、辰、亥、子、丑、寅、卯。

虎神东传啸摧山，小吉相逢风迅迁。二神忽而潜空宿，上克下兮风息焉。

虎乘寅为入林啸风。未为风伯，乘虎主大风，下克上大风，上克下虽有风亦小。

巳午雀居曲直课，煞推月日用辰干。更兼寅未相逢过，颺狂须索煞时间。

雀乘巳、午为入巢，巢居主风，又热极生风也。寅为箕宿好风，雀乘寅、未亦主大风。风伯正月申，风煞正月寅，俱逆行十二支。

（二）占断各门

占晴雨

凡占晴、占雨，当稽之类神，准之课传，以火神火将所临之辰为晴期，水神水将所临之神为雨期，更君其旺相生克，及日上、发用，详审断之。如日上神属火，而所乘之贵神又属火，则主晴；若日克日上之火神，则反主雨矣。如日上神属水，而所乘之贵神又属水，则主雨；若日克日上之水神，则反主晴矣。若课传俱阳，水神不见，青龙又不入传，主晴。若课传俱阴，火神不见，朱雀不入传，主雨。如课中晴象已著，则当视火神之旺相休囚而言其久暂。如课中雨象已著，则当视水神之旺相休囚而定其雨之多少。大概蛇、雀、勾、空与火神得地而不受制者为晴，龙、虎、阴、后与水神作用而更刑冲者为

雨，此晴雨之正占也。（晴雨之占，他说尚烦，然不无偏凿之失，概去不取。此虽不能包括兼该，而大意已具，例而求之，天道不远也。凡晴雨，须有土地、人民之责者，遇晴雨愆期，念切民瘼，及田间老农丰欠情殷，方可推占，否则恐近于褻也。慎也。又凡节前三日不占。）

神煞

雨师、雨煞、风伯、风煞、雷煞、晴明、水母、大角、青龙、螣蛇、朱雀、六合、勾陈、元武。

雨师：正月起子，顺行四仲。又子日起申，顺行十二支，亦为雨师。旺相加干发用，主有雨。丑亦为雨师。酉为毕，丑会酉主雨。

水母：申为水母，加干发用，旺相有雨。

大角：辰为大角星，指阴主雨，指阳主晴。加子、寅、辰、午、申、戌为指阳，加丑、卯、巳、未、酉、亥为指阴。

青龙：龙乘亥、子、丑，加巳、午、未、申上为升天，主雨；加寅为入庙，主晴。

螣蛇：蛇乘巳、午入传、加日辰主晴。蛇虽晴神，若加亥、子则又主雨。蛇加寅、辰则化为龙，亦主雨。

朱雀：雀乘巳、午在传、加日辰主晴。朱雀又为行火招风之神。

六合：亦为雨师。

勾陈：为兴云之神。然勾陈土将，亦能克水，当详其旺相休囚而言之，不可执一也。

元武：为苦雨之神。

论课传

润下：三传申、子、辰名润下。若不空亡，更上乘元、后、龙、蛇等水神，又值旺相，必雨。若空亡，或被日辰克制，或乘贵、常、勾土神，则又主晴矣。

炎上：三传寅、午、戌为炎上，主晴，若值空亡反雨。

从革：三传巳、酉、丑名从革，主阴。若生日，及乘水神，亦雨。

曲直：三传亥、卯、未为曲直，主风，空亡则无。

稼穡：三传辰、戌、丑、未名稼穡，主阴晦。

伏吟：无丁马则晴雨照归。

反吟：不空亡则晴雨变易。

占婚姻

凡占婚姻，以青龙为男，为夫，天后为女，为妻；日之阳神为男，支之阴神为女。（日阳，即干上神。支阴，支第四课上神也。）如青龙旺相，则为佳男；天后旺相，则为佳妇。青龙所乘之神生后，或与后比和，则男益乎女；天后所乘之神生龙，或与龙比和，则女助乎男。日上神旺相则男吉，辰上神旺相则女吉。日上神乘贵人则男贵，辰上神乘太常则女贵。日上神与辰上神相生或比和，则男女相得。日上阴神旺相，男家富（日阴乃第二课上神也）；辰之阴神旺相，女家富（支阴见上）。若龙、后所乘神刑冲破害而不相合，或落空亡，带孤寡，又日辰上刑冲破害而不相合，或空亡而乘恶神，兼之龙所乘神克后，与日上神克辰，则为妨妇之男；后所乘神克龙，与辰上克日，则为损夫之妇。皆所不当议也。

至成否，当看日上辰上生合比和，与传内见天喜德合则成，见会神、成神者成。女家占，则重日上及官鬼，不空者成；男家占，则看支上及妻财，不空者成。若日上辰上刑冲劫害而不相合，龙、后、六合所乘神与日辰刑冲破害，或日克天后，或天后克日，皆主不成。

又初传为男，末传为女，中传为媒，欲其比和相生，不宜空亡刑害。

至女子之邪正，看支上、三传及女年命上，乘太常、日德、支德者正，乘元、阴与桃花煞者邪。类而推之可也。

神煞

天喜、成神、会神、德神、合神、生气、月破、月害、月厌、孤辰、寡

宿、桃花、奸门、月奸、羊刃、谩语。

生气：正月起子，顺行十二支。乘龙财来意占婚。

孤辰：春巳，夏申，秋亥，冬寅。

寡宿：春丑，夏辰，秋未，冬戌。二神忌入传、临干支年命。

桃花：正卯，逆行四仲，主淫乱。

奸门：正申，顺行四孟，主奸淫。

月奸：正丑，顺行四季，主阴私内乱。以上三神不宜加女年命及支上。

羊刃：禄前一辰为羊刃，如甲日禄在寅，卯为羊刃。不宜加支干上。

占胎产

胎产之占，先观其有无，次决其男女，次卜其生期，及生之吉凶。大概看日之子孙，及胎神、天后、六合之类。

如课传旺相，相生相合，子息、六合发用，或虎、后、合与血支、血忌及胎神乘生气发用，加干支、年命者有。夫妇年命上见德、合、天喜、子孙而不空亡者，俱主有孕。若课传、干支、年命刑冲破害，子息、六合不见，及见而空亡者，则无。

男、女，须看夫妇年命，年命上阳神主男，是阴神主女。又课传俱阴主男（盖阴极阳生也），课传俱阳主女（阳极阴生也）。又三传二阳包阴主女，二阴包阳主男。又曲直、炎上课主男，从革、润下课主女。（润下、曲直等课见上晴雨章。）又月建重叠作胎神，兼乘生气、旺气者主双生。

至于生期，取法多端，有以胜光所临之下神为断者（胜光即午），有取生、养所临之下者（生即长生，养即墓、绝、胎、养之养，俱见上），有以冲胎、刑胎之月日断者，有以发用三合定月期（发用三合，如用是亥，三合乃亥卯未，即以卯、未为所生之月），发用刑、冲定日期（如发用是子，则刑卯、冲午，主午、卯日生），以用后一辰定

时期者(如用是子,则亥时生)。然总须详审课传、干支、年命生、合、冲、脱,及兼血支、血忌、浴盆等神煞,以意消息之,鲜有不验也。

其吉凶,则以干支、三传、年命上神,如乘天月日德、六合、青龙诸吉神,旺相相生则吉,乘蛇、虎、死气等凶神克害则凶。(伤支损母,伤干损子。)又传顺、贵顺者生易,传逆、遗逆者生难。孕产之占,不外是矣。(又月建加天后主妻妾怀孕,生气乘天后、六合亦主有孕。)

神煞

产煞:血支、血忌、浴盆、德神、天喜、生气、胎神。

产煞:正月起寅,顺行四孟。

血支:正月起丑,顺行十二支。

血忌:正丑、二未、三寅、四申、五卯、六酉、七辰、八戌、九巳、十亥、十一午、十二子。以上三神临年、命将产,见后、阴立产,见勾陈忧难。

浴盆:春己,顺四季。有水易生,无水难生。浴盆煞,占病不宜见之。

占谋望

谋望之占,事非一端,情亦万绪,大要须看类神。类神见则吉,类神不见则否。(如求财,则看青龙、财神之类)。干支上神旺相生合,无刑冲破害,而发用更乘吉神吉将,与日生合,不落空亡,年命上神与类神生合,而不刑冲、不逢空陷,及成神出见者,谋望可成。支干上神互相刑冲,带破而不相合,发用与日刑冲破害及墓,或干支坐墓、互墓,乘凶神、凶将、关格等煞,或年命上神克日上神,初传克末传者,所谋不成。

又自干传支,我去求人;自支传干,人来求我。先刑后合,初难后易;先合后刑,初易后难。

此谋望大概之占法也。

神煞

德神、合神、成神、破碎、关格、天喜、岁破、月破。

占出行

凡占出行，以日干为行人，要日干相旺，吉将生合，二马加临则吉，日干临地盘生、旺、德、合、相比则吉，若临地盘刑、冲、克、害、空、墓、绝则凶。以支辰为途路，生日干、年命大吉。日克辰、年命克辰亦吉，辰克日、克年命凶。若日辰彼此生命，主恋家，行必缓。日辰相加，上下相克，及日干空亡，主不行。中末逢空，而初传不空者，主行人半路欲归。如初中空陷，而末传来助者，应在此艰难，在彼吉。

又出行以日为陆，辰为水。日上有吉神吉将，相生相合，宜陆；有凶神凶将克害，不宜陆。辰上见吉将神相生，宜水；见凶神将相克，不宜水。

又出行最忌墓神、罗网、关格侯，主阻滞不通。天罡加四仲为关格。天车、无坑等煞加日干、年命兼克害者凶。

若日干上乘凶神凶将，而支上逢吉神吉将，当急往他乡；如支上见恶煞，而干上吉者，则宜安居，不利攸往。

干上若乘元武、劫煞克年命，陆路须防盗贼；乘白虎克年命，主途中抱病。

又凡出行，以六乙之下见为吉利。六乙乃六甲旬前一神，如甲子旬乙在丑，甲戌旬乙在亥之类。

占投宿，以日为行客，辰为族舍。若日辰上神彼此相生、相合、比和，及见吉将者，大吉；若辰上克日上，及辰上见魁罡辰戌、元武、蛇、虎者，凶，不宜投宿。

占渡江，登明亥加孟，主有风；加仲，半风；加季，无风可渡。

又太冲卯为舟车，若旺相，主舟车完固；死囚，主破损。然大要

总以干支、年命、三传吉凶生克为主。以上诸法相参并用，不可执一也。

神煞

德神、合神、二马、天车、天坑、染神、天地关、天地格、劫煞、游都、游煞、五鬼。

天地关：天罡辰加子为天关，加午为地关，若发用，加干支、年命，主风雨阻。

天地格：天罡加卯为天格，加酉为地格，发用，加干支、年命，主津渡阻。

几吉神煞，必须与日干、年命相生相合，或相比和，乃可断吉。凡凶神煞，必须克害日干、年命，乃可言凶。

占行人

占行人，视天、驿二马，若入传，加日辰，不空，则已动身。行人年命入课传，亦主已动。到期则看类神。类神入传旺相，或临日辰，与日辰和合相生，即到。类神者，如占贵人用天乙，占父母用太常，占子孙视六合，妇女视天后，奴仆视天魁、从魁之类，以所临地盘为到日。又视课传中已见归象，则以游神临处为到期。又有以未传加临处为到期者，又有以发用合处断来期者（近用六合，远用三合）。又凡占行人，天罡（辰）乘马，不论入传不入传，主当日即至。（然愚谓必须入传，及加干支、年命方的。）又正时发用，行人当时即至。

又凡刚日伏吟见丁马，及柔日伏吟，丁马逢刑战，俱主即到。凡初中末三传，俱不宜空，若逢空陷，主有阻滞。

若行人之行年遇空陷，主客中抱病。行年居生、旺、比、合吉，临刑、克、墓、绝凶。行年临第三、四课来速，临日之二课到迟。又视游神，游神加孟未动，加仲在途，加季即到。

又朱雀、天鸡、信神入课传，更见二马，不空陷，兼克日，及生合

日干，必有信到，以信神临处为信到期。（如信神是酉，酉加子上，则应子月、日到。）

至若传将逢三合、六合，及二马临日之长生地，与临合地，俱主眷恋他乡，未即归也。

旧说占行人，视天上方神，在寅、卯、辰为东方，巳、午、未为南方。行人在此六方者，以酉为限，以子上神为到期。若在申、酉、戌，为西方，亥、子、丑为北方。行人在此六方者，以卯为限，以午上神为到期。如望寅地行人，寅加午为已发，加酉为度限，皆主来。若子上见申、酉，当庚、辛、申、酉日到，亦可参看。行人占法多端，岂能并用？大抵神机兆于动，惟就干上、发用或年命上取其象之显著者而论断之可也。

类神

贵人、官长视天乙、青龙。

父母视太常。

兄弟视太阴。

子孙、朋友视六合。

吏役视勾陈。

妇女视天后。

官吏、文书视朱雀。

奴仆视河魁戌、天空。

婢女视太阴、酉从魁。

丧柩视白虎。

夫婿视青龙。

神煞

天马、驿马、天车、天坑、关格、梁神、会神、游神、信神、戏神、罗网、书信、天鸡、朱雀、飞廉。

天鸡：正酉逆十二，并雀有信至。

朱雀：雀发用，加干支，或加卯、酉，或合天喜、六合，俱主有信至。雀乘卯临申，亦主信至。雀乘寅有远信至。雀在末传，更乘天马、驿马，必有远信至。雀临命，主文书音信。若与命刑克冲破，为凶信，凡事不成，生合则吉。

飞廉：正戌，二巳，三午，四未，五寅，六卯，七辰，八亥，九子，十丑，十一申，十二酉。加干发用，又逢生旺，行人立至。

占求财

凡求财，当视日之财神，入课传、年命有，不入课传、年命无。日财，即日干所克者，如甲、乙日，则以戊、己、辰、戌、丑、未为财之类也。若支上神及财神生日，无刑冲，求必得。日生辰及生财神，求不得。日财临辰两课，名外财入内；支财在日两课，出求可得。宜逢有气之候，临有气之乡，与日辰、年命相生，财可得。或财临鬼地，或坐空、逢空，不得。有财旺日衰，身虽病，财可获；日旺财衰，纵身安而财损。三传须见财，财易求。初传财，中末生助；中传财，初末生助；末传财，初中生助，俱吉。三传俱财，财反化鬼。（此说必须三传皆财，而生起干上之日鬼来伤其日干者，方可作化鬼论。）三传俱鬼，鬼反化财。（盖比肩为夺财之神，三传俱鬼，则克去比肩，无劫财之神，其财可得。然亦必须课传内有一处财神出现，方可作化财论也，须知之。）初传空败刑害，末传吉，终可求。初传财，中末不吉，终不遂。三传俱凶，至底无成。又三传俱作日之财神，所乘天将又与相生相比，又值生旺之月，占求财即无财。盖财自贪其生旺，不能与我作财故也。又日克初传，初又克中传，中又克末传，为求财大获格。又财喜墓库，但防空破，反主库中有失。

更有日、辰、命三财。盖日上神、支上神、命上神，俱以下克上，为日、辰、命之财。（如日是甲，上神是丑；支是子，上神是巳；本命是酉，上神是寅之类。）课书所谓“求财紧切视三财”，即此也。

又日禄、命禄见课传，谓一禄胜千财，最吉。日辰、命上见暗财吉。（暗财即遁干之财。如甲日遁得己，土日得金局生水，俱是暗财。）

青龙为财喜之神，宜时旺、地旺，或乘生气、长生、天喜临干、生干、克干俱吉。龙在亥为入水，不入传亦佳。但凡财神，均宜生旺，不宜空陷，及劫杀、破碎。其得财之月日，则以旺相财神所临处，与青龙落处为断，亦有以末传合处所者，临时消息可也。

神煞

日财、支财、天财、生气、天喜、天书、劫煞、破碎、墓神、漫语、岁破、大耗、小耗。

大耗：正月起申，顺行十二。忌开库求财。

小耗：正月起未，顺行十二支。忌同大耗。

占科名

选举之法，以日干为应试人，支为场屋。廷试，则以太岁为主文。会试，以岁破为主文。（岁破，太岁所冲之神也。）督学及府县试，则以月建为主文。主文要带龙、常、朱、六等吉神，生日辰、年命不空者，中兆也，不宜带刑杀等凶神克制日辰、年命。发用不宜克干支。若贵人、青龙入传，或临日辰、年命，必中也。朱雀为文章，如临午位，名真朱雀格，纵不入传亦佳；若旺相入传，不受刑克，而生合日辰、年命，主文明显达。其朱雀乘神，要与主文相生，若朱雀克主文，则文字不贴主司之意。又当看帘幕贵人，如甲、戊日占得昼时，则丑为贵人，未乃帘幕贵也；占得夜时，未为贵人，丑乃幕贵也。幕贵见课传，加干支、年命，与干支、年命相生相合，必然高中。其三传宜旺相有气，宜乘吉神吉将，与干支、年命相生，不宜刑害、空亡。若三传递生而生日干，必膺荐拔也。

至于中之高下，廷试，视太岁乘神。或生日，或作日贵，临干发

用，五马交驰（五马者，岁马、月马、天马、驿马、命马是也），印绶、德禄、皇恩、天喜并见，六阳数足者（六阳数足者，甲、丙、戊、庚、壬日，四课三传子、寅、辰、午、申、戌俱备是也），状元也；太岁乘吉神生日，或作日贵临干，见中传，三四马交驰，印绶、德禄、天喜并见，六阳缺一者，榜眼也；太岁乘吉神生日，或作日贵临干，见未传，三四马交驰，印绶、德禄、天喜并见，六阳缺二者，探花也。若课传俱吉，而吉神并于初中者，二甲也；并于末传者，三甲也。会试，月将乘吉神生日，或作日贵临干发用，传见禄、马、德、天喜者，魁元也；吉神同上，而月将见于中末传者，后也。乡试，岁破乘吉神生日，或作日贵临干发用，传见德、禄、马、天喜者，元魁也；吉同上，而岁若见中末者，后也。小试，月建乘吉神生日，或作日贵发用，传见德、禄者，榜首也；龙、朱旺相，月建乘吉作贵见中末传者，一二等也；龙、朱休囚，月建虽乘吉神作贵，见别处，不入课传者，三等也。（占入泮及府县试，依此类推。）

又天盘酉临年命、日干、名亚魁星，占试必中。丑未相加，作年命、日干，为鬼斗相加格，亦中魁元。盖丑中有斗，未中有鬼，合而为魁也。日德加亥为用，乃德入天门格，试必高中。

至于武举之占，则视日上、发用与年命上，如遇天杀、月煞乘天空、白虎、太岁入传者，利。巳为弓，申为箭，五马为马，三者并见，又乘吉神，不空亡者，利。三传克日，羊刃、禄马并见者，利。其余则依文举观之可也。

神煞

日德、日禄、天喜、羊刃、月厌、皇恩、驿马、年马、月马、命马、天煞、月煞、文星、印绶。

占官禄

占官先主象，文看青龙，武看太常。主象临有气地为吉，无气地

为凶；临日辰、年命为显，不临为晦；与日辰相生主长久，相克或内外战，不利。日生主象，外除。主象生日，内除，或近都。又宜看官星及禄马。官星即甲、乙日酉、申之类。马即岁、月、日、时、命之驿，及天马。禄即日干之禄神。数者要旺相入传，临干支、年命则吉，不宜下神克害及空亡。

又以功曹(寅)、传送(申)为升迁之贵神，若寅、申乘贵人，又临马，旺相，必升。又贵登天门，乃荣任朝见之象。(贵人临亥宫为贵登天门。)又干上有支马，支上有干禄，名富贵卦，主加官进职。

又初传居日干前，末传居日干后，为引从格，亦主迁擢。

又太岁、龙、常、禄马发用，年命上又乘吉神，不空陷者，皆吉占也。

若夫日上与发用神将并凶，或神将吉而空亡、冲墓者，主凶。或干支上乘罗网(罗网见前)，而年命又乘丧中诸凶神者，则为丁艰之凶。若日上、发用墓乘白虎，或禄神作闭口(旬尾加旬首为闭口)，神将不吉，三传中空，与年命上乘病符(病符即旧太岁，如子年亥为病符之类)诸凶煞者，则为病疾之凶。三传递克而克日干，无日德解救，与朱雀闭口者，则为弹劾之凶。德、禄、官、马俱落空亡，年命又乘凶煞者，去位之凶。日禄加临支上，或加支而投墓，无日德解救者，则为降级之凶。

至于食禄之方，则以禄神所临之下决之。(如临子齐分，临丑吴分之类，当看分野而言之)

又三传递生而生日干者，必膺荐擢之喜也。

神煞

太岁、月将、德神、日禄、五马、天喜、皇恩、皇书、天书、天诏、天印、天吏、天城、催官、印绶、丧门、吊客。

卯绶：戌为印，未为绶。

占访谒

干谒之占，大要以干为我，以支为彼，宜相生，不宜相克。若干支上乘三六合，不空亡，访之有益。日贵、日德发用，往必见。戌辰魁罡加孟必见，加仲可待，加季不出。又小吉（未）临辰必见。巳、亥加日必见。用神与所往方神合必见。如所往方是寅，用是亥，乃寅与亥合，必见。再视所谒之类神：见大贵视天乙，见台省部院视太常，二千石视青龙，将军视勾陈，长吏视朱雀，妇人视天后之类。类神临日辰，发用，必见；落空，不入传，不见也。又当视日德之阴，如甲日德是寅，则地盘之寅，乃德之阴也，视其上神。如乘贵人，喜悦；乘蛇，口舌；乘朱，彼有文书事；乘合，有交易事；乘勾，须防争斗；乘龙，我可求财；乘天空，有欺诈；乘虎，彼有孝服、远信；乘常，彼有饮宴，我当登席；乘元，彼有失财事；乘阴，彼有隐私事；乘后，彼有婚姻事。又当视课体，如占得伏吟，及柔日昴星课，俱不见。

若馈物不知受否，则视日辰。辰克日，必受。日克辰，不受。投书不知达否，则视朱雀所乘神与贵人所乘神，合相则达，否则不达。至于有所干求，则视类神。求财物视青龙，文书视朱雀，酒食视太常。若乘神与日相生合，或加临日辰发用，必遂，否则不遂。此皆访谒尊贵之所宜先知者也。

神煞

德神、合神、喜神。

占交易

交易，大要以日为人，辰为物。而买物则以辰为我，日为彼，用神为物。卖物则以日为我，辰为彼，用神为物。自日传辰，则买物成；自辰传日，则卖物成。日辰俱吉，则物贵，宜于卖；日辰俱伤，则物贱，宜于买。日财旺相，物虽滥而必售。日辰上乘青龙，而日辰克之，

物虽珍宝而必获。日吉辰伤，物虽售而利少。日伤辰吉，售虽迟而利厚。类神乘蛇带囚死，价虽贱而不中。类神，如子为丝绵之类。若物与日辰相生，三传旺相，更得吉神良将，或见成神，其物可居。若物类不见课传，及虽见而空亡、入墓、休囚无气，与日辰相刑克，则买卖俱不得。又课得交车生合、未助初传、三传递生，俱吉；逢网罗、死墓，忌。又两贵夹拱，禄神乘旺，生涯遂意。病符遇生，旧物更新。初中空而末不空，要见财德、长生，进步艰难，后当有获。又财乘青龙、生气，常乘财、印，主财利丰盈。又传进当进，退间当止。财又不宜太多、太旺，劫财不宜多见，财又最忌空绝。至于交易所宜之方，则视青龙临处与驿马、长生所临之地而往，利三信矣。

神煞

德神、合神、天喜、成神、生气、禄神、长生、罗网、墓神、病符。

占失物

凡失物，大要以日为自己，辰为他人，所失之物视类神。如失金银，以酉为类神之类。若类神见课传，而不乘元武，不落空者，则于类神所临之地寻之。若类神不见，或见而乘元武者，主为人盗去。如元临卯、辰、巳、午、未、申，则为白日盗；临酉、戌、亥、子、丑、寅，则为夜间盗。或见而落空亡者，则遗失不获。若辰上天空、空亡，而不见元武，家人隐藏也。日上乘太阴，隐藏之人不密，而可寻也。若太阴、六合与类神作三六合，亦可寻。类神乘日贵人，虽匿而终还也。类神见勾陈，类神作长生，或入墓，虽失终得也。类神临日辰，本不失也。贵神顺行，元武不见，自遗失也。贵神逆行，元武入传，斯被盗矣。欲知何人盗，则视元武之阴阳旺相而断。如元乘神是阳，则为男子；是阴，则为女人。旺相为少壮，休因为衰老。至于获否，则视元武之克制。如日上神制元武所乘神，必获。太岁制者，年内获。月建制者，月内获。行年上神制，亦可获。反此则不可获矣。

神煞

时盗、天贼、日盗、日贼。

占贼盗

捕盗之法，专责元武。当先视其可捕与不可捕，而后再详其大要。如辰、戌、丑、未加干支上，而课名斩关者（在庚、辛、申、酉日尤的），三传见日鬼，而日鬼上乘青龙、六合、太阴，发用丁马者，元武三传遇比和相生者，元武第二传上乘吉将者（龙、合、阴之类），盗神（即元武第二传）遇旬丁，而天地盘俱比和者，元武是羊刃，又临卯酉者，或元武克日者，皆不可捕。至于可捕者，则当详贼人避于何方，以元武阴神决之。盖武之第二传谓之阴神，即盗神也。如盗神是子，则贼在北方，水泽江湖之所，东有桥梁墓田，西有水畔楼台，前有神庙。盗神是丑，则在北方近东，在州邑之旁，或坛庙仓库之间，或桥梁墓田之所。盗神是寅，则在东北方，林木之中，曲提之所，或大木枯柳卖酒之家，寺庙之旁。如作本日贵神则吏书之家也。盗神是卯，则在东方，大林竹丛之内，屈曲水径，前有舟车，近寺观，或竹木工、舟车匠之家。盗神是辰，则在东方，隔岗岭之处，穴冢之中，或池沼鱼猎之所，丹青彩画之家。盗神是巳，则在东南方，窑灶之所，冬有树木，夏秋有鸣蝉，春有马嘶，其家妇人主事。盗神是午，则在南方，炉冶铁匠门侧，有牛马之物藏其中，或巫家也。盗神是未，则在南方近西，隐伏土冢内，向东四步或有井田，有人歌唱，或其家奉鬼神，沽卖之处。盗神是申，则在西南方，近州县城关之所，远则村野冲要之地，或邮亭马舍之侧，金石匠之家。盗神是酉，则在西方，或地名金坊、酒坊之所，或近娼女之处，或胶漆工匠之家。盗神是戌，则在西北，州郡营寨之所，聚众野处，村居土岗，猪犬在门前，奴仆兵卒家也。盗神在亥，则在西北方，居近水边，或点水傍地名、双溪之类，内有楼台亭阁，门前有小儿赶猪，可问取之。此以十二将

类神消息而用，仿此细推，鲜有不中。然必盗神天地盘比和者方可以此为据，若上下相克，则贼不留此，再视武第三传可也。

若其道里之数，则以盗神上下盘，用甲己子午九之数，合而定之。如盗神是子，加亥，则子数九，亥数四，旺则四九三十六里，相则二十六里，休则十三里，囚死则六七里也。然必须因盗之久近，而方向道里或以官司为主，或以失家为主（旬内者以失家为主，日选者以官司为主）。

至于贼赃藏处，视盗神所生之方。如寅为盗神，则物藏厨灶、炉冶中。卯为盗神，物藏窑灶、巢柜。辰为盗神，物藏古碓磨、碑石下。巳为盗神，物藏近侧浴堂、廊庑、墙垣之下。午为盗神，物藏墓、田、桥、井间。未为盗神，物藏城墙、神祠、毛羽间。申为盗神，物藏楼、柱、廩、厕之间。酉为盗神，物藏沟渠、水泊、石灰、笼匣之间。戌为盗神，物藏门户、石穴之中。亥为盗神，物藏磔柱、神树下。子为盗神，物藏竹木、车船之间。丑为盗神，物藏花槛、城库之侧。此以十二将类神消息之。又当知阴生阳、阳生阴之义也。其方向则亦以盗神所生神之所属而决焉。如盗神是寅，寅生巳，则在东南方近炉冶是也。

若知贼为何等人，则视元武所乘之本位。如元乘寅，贼为吏人，或为道士；卯为经纪人，或尼僧；辰、戌为凶徒、恶辈军人，或仆隶下人；巳为手艺人，或店舍、炉冶人；丑、午为旅中客人，或曾为巫，为军人；未为熟识人，或道人；申为过犯人，或兵卒、出家人；酉为金银匠，或赌博花酒人；亥、子为水客、船上人，或惯贼及曾私妇人。旺相则为少壮，休囚则为衰老。阳即是男，阴即是女。类而求之，人可知矣。若人伴数，则视盗神隔元武之位数而定之。如辰将，酉时占，辰加酉为元武初传，第二传亥加辰，亥即盗神也。自亥至辰隔六位，为六人。然必视盗神之旺相休囚而或增或减，则又精矣。

至贼之形状，亦视元武所乘本位之神。子是黑色，身长，着皂

衣，下有淡黄色。丑是大肚阔口、颜丑多须，身雄壮，衣皂下黄。寅是短矮美须，着青有装裹人。卯是骨瘦快走人，着深青，假作医人术士状。辰是大眉粗须，长凶相，衣黄。巳是瘦长人，会语言歌曲。午斜视方长人，若捕时先见一赤马，后遇着青，头戴紫金色物便是。未眼露头白，有服人，其妻能作酒。申身長白，有痿病，少发人，着黄色淡白衣。酉身粗长，面有斑点，身着白衣黄裹，声响。戌颜恶多胡，黑色，着半黄半白衣。亥肥大，貌丑，青黑色，背驼，着破衣，手把伞。此以十二时消息。若贼多，则为首者是其状也。

若详捕人之中用与否，则观三传中之末传与勾陈所乘神，然二者不可并视，并视则惑矣。如三传中勾陈见，则视其所乘，视勾陈神克元武，则捕得。勾陈乘神作日德，或阳刃，或天乙，或是天罡，则捕得。勾陈乘神生元武乘神，或与比和，主卖赂私通而不得。或元武乘神作羊刃，而又克勾陈乘神者，主捕人为贼所伤害而不得。或勾陈乘神虽克元武乘神，而彼值旺相，此值休囚，主贼太多而不得。凡此即当改捕或添捕而后可。若三传不见勾陈，当视末传。盖初赃，中贼，末吏，此旧法也，故并用之。如末克中传者捕得，比和相生不得。其消息之法，与视勾陈之例相同，可参观也。

又有制元武之法。如元武是酉，则用丁命人捕，取火克金，而又避丙之合也。至于远年大伙贼徒，不得其方向者，则以天月所临方索之可得。又地盘月将，天盘乘元武者，可急捕，即得，此为太阳照武。若日入时，则不用也。壬课捕盗诸说甚多，颇涉渺茫，略不具载，取其可用者详录于篇，消而息之，无余蕴矣。

神煞

德神、合神、二马、羊刃、罗网、天目、天盗、天贼、日贼、日盗、贼神。

附干支数

甲巳子午九，乙庚丑未八，丙辛寅申七，丁壬卯酉六，戊癸辰戌

五，巳亥四。（上下相因。若上见子为九，下见巳为四，上下相因三十六数。余以此推之。旺相倍增于本数，休囚减半。）

占逃亡

逃亡之占，须分远近。如在三日内者为近，君子责日德，小人责支刑，各视所临之方求之。如甲日逃亡，甲日德系寅，以月将加时，视寅加地盘何宫，属君子者，即向此方寻之。又如小人子日逃亡，子刑在卯，以月将加时，视卯临地盘何宫，即向此索之。此所谓近也。若出三日之外，即为远，则不论刑德，而视类神。尊长视太常，如太常乘子加午，则在正南方是也。他若父视日德，母视天后，兄弟、子俱视六合，妻视天后，孙视登明，女视神后，姊妹视太阴，佣工视朱雀，奴视天魁，婢视从魁之类。

若夫有所窃而逃，则专责元武。如贵人顺治，即视武之初传。贵人逆行，则视武之第三传。此论元武三传，非本课之三传也。元武三传，如武乘卯加寅，是卯为元武初传；卯上是辰，辰即为武之中传；辰上是巳，巳为元武第三传也。余仿此。

然本课之四课三传，亦须兼看。如类神临干，主外人获来；临支上，自来。初传作日德或与日辰三合、六合者，亦主自来。三传自干传归支，及自支传归干者，亦自来。类神在课传不空亡者，三传不离四课者，俱可得。课传俱不见类神者，或类神虽见而空亡者，俱不得，得亦费力。类神上有遁旬丁者，有乘二马者，有乘龙、合、阴三贵神而非本类神者，皆不可得。类神作死神、死气、墓神，又乘凶将者，其人纵来或病，或不测，而终不可得也。此当与盗贼章参观而消息之可也。

神煞

日德、支刑、天马、驿马、亥神、死气、墓神、会神、亡神。

占家宅

占宅以干为人，支为宅。如日上神生支、支上神生日者，干支各受上神之生者，干上见支之旺神、支上见干之旺神者（如甲申日，酉加甲、卯加申之类），日辰各见上神之旺者，日辰上见德神者（一不要空亡，二要乘吉神），日辰上见贵神及见三六合者，日辰上见太岁、月将而无刑冲克害者，日临辰受生者（如甲子日寅加子之类），辰加日生日者，贵、合、龙、常乘日辰并发用者，则人为福占，宅为吉占。如日上神脱辰、辰上神脱日，或日辰各受上神脱者（主人病宅盗），日上辰克辰、辰上神克日，或日神各受上神之克者（主人灾宅坏），日上神墓辰、辰上神墓日，或日辰各受上神墓者（主人宅昏暗），日辰上神刑冲破害及空亡、破碎者，日临辰受克，辰加日克日者，三传无气，发用空亡者，元、勾、蛇、虎乘日辰上并发用者，则人为祸占，宅为凶占。

至分占人之祸福，视日辰乘龙、常等吉神，作日德、日贵、日禄者，日辰上神生日，并辰生日，及生日上神者，生气乘龙加干者，日上神克辰，日临辰克辰者，三传生日，及三传旺相，发用日德乘吉者，初传居干前，末传居干后者，是为福占。如日上乘蛇、虎等凶神及刑冲破害者，日上神克日者，辰来克日、墓日者，日上神作死气乘白虎者，辰上克日及日临辰受克，日上空亡，三传克日，发用空亡又乘死神、死气者，则为祸占。

若夫宅之吉凶，则视支上神。如支上乘吉神，旺相与支辰生合者，支上神旺相，三传乘吉神生支，而发用支德，不克日、不空亡者，不刑冲破害者，则为吉占。如支上休囚墓绝，又乘凶神者，支上虽生气而克日者，支上空亡及三传休囚，乘蛇、虎等凶神者，或三传俱支鬼而不生日者，则为凶占。

若察其鬼祟之有无，如日鬼、天鬼、天目加辰，传用见月厌、丁

符者，主有鬼。而以天罡所临方定之。如临子在房，丑在厨之类。

至占新旧宅吉凶，以日上神为旧，支上神为新。如日上克日，自不欲住矣；辰上克辰，虽住不久也。日上旺相旧宅好，支上旺相新宅好。

又以支之左右对邻，对冲为对门，地盘卯为前门，酉为后门，子为房之类。上得吉神将相生则吉，否则凶。（如支是子，丑为左邻，亥为右邻。）以上诸法，更兼以家长之本命上神配之（喜相生，忌相克），吉凶祸福无遗矣。家宅之占，诸说尚繁，颇多不经，故不具录。

类神

子为房，丑为厨，寅为书院，卯为前门，辰为祠堂，巳为灶，午为堂，未为井，申为过路，酉为后门，戌为浴室，亥为厕、楼台、仓库。

神煞

德、合、禄、刑、冲、破、害、二马、天喜、破碎、厚厌、天鬼、天目、火鬼、光怪、天火、生气、死气。

占词讼

占讼须分内外。若内而与家人讼，则日为尊长，辰为卑幼；外而与他人讼，则以日为原告，辰为被告。若无对头者，以日为官，辰为己。观日辰之吉凶克制，而胜负自明。如日吉辰凶，或日克辰，则尊者与原告胜；辰吉日凶，或辰克日，则卑者与被告胜；日辰比和，则和合矣。当其投状也，则视朱雀。如朱雀乘神与天乙乘神相生合，或比和，而初传生日干者，状准，反此则否。及其既准也，则视勾陈。如日克勾陈，则词得理；勾克日，则词失理。若天空乘日辰、年命，而关神入传，与墓神覆干支、年命，而又自生投墓者，主监禁，遇蒿神即出。若自墓传生，或冲墓，亦出。曲直作传而克日者，主枷杻。

三刑六害、凶神恶将见于日辰、发用者，讼大负也。元武所乘神，教唆鬼也，须看类神而察其何人。神后所临，避罪方也。

至于决大疑重狱，而欲得囚之真情者，则以日为我，辰为囚。坐我于制囚之方，则彼当吐实；若日辰上见天空，囚忍楚不吐。此亦理之足据者，故附录之。

又占讼忌朱、勾克日，忌朱雀克太岁，忌丁逢羊刃，忌勾、虎同克日。若太岁贵人生日，罪虽重亦得末减。初传虎，末传蛇，为虎头蛇尾，虽祸不凶。

神煞

德神、合神、墓神、刑神、羊刃、关隔、管神、蒿神、喝散、关神、刑亡、吏神。

占坟墓

坟墓之占，大要以日为生人，辰为亡人与坟地。辰生日，辰上神生日，为吉。辰克日，辰上神克日，为凶。传生日者吉，日生传者凶。凡已葬之地，欲安稳，不欲刑害。未葬之地，欲生旺，不欲破败。以亥为天柱，寅为青龙，申为白虎，子为水；以元武所乘为主山（如东北，则寅为主山），所对为案山。课传并见，则数者俱全。课传有缺，则数者不全。（如缺寅，则青龙不足之类。）其吉凶，则视其上神之吉凶何如。如寅是青龙，上神是亥，则相生为吉；上神是酉，则相克为凶。又当视天官之吉凶，以青龙为主，以日鬼之墓为墓。如青龙与墓生合，而无刑克者，为吉，反是则凶。以天贵十二神定其所荫。如贵顺，传见四孟者，荫长。贵逆，传见四仲者，荫次。如日辰上见四季者，荫末。又以辰上所乘，定其所应。如人生年马与造葬日日马、所占时马并，天马临辰，或丁神临辰，主迁移不定。蛇、雀、空、巳、大煞、飞廉、破碎、天鬼、伏殃临辰，主怪异荡复。如六合、玄武作支鬼临支，主门户不洁。若吉辰良将，旺相，生气临辰，墓下不相克害，则人鬼咸安，富贵双全，大吉。又以五行发用定葬后吉凶。如发用木神，出子孙宽容仁惠，能文章。若与六合、天后、元武并，出淫邪之

女，随人奔走。若旺相相生，与青龙、太常等吉将并者，出州县之官，宅主有园林果木；若休囚，与凶将并，主出木匠。如用火神，旺相，与吉将并者，主出文人学士，有爵禄；休囚，与凶将并者，主子孙多言，有奸诈，浮游无定，有火工炉冶之业。如用土神，旺相，与吉将并者，主富贵，多田产财物，子孙敦厚忠良，镇守城隍；休囚，凶将并者，主作土工、冢墓之人。如用金神，旺相，并吉将者，主富贵，出武将；休囚，并凶将者，主兵死、斗伤，或出屠宰之人，亦主盗讼。如用水神，旺相，并吉将，子孙多智谋，好宾客；休囚，并凶将，主水厄，子孙游荡，妇人淫奔，出远行人。若用逢空、落空，则出九流僧道之人。又当断葬后代数何如。初传为初代，中传为二代，末传为三代，吉凶俱以所乘神煞定之。若遇空亡，而无生气，无救神，即断其某代欲败绝。宜改迁别处可救。如三传俱吉，则以末传在式中细论一遍，至数尽则止。

若欲知墓下何物，则视课传五行之所胜者而决之。金胜，其下有骸骨、瓦石、金银铜铁之类。木胜，则地多林木，下有棺槨。土胜，其地平坦安稳。水胜，其地卑湿，下有破石，凶。火胜，其地曲而长，有坑坎、砖瓦、孔穴之类，凶。此五行之中，不问四时，但用土为大吉。欲知墓旁有何物，则以月将加正时，丑下有伏尸，未下有腐木，酉下有磐石，卯下有涌泉，其余无物。

又《指南》论阴地，看支神（支之阳神是墓，支之阴神是穴），以生合冲刑定吉凶。支冲为对山，防克害，宜德合、旺相生。上下皆合，藏风聚气；干支受克，水走砂飞。青龙左辅，忧空陷；白虎右扶，忌刑破。支上临墓虎，有伏尸。朱雀空刑，山案不佳。土神旺处，龙不错。（土神：春辰，夏未，秋戌，冬丑。）腾蛇临处，穴吉。元武临壬、癸、亥、子上，水湾环。贵、常、空临四季，山势回抱。余可类推。

神煞

德、合、刑、冲、破、害、生气、伏殃、死气、天鬼、破碎、大

煞、飞廉。

占耕种

凡占田，以日干为农人，支辰为田地。要日辰上下旺相，生合、比和而财神临家长行年者，则丰登十分。如课传有财神，而家长行年上不吉，止五分；辰上神生日上神，十分；日上神生辰上神，五分；日克辰上神，耕种不如法；辰克日上神，地硖费工本。此日辰之象也。若种植所宜，当视五行所属。木主禾苗瓜果（寅早，卯晚），金主二麦（申大麦，酉小麦），火主黍稷粟、红豆，土主麻（丑大麻，未小麻），水主稻、黑豆之类。又当视课传，日辰，以察其何田为今岁所宜。如课传得伏吟，宜远田。辰上神卯、辰、巳、午、未、申，宜高田；酉、戌、亥、子、丑、寅，宜低田。三传财神旺相，高低皆宜。发用在日两课，宜早种；辰两课，宜晚稻。又当视类神，要太岁上神相生类神，则有收；相刑克，不收。若类神与支上神及支辰相生，即以其类植之，亦收。又支上神忌见空亡、破碎、死气、飞廉、天地转煞，纵有龙合，所收亦薄。若墓加干，费力无成。三传自生传墓，主禾苗先生后萎；自墓传生，先萎后生。

又朱雀乘土神克日，主争田界；乘水神克日，主争池水。勾陈乘土神克日，主争界斗殴；乘水神克日，主争水斗殴。二将乘木神克日，主因木植或器具斗殴。

更以亥加寅上，视家长行年上临何神，以断田禾宜利。如年上寅、申，主大收；见丑、未，主虫灾；见巳、亥，防收获时有公讼；见卯、戌，收时有远行；见午，其田未必与人公共，不然则应还偿。余辰加年无忌，占田之法也。

神煞

德神、合神、刑神、生气、死气、破碎、飞廉、劫煞、天转、地转。

占养蚕

占养蚕，大要以日为蚕妇，辰为蚕。须日辰上下旺相，生合、比和而财神临家长行年上，则收成十分。如课传有财，而家长行年不吉，则五分；辰生日，或辰上生日上，十分；日生辰，或日上生辰上，五分。更视蚕命之所属，而详其所临之何如。午为蚕命，未为桑叶，申为绵絮，酉为蚕殒，戌为蚕浆，亥为蚕死，子为鼠耗，丑为眠伏，寅为蚕茧，卯为蚕丝，辰为蚕箔，巳为蚕筐，看何类上神相生，则知何类盛旺。又蚕临财上，收成可喜，余以意消息之。大抵要乘吉神，如乙、合、龙、常之类；若勾、蛇虚化，朱、空则不吉。最忌与太岁相刑克害。又当视蚕年之所属，以详其生克。蚕年，亥、子、丑，年居申；寅、卯、辰，年居寅；巳、午、未，年居亥；申、酉、戌，年居巳。如蚕年上神生蚕命上神，则吉；若年上神克蚕命上神，则不实。最忌蚕年命落空。

又当视蚕室，以蚕妇行年加太岁推。天上寅、卯、午、未、申方利，乘吉神尤利。又视桑叶，朱雀乘虎、蛇、勾、阴加子，主桑叶贵；午加未，桑叶贱。

又占蚕忌遥克、昂星、反吟、伏吟等课，必养不成。三传始终皆吉，必有收；初吉未空，枉费心力；初凶，中末吉，头眠虽薄，二三眠可得晚蚕之利。

又未乘雀，因桑争斗，乘勾主斗殴。虎临蚕妇行年，其妇必因养蚕而得病。

又四课、三传须见午，盖午为类神。如课传类既现，即用午之本宫传出三传，以定宜利。喜旺相，忌休囚。更得太岁上神与午上神相合，则倍收。占蚕之法，备于是矣。

神煞

德神、合神、刑神、害神、生气、死气、破碎、劫煞。

占奴婢

凡占奴婢，以日为主人，辰为奴婢。其类神，则以天空为奴婢之总类，分类则以戌为奴，酉为婢，视其所乘上神，以分善恶。如乘天乙、龙、常、阴、后及德、合等吉神，来生日干，更辰上神生日，或辰自生日者，主奴婢良；如乘勾、蛇、虎、朱、玄武，及刑冲破害等凶神，兼克日，更辰上神克日，或辰自克日者，主奴婢恶。再酉乘六合，其后必逃亡；乘白虎，多病；雀，多是非；乘无武，其后必为盗；若乘龙、贵、常、后，则奴婢可托。如乘课传不见类神，则寻盘中，奴视戌，婢视酉，观其上神而论断之。

若类神乘丁马、飞廉、月厌，定主逃亡。其捕捉之法，略与捕盗同，取盗贼、逃亡二章参看可也。

神煞

四德、合神、刑、冲、破、害、空亡、合神、月厌、飞廉、驿马。

占六畜

占六畜，大要以日为主人，辰为畜。辰上生日，则畜易长大；日生辰，则人多劳苦。辰上克日，则喂养有伤；日上克辰，百物难养。三传财神旺相则吉，休囚则凶。如辰上神刑干，带破碎煞者，亦有妨于主人。若所乘天官又凶，尤验。乘蛇主非横，勾主争讼，雀主口舌，虎主死亡，空主虚耗，元主盗贼，阴主暗昧。如生日、合日，乘吉神、吉格、生气者，吉。

其类则丑为牛，寅为猫，卯为驴骡，辰为鱼，午为马，未为羊，酉为鸡，亦为鹅鸭，戌为犬，亥为猪。喜临生旺，及乘吉神吉将。忌临刑克，及凶神凶将。如乘元，必走失；乘虎，必病死。子为屠户，巳为灶，寅为脯，酉为刀，卯为砧，数者课传并见，又带血支、血忌、死气，必为人所屠戮。

至于走失，视天盘类神所临何方，即为畜之所在。类临之处，相生则吉，若为下所克制，必被拘系。欲知何等之人，则以天将决之。乘元、空，被贼偷去；六合、太阴，被人隐藏；贵、朱，在贵宅。（此指类神之下神所乘之天将也。）若类神加临支干，畜当自归也。

神煞

德、合、刑、害、破碎、生气、死气、血支、血光、血忌。

（三）心机独悟

天文

先占不测之风云，泄尽元机之秘；复推晨夕之祸福，旁通玉简之元。课逢不备，以阴阳而分晴雨；卦遇局成，凭水火以定风云。金为水母多阴，曲直则风行四表；土为火子多晴，润下则雨沛诸乡。更详传墓传生，且看为仇为喜。

阴不备晴，阳不备雨。自生传墓晴，自墓传生雨。相生为喜。金雨，水雨，木、火局则晴。相克为仇，金、水反晴，木、火反雨。六阴极反晴，六阳极反雨。

风雷煞动定拔木而摧山，云雨神临必盈科而溢泽。丁神猛恶可怪，飞符迅速堪惊。马乘云雾化龙驹，霖霖漂泊；阳逢耳目并蛇雀，星月交辉。遇生则行，遇墓则止。

凡丁神发用，见金、水则雨恶，见木则风恶，见雷煞则雷恶。飞符正月申，顺行至丑；七月未，逆行至寅。天马若与亥、子、元、后并，名化龙驹，主骤雨。天目：春辰，夏未，秋戌，冬丑。若阳神并耳、目发用，主晴。雷煞：正月亥，逆四孟。雷公：寅，逆四孟。凡金、水，遇长生则雨行，遇墓绝则雨止，以止言煞也。

亥子水润于天固雨，空土愁逢；巳午火离于地固晴，冲滕怕际。金神遭克雨无多，水神乘旺晴不久。

凡亥、子加临巳、午、未、申之上，则晴不久也。申、酉二金神有气则雨，无气则阴。寅、卯二木神有气则炎旱，无气则风。四土不雨。水神虽雨象，不可见土相克，空亡相加则反不雨矣。火神虽晴象，加丁神，天马相并，见蛇、雀、太冲，则雷电交作，有水神者雨，无水神者雷电而晴。以上言支辰也。

先看青龙为雨主，入江入庙非宜；次推白虎作风神，至野至山可畏。蛇入水化蛟龙，贵居云为神圣。蛇雀乘丁加卯，雷电霹雳飞腾，课传俱土逢阳，日月星辰照列。天罡阳晴阴雨，月建刚旱柔雷。阳将火神多亢旱，阴将水神必凝阴。要察刑冲，须明衰旺。

占雨以青龙为主。若在巳、午、未、申、酉之上，则龙飞天必雨矣；若在亥、子江湖之内，则无雨。白虎若在寅、卯、辰、巳，则为跨山出林，而风恶矣；在午、未、申、酉、丑、戌，小风而已。蛇入亥、子，则有化龙之象，主雨。贵人在亥、子，则为行雨之神也。天罡加阳主晴。又法以月建加正时，如课传中火将、阳神多则旱，水将、阴神多则雨。见刑冲主动。水神冲则雨动，火神冲则旱动，木刑冲则风动，土刑冲则霾动，金神冲则阴云动。衰则阴沉不久，旺则久。以上言天官也。

地理

辰阴乃山主，看坐向相生相合；

第四课，坟墓也。上下相合是吉地，相刑克凶。日干，主人之象，相生合尤吉。

冲位为对案，察加临相克相生。

如第四课下一字是子，乃壬山，午即对案，为丙向之类。亦须有气吉，无气凶。

歌曰：壬在子兮癸在丑，艮寅甲卯乙居辰。巽巳丙午丁纳未，坤申庚酉不须论。辛戌乾亥皆如法，天地移来一掌心。

巽丙丁坤

乙 庚

甲 辛

艮癸壬乾

上下皆合定风完而气足，干支全损必水涣而砂分。

干支神六合，地盘亦合，互生合，大吉。刑害者凶，亦主水走砂飞之象。

青龙左喜，不当落在空亡；白虎右忻，岂可临于刑害。

青龙不宜空亡，空亡则左畔之峰凹缺招风矣。白虎若见刑害，则右边之峰不完。凡第四课加天空，贵人逆行，则左青右白，风水全吉矣。

土神旺来龙不错，腾蛇落点穴无差。

土神，四季墓神，如春辰、夏未之类，但临处为来龙之吉。腾蛇所在为穴。

水有之元之水，亥子壬癸遇元武；

水有之字、元字之形，风水中最喜。若课见亥、子或旬中之壬、癸，见元武、天后以应之。

山逢合抱之山，未戌丑辰及土宿。

山有合抱之形为上吉。若土爻加第四课，再土宿、贵人、太常、天空、勾陈，即应此形矣。

家宅

凡看三传，察其益人益宅，更参诸格，究其伤日伤辰。所益不当年去克，有伤岂可命来生。

若三传生支克干，宜早卖宅；若生干克支，必无所居之宅。若传

财生起干支之鬼者，主疾病破家，宜年命上乘神制之吉。支上乘脱气煞及被克者，或支临上受克者，皆无正屋可居。

禄马在干支，必人荣而家富；罗网裹身宅，定家破而人伤。

罗网不吉。若吉将生干支、年命，不过缠绵，不以凶断。干驿马，支乘禄神，主人宅荣华。若支乘马，必主动修迁也。乘罗网，遇年命上冲为有救。

干支乘鬼，物我遭伤，逢日刑而尤畏；三四遇官，病讼交至，见岁破以偏嫌。

干乘支鬼，支乘干鬼，或岁破作鬼克支，主一年不利。月破一月不利。空亡稍轻。

脱则赚诈盗贼，生则进益亨通，死则衰羸，墓则混沌。

干支各乘或互乘死神者，不可动用。

乘墓则身居云雾宅生尘，坐墓则宅假人残身招侮。

乘墓即干支乘墓、互墓也；坐墓，干坐支墓、支坐干墓也。若此者，将宅借人任作践。

逢血厌而凶多，遇丧吊而吉少。

血支：正月起丑，顺行十二。血忌：正月丑，二月未，顺对冲是也。月厌：正从戌，逆流。此三煞并临支上名血厌入宅，更克支墓支大凶，有堕胎血光之应。丧吊全逢，必有孝服。太岁前二位丧门，后二位吊客。

三交匿埋名之客，九丑妨元首之翁。

三传四仲名三交，主隐匿逃亡。若乙、戊、己、辛、壬日逢四仲，丑加仲，名九丑，主家长丧亡，远三年，近三月。

财忧父母，若化鬼而无妨；生愁子息，如变比而不忌。

三传俱财忧父母，见官鬼爻于干支、年命上者，化吉。

支两旁为左右之邻，辰正射为对门之舍。

一是阳神看家翁之否泰，二为阴将验奴仆之慵勤。

求財

傳財明休旺，喜生將而忌生官；

凡傳財太旺，求之不得。若傳見財，天將生助之，則大利也。傳全財，生起日干之鬼，則因財致禍矣。

彼我看干支，宜遇合而惡遇害。

干己支彼，宜乘合、互合、上下合，則主客相投；若合中犯煞，又乘六害者，不可求也。

末助初傳人暗助，支傳干上利求謀。

凡末助初財者，有人暗助也。初傳是支發用，末傳歸于干上，乃彼求我也，利求謀。

艱難、避難，細詳坐末之神，渡戶、渡門，宜驗發端之將。

三傳初中空亡，末傳為財者，艱難後得。三傳官鬼、脫氣，而干坐財爻之上，乃避難求財也。艱難之財在末傳，避難之財在身下，故曰詳坐末之神也。

險鬼乘財，財出險最喜尋人；

三傳全鬼，則無劫奪之患，若見一財，則變為真財矣。宜急取，稍遲恐鬼傷人。財就干上曰財就人。

絕神是利，利宜絕不當乘墓。

財臨絕地宜結絕財事。財若乘墓、作墓，亦宜急取。

閉口昂星皆少力，羅網無信总成空。

旬尾加旬首曰閉口。伏吟見丁馬為無信。

奇儀周遍枯木逢春；

三奇：子戌牛，申午子，辰寅兩甲奇是亥。六儀，旬首发用也。三傳不離四課曰周遍。

欲問成期末傳合位。

以財之合日可得。末傳合位上乘何神亦同。末傳寅，寅與亥合，

亥上见申，便当申日到手。财，未合上神方到手。

行人

年命入宅魂已归家，干克临支身临彼土。

行人年命加支上，指日回也。干加支克支，行人来。

断桥则中途被阻，循环则不久归家。

中传空有阻。

支传干上干乘墓，生气青龙喜叠来。

支传干来，干传支不来。干乘干支之墓神者，行人来。青龙作生气，生神加干，来必有喜。

我求彼事彼逢关，死囚白虎凶骈集。

干伤支不至。四季关神发用，阻滞不至。关神乃春丑，夏辰，秋未，冬戌。白虎乘死囚气发用，名魂化，行人凶而不来。

天罗自裹，淹留而坐卧非宁；三六相呼，眷恋而资囊盈溢。

墓神与命相并，临于干上，名天罗自裹。干墓作支华盖为用者，行人不回，在彼俱不如意。

退传则归，进茹则滞。

龙战则进退狐疑，反吟则去来不定。

卯、酉日，值卯、酉发用，名龙战卦，行人不归遂意。反吟主去来不一，归迟。

东走南行酉为速，西将北转卯非迟。

日在东南看西，酉如日暮，行人当至墓而归矣。一说东南行人，看东南方起身，西方中途，北方子为冬至，行人当至也。日在西北看卯，卯如日出，行人当离矣。又自西北起身，东方中途，南方午为夏至，行人当至矣。

近出看罡临而分前后，远行详魁值以别壅通。

天罡加在日辰前，远近将来赴会筵；天罡加在日辰后，纵然隔

壁也无缘。戌为河魁，加亥有阻。

词讼

详干支以分彼此，凭官鬼以见输赢。

干乘鬼我伤，支乘鬼彼伤。传鬼太旺，亦不克我，至休囚之时方畏之也。若鬼爻上受天将克，下受地盘克，亦不为凶。坐落亦同。鬼坐绝地，宜结绝凶事。若绝鬼坐生地，词讼仍起。官鬼作岁破神，主大讼也。

子孙克鬼临日辰而患门有救，

子孙加干支，有人解救；加年命，自己解释。白乘太乙逢赦宥。

父母化鬼见传命而祸地无伤。

此引鬼为生也，初官鬼，末父母是也。有三传官化为干支父母者。

害合析分解结，

干支乘合互合，主有讲解；乘害互害，暗相谋害。

旺败辨别浮沉。

乘旺并罗网，只宜静守。干支乘败气，彼此各有不法，同败露也。

空亡喜惧，墓库忻憎。

虎、勾、蛇、雀、元、羊刃、罗网则喜空亡。龙、常、贵、六、德禄、财爻则忌空亡。支墓临而本命并之曰天罗自裹，事出自致。传墓、入墓、干支乘墓、互墓，主入狱之象。初传长生，末传墓神，自生传墓，有始无终。初墓未生，先迷后醒也。

贵罡杜鬼，如加年命以消殃；

地盘寅为鬼户，或贵人临地盘寅，贵塞鬼户，虽众鬼上传亦不畏也。若加年命，有贵人解救。

虎鬼乘驎，若值日辰而祸炽。

驛者，驛馬也。虎鬼乘驛馬，臨日干、年命，大凶甚速；若坐长生，空墓，虎陰制虎，上下夾克，不然，則禍在外方，凶無畏矣。不凶而虎頭蛇尾，非吉而雀入勾鄉。

凡午加辰發用，為雀入勾鄉，主非細之訟也。

赤鳥犯歲君，騰蛇夾丘墓。

朱雀乘神克太歲，主得死罪，達于朝廷。兩蛇夾干墓大凶，惟年命有神沖之可救。

丁動逢刃而縲纁不免，龍陽生日而刑辟蠲除。

凡金日，逢丁神乘勾陳入傳，在日干、年命諸，主官司近喚；羊刃乘神傷日干，罪必打死。凡月將臨日干、年命，解救得理，青龍乘生氣亦同前。

二赦解凶殃，分地支各有屬省；

干支、三傳、年命見之有解救。皇恩正月起未，順行六陰。天赦：春戊寅，夏甲午，秋戊申，冬甲子。

五刑決罪戾，辨天將信無更疑。

五刑傷日有三等：一字刑，乃干支自刑，辰、午、酉、亥是也；子卯相刑起，二家非理也；丑戌未，乃恃勢而致也；寅巳申亥，乃無恩而致也。訟見之，必受責。木笞枷，火杖血，土徒禁，金針刃，水流罰。更詳天將金、木、水、火、土，刃、笞、流、杖、徒。

兔犬相加防吊拷，雞蛇發用恐流離。

卯手，戌足。手在上則拶指夾棍之刑，若足在上則逆為吊拷之刑也。酉巳相加為發用者，合成配字，主流于遠方。

循環周遍逐日纏綿，根斷源消其年破敗。

三傳不離四課曰循環，干支乘旬首尾曰周遍，占訟必無了期也。四課俱下生上曰根斷源消，虛耗無已，至破敗貧窮。

格凶亦凶，課吉必吉。

年月日時俱在四課名天心格，主聞朝廷。三光、三陽，逢凶

化吉。

鬼绝处便见结绝，未散时定然解散。

如金爻是鬼，当绝在寅，寅上得何神，是结绝之日也。未传对冲之神上乘何神，乃解散之日也。如未传是卯，对冲是酉，酉上得何神，则是解散之日也。

婚姻

凡占婚姻，先观彼此。男干女支，孰相克而孰欲背；阴阳年命，孰相加而孰欲成。

干加支，男求女；支加干，女求男。女命占得干加辰，男命占得支加干，来意占婚，极验。女年在干、男年在支，乃先奸后娶；女年在男命、男年在女命亦然。若见后合者亦然。

递生干兮当面有多人推荐，未助初兮暗里有佳客扶持。

未传生初，为日之财者，占婚尤的。

中间实者利媒约，未传合处是成期。

初末空亡，诸占无首尾，惟大利媒保，免不得两边脱漏以成也。

一切喜庆之事，以未传合日为期。

三六合为百年之鱼水，干支刃为一世之熏莸。财临旬后凤孤飞，鬼坐天中鸳独立。

财空妻不就，鬼空夫不就，才鬼若空亦不成。

传财生鬼，贪淫欲而致夫君于泉下；传财克生，恃凶狠而逆父母于庭中。

凡财局生起干上之鬼者，防克夫。全财克干支上父母爻，逆公姑，若无父母不论。

魁度门而风波起，丁乘马而喜庆生。

戌加亥阻隔不成。壬、癸日有丁神临干支、年命者，即有娶妻之喜。

牛女乘常利谐秦晋，财常加日宜向冠裳。

丑中有牛宿，子中有女宿，凡丑子相加，乘常，婚姻大利。凡财爻乘常临干支者，来意必占婚。

干支逢后合定先通而后娶，生气会青龙定有吉而无凶。

主利夫。

后克干而夫早丧，龙克支而妻早亡。印绶为公姑之位，安可伤乎？盗气乃子息之宫，不当刑也。

天后乘神克父爻主妨公姑，刑子爻妨子息。

女貌妍媸，察后阴而立见；男材修短，评龙阴而即知。

天后之阴神以定女貌性，如金义，木仁，水智，火礼，土信；金清，木瘦，水肥，火尖，土浊之类。详天将吉凶衰旺言之。查龙之阴神同此。

四课无遥，婚不成而暧昧；九丑有克，事难就而惊忧。

无克无遥乃昴星也，不成。九丑有悲泣之声也，亦难成。

芜淫不顺而萧墙祸起，解离非利而心腹患生。

干上神克支，支上神克干，为芜淫卦，不利。干支上将互克为解离卦，亦不利。

阳不足则二女争夫，阴不足则两男竞女。

如支有二课，干只一课，为阳不备也，二女争夫之象。二占俱不可用。

孤辰寡宿多妨害，狡童佚女主奸淫。

孤辰者，春巳，夏申，秋亥，冬寅，为发用也。寡宿者，春丑，夏辰，秋未，冬戌，亦不利。三传得卯、酉与后、合并之。又，后、合，占婚先通后娶。

内战凶深难解结，外战祸浅易禁当。

地盘克用神，用神克天将曰内战。天将克用神，用神克地盘曰外战。俱不利占婚。

生产

干支相加看生迟而生速，日辰相克审伤母以伤儿。

干为子，支为母。如干加支上，乃子恋母腹，占胎稳，问产迟。支加干上，占胎即堕，占产即速也。若干支乘鬼，或互乘鬼，乃母子俱伤也。

二曜夹三传而气闭，旬尾加旬首而音难。

干支夹定三传，初末再见六合，乃气闭于中，子母不保。如母年命透出干支、三传外者，可保无虞。旬尾加旬首发用名闭口卦。必生哑儿。

内战外战分轻重，进间退间详喜详忧。

进三间吉，退三间凶。

自裹天罗为可畏，如逢地网更堪惊。

干支乘前一位为天罗。干墓、支墓临干上，产母年命又与干并，得此者难望生活，惟冲破、空亡乃可救也。

年命冲伤而怀孕者愁见，长生坐立而临产者忧逢。

母年命克胎神者必小产。胎坐长生，占孕吉，占产迟而且凶。

胎神临日当日添丁，死气加年其年损母。

胎神临于日干之上者，当日生子。产母年命见月内死气、死神、月厌者，主堕胎，母亦不吉；若生气作月厌则速。

丑腹空而诞速，魁渡门而产迟。

丑为腹。丑加日，立胎神上者，来意占孕，极验。占产立生。魁渡难产，年命冲之反速。

卯手戌足，喜指天而忌指地；后母合儿，当乘生而莫乘死。

卯加戌发用，占产顺；若戌加卯，则生理逆矣。盖足向上而手向下，则逆也。后、合乘生气吉，死气凶，临克地亦然。

三等元胎详损益，两个无遥见男女。

天开子，地辟丑，人生寅，所以四孟为元胎也。寅加亥为生元胎，取长生也，生子兴旺，寅加巳为病元胎，生子衰弱。寅加申为绝元胎，生子不肖。刚日昴星，以从魁仰取为用，生女；柔日俯取为用，生男。

地烦休遇，天德宜逢。

天德：春午，夏辰，秋子，冬寅。马、龙、鼠、虎四时推。凡太阴月宿加四仲上为发用，天罡加丑、未者，名地烦，主妊娠血光之灾。天德加凶神上，主化难而成恩。

受孕之期，年神之本辨阴阳；分娩之辰，月令之喜安方位。

以妻行年上神长生神为受胎之月，月之长生为受胎之日，日之长生为受胎之时。四季中之喜神所在之日为生子之期。

破刑胎位，及生神五行养处，及子本纳音破胎地，也是喜之程。

以胎神刑、冲破之日生。月内生气之日、本日养神，俱不及冲破是。又以母命纳音之胎神冲破之日推生期，极准。腾蛇、白虎若重逢，更带子孙两子生。

仕宦

六阳数足，功名显达果何如；二贵引从，卿相提携真罕绝。传神互克须防台谏封章，课逢递生定见公卿褒誉。退间则拔蛇于窟，进引则飞龙在天。

三传退间，望功名如拔蛇之难。进三间、进连茹大吉。

将逢内战，官居名位胜龚黄；德入天门，莅任庭除过王谢。

地盘克用、用克天将曰将逢内战，诸占皆忌，惟占功名为上达之象。三传全见下克上者，尤为进转迅速之象。德入天门，前程远大。

一详鬼曜，如逢白虎号催官；二察禄神，若值临支当替役。

白虎名催官符，喜财生助，忌坐墓乡。虎之阴神忌克白虎乘神。

有干支天禄者、二贵夹禄者、初末夹禄者，最忌空绝。禄临支，主权掇不正，受制于人，或替职于人。

魁度天门龙化蛇(忌)，贵临鬼户蟠成龙(喜)。朱雀文章，若值退爻防黜落；

应试凶。朱雀临支，加日干、年命上，奏章防责黜；临午为真朱雀，加巳、午、未上名翱翔，上章大吉。

天官举主，如临私户号蹉跎。

贵立卯、酉为励德卦。日在贵后为微服，日在贵前为蹉跎，主淹留。若生日干之神者，亦名思举主。

六处喜生旺，诸占忌墓绝。

诸家皆用父爻、贵人、长生并为思举主，忌传墓、绝、空亡，喜相生旺相。干支乘墓、互墓，有冲即吉，惟库务不作墓论也。干支乘绝、互绝，俱不久之兆，若交代替职役却喜见也。

看操觚染翰之文，龙宜有气；察执锐披坚之士，常要无空。

文看青龙，武看太常，若临巳、戌，为捧印大吉。二神要旺相，若休囚、墓绝、死气、受克，皆不吉。

诸侯看月将，军功视刑煞，功曹刀笔吏，印绶补身流。

侯伯看月建，军功查支前之刑，吏看功曹，补身替职役并袭爵看长生神。旺相死绝如龙常例。

欲问迁期，各从其类。去干年而支月，所生日以克时。

如文看青龙，去日干几辰是几年迁去，支前几辰是几月迁。又以青龙所受生处是日，所受克处是时也。如戊子日，卯时占，午为青龙，戊课在巳，去干一位是一年；支至午七位，是七个月；午火生在寅，寅上见亥，亥中有壬，当在壬寅日；水克火，所当在亥、子时也。

日与用神，生分内外。

龙、常生日干，龙、常克日干，在内任。日干克生龙、常，在外任。

选举

帘幕贵逢，可望高登黄甲；魁罡将遇，必然稳步青云。

天罡首领之神，天魁文明之宿，有前后引从，二贵夹拱，必中魁也。若遇空则无益。

牛羊鬼斗临干，敢轸郊祁；朱雀文章克岁，漫夸班马。

丑中斗宿，未中鬼宿，丑未相加，临日干、年命，必中魁也，忌空。朱雀，文章之主也；太岁，至贵之位也。相生则中，相克不称上意。

从魁端似亚元，辰未合为解首。

辰中有角宿，未中有羊宿，辰未相加，临日干、年命者，中解元。万里风云生足下，兆化飞龙；数年泉石隐形踪，退潜鼃蜃。

初蛇未龙，乃变化飞腾也。初龙未蛇不吉。

六阳数足，相逢月将更光辉；两贵提携，若值末初犹称遂。

逢月将光辉，阴私不利。引、比肩、脱气，不可同看。

昏晦墓神覆日，奔波罗网缠身。

若是太阴，不以墓论。

喜德临乾，宜魁渡亥。

为德临干也。魁度亥诸事不利，惟利科场。

旬首冠群英，须分五甲，

旬首加日干、年命，必首荐也。如甲戌旬中，戌即一等，子二，寅三，辰四，午五。甲申即空亡也，六等无疑。

真朱超品汇，当审三凶。

岁君、幕贵乘丁、驿伤时，主考变更难。真朱雀极美矣，一凶者，克岁君；二凶者，克幕贵；三凶者，乘丁神、驿马也，主变更不一。

格见天心，又掀天而揭地；局称消断，定垂首以丧神。

年月日時俱在課傳者，名天心格，貴顯非常。如四課俱是下神生上神，如木斷其根，水消其源，無本之象，不能中也。或四課全見上生下者，名雨露潤澤，必中無疑。

武事

張逍遙以武事初入，亦如文人進身入仕，然後分文武。

蛇蚓，其形象弓，不當劣矣；紫參，其屬為矢，誠宜壯哉。

以巳為弓，申為矢，二神俱要旺相，空絕不利。

仲為中朵，孟号角花，午上紅心，可展穿楊之技；季中白地，難施射虎之材。

申、巳加四仲，箭中紅心，加四孟即中角花，加四土不能中矣。

以四課之發傳，為三四之箭數。

第一課發用，一箭；第四課發用，四箭。旺相加倍，休囚本數。

買賣

交車十等，須逢生合為宜；

十等者，克、害、刑、沖與空、墓、脫氣。原來總不如三交，必有二三事才合，方才最可宜。

凡交車合財，宜以財交涉，最利。若交車三交，則因交涉而有二三事。交車脫氣，并克、害、刑、沖、空、墓，則不吉。

未助三般，若遇遞生尤利。

未助初傳作父財，若作官鬼便不諧。

互相生旺愁羅網，

干支互生，宜合本生意。干支乘旺，則守之為宜。所忌者，逢干支羅網。

如逢死墓怕關妻。

干支乘死气、互乘死气，不可谋生意。墓神在传中，传墓入墓，在干支上为乘墓，在干支下为坐墓，必昏晦折本。干墓并关神，主废弛。支墓作日财，主折本。

旧事更新，病符并生加两曜；动中求静，禄神乘旺覆干支。

病符，旧太岁也。临干生干，临支生支，或为财爻，或为贵人，宜成合旧事也。乘月内生气更妙。

进步甚艰难，初中不利；生涯深遂意，昼夜相随。

初中空亡，未传为生、为财者，于艰难中两进步，定有结果。二、贵引从、三传引从，主有人提拔也。

登门、渡门，内战、外战。

生气会青龙，重重喜至；印财带常宿，屡屡兴隆。独足卦青龙背上兴家，九丑课白虎头前觅利。

乙、戊、己、辛、壬日逢四仲，丑又加仲，名九丑。独足诸事不利，惟利商贩行舟。九丑则折本矣。

闭口源消岂可用，天心周遍莫猜疑。传前当行，退间须止。妨生意只为多财，损资本盖因劫众。

三传皆兄弟则不利。纯财固可求生意，不久也。归结合神成事业，财爻空绝损精神。

疾病

测病症受感之源，先详虎鬼；起沉痾临危之际，次看生龙。

白虎临干支、三传、年命者，视白虎。不见白虎，官鬼爻同。金为虎鬼，则病在肝，可治肺而不可治肝，余仿此。虎鬼空亡，不治自愈。龙乘生气生干，至危复生。

虎鬼驾马为可畏，如逢死墓病丧倾。

死、墓加病、丧上也。虎鬼乘驿克干大凶。虎乘绝，为丧门，乘死气并丧车，虎乘墓，乘病符作干支墓者，必死。

子孙加临名有救，若值贵医年命愈。

贵医加年命也。子为杀鬼之神，主有良医解救，若坐空墓亦不能也。子爻属水宜汤药，木散药，金宜针，火灸，土丸药。

丧吊哭送姻亲殂，常加而分内分外；

干支乘丧吊全者主孝服，临年命尤的。干鬼乘太常，逢月内死气，加干主外孝，加支主内服。支鬼加太常、死气亦同。白虎、死气、羊刃、空亡入宅，亦内外孝至，虎阴制虎者无妨。

病符临传眷属亡，鬼动而详死详生。

病符克宅全家患，白虎、死气尤凶，乘天鬼作日鬼主瘟。

引鬼为生，切忌收魂神至；

三传皆鬼而干上为父爻者，有三传皆鬼而天将为父母爻者，俱名引鬼为生，病虽昏沉而不死。鬼受夹克亦不死。收魂神者，乃干墓乘元武是也。

因妻致疾，还防冢墓门开。

三传俱财，生起日干之鬼者，必因妻财致疾。

脱败且而虚羸，

干支乘脱气、互脱气，主上吐下泻。四课俱上神生下神者，名根断源消，主癆瘵疾。干支乘败、互败，主因酒色以致虚弱。

鬼死逢而危笃。

官鬼全见，干支互乘死气，主日渐危弱矣。

鬼户宜关，人若入而不利；天门怕渡，贵如登而反价。

年命加寅，乃人入鬼户，大凶。日干加上亦凶。

一尸入棺愁易毙，两蛇夹墓病难除。

凡六合加申乘卯，又逢死气，名死尸入棺，占病必死；若无六合而乘生气，主病在床。六合如六片棺板之象也。

忌支病血，妇人逢崩漏伤胎，常后因婚，男子遇筵席损胃。

年命、日干上乘血支、血忌二神，主生血病。常后临支克干，病

因饘酒食而起。

丁详金水，空验新陈。

金日逢丁多不救。水日逢丁，病因妻财而致。久病逢空亡必死，新病者生。

闭口绝食，忌末初之合；盖头孝帛，防年命之乘。

旬尾加旬首名闭口卦。逢财、禄神，主绝食而死；初传作六合，气塞于中，咽喉闭隔而死。妻占夫病，忌年命上乘太常、华盖、日鬼、死气、吊客相并，为孝帛盖头，必死。

蒿矢不可见金，浴盆岂宜有水。

蒿矢本力微，虽鬼贼而不凶，若申、酉、太阴、白虎、旬遁庚、辛为发用则凶。浴盆有水则可淹人，凡浴盆煞乘后、元，加亥、子，俱是也。

自墓传生迷亦醒，虎头蛇尾病还轻。

初为干墓，末为干之长生，曰自墓传生。若自生传墓则凶。初传白虎，末传腾蛇，凶而不死也。

卢扁亦会杀人，医神乘乎天鬼，汤药不能愈疾，药物异于子孙。

太医乘虎鬼，主庸医害事。天医所生为愈期。金鬼忌针，木鬼忌散，水鬼忌汤，火鬼忌灸，土鬼忌丸。

恶德丧禄绝，喜贵福集身。

德禄忌坐空、墓、绝，空亡。贵德临身，能消万祸。

生气死神各有吉凶，循环周遍不作祲祥。

生气克死气吉，反此凶。死气空吉，生气空凶。年命克死气吉，若克生气凶。二气不克愈缓。循环、周遍，绵绵不休。

卯戌逆而风搐，子巳会而死亡。

卯为手，戌为足。戌加卯，足在上，手在下，主癫痫风症也。

盗贼

占盗行藏须用鬼，元神生克以详因。卜赃得失但凭财，福德旺休而考证。

官鬼为贼神，元武为贼人。财为赃，有子孙生助，财终不失。财若无气必失。

来方看所立，去处详支临。

元立处为贼来之方，其方之支加临之处为贼去之方。如元武乘寅加亥，则从西北方也；其亥临申，向西南去也。

逾垣屋者因乘天马，穿窗牖者由遇悬绳。

元武并天马，由屋上而下也；元武与长绳、元索煞并者，必由窗牖中入也。

居夜而越渡关梁，在昼而形影显露。

元武临酉、戌、亥、子、丑之位，为夜方，主难获；临昼方，定有人见形迹，而易获也。

丁马交加防远遁，太阳照耀便擒回。

凡丁乘元武，来意必占贼也，得此贼必远遁。

旬首获易，河魁捕难。

如旬首乘元，退后四辰之方捉贼即得。甲子旬乘元武，退四位，酉上也。河魁渡亥难获。

都将见贼人，鬼克元神公胜盗；家宅逢盗脱，官乘生气去还来。

凡游都所在之下，访盗即获。若官鬼克元武乘神，利捕捉，即获也。凡支上见脱气乘元武者，是家人盗窃也。若鬼乘月内生气，在干支三传者，贼必再来。

子孙赶贼，鬼相冲而自败自擒；

凡六处得子孙爻为赶贼之神，易获。传中有官鬼相冲者，主贼自擒贼。

发用为偷，中末传而为贼为吏。

初空，贼不可得；中空，贼物不在；末空，吏不用心。

一数至阴知数目，五行生处物伏藏。

元武立处，顺数至阴神之位，得几辰即知几贼。以元武之阴神上所得之支辰为方向，及相生之理言之。如元武立亥本是申，申上得巳，则东南方可寻物。相生，则火生土，物在高阜处得也。若元武空亡，主自失脱，非盗偷也。

岁月克他而弥年弥月，日时伤彼而期日期时。

年月日时何字克得元武，即以此字决之。如年应在一年，月应在一月也，日时仿此。

闭口不可以问人，空亡何劳于寻物。

旬尾加旬首，问人不开口。财爻落空，不必寻也。

若夫六处元武不克日，诸神顺布，日辰俱合，为自失，非人偷。

干支、三传、年命上无元武，或有元武不克日者，日辰上下相生，天乙顺布，主自失落，非人偷也。

卜乡邑斩关之寇，课见腾蛇，占家堂心腹之人，年乘元武。

欲知郡中有盗否，课传见元武、腾蛇则有盗，无此二神即无盗。

如家中有数十人同居，一人失物，则以众人年命凭之，乘元则偷。

阳为男而阴则红颜女子，旺者少而休为白发衰翁。

元武乘阳是男贼，乘阴必女人也；乘旺相少年，休囚气年老。孟老，仲中，季少。

追洁身之达士，译日德之加临；捕背主之逃奴，看支刑之落处。德克刑而易获，刑克德必难寻。

刑克德，贤愚俱不能见；德克刑，贤愚皆可见也。

子弟位属六亲，

父母即用父爻，夫用鬼爻，妻用财爻，又用各人本命落处言之。

婢仆爻见异姓。

婢以太阴、从魁，仆以天空、河魁，仍用其本命落处详言，更验。

仆类天空与戌同，婢看酉与太阴逢。更详本命归何向，远近方知的确踪。

若犯奸淫盗窃，当观天目贼神。

若犯奸盗而逃，又不用天空、河魁矣。盗财，当以盗贼法占之。

若别故而逃，当以天目所在之下寻之，可得。

自信则近，无依则遥。

自信，以伏吟不动之象，返吟纯冲则远矣。伏吟，刚日自任，阴

日自信，无丁马、天马、逃去不远。

欲识里数之远近，当测河魁之方位。

以天魁，离日前几辰，便是几数。旺相则以千百言之，休囚则以十零言之。

更详诸格之忻嗔，莫执一偏之识见。

若循环格，则去而复来。

自逃

裹天罗、遭地网，将欲何之；

干乘墓，命又乘墓，名曰天罗自裹。干支乘前一位同。空冲可逃。

塞鬼户、登天门，庶可逃也。

登天门，劳于王事者不能逃。

传凶干吉，号曰避难逃生；干子传鬼，名为患门有救。

干乘吉神，不能得传中之用，未免避之而自逃矣。或上乘凶不可守，三传又凶不可趋，而日干坐合、德、禄、旺气之方，可言避难逃生也。如三传皆鬼，干乘子孙为有救。

丁神马曜，最宜年命之宫；白虎官爻，切忌日干之上。

金日逢丁凶祸动。乘元武因盗贼牵连而走，见蛇、雀因血灾、文书而走；见勾陈因词讼而走。驿马宜生旺，可逃。年命乘丁、长生，可避也。虎鬼临干凶甚，不可逃；若在三传，逢空、坐生、坐墓、坐克、逆阴制之，可逃。

有墓昏迷，尤忌两蛇来夹；无遥混沌，须防众虎纵横。

干支乘墓、互墓，自招昏晦，无所逃避，若年命冲之可去。太阴不作墓论。昴星乃虎视卦，再逢白虎，有力难施。

喜生神月德之方，忌天目直符之位。

天目乃四相墓神也，如春戌，夏丑，秋辰，冬未。长生、天德、月德三神若在何方，趋其处而避之可也。直符，甲日巳逆至戌日丑止，己日午顺至癸日戌止，此二神方宜避之。

六辛克日殃非细，一犬当门村自深。

辛金乃白虎之象。如丙、丁日，忌六癸阴遁之鬼，煞重，当以类推之。以上俱不能逃也。一犬当门，乃戌加亥也，主关隔不通。

斩关游子海角天涯，内战天心穷途路窄。

斩关，魁罡龙合干支上；游子，四土三传丁马随。魁罡乘六合，加干支为用，乃真斩关。四土为三传，见丁马，名游子。俱利逃亡。

远近但凭休与旺，屯凶盖畏墓兼空。

发用之神生旺宜远去，休囚宜近。传墓、入墓皆凶。空亡如陷井一般，进茹空亡不宜逃，退茹空亡宜远去。

迁移

临身之禄不空，坐守而百福滋至；加人之网不破，动用而众祸集身。

禄神临干宜守旧，若空亡不必守矣。如三传初中传空亡，未有吉将，不得不进一步也。若禄乘元、白，亦不必守。干支各乘前一位为罗网，三传、年命有冲为救。不宜动用。

前空后盗，若果何如；静旺动罗，忧非浅也。

三传空，进不能矣，欲退而干坐鬼爻，只得守拙而已。干支旺、互旺，宜守旧，妄动则变为罗网。

出墓则离寇仇而归慈母，入墓则去衽席而就砧锋。

自墓传生，犹出狱也，利舍旧图新；自生传墓，犹入狱也，宜守旧。

天门杜鬼当已矣，鬼户门栏任所之。

天门杜绝，从旧居而谋事，日拙矣。此亦可旁通于他事。

贵立乾宫，神藏煞没；若临艮位，鬼伏妖潜。

贵人坐亥为入天门，坐寅为塞鬼户。

二格不堪离旧屋，两争岂可就新庭。

二格者，周遍、循环也。两争者，内战、外战也。俱不可迁移。三

传不离四课，有破碎墓、冲蛇之神有救。

再审出入之方，更察迁移之日。

趋谒

欲知谒贵之占，当验神将之吉。罗网须破，六阳公用自和谐；死墓当冲，六暗私谋应遂意。彼我之求，传支传干而可见。

初传发自干上，末传归于地支，以尊求卑，以我求彼也。若初传自支发用，末传归于干上，乃彼求我也。凡干加支，访人必见。

若支上乘神生起干上之鬼者，反招大凶，不宜求谒。

干求之利，合三合六以推之；

三六合，主神合道和。若上神三六合，地盘干支作六害者，名外好里差，不利。犯煞亦然。

前后逼迫，如逢禄旺守为宜。

前后逼迫曰周遍，干支加旬首尾曰循环。

伏乘丁马是主动而非主静，反见天中当见安而不见危。

伏吟本静，如丁、驿、天马在传，宜迁。反吟主动摇，若传空不宜迁矣。

九丑披星带月，斩关袖手盘膝。

九丑主摇动，不迁即伤人口。天罡乘龙、合加日，乃斩关也，若占时为发用，主动中不动，名移远就近格，将缓为速。若中末空亡亦然。又初见太岁，未见日月者同。

蛇掩目而何之，墓笼身而安逞。

昴星乃伏匿课，不利动。若干支乘墓、互墓，皆凶，不宜动。

众鬼入传殃必笃，两蛇夹墓祸尤深。

柔日昴星名虎视，传见白虎，如二鬼并行，动守俱凶。如日之墓神，上见昼夜二蛇入者，同上断，两勾夹墓亦同。惟干支、年命、三传空亡，不可进矣。退而逢脱气、官鬼，不能退矣。岂如守我之寂寥乎？若干乘旺禄宜守，动则失。

递互生扶，若值循环求必遂。

三传递生日干、循环、周遍、未助初传生干，主干谒遂意大利。初空末吉辛苦何禁，尾上首加艰难可畏。

初空末吉，必涉艰难而后遂。三传全空并退间无用。旬首上乘旬尾为用，为闭口卦，决不与语也。

天门忌阻，鬼户宜关。

河魁渡亥，凡事有阻。贵人、天罡坐寅，趋谒遂意。

引从告谒偏谐，任信寻求乖戾。

凡二贵、三传引从天干，夹拱年命者，有贵人扶持也。若伏吟课，阳日自任，可托于他人；阴日自信，可取必于自己，乃静象也。若丁驿入传则无信，或允于先亦失于后。

田禾

欲识农家事业，先观发用三传。金为面麦之神，种他谷则有虫蚀之

患；水本稻粱之宿，植别苗则生糜烂之虞。

申、酉宜种麦，亥、子宜种稻。

水纵稀疏，嘉禾自茂；火防亢旱，黍豆偏宜。

寅、卯木宜种禾谷，盖木能生五谷也。巳、午火宜种赤豆、黍子，种别谷则伤旱也。

土乃生物之源，植麻最为有益；若论迟早之田，还究末初之吉。

辰、戌、丑、未宜种麻，若种他谷亦收，土为万物母也。初传早田，中传中田，末传晚田，忌空亡。

出行

先看丁神驿马，惟金愁火反映深；

六处乘丁则动，惟庚、辛日逢之则凶。见驿马尤速，丁较驿马更速。

次察天秤河魁，有合逢龙皆吉盛。

魁罡乘龙、合在干支发用，名斩关卦，利远行。

中末逢空，发用占时宜远就；

若占时、发用、中末传空，名移远就近，动中不动。

艰难进步，头面逼迫去还来。

初中空，未作财爻，方可进取。若末凶，则进何益。而干后脱、空、官鬼，亦不可进，守为吉也。

旺禄出门，翻撞罗网之内；墓空登路，遍投云雾之中。动而有悔，日干所落不逢生；移动无心，年命到家遭会合。

日干如临之下，即所生之处也，若空、墓、刑、克俱忌。本命临支，乃命恋宅，自己无欲动之心也。

● 羁绊孤程财墓鬼，丧亡道路死绝胎。

支墓神作干之财者入传发用，主商贩折本，进退两难也。干支乘墓、绝，互绝，乘死，不利。支墓作干财，商贩哭将来。干加死

绝胎，商贩扛回来。

香火

天乙乘鬼，断以神祇；天空作官，评为佛位。绘画诸真，莫非元武临课上；塑成众象，无非土宿入传中。

元武乃画象也。土宿、土将，宜供塑像及土地神。

木将见金雕刻就，金神遇火炼熔成。巳午火神，朱书篆符。

以上看支为宅，上乘何字，以断其供用神也。

宜生我扶我，时时冥府降祯祥；忌刑予害予，岁岁天曹降祸乱。

支上乘神生干、合干大吉，若刑克即凶矣。

六畜

戌犬寅猫，见生旺自然生旺；酉鸡午马，逢衰羸定是衰羸。

犬，戌。若戌加子，则走北方也。酉乃鸡、鹅、鸭之类。

丑未牛羊，须逢龙位。猪驴亥卯，怕见虎刑。

卯，驴骡也。十二天将，惟看青龙见走失是也。猪驴忌见白虎。

养兔养雁，秦宋二宫逢暗曜；饲鱼饲鹿，楚周二位看伏星。

卯，宋。未，秦。兔看卯，雁看未。

猎捕狼熊，还寻鲁卫；攻捉狐雉，再察西东。

狼看戌，熊看亥。卯正东。卯中有心狐，酉中有土雉，落何方，于其处捉捕。

占命

大要以月将加正时，以人生日干支定其四课三传，以所乘之神定其吉凶。流年则以岁支合其月将，流月则以月合加月将。初传为初限，中传为中限，末传为末限。流年，一传管四月；流月，一传管十日。若将神课传上下相生，彼此相生，则为福，反此则为祸。祸福之应，则

以神将之所符者言之。

大命攸关于一日，终身所履尽三传。禄马并骤荣显，壮岁声名；罗网交加偃蹇，少年事业。遭逢顺逆相生，福祉悠远；遇合往来互克，灾咎牵长。朱腾飞曜，应知动则招愆；龙合加临，自是往无弗利。中末逢空，勤劳无咎；初中落陷，辛苦有归。

身以日为主，最宜生旺，切忌死囚。干乘支马，支乘干禄，名曰真富贵格。干支乘罗网，亦有自立之分，不能进谋之象。十二天将临干克干，各以类言。若三传全空，而干上逢旺禄，只宜坐守，动则有灾。

德禄入天门，皇家梁栋；勾陈居帝位，阊外干城。潜龙衔驾，科甲英名；天马腾空，江湖道术。四进三空，徒觅封候之志；马亡禄绝，空怀绣虎之才。孤寡则夫妻有刑，战斗则行止不一。奇神是展经纶，更详诸卦之吉；引从堪舒志气，还审众格之宜。

德禄入亥为用，名入天门。勾陈、太常乘太阴加干又入传者，主威武大显。青龙加巳、午、未、申为飞天，作官星临干入传，又顺生者，科名无疑。日马空亡为马亡，禄加绝空为禄绝，多主不寿。天上空亡并四时寡宿为用，名寡女，主妨夫。地下空亡并四时孤辰为用，名孤男，主妨妻，妻亦主早年不利。卯日用卯，年命入卯为龙战，酉日用酉，年命入酉为虎斗，主一身行事无定。三奇、六仪主科名大显。初末三传为引从，主有人扶持引援。

九丑僧道无依，独足姻亲寡赖，递互逢生，肥马轻裘历顺境；三六相合，内外欣庆遇良期。刑冲克害，弱草逢霜；绝败死囚，枯木望雨。墓库昏迷颠倒，逼迫困苦流离。

凡乙卯、乙酉、戊子、戊午、己卯、己酉、辛卯、辛酉、壬子、壬午为九丑日，占得大吉加干为九丑课，不利百事，娶妻淫乱，妨害父母。凡发用下克上者，日干又下克者，名逼迫煞，主身不由

己，受人驱驰。其余皆以三传上下相推。

印绶乘旺，祖父豪华过伦；盗气逢生，子孙贤淑拔类。妻带咸池，不闲礼义之守；子乘劫煞，多肆悖逆之行。父子刑害发用，非损克必至相夷；财官相合入传，非姻亲定由指腹。

生我者为父母，我生者为子孙，旺相刑破以天将决之。如贵人、龙、常生旺，即以贵断。我克者为妻、为财，正则为妻，偏则为妾。又以天后为妻，太阴为妾。咸池即桃花煞也，主内乱。财官在传相，生合者，主亲上加亲，否则指腹为亲矣。

子乘白虎多刑克，父落空亡是死离。财逢夹克难偕白发之缘，官遇长生必显青云之器。无禄定防夭折之患，绝嗣恐成继续之忧。六亲长短，按生旺而即见；五伦贵贱，观神将而即知。

凡白虎为凶神，子孙、父母、妻财乘之，皆主有损。早子又加死绝上，必主绝嗣。空亡为陷没之神，父母落空亡，非早丧必主远离。六亲亦然。无禄更乘凶将，绝嗣再得凶神，必主夭折绝嗣。六亲若乘吉将，旺相，定贤而且贵。死囚更带凶恶，贱而愚。各详类言之。

(四) 大六壬会纂指南

天时

天象先占大角星(辰)，指阴主雨指阳晴。贵登绛明(亥、子二宫)时雨沛，豫卜阴晴此法精。

龙入庙晴(龙加寅)升天雨(龙加辰、巳、午、未)，虎出山林主烈风(虎加寅、卯)。水运乎天叹霖泽，火离于地仰晴空。

风雨之方看龙虎，风雨之期寻羊鼠。腾蛇朱雀加卯丁，电雹霹雳空

中睹。

壬亥亥子临寅卯，甲乙之日见淋漓；若加季位寻戊己，巳午丙丁依例推。

课传不见亥子临，或见空亡可类寻。子乘龙神丑上佳，青龙合处雨期霏。（如子乘青龙，以地盘合处上神断雨期。）

衰旺空刑须细辩，克日有气滂沱见。无气空亡微雨来，如响应声真可羨。

风雷煞动大风起，云雨神临骤雨来。猛烈惟下真足畏，迅速飞符疾雨雷。

雨师（丑）会毕（酉）雨满天，风伯（未）会箕（寅）风满谷。干在贵后雨倒河，干在贵前风拔木。

罡加四季天无云，去日几位是其候。月将加时再一看，丙丁之下晴光透。

金为水母（申）巽（巳）风从，震（卯）为雷兮兑（酉）为泽。更加神煞旺相推，晴雨掌中端可索。

阳备（即阴不备）晴兮阴备（即阳不备）雨，曲直生风炎上旱。从革主晦润下阴，稼穡是主晴可断。

占雪之法以何云，太阴寅卯值用神。青龙暂时天后久，戌未白虎六合真。

太乙翼蛇头有雪，天干遁起丙辛加。雨水入传无克战，亥后龙阴布六花。

阳宅

支来干位宅就人，干来支位人入宅。刑冲克害生旺看，否则二者有损益。

初未引从支贵神，肯堂肯构气维新。周遍循环宜守旧，外战内争动有违。

三传脱支生日干，人多屋少从此断；三传盗干生支辰，屋旺人衰何必算。

三传生支克日干，卖屋偿人免灾晦。三传生干克支辰，屋假他人弃家退。

三传作财生两鬼（鬼临三四），官非疾病一时生。支干相加被脱克，居无正屋自然明。

内顺外助三合格，最嫌蜜里暗藏砒。神合道相六合局，切忌丫叉为害之。（合中带刑冲破害也。）

日禄加支被脱克，造房修屋防耗厄。墓神临支少欢娱，如逢月将高明宅。

太阳生辰显者至，实藏麟儿喜庆来。干支禄马加逢吉，身动家迁事借。

罗网来乘身宅下，颓垣败栋不堪居。干支乘鬼伤人宅，遇日刑冲凶岂虚。

三四遇官灾讼起，若逢岁破少安宁。干支上神如互脱，防脱防偷事不停。

虎入宅凶蛇冲吉，龙乘生气家日昌。居金谷兮龙虎拱，卧陋巷兮邻兽伤（虎冲支上神也）。

寅木虎伤崩摧见，支乘常死孝服招。死虎丧绝阴司去，火鬼带丁天火烧。

午克身凶忌见蛇，丁伤支动须防虎。血忌支厌煞入宅，更防呕血堕胎苦。

丧吊干支两处逢，姻亲啼哭恨无穷。旧岁更乘天鬼煞，克支灾疫一家中。

三交九丑妨白发，远在三年近三月。全财化鬼亲无妨，无鬼父母眉寿竭。

传官太旺伤兄弟，透印之时方得安。兄弟重逢妻财损，子爻出现反

成欢。

父母乘传嗣息忧，比肩若透反多子。传中盗气本伤官，六处有财偏吉喜。

支之左右是傍邻，辰上正冲即对门。金见腾蛇斧鸣怪，木逢白虎栋摧论。

卯作门兮酉为户，须妨官讼盗来侵。未为泉井已推灶，要得平安吉宿临。

震巽木星为栋宇，艮坤土宿作墙垣。乘凶乘吉须先定，安宅安人继后言。

阴地

辰阴主山看坐落，生合冲刑定吉凶。冲位对山防克害，旺生德合最宜从。

上下皆合风气踞，干支受克沙水去。青龙左辅空陷忧，白虎右扶刑冲虑。

伏尸支上临墓虎，朱雀空刑山案差。土神旺处龙不错（龙神：春辰；夏未，秋戌，冬丑），腾蛇落处穴应佳。

玄神乘水（玄临壬、癸、亥、子上）水之玄，土宿临山（贵、常、勾、空临四季上）山势抱。阴后水口蛇罗城，勾陈明堂阴阳考（勾之阳神为内明堂，勾之阴神为外明堂）。

甲乙木神树林森，丙丁火宿岗峦叠。庚辛冲克路歪斜，戊己古墓休旺别（木火土金水俱分休旺）。

壬癸加临水不谬，旺相休囚仔细详。祸乱相见为祸乱，祯祥如遇断祯祥。

迁移

周遍循环内外战，占逢此课莫更移。前空后盗同魁度，迁动家中悔

吝随。

不利移居是何课，初生末墓罗无破。墓刃临身若动移，吉庆无兮有大过。

旺禄不空当守旧，返吟空动亦如之。昴星如遇传蛇虎，旧宅迢迢新不宜。

干支乘旺莫图迁，迁遭罗网祸忧连。两仪(干支)但乘死绝气，最利更新获福全。

贵坐乾官罡入艮，自墓传生新宅良。伏吟丁马迁居吉，九丑如移未免殃。

斩关发用远移近，众虎入传守旧安。两蛇夹墓无冲破，毁旧更新作咎看。

香火

天乙乘鬼断神祇，天空作官评佛位。绘画诸真当看玄，塑成众圣土星类。木将见金雕刻像，金神遇火炼镕成。相生相合祯祥断，逢克逢冲祸患明。

婚姻

夫卜妻姻成不成，财居旬后(空亡)总无情。女推夫婿将何断，鬼坐天中(旬空)同此评。

传将生合百年配，干支刑克朝夕背。男女年命孰相加，欲其事遂两法对。

欲知偕老是何术，全凭财官虚与实。财乘旬后凤孤飞，官坐空亡鸾失匹。

中不虚兮初末虚，冰人脱骗两相欺。递生干兮傍人赞，末传合处验成期。

财常日本必占姻(财乘太常或常加日本，来意皆占婚)，水逢丁马吉

祥新。河魁度亥风波动，牛女乘常晋合秦。

传财生鬼必贪淫，财克生爻侮悍情（谓背逆公姑之意）。财乘暗鬼（即遁鬼）官讼起，财克明生（财克生爻）夫命倾。

日辰逢引两不良，后合干支丑行扬。龙伤支兮妇先损，后克干兮夫早亡。

印绶公姑安可犯，子孙嗣息忌刑临。女貌妍媸寻后次（天后阴神），男才修短看龙阴（青龙阴神）。

四课无遥婚必舛，九丑有克定忧临。无淫（阴阳不备）解离（干上神克支，支上神克干）心腹祸，外争凶浅内争深。

阳课不足女争夫，阴课不备男竞女。（二课婚后主有词讼。）孤辰寡宿多克刑，狡童泆女奸淫许。

传将见妻复入空，中年絃断无续娶。空于其妻又见妻，初虽有伤后再娶。

孕产

受胎之期长生看，妻年上神此处算。月归生年日归月，时又归日再一玩。（假如妇命乘木为胎神，看木之长生落何地盘，即知其月叶孕；又看月之长生落何地盘，即知其日叶孕；又看日之长生落何地盘，即知其时叶孕也。）

妇孕中加天命上，妇行年上一详推。阴神生女端可必，阳曜生男却莫疑。

男女须观日上神，刚干阳比是男身。若还阴比知为女，不比阴阳两处巡。

传合西北为弄瓦（即从革、润下局），传合东南是弄璋（即曲直、炎上局）。二阳包阴女衣褐，二阴包阳男衣裳。

纯阳之课多生女，课传阴极复生男。罡加比日为男喜，不比端然作女参。

阴阳昴星两课举，阴俯是男阳仰女。不备何能十月全，阳备（即阴不备）为男阴备（即阳不备）女。

一乳二子理甚约，年命课传须审确。重逢建将（日月建也）是双胎，男女阴阳再思索。

建阴为女建阳男，卦象阴阳一法参（如酉胎为兑，少女；卯胎为震，长男也。以此卦象参断）。男女双生何处断，干支胎位两重探。

欲识产期何者善，胜光所临最为便。又有冲胎一法看，女命纳音冲处验。

生养之下究产期，胎乘鬼死堕胎推。年命（夫妇）冲克胎神者，生儿不育令人悲。

怀胎凶吉古今难，全凭落处地盘看。生旺比和祥可知，刑害克绝凶立验。

子母平安最为要，须用支干细参照。支伤损母干损儿，两处无伤母子笑。

又审盘中合后神，死生克制细详论。合受下克伤儿命，下制天后危母身。

生儿顺逆理通玄，^其卯戌相加细细研。卯加戌上手指地，戌加卯位足朝天。

干加支上子恋母，支临干位儿生速。胎加生方子生艰，两仪（即干支）夹传产门塞。

罗网日墓母多忧，蛇夹月厌亦同求。年命乘神若冲破，转凶为吉又何忧。

贵传俱逆生颇难，贵传俱顺生最易。魁度天门阻滞多，煞没神藏应快利。

胎逢偏鬼及玄神，种子私娠断却灵。天乙发传名富贵，可知儿是石麒麟。

恋胎五等详宜忌，寅加亥上家禄利。临子为败已病推，申辰衰绝君

须记。

疾病

病症之源寻虎鬼，沉痾之际看生龙（龙乘生气）。须防虎鬼驾马恶，死墓绝空为最凶。

福德（即子孙爻）加临名解厄，贵医年命病全安。丧吊死常分内外，病符亡鬼死生看。

引鬼为生忌收魂（玄乘日墓），因妻致病嫌冢墓。全然脱败身弱羸，鬼死两逢症愈痼。

鬼户宜关人恶入（日千年命加寅），天门魁忌贵登嘉。生空退茹寻死格，逆间迟痊倒拨蛇。（空连茹死格，逆间传难痊。）

身尸入棺亡可断（庚日申加卯），两蛇夹墓疾难除。忌支血症多崩呕，常后婚筵起病初。

金水遇丁须两论，旧新疾病验空亡（新病应上字，久病应下字）。岁墓干墓并蛇虎，如临卯酉犯重丧。

网罗日墓覆支干，善神冲克危即安。闭口绝禄忌合绝，华盖孝帛命年难。

蒿矢见金亦甚凶，浴盆（神煞）有水还须忌。自墓传生危化安，初生末墓多忧事。

虎头蛇尾重还轻，龙末虎初凶变吉。庸医杀人官鬼乘，子爻丸散能疗疾。

德丧禄绝最为凶，贵临福集祸转福（福集，子孙爻也）。循环周遍二课名，占病逢之多反复。

卯加戌逆主风搐，子临巳位定死亡。六亲还常逐类看，课占太吉（大吉课占官则宜，占病主大凶）两端详。

出行

出行先看天干踪(即天上日干所临处也),务求地道五成逢(天干临地盘生、旺、德、合、相也)。中末两仪玩其义,七战当须断是凶(谓刑、冲、克、害、空、墓、绝也)。

中末逢空初不空,游人半路欲回踪。初中空陷末传助,在此艰难在彼丰。

更忌驿马居天中,劝君不必似萍踪。若逢抬士(即月建)及关隔(天罡加四仲),道路四塞何时通。

逼迫令人难进退,干前之神测何因。狐假虎威休妄动,若还强动有忧辛。

远行谁不渡江河,发用支干要合和。干逢生旺宜行陆,支上无伤听棹歌。

河井相加不可往,卯辰覆立死不爽。太岁遭虚(子中有虚宿)宜避之,登明加季须放桨。

干乘玄劫克命年,陆路提防盗贼连。白虎临干克命年,断然抱病客中眠。

年命加支三与六,吾爰吾庐乐潜伏。驿马居夜静中看,必俟天明方驾輶。

灭没(谓四季旺方也)飞符去不宜,长生日德遇合奇。方神最忌年相克,丑酉未寅(丑加酉、未加寅主有风雨)一探之。

干乘凶将支上吉,急往他乡应有益。支见恶煞干上无,若安本分忧疑释。

斗系日本利家栖,天网张时急避宜。庶人占得大吉课,出门有益在家危。

初传旺相末传否,前去行藏叹不偶。初传囚死末传旺,彼处机缘真个有。

丁马加季奔走吉，传阴传阳两法推（谓二阳包阴，二阴包阳。）传阳宜动传阴静，须求数理不须猜。

丧亡道路死绝临，羁绊旅程财墓见。善恶课体细推详，神煞乘之吉凶验。

旺禄出门罗网加，墓空登路零云遮。虎蛇通鬼凶重至，贵德登门吉事夸。

行人

行人占法实多门，学者还当仔细论。二马命年入传课，归期有法后诗存。

传逆贵逆日用前，白虎催程返故园。更求未足（即未传）抵辰日，干支互临又何延。

支上传干人固来，干传支上亦同测。干若克支离彼方，反此卜归归未得。

刚日伏吟丁马见，立刻游人到草堂。柔日丁马逢刑战，关河虽远亦还乡。

初传若是逢空陷，有阻还当遂类推。未遇天中邻近滞，仍详神将为何迟。

中传空亡途路阻，详察何神知为谁。返吟四绝人必至，虽见天中亦不羁。

四季玄临法最奇，六三合用地盘宜。（以用神合处断来期，近用六合，远用三合。）玄神乘季传未入，更在支辰下位知。（断来期。）

正时天乙入支干，湖海行人会不难。久去不知踪迹处，游年分野细推看。（以行人天上行年所加之分野测之。）

天吐行年遇陷空，游人染患客帟中。行年加孟他乡吉，加仲为灾施季凶。

年居生旺比合喜，刑克墓绝悲哀拟。吉凶好问课传看，此法从来为

正理。

遥遥年命离支辰，地角天涯几度春。巳亥若临归日近，无期因是在寅申。

不识行年何以分，又当辰上致殷勤。相生旺相俱为吉，恶煞刑冲作晦云。

日与年神生合吉，日上年神刑害凶。支水干陆宜乘吉，玄劫并河祸事重。

年临三四来期速，日之二课到时迟。书信几番人未至，支前四位上神知。

孟迟仲中罡季速，用神墓绝日归来。（阳日墓所临之下来，阴日绝所临之下来）。游神加孟归期远，仲在途间季速回。

所占若入课传中，逐其类兮天盘探。将神之司各有门，子父财官须一勘。

发用前于本日支，便观天上日临时。若还发用居他处，旅次盘桓未动移。

三千里外卜将军，千里须令看岁支。五百之遥寻月建，百里干临五十时。

须度门限与二至，未度何须望远征。更逢游戏二马到，生日之神定何程。

传墓入墓不须疑，征途揽辔归心迫。间进间退两课名，他乡阻隔分明白。

未传与支会日干，三会归时早晚间。魁罡二将乘二马，虽不入传回故山。

天罡加在日辰前，千里迢迢必看鞭。若要居在日辰后，纵然咫尺不思旋。

卯酉为隔子午关，魁罡加处事多艰。津梁风雨时时阻，中路行人未得还。

朱雀天鸡及信神，课传乘马信音频。三神若或逢空陷，鱼雁寥寥尺素沦。

克日生合书必来，干克用神书不寄。天日临时有便鸿，逐类求之识何事。

循环周遍两课名，旦夕游人抵家下。初克末兮旆已还，末克初兮车未驾。

传将若合三六中，眷恋他乡资斧丰。支干上逢罗网罩，淹留客舍叹飘蓬。

游子斩关退作传，丁马再动归旧处。游杀丁马行不停，退则来兮进则去。

更详年月节旬候，日辰正时鳞次透。应期再向此中求，诸法精奇无注漏。

趋谒

干谒之利三六合，彼我两仪欲相洽。六阳公事和谐看，六阴私谋素亲狎。

舍益就损忌动用，根断源消防耗失。逼迫旺禄守旧宜，周遍循环所求得。

初空末吉终有获，首上尾加(旬尾加旬首)干何益。度亥塞鬼二者推，有阻无阻此处绎。

引从告谒往必晤，任信寻访必难谐。二贵合害分轻重，六亲生克吉凶排。

日德阴神见长短，末传合处是成期。斲轮空亡须图改，鼎星蛇虎安旧宜。

选举

帘幕贵逢黄榜策，魁罡将遇青云客。鬼斗临干魁可抡，文华克岁犯

时贵。

从魁生扶亚魁中，辰末来临解首逢。万里风云看龙奋（即蛇化龙），

一生泉石有蛇封（即龙化蛇）。

六阳月将生光辉，两贵拱夹荣名遂。墓神覆日文理差，罗网缠身书旨晦。

德入天门中必崇，河魁度亥失登庸。旬首冠群详五甲（甲戌、甲子、甲寅、甲辰、甲午也），真朱超群忌三凶（一克太岁，一克幕贵，一榜将出，忌乘丁马）。

格见天心贵异常，源消根断（谓四下生上也）费商量。雨露润泽（谓四上生下也）中无虑，刑害空亡取次详。

武事

蛇蚓（己）象弓空最忌，觜参（申）属矢要如意。仲为中垛孟角花，午贯正鹄季落地。

一课一矢二课二，三课三矢四课四。发用箭数课中详，旺相休囚加减记。

仕宦

欲问前程有与无，日辰虚实定荣枯。临官帝旺干支遇，爵禄峥嵘任帝都。

六阳数足功名显，前后引从卿相荐。传神互克妨诤章，课将遍生声名遍。

三传退间蛇倒拨，三传引进龙飞天。将逢内战官超转，德禄天门名显传。

鬼曜逢虎号催官，禄神临支当替役。凶丧罗网返遭迟，富贵日辰丁见疾。

魁度天门龙化蛇，贵临鬼户蛇成龙。吉课殊情分仕庶，大格异用别

贤庸。

天乙卯酉号蹉(蹉跎格)微(微服格),朱雀值鬼防黜落。六处生旺远大推,凡占墓绝亏官爵。

武视太常文视龙,二神切记怕逢空。龙常克下驾班憎,丁克龙常灾废丛。

帝旺临官日辰上,城(天戌)吏(天吏)龙常仕途畅。迁期干年支月推,内外日用生克量(龙常生日、比日、克日除在内,日生龙常、克龙常迁在外)。

求财

财明休旺生官忌,彼我干支害合论。旺禄受脱名偿债,干财传助号还魂。

顺克非凶递生吉,妻防生计兄争力(比肩太旺)。末助初财暗助多,支于相加彼我益。

艰难(指初中空陷也,要末传见财德长生)避难(谓财坐空绝克脱处也,如是便看日干下坐财,此谓避难之财坐身下也)详坐末,塞户度门验发端。贵坐生合求财吉,财逢空墓最为难。

交车十法损益配(三吉七凶),喜遇生合愁破碎。财乘丁马忌庚辛,壬癸见可看事类。

鬼财险出须急求,绝财了结入墓忧。玄武防失内争畏,龙生值喜徐徐收。

奇仪周编枯木荣,闭口昴星皆不成,网罗任信空费力,成期须将未合详。

买卖

交车生合动无迷,末助三般递生寄。互相生旺愁罗网,死墓如逢怕关妻(财墓并关)。

进步艰难喜未吉(谓初中空,未不空,要见财德长生),病符遇生旧更新。生涯遂意两贵拱,禄神乘旺静无违。

登天度门分善恶,内战外战察重轻。生气青龙财叠叠,常乘财印喜盈盈。

龙背兴舟独足利,虎头见利九丑忌。闭口源消自不佳,天心周遍财如意。

传进当行间退止,有防生计为财多。损耗资财因劫众,财爻空绝必蹉跎。

占讼

占讼日辰分主客(日为客,辰为主;先动为客,后应为主),课传官鬼断输赢(日上有鬼不利客,支上有鬼不利主。发用克日客输,克支主输。如干支上神受克,及干支上下交互相克亦然)。勾陈带木虎壬并(谓白虎带旬遁或壬,亥中之壬也),庭成须知犯有刑。

子孙制鬼患有救,父母化官祸无伤。害合区分窥解结(逢合事解,逢害事结),仍观旺败定灾祥(逢旺者祥,逢败者灾)。

空亡喜惧推享患,墓库欣桡分结散。传互克干有众欺,用神内战窝相犯。

末助三般仔细论(忌末生初鬼),将传间逆祸难伸。贵罡杜户知殃退,虎鬼乘骐(即马载虎鬼)识祸频。

朱勾克日莫兴词,妄举轻为自投死。二将若也生日干,勘官昭雪人欣喜。

虎头蛇尾(初虎末蛇)祸不凶,雀入勾乡(午加辰也)讼为最(事情重大)。若犯岁君坐死推(朱雀克太岁也),腾蛇夹墓小翻大。

丁动刀逢(即禄前羊刃煞也)遭縲继,龙阳生遇祸消时(青龙、太阳、生气也)。五行决罪(木主笞杖,火主流血,金主针刃,土主徒刑,水主流罚)明天将,二赦(即四季天赦及皇恩)解凶分地支。

兔犬(卯手、戌足)相加防吊拷,鸡蛇(酉己相加为配)发用定成徒。
循环周遍日缠继,根断源消终罄无。

勾陈白虎同克日,犯法之人遭刑戮。太岁贵人作恩星(谓生日也),
罪虽至重还轻逐。

格凶定当以凶断,课吉还须作吉推。鬼贼绝处讼了结(要在官鬼绝
处上字定绝期),末传冲处定散期(要在末传冲处上字定散期)。

· 隐遁

天罗地网欲何之,塞鬼登天可遁驰。传将见凶干上吉,逃生无困不
须疑。

干上子孙传鬼贼,患门有救便无伤。丁马最喜加年命,虎鬼临身祸
急防。

有墓昏迷忌两蛇,无遁混沌防蛇虎(即昴星,是蛇虎)。长生月德避
之佳,天目直符逃者苦。

暗鬼克日灾患侵,明犬当门(戌加亥上)祸自深。斩关游子天涯去,
内战天心途路禁。

远近发用凭休旺(休囚远,旺相近),传将最嫌逢墓空。天地两仪须
细玩,避凶趋吉用无穷。

逃亡

追寻达士详日德,捕捉逃奴看支刑。德克刑神必易获,刑克日德定
难寻。

父子夫妻属六亲,还将逐类细详因。酉婢戌奴观异姓,空阴两魁落
处真。

盗窃奸淫论贼邪,伏吟主近无依遐。里数多寡测魁坐(看戌临何宫,
以上下数乘之),谁格善恶定凶嘉。

贼盗

占贼行藏须视鬼，玄神生克看加临。卜赃失得凭财断，子孙休旺定追寻。

玄武来方看所宁，地支临处知贼去（谓玄武所临地盘之支游于何方也）。穿窗越牖是悬绳（神煞），凿壁逾墙因马御（玄乘驿马）。

玄居夜地越关梁，武在昼方身莫藏。丁马交加遁必远，太阳照耀捉还乡。

旬首乘玄度四获，河魁度亥隔难捕。游都之下访贼人，公胜盗时官克武。

宅逢盗脱人家窃，鬼乘生气去来频。子孙出现为赶贼，鬼遇刑冲自败擒。

发用为偷即贼身，中传为赃未捕人。一数至阴详数目，五行生处物藏真。

岁月克玄弥年月，日时伤被期日时。首尾相加问不说，财爻空陷赃难寻。

六处无武难妄拟，贵顺玄藏自失忧。课见腾蛇乡邑寇，年乘玄武室人偷。

循环周遍去复来，罗网破败失资财。鬼脱乘玄遭盗窃，伏支前后返中排（伏吟，贵顺，支前一位捕之；逆，支后一位寻。返吟，贼在玄武对冲处也）。

贵人顺治终玄捉（玄武未传），天乙逆行初武寻（玄武初传）。初将比和贼安处，玄神内战分赃争。

岁勾朱虎应自首（如玄阴见太岁、勾、朱、虎，主自首官），龙合阴丁助有神。玄武三传日辰土，贼人还归英告陈。

三传玄神贼居处，初中有克末神寻。行年上神伤武盗，发使追求早见擒。

盗神朱虎勾蛇命，不死遭官被吏捉。更将玄武三传算，上克下贼即败旋。

天乙顺行贼游走，逆行方识贼藏瞒。里数但知玄武上，上下相乘数若干。

大贼亡神天目星（如捕大贼须视此二神），贼居箕下莫教惊。亡神旬内甲居乙，天目春辰顺季行。

田蚕

金宜二麦不宜他，水本稻粱须种禾。火防亢旱宜黍豆，土生万物自温和。

早中晚田三传别，旺相空亡利害详。胜光蚕命忌见子，太乙加午忧自殒。

戌黄亥死丑则危，寅之兆茧申为丝。辰薄相生本是吉，妇命伤午凶随之。

六畜

楚鱼（己）周鹿（午）伏星稽，宋兔（卯）秦鹰（未）暗曜栖。捕猓狼（戌）熊（亥）分鲁卫，猎豸狐（卯）雉（酉）看东西。

戌为犬兮寅属猫，鸡是酉兮马在午。丑牛未羊喜逢龙，卯驷亥猪怕见虎。旺相为吉空墓凶，六畜繁生可目睹。

附：释疾病章

要知存亡看蛇虎，

注曰：男病看白虎，女病看天后，小儿看滕蛇，一本小女子看太阴，俱怕阴神克日。

阴阳二神分宾主。

阳命阴伤必死亡，

阴命阳伤必哀举。

注曰：男命忌白虎阴神克日，女命忌白虎阳神克日。

白虎天后与滕蛇，

克日须当病转加。

注曰：男怕白虎，女怕天后，小儿怕滕蛇阴、阳神各一克日。日

或无气或日落空亡必死。

阴与阳神各得地，

行年被克死无差。

注曰：各者，各使阴神、阳神得地。克日必死，克行年亦死。

五行日時俱入墓，

绝死空亡俱要忌。

总有救神亦主凶。

凶吉应期看日助。

注曰：俱忌今日干与正时落墓，或白虎、天后、滕蛇入墓，虽不见克日亦死。如不见入墓，却今日干临在死绝地，亦凶，虽有救神、解神亦不可用。若一岁至十五岁是小儿，忌滕蛇克日，必死；是女儿，忌滕蛇阴神克日，必死。又十五岁至五十，男子忌白虎气弱，凶；女人忌白虎阴神、天后气衰，克日亦主死。又五十至九十，男忌白虎旺克，女忌天后旺，即死。老年妇人不宜见天后旺也。白虎入墓，壮岁畏，老年不畏矣。此论白虎阴阳、男女，与前异，并存之。后课主病，又系小儿类。日上神白虎、遁庚午克日，主死。阴神得六合，亦时遁得庚戌克日，又行年见滕蛇，皆凶。以滕蛇在行年，故谓小儿。

五月，未将，甲申日丁卯时，乙巳人占：

		辰	
		申	
		子	
申	子	戌	午 ^{白庚}
子	申	午	甲
酉	戌 ^{六庚}	亥	子
申			丑
未			寅
午	巳	辰	卯

丧车锹钁临门户，

注曰：巳为丧车，申为锹，酉为钁，占病忌此三神。

孝服死神兼旺位，

孝服煞，四孟在巳，四仲月在辰，四季月在丑。死神者，正月起巳，顺十二支。死神加日或克日，必主哭泣。孝服煞常怕子孙爻上见。

纵有解神生复解，

也须沉滞灾难度。

注曰：课中白虎克日，更五行入墓，又有丧车等煞，纵有救神，合轻，亦难度耳。

日上救神当正时，

注曰：得白虎等凶克日，占病主死，若日上神却克白虎，为救，便不死。若更日上神当时有气，所事不畏矣。

白虎阴神自战持。

注曰：白虎临地盘上下相克，又阴神克虎者，总克日亦不为凶。

内有凶神并衰败，

天年灾患瘥无疑。

注曰：虎之阴阳神自相克贼，又立于衰败地，总天年久患亦瘥。

丁酉人，十一月，丑将，癸丑日壬子时占，酉命人占：

		寅	
		卯	
		辰	
卯	寅	卯	寅
寅	丑	寅	癸
午	未	申	酉
巳			戌
辰			亥
卯	寅	丑	子

本命上得戌克日，为白虎，主病凶，有死之厄，却日上寅为救神，当时，能克制白虎，是以不死。日上有救，诸病不成凶，名曰患门有救耳。

（五）龙首经（节录）

占岁利道吉凶法

阳岁以大吉临太岁，阴岁以小吉临太岁，视天上甲、庚所临为天道，天上丙、壬所临为人道，魁罡所临为拘检。（一云天上丙、壬下天道，乙、辛下兵道，丁、癸下鬼道。举事从天道大吉利，人道次之，甲、庚是也。）

架屋起土，买卖田宅，入官舍便，时在天道百倍，在人道十倍，在拘检道，县官大凶。

假令今年太岁在寅，大吉临寅，视天上甲、庚临地乙、辛为天道，天上丙、壬临地丁、癸为人道，魁、罡临巳、亥为拘检。魁为拘，罡

为检。他岁效此。若岁在子、午、卯、酉，为四仲，天道及人道皆在四维，难可移徙。谓阳岁在子、寅、辰、午、申、戌，皆以大吉临之；阴岁在丑、卯、巳、未、酉、亥，并以小吉临之。

占月利道吉凶行法

阳月以大吉临月建，皆视天上甲、庚所临为天道，丙、壬所临为人道，魁、罡所临为拘检。阳月为奇月，阴月为偶月，移徙吉凶，皆如太岁法。月禁又急，不可见犯。假令正月建寅，以大吉临寅，视天上甲、庚临地下乙、辛为天道，丙、壬临地下癸为人道，魁临亥为拘，罡临巳为检也。

占月吉日嫁娶祠祀法

欲令魁临月厌。以魁顺数左行，登明、神后、大吉、功曹、太冲、天罡为阳也；以魁逆数右行，从魁、传送、小吉、胜光、太乙、天罡为阴也。阳将五千，阴将六属。二谓甲、乙、丙、丁等，亦为日也。六属谓子、午等，为辰也。阳将日杀男。阴将辰杀女。阴阳不将，乃为吉也。日辰若得阳中之辰、阴中之日，举百事，福及子孙矣。

假令正月，厌在戌，魁临壬、癸、甲、乙为阳将五千日也，酉、申、未、辰、巳、午为阴将六辰也。吉日，若得丙子、丙寅、庚子、庚寅、丁亥、丁丑、丁卯、辛亥、辛卯、辛丑，皆阴阳不将日辰也。十二月皆效此。魁罡下辰为厌，冲破大凶。月厌：正月戌，二月酉，三月申，四月未，五月午，六月巳，逆行十二辰。

占天仓天府法

常以天罡临月建，大吉下二星为天仓，魁下为天府，小吉下二星为致死。仲月无天府及为冲星，孟月无致死及折冲星，季月无天仓及为英星。天仓、天府，举事德及三世，大吉。致死、负冲、奄旬、

芒星，举事致死丧，大凶。

占闻盗吉凶亡人所在欲捕得否法

以闻知之时射之。今日日辰上神有克元武所居神者，即得。日辰及其上神无贼元武所居神者，不得。

假令九月甲午日，日昃未时，太冲加未，闻贼在其家。魁为六合，临甲；功曹为天后，临午；天罡为元武，临申。天罡，土神也。甲，木日也。功曹，临午之木神也。并克元武所居神，为得，贼不敢格战。当将兵马围贼家时，兵马主当居神后上，击胜光下也。

假令到贼家时，神后临酉，宜居贼家酉上，东向击卯地，必胜获之。他效此。

假令五月甲寅日巳时，小吉加巳，魁为元武。甲寅，木日辰也，并制元武日，贼必不敢斗也。法背水攻火。又见今日辰，及起其后二，攻其前四。

假令今日甲子，后二在戌，当从戌攻辰是也。又无令囚对王相攻，言夏壬癸不可向四维也。他准此，为囚死当王。如秋甲乙，不可面向攻盗贼也，必以阴攻阳，背子、亥——登明、神后，向胜光、太乙攻，此当慎之。自“五月”已下，皆式经正文。

占六畜放牧自亡不知所在，各随其类以其亡时占之

正月时，为责胜光之地。牛责大吉，犬责河魁，鸡责从魁，羊责小吉，猪责登明。欲知东西南北，各随其神所临。在所胜之地为放纵，在所畏之地为拘系，在所生所喜之地为人逃匿之。天一顺治责腾蛇，逆，责元武，为各随其所居神。日辰上神有制腾蛇、元武及物类神者为得，不制者不得。其物类神自临其日辰者，为归家；其神与白虎并，临囚死之地，为死亡；其神与六合、太岁并，为人欲隐藏之。欲知远近，以其物类神所临上下相乘为道里数。日辰上制物类神，

为得日期。

假令三月壬申日中时，从魁加午时，马自放，责胜光。胜光临卯（式经云：东西南北，各归其世，是也），为在东方。胜光为午，数九，卯数六，六九五十四里。今日之辰申上神得登明，为制胜光，法壬、癸、亥、子日寻得。

假令先得壬、癸，壬、癸日得；先得亥、子，亥、子日得。又一法，以其神所来乘为道里数，临子、午，九；丑、未，八；寅、申，七；卯、酉，六；辰、戌，五；乃至巳、亥，四。此并为道里数也。他效此。

假令今日日辰上神但制元武、腾蛇，不制物类之神，亦为得。若制元武、腾蛇、无武等，亦得。两制者保十，必得无疑也。

物类若驴、骡，当责太冲也。一云从魁为刀，太冲为项，神后为屠，太乙为釜。刀临项死，头临刀不死。屠临釜死，釜临屠不死也。

假令六月壬寅日巳时，占失猪，天乙居太乙而加辰，为顺治，合责腾蛇。居天罡而加卯。太冲为辰之阳神而克天罡，此为日辰上神制腾蛇，所失猪果自归。为登明加戌，戌与亥相近故也。他效此。

占诸欲远行使出吉门法

始行时，欲令今日日辰、人年上得吉神将，有王相休气而出，小吉。得传送下，即大吉。慎无令魁、罡临所出门上，所出门上之神又不可伤行者年上神。门上神者，所出入门也。

假令八月甲申日，时卯，正日时，行者年立戌，戌上得登明，欲南行之午，午上得小吉，小吉伤登明，此为门上神伤行者年上神也。门伤行者之年，道必有殃。年伤门，行者不安，必有疾病而还。（此所谓年上神伤门上神也。）

又到日无令贼初令之时。假如始行之日以甲乙，时加寅卯，慎勿以庚辛日、申酉时到也。若到时贼初发之日，咎及失君。又勿令

阴阳中绝其类。谓凡欲出行，欲今日辰阴阳中有传送。传送上遇吉将，则行者吉；有凶将，则行者凶也。

假令行时传送不在日辰阴阳中，直视传送上有吉将，亦不可有恶将也。

假令遇凶将是腾蛇，为惊恐；朱雀，口舌拘留；勾陈，见斗战；元武，亡遗；天空，见耗病，所求不在；白虎，死丧也。他效此。

又法，欲将帅出行，欲令天罡临四季为神，在外百事吉。

《神枢》又云：无令所之之乡伤其年，乃有喜。假令欲行，行人年立四季，此为所之之乡伤其年也。他效此。

占诸欲行求事者法

以始行正日时。无令今日辰上神伤行者年之所立地辰。所立地辰亦勿令伤辰上神，若伤辰上神，是谓相刑，其事不成也。

假令年立巳，而今日丙寅，神后临寅，此辰上之神伤人年所立地辰也。

假令是日时，神后临寅，人年立辰，此为年所立地辰伤辰上神也。法欲有求作者，欲令今日日辰阴阳及用、传中有其事类。事类者，谓求财欲得青龙、小吉，求缙彩欲得太常，求蚕欲得胜光之比也。故式经云：辰上神伤其地年，所求难得，后自亡遗。

占诸架屋举百事吉凶法

正日时，无令今年太岁阳神临今日日辰，及欲所治地，即十二岁灭门。又无令魁罡、腾蛇、白虎临今日日辰，大凶。欲使大吉、胜光、功曹在日辰阴阳中，与日辰相合即大吉，非此者皆凶。欲入庐舍效此。以日辰上神将言其吉凶。将得白虎，多死丧；将得元武，多亡遗；将得勾陈，多斗讼；将得朱雀，多口舌，县官；将得腾蛇，多怪；将得天空，多衰耗，治生不成，六畜不蕃息。朱雀与登明、天乙并，合宅

见诛。直用神、传中有救，为后起者当避之。

假令今年太岁在卯，八月甲戌日日出时，天罡加卯，欲架屋及盖屋。太冲为太岁阳神，临甲，将得朱雀；魁为元武，临酉。日辰阴阳中无大吉、胜光、功曹，又太岁阳神下临日，以举百事，大凶。

假令是日时欲治寅地居，为在太岁阳神下，亦大凶也。他效此。

占欲买车舟吉凶何如法

正日时，视日辰上神阴阳及用神、传中有六合、太冲，与吉将并合，又与日相合者，吉，可乘为使，利主；与凶将并，贼今日者，损主，勿乘之。

假令太冲与元武并者，乘而亡之；与白虎并，数载死人，宜丧事。他皆效此。

占怪祟恶梦法

正日时，视日辰、人年上神将。有王相休气，上下相生者吉，非此者凶。魁罡、腾蛇、白虎临日辰、人年者凶。

其神将王相，忧王事；死丧囚气，主亡遗、病伏；废，忧六畜也。

其用神在阳，为忧外事；在阴，为忧内事。各以其家人年上神言之。

假令年俱立恶将下，未必俱恶，以天罡所临别：加阳忧男，加阴忧女，加孟为长，加仲伤家母，加季忧小口。

式经云：神在外，比邻受殃；在门，家人受殃；在内，身受殃。家曰：人年、日辰上见戌，犬怪；见酉，釜鸣；见申，兵刀不葬鬼怪；见未，墓鬼呼怪；见午，马血怪；见辰、巳，龙蛇怪；见寅，鸟兽怪；见丑、午，畜风尘怪；见亥、子，猪风怪也。

(六) 六壬军帐赋

上将临戎，传式论攻。测将神之动静，观主客之雌雄。

上将行年克勾处者胜。干为客，为先动。支为主，为后动。

吴坎临奇，秦宫加偶。岁刚柔之运转，月支干以研穷。

吴为丑地，秦为未地。《黄帝初占》云：凡阳年，以大吉加岁支，阴年，以小吉加岁支，看四课三传。及占卜十二邦国，各得吉凶神将所主之事。假令己丑岁，是为阴年，以小吉加丑，是反吟四柔，用井栏射法。初传巳上登明为用，将得六合。中传丑上见小吉，将得天后。末传未上见大吉，将得青龙。此等卦，系墓占。卯上见从魁为滕蛇，卯为宋分，主口舌事。酉上见太冲为白虎，酉为赵分，是年二月，赵分有灾。余仿此。又如丁卯年，小吉加卯，大吉临酉，酉乃赵分，上见墓神临之，主自作乱。其十二邦国分野，皆以所临神将定其吉凶。

亦举合神，加月支于南北；

合神者，甲与己合、乙与庚合、丙与辛合、丁与壬合、戊与癸合是也。加月支者，以岁合加月支，遁五子元也。假令甲申年，正月丙寅，岁合在己，己遁在巳，以巳加月建，以占十二邦国神将吉凶成败也。

复推日宿，立用神之东西。

· 日宿即月将。

敌有使来，正时占决。支神制干，即为真说。

若辰上神制日上神，其言可信，客畏主也。反此有奸心，不可信也。一本云，时上神克日上神亦主多诈。

将朱空而言有欺诈，用角阴而行推奸谄。

日上神见朱雀、天空，来情有变。角者，天罡也。阴者，太阴也。

二神将用起年命者，所言不可信，谓太阴蔽翳，天罡凶神也。

下生上位，知诡诈以休行。

干叶于支，谓阴谋之罢结。

日上神与辰上神相生，则两军无疑，阴谋必止。

寅申巳亥，天耳四时。年上见者，来使潜机。

春寅，夏巳，秋申，冬亥，乃天耳也。天耳临日辰、命年者，来使必有奸谋，其言不可信也。

后乙曹冲，在日辰而诈约，贪狼奸贼，临支干以虚欺。

后即神后，乙即太乙，曹即功曹，冲即太冲，此四神也。申子为贪狼，辰未为奸邪，亥卯为阴贼，此为六贼，天神也。如占敌人相约呼召，可往否，若日辰见子、寅、卯、辰、巳、未、申、亥加临，切不可往，其言虚欺也。若四神不宜往约，六贼不宜听信贼言。以上四神、六贼，或并见六处，乘恶将，乃主诈耳。不然，十二支已去八字矣，岂止四字为实乎？

外国人来，岁神克乙而祸生，

若外国人来投拜者，正时占，太岁上神克天乙者，主八贼不可信。

他邦异情，阴神贼日以愁之。

日辰之阴神，自胜其干支或干支上神者，主不利也。

发使诸方，年路支干，切忌魁罡，次忧伏反。

发使诸方，正时占，日辰及使人行年、去路方位之上，忌见天魁、天罡，亦忌伏吟、反吟，皆不利也。

门伤年处，道行殃而凶将灾深；年制门时，滞病归而吉神祸浅。

正时占，若所去国门上神来伤行人年上神，行必有殃，吉将灾浅，凶将灾深。若行人行年上神伤门上神，主滞病而归。

初宜参觐，三传终而吉将堪凭；

参、觜二宿在申，故以申称参觜也。发使之时，得传送为初传，大吉也。如三传终得见传送与吉将并，即吉；与凶将并，即凶。夫初传得见传送，亦须吉将并为吉也。

日忌岁伤，藏干神以到时预选。

日发之时，忌干，勿为岁所克，以克则凶也。若到彼之日，又不可令藏初发之日。假令庚、辛日发行，不宜丙、丁日到，为伤元发之日，主凶也；宜壬、庚日到，则吉。所以到时预先选择，取相生为吉。

忽闻贼起，天罡之前即知来去；

以月将加正时，视天罡所临之处也。天罡加孟，贼不来，是虚说；加季，贼来急；加仲，则未来，或半路迟疑未进。

欲知行止，圆精视处必见心田。

欲知贼之去处、行藏，须视天目之下，有贼在也。春辰，夏未，秋戌，冬丑。以月将加时，便知贼所在处。圆精，天目也。

井(未)角(辰)贵人覆支于而贼兵益急，

井宿在未，角宿在辰。贵人者，天乙也。凡辰、未临日辰，贼必至。若辰、未不临日辰，贼不来。若辰加季，天乙又临日辰，贼必至；天乙临日辰，而辰加孟，贼去虚言来也。

玄白制日入荧惑而城垒宜坚。

玄白，即玄武、白虎也。闻兵至时，玄武、白虎所乘神克日，贼强，宜急备之。若我掠他人、袭敌人，必遂所愿也。太白，谓庚、辛也。荧惑，谓丙、丁也。闻贼忽来之时，若天上之庚、辛临地盘丙、丁之上，贼必来；若天上之丙、丁加地盘庚、辛之上，贼不来也。假令甲子旬中，以寅、卯为丙、丁；以午、未为庚、辛。若天盘午、未临地盘寅、卯之上，贼必来，宜坚守城垒；若寅、卯临午、未之上，是荧惑压住太白金星，贼不来。金气遇火，不敢动故也。

夏察游都，支干伤急；戴虎并蛇，师徒败绩。

此下论游都之吉凶。临辰覆日，立见贼来，与蛇、虎相并，主军有败亡之祸。临辰克辰，尤凶，尤准。

都将囚死，日辰不克以无忧；或加干支，上下相制而来疾。

游都若到囚死之地，不克日辰，亦无惊也。若临日辰，上下相克，贼即来，急疾。凡游都无克日者，止有克辰耳。

孟仲季神定虚真，总领于天罡；

游都加孟，贼不来；加季，贼必来；加仲，迟疑。天罡加孟，主忧畏；加仲，两相伤；加季，主战。

耳目神居探消息，皆从于地室。

大吉(丑)、小吉(未)为天目，太冲(卯)、从魁(酉)为天耳。天耳即地室也。闻贼不的，即使游骑向天耳下听之，必得贼人行止消息。欲听密事，亦于天耳下察之，必得。

不临支干，忧合贵人；好乡不战，畏处交兵。

游都不临支干，而与天乙并者，贼亦来。游都所临相生，此好乡不战。若寅为游都，加申、酉之上，是寅木所畏之乡，当此之时，父子不相亲，中外不相信，战斗必也。凡游都与天乙并，在日辰前一辰，则一日至；二辰，则二日至；隔四辰则不至也。游都所临下辰克日亦忌。

若在东方，猛烈兮，宜坚城垒；或当南面，威强兮，速渡关津。

闻贼至时，正时占。游都临东方，其贼势猛。若临南方，其势亦不可当也。经云：卯辰巳等宜防贼，兵书云此是三刑。

在西疑迟，可行恩而犒将；临北事退，可宴乐以栖迟。

游都临西方，其贼迟疑未进，可行赏犒之事。若在北方，主贼退，可宴乐无虞也。又看旺、相、死、休、囚。

天罡天阳，月建地阳。动偶(天阴)天魁(戌)，静阴(地阴)玄见(玄武)。

《玉帐经》云：天罡为天阳，月建为地阳，天魁为天阴，玄武为地阴。常法。他处以太岁为地阴。

若交相覆，君臣惊备于奸媒；或日重临，水火提防于事变。

若天阳、天阴互相交复，主君臣不相和协。占国兵察地阴，若阴覆阳者，臣欲害君，子欲害父，妇欲害夫也。若阳覆阴时，君欲害臣，父欲害子，夫欲害妻也。若值重阳重阴，皆凶。重阳时火惊，重阴时水惊，若闻有贼，亦急备之。

功曹加甲，阳居日以无忧；旬首承箕，阴在干而逢战。

此术当以功曹加六甲首。闻贼占，日干上见阳神者，贼不来；阴神临日干，贼必至也。谓寅为箕者，以箕宿在寅也。

大吉反伏，太乙追寻；若临子午，太冲(卯)可任。

《玉帐经》云：大吉为天耳，若反吟，伏吟时占，贼在天盘太乙之下。若临子、午之位，贼在太冲之下。

巳亥见牛，于星纪而排阵；辰戌遇斗争，向营室以加心。

斗、牛二宿在丑，故名丑为斗牛也。星纪亦丑也。若巳、亥上见丑，贼在星纪之下。若辰、戌上见丑，贼在天盘亥下伏也。

卯酉逢听，可掩袭于太簇；寅申斗耳，当备战于实沈。

太簇，酉之别名。实沈，申之别名。若大吉加卯、酉之上，贼在天盘酉下伏也。若大吉加寅、申之上，贼在天盘申下伏也。

神后登明，正时可晓。干见贼多，支逢寇少。

闻贼加正时。若亥、子二神临日，贼多；临辰，贼少。又游都临日贼多，临辰寇少。

辰加克日，奇兵应防于阵后；

支临日克干，贼在我后。又云：支其克干，贼必袭后，宜速备之。日覆于辰，锐卒急当于前扰。

干加支，贼在我前。又云，干克支，贼当道伏截，宜急备之也。又云，天罡(辰)、太乙(巳)、太冲(卯)、神后(子)四神临日，贼兵

在前；临辰，贼兵在后。

雀蛇临日，白勾制而血光；

朱雀、螣蛇临日，必主惊悸也。白虎、勾陈临日，必伤兵士。

虚(子)轸(巳)二神，蛇鼠会而贼矫。

虚宿在子，轸宿在巳，若二神临日辰而又克日辰者，其贼急强，未可攻也。我据险依隘，从太岁备之。

太乙(巳)罡(辰)冲，遇必争先。夜防贼至，兵备宜专。

太冲、天罡、太乙三神其到，谓之三刑。闻贼来占，值巳、辰、卯临日辰上者，不问克不克，贼必先至。若临日，则夜有攻营掩袭之患。

甲乙闻忧，丙子可除乱寇；庚辛知事，壬癸定破烽烟。

假令甲、乙日忽闻贼，或见贼，宜丙、丁、巳、午时，择吉门而出，必胜；庚、辛日，宜用壬、子、癸、亥时，则吉也。

土木东眚，金火南兮干夏；甲庚西罹，丙壬北兮冬天。

此言用兵日与方向，不可太旺与太屈。假如春三月，甲、乙日，向东方则太旺，而出兵必课灾眚。又如春三月，土死，以戊、巳日向东行，则受制太过，出兵必遭屈辱。举此例，五行类推。

贵人举兵，开地千里；螣蛇出军，众心忧畏。太常粗吉，知军旅之营安；六合尤宜，获金帛之美丽。青龙大胜，得府库与图书；朱雀少诎，虑军戎之见耻。太阴中怯，玄武失物以忧愁；天后无威，白虎自败而祸死。勾陈则战士折伤，天空乃君臣被戮。

此言发用初传之将所主之吉凶也。用起天乙，出军，敌人千里畏服。用起螣蛇，主惊骇溃亡之兆。用起太常，主营固而卒安。用起六合，主获金帛子女之大利，占邦国亦然。用起青龙，必得邦郡图书、府库之物，出军大利。用起朱雀，被蔑毁辱，立见灾殃。起太阴，出军士卒怯弱。起玄武，主军马溃失奔溃之祸。起天后，出军不战自败。发用白虎，出军疾疫丧亡。起勾陈，主败

亡，军折马伤。起天空，主出军被敌败诘凌辱之事。
空亡失众，传逢不利。

初传虽吉，中末见空亡者，出师不利。
天罡加巳，行者获全；纵横建午，坐帐调琴。

此下七节言天罡所指之吉凶也。天罡指巳，为天地所初开时，
出军开地千里，大胜也。加午为纵横，坐帐不出，宜安乐而备兵
也。

指未必通，谓声名之著显，向申地迫，言灾祸以弥深。

加未，天道小通时，可以出军也。加申，天地小争时，又为地迫
时，不可出军，避之则吉。

直酉西方，地闭而车折马死；返来戌上，人乖而将殒兵沉。

加酉为天地关格时，不可出师，必有隔绝、人马斗伤之患。加戌
为天地反吟时，不可出军，乃君臣相隔、父子相违、天妇相别、
奴婢背主之时，主士卒凶伤祸败也。

亥上见之，天窄而伤人惊怖；子边见也，地逼而半路难居。

加亥为天地天窄时，加子为地逼时，俱不宜出军，主半路恍惚不安。
丑向途通，三十里宿，来辰任意，神功潜助。每临寅上，龙见天乙以
情通；若到卯中，天地塞闭而气换。

加丑为天地小通时，出军三十里，来辰任意前行。指寅为天地
颇通时，遇天乙尤吉。加卯为天地闭塞不通时，宜藏避。

伏吟辰地，关梁闭塞以难通。若守城营，客将忧疑而自缩。

指辰为天地伏吟时，亦为天地闭塞，利以守己。若坚城守营，贼
将自遁，不可出军远行也。

卒逢贼将，方处占求。轻兵神后，步卒牵牛。

此下四节，以来方而占贼也。见贼加正时，看方上神。神后，子
也。若方上见子，贼从其下来者，贼将先来，必为轻骑。方上见
大吉，贼从其下来者，其将坚强步士。

猛见功曹，车旗长枪于兔腹；急旗角亢（辰），卫兵变阵于龙头（巳）。

贼从功曹下来，其将猛，其士健。兔即卯也，贼从太冲下来，其兵精，器械且利。角亢，辰也，即天罡也，贼从其下来，必有伏兵急速也。大乙名龙头，即巳也，贼从其下来，其兵善能进退，变化阵形，故名卫兵，宜谨避之。

马队胜光，大将秦宫（未）而坐用；驍从传送（申），明天赵次（酉）以箕箒。

贼从胜光下来，其将武勇，或军士众，当用奇兵以待之。贼从小吉下来，其兵胜而强。贼从传送下来，其贼勇锐。酉为赵分，贼从其下来，其贼能明天道，有谋略。

天魁（戌）猛壮而难击，登明（亥）突急而莫留。

贼从戌下来，其贼将士猛壮精锐，不可轻击也。贼从亥下来，多有突急锐兵或奇伏之卒也。

象色天机，金来火应。兵戈相入，勾陈是刑。

贼从申上来，我以赤旗、锐阵应之。四方皆仿此。

勾陈临日，两军合阵以争雄；井斗来临，彼此收戈而息怒。

假令申、酉为勾陈，临甲日之上，为刑，金克甲，必战。加仲神，在门两伤；加季神，在外必有大战。若大、小吉临甲日，兵自两解而不战。井，小吉。斗，大吉也。

年逢六害，凶神必并于斗伤；

若主将本命、行年上见六害，更与凶将并，主凶败。或克日，大凶。

日值孤雄，吉将堪逢于阵击。

孤者，太岁、月建后二辰是也。虚者，孤之对冲也。如正月子孤、午虚之类。用兵皆当背孤击虚。雄者，春寅、夏巳、秋申、冬亥，用兵皆当背雄击雌，雌者，雄之冲也。若孤神与战雄临将之行年、本命、日辰之上者，必得大胜。

官军欲胜，勾制玄都。

勾陈若制玄武、游都者，出军必胜。主将年上神克白虎、玄武所乘神亦胜。若三传中将得六合、青龙、太阴、太常，及在将军年命上，更乘旺气者，必大胜。又玄武陷死囚之地亦胜。若玄武临日辰，遥克时上勾陈，必败。天乙、勾陈所乘神克游都者胜。

损支主败，伤干客输。

正时占，干上神遥克支上神，或干克支，及上克下，皆为主败。

若支上神克干上神，或支克干，或下克上，皆为主胜。

欲掠他乡，戊己须逢于吉将；

欲潜兵劫掠，视天盘、地盘二处戊、己位，逢吉将，出掠有功。假令甲子旬中，以辰、巳为戊、己，上下皆为吉将，必然大获。

前三后二，私门禁户以相扶。

前三，六合也。后二，太阴也。若卯、酉乘之，谓之私门。禁户有四，除、定、危、开是也，得太常、青龙、太阴、六合乘之，出兵深入，如蹈无人之境，入水不溺，入兵不伤，天佑之福也。

三路迷心，时下罡随于孟仲；两岐感应，日辰左右以规谋。

路逢三叉之道，欲知何道吉，正时占。天罡加孟，左道通；加季，右道通；加仲，中道通。此下出军大捷，所求必遂。若逢两岐路，日干吉者，左道通；辰支吉者，右道通也。

欲渡河江，支伤莫入。卯辰及酉，井泉须知。壬（亥）子兼癸（丑），天河覆井以沉波。更忌罡冲，太岁遭虚而祸急。

欲渡江河，正时占，支伤则水路不宜行也。卯、辰、酉为地之三井，壬、子、癸为天之三河。正时占，天河加临地之井者，主有覆溺之危，不可渡也。若见太冲、天罡加支干，必有风涛之恶。神后加太岁之上，主行船有没溺之灾。

湾池之地，天罡指处以堪行；支吉干伤，水面通船而立事。

日为陆地，干吉利陆进。如有湾下聚水之处，亦取天罡下去通

干道也，加孟勿前行，加仲勿中行，加季勿后行。支为水道，支吉利水路。凡丙子、丁丑、癸未、癸丑为触水龙日，不宜涉水，戊寅、己卯日亦凶。凡卯为船车，临支为船，临干为车，在旺相之乡，车船无损，在囚死之乡，车船破坏。若临渡船漏，看天罡。加孟，前有补处；加仲，中间有补处；加季，船尾有补处。行车同。昏蒙失路，执式天盘。参(申)行意晓，天角(辰)堪缘。

道经山林野泽，蒙面雾暗，迷失道路，执式盘旋于地，取天罡下之五十步当得好道。传送之下，亦主自然开悟。参宿在中，故曰参行也。天角，天罡也。去必有路。

军士甜卧，趋井(未)房(卯)之清泉：

军士潜行歇卧，正时上，求水路，以小吉有井宿，并太冲又有房宿，其下可以求水井或河，不出二百步之外。

欲劫军粮，向吴秦之大获。

欲劫粮，出吴分大吉，秦分小吉之下，粮必得。

大吉紫房，神后华盖，能藏万物，即行无害。

大吉为紫房，神后为华盖，凡有急事欲避藏者，往大吉、神后之下，人不能以掩袭也。

太冲千骑，从魁可遁于百人；斗鬼参回，天驷潜之而莫奈。

卯下可藏千骑。酉为后女之神，可藏百人。凡伏兵避恶，乃可从丑上去，向未，回申上立定，正向卯上潜避，则追不得也。丑有土宿，未有井、鬼，申有参，故谓丑、未、申为斗、鬼、参。一云，贼卒至，宜往房屋下避之。房屋，太冲也，亦名天驷。假令房屋在午，宜出正南避之。

青常阴合，大梁(酉)大火以同居，除定危开，主将其方而喜在。

大梁，从魁也。大火，太冲也。此二神为私门。除、定、危、开为地四禁户。以二私门加禁户，又与龙、常、合、阴并在其上，宜出其下大吉。

急贼方所，初传五行。水为北虏，火作南兵。

忽闻贼，正时占，视初传五行，即知何贼。亥、子为北虏，巳、午为南蛮。

复见土神，有虏急从于四季；初当木位，其谋必见于东溟。

初传辰、戌、丑、未，贼必四季之人。初传寅、卯，必东方之人。地恐埋军，参(申)轸(巳)虚(子)房(卯)而速备；象宜休卒，蛇支兽干以寻惊。

军行次城隘之处，恐有伏兵，正时占，申、巳、子、卯临日，则夜必有伏兵也。四神又旺相，与杀并者，大凶，无兵亦有猛战。若不与刑并，日能制之者，兵不敢动。若蛇、虎克日辰者，有卒惊，宜察而备之。

斗季损支，邀截我后；干伤前伏，阴阳左右。

正时占，天罡加季有伏兵。支伤，干吉，伏兵在后；干伤，支吉，伏兵在前。天罡加阳，伏兵在左，加阴在右。

带刑并伤，旺相而猛将来争；无杀空刑，将弱而庸夫退骤。

正时占伏兵，日辰上子、卯、申、巳并刑杀，兼有旺相气，必有伏兵，欲来掩袭，宜备之。若子、卯、申、巳并刑杀陷落空亡、无气者，伏兵不敢起，且自潜消矣。

三刑五墓，日辰遇而夜防；蛇虎魁罡，支干遭而宿俟。

正时占，日辰上见三刑、五墓，将当移营，不然大凶。若辰、戌与白虎、腾蛇临支干者，皆有伏兵，夤夜来扰营也。

立营心动，青常兮信使将来；

下营未定心动者，正时占，日辰上见青龙、太常，必有使来。

郊野自暝，雷(卯)水(子)令淫霖欲就。

郊野自暝者，正时占，见卯、子临日辰者，有暴雨至，宜置高营防之。若魁罡加临，必有将至。

忽被围绕，日辰阴阳。

经云：伤不伤，视阴阳。正时，四课日辰之阴阳不备，则主之。交锋见损，和好无伤。

若支干被伤，有争角之祸。

凡欲突围，随斗罡而可击；后占出路，从勾制而取强。

兵围欲出，视天罡下，出必通。黄帝云：兵围千里，斗道必通。又云：出路，宜向勾陈所制之乡，方可出。假令寅、卯为勾陈，利出四季方。又云，当从开星下去，吉。春房（卯），夏张（午），秋娄（戌），冬璧（亥）。

审察其情，用神传出于天乙；欲知其义，吾军可动于龙骧。

正时占，初传在天乙后，传出天乙前者，可向天罡，出而必利也。

潜起掠敌，须壮玄神。若乘四季，忌甲乙以东征；曹冲二神，虑庚辛而西向。

玄武旺相，能制支干，贼兵必强；若欲掠他，潜伏正时，视玄武所乘神，旺相克日辰者，必捷。假令玄武乘土神，忌甲、乙日发兵，行东方大凶；乘木神，忌庚、辛日西行。余仿此。

龙头莫犯，嫌支干以休囚；背腹宜攻，要日辰之旺相。

凡攻城，莫攻城之龙头，必主损将；宜攻城之背腹，必获捷矣。若日旺相，外气强，可以攻城；日囚死，内气强，不可攻击。阳城，龙头在亥，尾在巳，腹在魁，背在艮。阴城，龙头在巳，尾在亥，腹在艮，背在魁。一云背、腹在坤、艮也。

神法式之昭昭，知军情之荡荡。

明视法式，必须清静心神，研审灾祥，惟在精诚感应。苟其祸福之不爽，何忧战守之无功也。

(七) 兵 帐 钩 元

野宿安营

日晚行疲欲建营，支干逢墓不安宁。

《元经》曰：五墓并日辰者，夜必有贼兵至，宜防之。五墓者，春未，夏戌，秋丑，冬辰。假如春占，乙丑日巳时，亥将，小吉加丑，日支逢墓，主本夜有贼偷营，宜备之无虞。

十干忌例：

甲乙木忌未，丙丁火忌戌，庚辛金忌丑，戊癸己壬忌辰。

卯辰巳兮宜防贼，兵书说此是三刑。

其法以卯、辰、巳三刑，若临日辰，主本夜有贼兵至。兵法曰：三刑五墓日辰逢，而夜防贼至。假如壬戌日申时，寅将，支干并逢墓刑。余仿此。

若见魁罡为恐怖，

占法不分四季，但凡辰、戌临日辰，主本夜有惊恐。假如癸未日未时，戌将，其支逢魁，其干逢罡，主本夜有惊恐。

将兼蛇虎重遭惊。

占法以月将，用贵神，若螣蛇、白虎临日辰者，则主本夜有贼兵至。假如辛卯日戌时，寅将，其日支逢螣蛇，主本夜有惊恐，宜备之。余仿此。

大吉临干宜急去，

占法，以月将加时，若大吉临干，不宜安营，去之吉。假如丙子日辰时，子将占，大吉临干，宜急去，择地居之吉。

不逢斯将即堪停。

以月将加正时，不分三刑、五墓、蛇虎、魁罡、大吉，若不临干，但任立营吉。

行择吉道

遇寇途中择路行，马蛇为武北休征。见木为之忌申酉，庚辛南往不宜兵。元武畏方为厄地，军师须要会其情。

兵书曰：元武所畏之方，不宜行兵。假如丙申日巳时，酉将占，乃功曹为元武，不可西行。

军行择路实多途，更以阴阳作岁模。

其岁，论阴岁、阳岁。子、寅、辰、午、申、戌为阳，丑、卯、巳、未、酉、亥为阴也。

阳岁大吉来加上，阴岁还将小吉铺。丙丁之下为天道，甲庚之下是人居。

阳年以大吉加太岁，阴年以小吉加太岁，寻甲、庚、丙、丁之方行军吉。假如甲午年，以大吉加午，向未、戌、子、丑方，合甲、庚、丙、丁之方吉。又如癸卯年，以小吉加卯，向辰、戌、丑、卯方，合甲、庚、丙、丁之方吉。盖甲在寅，丙在巳，庚在申，丁在未。寅、巳、申、未所临之方是也。

惟此四方临处吉，其余方所并凶乎。

凡行军，向此四方大吉，余仿此。

察贼所在

闻贼未知其所在，加时春乙夏居丁，秋辛冬癸名天目，贼当此下伏其形。

闻贼不知所在，以月将加正时，视天目所临之方，贼必在其下也。天目者，春乙、夏丁、秋辛、冬癸。假如十月癸卯日巳时，寅将，癸在子前，大吉临辰，故知贼在东南方。

途中前后疑逢贼，大吉所临知贼程。

《神枢经》曰：欲知贼在何所，以月将加正时，视大吉所临之方，则知贼之所在也。

临于子午大冲下，如加辰戌伏登明。寅申贼居参宿下，丑未必应藏轸星。卯酉却于从魁伏，巳亥还于大吉停。

大吉停者，大吉方停止也。若大吉临子午，贼必伏於大冲下；大吉临寅申，贼必伏於参宿申下。假如丙子日巳时，酉将，大吉临酉，贼伏正西从魁西下，余仿此。

带刑旺相难冲击，设法抽军别路行。

占贼所在，须要察其刑旺之方，如甲子日，刑在东方。谓卯刑子，子刑卯也。旺，如春占得木，夏占得火，秋占得金，冬占得水。相，如春火、夏土、秋水、冬木是也。假如夏丙寅日申时，申将，大吉临丑，贼伏巳方轸星下。巳属火，夏旺，乃贼居旺地。有兵旅之责者，不可妄攻。余仿此。

疑贼前后

贼近我军推后先，加时占测用防奸。巳申子卯临支后，立在干头已在前。干若临支寇当路，支若临干随我轩。

占贼前后，看巳、申、子、卯四神，临干，贼必在我之前。若临支，贼必在我之后。若不临支干，前后俱无贼。若支干俱临，前后俱有贼。

疑贼伏兵

恐贼埋军居要程，支干上诀最通灵。子卯巳申来复立，（一云支干伏），敌寇奸邪布伏兵。

出军安营，恐有伏兵，以正时占之。若巳、申、子、卯临支干者，主有伏兵；不临支干者，无伏兵。假如己丑日申时，卯将，申临

丑支，主有伏兵。

旺相带刑逢必战，休囚空亡不敢征。

旺相者，论四季。如春占，木旺、火相；夏占，火旺、土相；秋占，金旺、水相；冬占，水旺、木相。假如春占，甲戌日申时，酉将，卯临干，此神为旺相，主有伏兵。带刑者，如巳临寅、子临卯、申临巳、卯临子之类是也。假如戊子日寅时，巳将占，申临巳，此神旺相带刑，主有伏兵。又如乙卯日寅时，亥将，子临卯，空亡带刑，主无伏兵。

干伤前伏支伤后，干支俱损莫冲惊。

干受伤，有伏兵在前。支受伤，有伏兵在后。干支俱受伤，主前后俱有伏兵。假如丁卯日申时，亥将，戌临干，午临支，干支俱无伤，主前后皆无伏兵。

抽军避寇

贼势凭陵我未强，抽军回避向天罡。系孟直须从右隐，仲季偏宜向左藏。

若途中逢贼，他强我弱，以月将加正时，视天罡所在。如孟，宜向右边避之；仲、季，宜向左边避之，吉。假如乙亥日辰时，未将，天罡加季，宜向左边避之也。

从魁大冲为胜地，天上申加为好方。

凡出，宜向从魁、大冲方下去之吉。假如乙酉日巳时，申将，则从魁临午，大冲临子，宜向子、午方吉。只忌旺方。忌旺方者，春不宜行东，夏不宜行南，秋不宜行西，冬不宜行北。

渡关覘贼

覘贼行程渡彼关，

我之师，欲行程而渡彼之关，将覘贼之情事以为进止。

行年岁月日冲难。

行年、太岁、月建、日辰冲破下，切不可去。将军与去人同之。

日干上落休囚恶，

假如春占，日辰上见登明、神后、从魁、传送、太阴、元武、白虎、天后，此神为休囚，故恶之。

旺相相生去即安。

假如秋占，日辰土见传送、从魁、登明、神后、太阴、元武、白虎、天后，此神为旺相，渡关安妥无虞。

游都占贼来否

贼欲相凌切要知，游都作限用占之。游都甲巳当居丑，乙庚在子丙辛寅。丁壬居巳言非谬，戊癸从申更不移。

此言游都逐日所在。甲、己日寻丑，乙、庚日寻子，丙、辛日寻寅，丁、壬日寻巳，戊、癸日寻申。又云：“庚临丙令贼信方来，丙临庚令寇情欲退”，正与奇门“白入荧令贼即来，荧入白令贼须灭”同意。

游都复日今将到，前之一日在明期。

兵法曰：游都如今日日辰，贼主今日到；前之一日用之，一日到也。假如辛卯日未时，巳将，占贼来否，以月将加正时，寅为游都，加辰，居辛卯日辰之前一辰，主贼明日即到也。

二三依次须防御，若临前四不侵围。

若游都临日辰之前二辰，主贼后二日到；临前三辰，则后三日到；若临日辰之前四辰，谓其贼已过去，必无来意。假如壬午日午时，寅将占，以月将加时，巳为游都，在酉，居日辰之前三辰，主贼后三日到。

游都旺相支干畏，贼势凭凌难守持。

若游都旺相而克支干者，其贼势猖獗难当。假如春丙、辛日占，

寅为游都，旺，谓木旺於春也。丁、壬日，巳为游都，相，谓巳属火，而寅生之是相也。朴斋曰：若是游都旺相，如休囚死地者，贼势虽旺，必败。游都囚死，加旺相地者，贼攻城池，若勾陈克游都者，贼必败，不克者未败也。

旺相休囚生克例，

同类者为旺，我生者为相，我克者为死，克我者为囚，生我者为休。

游都加处喜降卒。

言上下相生为喜。若游都加处，上下相生，无克贼，主不战而降。假如丙辛日，以寅为游都，加亥、子之地，乃上下相生，又是旺生之方，故不战有降也。

畏下难侵大战时。

谓游都加所克之地为畏，假如丁、壬日，以巳为游都，加亥、子之地，巳火受克，故为游都所畏之方，不宜为客也。

若在东南灾稍重，

经曰：游都临东方，贼势必猖狂。又曰：或居东方猛烈兮，早坚城垒，或当南面威武兮，速备关津。

临於西北祸当微。

经曰：游都在西，宜以犒兵；游都在北，御奸振旅。又曰：在西迟疑，可惠餉士；居北退闲，戏玩佳美。

不见游都视天乙，临处还如都将推。

游都逐日有在，如何不见？谓离日辰远，故曰不见也。天乙者，贵人之名也。“还如都将推”者，谓寻贵人临处，照依游都之法推之。假如庚子日亥时，丑将，以月将加正时，游都在子，临戌，退於日支后二辰，故曰不见。今乃不见游都，当视天乙所临以当之。抑天乙本贵人之名，居十二神之首，亦以月将加正时，见小吉为贵人，加巳，在日辰之前五辰，主贼已过他境，必

不来也。

子辰巳未加今日，贼到猖狂疾似飞。

闻贼之时，若子、辰、巳、未临日辰者，主贼到自速。假如甲寅日未时，戌将，巳临日辰，主贼到，即又遁回，丙辰日复来也。

闻贼去审

传闻贼去尚疑奸，却把天罡占试看。加孟未行加仲去，加季行行已出关。

《三元经》曰：寅、申、巳、亥为孟，子、午、卯、酉为仲，辰、戌、丑、未为季。《灵枢经》曰：占贼已去未去，以月将加正时，视天罡所加，即知去否。其法以月将加正时，若天罡加孟，主贼未去，加仲即欲去，加季必已去矣。假如十一月甲辰日午时，丑将，天罡加酉，主贼将去也。

大吉临干将出界，不然犹自在吾山。

此专视大吉临干，主贼必启行，已出我地界；不临干，尚未也。假如乙酉日午时，卯将，大吉临干，贼已出界讫。

突围出处

或被兵围不要忙，即寻出路向天罡。

太公曰：兵围千里，斗到必通。其法，以月将加正时，向天罡下出走，大吉也。假如丁酉日巳时，亥将，天罡到戌，宜向西北乾方逃避之，吉。

若值降宫申酉地，

以月将加正时，若亥加子、午、卯、酉，谓之降宫，宜向申、酉方出，吉。假如丙午日未时，卯将，亥临卯，为降宫，宜向申、酉之方出，吉。

明堂时往火冲方。

月将加正时，若子临子、午、卯、酉，谓之明堂，宜向卯方出，吉。

假如戊申日卯时，午将，子临酉，为明堂，向卯方出，吉。

玉堂直突天魁下。

月将加正时，丑临子、午、卯、酉，谓之玉堂，宜向辰方出，吉。

利若锋铓八极张。

谓兵历危险之地，卒逢敌人，势甚不利，宜向天罡下走出，吉。

此为八极张也。朴斋曰：八极者，人极也。天罡者，八极开张之地也。凡避人走势，宜从天罡下出去，自吉。

日辰上将相生吉，相克如今见损伤。

兵法曰：伤不伤，视阴阳。凡被兵围，视日辰上无伤吉，若日辰有伤，决主伤损兵将也。假如甲子日辰时，丑将，法以月将加正时，顺数至本日辰上，见酉为从魁金神也；至日干寅上见亥，为登明，水神也。此二将俱不相伤，无虞。

今日战否

两军相守已经时，今辰忧战欲占之。

谓两国将兵对垒，相守多时，今日恐见阵，故占其吉凶何如耳。勾陈克日刑并斗，不克无刑各护持。大小吉临支干上，两军俱自解其围。

占今日战否，当视勾陈。克日，必有战，若刑并者尤的。假如甲寅日未时，丑将占，乃酉为勾陈，属金。日干属木，被勾陈克之，主必见阵也。又如丁丑日酉时，卯将占，未加丑，丑加未，是大小吉加於干支之上，两军决不接刃。

斗罡加孟须坚守，加仲相伤彼此疲，加季出兵攻击胜，若人知此合天机。

月将加正时，若天罡加孟，固守无战；加仲，必主营战，互伤之象；加季，出兵急击大胜。孔明曰：凡有戎兵之责者，皆准天罡

参看，无往不利。

欲战审刑

六害加临年命上，此时攻战自遭刑。

若将军本命、行年上见六害与凶神并者，当日时出战必败，为将者不可不慎也。六害者，丑午害，寅巳害，子未害，卯辰害，申亥害，酉戌害，谓之穿心六害。假如主将本命甲午，壬寅日卯时，戌将占，大吉临午，马牛相畏，为六害，与本命相关，此时不宜攻战，凶。

白虎若加凶更甚。

假如丙、丁日辰时，午将，主将本命壬寅，白虎加之，凶。

日辰还忌切须明。

若日辰之上，亦忌白虎加之，凶。假如甲戌日酉时，午将，白虎临日辰，极凶，此时出战必败，为将者尤当勖也。

战雄用起春寅胜，夏巳秋申冬亥并。

战雄者，春寅、夏巳、秋申、冬亥也。其法专以主客论，若雄临干，客胜；雌临支，主胜。假如丙寅日未时，丑将，亥为战雄，临干，客胜。

冲破为雌值凶恶，此术标题龙首经。

战雌者，春申、夏亥、秋寅、冬巳，雄对冲者是也。雌临干，客败；雄临支，主败。假如春占，己卯日酉时，戌将，甲为战雌，临干，客败。

决定胜负

两军交战谁当胜，主客后先看日辰。先起为客后起主，将若明之不陷军。

其法，专以日辰干支分主客，先起者为客，后应者曰主。故为

将，先明主客，然后方决胜负也。

干克支兮利为客，支克干兮宜主人。

若干克支，利为客，宜先起兵；支克干，利为主，宜后举兵也。假如乙未日未时，酉将，午临干，酉临支，谓于上午火克支上酉金，乃上克下，客胜，宜先举兵。孔明曰：干为上，支为下，看干支所得之神，论生克也。

本将行年宜制虎，

主将行年、本命若克白虎，吉而师有功；白虎克主将年、命者，凶而败也。假如壬戌日午时，寅将，主将本命乙丑，河魁为白虎，丑戌相刑，与本命刑克凶。

不然须见克勾陈。

主将行年、本命不能制虎，而能克勾陈者，亦吉。假如丁卯日巳时，午将，主将本命壬寅，未为勾陈，本命上得卯木克之，是勾陈受克，利行军，吉。

无此即须勾克武。

既不制虎，又不克勾，只看勾陈克元武亦吉。勾克武者，论天上勾陈、元武相克是也。假如乙丑日丑时，辰将，则天罡为勾陈，登明为元武，故曰勾陈克元武，最利行军。

勾陈利克贼方神。贼方之上勾陈立，天乙遥能制下辰。

凡勾陈所乘之神能克贼方之神，即胜。假如丙午日寅时，亥将，贼居午地，太冲为勾陈，在午，是贼方之上勾陈立。遥者，远也。今勾陈立於贼方之上，无从制之，故取天乙所乘之神亥水遥克贼方午火，使贼不得力而易败耳。故曰“天乙遥能制下辰”。

遇此名为天灭寇，佑我行师得大勋。

若主将行年、本命刑克勾陈、白虎，或勾陈克元武，或天乙遥克贼方之神，谓之天灭其寇也，大利。

附：占例选录

●戊寅三月己巳日乙丑时，天气亢旱，莱阳台中迟父师因思宗祈雨，占何日有雨。

六	空	青	常	遥
亥	寅	丑	辰	克
寅	巳	辰	巳	
				玄
官	寅	空		胎
财	亥	六		
子	申	贵		

寅	卯	辰	巳
丑			午
子			未
亥	戌	酉	申

断曰：巳、午之日先有狂风起。出旬甲日小雨，乙日大雨。盖斗罡加未为风伯，发用功曹劫杀克日，故主有狂风。又贵登天门，龙神飞天，皆行雨之象。因中未亥申空亡，故言出旬有验。甲日小雨者，乘休气空亡也。乙日大雨者，子卯相刑也。

●庚寅正月甲戌日辛未时，途中偶遇一人，因天气亢旱，问何日有雨，口报未时。

后阴六未 比
子亥辰卯 用

亥戌卯甲
联
财辰六 茹

子巳勾
子午龙

午未申酉
巳戌
辰亥
卯寅丑子

断曰：明日必雨，六日后连雨。天罡加卯，日居贵前，虽三传火土，亦主大雨。况龙神飞天，贵人居子，皆行雨之象。第神后加亥，故知明日必雨。辛巳居中传，壬午临巳位，巳中丙火暗与辛金作合，化而为水。又辛壬上见亥子，壬癸加临巳午。果六日后连雨。

●甲申五月己丑日庚午时，偶见日有大晕围绕，众皆曰此祥瑞之气，应于福济，予袖传一课。

白玄蛇六 元
巳卯亥酉 首
卯丑酉己

鬼卯玄 迎
父巳白 阳
兄未龙

未 申 酉 戌

午 巳 辰 卯

己 子 丑 寅

辰 卯 寅 丑

断曰：发用玄武贼符克干、克支。盖干为天位而乘败气，支为社稷而见死神，且岁君临灭没之方，贵人又不得地，中州吴越必失封疆，君国败亡之象。后福藩登位一载而失国，此其应也。

●庚寅五月乙酉日戊寅时，庠友刘二兄占风水吉凶。

龙 阴 阴 六 涉

未 寅 寅 酉 害

寅 酉 酉 乙

不

财 未 龙 备

父 子 贵

子 巳 虎 乱

首

戌 亥 子 丑

酉 寅

申 卯

未 午 巳 辰

断曰：此风水在西山，无真龙正穴，然不备之中亦有好处。何以论之？玄武为风水，临卯加戌，是西北山岗也。未为夹龙，虽空，乘进气。腾蛇为穴，加亥落空，喜乘旬丁、长生，主穴活泼有情。然美中不全，亦有可取。喜贵人左旋，逆水之局。四课下寅之对冲为对案，是申，理合艮山坤向，兼丑未分金也。勾陈主明堂，阴阳二将见财、官、幕贵。朱雀河魁建丙临巳，是对案山出文明富贵，利于中房

也。但嫌子爻空战，定艰于子息。酉为日之胎神，阴见寅木生巳火子爻，辰年十一月酉日主婢妾有妊，连生两儿，因巳为双义故也。但玄武建辛，主坟边小路克比肩，与兄弟宫有碍。况龙、虎空战，长、季房分人财不旺。后阴为水口，腾蛇作罗城，喜与紧关包固。但初中两传财、贵逢空，一二代虚利虚名。末传子爻为支之长生、学堂，阴神河魁乃文明之宿，三代中房、长房子孙必出青衿科甲之贵，文兼武权之职。存此一案，以俟后学依而断之。

●己丑五月癸酉日辛酉时，相知友人李庚自占续弦婚姻成否。

阴玄空龙	蒿
未申亥子	矢
申酉子癸	

退

鬼未阴	茹
财午	后
财巳	青

辰巳午未
卯申
寅酉
丑子亥戌

断曰：占婚必成，后必有讼。盖因干支上下相合，支上神又生干，女愿与男连姻。喜财官旺相，夫妇谐老，有子之象也。有讼者何？中末生助初鬼克害日上龙神。又财乘旬鬼，必主因妻致讼。娶月余，前夫之弟告理，破财百金。庚寅岁果生佳儿。

●丁丑年四月乙酉日乙酉时，嘉兴冯尔忠占六甲。

后	后	勾	勾	重
酉	酉	辰	辰	审
酉	酉	辰	乙	
				伏
财	辰	勾		吟
鬼	酉	后		
兄	卯	青		斩
				关

巳	午	未	申
辰			酉
卯			戌
寅	丑	子	亥

断曰：产必双胎，一男一女，然男必生而女必死。何也？酉为日之胎鬼、死气，偏房婢室之孕不言矣。但未传卯作支之胎神、生气。中传酉兑为少阴，未传卯震为长男。其男子生者，胎财生气也。女子死者，作死气日鬼也。

●甲子四月癸卯日戊午时，予同公明长兄访徽州戴羲，字占课。

朱	贵	贵	阴	蒿
未	巳	巳	卯	矢
巳	卯	卯	癸	
				不
鬼	未	朱		备
父	酉	勾		
兄	亥	空		

未 申 酉 戌

午 亥
巳 子
辰 卯 寅 丑

余问戴曰：知来意否？戴曰：时为日之胎神，必为六甲占也。余曰：然男乎？抑女也？曰：干上卯属震，长男之象，又是幕贵。三传四课纯阴，阴极阳生，生贵儿必矣。且支加干，仰首见子，生必顺利。但四课不备，未能足月。生于何时？曰：六月生。后果一一如断。余又细看之，子冲胎神，子上见寅，子日寅时生。

●壬午五月丙戌日己丑时，予住淮安都府前，有江阴六壬袁友为宿迁陆庠友讳夺翼者占考试。

蛇空常蛇	知
子巳未子	一
巳戌子丙	
	度
鬼子蛇	厄
兄未常	
父寅六	不
	备
子丑寅卯	
亥辰	
戌巳	
酉申未午	

断曰：院试必取，科举省试未能遂志。问曰：史抚台已升凤贤去否？余曰：必不能去。盖因驿马坐墓，干神归支，静象也。又问女病，余曰：胎鬼发用，血忌加支，又四课不备，病主脉息虚弱，心胸不利，以致失血。必因胎产所致，冬月不保。又问宿迁今岁安堵否，余曰：

贼符加干支，冬月必有兵警。然日之阴阳，自是中传制初，来兵败怯而退。干神生支，居守保固，无破城之患。后四事皆验。

●癸酉七月辛卯日庚寅时，扬州明经宗开先先生谐张向之来占科场事，报寅时。

龙蛇贵常	涉
亥未午寅	害
未卯寅辛	
	曲
父未蛇	直
子亥龙	
财卯玄	

酉戌亥子
申丑
未寅
午巳辰卯

断曰：即今中矣。曰：何以报一时即知其中？盖因先锋为幕贵，且临日上，月将官贵又加寅命，是以必中无疑。然发用未作旬空，必俟未年太岁填实，方中甲榜。

●丁丑正月己巳日己巳时，滕县讳盛美张公祖有八门生会试，请六壬诸友所断之课持出与余占。

青贵六阴
未子酉寅
子巳寅己

子 酉 六
比 辰 常
财 亥 蛇

子 丑 寅 卯
亥 辰
戌 巳
酉 申 未 午

断曰：惟戊戌者必中，余皆不然。众友与余争云属牛属虎者中，予云放榜时自验。张公曰：公之断即与众不同，此乃吾本房首卷，亦望其中，然昨阅其文，恐未必然。余曰：初末暗拱戌命，月将用贵临年，是以中甲无疑。朱雀又生幕贵，其文甚贴试官之意。及放榜果中，始知为常熟蒋晚仙也。

●丁丑二月癸未日戊午时，同乡孝廉孙大宜先生口报午时，占会试中否，予袖传一课。

阴空勾贵 涉
卯亥酉巳 害
亥未巳癸

从
印 酉 勾 革
官 丑 常
财 巳 贵

酉 戌 亥 子
申 丑
未 寅
午 巳 辰 卯

断曰：贵德财马临身，且居太岁之位，必应今年甲榜。况年上月将青龙，主片言入相。又旬首河魁为官，乃文明之宿。二者会于行年，定是今年甲榜。后果然。

●丁丑二月乙未日丙戌时，安庆保举明经阮实夫代刘若宜先生占会试。

后常朱六	蒿
酉申午巳	矢
申未巳乙	
	连
鬼酉后	茹
财戌阴	
父亥玄	

午未申酉	
巳	戌
辰	亥
卯寅丑子	

断曰：为人代占，今年必中。盖发用日鬼皇恩，中传河魁天喜，未见长生太阳，最利试场之象。支见幕贵官星，又朱雀生太岁，文字华藻合时。课名革故从新，更乡科而中甲榜，必无疑矣。但嫌干支上乘互绝，居官未能远大。后补刑部主政，恬退不仕。又为代占会武，会中两名，亦此课。予曾占病，亦死二人。

●丙子二月辛巳日辛卯时，湖州陆奎吾占总镇陈东明奉命出师江东。

玄青勾贵	元
酉丑寅午	首
丑巳午辛	

炎
上
比 午 貴
財 寅 勾
印 戌 常

丑 寅 卯 辰
子 巳
亥 午
戌 酉 申 未

断曰：春得炎上进气，又合元首、三奇、高爵，宰官不复言矣。但干败支墓，且乘火鬼天魁，合中犯煞透，《易·旅》之九三“旅焚其次，丧其童仆，贞厉。”不惟兴师无济，且有他虞。即官至卯年，亦不见利。由卯上乘白虎驿马，名为回马。虽是剥官之煞，幸结水局生起初传官星，故仅撤回剿贼。庚辰太岁受克，子水司令，制伤火局，退位。俱验。

●戊寅二月辛丑日癸巳时，东省刘太史讳正宗者相召，坐间索占，予袖传课以答之。

龙 貴 朱 玄 重
亥 午 申 卯 审
午 丑 卯 辛

周
財 卯 玄 徧
比 申 朱
父 丑 虎

戌 亥 子 丑
酉 寅

申 卯

未 午 巳 辰

断曰：太史所占是一外官，曾经降罚者。曰：何以知之？因日生青龙，又上克下，故也。曰：家兄任太平知府，为钱粮降罚，看有碍迁升否？余曰：支首干尾，格合周徧，何碍升迁。在何时？余曰：青龙离支六位，初传月建催官，中传天马传送为驺邮、为兵马、为直符，七月内必升吴分兵宪。后果升嘉湖驺传兵宪。

●丁卯正月丁巳日癸卯时，京营参将涂松亭先生为彭南溟占升迁。

青六常青 蒿

亥寅丑辰 矢

寅巳辰丁

玄

鬼亥青 胎

财申玄

兄巳空

寅卯辰巳

丑 午

子 未

亥戌酉申

断曰：太岁、月建生日，目今必然迁擢，多是山环水绕之地。盖支为任所，寅艮为山，与亥水相合，故应此地。发用蒿矢建金，即箭之有簇。又贵、德、驺马入传，财、官、城、吏全逢，催官迅速之兆。但忌日之阴阳制官，须防陈、王、田姓人为祟。癸亥日随授南京巡捕营都司，未几，田大司马以添注参将罢之。

●庚寅二月癸卯日壬子时，偶会徽友程孝延、程翔云，因引部

孙、杨二公，京师议论未定，占看来否。

勾	未	空	勾	重
亥	丑	酉	亥	审
丑	卿	亥	癸	
				乱
鬼	丑	未		首
兄	亥	勾		
父	酉	空		回
				环

卯	辰	巳	午
寅			未
丑			申
子	亥	戌	酉

断曰：引部四月必来赴任，但居官不久耳。以两贵旺相，且虚巳贵以合三传之局，故知其四月赴任也。但嫌太岁克战，二贵空陷，虚喜而已。况传将退入极阴，格合回环，必主来而复去，故知其居官不久也。又干神临支，被支所克，纵来亦失意之象。果五月奉旨撤回，六月甲马加未，行矣。

●己巳二月乙巳日辛巳时，楚黄洪半石先生占差，出一成课，已为何姓者批定大同饷部。

玄	未	阴	六	重
卯	戌	寅	酉	审
戌	巳	酉	乙	
				斩
兄	寅	阴		关
财	未	龙		
父	子	贵		

戌 亥 子 丑

酉 寅

申 卯

未 午 巳 辰

断曰：此南行数也。彼以禄临戌上，故云北差，不知守土官则论禄，钦差官只论马。今卯马长生居午，必是南差。曰：明日堂上阍定，看该先拈，该后拈。予云：后拈利，盖以初传中传空亡，未见贵人生日故也。次早，关中张主政先拈得大同差，暴存九江钞关洪先生得之。

●己巳正月己未日庚午时，闽中张少司空讳维枢者索占。

六阴六阴 无

酉寅酉寅 禄

寅未寅巳

无

子酉六 路

兄辰常

财亥蛇

子 丑 寅 卯

亥 辰

戌 巳

酉 申 未 午

断曰：正时胜先，值事天空，此为章奏而占。曰：吉凶若何？余曰：四课克下，名为无禄，况贵乘旬空，龙神克下，主在上者不足，轻则降罚，重则削权。又财官禄马俱入墓绝之乡，急流勇退为佳，否则必有意外之虞。曰：上疏旨意若何？余曰：朱雀乘天喜，阴神见丁马，

还得好旨归里。后唯冠带闲住，回家未久，仙游矣。

●癸酉二月丁丑日丙午时，松江太仆沈云生先生被京营曹大司福参劾，占回奏吉凶。

青青空后	重
亥午巳子	审
午丑子丁	
	铸
比巳空	印
子戌蛇	
印卯常	

戌亥子丑
酉寅
申卯
未午巳辰

断曰：天空发用，主为章奏而占。曰：何以知之？盖有官君子，占得铸印，必面君奏事，迁官转职。曰：看回奏若何。余曰：日禄之阴制禄，罚俸止矣，官何碍乎？交仲秋时，天吏皇诏生日，青龙日禄居丑，必然荣擢吴越斗牛之分。虽嫌四课上下冲害，又喜交车合禄，先虽参差，而后和好。及回奏，果罚俸。秋升闽抚有功，寻授两广总督。

●丙子三月己酉日丁卯时，粤东少宗伯陈秋桃太史为宗藩建言，被逮刑部，占出狱。

蛇常六阴	暮
亥辰酉寅	越
辰酉寅己	

重

才亥蛇 审

印午空

兄丑后

子丑寅卯

亥辰

戌巳

酉申未午

断曰：目今不能脱难，交四月甲戌日巳时方出狱也。同难诸缙绅皆曰指日即出，予曰不然。发用驿马坐墓，且赤鸟犯岁君，如上疏，旨意必驳。众不然其说。三月，冯大司寇上疏，旨意驳上。四月上疏，依拟脱难。因四月建巳，冲初传墓中驿马，方有出狱之应也。

●丙子二月乙未日己卯时，东省登州威都司讳司宗者，因失机已定重辟八载，占吉凶若何。

六阴空蛇 重

酉寅午亥 审

寅未亥乙

子午空

财丑后

官申勾

子丑寅卯

亥辰

戌巳

酉申未午

断曰：六月遇赦，转凶为吉之象。缘长生临身，天赦加支，况太

岁贵人俱作恩星，罪虽重亦减轻矣。尤可喜者，传将递生，初末暗拱未命，仍有公卿推荐，他日出仕之兆也。果六月奉命热审，豁罪谪戍，发京营立功自赎，后辛巳年升甘肃镇中军参将。

●丁丑五月甲子日巳时，申将，浙上虞顾友与徽友吴子遼为人代占吉凶。

虎阴龙常	重
午卯申巳	审
卯子巳甲	
	玄
鬼申龙	胎
父亥朱	
比寅后	
申酉戌亥	
未	子
午	丑
巳辰卯寅	

断曰：月将龙官内战，必因宰辅窝里生非，而败事有。但龙官与年神生合，断非寻常可比。嫌干乘飞符，支见游魂，目今人宅必有灾非之事。且年命勾神为祟，又丁动刃逢，贵履地网，公讼拘系必见。喜勾阴生日，事可辨雪。曰：日后何如？予云：喜德神禄马会入天门，定然位居显要。忌见旬空，难以久远。后知为常熟钱牧斋太史占也。甲戌岁，官至大宗伯。

●辛未四月癸亥日戊午时，商城讳奋渭熊兵长垣为戊寅命人代占。

贵亥朱后	斩
巳寅未辰	关
寅亥辰癸	

稼

官辰后 穡

官未朱

官戌龙

申酉戌亥

未子

午丑

巳辰卯寅

断曰：课象虽凶，终不为畏。曰：较张逢玄课何如？予曰：张公课好，此课太岁克日，君上不喜，须得木姓人解救方可消释。何也？三传纯官鬼，又关墓覆日，岂不为凶？喜两贵拱身，福德、仪神临支，又丁、马、贵、德居命，且是皇书、天诏，定转凶为吉。其后刑长垣讳觉斯李先生上疏救之，减死谪戌。后知为云间钱相公也。

●庚寅十月癸卯日庚申时，同乡王怀荫占失马，向何方找寻，何日可得。

贵虎朱玄 知

巳戌卯申 一

戌卯申癸

断

子卯朱 轮

官戌白

财巳贵

子丑寅卯

亥辰

戌巳

酉 申 未 午

断曰：此马黑青色，在西北山岗，三日内必获。曰：何以见之？盖因未传之马而乘旬中之空，必俟出旬乙巳日填实方能得马也。何以知其色之为黑青？因马之阴神见子水，乘青龙，故知之。何以知其西北山岗？因马居戌地也。果后三日自刘家集寻得。

●乙酉四月癸亥日戊午时，予住淮阴，欲回扬搬家眷用，百原恩师汝占课，看该城住乡住。

贵 亥 未 后 元

巳 寅 未 辰 首

寅 亥 辰 癸

斩

官 辰 后 关

鬼 未 朱

官 戌 青

申 酉 戌 亥

未 子

午 丑

巳 辰 卯 寅

断曰：此课正宜归隐，住乡安稳。住城虽有众贼飞攻，亦不足畏。何也？因游子、斩关，发用阳将传入阴位，理应归隐之象。住城虽有贼攻，实赖支上寅木以敌之。不若就西北乡卜居安稳。及到邦关，船被兵据，入城，史阁部命守西城。城破，一家投水未死。

●庚寅四月乙酉日辛巳时，弯子街二人来占子逃，看何方找寻，何日得见。

虎 后 贵 勾 元

巳 丑 子 申 首

丑酉申乙

九

官申勾

丑

父子貴

財辰常

潤

下

酉戌亥子

申丑

未寅

午巳辰卯

断曰：此子逃于西南四十八里亲戚之家，其家近水楼房，门前有羊二只，柳数株。尔子与金山僧往来，寻之，丙、丁日可见。盖申为金，加辰为山，又水局围绕，岂非金山乎？玄卯居亥，即近水楼房。亥支居未，上下相乘，即西南四十八里。玄阴未加卯门，内有鬼柳二宿，故言门前有羊有柳。后四日，其子方自金山回，于所云处见之。

●己丑正月辛巳日辛卯时，榆林王总兵讳朴者，其子金吾官在扬，闻大同姜总兵乱占吉凶。

玄青勾乙

元

酉丑寅午

首

丑巳午辛

炎

官午貴

土

財寅勾

印戌常

丑寅卯辰

子巳

亥 午

戌 酉 申 未

断曰：游都居支前，贼符侵酉地，且贵人克干发用，又合中犯煞，西北兵动，据城无疑。初传旺相生合未传，定主内外奸人勾连。中传月建克未传，必然破城杀将。又旬遁丁神临辰阳，入辰阴，更有当地边界盗贼蜂起。后来终于归降。盖因游都临合处也。但火局旺相于春夏，死绝于秋冬，又大吉日墓临支，是主受客愚而堕客计。交秋冬，事败归降矣。

●己丑三月，偶有六壬诸友，相晤间持有丁亥日寅将子时课与予断云：有贼兵攻武昌，看城池安危。

空常阴贵 重

卯丑亥酉 审

丑亥酉丁

板

财酉贵 阴

鬼亥阴

子丑常

未 申 酉 戌

午 亥

巳 子

辰 卯 寅 丑

断曰：贼自西南而来，城必无虞。曰：游都离日辰甚远，何以知贼之必来？曰：酉贵临干发用，故知其来，而自西南也。曰：有众几何？曰：游都离日辰远，干上贵又空，惟以正时上下合断，约有七九六千三百。曰：城无虞者何？曰：贵临干受克，故知贼之不攻城而退也。此课乃晋元帝时，因毛宝叛兵屯邾城，命宰相戴洋占，后载之于

史。予初不知，不意断法竟与古事相合。然纯阴之课，干之阴神鲁都克日，主贼有埋伏。又支为城，上神克之，而上神又被阴神所克，主居守不仁，且欲自相攻击。又未传生合初贵，主内有暗降之人。此数事，皆前人未尽之秘，予不惜笔之于书，以授后之学者。

●乙酉五月乙酉日庚辰时，予避难福终庵，同盟副帅杨九苞督舟师随征时，修书差官相召同事。予因幼几随身固辞，仍占一课寄之。

白后 贵勾 元

巳丑 子申 首

丑酉 申乙 润

下

官 申 勾

父 子 贵 九

丑

财 辰 常

酉 戌 亥 子

申 丑

未 寅

午 巳 辰 卯

断曰：南都定然归顺，放心前行，但防东南有兵变之虞。盖因未传旺相财爻生合初传官贵，且结水局生日，又合中无煞，是为主者必归顺而贡降也。且干支休囚，则旺气在内，其城不可拔，亦无屠戮之惨。辰阴见太乙白虎，建旺，合克酉支，因而提防东南兵变也。后果如其占。

●庚寅五月庚申日丁丑时，徐盟鹿占得此课，问远行，携有妻

子同往,看吉凶若何。

六阴六阴	八
戌卯戌卯	专
卯申卯庚	

绝

父戌六	嗣
官巳常	
子子蛇	

子丑寅卯	
亥辰	
戌巳	
酉申未午	

断曰:男女远行俱不得意,中途被劫,死于他乡,有沉溺破舟之虞。盖因男干女支,行入空墓之地,中传劫杀旬丁刑克支干,末传日死加巳,是阳生临于阳绝,合为死字。且壬戌加卯发用,是河井相加。卯受干克,主车船破坏。其祸必矣。近江西百余里,男女五人被盗而死。

●乙酉七月庚子日甲申时,扬州兵盐道讳汉式刘公祖占课,不言某事。

白玄六龙	涉
申戌辰午	害
戌子午庚	

顾

鬼午龙	祖
父辰六	
财寅蛇	

卯 辰 巳 午
寅 未
丑 申
子 亥 戌 酉

断曰：胜光同天马，来意向行人。过月望赤龙，眷属到门庭。曰然。盖因中末空亡，是以月内不来。过月卯马克辰，故应丙辰日。曰：此课，看功名能复旧缺否？余曰：顾祖中末空，有初必无终。龙化为蛇例，请告始得荣。盖因初龙末蛇，止于兵宪。龙神克下，上官不足。复任月余，被劾遽问。

●戊辰十一月壬戌日乙巳时，余在上京，江都倪子玄占女何日到京，途路平安否。

蛇阴贵玄	元
辰未巳申	首
未戌申壬	
	玄
财巳贵	胎
子寅六	
比亥空	

寅 卯 辰 巳
丑 午
子 未
亥 戌 酉 申

断曰：行人已抵燕界，丙寅日方到，但途遇马贼劫夺。盖二马见于课传，未足临寅，乃幽燕之分。二阴夹阳，中传见寅，故主寅日到。玄武叩马临干，遥克庚午命神，主大路有马贼劫夺之应。果寅日

至，于门外雪中遇雪贼，劫银四十两。

●己卯六月己酉日戊辰时，维扬埂子街六如斋扇店，浙杭张澹宁相会占病。

玄乙辰未	蒿
卯子丑戌	矢
子酉戌己	
	三
鬼卯玄	交
父午空	
子酉六	

申酉戌亥
未子
午丑
巳辰卯寅

断曰：当年病无妨，何须再三详。黑马自夷来，跨上往西方。早觅玄空径，教尔接命长。宅上见胎喜，一阴并两阳。盖太岁发用，作日破旬空，目今无妨。但嫌医神发用克日，主医人用药不当。但木火为虎鬼，脾肺受病，未能脱体，须东南钱、刘之医，平肝清心，其病渐愈。曰：何以言玄门？卯乃死我门，酉为生我门，玄空长生在传。宜避初鬼，就末生，须向玄空之门求接命延年之术，否则壬午春必有他虞矣。曰：有胎者何？余曰：支上见胎神。曰：三儿妇俱怀妊矣。余曰：试言何命？曰：丁未、壬子、甲寅。余以行年推之，丁未生女，余二皆男。后果然。澹宁壬午春死。

●乙丑十月辛亥日甲午时，予往金陵成贤子，会六壬王养吾，索占之课。

騰 阴 朱 后
巳 申 辰 未
申 亥 未 辛

元
首

鬼 巳 蛇
財 寅 勾
子 亥 白

玄
胎

寅 卯 辰 巳
丑 午
子 未
亥 戌 酉 申

断曰：公为阴人占病，主胸膈不宽，饮食少进。曰：果妇病，其病若何？曰：传得病玄胎，又四课德鬼发用，巳作闭口，食神乘空，依知病在胸膈，不能饮食。且禄临死地，何以养生？目今子爻制鬼无妨，恐来年初夏，太岁生鬼可虑。况夫占妻，岂宜财空？主半路断弦，所以续弦也。辛日亦不宜占病，因辛作亡神故也。

●辛未正月戊申日己未时，同乡亲彭城卫幕刘一纯占病。

玄蛇青勾
辰子丑酉
子申酉戌

元
首

润
下

兄 辰 玄
子 申 龙
財 子 蛇

酉 戌 亥 子
 申 丑
 未 寅
 午 巳 辰 卯

断曰：病起少阴，目今无虑，但绵缠难脱体耳。微独病也，且防贼至。病起少阴者何？但从魁临干，为日之败气，是因少阴而败身也。病难脱体者何？传将合成败局，生起日之官鬼也。占病而言贼至者何？玄武发用，传归支上，主贼入我内室也。医当如何？曰：木为官鬼，火作白虎，心脾二经受症，当觅东方之医，理肝清心，切勿健脾补肺。何时当愈？曰：甲戌流年方且不保，遑问愈乎？缘戌日玄武发用，是为收魂杀，又纯财生卯木死气克日，故是年冬可虑。果后三月一贼入室，刘复来言及，余乃以原数断云：贼北方道路往来，陈姓，年少人也。作贼无伴，一人耳。然必告官方获。玄辰乘相气，主年少。在子为道路。辰与陈姓同音。玄阴生水，水合一数也。官鬼遥克玄武，公命上神又制盗神，必告官而后捕捉也。何日可获？曰：告官三日即获。后果然。及询其姓名，则陈忠也。

●巳丑八月庚戌日壬午时，陈惟一占扬州道台陈公祖病。

玄玄虎虎 伏

戌戌申申 吟

戌戌申庚

玄

兄 申 虎 胎

财 寅 蛇

官 巳 勾

巳 午 未 申

辰 酉

卯 戌

寅 丑 子 亥

断曰：此课不利占病，丁巳日必死。盖因禄马发用，入传中空绝之乡。病人见卯马，乃神气出游之象。课传玄胎，主别处投胎之象。虎鬼临处为畏期，课传既无天医，而末传巳火克日，故以是日决之。

●己丑八月乙未日辛巳时，徽友程孝延为同乡郑姓者占病。

玄常空龙 蒿

酉申午巳 矢

申未巳乙

连

鬼酉玄 茹

财戌阴

父亥后

午未申酉

巳 戌

辰 亥

卯寅丑子

断曰：占病不治，且临于床，八九月之会是其死期乎？何以知其病之不起？干支互乘绝气，课传革故从新，且二马临身宅，乘青龙、太常，谓之孝服纸钱杀也。病人见驿马又非所宜。何以知其卧床？因身加卯上，为床为棺也。何以知其死期？二阴一阳，中传戌加酉位，是八九交会之时。果交九月节日死矣。

●辛巳正月乙酉日癸未时，程翔云在新安，见雪寒极甚，途多冻馁，因有感而占。

青	阴	阴	六	知
未	寅	寅	酉	一
寅	酉	酉	乙	
				乱
財	未	龙		首
印	子	青		
子	巳	虎		不
				备

戌	亥	子	丑
酉			寅
申			卯
未	午	巳	辰

翔云断曰：据此课象，今岁天气亢旱，风大晴少，田禾欠熟，且有疫疠死亡之患。盖因初中风伯会箕，神后空陷，未传虎乘遁鬼。又因未为田园，自四课发用，即田庄交界，子属稻谷，亦空。故知田禾欠熟。又天鬼支来克干，此为上门乱首，种种凶象。而况劫煞入辰，三传递克，全无和气，凶荒之徵也。后果如占。

●己丑三月乙丑日丁亥时，广储门外晋贤庵僧敏若半夜亥时因鸦鸣占此课，来问主何吉凶。

玄	常	空	青	重
亥	子	寅	卯	审
子	丑	卯	乙	
				退
父	子	常		茹
父	亥	玄		
財	戌	阴		

辰 巳 午 未

卯 申

寅 酉

丑 子 亥 戌

断曰：主有贼八九人，自东北来，劫邻人衣物银钱，遂渡河而去，汝庵无妨也。曰：亥时右邻木客被劫。盖因游都贼符临干支，右见明马玄武，左见劫杀贼符，故有此象。提防复至，然五日后必获。但子发用，贼必东北而来。因子加丑，乃八九之数。五日获者，因勾陈居支前五辰，遥克玄武，又魁渡玄阴，贼何所逃乎？果次日北关外行劫，遂获二名。

●庚寅十月辛巳朔甲午时，日有食之，庄公远占当主何应。

白勾朱后 弹

亥寅辰未 射

寅巳未辛

病

财寅勾 胎

子亥虎

兄申阴 励

德

寅卯辰巳

丑 午

子 未

亥戌酉申

公远断曰：太岁作游都，临翼轸发用，且乘勾陈，披刑带煞，楚地当有战争之象。弹射有丸，忧惊必重。中传虎马居支阴冲克日支，末传太阴拔刀乘岁破冲克太岁。然是旬空，阴谋必败。又河覆井，玄入穴，虎出林，来年定主风多涝患。奈何雷公雷煞并见，以作病

胎，气不收敛，民生多病之徵也。越次日，雷电大作。次年水涝为灾，余占亦验。

●四月乙亥日未时，申将。

财	丑	蛇	丁
兄	寅	朱	
弟	卯	六	
蛇	青	空	青
丑	子	午	巳
子	亥	巳	乙
	虎		
午	未	申	酉
青	巳		戌 阴
勾	辰		亥 后
卯	寅	丑	子

此课来意，主身欲出外索取旧财两重。系丑年交易，其钱三百二十贯。至六月先得钱五十六贯，至十二月再索，相争口舌，幸得一姓董人劝和，其钱方能尽得。

何以知之？师曰：缘时为先锋门，未时是乙日之财，值事门，乘白虎，主道路；又发用是丑，亦是乙日之财，上建旬丁主动，故言欲出外。土为寅木所克，无气，故言索旧财两重。用神是丑，乃丑年交易也。丑是八数，蛇是四数，相乘得三百二十贯。时为日财，未为八数，虎是七数，相乘得五十六贯。土绝在巳，四月无气，不能得财。未为六月建，土王用事，故云六月中先得五十六贯也。用丑为财，为十二月建，届期势必再索。中传寅为等辈，上乘朱雀，主口舌争。末传六合乘卯，卯即乙木禄神，禄神即财。六合主草头，卯主千里，配成董姓。六合主和，故云姓董人劝和，其财方可尽得。

●四月壬申日午时，申将

兄子白

子寅元

官辰后

子戌卯丑

戌申丑壬

未申酉戌

蛇午亥空

贵巳子白

辰卯寅丑

此课来意，主身欲出外，往东南上干财。与一崔姓人成合交易，其人内怀欺诈，终不敢发。又一属狗人，一姓王人，欲相欺害，终而自解。

何以知之？师曰：发用神后，将得白虎，主道路。天魁临支为斩关，主出外。午时为日之财，上乘蛇，下临辰，辰为东南方。未传天罡加寅，寅属艮卦。艮为山配，为叠土；艮数八，合为人字。山下人旁两土，是崔姓也。天罡临寅为日鬼，又为功曹所制，故不能为鬼，反为成合。虽怀欺诈，不能发也。申上见戌为属狗人，日上见丑为姓王人，皆为日鬼，是欲相欺。因日空亡，故不我见。鬼又被制，不能为害。

●甲子日，亥将，未时。

财辰元

官申青

父子蛇

乙元六白

申辰戌午

辰子午甲

勾六朱蛇

酉戌亥子

青申丑乙

空未寅后

午巳辰卯

常白无阴

来意、主昨夜三更门开，婢窃钱五千。往逃正北渔家，钱藏水中。本日申时获。

何以知之？师曰：时为辰害，为日财，值事门乘天空，故主失脱。下临卯，卯乘太阴为婢。贵立酉，故门户有惊。天罡加子乘元，子属三更，为本日支，元加其上，故主三更失财。辰为罗网，故主渔家。阳神作元武，婢走求阳处。法以盗出走时未出境，即就元立处求之。本人行年在卯，卯刑子，是元遭刑必败。故言正北水中藏财。本日申时获者，日干甲木克元，三传传至申止，故云申时也。

●丁丑年八月初四日，巳将，辰时。

亥

子

丑

子亥未午

亥戌午戊

午 未 申 酉
巳 戌
辰 亥
卯 寅 丑 子

陈君久居虹口，八一三战事既起，避难法界，仓卒中夫妇失散，就卜于余。余曰：干支上神各居自刑，干支阴神上又复相害，固不免劳燕分飞，咫尺天涯。然而进茹之课，格合三奇，应有镜合之望。三传亥子丑，恐已北上。立冬后，当获团聚矣。前日陈君又来余寓，介绍友人占父病，余叩以近况，谓所断尽验。其妻先逃至北新泾，旋与同乡人买舟返江北母家，十月间以通州不靖，复来海上同居云。

●丙子年五月二十九日，未将，亥时。

子

申

辰

辰申子辰

申子辰庚

丑 寅 卯 辰

子 巳

亥 午

戌 酉 申 未

吴翁服务海关多年，因病而拟告退，就会卜焉。余曰：恐不获准，惟尊职必有人庖代耳。明春则可言归矣。盖卦名回环，乃进旺之气，而非退位之象。初终空陷，日禄归支，似有替职之征。课传脱干，病非一时可愈。明年暮春辰月，龙神空墓，则瓜熟而蒂落矣。春旺于木，木为日财，且有巨款到手也。后果上峰爱其忠勤，未许避

退，而准予病假。旋以痼疾久延，始于丁丑三月免职，并给以重金云。

●丁丑年三月二十八日，酉将，卯时。

戊

辰

戌

未丑辰戌

丑未戌乙

亥子丑寅

戌卯

酉辰

申未午巳

程国初君，嘱演此课。余询所占何事，程君曰：耳先生名久矣，兹事体大，请先断其成败，再当明告。余曰：课传纯土，满目皆财，君殆卜求财之事欤。然为反吟无依之卦，局合稼穡，三传空陷，必有声无实，可望不可接，取之不得，不取又贪。如身入宝山，空手以归也。程君颌首曰：前与友开矿河南，诚如先生所谓有声无实，可望不可接，耗尽资财，空空如也。今友人拟再招股进行，以追前失，家严反对殊甚。聆先生言，不取又贪，宝山空归，亦意中事耳，当往辞绝焉。遂道谢而去。

●丁丑年四月二十一日，申将，丑时。

酉

辰

亥

未子酉寅

子巳寅丁

子 丑 寅 卯

亥 辰

戌 巳

酉 申 未 午

马少舟君，年卅七岁，遣人赴南京借款，预卜结果遂否。余曰：财贵发用，青龙加于日上，贵人临于行年（行年壬寅），本命辛丑，又与酉合，定邀对方允许。惟财不得令。以初传酉字计之，不过六数而已。驿马入墓，辰上朱雀，所使之人必先空手而归，其银当由邮信寄来也。是日另有一孙某，二十三岁，亦占得此课，询收帐事。以本命乙卯，冲酉金财爻，余言其十不获一。后果尽如所断。

●丙子年七月二十九日，巳将，子时。

巳

戌

卯

酉辰巳子

辰亥子己

戌 亥 子 丑

酉 寅

申 卯

未 午 巳 辰

陆君拟开设绸肆，既赁屋于抛球场，因友人之介，来寓嘱占该宅利否。余曰：干上有财，支上见库，财神又归宅库，营业必佳。但

初传巳，中传戌，沦于空陷。九年或九月之后，恐被人争夺。盖巳为四数，戌为五数故也。后果如所断，已于今年初夏，为一钟表商以重金挖去。按此课名铸印损模，凡占有始无终。当有人卜赴任吉否，余言其在位必不久，旋闻未满二月，果为同寅参劾去职云。

●丁丑年正月二十九日，亥将，戌时。

亥
子
丑

亥戌酉申
戌酉申丁

午 未 申 酉
巳 戌
辰 亥
卯 寅 丑 子

名妓可卿，拟从良，苦无适意者，就余卜焉。余曰：即有遇矣，惟为续弦，且当远行耳。不日果识一孙某。孙江西籍，悼亡已半载，甫来海上，骤见倾心。既效双飞，同归故里。后可卿告以占课事，孙奇子，来书询及课理。余覆曰：支上乘天后，三传进茹，婚媾之成自速。戌为丁墓，娶者前妻必故矣，则非续弦而何？驿马发用，所以即有近行也。

●丁丑年十月二十六日午时，寅将。

卯
亥
未

亥卯亥卯

卯未卯巳

丑寅卯辰

子巳

亥午

戌酉申未

丁丑冬间，上海粮食与燃料皆起恐慌，有钱而无处可买，以视米珠薪桂，殆尤过焉。王君将订购大批西贡米，藉为投机，先占其价之涨落。余力劝打消此念。盖干与支皆受上克，三传化木又克日，件必疲软，难以居奇。中传亥财又化鬼，则损失且不赀也。后果洋米源源而来，行市大有江河日下之势。

●丁丑年十月初九日，卯将，戌时。

卯

申

丑

亥午申卯

午丑卯辛

戌亥子丑

酉寅

申卯

未午巳辰

粹华卡片厂主人黄涤生君，占宝兴路之总厂安全否。时闸北房屋，已泰半成灰烬矣。余曰：无害，即内中货物，亦不致损失。盖此课名周而复始格，而辰上神既为支德，又生日支，支之阴阳且皆吉

将，虽在烽烟炮火之中，却可稳如金汤也。后晤及黄君，谓已派人前往视察，渠厂巍然独存。其前后左右各家，或焚或炸，瓦砾一片矣。

●丁丑年二月二十三日，戌将，子时。

午

辰

寅

巳未午申

未酉申辛

卯辰巳午

寅未

丑申

子亥戌酉

黄君以政治嫌疑，被官厅逮捕。其友郑某，委占吉凶。余曰：此冤狱也。盖未传寅木，生起初传午火，而克辛金日干，必教唆有人耳。幸中传辰土生干，又乘朱雀，而遁丙官，与辛相合。当有显者提诘，一纸文书，即得释放矣。郑又询显者为何许人，余曰：辰就系生气，必父母面上之人耳。后果不爽。其父进京托某名公驰函营救，于三月十三日出狱。

●丁丑年四月二十三日，申将，卯时。

巳

戌

卯

巳子巳子

子未子己

戌 亥 子 丑

酉 寅

申 卯

未 午 巳 辰

姻弟高声鏊，投考中华书局，嘱占究竟。余曰：铸印之课，抑且帘幕临干，应试必中。惟初传巳火，丁马相并，落于空陷，还赖未传卯木生之，须经两试方得录取。时隔月余，晤声鏊，语余曰：始而名落孙山，以为此课不验矣。嗣有二人及格者，因病不能治事，书局特函召再试，乃获任职于会计部云。

后 记

二十五年前,在“文化大革命”的派性斗争日趋严重时,我暂时离开大学一段,在家乡跟祖父曹俊英的一位隐士朋友赵晓轩开始了《周易》的学习,其后一直酷爱《周易》,对每卦每爻常思索于寝任之间。后来,我在科研单位从事中国古代哲学的专业研究工作,重点研究《周易》及其相关学术,大六壬即为多年用心者之一。有感于壬学中所包含的学术内容及其研究价值,针对六壬古籍散在而不便研究的状况,几年前便产生了整理的念头。后在整理编写本书的工作中,拙荆张月明付出了很多精力。参加这一工作的还有如下一些同志:胡铭、曹今风、彭立青、刘海、曹芝、姬小新、张乃银、胡笈、张嘉军、曹锦香、杜云领、张悦欣、陆保民、姬行毅。

编写本书,得到了黑龙江人民出版社的大力支持,并提出许多宝贵意见,令我由衷地感激。

虽然本书是在对壬学多年潜心研究的基础上编写而成,从文字到标点皆注意到对读者负责,但限于识见,疏露和缺点想必难免,敬祈方家同仁批评指正。

曹福惊

1993年10月于长春